SYLLABUS

【授業の概要と授業計画 2026】

九州情報大学

KIIS
Kyushu Institute of Information Sciences

九州情報大学の三つのポリシー

「ビジネス DX 社会をリードする創造的エキスパートを養成する」

IoT（Internet of Things）や AI（人工知能）などのデジタル技術が飛躍的な発展を遂げています。未来の社会では、すべての人とモノがつながり、われわれが抱えている課題や困難が克服されるとともに、新しい価値が生み出され、ひとりひとりのライフスタイルだけでなく社会全体の変革（イノベーション）が到来するだろうと考えられています（Society 5.0）。

企業の活動においても、これら先進的な新しいテクノロジーを活用して、ビッグデータを集めて分析し、業績向上に生かしていくだけでなく、斬新で画期的な製品やサービス、そして新時代のビジネスモデルを創造していくことが求められています。

九州情報大学の責務は、建学の精神「至心」、「報恩感謝・慈愛と奉仕」、「容（かたち）は心を呼び、心は容を呼ぶ」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えた社会人を養成することであるとともに、来るべきビジネス DX 社会をリードしていく創造的エキスパートを世に輩出することを通じて、時代の要請に即応していくことにあります。こうした‘全人格的人間’を養成するために、建学の精神と学則第１条・第３条（教育・研究上の目的）に基づいて、以下のとおり三つのポリシーと学習成果(Student Learning Outcomes)を定めます。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）「情報技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という見方。

■■■ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学は以下に示す方針の通り、学則および諸規程が定める基準に達し、併せて学士としてふさわしい力（「学士力」1.知識・理解 2.汎用的技能 3. 態度・志向性 4.統合的な学習経験と創造的思考力）を修得したと認められる学生に対して「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

Ⅰ　必修科目の単位を含めて 124 単位以上を修得していること。

Ⅱ　学習の成果を卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができること。

Ⅲ　建学の精神を理解し自ら進んで実践しようとする姿勢を備えるとともに、社会人として必要な態度・志向性を修得していると認められること。

Ⅳ　経営情報学と関連する諸分野について基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

特に ICT（情報通信技術）、数理・データサイエンス・AI に関する専門的理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅴ　社会の様々な事象に対応できる複眼的な知識・理解や汎用的技能を獲得し、それらを総合的に活用して、自らが立てた新たな課題に適用させることにより、その課題を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得していると認められること。

■■■カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営情報の高度で専門的な知識・技能を修め、建学の精神に基づく豊かな人間性を備えたマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートを養成するために、本学の教育課程は次のような特色の 2 つの科目群から構成されています。それは、幅広い教養と人格を陶冶するための「基礎総合科目」、そして経営情報学の諸分野を体系的に学ぶための「専門教育科目」です。2 つの科目群は基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて体系的に学べるように設定されており、学則、諸規程、そしてディプロマポリシーと以下に示す方針に従って編成され実施されます。

なお学生の成績は、卒業までに修得してほしい「学士力」（1.知識・理解 2.汎用的技能 3.態度・志向性 4. 統合的な学習経験と創造的思考力）のそれぞれの観点から評価されます。

Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。

建学の精神に基づいた全人格的教育を行います。そのために人間性を高め、感性を豊かにすることを目的とした科目や少人数教育を通じて社会的協調性を体得させるための科目（「建学の精神と人生」、ゼミ・演習科目など）を設定します。

Ⅱ　マネージメントと ICT の諸分野に関して、基礎・応用・発展に応じて専門的知識・理解と汎用的技能を修得させること。

そのために、年次に応じて様々な「専門教育科目」（経営・会計、情報、国際ビジネス、ネットワーク、データサイエンスの各科目群）やゼミ・演習科目を体系的に設定します。

Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。

社会の様々な事象に対応できる複眼的な知識・理解や汎用的技能を修得した有為な社会人を養成するために、「基礎総合科目」（人文・社会・自然科学、語学、スポーツ健康科学の各科目群）および「専門教育科目」の中に多様な科目を設定します。

Ⅳ　主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得させること。

能動型学習（アクティブラーニング）を積極的にすることにより、学生が自分で課題を設定し、様々な学習経験を統合させて、その解決に取り組むことができるような主体的で創造的な思考力・実践力を養います。特に、そのための科目としてゼミ・演習科目などを設定します。

Ⅴ　基礎学力・技能を確認・強化すること。

学生が主体的な学びの力をなるべく早く体得できるように、コミュニケーションや学びのスキルのための初年次科目を設定します（「スタディスキル」など）。また基礎学力を確認・強化するための科目、ICT リテラシーを修得するための科目を設定します（「情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」、「コンピューター実務演習Ⅰ・Ⅱ」など）。

Ⅵ　キャリア開発の技能を培い、将来の進路に備えること。

学生が卒業後の進路を自ら考え、切り開いていけるように初年次からキャリア教育科目を設定します。就活支援などの学生のニーズに応じた科目、地域の経営者団体と提携して行う産学連携の実際的な科目を設定します（「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」、「インターンシップ実習」など）。

■■■アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

本学が養成しようとする人材は、経営情報の高度で専門的な知識・技能を修め、建学の精神「至心」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えたマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートです。この基本的理念に基づき、経営情報学科、情報ネットワーク学科共通で、以下の方針に従って入学者を受入れます。

Ⅰ　建学の精神を理解し、実践しようとする意欲を持っていること。

本学建学の精神「至心」を理解し、実践しようとする意欲があり、勉学に進んで取り組み、そして進取の精神に溢れた者を求めます。

Ⅱ　経営情報の分野に関心を持ち、学ぶ意欲があること。

経営情報の諸分野に関心を持ち、知識や技能を身につけ、深めていこうとする意欲がある者、特に経営情報の諸分野に関する検定試験や資格取得に積極的に取り組む意欲がある者を求めます。

Ⅲ　基礎的な学力を身につけていること。

大学で学ぶにあたって必要とされる学力（学校教育法第 30 条の第 2 項による学力の三要素）

（1）基礎的・基本的な知識・技能

（2）知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等

（3）主体的に学習に取り組む態度

を入学までに修得している者を求めます。

Ⅳ　社会の諸問題を広く多様な視点から理解し、その解決に貢献したいという意欲があること。

広範な知識・技能を体得し、社会の発展のために積極的に参画していく気概がある者を求めます。

Ⅴ　上記の方針に基づき、本学では下記の入学試験を実施して多様な学生を受け入れます（本学の入学試験の詳細については「九州情報大学入試概要」をご覧ください）。

〇学校推薦型選抜（特別推薦・一般推薦）

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを出身高等学校長による調査書と推薦書および面接（口頭プレゼンテーション含む）、自己 PR 作文と小論文（一般推薦のみ）に基づいて総合的に選考します。

〇総合型選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを受験生が作成したエントリーシートやインタビュー及び出身高等学校長による調査書を参考にして、面接（口頭プレゼンテーション含む）に基づいて総合的に選考します。

本学の総合型選抜が求める学生像は次の三点です

① 「経営・会計・情報」に強い関心を持つ者

② 企業家を目指す者や家業を継ぐ予定の者

③ 部活動（運動・文化）、課外活動（ボランティア等）、資格・検定の取得に熱心に取り組んだ者

〇スポーツ奨学生選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験（実績）、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを受験生が作成したエントリーシートやインタビュー及び出身高等学校長による調査書を参考にして、面接（口頭プレゼンテーション含む）に基づいて総合的に選考します。

〇一般選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、出身高等学校長による調査書、自己 PR 作文および高等学校までに修得した基礎学力を筆記試験に基づいて総合的に選考します。本学の一般入試の試験科目については「九州情報大学入試要項」をご覧ください。

〇大学入学共通テスト利用選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、出身高等学校長による調査書、自己 PR 作文および高等学校までに修得した基礎学力を大学入学共通テストの得点に基づいて総合的に選考します。

〇外国人留学生選抜

本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを受験生が作成した日本語作文(総合型選抜の場合は、エントリーシートやインタビューを含む)及び出身学校からの日本語能力等に関する証明書を参考にして、面接と日本留学試験(総合型選抜の場合は本学指定の試験)の成績に基づいて総合的に選考します。

〇社会人選抜
　本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを受験生が作成した志願理由書(総合型選抜の場合は、エントリーシートやインタビュー)を参考にして、面接、小論文に基づいて総合的に選考します。

〇編入学選抜
　本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを(指定校推薦の場合は、出身学校長の推薦書)を参考にして、面接（口頭プレゼンテーション含む）と小論文（一般のみ）に基づいて総合的に選考します。

Ⅵ　本学が指定する「入学前学習」を指示に従って最後まで履行できること。
　入学予定者に対しては、大学で学ぶにあたって必要と思われる基礎学力を確認・強化するために、課題や必要に応じて入学前のスクーリング等を課します。入学予定者は本学の指示に必ず従ってください。

経営情報学科の三つのポリシー

■■■ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

　経営情報学科は、マネージメントにかかわる広範で多様な領域について高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、ICT（情報通信技術）も駆使できる新時代にふさわしい創造的なマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。
　この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるディプロマポリシーの基準に達し、併せて次の要件を備えた学生に対して卒業を認定し、「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

Ⅰ　経営情報学と関連する諸分野について、高度で専門的な知識・理解を修得していると認められること。

Ⅱ　経営学の諸分野および会計学の諸分野について、高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅲ　ビジネス社会で必要とされる ICT の諸分野について、専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅳ　ビジネス社会で必要とされる数理・データサイエンス・AI について、基礎的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅴ　ビジネス社会の様々な問題に対応できる統合的な学習経験を修得するとともに、諸課題を自ら設定して解決しようとする主体的で積極的な態度・志向性と創造的思考力を修得していると認められること。

■■■カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営情報学科は、マネージメントにかかわる広範で多様な領域について高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、ICT（情報通信技術）も駆使できる創造的なマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるカリキュラムポリシーに基づき、以下の方針に沿って教育課程を編成し実施します。

Ⅰ　経営情報に関する概念、理論、方法等を修得する基幹的科目として「経営情報学Ⅰ・Ⅱ」を設定します。

Ⅱ　経営の概念や理論全般をはじめとして、労務・財務・生産部門の知識と理論、流通や商業およびベンチャーや経営戦略に関する知識と理論、会計の概念や理論、簿記の技能等について、基礎・応用・発展の各段階に応じて体系的に学ぶことができる科目を年次に応じて設定します。またインターネットを駆使したビジネスのあり方などアップデートなテーマを扱った科目も設定します。

Ⅲ　ICT 理論・技術全般、プログラミング、ネットワーク、インターネット、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI、マルチメディアなどの諸分野について、基礎レベルを中心に学ぶことのできる科目を設定します。

Ⅳ　ビジネス社会で必要とされる税法・会社法・知的財産権など法律にかかわる科目、国際経済や国際経営など国際ビジネスにかかわる科目、ビジネスで必要な英語などを学ぶ科目を設定します。

■■■アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

経営情報学科は、経営学を中心とする経営情報分野の全般にわたって高度で専門的な知識・技能を備えたマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるアドミッションポリシーに基づき、以下のような意欲・目標を持った入学者を求めます。

Ⅰ　ビジネス・マネジメント全般にわたって関心がある者

Ⅱ　ICT（情報通信技術）全般にわたって関心がある者

Ⅲ　経営情報関連の検定試験に意欲的に取り組める者

Ⅳ　学習の目的と将来の進路について意識を持っている者

情報ネットワーク学科の三つのポリシー

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

情報ネットワーク学科は、ICT（情報通信技術）や数理・データサイエンス・AI（人工知能）の高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、それらをマネージメントの分野で発揮できる新時代にふさわしい創造的なデジタルエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるディプロマポリシーの基準に達し、併せて次の要件を備えた学生に対して卒業を認定し、「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

Ⅰ　経営情報学と関連する諸分野について、高度で専門的な知識・理解を修得していると認められること。

Ⅱ　ICT 理論・技術、プログラミング、ネットワーク、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI の諸分野について高度で専門的な知識・理解および汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅲ　経営学と関連する諸分野について、専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅳ　ICT 社会の様々な問題に対応できる統合的な学習経験を修得するとともに、諸課題を自ら設定して解決しようとする主体的で積極的な態度・志向性と創造的思考力を修得していると認められること。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

情報ネットワーク学科は、ICT（情報通信技術）や数理・データサイエンス・AI（人工知能）の高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、それらをマネージメントの分野で発揮できる新時代にふさわしい創造的なデジタルエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるカリキュラムポリシーに基づき、以下の方針に沿って教育課程を編成し、実施します。

Ⅰ　経営情報に関する概念、理論、方法等を修得する基幹的科目として「経営情報学Ⅰ・Ⅱ」を設定します。

Ⅱ　ICT 理論・技術全般、プログラミング、ネットワーク、インターネット、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI、マルチメディアなどの諸分野について、基礎・応用・発展に応じて体系的に学ぶことのできる科目を設定します。

Ⅲ　経営学と関連する諸分野の基礎的概念や理論、会計学、簿記、マーケティング、法律などの分野に関して必要な科目を設定します。

■■■アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

情報ネットワーク学科は、ICT（情報通信技術）を中心とする経営情報分野の全般にわたって高度で専門的な知識・技術を備えたデジタルエキスパートを養成することを目指しています。この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるアドミッションポリシーに基づき、以下のような意欲・目標を持った入学者を求めます。

Ⅰ　ICT（情報通信技術）全般にわたって関心がある者

Ⅱ　ビジネス・マネジメント全般にわたって関心がある者

Ⅲ　経営情報関連の検定試験に意欲的に取り組める者

Ⅳ　学習の目的と将来の進路について意識を持っている者

○九州情報大学経営情報学部の「学習成果」(Student Learning Outcomes)

九州情報大学は、ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートを養成するために、建学の精神、教育・研究上の目的（学則第１条・第３条）に基づいて、下記のとおり学習成果を定めます。

なお学習成果は、学士としてふさわしい力（「学士力」1.知識・理解 2.汎用的技能 3. 態度・志向性 4.統合的な学習経験と創造的思考力）のそれぞれの観点から測定・評価されます。

1.知識・理解

・基礎総合科目の学習をとおして、多様な社会、文化のあり方について知識・理解を修得している。

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、経営情報学と関連する諸分野にかかわる基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的知識・理解を修得している。さらに以下の事項が求められる。

・大学が定めるレベルの数理・データサイエンス・AI に関する専門的な知識・理解を修得している。

・IT パスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。

2.汎用的技能

・ICT 関連科目の学習をとおして、マネージメント分野だけでなく社会の多様な場面において、ICT を駆使して対応できる高度で専門的な技能を修得している。

・ゼミ・演習科目の学習をとおして、クラスの中で討論やプレゼンテーションを行うことにより、コミュニケーションスキルや論理的思考、問題解決力を修得している。

3.態度・志向性

・１年次必修科目「建学の精神と人生」の学習をとおして、建学の精神を理解し、進んで実践しようとする姿勢を身に付けている。

・「建学の精神と人生」をはじめとする「基礎総合科目」やゼミ・演習科目の学習をとおして、ひとりの市民として責任感と倫理観をもって社会に参画できる態度・志向性を有している。

・ゼミ・演習クラスなどにおける共同行動等をとおして、チームワークや自己管理の重要性

を認識し、社会人としての責任を果たすために必要な倫理観を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・大学における学習経験を専門的、体系的に統合し、創造的な発想に基づく卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）を示すことができる。

○経営情報学科の「学習成果」(Student Learning Outcomes)

ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なマネージメントエキスパートを養成するために、学部の学習成果に基づいて、経営情報学科の学習成果を以下のとおり定めます。

1.知識・理解

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、経営学と関連する諸分野の基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的な知識・理解を修得している。

・マネージメントと ICT の連関について高度で専門的な知識・理解を修得している。

・IT パスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。

・数理・データサイエンス・AI に関するリテラシーレベルの専門的な知識・理解を修得している。

2.汎用的技能

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会の多様な場面に対応できるマネージメント技能、ICT 技能を修得している。

・簿記関連科目の学習をとおして、簿記に関する一定の水準の技能を修得している。

3.態度・志向性

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、実地の空間のみならずオンライン上の空間においても他者と円滑にコミュニケーションを図り、社会の一員としての責任感、倫理観をもってふるまうことができる態度や志向性を身に付けている。

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会における自己の役割を自覚し、マネージメントの高度に専門的な知識・理解を生かして、諸課題に対応しようとする態度・志向性を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・ゼミ・演習科目の学習をとおして、マネージメントと ICT に関連する学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができる。

○情報ネットワーク学科の学習成果(Student Learning Outcomes)

ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なデジタルエキスパートを養成するために、学部の学習成果に基づいて、情報ネットワーク学科の学習成果を以下のとおり定めます。

1.知識・理解

・ICT 理論・技術、プログラミング、ネットワーク、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI の諸分野等について基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて高度で専門的な知識・理解を修得している。

・ICT とマネージメントの連関について専門的な知識・理解を修得している。

・IT パスポート合格と同等、あるいはそれ以上の高度で専門的な知識・理解を修得している。

・数理・データサイエンス・AI に関するリテラシーレベルの専門的な知識・理解を修得している。さらに応用基礎レベルの知識・理解を修得していることが望ましい。

2.汎用的技能

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会の様々な場面に対応できる汎用的な ICT を修得している。

特にネットワーク、情報セキュリティ、プログラミング、データサイエンス、AI 等について高度で専門的な技能を修得している。

3.態度・志向性

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、実地の空間のみならずオンライン上の空間においても他者と円滑にコミュニケーションを図り、社会の一員としての責任感、倫理

観をもってふるまうことができる態度や志向性を身に付けている。

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会における自己の役割を自覚し、ICT の高度に専門的な知識・理解を生かして、諸課題に対応しようとする態度・志向性を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・ゼミ・演習科目の学習をとおして、ICT を中心とする学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができる。

1. 2026(令和8)年度　学 年 暦

期	行　事	期　日	備　考
前期	入学式	4月　1日(水)	入学式終了後、合宿前オリエンテーション
	新入生合宿	2日(木) ～ 3日(金)	
	4年生履修登録期間	2日(木) ～ 7日(火)	
	在学生オリエンテーション	6日(月)	ｉパス表彰・ＤＳ修了授与式
			外国人留学生オリエンテーションを含む
	新入生オリエンテーション	7日(火)	7(火) プレテスト、ＰＣセットアップ
	新入生オリエンテーション	8日(水)	事務手続等説明、外国人留学生オリエンテーション、教務履修指導、プレゼミ・教職課程説明
	前期履修登録期間	8日(水) ～ 15日(水)	【補講日】 ①5/16(土)、②6/20(土)、③7/25(土)
	授業開始	9日(木)	
	学内合同企業説明会	5月　20日(水)	
	開学記念日	27日(水)	通常授業
	学生総会	27日(水)	短縮授業(70分)
	月曜日の授業	7月　23日(木)	※月曜日の時間割
	水曜日の授業	24日(金)	※水曜日の時間割
	前期授業終了	29日(水)	
	定期試験期間	30日(木) ～ 8月7日(金)	8/6(木)、7(金) 予備日
	ｉパスkiisコンテスト	8月　10日(月)	
	夏季休業	11日(火) ～ 9月23日(水)	
	追再試験	25日(火) ～ 27日(木)	
後期	在学生オリエンテーション	9月　24日(木)	ｉパス表彰・ＤＳ修了授与式・
			外国人留学生オリエンテーションを含む
	授業開始	25日(金)	
	後期履修登録期間	25日(金) ～ 10月1日(木)	
	学園祭	10月31日(土) ～ 11月1日(日)	10/30(金)準備・短縮授業(70分)
	月曜日の授業	12月23日(水)	※月曜日の時間割
	冬季休業	25日(金) ～ 1月5日(火)	
	授業開始（月曜日の授業）	1月　6日(水)	※月曜日の時間割
	休講日	15日(金)	【補講日】 ①11/7(土)、②12/12(土)、③1/21(木)
	後期授業終了	27日(水)	
	定期試験期間	28日(木) ～ 2月5日(金)	2/4(木)、5(金) 予備日
	ｉパスkiisコンテスト	2月　8日(月)	
	追再試験	18日(木) ～ 22日(月)	
	学位記授与式	3月　18日(木)	
	春季休業	25日(木) ～ 31日(水)	

【前期】

	4月				5月					6月					7月					8月
月		13	20	27			11	18	25	1	8	15	22	29		6	13		27	3
火		14	21	28			12	19	26	2	9	16	23	30		7	14	21	28	4
水		15	22				13	20	27	3	10	17	24		1	8	15	22	29	5
木	9	16	23	30		7	14	21	28	4	11	18	25		2	9	16	※23	30	6
金	10	17	24		1	8	15	22	29	5	12	19	26		3	10	17	※24	31	7
土							補講					補講						補講		

※前期 定期試験期間＝7月30日(木)～8月7日(金) （予備日を含む）

授業コマ数 各週15 ＋ 定期試験

※ 7月23日(木)は、月曜日の授業を実施

※ 7月24日(金)は、水曜日の授業を実施

【後期】

	9月		10月				11月					12月				1月				2月
月		28		5		19	26	2	9	16		30		7	14	21			18	25	1
火		29		6	13	20	27		10	17	24		1	8	15	22		12	19	26	2
水		30		7	14	21	28	4	11	18	25		2	9	16	※23	※6	13	20	27	3
木			1	8	15	22	29	5	12	19	26		3	10	17	24	7	14	補講	28	4
金	25		2	9	16	23	30	6	13	20	27		4	11	18		8		22	29	5
土								補講						補講							

※後期 定期試験期間＝1月28日(木)～2月5日(金) （予備日を含む）

授業コマ数 各週15 ＋ 定期試験

※12月23日(水)は、月曜日の授業を実施

※ 1月 6日(水)は、月曜日の授業を実施

九州情報大学　履修案内

1.　はじめに

履修とは「決められた学科などを習い修めること」です。大学では、必ず履修しなければならない授業科目（必修科目・選択必修科目）と履修したい授業科目（選択科目）を、自分自身で選択して教務課に届け出なければなりません。学生全員の届け出が終了した後でこれを集計し、授業科目ごとの名簿が作成されます。この一連の手続きを履修登録といい、この履修登録が正しくされないと、卒業にも重大な影響が出てきます。従って履修登録は慎重に行ってください。

本学では１年間を前期と後期の２学期に分けて授業を行います。各学期の１授業科目の授業回数は、15 回です。授業は講義・演習、実験・実習および実技などの形態で行われ、各学期または年１回の定期試験の後、60 点以上の評価であれば所定の単位を与えます。４年以上在学して、学則第 23 条別表第Ⅰおよび別表第Ⅱに定めるところにより所定の授業科目を履修し、合計 124 単位以上を修得した者を卒業と認め「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

以下では、「九州情報大学学則（以下「学則」といいます。）」および「九州情報大学授業科目履修規程（以下「履修規程」といいます。）に沿って履修登録から卒業までの学習に関することがらについて、順を追って説明します。また、学則や履修規程は、改正されることがありますが、**卒業要件は、原則として入学時の規定が適用されます。従って、入学時に配布する学生便覧は、卒業するまで大切に保管してください。**

2.　教育課程

本学の授業科目は、「基礎総合科目」、「専門教育科目」および「教職に関する科目」に分けて編成されています。教職課程科目（「教職に関する科目」を含む）については、別冊「教職課程の手引き」で詳細に説明していますので、ここでは、学則第 23 条別表第Ⅰおよび別表第Ⅱに定める授業科目（「基礎総合科目」、「専門教育科目」）について説明します。開設する授業科目、必修・選択の別、単位数などはこの別表第Ⅰおよび別表第Ⅱに示されています。卒業するためには、別表第Ⅰおよび別表第Ⅱの教育課程表に従って授業科目を履修し、124 単位以上を修得しなければなりません。履修規程別表Ⅰおよび別表Ⅱでは、学則別表第Ⅰおよび別表第Ⅱの教育課程表を各学年別に整理して揚げていますが、この履修案内では、入学年度別に分けて「授業科目一覧」を揚げています。履修登録時の参考にしてください。

単位計算の基準は次のとおりです。

区分	授業時間	単位
講義・演習	１コマ／週×15 週	２単位
ゼミ・演習	１コマ／週×30 週	４単位
実　　習	１コマ／週×30 週	２単位
（実　　習	１コマ／週×15 週	１単位）
実　　技	１コマ／週×15 週	１単位

１コマの授業時間 90 分を２時間とみなす

※学則第 24 条が定める講義、演習、実験、実習、実技の主な内容はそれぞれ以下の通りです。

・講義とは　学問の方法や成果、また、研究対象などについて、その内容・性質などを説明する授業形式。
・演習・ゼミナール（ゼミ）とは　担当教員の指導のもとで学生が研究・発表・討議を行うことを主眼とした、少人数の授業の形式。
・実験とは　理論や仮説が正しいかどうかを、人為的な操作により実際に確かめてみる授業形式。
・実習とは　講義などで学んだ技術や方法などを実地または実物にあたって学ぶ授業形式。
・実技とは　技術や演技などを実際に行う授業形式。

また、卒業までの年次別修得単位数の目安は次のとおりです。

１年次	２年次	３年次	４年次	合計
40 単位以上	40 単位以上	36 単位以上	８単位以上	124 単位以上

これは卒業することだけを主眼に置いた目安です。従って大学生にふさわしい広い視野と豊富な知識を身につけるためには、更に多くの科目を履修し単位を修得することが必要です。とりわけ就職活動を有利に進めたり、各分野で経営情報学部の卒業生として活躍したりするためには、３・４年次に専門教育科目を数多く履修することと、必修科目でもあるゼミナール・演習活動に力を注ぐことが重要です。

3.　授業

授業科目は、その授業が行われる時期によって次のように分類されます。

- **前 期 科 目**　　前期開講、前期終了科目
- **後 期 科 目**　　後期開講、後期終了科目
- **通 年 科 目**　　１年間の継続開講科目
- **集中講義科目**　　時期的に集中開講される科目

授業は、「授業時間割」によって行われますが以下の点に注意してください。
やむを得ない事情により開講又は継続ができなくなった授業科目については、開講時期（集中講義を含む）若しくは担当教員等を変更することがあります。
授業科目によっては、あらかじめ受講者数を制限することがあります。
授業時間は、次のとおりです。

１時限目　　８時 50 分 ～ 10 時 20 分
２時限目　　10 時 30 分 ～ 12 時 00 分
３時限目　　12 時 50 分 ～ 14 時 20 分
４時限目　　14 時 30 分 ～ 16 時 00 分
５時限目　　16 時 10 分 ～ 17 時 40 分

◇交通機関の運休による授業の取扱い

公共交通機関において天候（降雪、台風）等のため運休になった場合、当日の授業は、下記のとおり取り扱われます。

ア.午前 7 時までに運休が解除されたときは、当日の授業は平常どおり行います。

イ.午前 7 時を過ぎ午前 9 時までの間に運休が解除されたときは、午前の授業は休講とし、午後の授業は平常どおり行います。

ウ.午前 9 時を過ぎても運休が解除されないときは、終日休講とします。

エ.西鉄大牟田線・太宰府線以外の私鉄の交通機関において運休になった場合でも、西鉄大牟田線・太宰府線が通常どおり運行されていれば、授業は平常どおり行います。

オ.以上のほか、交通機関が麻痺し、通学不能と本学が認めた場合は休講とします。

◇休講と補講

都合により授業が実施されない場合があります。この場合は、教務課掲示板に休講日時、休講科目、担当教員等を掲示します。

補講は、原則として指定の土曜日および各学期定期試験前に特別に期間を設けて実施しますが、授業によっては、変則な日時で実施することもありますので注意してください。

4. 履修登録

履修登録とは、各授業科目の受講者名簿に、その科目の履修を希望する学生の学籍番号・氏名を登録することです。

授業科目には、必修科目および選択科目があります。各授業科目間には、それぞれつながりのある科目がありますので、選択科目の履修登録にあたっては、オリエンテーションでの話、「講義の概要と授業計画」（シラバス）、授業時間割、卒業要件および卒業単位数等をよく検討し、学習計画をたてた上で選択してください。

履修しようとする授業科目は、年度又は学期の初めの指定された期間に教務課に登録しなければなりません。ただし、万一事故等のため指定された期間に登録できないときは、教務課に相談してください。本学の場合、１年次前期以外は web 上で履修登録を実施しています。学年暦で指定された期間内に履修登録を行ってください。１年次前期については、履修登録用紙を指定された期間内に教務課に提出してください。

履修登録を行わない人は、授業および定期試験を受けることができません。したがって単位の認定もできなくなります。ただし、正当な理由があって指定された期間に手続ができなかった人は、後日各授業担当教員の承認を得て登録できることもありますので必ず申し出てください。

履修登録後、履修科目確認リストまたは Web 上で、各自確認してください。

※履修登録期間・登録方法等詳細は、その都度掲示等でも連絡します。

履修規定より抜粋　＜参考＞

第5条

２　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として 49 単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

5. 定期試験等

◇試験の種類

履修規程第 10 条第 2 項の定めるところにより、本学における試験の種類と実施に関しては次のとおりとします。

- **定期試験**：前期および後期の学期末に、一定期間内で実施される試験をいいます。
- **臨時試験**：授業科目担当教員（以下、「担当教員」といいます。）の判断により、定期試験期間以外に実施される試験をいいます。
- **追 試 験**：正当な理由により、定期試験を受験できなかった人に対して実施される試験をいいます(後述、追試験の項参照)。
- **再 試 験**：定期試験の結果、不合格の判定を受けた人に対して実施される試験をいいます。再試験は担当教員の判断により実施されないときがあります(後述、再試験の項参照)。

◇試験の実施方法

試験は、原則として筆記試験で行われます。授業科目によっては、レポート、実技、口頭試問等で行われます。また、場合によってはオンライン方式による試験をすることもあります。

試験時間割は、試験開始日の 10 日前に掲示で発表します（試験室は試験当日発表）。

試験時間は、原則として 60 分とします。

◇受験資格

次のいずれかに該当する人は、試験を受けることができません。

- 試験を受けようとする授業科目の履修登録をしていない者（ただし、なんらかの過失により履修登録が行われておらず、かつ当該受験科目を常時受講していた場合は、担当教員の承認を得て直ちに履修登録を行うことにより、受験できる場合がある。）
- 当該学期分の授業料を前納していない者（ただし、事前に延納願を提出し、学長の許可を得た者を除く。）
- 休学中又は停学中の者
- 受験時に学生証を携帯していない者（ただし、学生課で当日限り有効の仮学生証の交付を受け、これを学生証に代えることができる。仮学生証の発行は試験期間中２回まで。）
- 試験開始後 20 分以上遅刻した者
- 原則として当該授業の 3 分の 1 以上欠席した者

◇受験前の注意

試験を受けるまでに、次のことを確認してください。

- 試験は教室における対面方式かオンライン方式か。
- 試験が行われる日時と場所。
- 持ち込み（辞書、自筆のノート等）が許可されている試験か否か。
- 筆記用具が指定されている試験か否か。
- 学生証は有るか。
- 受験許可の有無。
- オンライン試験の URL、クラスコード

◇受験時の注意

試験を受けるときは次のことに留意し、監督者の指示に従ってください。

・必ず指定された教室で、指定又は指示された席で受験してください。
・机の中にノート、教科書等を入れないようにしてください。
・学生証は、試験監督の指定する場所に置いてください。
・参考書、辞書、六法全書等の使用が許可されている場合でも、複写（コピー）したものは認められていません。
・特別に許可がある以外、電子辞書の試験場への持込みはできません。
・図書館(すべての図書館)の図書および資料は試験中利用ができません。
・試験中の私語、物品の貸借等はしてはいけません。
・退室は、試験開始から 30 分以降とします。
・答案用紙は、試験監督者の指定する場所に提出し、提出後は速やかに退室してください。
・答案用紙を持ち帰ることは禁止されています。
・試験終了後、答案の回収が終わるまでは、次の時間の人は入室してはいけません。
・試験中に、試験室横の廊下等での立話は、受験中の人に迷惑をかけることになりますので慎んでください。
・試験開始後、当該試験を棄権したい場合は、採点欄に「キケン」と記入してください。この場合当該科目の単位を放棄したものとします。従って追・再試験を受験することはできません。
・オンライン試験においても、担当教員および教務課の指示に従ってください。

◇レポート

レポートは、担当教員から指示された方式、提出期日等を守って提出してください。

なお、**郵便および代理人による提出は認められません。**

レポート用紙は、Ａ４の大きさで提出してください。ただし、担当教員から別途指示があるときはこの限りではありません。

レポートには授業科目名・題名・学籍番号・氏名を明記した表紙をつけ、ホッチキス等で留めて提出してください。

提出先は、原則として担当教員までとします。なおレポートの受け渡しにあたって、電子メールやインターネット（Google クラスルーム等）を利用することもありますので、メールアドレス、URL、クラスコード等を確認しておいてください。

◇不正行為

試験中に不正行為を行った場合、原則として即時受験停止とします。

不正行為は、学則第 41 条に基づいて懲戒の対象となります。

不正行為は、履修規程第 13 条に基づき当該学期の全受験科目が 0 点となります。

◇試験結果の発表

試験の結果については、定期試験終了後、学内に掲示で発表します。学内掲示には次のように表示されます。

表示	○	×	欠席
内容	（合格）	（不合格）	（欠席または棄権した場合）

追・再試験終了後（各学期成績確定後）「成績通知書」を次のように配布します。「成績通知書」は、秀、優、良、可で表示されます。

教務課 → ゼミ･演習またはクラス担任 ⇒ 学生個人へ
　　→ 保護者（郵送）

6. 追試験

正当な理由で定期試験を受験できなかった授業科目については、追試験を受けることができます。

追試験を受けようとする人は、定期試験の最終日から７日以内に、理由を明記した欠席届とその証明書を教務課に提出しなければなりません。

追試験を受験できる理由と提出する証明書等の事例は、次のとおりです。

・本人の病気または怪我（医師の診断書）
・二親等以内（父母兄弟など）の危篤または死亡（医師の診断書または会葬礼状等）
・就職試験の受験（受験証明書）
・天候不順や事故等による交通機関の乱れ（遅延証明書）
・天災等の非常災害（証明できるもの）
・その他やむを得ないと判断されたとき（証明できるもの）

追試験は、最高 90 点（学則年度 219 までは 80 点）で評価されます。

◇追試験の申込み

追試験を受けようとする人は、指定された期間に「追・再試験受験願書」を教務課に提出してください。

追試験を申込むときは、１授業科目につき 1,500 円の試験料が必要です。

7. 再試験

試験の結果、不合格となった授業科目（成績発表時に「×」で表示）については、再試験を受けることができます。ただし、再試験が行われない科目もありますので注意してください。また、本試験を棄権した場合も再試験の受験はできません。

再試験は、最高 60 点で評価されます。

◇再試験の申込み

再試験を受けようとする人は、指定された期間に「追・再試験受験願書」を教務課に提出してください。

再試験を申込むときは、１授業科目につき 1,500 円の試験料が必要です。

8. 再履修

不合格となった授業科目は、次年度に再度履修（以下、「再履修」という）することができます。

当該年度に再履修しようとする授業科目が開講されなかったときや廃止されたときは、指定された代替科目を履修してください。

◇必修科目の再履修について

在籍学年に再履修クラスが設けられているときは、再履修クラスで登録してください。在籍学年の必修科目と再履修科目の時間が重複しているときは、教務課に相談してください。

◇選択科目の再履修について

選択科目の再履修は、必修科目の再履修と同じ方法で時間割を組むか、卒業単位等をよく検討して別の科目を選択することもできます。

9.　成績の評価

授業科目の成績は、次の基準により評価され、学則第 27 条により、秀、優、良、可、が合格、不可が不合格となります。

秀	100 点～90 点
優	89 点～80 点
良	79 点～70 点
可	69 点～60 点
不可	59 点～ 0 点

合格した科目は、単位が認定され、「成績証明書」には、秀、優、良、可で表示されます。ただし、不合格となった科目については単位が認定されず、同証明書には、何の表示もされません。

入学前に修得した科目が本学の授業科目に振り替えられた場合、資格が単位として認定された場合は、その表示は「認」で表示されます。

※本学では、提出された成績評価を GPA で計算する場合があります。

GPA（Grade Point Average）とは、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のこと、あるいはその成績評価方式のことです。

一般的に試験の成績 100～90 を 4 点、89～80 を 3 点、79～70 を 2 点、69～60 を 1 点、59 以下を 0 点換算し、各科目の(単位数×ポイント)の合計÷総単位数（履修登録単位の総数）で求めます。

10.　単位の認定

授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与えます。

合格した授業科目の再履修、再受験、取消はできません。

11.　卒業延期、退学勧告

授業科目の内容を理解するには、少なくともその総授業時間の 3 分の 2 以上出席していることが望まれます。出席状況が悪いと授業内容がわからなくなり勉学の意欲が薄れ、定期試験の受験資格を得られなかったり、若しくは、合格率が悪くなり、卒業延期（留年）や退学等の原因ともなりますので注意してください。

【学則年度　２２０～】

履修規程第 8 条に基づき、3 年次の必修科目である専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰを履修登録するためには、2 年次の必修科目である**基礎ゼミまたは経営学基礎演習･情報学基礎演習の単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3 年次で基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習と専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰを同時履修することはできません。つまり 4 年間で卒業することができなくなります。**

同じように 3 年次で専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰの単位を修得することができなかった場合、4 年次になって必修科目である**専門ゼミⅡまたは経営学専門演習Ⅱ・情報学専門演習Ⅱと同時に履修することもできないので 4 年間で卒業することができなくなります。**

なお履修規程第 22 条の 2 第 8 項により、専門ゼミⅠ及び専門ゼミⅡの履修にあたり累積 GPA が 1.00 未満の者は履修登録することができません。

【学則年度　２１９】

履修規程第 8 条に基づき、3 年次の必修科目である専門ゼミⅠを履修登録するためには、二年次の必修科目である**基礎ゼミの単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3 年次で基礎ゼミと専門ゼミⅠを同時履修することはできません。つまり 4 年間で卒業することができなくなります。**

同じように 3 年次で専門ゼミⅠの単位を修得することができなかった場合、4 年次になって必修科目である**専門ゼミⅡと同時に履修することもできないので 4 年間で卒業することができなくなります。**

【学則年度　２１４～】

履修規程第 8 条に基づき、3 年次の必修科目である専門ゼミⅠまたは経営学演習Ⅰ・情報学演習Ⅰを履修登録するためには、2 年次の必修科目である**基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習の単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3 年次で基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習と専門ゼミⅠまたは経営学演習Ⅰ・情報学演習Ⅰを同時履修することはできません。つまり 4 年間で卒業することができなくなります。**

同じように 3 年次で専門ゼミⅠまたは経営学演習Ⅰ・情報学演習Ⅰの単位を修得することができなかった場合、4 年次になって必修科目である**専門ゼミⅡまたは経営学演習Ⅱ・情報学演習Ⅱと同時に履修することもできないので 4 年間で卒業することができなくなります。**

なお履修規程第 22 条の 2 第 5 項により、専門ゼミⅠ及び専門ゼミⅡの履修にあたり累積 GPA が 1.00 未満の者は履修登録することができません。

各学年の授業科目をできるだけ多く受講し、確実に単位を修得してください。なお、3 年生までの成績は「成績証明書」として就職試験時の参考資料にもなりますし、修得単位数によっては「卒業見込証明書」が発行されず、就職活動ができません。

＊「卒業見込証明書」は、4 年生以上で履修登録をした科目を修得すれば、卒業要件を満たす場合に発行されます。

4 年終了までに、卒業要件である 124 単位以上の単位を修得できないとき、又は必修科目を 1 科目でも修得できないときは、卒業延期（留年）となります。

正当な理由がなく、各学年において修得単位が著しく少ない人には、担任教員や教務課か

ら指導が行われることがあります。
　また履修規程第 22 条の 2 第 5 項（1）に基づき、2 学期連続して GPA が 1.00 未満の者については、学生部長及び教務部長が勧告・指導・助言を行います。さらに 3 学期連続して GPA が 1.00 未満の者については、履修規程第 22 条の 2 第 6 項に基づき、学部長が退学を勧告します。

※9 月卒業について
4 年以上在学した者で次の要件を満たす場合は、9 月（前期）に卒業することができます。
（1）前期科目を修得することによって卒業要件を満たす場合

12.　入学年度別授業科目一覧

　履修規程の別表Ⅰ・Ⅱでは、学則別表第Ⅰ・Ⅱの教育課程表を各学年別に整理して揚げています。履修登録時の参考にしてください。

GPA（Grade Point Average）制度について

GPA（Grade Point Average）とは

九州情報大学では、2017 年度から GPA 制度を導入しました（2017 年度以降入学生のみ対象）。GPA 制度の評価方法は、科目の成績評価にグレード・ポイント(GP)を付与することにより、1 単位あたりの成績の平均値を示すものです。

(1) 成績評価基準とグレード・ポイント（GP）

点数	評価	合否	GP	
100-90	秀	合格 (単位修得)	4	GPA＜成績評価を受けた科目の単位＞（分母）の対象
89-80	優		3	
79-70	良		2	
69-60	可		1	
59-0	不可	不合格	0	
棄権・欠席	-		0	
認定	認	認定(合格)	GPA の計算対象外	

※認定：編入学および資格取得における単位認定科目

(2) GPA の算出式

$$GPA = \frac{\text{【 成績評価を受けた科目の単位数 × 科目の GP 】 の 合計}}{\text{【 成績評価を受けた科目の単位数 】 の合計}}$$

(3) GPA の確認方法

・成績通知書：通算 GPA が表示されます。

・Campus Plan：成績状況参照の「GPA 欄」にて各学期・各年度の GPA を確認することができます。

(4) GPA の目安

GPA の値	評価の平均値	学修・生活面の状態
4.0～3.0	優評価を平均的に修得	非常に優秀です。問題はありません。
2.9～2.0	優評価～良評価を平均的に修得	問題はありませんが、セメスターごとに下がってきている場合は注意が必要です。
1.9～1.0	良評価～可評価を平均的に修得	ぎりぎり合格しているレベルです。今後の学修姿勢に注意が必要です。
0.9～	不合格の割合が多い	学修状況や生活面での見直しが必要です。

以上

社会福祉主事

(1) 取得できる資格について

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員（老人福祉指導主事、母子相談員等）として任用される者に要求される資格です。また、社会福祉施設の職員等（施設長、生活指導員等）の資格にも準用されています。

社会福祉各法に定める援護又は更生の措置に関する事務を行うために、福祉事務所には必置義務があります。（福祉事務所のない町村には任意設置）

「社会福祉主事」の任用資格は、卒業までに(2)に記載の授業科目のうち３科目分の単位を取得すると得ることができます。

同資格の取得を希望する者は、取得に必要な講義の履修登録に留意すること。

社会福祉主事任用資格の必要な職種は以下のとおり。

行政	福祉事務所	現業員、査察指導員、老人福祉指導主事、母子相談員、家庭児童福祉主事[児童福祉事業主事２年以上等]、家庭相談員[児童福祉事業従事２年以上等]
	各種相談所	知的障害者福祉司[知的障害者福祉事業従事２年以上等]、身体障害者福祉司[身体障害者福祉事業従事２年以上等]
		児童福祉司[児童福祉事業従事２年以上等]
社会福祉施設		施設長、生活指導員　等

※ [　]内は、社会福祉主事任用資格に加えて必要な要件

(2) 修得すべき授業科目について

授業科目名	配当年次	R8(2026)以降入学	H31(2019)~R7(2025)入学
法学	１年	法学	法学
民法	２年	-	民事法
経済学	１年	経済学	経済学
社会学	１年	社会学	社会学
心理学	１年	心理学	心理学
倫理学	１年	倫理学	-
資格取得に必要な科目数			上記科目のうち３科目

※ 2012 年度以降入学者適用

※シラバスの詳細を確認する際は各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　経営情報学科

【学籍番号】
221・222
223・224編入

○卒業要件
必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅰ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			日本文化論 (後)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (前)	2						
			経済学 (後)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別講義	特別基礎講義	特別講義「語学」	1～4						
			特別講義「実践力養成」	1～4						
			特別講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅰ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修24単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

大分類	中分類	小分類	1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			＊ 簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	経営情報論Ⅰ (前)	2				
					経営情報論Ⅱ (後)	2				
		情報	情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報システムの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習 (後)	4						
	専門発展	経営・会計	＊ ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	企業金融 (前)	2	組織心理学 (前)	2		
			ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門 (後)	2	ｺﾏｰｽ論Ⅰ (前)	2	知的所有権 (前)	2		
			＊ 経営学総論Ⅱ (後)	2	日本経営史 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
			会計学 (後)	2	経営分析 (前)	2	経営思想 (前)	2		
					統計学 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論 (前)	2		
			情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ (前)	2			中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習 (後)	2		
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論 (前)	2		
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ (前)	4				
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ (後)	4				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 (前)	2				
					初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習 (後)	2				
					ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記演習Ⅰ (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					中級簿記演習Ⅱ (後)	2	税法学 (後)	2		
					原価計算論Ⅰ (前)	2				
					原価計算論Ⅱ (後)	2				
					財務会計論 (前)	2				
					財務管理 (後)	2				
					会社法 (前)	2				
					監査論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (前)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	Webｻｰﾋﾞｽ論 (後)	2	計量経済分析 (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2				
					ｺﾏｰｽ論Ⅱ (後)	2				
					ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論 (後)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ (前)	2		
					国際情報分析 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ (後)	2		
					英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	国際経済論 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2	国際政治学 (前)	2		
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	経営学基礎演習 (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)	
	特別講義	特別専門講義	特別講義「経営」	1～4						
			特別講義「会計」	1～4						
			特別講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】
221・222
223・224編入

○卒業要件
必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅱ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			日本文化論 (後)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (前)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別講義	特別基礎講義	特別講義「語学」	1～4						
			特別講義「実践力養成」	1～4						
			特別講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅱ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修24単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目6単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

大分類	中分類	小分類	1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習 (後)	4						
		経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	経営情報論Ⅰ (前)	2				
					経営情報論Ⅱ (後)	2				
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ (前)	4	計測・制御論 (後)	2		
			＊ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ (前)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ (後)	4	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ (前)	2		
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ (後)	2	＊ 情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ (前)	4				
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ (後)	4				
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2				
					情報数学Ⅱ (前)	2				
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2				
					ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論 (後)	2				
		ネットワーク	Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ (後)	2	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術 (前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ (前)	2		
					ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術 (後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築 (通年)	4		
					Webｻｰﾋﾞｽ論 (後)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術 (前)	2		
					Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ (前)	2				
					WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ (後)	2				
	専門応用	データサイエンス	会計学 (後)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	多変量解析 (前)	2		
			ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	経営分析 (前)	2	ﾃﾞｰﾀ解析 (前)	2		
			消費者行動論 (後)	2	統計学 (後)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ (後)	2		
					ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
							機械学習 (前)	2		
							人工知能 (後)	2		
							計量経済分析 (後)	2		
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	情報学基礎演習 (通年)		情報学専門演習Ⅰ (通年)		情報学専門演習Ⅰ (通年)	
	特別講義	特別専門講義	特別講義「経営」	1～4						
			特別講義「会計」	1～4						
			特別講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　経営情報学科

【学籍番号】
223
225編入

〇卒業要件
必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅰ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
　2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目	単位	2年生 授業科目	単位	3年生 授業科目	単位	4年生 授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ健康科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ (前)	2						
			情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (後)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」 1～4							
			特別実習・講義「実践力養成」 1～4							
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」 1～4							

別表Ⅰ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目12単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目2単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
　専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目	単位	2年生 授業科目	単位	3年生 授業科目	単位	4年生 授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			＊ 簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
		情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報システムの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ (前)	2						
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ (後)	2						
	専門発展	経営・会計	＊ ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	企業金融 (前)	2	組織心理学 (前)	2		
			ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門 (後)	2	ｺﾏｰｽ論Ⅰ (前)	2	知的所有権 (前)	2		
			経営学総論Ⅱ (後)	2	日本経営史 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
			会計学 (後)	2	経営分析 (前)	2				
					統計学 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論 (前)	2		
			情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ (前)	2			中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論 (前)	2		
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					情報処理技術演習Ⅰ (前)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 (前)	2				
					初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2				
					ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記演習Ⅰ (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					中級簿記演習Ⅱ (後)	2	税法学 (後)	2		
					原価計算論Ⅰ (前)	2				
					原価計算論Ⅱ (後)	2				
					財務会計論 (前)	2				
					会社法 (前)	2				
					監査論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (前)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論 (後)	2	計量経済分析 (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2				
					ｺﾏｰｽ論Ⅱ (後)	2				
					ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論 (後)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ (前)	2		
					国際情報分析 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ (後)	2		
					英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	国際経済論 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2				
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	経営学基礎演習 (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)		経営学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」 1～4							
			特別実習・講義「会計」 1～4							
			特別実習・講義「情報」 1～4							

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】
223
225編入

○卒業要件
必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅱ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
　2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目		単位	2年生 授業科目		単位	3年生 授業科目		単位	4年生 授業科目		単位
総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生	(前)	2									
			宗教学	(後)	2									
			心理学	(前)	2									
			文学	(前)	2									
			＊ 情報倫理	(後)	2									
		社会科学	法学	(前)	2									
			日本国憲法	(後)	2									
			社会学	(後)	2									
			政治学	(後)	2									
			経済学	(前)	2									
			☆ 日本事情	(前)	2									
		自然科学	基礎数学	(前)	2									
		スポーツ健康科学	ｳｪﾙﾈｽ	(前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論	(前)	2						
			ｽﾎﾟｰﾂ	(後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論	(後)	2						
	語学	英語	＊ 総合英語	(前)	2	英会話Advanced Ⅰ	(前)	2						
			英検中級・TOEIC基礎	(後)	2	英会話Advanced Ⅱ	(後)	2						
			英会話Basic Ⅰ	(前)	2									
			英会話Basic Ⅱ	(後)	2									
		中国語				初級中国語	(前)	2						
						中級中国語	(後)	2						
		韓国語				初級韓国語	(前)	2						
						中級韓国語	(後)	2						
		日本語	☆ 日本語Ⅰ	(前)	2	☆ 日本語Ⅲ	(前)	2						
			☆ 日本語Ⅱ	(後)	2	☆ 日本語Ⅳ	(後)	2						
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ	(前)	2									
			情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ	(後)	2									
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ	(前)	2									
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ	(後)	2									
			大学基礎総合	(前)	2									
			文章表現	(後)	2									
		キャリア開発				＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ	(前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	(前)	2			
						＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ	(後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	(後)	2			
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」		1～4									
			特別実習・講義「実践力養成」		1～4									
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」		1～4									

別表Ⅱ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
　専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目		単位	2年生 授業科目		単位	3年生 授業科目		単位	4年生 授業科目		単位
専門教育科目	専門基礎	情報	＊ 情報学入門	(前)	2	統計学入門	(前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ	(前)	2			
			情報数学Ⅰ	(後)	2				情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	(前)	2			
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	(後)	2				ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	(前)	2			
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ	(前)	2									
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ	(後)	2									
		経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ	(前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	(前)	2						
			＊ 会計学入門	(前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	(前)	2						
			簿記Ⅰ	(前)	2	民事法	(前)	2						
			簿記Ⅱ	(後)	2	＊ 経営情報学Ⅰ	(前)	2						
						経営情報学Ⅱ	(後)	2						
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論	(後)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ	(前)	4	計測・制御論	(後)	2			
			＊ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ	(前)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ	(後)	4	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	(前)	2			
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ	(後)	2	ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	(前)	2	情報処理技術演習Ⅲ	(前)	2			
						＊ 情報処理技術演習Ⅰ	(前)	2	情報処理技術演習Ⅳ	(後)	2			
						情報処理技術演習Ⅱ	(後)	2						
						ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	(前)	2						
						情報数学Ⅱ	(前)	2						
						ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	(前)	2						
						ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論	(後)	2						
		ネットワーク	Webﾃﾞｻﾞｲﾝ	(後)	2	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術	(前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	(前)	2			
						ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術	(後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	(後)	2			
						SNS活用と問題解決	(前)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築	(通年)	4			
						ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	(後)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術	(前)	2			
						Webｼｽﾃﾑ	(前)	2						
						WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ	(後)	2						
		データサイエンス	会計学	(後)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ	(前)	2	多変量解析	(前)	2			
			ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	(前)	2	経営分析	(前)	2	ﾃﾞｰﾀ解析	(前)	2			
			消費者行動論	(後)	2	統計学	(後)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ	(後)	2			
						ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	(前)	2	統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	(後)	2			
									機械学習	(前)	2			
									人工知能	(後)	2			
									計量経済分析	(後)	2			
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	(前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ	(通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ	(通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ	(通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	(後)	2	情報学基礎演習	(通年)		情報学専門演習Ⅰ	(通年)		情報学専門演習Ⅱ	(通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」		1～4									
			特別実習・講義「会計」		1～4									
			特別実習・講義「情報」		1～4									

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　経営情報学科

【学籍番号】
224・225

○卒業要件
必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅰ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修14単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)8単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
　2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		健康科学・スポーツ	ウェルネス (前)	1	スポーツ理論 (前)	2				
			スポーツ (後)	1	ウェルネス理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報リテラシー演習Ⅰ (前)	2						
			情報リテラシー演習Ⅱ (後)	2						
			＊ スタディスキル (前)	2						
			ラーニングリテラシー (前)	1						
		キャリア開発	＊ キャリアデザインⅠ (前)	2	キャリアデザインⅢ (前)	2	キャリアデザインⅤ (前)	2		
			＊ キャリアデザインⅡ (後)	2	キャリアデザインⅣ (後)	2	キャリアデザインⅥ (後)	2		
			インターンシップ実習 (通年)	2						
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」 1～4							
			特別実習・講義「実践力養成」 1～4							
			特別実習・講義「キャリア」 1～4							

別表Ⅰ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
　専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

大分類	中分類	小分類	1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	マネージメント科学 (前)	2				
			＊ 簿記Ⅰ (前)	2	ビジネス実務 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	民事法 (前)	2				
					＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
		情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報セキュリティ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報システムの開発と管理 (前)	2		
			情報ネットワーク入門 (後)	2			マルチメディア論 (前)	2		
			コンピュータ実務演習Ⅰ (前)	2						
			コンピュータ実務演習Ⅱ (後)	2						
	専門発展	経営・会計	＊ マーケティング論 (前)	2	企業金融 (前)	2	知的財産権 (前)	2		
			ベンチャービジネス入門 (後)	2	コマース論 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
			経営学総論Ⅱ (後)	2	経営史 (前)	2				
			＊ 会計学 (前)	2	経営分析 (前)	2				
					統計学 (後)	2				
					コンピュータ会計 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機システム論 (後)	2			プログラミング論 (前)	2		
			情報テクノロジー (前)	2			中級プログラミング (後)	2		
					アルゴリズムとデータ構造 (前)	2	コンピュータグラフィックス論 (前)	2		
					データベース論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					ゲームプログラミング (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					eスポーツ概論 (後)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅰ (前)	2				
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					プログラミング入門 (前)	2				
					初級プログラミング (後)	2				
					マネージメントゲーム (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記 (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					原価計算論 (前)	2	税法学 (後)	2		
					財務会計論 (前)	2				
					会社法 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (後)	2	デジタルビジネス論 (後)	2	ビジネスプランニング (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	SNS活用と問題解決 (前)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	ビジネス英語 (前)	2		
					英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	国際経済論 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2				
	演習	ゼミ	プレゼミⅠ (前)	2	＊ 基礎ゼミ (通年)	4	＊ 専門ゼミⅠ (通年)	4	＊ 専門ゼミⅡ (通年)	4
			プレゼミⅡ (後)	2	＊ 経営学基礎演習 (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)		経営学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」 1～4							
			特別実習・講義「会計」 1～4							
			特別実習・講義「情報」 1～4							

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】
224・225

○卒業要件
必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅱ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修14単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)8単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
　2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ健康科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ (前)	2						
			情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (後)	2						
			＊ ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ (前)	2						
			ﾗｰﾆﾝｸﾞﾘﾃﾗｼｰ (前)	1						
		キャリア開発	＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ (前)	2		
			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ (後)	2		
			ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ実習 (通年)		2					
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」	1～4						
			特別実習・講義「実践力養成」	1～4						
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
　専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

別表Ⅱ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ (前)	2						
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ (後)	2						
		経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			簿記Ⅰ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	民事法 (前)	2				
					＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ (前)	4	計測・制御論 (後)	2		
			＊ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ (前)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ (後)	4	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ (前)	2		
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ (後)	2	ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					eｽﾎﾟｰﾂ概論 (後)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					＊ 情報処理技術演習Ⅰ (前)	2				
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2				
					情報数学Ⅱ (前)	2				
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2				
					ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論 (後)	2				
		経営・会計	＊ 会計学 (前)	2	ｺﾏｰｽ論 (前)	2	知的財産権 (前)	2		
					経営組織論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (後)	2				
	専門応用	ネットワーク	Webﾃﾞｻﾞｲﾝ (後)	2	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術 (前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ (前)	2		
					ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術 (後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築 (通年)	4		
					ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論 (後)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術 (前)	2		
					Webｼｽﾃﾑ (前)	2				
					WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ (後)	2				
		データサイエンス	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	経営分析 (前)	2	多変量解析 (前)	2		
			消費者行動論 (後)	2	統計学 (後)	2	ﾃﾞｰﾀ解析 (前)	2		
					ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ (後)	2		
							統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
							機械学習 (前)	2		
							人工知能 (後)	2		
		国際ビジネス			英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2				
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	情報学基礎演習 (通年)		情報学専門演習Ⅰ (通年)		情報学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」	1～4						
			特別実習・講義「会計」	1～4						
			特別実習・講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は各科目をクリックしてください。

【学籍番号】 226

授業科目一覧　　経営情報学科

○卒業要件
必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅰ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
　2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
			倫理学 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ健康科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ (前)	2						
			＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (後)	2						
			＊ ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ (前)	2						
			大学基礎総合Ⅰ (前)	1						
			大学基礎総合Ⅱ (後)	1						
		キャリア開発	＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ (前)	2		
			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ (後)	2		
			ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ実習 (通年)	2						
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」 1～4							
			特別実習・講義「実践力養成」 1～4							
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」 1～4							
			特別実習・講義「教養」 1～4							

別表Ⅰ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
　専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

大分類	中分類	小分類	1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 簿記Ⅰ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2						
					＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
		情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報システムの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ (前)	2						
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ (後)	2						
	専門発展	経営・会計	＊ ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	企業金融 (前)	2	知的財産権 (前)	2		
			ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門 (前)	2	ｺﾏｰｽ論 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
			経営学総論Ⅱ (後)	2	経営史 (前)	2				
			＊ 会計学 (前)	2	経営分析 (前)	2				
					統計学 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2			DX(ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ)概論 (前)	2		
			情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ (前)	2			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論 (前)	2		
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論 (前)	2		
					ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					eｽﾎﾟｰﾂ概論 (後)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					情報処理技術演習Ⅰ (前)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 (前)	2				
					初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2				
					ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記 (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					原価計算論 (前)	2	税法学 (後)	2		
					財務会計論 (前)	2				
					会社法 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (後)	2	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	SNS活用と問題解決 (前)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 (前)	2		
					英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	国際物流論 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2				
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	経営学基礎演習 (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)		経営学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」 1～4							
			特別実習・講義「会計」 1～4							
			特別実習・講義「情報」 1～4							

※シラバスの詳細を確認する際は各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】 226

○卒業要件
必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅱ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
			倫理学 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		健康スポーツ科学	ウェルネス (前)	1	スポーツ理論 (前)	2				
			スポーツ (後)	1	ウェルネス理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ (前)	2						
			＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (後)	2						
			＊ ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ (前)	2						
			大学基礎総合Ⅰ (前)	1						
			大学基礎総合Ⅱ (後)	1						
		キャリア開発	＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ (前)	2		
			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ (後)	2		
			インターンシップ実習 (通年)	2						
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」 1～4							
			特別実習・講義「実践力養成」 1～4							
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」 1～4							
			特別実習・講義「教養」 1～4							

別表Ⅱ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目	単位	2年生 授業科目	単位	3年生 授業科目	単位	4年生 授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ (前)	2						
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ (後)	2						
		経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			簿記Ⅰ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2						
					＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ (前)	4	DX(ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ)概論 (前)	2		
			＊ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ (前)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ (後)	4	計測・制御論 (後)	2		
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ (後)	2	ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ (前)	2		
					eｽﾎﾟｰﾂ概論 (後)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					＊ 情報処理技術演習Ⅰ (前)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2				
					情報数学Ⅱ (前)	2				
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2				
					ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論 (後)	2				
		経営・会計	＊ 会計学 (前)	2	ｺﾏｰｽ論 (前)	2	知的財産権 (前)	2		
					経営組織論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (後)	2				
		ネットワーク	Webﾃﾞｻﾞｲﾝ (後)	2	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術 (前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ (前)	2		
					ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術 (後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築 (通年)	4		
					ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論 (後)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術 (前)	2		
					Webｼｽﾃﾑ (前)	2				
					WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ (後)	2				
		データサイエンス	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	経営分析 (前)	2	多変量解析 (前)	2		
			消費者行動論 (後)	2	統計学 (後)	2	ﾃﾞｰﾀ解析 (前)	2		
					ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ (後)	2		
							統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
							機械学習 (前)	2		
							人工知能 (後)	2		
							AI・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用実践 (後)	2		
		ビジネス(国際ビジネス)			英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2				
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	情報学基礎演習 (通年)		情報学専門演習Ⅰ (通年)		情報学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」 1～4							
			特別実習・講義「会計」 1～4							
			特別実習・講義「情報」 1～4							

九州情報大学教育課程表（カリキュラム）のナンバリング（科目番号付け）について

学生生活を送るにあたって、学生の皆さんが必ずしなければいけないことの一つに履修登録（学生が授業で学ぶ科目を届け出ること）があります。この履修登録の時に、自分がどの科目を登録したらよいか、判断の材料にしていただきたいのが科目のナンバリング（科目番号付け）です。

ナンバリングは３つのゾーンに分かれており、それぞれを「－」（ハイフン）で繋いでいます。各ゾーンは左から順に「科目情報」、「開講情報」、「履修情報」を表します。それぞれ、「科目情報」は 4 桁、「開講情報」は 4 桁、「履修情報」は 3～4 桁で構成されており、ナンバリング変数を以下の様にしています。

ナンバリング変数　$S_1S_2S_3S_4$-$C_1C_2C_3C_4$-$T_1T_2T_3T_4$

科目情報　開講情報　履修情報

S_1 は科目を開設する教育課程を表します。S_2S_3 は科目群、S_2 はカリキュラム表の大分類、S_3 は中分類ならびに小分類を表します。S_4 は科目水準を表します。

$C_1C_2C_3$ は S_1 の教育課程内で３桁の連番（501～999）を付し、科目名のヨミガナ昇順とします。両学科や他コースに配置される同一科目名は同じ番号とします。C_4 は受講に際しての前提条件（前提科目）を表し、前提条件が無ければ０、有れば１以上の値とします。前提条件を備えた一連の科目は、ヨミガナに関わらず $C_1C_2C_3$ を同一とし、履修の順番を C_4 で示しています。

T_1 は開講学年、T_2 は単位数、T_3 は選択・必修科目を表します。T_4 は教職科目のうち、別表Ⅲ(1)ならびに別表Ⅲ(2)の教科に関する科目等を表します。

具体的なコード表は 3 ページ以降に示します。

【ナンバリングの例】

ナンバリング変数　$S_1S_2S_3S_4$-$C_1C_2C_3C_4$-$T_1T_2T_3T_4$

S_1	S_2S_3	S_4	－	$C_1C_2C_3C_4$	－	T_1	T_2	T_3	T_4
教育課程	科目群	科目水準		連番		開講学年	単位数	選択・必修	教職教科（必修）

それではナンバリングについて、「建学の精神と人生」という科目を例にして説明しましょう。この科目の番号とその意味は次の通りです。

建学の精神と人生　1：授業開設学部（1は経営情報学部の科目）　G：分類①（Gは基礎総合科目）　G：分類②（Gは総合教養科目）　N：科目水準（N指定無し）　-547：科目連番　0-：履修条件（0は条件無し）　1：開講学年（1は1年次の科目）　2：単位数（2単位の科目）　C：選択・必修（Cは必修科目）

このようにナンバリングは、皆さんが履修の時に必要なその科目に関する様々な情報が表示されています。たとえば科目の分類（基礎総合科目、専門教育科目など）、科目の水準（入門・基礎、応用・発展）、履修条件（授業によっては、関連科目を履修または合格を履修条件にする科目あり）、開講学年、単位数、選択・必修の区別などです。

本学の授業科目は、１年次から４年次まで段階を追って入門基礎から応用発展まで追って無理なく学ぶことができるように編成されています。皆さんは、自分の学年、単位の取得状況、興味関心、将来の進路など考慮したうえで、科目の履修登録をしてください。その際はそれぞれの科目のナンバリングを参考にしましょう。また、科目の内容についてきちんと理解したうえで履修登録をすることが肝心です。ですからシラバスをしっかりと読むことはもちろんですが、わからないところは担当教員や教務課に聞いてみましょう。

ナンバリングは学科、分類、開講年次、単位数などの情報に従って、11 桁の番号で表します。ただし、教職科目については 12 桁としています。

①授業開設学部　S_1

学部	S_1
経営情報学部	1
教職	2
大学院　修士課程	3
大学院　博士課程	4

② 科目群１　S_2　、　③ 科目群２　S_3

学士課程

科目群１（大分類）	S_2	科目群２(中小･分類)	S_3
基礎総合	G (**G**eneral)	総合教養	G (**G**eneral)
		語学	L (**L**anguage)
		実践力養成・キャリア開発	C (**C**areer)
専門基礎	B (**B**asic)	経営・会計系	M (**M**anagement)
		情報系	I (**I**nformation)
専門発展	A (**A**dvanced)	経営・会計系	M (**M**anagement)
		情報系	I (**I**nformation)
専門応用	E (**E**xpand)	経営系	M (**M**anagement)
		会計系	A (**A**ccounting)
		国際ビジネス系	G (**G**lobal)
		ネットワーク系	N (**N**etwork)
		データサイエンス系	D (**D**ata science)
演習	Se(**Se**minar)	プレゼミ	P(**P**re)
		ゼミナール・演習基礎	B (**B**asic)
		ゼミナール･演習専門Ⅰ	A(**A**dvanced)
		ゼミナール･演習専門Ⅱ	E(**E**xpand)
特別実習・講義	S (**S**pecial)	経営系	M (**M**anagement)
		会計系	A (**A**ccounting)
		情報系	I (**I**nformation)
		総合教養系	G (**G**eneral)
		語学系	L (**L**anguage)
		実践力養成・キャリア系	C (**C**areer)

教職課程

科目群１（大分類）	S_2	科目群２（中小・分類）	S_3
教職課程	T (**T**eacher)	教職に関する科目	T (**T**eacher)

大学院（修士課程、博士課程）

科目群１（大分類）	S_2	科目群２（中小・分類）	S_3
修士課程	M (**M**aster)	経営	M (**M**anagement)
		会計	A (**A**ccounting)
		税法	T (**T**ax)
		情報	I (**I**nformation)
		M　演習	S (**S**eminar)
博士課程	D (**D**octor)	経営	M
		会計	A
		情報	I
		D　演習	S

④ 科目水準　S_4

水準	S_4	
基礎・入門	B	**B**asic
応用・発展	A	**A**pplied・Advanced
無し	N	**N**eutral

---

⑤⑥⑦ 連番　　C_1 C_2 C_3

科目群内でアイウエオ順の連番（3 桁、501～999）

開講学年	C_1 C_2 C_3
学部	501～999
教職課程	501～999
修士課程	501～999
博士課程	501～999

※ 連番を 2 グループに分け、001～499 と 501～999 はカリキュラム変更によって、交互に使用する。

⑧ 前提条件（履修条件）　C_4

履修条件　内容	C_4
履修条件なし	0
履修条件あり	1 以上の数 1 は最初に履修 2 は 1 の後に履修 n+1 は n の後に履修

⑨ 開講学年　T_1

開講学年	T_1
1 年生	1
2 年生	2
3 年生	3
4 年生	4
1 ・ 2	X
1 ～ 4	Y
3 ・ 4	Z
2 ・3	U
1 ～3	V
2 ～ 4	W

⑩ 単位数　T_2

単位数	T_2
1 単位	1
2 単位	2
4 単位	4
6 単位	6
2～4（特別講義）	W
1～4（特別講義）	Y

⑪ 必修・選択　T_3

選択制限	T_3	
必修科目	C	**C**ompulsory subject
選択科目	E	**E**lective subject
選択必修	D	

⑫ 教職　T_4

教科に関する科目	T_4	
必修科目	T	**T**eaching subject
選択科目	S	teaching subject of **S**election

number	大分類	中分類	小分類	科目名
1GGN-5470-12C	基礎総合	総合教養	人文科学	建学の精神と人生
1GGN-5660-12E	基礎総合	総合教養	人文科学	宗教学(宗教と人生)
1GGN-5850-12E	基礎総合	総合教養	人文科学	心理学(心理学Ⅰ)
1GGN-6400-12E	基礎総合	総合教養	人文科学	文学
1GGN-6710-12CT	基礎総合	総合教養	人文科学	情報倫理
1GGN-6800-12E	基礎総合	総合教養	人文科学	倫理学
1GGN-6260-12E	基礎総合	総合教養	人文科学	日本文化論
1GGN-6450-12E	基礎総合	総合教養	社会科学	法学
1GGN-6240-12ET	基礎総合	総合教養	社会科学	日本国憲法
1GGN-5650-12E	基礎総合	総合教養	社会科学	社会学(社会学Ⅱ)
1GGN-5420-12E	基礎総合	総合教養	社会科学	経済学
1GGN-5890-12E	基礎総合	総合教養	社会科学	政治学(政治学Ⅰ)
1GGN-6250-12E	基礎総合	総合教養	社会科学	日本事情(日本事情B)
1GGB-5270-12E	基礎総合	総合教養	自然科学	基礎数学
1GGN-5870-11ET	基礎総合	総合教養	スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ
1GGN-5880-11ET	基礎総合	総合教養	スポーツ科学	ｽﾎﾟｰﾂ
1GGN-5140-22E	基礎総合	総合教養	スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ理論
1GGN-6700-22E	基礎総合	総合教養	スポーツ科学	ｽﾎﾟｰﾂ理論
1GLN-5940-12CT	基礎総合	語学	英語	総合英語
1GLN-0190-12E	基礎総合	語学	英語	英検中級・TOEIC基礎
1GLN-5170-12ES	基礎総合	語学	英語	英会話 BasicⅠ
1GLN-5180-12ES	基礎総合	語学	英語	英会話 BasicⅡ
1GLN-5150-22ES	基礎総合	語学	英語	英会話 AdvancedⅠ
1GLN-5160-22ES	基礎総合	語学	英語	英会話 AdvancedⅡ
1GLN-5810-22ES	基礎総合	語学	中国語	初級中国語
1GLN-6000-22ES	基礎総合	語学	中国語	中級中国語
1GLN-5800-22ES	基礎総合	語学	韓国語	初級韓国語
1GLN-5990-22ES	基礎総合	語学	韓国語	中級韓国語
1GLN-6200-12E	基礎総合	語学	日本語	日本語Ⅰ
1GLN-6210-12E	基礎総合	語学	日本語	日本語Ⅱ
1GLN-6220-22E	基礎総合	語学	日本語	日本語Ⅲ
1GLN-6230-22E	基礎総合	語学	日本語	日本語Ⅳ
1GCB-5781-12C	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ
1GCB-5792-12CT	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ
1GCN-5580-12C	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)
1GCN-5590-12C	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ
1GCN-6650-11E	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	大学基礎総合Ⅰ(ﾗｰﾆﾝｸﾞﾘﾃﾗｼｰ)
1GCN-6810-11E	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	大学基礎総合Ⅱ
1GCN-6660-12C	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ
1GCN-6670-12C	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ
1GCN-6680-X2E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	インターンシップ実習
1GCN-5310-22E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ(ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ)
1GCN-5300-32E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ(ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ)
1GCN-5290-32E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ(ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ)
1GCN-5320-22E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ(ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ)
1SLN-6160-YYE	基礎総合	特別講義	語学	特別実習・講義(語学)
1SLN-6170-YYE	基礎総合	特別講義	実践力キャリア	特別実習・講義(実践力養成)
1SLN-6140-YYE	基礎総合	特別講義	実践力キャリア	特別実習・講義(ｷｬﾘｱ)
1SGN-6820-12E	基礎総合	特別講義	総合教養	特別実習・講義(教養)
1BMB-5331-12C	専門教育	専門基礎	経営・会計	経営学総論Ⅰ(経営学入門)
1BMB-5831-12C	専門教育	専門基礎	経営・会計	簿記Ⅰ(初級簿記)
1BMB-5831-12E	専門教育	専門基礎	経営・会計	簿記Ⅰ
1BMB-6462-12C	専門教育	専門基礎	経営・会計	簿記演習
1BMB-6462-12E	専門教育	専門基礎	経営・会計	簿記Ⅱ
1BMN-6510-22ET	専門教育	専門基礎	経営・会計	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学
1BMB-6302-22E	専門教育	専門基礎	経営・会計	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務(ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務Ⅰ)
1BMN-5360-22C	専門教育	専門基礎	経営・会計	経営情報学Ⅰ
1BMN-5370-U2ET	専門教育	専門基礎	経営・会計	経営情報学Ⅱ(経営情報論Ⅱ)
1BMB-5220-12C	専門教育	専門基礎	経営・会計	会計学入門
1BMN-6540-22E	専門教育	専門基礎	経営・会計	民事法
1BIN-5690-12CT	専門教育	専門基礎	情報	情報学入門
1BIB-5710-12E	専門教育	専門基礎	情報	情報数学Ⅰ(情報数学)
1BIN-5770-12ET	専門教育	専門基礎	情報	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門
1BIB-6550-12E	専門教育	専門基礎	情報	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ
1BIB-6560-12E	専門教育	専門基礎	情報	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ
1BIB-6110-22E	専門教育	専門基礎	情報	統計学入門
1BIN-5730-Z2CT	専門教育	専門基礎	情報	情報ｾｷｭﾘﾃｨ
1BIN-5702-Z2ET	専門教育	専門基礎	情報	情報ｼｽﾃﾑの開発と管理
1BIN-6532-Z2ET	専門教育	専門基礎	情報	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論
1BIB-6310-14E	専門教育	専門基礎	情報	ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習
1AMN-6490-12C	専門教育	専門発展	経営・会計	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論
1AMN-6440-12E	専門教育	専門発展	経営・会計	ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門
1AMB-5332-12E	専門教育	専門発展	経営・会計	経営学総論Ⅱ
1AMN-5200-12C	専門教育	専門発展	経営・会計	会計学(会計学総論)
1AMN-5260-22E	専門教育	専門発展	経営・会計	企業金融(金融論)
1AMN-5562-22E	専門教育	専門発展	経営・会計	ｺﾏｰｽ論(ｺﾏｰｽ論Ⅰ(中級小売商業Ⅰ))
1AMB-6192-22E	専門教育	専門発展	経営・会計	経営史(日本経営史)
1AMN-5400-22E	専門教育	専門発展	経営・会計	経営分析
1AMB-6082-22E	専門教育	専門発展	経営・会計	統計学
1AMN-5390-22E	専門教育	専門発展	経営・会計	経営組織論
1AMN-5600-22E	専門教育	専門発展	経営・会計	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計
1AMN-5980-Z2ET	専門教育	専門発展	経営・会計	知的財産権(知的所有権)
1AMN-6572-Z2ET	専門教育	専門発展	経営・会計	労務管理論
1AMA-5350-Z2E	専門教育	専門発展	経営・会計	経営思想

number	大分類	中分類	小分類	科目名
1AIN-5432-12ES	専門教育	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論
1AIN-5740-X2ET	専門教育	専門発展	情報	情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ
1AIN-5122-22ET	専門教育	専門発展	情報	ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造
1AIN-6060-22ET	専門教育	専門発展	情報	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論
1AIN-6580-22E	専門教育	専門発展	情報	ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1AIN-6690-22E	専門教育	専門発展	情報	eｽﾎﾟｰﾂ概論
1AIN-6610-22C	専門教育	専門発展	情報	情報処理技術演習Ⅰ
1AIN-6610-22E	専門教育	専門発展	情報	情報処理技術演習Ⅰ
1AIN-6620-22E	専門教育	専門発展	情報	情報処理技術演習Ⅱ
1AIN-6381-U2ET	専門教育	専門発展	情報	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門
1AIN-6590-U2ET	専門教育	専門発展	情報	初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1AIN-6522-U2ES	専門教育	専門発展	情報	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ
1AIN-6830-32E	専門教育	専門発展	情報	DX(ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ)概論
1AIN-6403-Z2ES	専門教育	専門発展	情報	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論
1AIN-6600-Z2ES	専門教育	専門発展	情報	中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1AIN-5610-Z2ET	専門教育	専門発展	情報	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論
1AIN-5440-Z2ET	専門教育	専門発展	情報	計測・制御論
1AIN-6630-Z2E	専門教育	専門発展	情報	情報処理技術演習Ⅲ
1AIN-6640-Z2E	専門教育	専門発展	情報	情報処理技術演習Ⅳ
1AIN-5750-24C	専門教育	専門発展	情報	情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ
1AIN-5750-24E	専門教育	専門発展	情報	情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ
1AIN-5760-24E	専門教育	専門発展	情報	情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ
1AIN-6392-U2ET	専門教育	専門発展	情報	初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習
1AIN-6414-Z2ES	専門教育	専門発展	情報	中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習
1AIB-6361-12C	専門教育	専門発展	情報	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ(ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門)
1AIB-6372-12E	専門教育	専門発展	情報	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ
1AIN-6342-24E	専門教育	専門発展	情報	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ
1AIN-6353-24E	専門教育	専門発展	情報	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ
1AIB-5720-22E	専門教育	専門発展	情報	情報数学Ⅱ
1AIN-5192-22E	専門教育	専門発展	情報	ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論
1AIN-6550-Z2ES	専門教育	専門発展	情報	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ
1EAN-6020-22E	専門教育	専門応用	会計	中級簿記(中級簿記演習Ⅰ(中級簿記Ⅰ))
1EAN-5480-22E	専門教育	専門応用	会計	原価計算論(原価計算論Ⅰ)
1EAN-5620-22E	専門教育	専門応用	会計	財務会計論(財務会計論Ⅰ)
1EAN-5230-22E	専門教育	専門応用	会計	会社法
1EAN-5910-Z2E	専門教育	専門応用	会計	税務会計論
1EAN-5900-Z2E	専門教育	専門応用	会計	税法学
1EAN-5240-22E	専門教育	専門応用	会計	監査論
1EAN-5490-22E	専門教育	専門応用	会計	原価計算論Ⅱ
1EAN-5630-22E	専門教育	専門応用	会計	財務管理
1EAN-6030-22E	専門教育	専門応用	会計	中級簿記演習Ⅱ(中級簿記Ⅱ)
1EDN-6490-12E	専門教育	専門応用	データサイエンス	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論
1EDN-5670-12E	専門教育	専門応用	データサイエンス	消費者行動論
1EDN-5400-22E	専門教育	専門応用	データサイエンス	経営分析
1EDB-6082-22E	専門教育	専門応用	データサイエンス	統計学
1EDN-6372-22E	専門教育	専門応用	データサイエンス	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1EDN-6092-Z2E	専門教育	専門応用	データサイエンス	多変量解析
1EDN-6052-Z2E	専門教育	専門応用	データサイエンス	ﾃﾞｰﾀ解析
1EDN-6070-Z2E	専門教育	専門応用	データサイエンス	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ
1EDN-6120-Z2E	専門教育	専門応用	データサイエンス	統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1EDN-5251-Z2E	専門教育	専門応用	データサイエンス	機械学習
1EDN-5262-Z2E	専門教育	専門応用	データサイエンス	人工知能
1EDN-6840-Z2E	専門教育	専門応用	データサイエンス	AI・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用実践
1EMN-5380-12E	専門教育	専門応用	経営	経営戦略論
1EMN-5670-12E	専門教育	専門応用	経営	消費者行動論
1EMN-5070-22E	専門教育	専門応用	経営	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論(Webｻｰﾋﾞｽ論)
1EMN-5010-22E	専門教育	専門応用	経営	SNS活用と問題解決
1EMN-6040-U2E	専門教育	専門応用	経営	中小企業論
1EMN-6320-Z2E	専門教育	専門応用	経営	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ
1EMN-5572-22E	専門教育	専門応用	経営	ｺﾏｰｽ論Ⅱ(中級小売商業Ⅱ)
1EMN-6430-U2E	専門教育	専門応用	経営	ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論
1EGN-5510-22E	専門教育	専門応用	国際ビジネス	国際経営論
1EGA-5540-Z2E	専門教育	専門応用	国際ビジネス	国際政治学
1EGN-5030-22ES	専門教育	専門応用	国際ビジネス	英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ(TOEICⅠ(英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ))
1EGN-5040-22ES	専門教育	専門応用	国際ビジネス	英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ(TOEICⅡ(英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ))
1EGN-6280-Z2E	専門教育	専門応用	国際ビジネス	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語(ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ)
1EGA-5520-Z2E	専門教育	専門応用	国際ビジネス	国際物流論(国際経済論)
1EGN-5530-22E	専門教育	専門応用	国際ビジネス	国際情報分析
1EGN-6290-Z2E	専門教育	専門応用	国際ビジネス	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ
1ENN-5010-22E	専門教育	専門応用	ネットワーク	SNS活用と問題解決
1ENN-5050-12E	専門教育	専門応用	ネットワーク	Webﾃﾞｻﾞｲﾝ(Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ)
1ENN-5060-22E	専門教育	専門応用	ネットワーク	Webｼｽﾃﾑ(Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ)
1ENN-5070-22E	専門教育	専門応用	ネットワーク	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論(Webｻｰﾋﾞｽ論)
1ENN-5082-22E	専門教育	専門応用	ネットワーク	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ
1ENN-5093-Z2E	専門教育	専門応用	ネットワーク	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ
1ENN-5104-Z2E	専門教育	専門応用	ネットワーク	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ
1ENN-5862-22E	専門教育	専門応用	ネットワーク	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術
1ENN-5873-22E	専門教育	専門応用	ネットワーク	ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術
1ENN-5884-Z2E	専門教育	専門応用	ネットワーク	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術(ﾈｯﾄﾜｰｸ演習)
1ENN-6270-Z4ES	専門教育	専門応用	ネットワーク	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築
1SePN-6720-12E	専門教育	演習	プレゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ
1SePN-6730-12E	専門教育	演習	プレゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ
1SeBN-6741-24C	専門教育	演習	ゼミナール・演習基礎	経営学・情報学基礎演習
1SeBN-6751-24C	専門教育	演習	ゼミナール・演習基礎	基礎ゼミ
1SeAN-6762-34C	専門教育	演習	ゼミナール・演習専門Ⅰ	経営学・情報学専門演習Ⅰ
1SeAN-6772-34C	専門教育	演習	ゼミナール・演習専門Ⅰ	専門ゼミⅠ
1SeEN-6783-44C	専門教育	演習	ゼミナール・演習専門Ⅱ	経営学・情報学専門演習Ⅱ
1SeEN-6793-44C	専門教育	演習	ゼミナール・演習専門Ⅱ	専門ゼミⅡ

number	大分類	中分類	小分類	科目名
1SAN-6130-YYE	専門教育	特別講義	会計	特別実習・講義(会計)
1SIN-6180-YYE	専門教育	特別講義	情報	特別実習・講義(情報)
1SMN-6150-YYE	専門教育	特別講義	経営	特別実習・講義(経営)
2TTA-5040-43ET	教職課程	教職科目		教育実習(事前事後指導)
2TTA-5070-32ET	教職課程	教職科目		教育相談
2TTA-5110-42ET	教職課程	教職科目		教職実践演習(高)
2TTA-5120-32ET	教職課程	教職科目		生徒指導(進路指導を含む)
2TTB-5010-32ET	教職課程	教職科目		情報科教育法Ⅰ(「情報」教科教育法Ⅰ)
2TTB-5020-32ET	教職課程	教職科目		情報科教育法Ⅱ(「情報」教科教育法Ⅱ)
2TTB-5030-22ET	教職課程	教職科目		教育課程論(特別活動を含む)
2TTB-5050-22ET	教職課程	教職科目		教育社会学
2TTB-5060-22ET	教職課程	教職科目		教育心理学
2TTB-5080-22ET	教職課程	教職科目		教育哲学
2TTB-5090-32ET	教職課程	教職科目		教育方法学(ICT活用を含む)
2TTB-5100-12ET	教職課程	教職科目		教師入門
2TTN-5130-32ET	教職課程	教職科目		総合的な探求の時間の指導法
2TTN-5140-22ET	教職課程	教職科目		特別支援教育
3MAB-5030-X2E	修士課程	会計		会計監査特論
3MAB-5040-X2E	修士課程	会計		会計情報学特論
3MMB-5050-X2E	修士課程	経営		経営科学特論
3MMB-5060-X2E	修士課程	経営		経営学特論
3MIB-5070-X2E	修士課程	情報		経営情報ｼｽﾃﾑ設計特論
3MMB-5080-X2E	修士課程	経営		経営戦略特論
3MMB-5090-X2E	修士課程	経営		経営組織特論
3MMB-5100-X2E	修士課程	経営		国際経営特論
3MMB-5120-X2E	修士課程	経営		財務管理特論
3MIB-5130-X2E	修士課程	情報		情報科学特論
3MIB-5140-X2E	修士課程	情報		情報ｾｷｭﾘﾃｨ特論
3MIB-5150-X2E	修士課程	情報		情報ﾈｯﾄﾜｰｸ特論
3MIB-5160-X2E	修士課程	情報		情報ﾒﾃﾞｨｱ特論
3MIB-5170-X2E	修士課程	情報		人工知能特論
3MIB-5180-X2E	修士課程	情報		離散ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ(数値解析)特論
3MTB-5190-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅰ
3MTB-5200-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅱ
3MTB-5210-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅲ
3MTB-5220-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅳ
3MAB-5230-X2E	修士課程	会計		税務会計特論
3MIB-5240-X2E	修士課程	情報		ﾃﾞｰﾀ解析特論
3MIB-5250-X2E	修士課程	情報		ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ特論
3MMB-5280-X2E	修士課程	経営		日本経営史特論
3MMB-5320-X2E	修士課程	経営		ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ特論
3MTB-5330-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅴ
3MTB-5340-X2E	修士課程	税法		民法特論
3MTB-5350-X2E	修士課程	税法		会社法特論
3MTB-5360-X2E	修士課程	税法		民事・行政訴訟特論
3MMB-5370-X2E	修士課程	経営		ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業特論
3MMB-5380-X2E	修士課程	経営		経営管理特論
3MMB-5390-X2E	修士課程	経営		中小企業特論
3MIB-5400-X2E	修士課程	情報		ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ特論
3MSA-5260-14C	修士課程	M　演習		特別演習Ⅰ
3MSA-5270-24C	修士課程	M　演習		特別演習Ⅱ
3MSA-5010-14C	修士課程	M　演習		演習Ⅰ
3MSA-5020-24C	修士課程	M　演習		演習Ⅱ
4DIB-5040-V2E	博士課程	情報		離散ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ(応用数値解析)特別研究
4DAB-5050-V2E	博士課程	会計		会計監査論特別研究
4DAB-5060-V2E	博士課程	会計		会計情報学特別研究
4DMB-5070-V2E	博士課程	経営		財務管理特別研究
4DMB-5080-V2E	博士課程	経営		経営学特別研究
4DMB-5090-V2E	博士課程	経営		国際経営特別研究
4DIB-5100-V2E	博士課程	情報		情報科学特別研究
4DIB-5110-V2E	博士課程	情報		情報ｾｷｭﾘﾃｨ特別研究
4DIB-5120-V2E	博士課程	情報		情報ﾒﾃﾞｨｱ特別研究
4DIB-5130-V2E	博士課程	情報		情報ﾈｯﾄﾜｰｸ(人工知能)特別研究
4DIB-5140-V2E	博士課程	情報		応用ﾃﾞｰﾀ解析(数値解析)特別研究
4DMB-5150-V2E	博士課程	経営		日本経営史特別研究
4DAB-5160-V2E	博士課程	会計		税務会計特別研究
4DIB-5170-V2E	博士課程	情報		情報・信号処理特別研究
4DTB-5180-V2E	博士課程	税法		税法学特別研究
4DTB-5190-V2E	博士課程	税法		民法特別研究
4DMB-5200-V2E	博士課程	経営		経営戦略特別研究
4DMB-5210-V2E	博士課程	経営		経営管理特別研究
4DMB-5220-V2E	博士課程	経営		中小企業特別研究
4DIB-5230-V2E	博士課程	情報		ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ特別研究
4DIB-5240-V2E	博士課程	情報		ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ特別研究
4DSA-5010-14C	博士課程	D　演習		演習Ⅰ
4DSA-5020-24C	博士課程	D　演習		演習Ⅱ
4DSA-5030-34C	博士課程	D　演習		演習Ⅲ

経営情報学科　2021・2022年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養
必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
日本文化論	1後	1GGN-6260-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1前	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学
必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

科目名	授業を行う年次	番号
※日本語 Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語 Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語 Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発
必修10単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習	1前	1GCB-5781-12CT
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見 Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見 Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E

〈キャリア開発〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門 Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門 Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅰ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅱ	3後	1GCN-5300-32E

特別講義

〈特別講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修24単位を含み84単位以上）

専門基礎
必修8単位を含み20単位以上

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論 Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C
◎簿記 Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C
簿記 Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
経営情報論 Ⅰ	2前	1BMN-5360-22E
経営情報論 Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
情報学入門	1前	1BIN-5690-12ET
情報数学 Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習	1後	1BIB-6310-14E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

専門発展
必修4単位を含み14単位以上

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1AMN-6490-12C
ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門	1後	1AMN-6440-12E
◎経営学総論 Ⅱ	1後	1AMB-5332-12C
会計学	1後	1AMN-5200-12E
企業金融	2前	1AMN-5260-22E
ｺｰﾎﾟｽ論 Ⅰ	2前	1AMN-5562-22E
日本経営史	2前	1AMB-6192-22E
経営分析	2前	1AMN-5400-22E
統計学	2後	1AMB-6082-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
組織心理学	3・4前	1AMN-5952-Z2E
知的所有権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET
労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET
経営思想	3・4前	1AMA-5350-Z2E

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	1・2前	1AIN-5740-X2ET
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習 Ⅰ	2前	1AIN-5750-24E
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習 Ⅱ	2後	1AIN-5760-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習	2・3後	1AIN-6392-U2ET
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ	2・3後	1AIN-6522-U2ES
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES
中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習	3・4後	1AIN-6414-Z2ES
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET

専門応用
24単位以上

〈会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
中級簿記演習 Ⅰ	2前	1EAN-6020-22E
中級簿記演習 Ⅱ	2後	1EAN-6030-22E
原価計算論 Ⅰ	2前	1EAN-5480-22E
原価計算論 Ⅱ	2後	1EAN-5490-22E
財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
財務管理	2後	1EAN-5630-22E
会社法	2前	1EAN-5230-22E
監査論	2後	1EAN-5240-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2前	1EAN-5600-22E
税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E

〈経営〉

科目名	授業を行う年次	番号
経営戦略論	1前	1EMN-5380-12E
消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ	2前	1EMN-6470-22E
Webｻｰﾋﾞｽ論	2後	1EMN-5070-22E
SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
ｺﾏｰｽ論 Ⅱ	2後	1EMN-5572-22E
ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論	2後	1EMN-6430-U2E
中小企業論	2前	1EMN-6040-U2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	3・4後	1EMN-6320-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EMN-5450-Z2E

〈国際ビジネス〉

科目名	授業を行う年次	番号
国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
国際情報分析	2後	1EGN-5530-22E
英検上級 Ⅰ・TOEIC応用 Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級 Ⅱ・TOEIC応用 Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 Ⅰ	3・4前	1EGN-6280-Z2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 Ⅱ	3・4後	1EGN-6290-Z2E
国際経済論	3・4前	1EGA-5520-Z2E
国際政治学	3・4前	1EGA-5540-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐ Ⅰ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐ Ⅱ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐ Ⅰ	3通年	
◎経営学専門演習 Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐ Ⅱ	4通年	
◎経営学専門演習 Ⅱ	4通年	

特別講義

〈特別講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

経営情報学科　2023年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養
必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学
必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

科目名	授業を行う年次	番号
※日本語 Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語 Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語 Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発
必修10単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見 Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見 Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E

〈キャリア開発〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門 Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門 Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅰ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅱ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎
必修12単位を含み20単位以上

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論 Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C
◎簿記 Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C
簿記 Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
◎経営情報学 Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学 Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学 Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

専門発展
必修2単位を含み14単位以上

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1AMN-6490-12C
ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門	1後	1AMN-6440-12E
経営学総論 Ⅱ	1後	1AMB-5332-12E
会計学	1後	1AMN-5200-12E
企業金融	2前	1AMN-5260-22E
ｺｰﾎﾟｽ論 Ⅰ	2前	1AMN-5562-22E
日本経営史	2前	1AMB-6192-22E
経営分析	2前	1AMN-5400-22E
統計学	2後	1AMB-6082-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
組織心理学	3・4前	1AMN-5952-Z2E
知的所有権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET
労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	1・2前	1AIN-5740-X2ET
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｹｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
情報処理技術演習 Ⅰ	2前	1AIA-6610-22E
情報処理技術演習 Ⅱ	2後	1AIA-6620-22E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2・3後	1AIN-6590-U2ET
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ	2・3後	1AIN-6522-U2ES
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES
中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1AIN-6600-Z2ES
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
情報処理技術演習III	3・4前	1AIA-6630-Z2E
情報処理技述演習IV	3・4後	1AIA-6640-Z2E

専門応用
24単位以上

〈会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
中級簿記演習 Ⅰ	2前	1EAN-6020-22E
中級簿記演習 Ⅱ	2後	1EAN-6030-22E
原価計算論 Ⅰ	2前	1EAN-5480-22E
原価計算論 Ⅱ	2後	1EAN-5490-22E
財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
会社法	2前	1EAN-5230-22E
監査論	2後	1EAN-5240-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2前	1EAN-5600-22E
税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E

〈経営〉

科目名	授業を行う年次	番号
経営戦略論	1前	1EMN-5380-12E
消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ	2前	1EMN-6470-22E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1EMN-5070-22E
SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
ｺﾏｰｽ論 Ⅱ	2後	1EMN-5572-22E
ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論	2・3後	1EMN-6430-U2E
中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	3・4後	1EMN-6320-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EMN-5450-Z2E

〈国際ビジネス〉

科目名	授業を行う年次	番号
国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
国際情報分析	2後	1EGN-5530-22E
英検上級 Ⅰ・TOEIC応用 Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級 Ⅱ・TOEIC応用 Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 Ⅰ	3・4前	1EGN-6280-Z2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 Ⅱ	3・4後	1EGN-6290-Z2E
国際経済論	3・4前	1EGA-5520-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐ Ⅰ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐ Ⅱ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐ Ⅰ	3通年	
◎経営学専門演習 Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐ Ⅱ	4通年	
◎経営学専門演習 Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

経営情報学科　2024・2025年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修14単位を含み40単位以上）

総合教養　必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学　必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

※日本語 Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語 Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語 Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語 Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発　必修8単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ	1前	1GCN-5580-12C
ﾗｰﾆﾝｸﾞ ﾘﾃﾗｼｰ	1前	1GCN-6650-11E

＜キャリア開発＞

◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅰ	1前	1GCN-6660-12C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅱ	1後	1GCN-6670-12C
ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ 実習	1・2通年	1GCN-6680-X2E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅲ	2前	1GCN-5310-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅳ	2後	1GCN-5320-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅴ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅵ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎　必修10単位を含み20単位以上

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論 Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎簿記 Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C
簿記 Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
◎経営情報学 Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学 Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

〈情報〉

◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学 Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

専門発展　必修4単位を含み14単位以上

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ 論	1前	1AMN-6490-12C
ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門	1後	1AMN-6440-12E
経営学総論 Ⅱ	1後	1AMB-5332-12E
◎会計学	1前	1AMN-5200-12C
企業金融	2前	1AMN-5260-22E
ｺｰﾎﾟｰｽ論	2前	1AMN-5562-22E
経営史	2前	1AMB-6192-22E
経営分析	2前	1AMN-5400-22E
統計学	2後	1AMB-6082-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2後	1AMN-5600-22E
知的財産権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET
労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET

〈情報〉

計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	1・2前	1AIN-5740-X2ET
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
ｅｽﾎﾟｰﾂ概論	2後	1AIN-6690-22E
情報処理技術演習 Ⅰ	2前	1AIN-6610-22E
情報処理技術演習 Ⅱ	2後	1AIN-6620-22E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ 入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2・3後	1AIN-6590-U2ET
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ	2・3後	1AIN-6522-U2ES
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ 論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES
中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1AIN-6600-Z2ES
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
情報処理技術演習 Ⅲ	3・4前	1AIN-6630-Z2E
情報処理技述演習 Ⅳ	3・4後	1AIN-6640-Z2E

専門応用　24単位以上

〈会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
中級簿記	2前	1EAN-6020-22E
原価計算論	2前	1EAN-5480-22E
財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
会社法	2前	1EAN-5230-22E
税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E

〈経営〉

経営戦略論	1後	1EMN-5380-12E
消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1EMN-5070-22E
SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	3・4後	1EMN-6320-Z2E

〈国際ビジネス〉

国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語	3・4前	1EGN-6280-22E
国際経済論	3・4前	1EGA-5520-22E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐ Ⅰ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐ Ⅱ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐ Ⅰ	3通年	
◎経営学専門演習 Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐ Ⅱ	4通年	
◎経営学専門演習 Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

経営情報学科　2026年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養　必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT
倫理学	1後	1GGN-6800-12E

〈社会科学〉

法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学　必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

※日本語 Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語 Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語 Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語 Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発　必修10単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ	1前	1GCN-5580-12C
大学基礎総合 Ⅰ	1前	1GCN-6650-11E
大学基礎総合 Ⅱ	1後	1GCN-6810-11E

＜キャリア開発＞

◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅰ	1前	1GCN-6660-12C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅱ	1後	1GCN-6670-12C
ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ 実習	1・2通年	1GCN-6680-X2E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅲ	2前	1GCN-5310-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅳ	2後	1GCN-5320-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅴ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅵ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE
特別実習・講義「教養」	1～4	1SGN-6820-12E

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎　必修10単位を含み20単位以上

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論 Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎簿記 Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C
簿記 Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
◎経営情報学 Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学 Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

〈情報〉

◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学 Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

専門発展　必修4単位を含み14単位以上

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ 論	1前	1AMN-6490-12C
ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門	1前	1AMN-6440-12E
経営学総論 Ⅱ	1後	1AMB-5332-12E
◎会計学	1前	1AMN-5200-12C
企業金融	2前	1AMN-5260-22E
ｺｰﾎﾟｰｽ論	2前	1AMN-5562-22E
経営史	2前	1AMB-6192-22E
経営分析	2前	1AMN-5400-22E
統計学	2後	1AMB-6082-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2後	1AMN-5600-22E
知的財産権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET
労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET

〈情報〉

計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	1・2前	1AIN-5740-X2ET
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
ｅｽﾎﾟｰﾂ概論	2後	1AIN-6690-22E
情報処理技術演習 Ⅰ	2前	1AIN-6610-22E
情報処理技術演習 Ⅱ	2後	1AIN-6620-22E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ 入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2・3後	1AIN-6590-U2ET
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ	2・3後	1AIN-6522-U2ES
DX（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ）概論	3前	1AIN-6830-32E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ 論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES
中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1AIN-6600-Z2ES
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
情報処理技術演習 Ⅲ	3・4前	1AIN-6630-Z2E
情報処理技述演習 Ⅳ	3・4後	1AIN-6640-Z2E

専門応用　24単位以上

〈会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
中級簿記	2前	1EAN-6020-22E
原価計算論	2前	1EAN-5480-22E
財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
会社法	2前	1EAN-5230-22E
税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E

〈経営〉

経営戦略論	1後	1EMN-5380-12E
消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1EMN-5070-22E
SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	3・4後	1EMN-6320-Z2E

〈国際ビジネス〉

国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語	3・4前	1EGN-6280-22E
国際物流論	3・4前	1EGA-5520-22E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐ Ⅰ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐ Ⅱ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐ Ⅰ	3通年	
◎経営学専門演習 Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐ Ⅱ	4通年	
◎経営学専門演習 Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科　2021・2022年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養　必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
日本文化論	1後	1GGN-6260-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1前	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学　必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

科目名	授業を行う年次	番号
※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発　必修10単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習	1前	1GCB-5780-12CS
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E

〈キャリア開発〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3後	1GCN-5300-32E

特別講義

〈特別講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修24単位を含み84単位以上）

専門基礎　必修6単位を含み20単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
情報学入門	1前	1BIN-5690-12ES
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽソフト活用演習	1後	1BIB-6310-14E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C
簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
経営情報論Ⅰ	2前	1BMN-5360-22E
経営情報論Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

専門発展　必修6単位を含み14単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
◎ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ	2前	1AIN-6342-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E
◎情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ	2前	1AIN-5750-24C
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ	2後	1AIN-5760-24E
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論	2後	1AIN-5192-22E
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	3・4前	1AIN-6550-Z2ES

専門応用　24単位以上

〈ネットワーク〉

科目名	授業を行う年次	番号
Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ	1後	1ENN-5050-12E
ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術	2前	1ENN-5862-22E
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術	2後	1ENN-5873-22E
SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E
Webｻｰﾋﾞｽ論	2後	1ENN-5070-22E
Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ	2前	1ENN-5060-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ	2後	1ENN-5082-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	3・4前	1ENN-5093-Z2E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	3・4後	1ENN-5104-Z2E
ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築	3・4通年	1ENN-6270-Z4ES
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E

〈データサイエンス〉

科目名	授業を行う年次	番号
会計学	1後	1EDN-5200-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ	2前	1EDN-6470-22E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E
統計学	2後	1EDB-6082-22E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1EDN-6372-22E
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E
ﾃﾞｰﾀ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E
ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6070-Z2E
統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6120-Z2E
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EDN-5450-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎情報学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎情報学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	

特別講義

〈特別講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科　2023年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養　必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学　必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

科目名	授業を行う年次	番号
※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発　必修10単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E

〈キャリア開発〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎　必修10単位を含み20単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C
簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
◎経営情報学Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

専門発展　必修4単位を含み14単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
◎ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ	2前	1AIN-6342-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
◎情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIA-6610-22C
情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIA-6620-22E
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論	2後	1AIN-5192-22E
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	3・4前	1AIN-6550-Z2ES
情報処理技術演習Ⅲ	3・4後	1AIA-6630-Z2E
情報処理技術演習Ⅳ	3・4後	1AIA-6640-Z2E

専門応用　24単位以上

〈ネットワーク〉

科目名	授業を行う年次	番号
Webﾃﾞｻﾞｲﾝ	1後	1ENN-5050-12E
ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術	2前	1ENN-5862-22E
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術	2後	1ENN-5873-22E
SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1ENN-5070-22E
Webｼｽﾃﾑ	2前	1ENN-5060-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ	2後	1ENN-5082-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	3・4前	1ENN-5093-Z2E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	3・4後	1ENN-5104-Z2E
ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築	3・4通年	1ENN-6270-Z4ES
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E

〈データサイエンス〉

科目名	授業を行う年次	番号
会計学	1後	1EDN-5200-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ	2前	1EDN-6470-22E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E
統計学	2後	1EDB-6082-22E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1EDN-6372-22E
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E
ﾃﾞｰﾀ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E
ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6070-Z2E
統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6120-Z2E
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EDN-5450-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎情報学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎情報学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科　2024・2025年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修14単位を含み40単位以上）

総合教養

必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学

必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

科目名	授業を行う年次	番号
※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発

必修8単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ	1前	1GCN-5580-12C
ﾗｰﾆﾝｸﾞ ﾘﾃﾗｼｰ	1前	1GCN-6650-11E

〈キャリア開発〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1前	1GCN-6660-12C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1後	1GCN-6670-12C
ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ 実習	1･2通年	1GCN-6680-X2E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ	2前	1GCN-5310-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ	2後	1GCN-5320-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎

必修8単位を含み20単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
◎経営情報学Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

専門発展

必修6単位を含み14単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
◎ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ	2前	1AIN-6342-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
ｅｽﾎﾟｰﾂ概論	2後	1AIN-6690-22E
◎情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIN-6610-22C
情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIN-6620-22E
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論	2後	1AIN-5192-22E
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	3・4前	1AIN-6550-Z2ES
情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIN-6630-Z2E
情報処理技術演習Ⅳ	3・4後	1AIN-6640-Z2E

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎会計学	1前	1AMN-5200-12C
ｺﾏｰｽ論	2前	1AMN-5562-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2後	1AMN-5600-22E
知的財産権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET

専門応用

24単位以上

〈ネットワーク〉

科目名	授業を行う年次	番号
Webﾃﾞｻﾞｲﾝ	1後	1ENN-5050-12E
ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術	2前	1ENN-5862-22E
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術	2後	1ENN-5873-22E
SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1ENN-5070-22E
Webｼｽﾃﾑ	2後	1ENN-5060-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ	2後	1ENN-5082-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	3・4前	1ENN-5093-Z2E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	3・4後	1ENN-5104-Z2E
ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築	3・4通年	1ENN-6270-Z4ES
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E

〈データサイエンス〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E
統計学	2後	1EDB-6082-22E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1EDN-6372-22E
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E
ﾃﾞｰﾀ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E
ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6070-Z2E
統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6120-Z2E
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E

〈国際ビジネス〉

科目名	授業を行う年次	番号
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語	3・4前	1EGN-6280-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎情報学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎情報学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科　2026年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養

必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT
倫理学	1後	1GGN-6800-12E

〈社会科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学

必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

科目名	授業を行う年次	番号
※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発

必修10単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ	1前	1GCN-5580-12C
大学基礎総合Ⅰ	1前	1GCN-6650-11E
大学基礎総合Ⅱ	1後	1GCN-6810-11E

〈キャリア開発〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1前	1GCN-6660-12C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1後	1GCN-6670-12C
ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ 実習	1･2通年	1GCN-6680-X2E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ	2前	1GCN-5310-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ	2後	1GCN-5320-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE
特別実習・講義「教養」	1～4	1SGN-6820-12E

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎

必修8単位を含み20単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
◎経営情報学Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

専門発展

必修6単位を含み14単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
◎ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ	2前	1AIN-6342-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
ｅｽﾎﾟｰﾂ概論	2後	1AIN-6690-22E
◎情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIN-6610-22C
情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIN-6620-22E
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2後	1AIN-6060-22ET
ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論	2後	1AIN-5192-22E
DX（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ）概論	3前	1AIN-6830-32E
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	3・4前	1AIN-6550-Z2ES
情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIN-6630-Z2E
情報処理技術演習Ⅳ	3・4後	1AIN-6640-Z2E

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎会計学	1前	1AMN-5200-12C
ｺﾏｰｽ論	2前	1AMN-5562-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2後	1AMN-5600-22E
知的財産権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET

専門応用

24単位以上

〈ネットワーク〉

科目名	授業を行う年次	番号
Webﾃﾞｻﾞｲﾝ	1後	1ENN-5050-12E
ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術	2前	1ENN-5862-22E
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術	2後	1ENN-5873-22E
SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1ENN-5070-22E
Webｼｽﾃﾑ	2前	1ENN-5060-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ	2後	1ENN-5082-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	3・4前	1ENN-5093-Z2E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	3・4後	1ENN-5104-Z2E
ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築	3・4通年	1ENN-6270-Z4ES
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E

〈データサイエンス〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E
統計学	2後	1EDB-6082-22E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1EDN-6372-22E
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E
ﾃﾞｰﾀ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E
ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6070-Z2E
統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6120-Z2E
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E
AI・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用実践	3・4前	1EDN-6840-Z2E

〈国際ビジネス〉

科目名	授業を行う年次	番号
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語	3・4前	1EGN-6280-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎情報学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎情報学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

基礎総合科目

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5470-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
建学の精神と人生	219～	1年生・前期	2単位	必修	副学長・担当教員

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	学生便覧の「建学の精神をたずねて」（2～3ページ）を読んでおくこと。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

麻生学園の創立者 麻生繁樹先生は、建学の精神を　1.「至心」、2.「報恩感謝・慈愛と奉仕」3.「容（かたち）は心を呼び、心は容を呼ぶ」に定めた。これらの精神は、本学の教育・研究活動の根幹をなすものであるが、同時にわれわれすべてが日々の暮らしを営むにあたって従うべき行動準則となり、目標となりうるものである。本講義では、建学の精神がひとりひとりの人間存在そのものにとっていかなる意義を持ちうるのかというその根源的意味を探求していく。そして本学の由来や創立の経緯、麻生繁樹先生の軌跡や言葉を辿ることにより、建学の精神の背景や内容を考察していく。さらに、建学の精神と本学の教育・研究活動の関連性について説明する。また、建学の精神に則った学生生活のあり方について提唱する。さらに、太宰府や地域の歴史や事情を学ぶことにより、われわれと太宰府・地域との紐帯について自覚を学生に促していく。以上をもって、学生諸君が建学の精神を体得し、全人格的な人間性を備えた有為な社会人として世に貢献できるように、その素地を涵養していく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業の目標は以下の通りである。
①建学の精神
　1.「至心」、2.「報恩感謝・慈愛と奉仕」、3.「容（かたち）は心を呼び、心は容を呼ぶ」の意味を理解できること。
②太宰府・地域の歴史や諸事情を理解できること。
③大学生としてふさわしい生活態度、学習態度について理解できること。
④その他

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の授業の内容に関して理解度を確認するために課題を出すので、Googleクラスルームの所定のページに提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認すること。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行うこと。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。
・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見を伝える予定。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
幼児教育と親心	麻生繁樹	三晃書房	
新菅家御伝	味酒安則・村田眞理	太宰府天満宮文化研究所	
人物叢書　菅原道真	坂本太郎	吉川弘文館	
菅原道真	滝川幸司	中公新書	
大学的福岡・太宰府ガイド	西高辻・赤司・高倉 編	昭和堂	
日本古典文学大系72　菅家文草・菅家後集　その他	川口久雄	岩波書店	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験80%。平常点20%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出、その他）。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	副学長 ①1回～15回の概要　②日本の教育制度　②大学の教育力　③建学の精神・教育理念・校訓	
	事前学習 （内容・時間）	学生便覧「建学の精神を訪ねて」を読み、本学の教育理念について理解を深めておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「大学で何を学び、何に挑戦するのか」まとめておく。（2時間）
第2回	学長　建学の精神　（至心・四恩の学び舎　について）	
	事前学習 （内容・時間）	本学が公表している「至心」「四恩の学び舎」の意味を調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「至心」と関係する自らの行動について考察する。四恩の学び舎において自らが実践出来る事を考察する。（2時間）
第3回	学部長　　いま大学で「学ぶ」ということ	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	大学で学びたいことについて200字程度にまとめる。（2時間）
第4回	学生部長　出身高校で多くの先生方から学んだ生きる力（誇り等）と4年後を見据えた学生生活の在り方について	
	事前学習 （内容・時間）	出身高校3年間で学習や生活、特別活動において、自分自身が変化したと感じた強く印象に残る先生についてまとめておくこと。（その時の自分を変えた言葉や自分を奮い立たせた理由等）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	先生たちの思いで自身を変えるきっかけとなった瞬間の言葉、行動を、これからの学生生活にどのように生かしたいか（このことだけは続けたい等）まとめること。（2時間）
第5回	教務部長 「至心」の哲学的探求①：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第6回	教務部長 「至心」の哲学的探求②：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第7回	教務部長 「至心」の哲学的探求③：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第8回	教務部長「至心」の仏教的探求①：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第9回	教務部長「至心」の仏教的探求②：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第10回	教務部長「至心」の仏教的探求③：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第11回	教務部長「至心」の儒教的探求①：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第12回	教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について①	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第13回	教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について②	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第14回	教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について③	
	事前学習 （内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第15回	教務部長　菅原道真と太宰府天満宮について④、試験の説明等	
	事前学習 （内容・時間）	試験で出題されるであろう設問について予習し、不明な事項を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ポートフォリオ＆ルーブリック作成と提出（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5660-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
宗教学	219～	1年生・後期	2単位	選択	安達義弘

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	・事前に、「建学の精神（①至心、②報恩感謝・慈愛と奉仕、③容は心を呼び、心は容を呼ぶ）」を理解しておくこと。 ・なぜ宗教学を学ぶ必要があると思ったのかを考えておくこと。 ・ディスカッションには積極的に参加すること。（指名することもあります） ・授業中の私語は厳禁。

授業概要 Course Outline

・世界の主要な宗教（とくにユダヤ教、キリスト教、イスラム教）、および日本の宗教（とくに神道と仏教）を取り上げます。
・それらの宗教の起源と歴史、基本的な行動のパターン、および精神文化を比較しながら考察します。
・それによって、宗教の違いによって人の考え方や行動のパターンがどのように違うのかを考察します。
・そのような授業を通して、宗教を相対化する力、グローバル社会の中で生き抜く力、および社会人として必要な態度・志向性、豊な人間性を修得することを目指します。
・そして最後に、宗教学の視点から、本学の「建学の精神」の意味と意義について考察を深めます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・世界の主要な宗教の起源と歴史、基本的な行動のパターンやそれぞれの精神文化を理解し、説明できるようになります。
・日本の主要な宗教、とくに神道と仏教の起源と歴史、基本的な行動のパターンと精神文化を理解し、説明できるようになります。
・そのような学習を通じて、宗教を相対化する力、グローバル化社会の中で生き抜く力、および社会人として必要な態度・志向性を修得します。
・また、本学の「建学の精神」の理解を深めます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・毎回の講義でカーボン・ノートに、講義中に考えたこと、興味や疑問を持った点、意見などを記入し、講義終了後に提出していただきます。
・重要と思われるテーマや受講生の多くが関心を持っているテーマについては、次回の授業で取り上げ解説し、必要に応じてディスカッションを行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談などは授業の前後に対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義のカーボン・コピー・ノートを毎回の講義終了時に提出していただきます。
学習の確認については、ポートフォリオ＆ルーブリックのシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、最終講義時に提出していただきます。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
講義中に資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
世界がわかる宗教社会学入門 世界宗教大事典 仏教文化事典 原始仏典を読む 『コーラン』を読む	橋爪大三郎 山折哲雄（監修） 柳川啓一、他（監修） 中村元 井筒俊彦	筑摩書房 平凡社 佼成出版社 岩波書店 岩波書店	978-4480422279 4-582-13002-X 4-333-01355-0 978-4-00－600317-3 4006002831

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験50%
レポート20%
平常点（カーボン・コピー・ノート、ポートフォリオ＆ルーブリック、ディスカッション）30%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組みについては、メールでお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の概要、受講上の注意、成績評価方法の説明）	
	事前学習（内容・時間）	宗教学とは何か、について自分なりの考え方をまとめておいてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	宗教学で、何に関心があるか、なぜ関心があるか、を書いてください。2時間
第2回	宗教と現代社会（現代社会での宗教と科学の関係、宗教が関係する出来事を取り上げます。）	
	事前学習（内容・時間）	宗教が関係する事件や出来事を調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	宗教はなぜ問題を引き起こすのかを、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第3回	ユダヤ教（1）（ユダヤ教の起源とその社会背景について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	ユダヤ教に関係する出来事について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	ユダヤ教がどのように成立したのか、授業内容を中心にまとめてください。2時間
第4回	ユダヤ教（2）（ユダヤ教の歴史について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	ユダヤ教の聖書の創世記の後半と出エジプト記を事前に読んでください。2時間
	事後学習（内容・時間）	ユダヤ教の精神文化について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第5回	ユダヤ教（3）（ユダヤ教の歴史と文化およびをキリスト教との異同を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	ユダヤ教のデアスポラ（離散）とシオニズム運動について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	ユダヤ教の歴史の特徴について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第6回	キリスト教（1）（キリスト教の起源とその社会背景について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	イエス・キリストとはどのような人だったのかについて調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	キリスト教の起源とその社会背景について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第7回	キリスト教（2）（キリスト教の歴史と文化およびをユダヤ教との異同を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	キリスト教の三位一体説について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	キリスト教とユダヤ教の異同について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第8回	キリスト教（3）（キリスト教の歴史および精神文化について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	キリスト教の現代社会における影響について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	キリスト教と近代社会との関係について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第9回	イスラム教（1）（イスラム教の起源とその社会背景について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	イスラム教が関係する出来事について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	ムハンマドはどのような人だったかについて、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第10回	イスラム教（2）（イスラム教の歴史と文化をユダヤ教やキリスト教と比較しながら考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	イスラム教においてジハード（聖戦）とは何か、について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	イスラム教の歴史の特徴を、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第11回	イスラム教（3）（イスラム教の分化的特徴について解説します。）	
	事前学習（内容・時間）	イスラム教の偶像崇拝の禁止とそれに関する出来事について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	イスラム教の精神文化について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第12回	日本の宗教（1）（インドでの仏教の誕生とその発展の歴史を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	仏陀はどのような人だったか、を調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	初期仏教の歴史について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第13回	日本の宗教（2）（日本における仏教の導入とその特徴を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	神道とはどのような宗教か、について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	神道と仏教の成立について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第14回	日本の宗教（3）（日本における仏教の歴史的展開とその特徴を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	神道と仏教の基本的な考え方について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	神道と仏教の精神文化とその日本的特徴を、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第15回	本学の「建学の精神」の考察（日本の宗教文化の視点から考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	「建学の精神」について、事前に理解を深めておいてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	本学の専門教育と「建学の精神」との関係についてまとめてください。2時間
第16回（定期試験）	講義内容の振り返りと確認のための筆記試験を行います。	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5850-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
心理学	219～	1年生・前期	2単位	選択	坂本洸朔

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	心理学で学んだ知識を，自身の日常生活に活用する意欲のある学生を求める。 他者理解に興味を持ち，協調性を高める意欲のある学生を求める。

授業概要　Course Outline

本科目は感覚，知覚，心理的発達，記憶，意識，学習，思考，言語，集団や人間関係の心理，ストレスとメンタルヘルスについて概説する。
以上のような，心理学の基礎的な理論や考え方に関する知識を身につけることを主旨としている。また，建学の精神に基づいた全人格的教育を行う。人間の行動を多面的な視点で捉え，日常生活において心理学的な考え方を活用し，社会的協調性を身につけることを目指す。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

①心理学の基本的な知見を得る。

②心理学で得た知識を活かし，日常生活に結びつけることができる。

③自己理解や他者理解を深め，文化を超えた協調性を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義形式であるが，必要に応じて授業内で個人・集団ワーク，発表の機会を設ける。
課題については，知識を問う内容に限らず，学生自らが主体的に課題を設定し探究する内容の課題に取り組んでもらう。
各授業終了後，コミュニケーションカードにて質問や感想を提出してもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業内容に関することであれば，メールにて受けつける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り，学修状況の把握や学生自身による自己評価，教員評価など，双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
はじめてふれる心理学（第3版）	榎本博明	サイエンス社	978-4781915180

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)	無藤 隆　他著	有斐閣	978-4641053861

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（60%），課題（30%），授業への参加態度（10%）
各授業終了後，課題に加え，感想や質問等を記載するコミュニケーションカードの提出を求める。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方についてなど説明します。
Googleクラスルーム，もしくはメール（ksakamoto@kiis.ac.jp）にてお問い合わせください。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション―心理学とは―	
	事前学習 （内容・時間）	自身で心理学の講義を受講する目的・目標を定める(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第2回	心理学の歩み	
	事前学習 （内容・時間）	教科書全体を簡単に通読する(1.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第3回	感覚と知覚①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書1頁～9頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第4回	感覚と知覚②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書10頁～22頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第5回	学習と条件づけ①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書23頁～31頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第6回	学習と条件づけ②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書32頁～42頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第7回	記憶と意識	
	事前学習 （内容・時間）	教科書43頁～68頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第8回	子どもと発達	
	事前学習 （内容・時間）	教科書69頁～90頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第9回	青年期の心理	
	事前学習 （内容・時間）	教科書91頁～118頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第10回	パーソナリティの心理学①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書119頁～146頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第11回	パーソナリティの心理学②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書147頁～172頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第12回	ストレスとメンタルヘルス①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書197頁～213頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第13回	ストレスとメンタルヘルス②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書214頁～226頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第14回	集団の心理	
	事前学習 （内容・時間）	教科書227頁～235頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第15回	人間関係の心理	
	事前学習 （内容・時間）	教科書236頁～248頁を確認する(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	本時の内容の復習と，課題の提出(2.0h)
第16回 （定期試験）	定期試験 （まとめと振り返りを行う。）	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6400-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
文学	共通	1年生・前期	2単位	選択	進藤　康子

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①日本の文学に関心を持っていること。 ②各作品のあらすじ、現代語訳を事前に予習して読んでおくこと。

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』の「暖かく豊かな人間性」を磨くことを基本理念に、1親、祖先の御恩　2教師、先生への御恩　3社会、国家の御恩、4神、仏の御恩に報いられる人間づくりの教育を目標としている。授業内容は、次のとおりである。①世界中で翻訳されている日本の古典小説『雨月物語』九話のうち、二話を取り上げ学習する。中国の怪異小説を翻案したことで有名だが、日本の伝統、古典、文化をも融合させ、再構築した構成要素を、わかりやすく、楽しく解説する。現代人に通じる人間の強さ弱さ、優しさ、醜さ、善悪など、豊かな感性を磨き、心の変化とその本質を洞察できる力、未来に向かっての人間理解力を身につけるよう指導する。留学生にもわかりやすく、この世界的に有名な日本の小説を紹介する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業の目標は次の3つ。第1に怪異小説『雨月物語』の内容を理解し、人間の心理の動きを味わう。第2に人の心の美しさや恐ろしさの裏にある人間の本質を解き明し、現代に通じる問題解決力を見いだすことができるようになること。第3に『雨月物語』と原話の中国白話小説を比較することにより、日本独自の表現方法や特徴、作者の文学理念が理解できるようになること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容に関して、受講者が自主的に、事前に調べて、興味のあるテーマを設定し、レポートメモを作成する。レポートメモから、レポートを作成する。常に対話型の授業をし、学生からの積極的な発言や質問、提案などを自由に発信、発表できるようにする。作品別に感想文を作成し、グループ内での討論会を実施する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談、質問は、授業の終わりに随時受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：該当なし。学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し提出。毎回、クラスルームにても受け付ける。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
雨月物語	上田秋成（高田衛）	ちくま学芸文庫/筑摩書房	ISBN-10 ：‎4480083774 ISBN-13 ：‎978-4480083777

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マンガ日本の古典『雨月物語』	木原敏江	中公文庫	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%　平常点30%　（出席・レポート・ディスカッション・受講態度など）
成績評価の基準：小説の内容を理解しているか。人間の心の美しさや恐ろしさにある心の本質を解き明し、現代に通じる人間理解への洞察力を身につけたか。日本独自の表現方法や特色を理解できたか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢として良かったところや、悪かったところ、ミスが多かったところなどを、試験結果、および、レポートの提出状況に基づいて、詳しく説明します。また理解度チェックミニテストを行ったその結果もお知らせし、説明します。説明の日時・場所は別途クラスルームにてお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、オリエンテーション。授業概要 、受講上の諸注意などを説明します。日本の文学と雨月物語の基礎について　プリント1配布	
	事前学習（内容・時間）	雨月物語について調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	プリント1を熟読する。（2時間）
第2回	江戸時代の文学についての基礎知識を説明します。雨月物語について詳しく説明します。 プリント2	
	事前学習（内容・時間）	江戸時代の小説と雨月物語について調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	江戸時代の文学について。雨月物語について　プリント2を熟読する。（2時間）
第3回	作者上田秋成の人物について。 プリント3。 「理解度チェック」Aミニテスト	
	事前学習（内容・時間）	上田秋成の人物について調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	作者上田秋成の人物と思想について　プリント3を熟読する。（2時間）
第4回	雨月物語の「青頭巾」解釈①、プリント4「中国の怪異小説と日本文学」について説明します。	
	事前学習（内容・時間）	「中国の怪異小説」とは何かを調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」プリント4「中国の怪異小説と日本文学」について熟読する。（2時間）
第5回	雨月物語の「青頭巾」解釈②、プリント5「翻案小説」について説明します。	
	事前学習（内容・時間）	「翻案小説」について調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」プリント5「翻案小説」について熟読する。（2時間）
第6回	雨月物語の「青頭巾」③、プリント6「寓意」について説明します。	
	事前学習（内容・時間）	「寓意」について調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」プリント6「寓意」について熟読する。（2時間）
第7回	雨月物語の「青頭巾」解釈④、とプリント7「白話小説」について説明します。（中国の口語小説）	
	事前学習（内容・時間）	「白話小説」について調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」プリント7「白話小説」について熟読する。（2時間）
第8回	雨月物語の「青頭巾」解釈⑤、プリント8 「理解度チェック」Bミニテスト	
	事前学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」のあらすじをまとめてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」 プリント8　まとめを熟読する。（2時間）
第9回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈①、とプリント9「もののけ」について考えていきます。	
	事前学習（内容・時間）	「もののけ」について調査をしてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈1とプリント9「粋」「もののけ」についてを熟読する。（2時間）
第10回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈②、プリント10日本の「道」とは何でしょう。神道、茶道、香道、書道などについて。	
	事前学習（内容・時間）	「神道」について調べてくる。やおよろすの神について。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈1とプリント9「粋」「もののけ」について熟読する。（2時間）
第11回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈③、プリント11「白話語とルビ（ふりがな）の意味」について	
	事前学習（内容・時間）	「白話語とルビ（ふりがな）の意味」について調査をしてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈3とプリント11「白話語とルビの意味」について熟読する。（2時間）
第12回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈④、プリント12 「理解度チェック」cミニテスト	
	事前学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「理解度チェック」ミニテストを復習してくる。（2時間）
第13回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈⑤、プリント13「浮世絵」について説明します。	
	事前学習（内容・時間）	「浮世絵」を調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈5とプリント13「浮世絵」について熟読する。（2時間）
第14回	「青頭巾」と「夢応の鯉魚」のまとめ、プリント14　質問タイム。自分のテーマを決定し、レポート準備。	
	事前学習（内容・時間）	「青頭巾」と「夢応の鯉魚」の質問をまとめてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	青頭巾」と「夢応の鯉魚」のあらすじをまとめる。 （2時間）
第15回	マンガで読む『雨月物語』プリント15　レポートメモを作成し、デイスカッションする。	
	事前学習（内容・時間）	レポートメモ（主張を箇条書きにする）を書いてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	レポートメモを、レポートにまとめる。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6260-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本文化論（政治と思想）	～222	1年生・後期	2単位	選択	坂上　宏

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	大日本帝国憲法および日本国憲法の条文に目を通しておくことが望ましい。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

授業では、近現代における日本の政治・文化・思想に関わる事情をなるべく平易に解説します。まず政治については、天皇、国会、内閣の権能について、大日本帝国憲法および日本国憲法の条文を比較しながら説明します。次にサンフランシスコ講和条約以降の日本の平和外交の歩みについて説明します。文化と思想については、江戸時代後期に活躍した二宮尊徳の事跡と思想について説明します。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」、カリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①明治維新以後の天皇の立場および日本の政治制度（特に国会、内閣）の変化について理解できるようになること。
②現代日本外交の主な特徴について理解できるようになること。
③二宮尊徳の事跡と思想の特徴について理解できるようになること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。
・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見をお伝えする予定です。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『詳説　政治・経済』	山崎 広明	山川出版	463470062X
『もういちど読む山川政治経済』	〃	〃	4634590670
『日本の歴史〈26〉よみがえる日本』	蝋山 政道	中公文庫	412204748X
『戦後と高度成長の終焉 日本の歴史24 』『日本の名著（26）二宮尊徳』	河野 康子 児玉 幸多	講談社学術文庫 中央公論社	4062919249

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出)。　　成績評価の基準 ：
①大日本帝国憲法および日本国憲法における天皇、国会、内閣の権能について理解しているか。
②日本外交の平和主義の特徴について理解しているか。
③日米同盟と日本の戦後外交の歩みについて理解しているか。
④二宮尊徳の事跡と思想の特徴について理解しているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	近代日本の出発：立憲主義について、江戸時代から明治時代へ（立憲国家への歩み） ：ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習（内容・時間）	立憲主義とは何ですか。第1回授業プリントを読んで答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	江戸時代から明治時代になって、日本の政治は大きく変わりました。授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第2回	近代日本の出発：江戸時代から明治時代へ（立憲国家への歩み　続き）、大日本憲法の制定と国会の開設 ：ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習（内容・時間）	日本における近代立憲国家の誕生について、第2回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	大日本帝国憲法の主な特徴について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第3回	日本国憲法の成立と民主主義の発展～太平洋戦争の敗戦、民主化と非武装、日本国憲法の公布と施行、日本国憲法の三大要素 ：ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習（内容・時間）	日本国憲法の三大要素について、第3回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日本国憲法は、「天皇の地位と主権在民」についてどのように定めていますか。（2時間）
第4回	大日本帝国憲法における天皇の立場（元首、万世一系、天皇主権）、日本国憲法における天皇の立場（象徴としての存在） ：ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習（内容・時間）	大日本帝国憲法における天皇の地位について、第4回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日本国憲法における天皇の地位について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第5回	日本国憲法における天皇の立場　続き（権限と国事行為）、天皇と日本の宗教、文化、 大日本帝国憲法における国会の役割（天皇の立法権に対する協賛機関） ：ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習（内容・時間）	日本国憲法における天皇の権限と国事行為について、第5回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	大日本帝国憲法における帝国議会（国会）の役割について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第6回	大日本帝国憲法における国会の役割　続き（貴族院と衆議院、立憲主義）、なぜ帝国議会は戦争を防げなかったか（議会と軍部） ：ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習（内容・時間）	帝国議会における貴族院と衆議院の違いについて、第6回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	帝国議会と立憲主義について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第7回	日本国憲法における国会の役割（国民主権と代表民主制、国権の最高機関、国の唯一の立法機関、衆議院と参議院）：ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習（内容・時間）	日本国憲法前文と第一条は、主権についてどのように述べていますか。第7回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日本国憲法第41条は、「国会は、国権の最高機関であつて、国の唯一の立法機関である。」と規定していますが、その意味について説明してください。（2時間）
第8回	大日本帝国憲法における内閣の立場（天皇の輔弼機関）、日本国憲法における内閣の立場（最高の行政権、議院内閣制）：ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習（内容・時間）	大日本帝国憲法における内閣の立場について、第8回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日本国憲法における内閣の立場について説明してください。（2時間）
第9回	日本国憲法における内閣の立場　続き（内閣総理大臣の立場と権限、内閣の職務）、三権分立と民主主義 ：ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習（内容・時間）	内閣総理大臣の立場と権限について、第9回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	三権分立について説明してください。（2時間）
第10回	戦後日本の外交（平和主義と日本国憲法第9条、現在の防衛政策の原則、日米同盟と日米安全保障条約） ：ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	日本国憲法第9条の内容について、第10回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日米安全保障条約の特徴とその意味について説明してください。（2時間）
第11回	戦後日本の外交（国際連合への加盟と対ソ連（ロシア）関係、日・中関係、日・朝鮮半島関係） ：ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習（内容・時間）	日中平和条約（1978年）第2条で規定している「反覇権」とはどのような意味ですか。第11回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	二宮尊徳の経歴について説明してください。（2時間）
第12回	二宮尊徳の事跡と思想①　：ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習（内容・時間）	二宮尊徳の桜町仕法について、第12回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	二宮尊徳の生涯における業績について説明してください。（2時間）
第13回	二宮尊徳の事跡と思想②　：ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習（内容・時間）	二宮尊徳の思想に関して、天道と人道について説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	二宮尊徳の思想に関して、勤・倹・譲・分度について説明してください。（2時間）
第14回	二宮尊徳の事跡と思想③　：ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習（内容・時間）	二宮尊徳の思想に関して、精農主義について、第14日授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	二宮尊徳の思想に関して、その歴史的背景について説明してください。（2時間）
第15回	二宮尊徳の事跡と思想④　：ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習（内容・時間）	二宮尊徳の思想における儒教の影響について、第15回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	二宮尊徳の思想が現代に与えた影響について説明してください。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6710-12CT

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報倫理	共通	1年生・後期	2単位	必修	桑原 重雄

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	特別な専門知識や高度なITスキルは前提とせず、日常的にインターネット・SNSを利用していることを前提に構成しています。ノートパソコンを用いた演習を行うため、大学の学習システムを利用できる基本的な操作ができることが必要です。

授業概要　Course Outline

インターネット・SNS・AIが急速に進展する現代社会では、個人・企業ともに情報の扱い方を誤ると重大なトラブルにつながります。本授業では、改訂3版『情報倫理』（技術評論社）を教科書として、個人情報保護、著作権、情報セキュリティ、AI倫理などの基本概念を体系的に学びます。さらに、SNS炎上事例、企業の情報漏洩、サイバー犯罪など、身近で実際に発生したケースを取り上げ、「なぜ問題が起きるのか」「どうすれば防げるのか」を考えることで、大学生活のみならず将来のビジネス現場で求められる倫理的判断力を身につけることを目的とします。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	企業システム開発・運用に携わった経験を活かし、現場で実際に発生した情報漏洩トラブル、ハードウェア障害、アクセス権限管理、インシデント対応フローなどをわかりやすく紹介します。また、データ管理・セキュリティ・コンプライアンスに関する実務視点の注意点を解説する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・情報倫理の基本概念（個人情報、プライバシー、著作権、情報セキュリティなど）を正しく理解する。
・SNSやAIの利用に伴うリスクを認識し、適切な判断ができるようになる。
・企業における情報管理やコンプライアンスの重要性を理解し、倫理的な行動が取れる。
・情報の信頼性・真偽を見極めるメディア・リテラシーを身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

本授業では、学生が自ら考え、議論し、判断する姿勢を身につけるため、いくつかのワークをアクティブラーニングを取り入れています。ワークにより、「考えて終わり」ではなく、問題発見・整理・解決までの過程を実践的に学べる構成としています。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

相談などは研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。必ず、研究室への来室は事前にメールで予約してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleFormsシート「Kiis学習ポートフォリオ・ルーブリック」の提出を平常点として加味する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
【改訂3版】情報倫理　ネット時代のソーシャル・リテラシー	高橋慈子、原田隆史、佐藤翔、岡部普典	技術評論社	978-4297134150

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
情報倫理入門 -ICT社会におけるウェルビーイングの探求-	村田潔、折戸洋子編著	ミネルヴァ書房	978-4623091256

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

評価項目c	割合	評価基準
課題	40%	倫理観点の深さ 分析の論理性 資料の質
定期試験	50%	テキスト理解・倫理判断力・知識定着
平常点	10%	主体性、協働性、取り組み姿勢
合計	100%	成績は、知識の理解度だけでなく主体的な学び・思考の深さ・実践的応用力を総合的に評価する

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本授業では、学生の理解を確実に定着させるため、授業内外で継続的なフィードバックを行う。リフレクション・シートの結果をもとに、誤解されやすい内容や重要ポイントを授業内で丁寧に解説し、学生が自身の理解度を把握できるようにする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション、情報倫理とは	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第1章を精読し、自分が経験した情報トラブルをメモしてくる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第1章を復習し、情報倫理の重要性を振り返りメモする（2時間）
第2回	情報通信社会とインターネット、進化と変遷	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第2章を精読し、気になった技術を1つ調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第2章を復習し、自分のデジタル履歴（SNS・検索履歴等）を洗い出すしメモする（2時間）
第3回	ネット時代のコミュニケーション	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第3章を精読し、最近見たニュースの出所を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第3章を復習し、SNS投稿ガイドライン案メモする（2時間）
第4回	メディアの変遷	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第4章を精読し、SNSでの誤解例を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第4章を復習し、メディアの変遷の要点をまとめる（2時間）
第5回	メディア・リテラシー	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第5章を精読し、フェイクニュース例を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第5章を復習し、ファクトチェックの要点をまとめる（2時間）
第6回	情報技術とセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第6章を精読し、情報セキュリティの10大脅威を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第5章を復習し、情報セキュリティの要点をまとめる（2時間）
第7回	インターネットと犯罪	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第7章を精読し、最近のサイバー犯罪ニュースを1件調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第7章を復習し、インターネット犯罪防止に向けた要点をまとめる（2時間）
第8回	個人情報とプライバシー	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第8章を精読し、Society5.0を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第8章を復習し、個人情報保護法の要点をまとめる（2時間）
第9回	知的所有権とコンテンツ	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第9章を精読し、著作権問題の事例を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第9章を復習し、知的所有権の要点をまとめる（2時間）
第10回	企業と情報倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第10章を精読し、企業不祥事の事例を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第10章を復習し、技術の倫理課題をまとめる（2時間）
第11回	科学技術と倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第11章を精読し、監視社会について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第11章を復習し、企業不祥事の原因・対策をまとめる（2時間）
第12回	ビッグデータとAIの倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第12章を精読し、ビックデータについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第12章を復習し、生成AIを使用する際の注意点をまとめる（2時間）
第13回	デジタルデバイドとユニバーサルデザイン	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第13章を精読し、身近なユニバーサルデザインについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第13章を復習し、デジタルデバイドの要点をまとめる（2時間）
第14回	ソーシャルネットワークサービス（SNS）と情報モラル	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第14章を精読し、身近なSNS問題について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第14章を復習し、SNSトラブル防止策をまとめる（2時間）
第15回	情報通信社会とリテラシー	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第15章を精読し、求められる情報リテラシーについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第14章を復習し、情報倫理全体の要点をまとめる（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6800-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
倫理学	226～	1年生・後期	2単位	選択	坂上　宏
特別実習・講義（実践力養成）倫理と人間	～225				

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①道徳や哲学について関心を持っていること。 ②プラトン『ソクラテスの弁明・クリトン』を読了しておくことが望ましい。 ※禁止事項： 不必要な私語。 正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。 携帯電話の使用。 その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

下記に掲げた古代ギリシアと近代西欧の哲学者の思想をとりあげて、人間としてのあるべき姿と道徳について考えていきます。また彼らの思想のうちで理想と現実の関係、ものの認識のありかたについても併せて講義し、彼らの思想についての理解を深めていきたいと思います。特に「徳」の意味するものについて留意しながら講義を進めていきますが、「徳」について考えることは、混迷の時代に暮すわれわれ現代人にとって、「善い生」についての何らかの示唆を与えることでしょう。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。
①ソクラテスの道徳観と人間観の要点について理解できる。
②プラトンの道徳観と人間観の要点について理解できる。
③アリストテレスの道徳観と人間観の要点について理解できる。
④ルソーの情念と理性、憐れみの情、人間観について理解できる。
⑤カントの善意志と実践理性、道徳法則についての思想を理解できる。
⑥ヘーゲルの倫理思想について理解できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

・学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。
・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見をお伝えする予定です。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
配布プリント			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ソクラテスの弁明・クリトン 国家　上・下 ニコマコス倫理学　上・下 エミール　上・中・下 道徳形而上学原論 法の哲学　上・下	プラトン プラトン アリストテレス ルソー カント ヘーゲル	岩波文庫	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出）。　　成績評価の基準 ：
①ソクラテスの道徳観と人間観の要点について説明できる。
②プラトンの道徳観と人間観の要点について説明できる。
③アリストテレスの道徳観と人間観の要点について説明できる。
④ルソーの情念と理性、憐れみの情、人間観について説明できる。
⑤カントの善意志と実践理性、道徳法則についての思想を説明できる。
⑥ヘーゲルの倫理思想について説明できる。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、倫理と道徳の基本的な考え方、古代ギリシア思想の特徴　ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習（内容・時間）	第1回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで準備をしてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	アリストテレスの言葉「人間は自然に（本性上）国的（ポリス的）動物である」の3つの意味について、第1回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
第2回	ソクラテスの思想①：不知の自覚、魂の配慮について　ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習（内容・時間）	ソクラテスの思想（不知の自覚）について、第2回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	魂の配慮についてソクラテスの考えを説明してください。第2回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
第3回	ソクラテスの思想②：福徳一致・知行合一、その死について　ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習（内容・時間）	ソクラテスは「幸福」についてどのように考えていますか。第3回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ソクラテスの考え「徳・知・行為・幸福は一致する」とはどのような意味ですか。第3回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
第4回	プラトンの思想①：認識のあり方、イデア論　ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習（内容・時間）	プラトンが説いている哲人政治とはどういう意味ですか。第4回の授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	イデアについてプラトンはどのように述べていますか。第4回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
第5回	プラトンの思想②：エロース論について　ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習（内容・時間）	プラトンのエロースの2つの意味について、第5回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	プラトンの説く「愛（エロース）の道の極致」とはどういう意味ですか。第5回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
第6回	プラトンの思想③：正しい国家と正しい人間（四つの徳と哲人）　ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習（内容・時間）	「理想国家の徳」4つについてプラトンはどのように述べていますか。第6回の授業のﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	人間の魂の三つの部分と人間の魂の〈正義〉の状態について、授業の内容を説明してください。第6回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
第7回	アリストテレスの思想①：理想と現実のあり方、善と幸福と徳、観照的な活動　ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習（内容・時間）	アリストテレスは幸福な生活とはどのような生活だと言っていますか。第7回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	アリストテレスは、人間にとって最高の卓越性のある活動は観照的な活動であると述べています。それはどのような活動ですか。第7回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
第8回	アリストテレスの思想②：知性的徳と倫理的徳、正義と友愛　ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習（内容・時間）	知性的徳と倫理的徳とは何ですか。アリストテレスの考えを第8回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	アリストテレスは、愛（友愛）という徳についてどのように述べていますか。アリストテレスの考えを第8回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）
第9回	ルソーの思想①：情念と理性、憐れみの情について　ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの思想の目指すものについて、第9回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーの言葉「人間よ、人間的であれ。」について、授業ではどのように説明されていましたか。第9回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
第10回	ルソーの思想②：憐れみの情、理性について　ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの言葉「感受性をそと（他人）へ広げていく」ことによって、人間はどのような存在になると考えていますか。第10回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	幸福になるために人間はどうあるべきとルソーは考えていますか。授業の内容を説明してください。第10回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
第11回	ルソーの思想③：人間の精神の改革（道徳的自由に向かって）　ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習（内容・時間）	人間の2つの本性について、ルソーはどのように考えていますか。第11回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーが考える道徳的自由について、授業ではどのように説明されていましたか。第11回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
第12回	カントの思想①：普遍的な道徳法則、善意志と義務　ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習（内容・時間）	倫理学（道徳哲学）の目的についてカントはどのように考えていますか。第12回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが考える2つの実践原理について説明してください。第12回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
第13回	カントの思想②：2つの実践原理、道徳の形而上学（道徳哲学）と実践理性、仮言的命法と定言的命法　ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習（内容・時間）	カントが考える客観的な道徳法則とはどのような意味ですか。第13回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが述べる仮言的命法と定言的命法について、第13回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
第14回	カントの思想③：目的と人格、目的の国、自律　ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習（内容・時間）	カントの考える「人格」について説明してください。第14回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントの考える意志の自律の原理とはどのような意味ですか。第14回授業プリントを読んで答えてください（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
第15回	ヘーゲルの思想：道徳と倫理　ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習（内容・時間）	ヘーゲルの道徳観について、第15回授業のﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ヘーゲルの倫理観について、第15回授業のﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑮・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ）（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6450-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
法学	共通	1年生・前期	2単位	選択	松瀬萌々香

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	特別な前提知識は特に必要ありませんが、高校で社会科目を履修し、日頃のニュースを見ておくことが望ましいです。

授業概要　Course Outline

私たちが日常生活をおくるにあたって、法的問題はとても身近なものです。アルバイトするときも、友人と遊びに行くときも、法によるルールに触れることが必ずと言っていいほどあります。経営情報学部で学ぶ皆さんは、技術を実装したり、企業の経営に携わる進路に進むことと思われますが、このような分野においては、より多様で複雑な法に関する知識・考え方が必要となってくることでしょう。そこで、本科目では、建学の精神を踏まえ、経営・情報分野での事例と関係づけながら、様々な法の基礎部分を学びます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

公法・私法問わず法学における基礎的な理解を促進することにより、どのような領域でどのような法的問題が生じ、どのような解決が図られているのかを推論し、弁別できるようになること。この学習をもとに、起こりうるトラブルに対する柔軟な法的思考力を育みます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義の後半ではケーススタディを行います。その際ディスカッションや意見を共有していただきます。共有方法は、受講人数や話題に合わせて、実際に発表してもらったり、オンラインツールで意見を書き込んでもらうことを想定しています。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

学習相談については、講義の前後の時間及びメールにて承ります。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオ・ルーブリックを使用します。必要事項を記載し指定の期日に提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『現代実定法入門〈第3版〉 人と法と社会をつなぐ』	原田大樹	弘文堂	978-4-335-35922-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『法学入門』	稲正樹、寺田麻佑ほか	北樹出版	978-4779305894

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点30%（講義後のリアクションペーパー）
定期試験70%
により総合評価します。
※平常点は、全15回の講義後に提出するリアクションペーパーを対象とし、各回について内容に応じて2点・1点・0点で評価します（合計30点満点）。
※リアクションペーパーについては、生成AI等を用いて作成されたものは成績評価の対象としません。表現の完成度は問いませんので、自分の言葉で記載してください。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

リアクションペーパー内に記載された疑問点は、次回講義の最初に回答時間を設けます。
期末試験の解答については、成績処理後に呈示します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、法の世界（『現代実定法入門』第1章該当）	
	事前学習（内容・時間）	ニュースや身の回りの法的な問題を意識して収集してみる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章を復習し、知っている法律がどの法分野にあたるのか検討する（2時間）
第2回	法の種類（『現代実定法入門』第2章該当）	
	事前学習（内容・時間）	高校の講義や普段の生活で習った・聞いたことがある法の概念を思い出してみる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第2章を復習し、「法律」や「判例」が担う役割を説明できるようになる、憲法の持つ特別な性格を説明できるようになる、民事法と刑事法を区別することができるようになる（2時間）
第3回	人間と法（『現代実定法入門』第3章該当）	
	事前学習（内容・時間）	法的な文脈における未成年と成年の違いを考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第3章を復習し、権利能力、意思能力・行為能力、代理について理解できるようになる（2時間）
第4回	組織と法（『現代実定法入門』第4章該当）	
	事前学習（内容・時間）	団体・組織は法学の中でどのように扱われているのか考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第4章を復習し、法人制度について説明できるようになる（2時間）
第5回	財産と法（『現代実定法入門』第5章該当）	
	事前学習（内容・時間）	財産にまつわる権利にはどのようなものがあるのか考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第5章を復習し、所有権と占有権の区別ができるようになる（2時間）
第6回	取引と法（『現代実定法入門』第6章該当）	
	事前学習（内容・時間）	日常生活において「契約」が使われている場面には、どのようなものがあるか検討する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章を復習し、契約とは何か、どのような効力があるのかが理解できるようになる（2時間）
第7回	権利の実現手続（『現代実定法入門』第8章該当）	
	事前学習（内容・時間）	「裁判」とはなにか、民事訴訟ではどのようなものが取り扱われ、どのような基本原則があるのか考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第8章を復習し、民事訴訟の流れを理解できるようになる（2時間）
第8回	権利の実現保障（『現代実定法入門』第9章該当）	
	事前学習（内容・時間）	連帯保証人の危険性はどのようなところにあるのか考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第9章を復習し、担保物権と破産法制について説明できるようになる（2時間）
第9回	刑罰と法（『現代実定法入門』第10章該当）	
	事前学習（内容・時間）	刑罰は何のために課せられるのかを考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第10章を復習し、刑事法の基本的概念と犯罪論を理解できるようになる（2時間）
第10回	刑罰の実現手続（『現代実定法入門』第11章該当）	
	事前学習（内容・時間）	警察官・検察官・裁判官の役割を考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第11章を復習し、民事訴訟と刑事訴訟の区別ができるようになる（2時間）
第11回	規制・給付行政と法（『現代実定法入門』第12・13章該当）	
	事前学習（内容・時間）	行政法にはどのような法が含まれるかを考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第12・13章を復習し、行政法の特色と、規制行政・給付行政の性質について理解できるようになる（2時間）
第12回	グローバル化と法（『現代実定法入門』第14章該当）	
	事前学習（内容・時間）	国際社会や、国境を越えて法を適応する場面ではどのような手続きが取られるのかを考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第14章を復習し、国内法と比較した国際法の特色を整理し、国際公法と国際私法の基本的な考えや、グローバル社会のルール形成について理解できるようになる（2時間）
第13回	プライバシー侵害と法（『現代実定法入門』第7章該当）	
	事前学習（内容・時間）	プライバシー侵害に対してどのような法的措置が取られるのかを考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、民法上の不法行為と、プライバシー侵害が争われた具体的事案について理解できるようになる（2時間）
第14回	AIと法（『現代実定法入門』第15章該当）	
	事前学習（内容・時間）	第14回までの内容を踏まえて、AIの進展に伴って生じる法的問題を考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第15章を復習し、AIと民事法・刑事法・公法との関係を理解できるようになる（2時間）
第15回	まとめ・総合演習	
	事前学習（内容・時間）	第1回から第14回までの中で、うまく理解できなかった部分を事前にピックアップする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第1回から第15回までの知識・ケーススタディを復習する（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6240-12ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本国憲法 （教職関連科目 必 高等学校 情報）	共通	1年生・後期	2単位	選択	吉野　正

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	前期の法学を履修済みであることが望ましい。また、日本社会に関心をもっていること。

授業概要　Course Outline

めまぐるしく発展する現代社会の中で生じてきた憲法のさまざまな論点を理解することを通じて、憲法の基本的な知識としくみについて解説します。この講義では、特に日本国憲法において実際の社会で生じた具体的な事件に焦点を当てながら皆さん自身の立場や価値観を見つめなおす機会にしてもらいたいと思います。
教職課程を目指す受講者には、教育者として学生のもつ人権に配慮することの意味と役割について理解することができるようになることを求めます。
なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	弁護士実務50年の経験の中で多くの憲法事案を取り扱ってきた。	実際に憲法が適用される事例をあげて、憲法の考え方を教示する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

以下の3点を授業の目標とします。
①日本国憲法の基礎知識・用語法を習得し、説明できること
②日本国憲法をめぐって生じた争いや具体的な事件の背後にある立場や考え方の違いを説明できること
③日本国憲法の学説や判例の立場の違いを理解したうえで自分自身の立場を明確にしながら説明できること

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、講義においてかなりの文章量を小レポートとして書くように求めます。日本国憲法の裁判例では意見や立場の違いから争いがしばしば生じますが、受講生には自分としてはどちらが正しいのかを主張してもらい、その主張に対する理由づけをしてもらうつもりです。このことには受講生の能動的な参加が不可欠です。積極的に取り組んでください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

講義の開始前後を使って質問などは受け付けます。時間がない場合などはコメントカードを通じて質問の受付を行う予定です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義は板書を用いて行いますので、初回からノートを必ず持参してください。
また、初回のガイダンスにおいて教員作成の毎回の学習確認のチェックリストを配布します。そこに毎回の予習・復習の範囲を書いていますので、必ず初回のガイダンスには出席してください。
ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
目で見る憲法 【第5版】	初宿正典ほか	有斐閣	978-4-641-22735-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（授業内容15回分に関して到達目標①と②の観点から出題）…70%
毎回の小レポート（到達目標③の観点から出題、1回2点×15回）…30%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

憲法は知識のみに偏りがちになるので、身近な例を常に示して、憲法の問題とし考えさせ、その解決策を考えさせる。
試験結果や成績評価等についてはコメントカードや手紙等で問い合わせてください。適宜、アドバイスします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	憲法と法律のちがい	
	事前学習（内容・時間）	憲法と法律のちがいを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第2回	日本国憲法の成立史	
	事前学習（内容・時間）	憲法の成立史を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第3回	日本国憲法の基本原理、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義	
	事前学習（内容・時間）	3原理を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第4回	国民主権と天皇制	
	事前学習（内容・時間）	天皇制を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第5回	平和主義	
	事前学習（内容・時間）	憲法前文を5回読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第6回	基本的人権　幸福追求権	
	事前学習（内容・時間）	憲法11条から13条まで考えておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第7回	基本的人権　法の下の平等	
	事前学習（内容・時間）	平等と自由の違いを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第8回	精神的自由権	
	事前学習（内容・時間）	表現の自由を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第9回	経済的自由権	
	事前学習（内容・時間）	営業の自由を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第10回	社会権（生存権と教育を受ける権利）	
	事前学習（内容・時間）	ストライキ権を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第11回	参政権	
	事前学習（内容・時間）	一票の価値の不平等について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第12回	民主政治のしくみ　立法（国会）	
	事前学習（内容・時間）	何故二院があるのか教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第13回	行政（内閣）	
	事前学習（内容・時間）	内閣総理大臣の選任手続きについて教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第14回	司法（裁判所）	
	事前学習（内容・時間）	違憲審査権について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第15回	地方自治	
	事前学習（内容・時間）	県知事と県議会の関係について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験など	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5650-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
社会学	219～	1年生・後期	2単位	選択	平田 毅

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	自己と、自己をとりまく他者（＝社会）について、自ら洞察し「考えよう！」とする姿勢と好奇心をもっていること。

授業概要　Course Outline

この授業では、現代社会の諸事象について社会学的に考察していきます。
取りあげるテーマは、都市・メディア と ジェンダー・セクシュアリティ です。これらのテーマはどれも、私たちが生きている「いま・ここ」を理解するうえで大切なファクターです。
私たちが暮らすこの空間はどのように成り立っているのか。また、私たちは＜性＞をどのように生きてきたのか、そして＜共に＞どのように生きていけばいいのか。そんなことを考えてみます。
社会学するうえでとっても大事なことは、あなた自身の生活感覚（リアル）と重ね合わせて理解し検証しようとすることです。
ちょっぴり抽象的で難解な哲学っぽい話や少し昔の話で歴史の授業って箇所もあるかもしれませんが、どれも面白い（＝興味深い）内容です。
なお,本授業はディプロマポリシーのVに基づき、「社会の様々な事象について、複眼的な知識・理解や汎用的技能を獲得し、それらを総合的に活用して、自らが立てた新たな課題に適用させることにより、その課題を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得」するための一助として位置づけられています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・近代以降の都市文化の成立過程と、それが現在のわれわれの生活にいかに繋がっているのか考察する視点を身に付ける。
・今日のメディア文化の特質を歴史的な発展過程を踏まえて考察する視点を養う。
・今日の＜性＞をめぐるさまざまな言説――セックス/ジェンダー、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー、フェミニズム、クイア理論など多様なセクシュアリティ――を理解し、ダイバシティを実現するために必要な実践的な知識基盤を培う。
・レポート作成や定期試験、授業での討議活動などを通して、自らの「考え」を社会学的に根拠づけて論理的に展開できる力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的には対話型の授業スタイルで学習を進めていきます。授業時間中の私の問いかけには主体的に応えてください。みなさんから質問や疑問点がある場合も適宜発話してください。相互のコミュニケーションを通して学習を深められることを期待しています。
必要に応じて、視聴覚教材の活用及び、全体もしくはグループでの討論・討議を通した授業も実施します。自ら考え、積極的に発言することで、みんなで学ぶ場を豊かにしていってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業終了後に気軽に声を掛けてください。
メールアドレス： t-hirata@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleClassroomを活用して「学び」の構築を図ります。
毎授業終了後、Classroomにて「社会学『学び』の記録」を記入し、今日の学びを振り返ってください。しっかり、文章で記入することが大切です。
また、この授業では、学びの足跡を定着させるために、各自で「ノート」の作成することを重視しています。それぞれが自分の「社会学のノートをつくる」ことを念頭に置いて取り組んでください。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料等を配布します			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
・メディア文化論: メディアを学ぶ人のための15話	吉見俊哉	(有斐閣アルマ)	978-4641121904
・世界一やさしいフェミニズム入門：早わかり200年史	山口真由	幻冬舎新書	978-4344986855
・バトラー入門	藤高和輝	ちくま新書	978-4480076342
・クィア・アクティビズム:はじめて学ぶ〈クィア・スタディーズ〉のために	新ヶ江章友	花伝社	978-4763420022

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

論述式の期末試験の成績（80%）をベースに、
プレレポートや「学び」の記録 振り返りシート（20%）などを加味し、
総合的に評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

「『学び』の記録」に記入された内容については適宜授業時間にコメントする。
期末試験の結果については、評点確定後にClassroomにて告知する。尚、再試験対象者については、受験に当たっての留意点やポイントについて指示し、再学習の準備を促す。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	社会学概論 社会学一歩前（授業ガイダンス）から 社会学はじめの一歩（社会学で学ぶこと）へ	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを読む。「社会学」という学問領域についてネット等で下調べをしておく。[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。プレレポートのテーマに即して作成の構想を練る。[2h]
第2回	都市文化の浸透と消費文化の興隆① 都市文化のスペクタクル　祝祭空間としての都市	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第3回	都市文化の浸透と消費文化の興隆② 百貨店と都市･消費文化の形成	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第4回	記号的消費と消費社会① 消費社会とは何か　記号消費の時代	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第5回	記号的消費と消費社会② ボードリヤールの消費社会論　記号化する社会・情報化する社会	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第6回	情報社会としての現代社会① 情報化と情報社会（IT化の進展と情報文化）	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第7回	情報社会としての現代社会② ICT化の進展とコミュニケーションの変容	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第8回	情報社会としての現代社会③ 生成AI時代の言語論	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第9回	＜性＞をめぐる現代的課題① フェミニズム運動概史～その成果と新たな課題	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第10回	＜性＞をめぐる現代的課題② セックス/ジェンダー、そして＜性＞を考えるための四つの要素	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第11回	＜性＞をめぐる現代的課題③ テロセクシュアルな社会とセクシュアルマイノリティ	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第12回	＜性＞をめぐる現代的課題④ 「ジェンダー・トラブル」という実践	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第13回	＜性＞をめぐる現代的課題⑤ 「ジェンダーをなくすんじゃなくて増やそう」って話	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第14回	＜性＞をめぐる現代的課題⑥ クイア理論って何？	
	事前学習 （内容・時間）	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。（復習）[2h]
第15回	まとめ 現代の社会を生きるために、「社会学する」ということ	
	事前学習 （内容・時間）	これまでの授業のキーワードを復習し、授業全体を振り返っておく。（予習）[2h]
	事後学習 （内容・時間）	これまでの配付資料とノートを見直し・整理し総復習をする。[2h]
第16回 （定期試験）	論述問題にて出題します。	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5890-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
政治学	223～225	1年生・後期	2単位	選択	坂上　宏
	219～222	1年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①政治学や政治思想について関心を持っていること。 ②下記の参考書のうちでいずれかに目を通しておくことが望ましい。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

近代西欧において、個人の諸権利の擁護を目的とした民主主義思想が生まれ、さらに自律的な人格を目指す近代的自我の思想が確立しました。本講義では主としてホッブズ、ロック、ルソーの思想をとりあげて、このような近代民主主義思想の主軸をなす社会契約論と「独立した個人」のあり方について講義します。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

近代西欧思想の歴史に燦然とそびえ立つホッブズ、ロック、ルソーの思想の学習を通して、受講者が近代民主主義思想の特質とその歴史的背景、および個人の主体性と道徳的自由の意味について理解できるようになることを目指しています。そして受講者自身が、国家(社会)と人間のあるべき姿について深く考え、真の自由(人間らしい自由)を実践しようとする資質を養うことがさらなる目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『リヴァイアサン1-4』	ホッブズ	岩波文庫	4003362330,4003300000
『完訳 統治二論』『人間知性論1-4』	ロック		4003362217,2225,2233
『社会契約論』	ルソー		4003362330
『人間不平等起原論』	ルソー		4003300000
『エミール上中下』	ルソー		4003362217,2225,2233

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出)。　　成績評価の基準 ：
①近代民主主義思想の誕生の歴史的背景およびデカルトの合理論、ベーコンの経験論の要点を説明できるか。
②ホッブズの社会契約説について、自然権（自己保存を追求する自由）、「各人の各人に対する戦い」という言葉を使って説明できるか。　③ロックの社会契約説について、固有権、信託、抵抗権という言葉を使って説明できるか。
④ルソーの社会契約説について、「人間はいたるところで鎖につながれている」、憐れみの情、一般意志という言葉を使って説明できるか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針など、国家における個人の権利と義務、ホッブズの思想－その生涯と清教徒革命　:ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習（内容・時間）	社会契約説とは何ですか。第1回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズの著書『リヴァイアサン』の出版の目的について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第2回	ホッブズの思想－その生涯と清教徒革命（続き）、認識論　:ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習（内容・時間）	ホッブズの機械論的自然観と社会観について、第2回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズは、人間の認識がどのようにして生まれると考えていましたか。授業の内容を説明してください。（2時間）
第3回	ホッブズの思想ー人間性について、自己保存と戦争、自然権と自然状態　:ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習（内容・時間）	ホッブズの考える人間性の本質について、第3回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズの言葉「各人の各人に対する戦争」について、自然権と自然状態という言葉を使って説明してください。（2時間）
第4回	ホッブズの思想ー自然法、社会契約　:ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習（内容・時間）	ホッブズが述べている第一の自然法、第二の自然法、第三の自然法について、第4回授業プリントを読んでその内容を説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズの社会契約説について、授業ではどのように述べられていましたか。
第5回	ホッブズの思想ー社会契約（続き）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習（内容・時間）	ホッブズが述べている統治者（主権者）の主権のあり方について、第5回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズの政治思想に対する批判と意義について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第6回	ロックの思想ージョン・ロックの生涯と名誉革命　:ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習（内容・時間）	ロックの政治思想の意義について、第6回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックの著書『統治二論』の主な内容について説明してください。（2時間）
第7回	ロックの思想―ロックの認識論　:ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習（内容・時間）	ロックは生得観念についてどのように考えていましたか。第7回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	経験の種類としての「感覚」と「内省」について、ロックの考えを説明してください。（2時間）
第8回	ロックの思想ー絶対王政批判（父権論批判）、自然状態、自然権、自然法　:ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習（内容・時間）	『統治二論』の主な内容と出版の社会的・政治的背景について、第8回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックは自然状態における人間性についてどのように述べていますか。（2時間）
第9回	ロックの思想ー自然状態、自然権、自然法（続き）：固有権　:ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習（内容・時間）	ロックは、固有権についてどのように述べていますか。第9回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックは、自然法についてどのように説明していますか。（2時間）
第10回	ロックの思想ー社会契約説　:ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	ロックの社会契約説について、第10回の授業プリントを読んで、「信託」という言葉を使って説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックの社会契約説に関して、「抵抗権」とはどのような意味ですか。（2時間）
第11回	ルソーの思想ールソーの生涯と思想、自然状態における人間　:ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの理想とする社会について、第11回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーは、人間の自然状態をどのように説明していますか。（2時間）
第12回	ルソーの思想ー自然状態における人間（続き）～憐れみの情、自然状態、自然権、自然法、社会状態と不平等　:ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習（内容・時間）	ルソーは、憐れみの情についてどのように述べていますか。第12回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーは、社会状態と不平等についてどのように説明していますか。（2時間）
第13回	ルソーの思想ー社会状態と不平等（続き）、社会契約説　:ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの社会契約説の特徴A～Fについて、第13回授業プリントを読んで書いてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーの言葉「個人のすべての権利や身体を国家へ譲渡する」とはどういう意味ですか。その目的は何ですか。（2時間）
第14回	ルソーの思想ー社会契約説（続き）「一般意思」　:ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの思想「一般意志」について、第14回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーが主張する直接民主政について説明してください。（2時間） 直接民主政について
第15回	ルソーの思想ー社会契約説（続き）「政治と人間の改革」　:ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの社会契約説の意義と目的として、「政治と人間の改革」とはどのような意味ですか。第15回授業プリントといままでの授業の内容を踏まえて説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーの思想がその後の世界に与えた影響について説明してください。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5420-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
経済学	219～	1年生・前期	2単位	選択	中原　康征

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	図書館やインターネットを利用して、どのような経済学の本があるかを調べてください。

授業概要　Course Outline

この授業は、ディプロマポリシーに基づき、基礎的な経済学の考え方を学びます。
経済学は、消費者や生産者がそれぞれの幸福や最適な選択を追求して行動する結果として、社会全体が幸福を実現できる仕組みを考えることを目的としています。
この講義は、経済学を初めて学ぶ学生が親しみやすく、基礎的な内容を理解できるようにすることを目指します。経済活動は、私たちが日々直接関わるものですが、これを深く理解するためには、企業や金融機関、政府など家計以外の活動を知る必要があります。また、地域や日本全体、さらに世界各国との経済的なつながりについても学ぶことが重要です。
講義では、需要と供給、物価と貨幣、市場や政府の役割など、経済学の基本的なトピックを順に学習していきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日々の新聞やテレビで報じられる経済ニュースを理解し、関心を持って読み取るとともに、経済問題を経済学的視点で考える力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生の皆さんからの積極的な発言を期待しています。また、毎回の授業終了後に課題レポートの作成・提出をお願いします。レポートの後半には、授業を通じて感じたことや意見を自由に記入してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡はメールでお願いいたします。メールの宛先やオフィスアワーの曜日・時限については、第1回目の授業でお知らせします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

経済学検定などの外部試験を受験した場合は、成績評価の対象とします。また、ポートフォリオやルーブリックの作成・提出をお願いします。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1からの経済学	中谷武、中村保編著	碩学舎	978-4502680809

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏	角川文庫	978-4046040572
マンキュー入門経済学	N・グレゴリー・マンキュー	東京化学同人	978-4807918119

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

課題レポート：60%、試験：40%の割合で成績を評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

レポートおよび発表を通じて学習成果を確認し、授業冒頭の振り返りやGoogleクラスルーム等を用いたコメントによりフィードバックを行います。理解が不十分な点については、解説および助言を行い、経済学的思考力の向上を促します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	経済学とわたしたち ①経済学とはどういう学問か、②経済学をどう学ぶのか、③経済学の基本的な考え方	
	事前学習 （内容・時間）	経済学を学習する前に経済学とはどういうものなのかを考えてまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第2回	分業の利益 ①分業の（経済学的な）意味、②私的な分業と社会的分業、③特化と交換からの利益、④市場が必要な理由	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第3回	需要と供給 ①買い手の需要を決める要因、②需要曲線の描き方、③売り手の供給を決める要因、④供給曲線の描き方	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第4回	価格メカニズム ①財の取引と市場、②市場価格とは何か？、③需要と供給がバランスする仕組み、④市場価格が変化する要因	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第5回	市場の効率性 ①市場のはたらき、②市場の望ましさ	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第6回	市場の失敗 ①独占、②外部効果、③公共財、④情報の非対称性、⑤政府介入の根拠	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第7回	市場の限界 ①資源の効率的配分、②逆選択、モラルハザード、③市場メカニズムと所得分配	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第8回	労働市場 ①労働市場の役割、②失業や様々な格差の発生、③格差を解消するための政策	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第9回	GDPとは何か ①GDPとはなにか、②経済の循環	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第10回	何がGDPを決めるのか ①国民生活とGDPの関係、②生産能力の大きさとGDPの関係、③需要の大きさとGDPの関係、④生産能力と需要の関係	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第11回	消費需要と投資需要 ①日本の消費と投資、②消費需要、③投資需要	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第12回	お金のはなし ①貨幣とはなにか、②貨幣は誰が発行するのか、③金融政策	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第13回	政府の役割 ①政府の役割とはなにか、②政府の予算：歳入と歳出	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第14回	外国貿易と為替レート ①日本の貿易の状況、②貿易とマクロ経済の関係、③為替レートの決定	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第15回	経済成長と国民生活 ①経済成長率の表し方、②経済成長の分析方法、③制度と経済成長	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験など	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6250-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本事情	219～	1年生・前期	2単位	選択	齊藤 綾子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	本授業は、外国人留学生を対象とした授業です。 履修規定第5条第3項により、日本語を母語とする学生の履修は認めません。 ※原則、携帯電話の使用は許可しません。

授業概要　Course Outline

本授業では、現代の日本における社会事情や人々の暮らし、文化についての文献を読み、楽しみながら知識を身に付けると同時に、日本語で話し合い、他者の意見を踏まえつつ、議論する能力を高めていきます。
また、日本事情をより深く理解するため、講師による内容説明に加えて能動的学習（討論）も導入します。討論については、少人数のグループを作り、グループ内での話し合いやグループごとでの発表も行います。
授業は、主として建学の精神「至心」、カリキュラムポリシー「社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること」に則り、行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・「お弁当」「方言」「オノマトペ」「終活」「コミュニケーションの形」など、身近な日本事情に関するテーマの文献（N1～N2レベル）を読み、文化的背景や論点について深く理解する。
・日本事情について理解するだけではなく、母国の状況や自身の経験と比較し、独自の視点で捉え、あらゆるテーマで議論・発信できるようになる。
・「配慮表現」について学び、円滑に意見交換をする能力を身に付ける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業で使用する文献は、事前に配布します。
文献を読んで、設問を解いておいてください。
授業内で、現代日本事情に関する問題を論点として討論を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業前後またはメールで受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ＆ルーブリックに記入して、指定する日時までに提出してください。
担当教員は、学生の学習状況をみて本人にフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
たくさん話せる！楽しい！！ のびのび日本語	北村 綾子 施 光恒	未刊行	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ことばと文化	鈴木孝夫	岩波書店	4004120985

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・平常点40%
発表や討論、事前学習、事後学習の課題の取り組み、ポートフォリオとルーブリックの提出によって評価する。

・定期試験60%
授業で使用した文献の内容理解を測る設問、論点についての自身の立場と意見の記述問題によって評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

定期試験後のフィードバックについては、メールにてお問い合わせください。折り返してご連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション	
	事前学習（内容・時間）	シラバスの確認（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第2回	第1章：世界が注目！？日本の「BENTO」文化（内容理解と討論）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第3回	第2章：方言の歴史とおもしろみ（内容理解と討論）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第4回	第3章：日本人が好むコミュニケーションの形①（内容理解）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第5回	第3章：日本人が好むコミュニケーションの形②（配慮表現を学ぶ、討論）	
	事前学習（内容・時間）	論点に関する自身の立場と意見をまとめておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第6回	第4章：言葉は生き物！？生まれるものと変化するもの（内容理解と討論）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第7回	第5章：心をつなぐオノマトペ（内容理解と討論）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第8回	第6章：マンガやアニメが持つ影響力とは！？（内容理解と討論）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第9回	第7章：「終活」についてどう思いますか？①（内容理解）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第10回	第7章：「終活」についてどう思いますか？②（討論）	
	事前学習（内容・時間）	論点に関する自身の立場と意見をまとめておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第11回	第8章：学校教育での部活動を守るために（内容理解と討論）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第12回	第9章：少子化の原因と婚活のあり方の変化①（内容理解）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第13回	第9章：少子化の原因と婚活のあり方の変化②（討論）	
	事前学習（内容・時間）	論点に関する自身の立場と意見をまとめておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第14回	第10章：占いや縁起担ぎをするワケとは？①（内容理解）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を熟読し、設問を解いておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第15回	第10章：占いや縁起担ぎをするワケとは？②（討論）	
	事前学習（内容・時間）	論点に関する自身の立場と意見をまとめておく（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（2.0時間）
第16回（定期試験）	定期試験（持ち込み不可）	

ナンバリング（Numbering）
1GGB-5270-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎数学	共通	1年生・前期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	高校までの数学を復習して講義に臨むこと

授業概要　Course Outline

情報、経済、経営などの分野では、現象のモデル化やシミュレーションによって現状把握や将来予測などが盛んに行われています。本講義では，ディプロマポリシーに基づき，モデル化の基礎となる数学を理解し、数学がどのように使われ、活用されているかを学びます。また、統計学に必要となってくる確率についても学習します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】
・定義・定理を説明できる。
・問題演習において、適切な定義・定理を選択できる。
・定義・定理を適切に使用できる。
【態度・習慣】
・疑問点を尋ねることができる。
・講義に参加できる。
【技能】
・例題を模倣し、演習問題を解くことができる。
・時間内で、与えられた問題を解くことができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義中に随時演習時間を設けるので，積極的に取り組むこと。
講義中に課題を指定するので、次回に解いて提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回指定した課題を解くこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基礎数学 式計算から微積の初歩まで	小澤善隆　編集 永井　敦　他	裳華房	978-4-7853-1556-6

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学基礎数学 キャンパス・ゼミ　改訂1	馬場敬之	マセマ出版社	978-4-86615-210-3
社会科学系学生のための基礎数学	塩出 省吾・上野 信行・ 柴田 淳子・中村 光宏 著	共立出版	978-4-32011-133-2

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題（50%）、定期試験（50%）の総合評価とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回課される課題の補足説明や解説を講義開始時に行う。また、講義内容に対する質問等をGoogle Formsなどで随時募集し、説明や解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	数の分類と文字式	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第2回	式の計算1 （展開と因数分解）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第3回	式の計算2 （根号・累乗、方程式と不等式）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第4回	式の計算3 （複素数と2次方程式）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第5回	式の計算4 （整式の割り算と因数定理）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第6回	関数1 （1次関数、2次関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第7回	関数2 （分数関数、無理関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第8回	関数3 （指数関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第9回	関数4 （対数関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第10回	関数5 （三角関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第11回	関数6 （関数の極限）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第12回	関数7 （微分）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第13回	関数8 （積分）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第14回	確率1 （順列・組み合わせ）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第15回	確率2 （様々な確率）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5870-11ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ウェルネス（教職関連科目 必 高等学校 情報）	220～	1年生・前期	1単位	選択	竹石　洋介

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	必ず運動のできる服装を準備する事。体育館は土足厳禁です。授業を受ける為の禁止事項は　私語を慎む、飴やガムを食べない、携帯電話を使用しない。以上の事を守れない学生には単位を認める事が出来ません。代返が発覚した場合は学生課に報告し厳重に対応します。

授業概要　Course Outline

今日、生活習慣病やストレスによる精神的疾患が急増し、大学教育における健康・体力づくりの意義が強調されています。また、高齢化社会、余暇社会への移行などを背景に、生涯にわたって健康を維持し、生きがいある生活を実現するため運動の重要性が著しく高まりつつあります。授業は、建学の精神を踏まえ、形態・体力の測定を行い、次に運動の方法を学びながら学習目標に到達出来るようにする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

① 健康・体力づくりの必要性と方法を理解し、客観的に自身の生活を見直すことのできる。
②基本的な運動を実践できる。
③運動を通じてマナーの修得や人間関係の改善と向上を図ることが出来る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

健康に関してのテーマに基づいてディスカッションを行います。積極的に参加することが望まれます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（502）にて随時受け付けます。yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシートに必要事項を記入して竹石までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スポーツに効く！体幹トレーニング	本橋 恵美	宮下青磁	ISBN978-4-7899-2124-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（授業態度等）20%、試験80%を加味して総合的に評価します。本授業は実技授業のため、特に授業に取り組む姿勢を重視します。
※体育館の使用規則を守れない学生は評価しません。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（実習ノート作成・クラス分け・他）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の復習（30分）
第2回	形態・脈拍数のチェック、肥満度・運動強度の設定（心拍数測定、BMI計算）	
	事前学習（内容・時間）	健康維持増進のために必要だと思うことを具体的にピックアップしておく（30分）
	事後学習（内容・時間）	日常の中でのウォーキング、ジョギングを、心拍数を計測して評価する（30分）
第3回	①体力測定（握力・上体起こし・長座体前屈）・バドミントン（基礎的技術習得）	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチの種類・方法について調べる・バトミントンのルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	実施したストレッチの目的と方法を確認し実践する・バトミントンの技術確認（30分）
第4回	②体力測定（立ち幅跳び・反復横跳び）・バドミントン（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチの種類・方法について調べる・バトミントンのルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	実施したストレッチの目的と方法を確認し、実践する・バトミントンの技術確認（30分）
第5回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフ・ソフトボールのルールの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールのルールの復習（30分）
第6回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフ・ソフトボールの技術の確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールの技術の復習（30分）
第7回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフ・ソフトボールの技術の確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールの技術の復習（30分）
第8回	③体力測定（50m走）　・　バドミントン（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	無酸素運動とは何か、またその効果を調べる・バトミントンのルールの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	各自の目的に応じた運動強度を把握する・バトミントンの技術の確認（30分）
第9回	④体力測定（ハンドボール投げ）　・　卓球（基礎的技術習得）	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチの種類・方法について調べる・卓球のルールの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	ストレッチ、卓球の技術の復習（30分）
第10回	⑤体力測定（シャトルラン）　・　卓球（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	有酸素運動とは何か、またその効果を調べる・卓球のルールの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	各自の目的に応じた運動強度を把握する・卓球の技術の復習（30分）
第11回	体力測定と自己評価　・　卓球（試合）	
	事前学習（内容・時間）	健康維持増進のために必要だと思うことを考える・卓球の技術の確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	現在の生活の中でできる健康維持を考える・卓球の技術の復習（30分）
第12回	ウォーミングアップとストレッチ　・　フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチングの種類・方法について調べておく（30分）
	事後学習（内容・時間）	実施したストレッチングの目的と方法を確認し、実践する（30分）
第13回	目標心拍数を用いたウォーキング及びジョギング　・　フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	有酸素運動の効果を調べておく（30分）
	事後学習（内容・時間）	有酸素運動に応じた運動強度のエクササイズを実践してみる（30分）
第14回	SAQトレーニングとバランストレーニング	
	事前学習（内容・時間）	バランスボールの特徴と効果について調べる（30分）
	事後学習（内容・時間）	プリントのエクササイズのポイントを確認しておく（30分）
第15回	レポート発表と提出	
	事前学習（内容・時間）	健康や身体づくりのために必要なエクササイズを調べる（30分）
	事後学習（内容・時間）	習得した運動を生かして健康を考える（30分）
第16回（定期試験）	テストをする	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5880-11ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
スポーツ（教職関連科目 必 高等学校 情報）	220～	1年生・後期	1単位	選択	竹石　洋介

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	必ず運動のできる服装を準備する事。体育館は土足厳禁です。授業を受ける為の禁止事項は、 私語を慎む、飴やガムを食べない、携帯電話を使用しない。以上の事を守れない学生には単位を認める事が出来ません。代返が発覚した場合は学生課に報告し厳重に対応します。

授業概要　Course Outline

スポーツには、「するスポーツ」・「見るスポーツ」・「ささえるスポーツ」・「きわめるスポーツ」と様々な性質を持っており、私達の身近な生活に存在しています。特に、現代は高齢化社会、余暇社会への移行などを背景に健康・体力づくりの意識が高まりつつある中、スポーツは運動の一つとして捉えられ、より健康で充実した生活を送るための方法として役割を担うようになってきました。
授業では、建学の精神を踏まえて、指定されているスポーツを実践していく中で、ルールを理解し、基本的な技術を学び学習目標に到達出来るようにする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①各スポーツを通じて健康・体力づくりの必要性を理解できる。
②各スポーツの基本的なルールや技術を養い、ゲーム（試合）ができる。
③各スポーツのルールからマナーを養い、より良い人間関係を構築できる。
これらの実践を通じてスポーツの心地よさを体感し、生涯にわたってスポーツを実践していくための基礎的能力と態度を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

スポーツに関してのテーマに基づいてディスカッションを行います。積極的に参加することを望みます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（502）にて随時受け付けます。yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオシートに必要事項を記入して竹石までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スポーツに効く！体幹トレーニング	本橋 恵美	宮下青磁	ISBN978-4-7899-2124-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点20%、実技試験80%、平常点は、レポートの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断する。
※体育館の使用規則を守れない学生は評価しません。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　実習ノート作成	
	事前学習（内容・時間）	シラバスの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の復習（30分）
第2回	バドミントン（基礎的技術習得）	
	事前学習（内容・時間）	サーブ・ドライブについて調べる（30分）
	事後学習（内容・時間）	改善点をまとめる（30分）
第3回	バドミントン（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	スマッシュについて調べる（30分）
	事後学習（内容・時間）	改善点をまとめる（30分）
第4回	バドミントン（試合）	
	事前学習（内容・時間）	シングルスの目標を立てる（30分）
	事後学習（内容・時間）	試合結果を振り返り、まとめる（30分）
第5回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有　ゴルフに関する基礎知識(ルール・マナー)・ソフトボールの基礎	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフのルール確認・ソフトボールの必要なルールを確認する（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第6回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有　スイングの基礎（グリップ、スイング）・（キャッチング、バッティング）	
	事前学習（内容・時間）	スイング技術を理解する・ソフトボールに必要な基本技術を確認する（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第7回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有　実践的なショット・ソフトボール（チーム練習・試合）	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフの技術確認をしておくこと・ソフトボールの試合のルールを確認する（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第8回	卓球（基礎的技術習得）	
	事前学習（内容・時間）	卓球の技術確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	卓球の技術の復習（30分）
第9回	卓球（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	卓球のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	卓球のルール、技術の復習（30分）
第10回	卓球（試合）	
	事前学習（内容・時間）	卓球のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	試合の改善点をまとめる（30分）
第11回	フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	各種目のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第12回	フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	各種目のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第13回	フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	各種目のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第14回	フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	各種目のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第15回	レポートの発表と提出	
	事前学習（内容・時間）	習得した競技のまとめ（30分）
	事後学習（内容・時間）	習得した競技を生かして健康を考える（30分）
第16回（定期試験）	テストを行う	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6700-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
スポーツ理論	220～	2年生・前期	2単位	選択	野中　渓人

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	スポーツに関心があり、スポーツの実践を心掛けている人.

授業概要　Course Outline

建学の精神「至心」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えた人材を養成するために、授業内容は1．発育発達に応じた運動とスポーツの実践　2．各種トレーニング法　3．スポーツ文化　4．スポーツの歴史　とする。演習の時間（「2．各種トレーニング法」トレーニング機器を用いての測定）は、履修生が相互に関連しあいながら精神性（相手をおもいやる心）と行動性（相互に助け合う）を高めるための時間であり、建学の精神の「報恩感謝、慈悲慈愛と奉仕」の具現化を目指している。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

豊かなスポーツライフを送るための基礎知識とスポーツ実践法への理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①トレーニング体験。
②スポーツイベントへの参加及びボランティア活動

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室、オフィスアワー時間内に随時受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

スポーツ関連の講座参加者、スポーツ関連資格有資格者は成績評価の対象とする。
学習の確認：毎回指定した課題を解くこと、講義内でフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
適宜プリントを配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教養としてのスポーツ科学	鈴木一行	大修館	4－469－26521－7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表・レポート（20%）、小テスト・有資格者（20%）、定期試験（60%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方については、メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1. スポーツ　　（1）スポーツと体育の違い（成り立ち）	
	事前学習（内容・時間）	「運動」・「体育」・「スポーツ」が゛どのように使い分けられているか調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	好きなスポーツの起源について調べる。（2時間）
第2回	（2）日本のスポーツ（歴史、競技スポーツ、ニュースポーツ）と世界のスポーツ	
	事前学習（内容・時間）	スポーツ人口の多いスポーツ種目を調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日本版スポーツ起源年表を作成する。（2時間）
第3回	（3）世界のスポーツ（歴史、組織）	
	事前学習（内容・時間）	世界のスポーツ起源年表を作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	世界（日本を含む）スポーツ起源年表を完成させる。（2時間）
第4回	（4）オリンピック（歴史、商業オリンピック、オリンピックムーブメント）	
	事前学習（内容・時間）	1964年東京オリンピックと2020東京オリンピックの実施種目について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	オリンピックの将来像（2024パリオリンピック）を考える。（2時間）
第5回	2. トレーニング　　（1）トレーニングの原則、栄養・休養・運動	
	事前学習（内容・時間）	生活の様々な場面での心拍数（脈拍数）を計る。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	運動前と運動中と運動後の心拍数（脈拍数）を計る。（2時間）
第6回	（2）年齢別・種目別トレーニング	
	事前学習（内容・時間）	室内でできるトレーニングを作る。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日常生活の中で実践可能なトレーニングを作る。（2時間）
第7回	（3）スポーツマッサージ、テーピング、準備運動とクールダウン	
	事前学習（内容・時間）	体の一部のスポーツマッサージを実践する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	回りの人（家族、友人、他）にスポーツマッサージを実践する。（2時間）
第8回	（4）ウェイトトレーニング（ベンチプレスの測定、ダンベルを使ってのトレーニング）	
	事前学習（内容・時間）	トレーニング機器に触れてみる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	トレーニング機器を使ってトレーニングを実践する。（2時間）
第9回	3. スポーツライフ　（1）スポーツクラブ（企業スポーツクラブ、総合型スポーツクラブ、他）	
	事前学習（内容・時間）	スポーツの盛んな会社を調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スポーツクラブ所有する会社のを種目別・業種別一覧を作成する。（2時間）
第10回	（2）スポーツイベント（参加型イベント、観るイベント、世界規模のスポーツイベント）	
	事前学習（内容・時間）	これまでに出場したスポーツ大会の主催者について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スポーツイベントの規模別の主催、主管、後援、協賛を調べる。（2時間）
第11回	（3）プロスポーツ（プロ野球、サッカー、相撲、他）	
	事前学習（内容・時間）	回り・身近なプロスポーツ選手の経歴について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	回り・身近なプロスポーツ選手の引退後について調べる。（2時間）
第12回	（4）スポーツメディア	
	事前学習（内容・時間）	スポーツメディア一覧を作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スポーツ番組とバラエティ番組の視聴率の比較を行いその要因について考える。（2時間）
第13回	（5）スポーツ傷害（傷害と障害、発育期の障害、種目別傷害）と予防	
	事前学習（内容・時間）	回りの人（家族、友人、他）のスポーツにおける怪我防止策について情報収集する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	回りの人（家族、友人、他）リハビリの方法・手段についてインタビューしまとめる。（2時間）
第14回	（6）スポーツとルール（ルールの機能と構造）	
	事前学習（内容・時間）	好きなスポーツのルールの変遷について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	好きなスポーツのルール改正案提示する。（2時間）
第15回	（7）スポーツ行政とスポーツの将来像	
	事前学習（内容・時間）	スポーツ庁の設立について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	オリンピックの将来像について考える。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5140-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ウェルネス理論	220～	2年生・後期	2単位	選択	野中　渓人
	219	2年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	身体的健康、精神的健康などの社会的健康に興味関心があること。

授業概要　Course Outline

本学建学の精神の「至心」は誠実さで積極果敢に事に臨む精神的態度であり、「容（かたち）は心を呼び、心は容を呼ぶ」は行動変容の基本原理である。
本講義では精神性と行動性を高める学問としての、
1．健康維持増進
2．運動・栄養・休養のバランスのとれた生活
3．生活習慣病、疾病、感染症への理解とその予防法
を学習し、「優れた社会人たるにふさわしい豊かな人間性」と「優れた科学者たる豊かな人間性」を兼ね備えた人材養成を目指す。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

健康的な食生活、病気予防、運動への理解を深め実践するために、本学建学の精神である「至心」を体現し、優れた社会人たるにふさわしい豊かな人間性を養成することを目指している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容について、議論やグループワークを実施する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室、オフィスアワー時間内に随時受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回指定した課題を解くこと、講義内でフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
適宜プリントを配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
健康・運動・スポーツの科学　三訂版	鈴木一行	大修館書店	978-4－469－26979－6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表・レポート提出（40%）、定期試験（60%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方については、メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション	
	事前学習（内容・時間）	ウェルネスとは何かを考え、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義を経て気付いた新たな気づきを、レポートに反映させる。（2.0h）
第2回	健康寿命（平均寿命と健康寿命の違い、死因の推移、他）	
	事前学習（内容・時間）	平均寿命と健康寿命の違いについて調べ、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義を経て気付いた新たな気づきを、レポートに反映させる。（2.0h）
第3回	健康とタバコ・アルコール・食について	
	事前学習（内容・時間）	健康に良いタバコ・アルコール・食との向き合い方について調べ、まとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義を経て気付いた新たな気づきを、レポートに反映させる。（2.0h）
第4回	生活習慣病とメタボリックシンドローム	
	事前学習（内容・時間）	自分の日常生活と周りの人々（家族や友人など）の生活習慣の違いについて調べておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義を経て気付いた新たな気づきを、レポートに反映させる。（2.0h）
第5回	身体活動と心身の機能	
	事前学習（内容・時間）	運動不足がもたらすことについて調べ、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義を経て気付いた新たな気づきを、レポートに反映させる。（2.0h）
第6回	健康であるための体力とは	
	事前学習（内容・時間）	体力とは何か調べ、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	屋内（家の中、自分の部屋、他）でできる手軽な運動の実践。（2.0h）
第7回	健康と運動（有酸素性運動、水中運動、ウォーキング）	
	事前学習（内容・時間）	屋外でできる手軽な運動の実践。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	屋内外でできる手軽な運動を企画・立案し、実践する。（2.0h）
第8回	癒し（睡眠、入浴、温泉、森林浴）	
	事前学習（内容・時間）	国内の温泉地について調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	近くの公園での散歩または軽登山の実践。（2.0h）
第9回	薬（西洋薬・漢方薬、飲み方・保管方法）と医療行政（保険、介護）	
	事前学習（内容・時間）	自分の「お薬手帳」の確認。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	常備薬の保存方法の確認及び見直し。（2.0h）
第10回	運動における注意点について	
	事前学習（内容・時間）	熱中症の原因、対応方法について調べ、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義を経て気付いた新たな気づきを、レポートに反映させる。（2.0h）
第11回	運動の価値	
	事前学習（内容・時間）	部活動は、健康的な運動か調べ、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義を経て気付いた新たな気づきを、レポートに反映させる。（2.0h）
第12回	発表とディスカッション（学生個々の興味・関心の高いテーマについて発表）	
	事前学習（内容・時間）	発表資料の作成。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	発表内容に対する、意見・質問について調べる。（2.0h）
第13回	発表とディスカッション（学生個々の興味・関心の高いテーマについて発表）	
	事前学習（内容・時間）	第12回で発表した発表への意見・質問等について調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	第13回での発表内容に対する、意見・質問について調べる。（2.0h）
第14回	測定結果の集計と分析（各自の摂取カロリーの集計と分析）	
	事前学習（内容・時間）	1週間の自分の食事（摂取した食物）についてまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	回りの人（家族、友人、他）の食事生活について調査する。（2.0h）
第15回	測定結果の分析（体重管理の計画書作成）	
	事前学習（内容・時間）	理想体重などを設定した、体重管理の計画書を作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	第1回から15回までの内容について定期試験に備えて復習する。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5940-12CS

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
総合英語	共通	1年生・前期	2単位	必修	藤内　響子 内田　水生

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	事前学習をきちんと行うこと。熱意を持って授業に取り組むこと。

授業概要　Course Outline

TOEICへの架け橋として活用されているTOEIC Bridgeの問題を利用して、基礎的また実用的な英語を学ぶ。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日常的で身近な英語に慣れ親しみ、近年次第に重要視されつつある、英検やTOEIC受験にも役立つような基礎的、実用的な英語を学ぶ。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生の積極的な参加を期待します。疑問に感じたことは必ず質問として用意し、他人の質問についても授業の中の議論に積極的に参加して常に考え続ける姿勢を持ってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室（272）にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。
ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Grammar Plus: Two-Page Edition	Andrew E. Bennett Toru Komiya	南雲堂	978－4－523－17966－5

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語 Evergreen	川崎芳人 他	いいずな書店	978-4-86460-721-6 C708

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学修の取組みについて、メールまたはGoogleclassroomでお問い合わせください。折り返して連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	be動詞と現在形	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第2回	過去形と代名詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第3回	前置詞と進行形	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第4回	名詞； 冠詞； 助動詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第5回	提案； 命令； 未来形	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第6回	疑問詞; 付加疑問文; 形容詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第7回	比較と副詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第8回	不定詞と動名詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第9回	接続詞と受動態	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第10回	語源と形容詞節	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第11回	副詞説と仮定法	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第12回	名詞節と現在完了	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第13回	過去完了と未来完了	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第14回	間接・直接話法; 文と文をつなぐ語句	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第15回	助動詞＋現在完了; 紛らわしい語句	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-0190-12ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
英検中級・TOEIC基礎	221～	1年生・後期	2単位	選択	藤内　響子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	事前学習をきちんと行うこと。熱意を持って授業に取り組むこと。 前期に総合英語の単位を取得していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

特にTOEICを受験する場合に必要な文法事項を厳選し、必要な項目を効率的に学習する。
学習者にとって必要不可欠なものを無駄なく学ぶ。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

英語の基本的な文法事項の再確認を効率的に行い、高校までに学んだ英語の力を活性化させる。英語のより高度な運用技能を養うための基礎力の確保および維持を目的とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生の積極的な参加を期待します。疑問に感じたことは必ず質問として用意し、他人の質問についても授業の中の議論に積極的に参加して常に考え続ける姿勢を持ってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室（272）にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。
ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
TOEICテスト英文法徹底攻略 Essential English Grammar for TOEIC Test	アーロン キャルコート 岩崎光一　他	南雲堂	978-4-523-17785-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語 Evergreen	川崎芳人 他	いいずな書店	978-4-86460-721-6 C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学修の取組みについて、メールまたはGoogleclassroomでお問い合わせください。折り返して連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第2回	品詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第3回	比較	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第4回	分詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第5回	分詞構文	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第6回	接続詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第7回	前置詞と組で使われる表現	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第8回	代名詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第9回	関係詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第10回	時勢1（点の概念）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第11回	時勢2（線の概念）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第12回	仮定法	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第13回	動詞の形	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第14回	注意すべき前置詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第15回	その他の注意すべき英文法項目	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。(各回ごとに2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。(各回ごとに2.0h)
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5170-12ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話Basic Ⅰ （教職関連科目 選 高等学校　情報）	共通	1年生・前期	2単位	選択	クリス　フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること②資格試験を積極的にとること			

授業概要　Course Outline

テキストに沿って海外旅行で使う英会話をプレゼンテーションを交えながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫する。英検の2次試験の模擬試験も毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　6月、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、7月30日までに　フリンまでメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Passport 1 English for International Communication	Angela Buckingham Lewis Lansford	Oxford University Press	978-0194718165

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物・スピーチ・面接など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題を クラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction to spoken English	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Introducing yourself and your family	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	Speaker controlling techniques	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	Text Chapter 1 Ordering a meal on a plane	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Text Chapter 2 Going through	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Text Chapter 3 Talking about your family	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Text Chapter 4 Staying at a friend’s house	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Text Chapter 5 Ordering at a restaurant	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	Text Chapter 6 Asking directions	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Text Chapter 7 Going to a bank	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Text Chapter 8 Booking a hotel room	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Text Chapter 9 Buying medicine	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Eiken interview techniques L3, LP2, L2	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Text Chapter 10 Small talk with friends	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	BUILD MY TEST preparation	
	事前学習（内容・時間）	定期試験のための原稿をまとめる、講義中添削してもらう。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	BUILD MY TEST 原稿をペアと一緒に練習する。(2hr)
第16回（定期試験）	定期試験。テストを参考にした原稿を(先生の前で）発表する。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5180-12ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話BasicⅡ（教職関連科目 選 高等学校 情報）	共通	1年生・後期	2単位	選択	クリス フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること②資格試験を積極的にとること			

授業概要 Course Outline

英会話Basic 1 に続いてテキストに沿って海外旅行で使う英会話をプレゼンテーションを交えながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫する。英検の2次試験の模擬試験も毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日 1月 、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリンまでメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Passport 1 English for International Communication	Angela Buckingham Lewis Lansford	Oxford University Press	978-0194718165

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物・スピーチ・面接など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題を クラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Orientation	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Text Chapter 11 Visiting a Tourist Information Center	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	Text Chapter 12 Talking about experiences	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	Text Chapter 13 Talking about sport	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Text Chapter 14 Organising meeting times	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Text Chapter 15 Shopping and bargaining	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Text Chapter 16 Sending mail and parcels	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Text Chapter 17 Discussing things to do at tourist destinations	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	Text Chapter 18 Dealing with lost property	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Text Chapter 19 Using public transportation	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Text Chapter 20 Looking back on a trip	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Eiken test interview techniques LP2	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Eiken interview techniques L3, LP2, L2	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Speech presentation	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	Review/Speech	
	事前学習（内容・時間）	定期試験のための原稿をまとめる、講義中添削してもらう。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	BUILD MY TEST 原稿をペアと一緒に練習する。(2hr)
第16回（定期試験）	定期試験。テストを参考にした原稿を(先生の前で）発表する。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5150-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話Advanced Ⅰ （教職関連科目 選 高等学校 情報）	共通	2年生・前期	2単位	選択	クリス フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること

授業概要 Course Outline

テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論（DEBATE）できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。試験日 1月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリン までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Challenge Book #4	Helene Uchida	Little America Press	978-4-947736-55-0

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

学習成果に対するフィードバック(指導と助言） Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題を クラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introductions　自己紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Introducing family and friends　家族の紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	English quiz and games　英語のクイズ大会	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	English quiz and games　英語のクイズ大会	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Presentation　Test　　発表テスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Study a movie scene　映画シーンのせりふを覚えよう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Restaurants　　好きなレストランの紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Studying the lyrics of a song 歌の歌詞を勉強しよう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	My school days　懐かしい学校時代を思い出そう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Talking about travel　思い出の旅行	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Presentation　Test　　発表テスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Talking about music　好きなアーティスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Talking about movies　好きな映画	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Eiken interview test techniques L2　英検2次試験演習　2級	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	Presentation test practice　　発表テスト練習	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第16回（定期試験）	定期試験 学生が準備した会話を発表する。ペアでプリンどなしで会話を発表。	

ナンバリング（Numbering）						
1GLN-5160-22ES						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話Advanced II （教職関連科目 選 高等学校　情報）		共通	2年生・後期	2単位	選択	クリス　フリン
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites		①積極的に声を出して授業に参加すること②資格試験を積極的にとること				

授業概要　Course Outline

テキストに沿って英語の対話力を身に付ける。毎週のダイアログを復習して、教室で発表する。日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。また毎週スピーチや会話を発表する。テキストに加えて動画、ネットコンテンツ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるようにする。英検の準2級と2級の2次試験形式を毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。英検のLISTENING問題も定期的にします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　6月　、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、7月30日までに　フリンまでメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Challenge Book #4	Helene Uchida	Little America Press	978-4-947736-55-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物・スピーチ・面接など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題を クラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introductions　自己紹介	
	事前学習 （内容・時間）	教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Introducing family and friends　家族の紹介	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	English quiz and games　英語のクイズ大会	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	English quiz and games　英語のクイズ大会	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Presentation　Test　発表テスト	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Study a movie scene　映画シーンのせりふを覚えよう	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Restaurants　好きなレストランの紹介	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Studying the lyrics of a song 歌の歌詞を勉強しよう	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	My school days　懐かしい学校時代を思い出そう	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Talking about travel　思い出の旅行	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Presentation　Test　発表テスト	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Talking about music　好きなアーティスト	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Talking about movies　好きな映画	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Eiken interview test techniques L2　英検2次試験演習　2級	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	テストで使う会話原稿を準備して、提出。(2hr)
第15回	Presentation test practice　発表テスト練習	
	事前学習 （内容・時間）	添削されたテストで使う会話原稿を練習。(2hr)
	事後学習 （内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第16回 （定期試験）	定期試験 学生が準備した会話を発表する。ペアでプリンどなしで会話を発表。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5810-22ES

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
初級中国語 （教職関連科目 選 高等学校　情報）		219～	2年生・前期		2単位	選択	喬　秦寧
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		利用	あり		
履修の前提条件 Course Prerequisites	①中国文化・中国語に興味があること　②授業に積極的に参加すること。						

授業概要　Course Outline

この科目は、建学の精神『至心』に基づいて、初めて中国語を学習する人を対象とする講義である。本講義履修を通じて、多文化・異文化（中国文化）への理解、社会的スキルとしてのコミュニケーション能力と協同力の向上を目指している。
「初級中国語」では発音や基本文法事項や文型など中国語の基礎を学ぶ。Googleクラスルーム、学修(学習)ポートフォリオ・ルーブリックを活用し、講義内容や復習資料などの提示だけではなく、小テストを実施しそれを総合成績評価に採用する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できる。
2. 初歩的な文法と文型を理解し、単文の組み立てができる。
3. 基礎的な文法を理解し、学校生活や文化に関する初級レベルの文章を読解することができる。
4. 基礎的な文法と常用単語を使用し、自己紹介や学校生活など身近な事柄について表現することができる。
5. 中国文化への理解を深める。
6. 授業を通して、コミュニケーション能力と協同力が向上できる。

（HSK1級　or 中国語検定試験準4級程度）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

協同学習という学習法を採り入れる。主にグループ活動を通じて、互いに学び合い、助け合い、励まし会い、認め合い、高め合いという能動的な学習法で授業を進める。この授業で社会的協調性を体得することができる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワー：授業終了後（火曜日2限目～）
連絡方法：kyo@g.kiis.ac.jp
Googleクラスルーム：（後日知らせる）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

. 毎回、授業を退室する前に、各自で自分のルーブリック「学習記録」をつくり、学習到達度を確認する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
協同学習で学ぶ中国語　ビギニング	李偉・管虹・岩田浩司	SANSHUSHA	978-4-384-41042-6C1087

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
中検準4級試験問題2025　「第111・112・113回」解答と解説	日本中国語検定協会　編	白帝社	978-4863986060

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度・「ポートフォリオ・ルーブリック」15%、小テスト・課題30%、口頭発表15%、期末試験40%を合わせて総合評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

・小テスト：採点後、次週の授業で返却し、模範解答を開示する。
・今後の学習の取り組み方について、メールまたはGoogle クラスルーム（クラスコード:t6oijfmn）にてお問合せください。
　折り返して連絡します。
・授業に取り組む姿勢として良かったところ悪かったところなどを、試験結果やポートフォリオやルーブリックの提出状況に基づいて説明します。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1．ガイダンス、中国事情と中国語　2．グループ分け	
	事前学習（内容・時間）	なぜ中国語を履修するのか、中国の何について興味があるのかを考えて、授業の時に発表する。
	事後学習（内容・時間）	1．中国語の発音特徴、中国語のピンイン、中国語音節の基本構造などをまとめる。
第2回	第1課その一　中国語の挨拶、単母音、声調	
	事前学習（内容・時間）	CD001-05を繰り返し聴き、特に声調に慣れる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD01-05を繰り返し聞き、単母音の発音、声調（四声）・軽声の発音ができる。2．会話を日本語に訳し、覚える。（2時間）
第3回	第1課その二　中国語の挨拶、子音、人称代名詞のまとめ、ドリル	
	事前学習（内容・時間）	CD06を繰り返し聴き、特にそり舌音を練習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD06-07を繰り返して聴き、P16の挨拶表現①を覚える。2．人称代名詞を覚える。（2時間）
第4回	第2課その一　中国語の挨拶、複母音、鼻母音	
	事前学習（内容・時間）	CD11-12を繰り返し聴き、特に「－n」と「－ng」の違いに注意しながら、練習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD09-12を繰り返し聴き、中国語の複母音と鼻母音ができる。2．P18の会話を日本語に訳し、覚える。（2時間）
第5回	第2課その二　中国語発音のまとめ、声調の変調、中国語の挨拶、	
	事前学習（内容・時間）	中国語の変調法則を調べて理解する。
	事後学習（内容・時間）	1．CD13-15を繰り返し聴き、中国語の発音に慣れる。2．P22挨拶表現②を覚える。（2時間）
第6回	第3課その一　名前・国籍・出身地・身分の言い方	
	事前学習（内容・時間）	1．CD18－19を繰り返し聴き、中国語の発音リズムに慣れる。2．単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD18-20を繰り返し聴き、会話を日本語に訳し、覚える。2．P25文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第7回	第3課その二　自己紹介、中国人の苗字について、ドリル	
	事前学習（内容・時間）	1．CD18-20を繰り返し聴き、会話ができる。2．自分の名前・国籍・出身地の中国語発音を調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD22を繰り返し聴き、中国語で簡単な自己紹介ができる。　2．中国人の苗字について調べる。（2時間）
第8回	第4課その一　数字・番号・年齢の言い方	
	事前学習（内容・時間）	1．CD23－25を繰り返し聴き、中国語の発音リズムに慣れる。2．単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD23－24を繰り返し聴き、会話を日本語に訳し、覚える。2．P29の文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第9回	第4課その二　家族紹介、ドリル	
	事前学習（内容・時間）	1．CD25を繰り返し聴き、0～100を数えられる。2．会話ができる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD27を繰り返し聴き、家族紹介ができる。2．中国の家族事情について調べる。（2時間）
第10回	第5課その一　年月日・曜日・時刻、生年月日の言い方	
	事前学習（内容・時間）	1．CD28－30を繰り返し聴き、中国語の発音リズムに慣れる。2，単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD28-30を繰り返し聴き、会話を日本語に訳し、覚える。2．P33の文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第11回	第5課その二　行動の言い方、ドリル	
	事前学習（内容・時間）	1．CD30を繰り返し聴き、年月日・曜日・時刻が言える。2．会話ができる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD32を繰り返し聴き、「行く・食べる・飲む・見る」などの行動が言える。2．中国人の誕生日祝う習慣について調べる。（2時間）
第12回	第6課その一　番号の聞き方、省略疑問文の言い方	
	事前学習（内容・時間）	1．CD33-35を繰り返し聴き、中国語の発音リズムに慣れる。2，単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD33-35を繰り返し聴き、会話文を日本語に訳し、覚える。2．P35の文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第13回	第6課その二　行動進行の言い方、ドリル	
	事前学習（内容・時間）	1．CD33－35を繰り返し聴き、番号の表現が使える。2．会話ができる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1．CD37繰り返し聴き、行動進行の表現ができる。2．中国のWeChatについて調べる。（2時間）
第14回	朗読発表会	
	事前学習（内容・時間）	P41の「チャレンジしましょう」の指示通りに、自分の発表内容を準備する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	CD38-40を繰り返し聴き、ピンインなしで聞き答えができる。（2時間）
第15回	復習	
	事前学習（内容・時間）	小テスト1－6を再度チャレンジする。
	事後学習（内容・時間）	総合復習
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6000-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級中国語 （教職関連科目 選 高等学校　情報）	219～	2年生・後期	2単位	選択	喬　秦寧

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基本的に「初級中国語」を履修済み、或いは同等レベルの持つ人を対象とする。

授業概要　Course Outline

この科目は、建学の精神『至心』に基づいて、「初級中国語」を履修済みの人を対象とする講義を行う。本講義履修を通じて、多文化・異文化（中国文化）への理解、社会的スキルとしてのコミュニケーション能力と協同力の向上を目指している。テキストは「初級中国語」に引き続き、「協同学習で学ぶ中国語　ビギニング」を使用する。第7課から始める。
「中級中国語」では基本文法事項や文型などを学ぶ。Googleクラスルーム、学修(学習)ポートフォリオ・ルーブリックを活用し、講義内容や復習資料などの提示だけではなく、小テストを実施しそれを総合成績評価に採用する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当なし		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できる。
2. より複雑な文法と文型を理解し、文の組み立てができる。
3. 基本的な文法を理解し、文法と常用単語を使用し、自己紹介や学校生活など身近な事柄について表現することができる。
4. 中国文化への理解を深める。
5. 授業を通して、コミュニケーション能力と協同力が向上できる。
（中国語検定試験4級程度）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

協同学習という学習法を採り入れる。主にグループ活動を通じて、互いに学び合い、助け合い、励まし会い、認め合い、高め合いという能動的な習法で授業を進める。この授業で社会的協調性を体得することができる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワー：授業終了後（火曜日2限目～）
連絡方法：kyo@g.kiis.ac.jp
Googleクラスルーム：dqvpdfvi

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

. 毎回の授業を退室する前に、各自で自分のルーブリック「学習記録」を記入し、学習到達度を確認する。
・外部試験：「中国語検定試験4級」の受験を進める。試験日：3月、6月、11月の第4日曜日。
http://www.chuken.gr.jp

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
協同学習で学ぶ中国語　ビギニング	李偉・管紅・岩田好司	SANSHUSHA	978-4-384-41042-6C1087

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
中検4級試験問題2025 「第111・112・113回」解答と解説	日本中国語検定協会　編	白帝社	978-4863986077

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度・「ポートフォリオ・ルーブリック」15%、小テスト・課題30%、口頭発表15%、期末試験40%を合わせて総合評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

・小テスト：採点後、次週の授業で返却し、模範解答を開示する。
・今後の学習の取り組み方について、メールまたはGoogle クラスルーム（クラスコード:dqvpdfvi）にてお問合せください。
　折り返して連絡します。
・授業に取り組む姿勢として良かったところ悪かったところなどを、試験結果やポートフォリオやルーブリックの提出状況に基づいて説明します。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1. ガイダンス　2. 初級中国語復習	
	事前学習（内容・時間）	初級中国語を復習する。P40-41（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 0～100を数える。2. 年月日・曜日・時刻が言える。3. 番号の表現が使える。（2時間）
第2回	第7課その一　中国のお金の種類、金額の言い方	
	事前学習（内容・時間）	1. CD41-43を繰り返し聴き、中国語の発音に慣れる。2. 単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD41-43を繰り返し聴き、会話を日本語に訳し、覚える。2. P43の文法を日本語に訳す。（2時間）
第3回	第7課その二　値段の尋ね方、中国の買い物単位、ドリル	
	事前学習（内容・時間）	1. CD41-42を繰り返し聴き、会話ができる。2. 金額が言える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD45を繰り返し聴き、値段の尋ね方と値段の交渉表現が使える。2. 中国の買い物単位について調べる。（2時間）
第4回	第8課その一　相手の症状を聞く言い方	
	事前学習（内容・時間）	1. CD46-48を繰り返し聴き、中国語の発音に慣れる。2. 単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD46-48を繰り返し聴き、会話文を日本語に訳し、覚える。2. P47の文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第5回	第8課その二　自分の症状言い方、中国人の健康法について	
	事前学習（内容・時間）	1. CD46-48を繰り返し聴き、会話ができる。2. 相手の症状を聞くことができる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD50を繰り返し聴き、自分の症状を言える。2. 中国人の健康法について調べる。（2時間）
第6回	第9課その一　場所名詞と方位詞、存在場所の言い方	
	事前学習（内容・時間）	1. CD51-53を繰り返し聴き、中国語の発音に慣れる。2. 単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD51-52を繰り返し聴き、会話文を日本語に訳し、覚える。2. P51の文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第7回	第9課その二　動作場所の言い方、中国のお弁当習慣について	
	事前学習（内容・時間）	1. CD51-52を繰り返し聴き、会話ができる。2. 人やモノの存在場所が言える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD55を繰り返し聴き、動作の行われる場所が言える。2. 中国のお弁当事情を調べる。（2時間）
第8回	第10課その一　好き嫌いの言い方	
	事前学習（内容・時間）	1. CD56-58を繰り返し聴き、中国語の発音に慣れる。2. 単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD56－57を繰り返し聴き、会話を日本語に訳し、覚える。2. P55の文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第9回	第10課その二　趣味や関心ごとの言い方、中国人の趣味について	
	事前学習（内容・時間）	1. CD56をを繰り返し聴き、会話ができる。2. 食べ物や飲み物の好き嫌いが言える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD60を繰り返し聴き、自分の趣味や関心ごとが言える。2. 中国人の趣味について調べる。（2時間）
第10回	第11課その一　技能・可能の言い方	
	事前学習（内容・時間）	1. CD61-63を繰り返し聴き、発音に慣れる。2. 単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD61-62を繰り返し聴き、会話を日本語に訳し、覚える。2. P59の文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第11回	第11課その二　許可の言い方、中国の学校の体育施設について	
	事前学習（内容・時間）	1. CD61を繰り返し聴き、会話ができる。2. 可能の表現が使える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD65を繰り返し聴き、許可の表現が使える。2. 中国の学校の体育施設について調べる。（2時間）
第12回	第12課その一　願望、予定・計画の言い方	
	事前学習（内容・時間）	1. CD66－68を繰り返し聴き、発音に慣れる。2. 単語帳をつくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD66－67を繰り返し聴き、会話を日本語に訳し、覚える。2. P63の文法表現を日本語に訳す。（2時間）
第13回	第12課その二　夢の言い方、中国大学生のアルバイト事情について	
	事前学習（内容・時間）	1. CD66－67を繰り返し聴き、会話ができる。2. 自分の願望、予定・計画が言える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CD70を繰り返し聴き、自分の夢が言える。2. 中国大学生のアルバイト事情を調べる。
第14回	朗読発表会	
	事前学習（内容・時間）	1. CD71－73を繰り返し聴き、復習する。2. P67「チャレンジしましょう」の指示通りに自分の発表内容を準備する。
	事後学習（内容・時間）	1. CD72を繰り返し聴き、ピンインなしで聞き答えができる。
第15回	復習	
	事前学習（内容・時間）	小テスト7－12を再度チャレンジする。
	事後学習（内容・時間）	総合復習
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5800-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
初級韓国語 （教職関連科目 選 高等学校　情報）	219～	2年生・前期	2単位	選択	全　彰煥

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	
	韓国国籍所持者以外の学生及び、ハングル(韓国語)を母国語としていない日本人と留学生を該当者とする。

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」ー「四恩」の⑴親・祖先の御恩　⑵教師・先生の御恩　⑶社会・国家の御恩　⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。

授業内容は、次のとおりである。

① 学習内容は、ハングル文字の構造、発音を説明して読み・書きを通じて習得させる。
　また、テキストの会話文を覚えて発表させる。
② 学習者は毎週、出席カード用の小テストを提出しなければならない。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

国際化・グローバル化の時代において隣国の言語を学習することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りであある。

① 生活に必要な基礎的な言語技能を遂行することができ、「自分自身、家族、趣味、天気」などたいへん私的で身近な話題に関連した内容を理解し表現することができる。
② 約800個の基礎語彙と基本文法に関する理解を基に簡単な文章を生成することができる。
③ 簡単な生活文と実用文を理解し構成することができる。
④「初級韓国語」の受講及び「韓国語能力試験(TOPIK)」Ⅰ －1、2級の受験を指導する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

① 対話型授業を中心とする。
② 授業中のグループ、チーム発表に積極的に参加しなければならない。
③ レポート代わりの１：１の確認発表をする。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室（453）にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜水＞2–5限目
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：「韓国語能力試験（TOPIK）」Ⅰ（1・2級）、または「ハングル検定試験」（5級）を受験する。
　試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「韓国語の世界へ」入門編	李　潤玉　外4人	朝日出版社	978-4255557106

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「ゼロからスタート」 韓単語　BASIC1400	鶴見ユミ	Jリサーチ出版	978-4-901429-66-5

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験：30%、課題：30%、発表：20%、平常点（出席等）：20%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

① 平常時の指導 ： 授業中の発音練習や対話練習において、即時的に修正・助言を行う。
② 課題・テスト ： 提出物を添削・採点して返却し、全体的な傾向を解説する。
③ 振り返り ： 課題の練習、復習問題の習熟度に応じた学習アドバイスを提示する。
※ 試験の結果や今後の学習の取り組みについて指導と助言をします。メールまたはGoogle Classroomでお問合せください。
　折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	「イントロダクション」と　第1課　　文字と発音（1）	
	事前学習 （内容・時間）	ハングルの子音と母音の確認しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「反切表」の暗記と「練習１～９」を解く。（2時間）
第2回	文字と発音（2）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明２－1から２－4」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～８」を解く。（2時間）
第3回	第3課　　文字と発音（3）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明３－1から３－4」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～９」を解く。（2時間）
第4回	第4課　　한국 사람입니다.　（韓国人です。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明４－1から４－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～５」を解く。（2時間）
第5回	第5課　　한국어는 전공이 아니에요.（韓国語は専門ではありません。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明５－1から５－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～５」を解く。（2時間）
第6回	第6課　　강의실은 계단 옆에 있어요..（講義室は階段の横にあります。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明６－1から６－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～５」を解く。（2時間）
第7回	復習（第4課・第5課・第6課）	
	事前学習 （内容・時間）	「4課の復習」、「まとめ4」、「5課の復習」、「6課の復習」、「まとめ5，6」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「4課の復習」、「まとめ4」、「5課の復習」、「6課の復習」、「まとめ5，6」を解く。（2時間）
第8回	第7課　　오후에 시간 괜찮아요?（午後、時間大丈夫ですか。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明７－1から７－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～３」を解く。（2時間）
第9回	第8課　　초등학생에게 태권도를 가르쳐요..（小学生にテクォンドを教えます。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明８－1から８－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～３」を解く。（2時間）
第10回	第9課　　보통 여섯 시에 일어나요.（普通、6時に起きます。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明９－1から９－４」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～３」を解く。（2時間）
第11回	復習（第7課・第8課・第9課）	
	事前学習 （内容・時間）	「7課の復習」、「8課の復習」「まとめ7，8」、「9課の復習」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「7課の復習」、「8課の復習」「まとめ7，8」、「9課の復習」を解く。（2時間）
第12回	第10課　　야구를 아주 좋아해요.（野球が大好きです。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明１０－1から１０－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～４」を解く。（2時間）
第13回	第11課　　점심 안 먹었어요?（昼ご飯食べてませんか。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明１１－1から１１－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～４」を解く。（2時間）
第14回	第12課　　봄 방학 때 뭐 할 거예요?（春休みに何をしますか。）	
	事前学習 （内容・時間）	「説明１２－1から１２－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習１～6」を解く。（2時間）
第15回	復習（第10課・第11課・第12課）	
	事前学習 （内容・時間）	「10課の復習」、「まとめ9，10」、「１１課の復習」、「１２課の復習」、「まとめ11，12」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「10課の復習」、「まとめ9，10」、「１１課の復習」、「１２課の復習」、「まとめ11，12」を解く。（2時間）
第16回 （定期試験）	各課の「練習問題」と「復習問題」を基本とする試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5990-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級韓国語 （教職関連科目 選 高等学校　情報）	219～	2年生・後期	2単位	選択	全　彰煥

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基本的に、ハングル(韓国語)を母国語としていない日本人と留学生として、「入門韓国語」の履修者か、90時間以上の韓国語教育履修者を該当者とする。

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」ー「四恩」の⑴親・祖先の御恩　⑵教師・先生の御恩　⑶社会・国家の御恩　⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。
授業内容は、次のとおりである。
① 前期学習内容の復習、各課の文法説明、テキストの会話文暗記を通して会話文を習得させる。
② 学習者は毎週、出席カード用の小テストを提出しなければならない。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

国際化・グローバル化の時代において隣国の言語を学習することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。
具体的内容は次の通りである。
①「電話する、頼みごとをする」などの日常生活に必要な技能と「郵便局、銀行」などの公共施設の利用に必要な技能を遂行することができる。
② 約1,500～2,000個の語彙を利用して私的で身近な話題に関して段落単位で理解し使用することができる。
③ 公式的な状況と非公式的な状況での言語を区分して使用することができる。
④「中級韓国語」の受講及び「韓国語能力試験（TOPIK）」Ⅰ－1、2級の受験を指導する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

① 対話型授業を中心とする。
② 授業中のグループ、チーム発表に積極的に参加しなければならない。
③ レポート代わりの１；１の確認発表をしなければならない。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室（453）にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜水＞2～5限目
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：「韓国語能力試験（TOPIK）」Ⅰ（1・2級）、または「ハングル検定試験」（4級）を受験する。
試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「韓国語の世界へ」初・中級編	李　潤玉外４人	朝日出版社	978-4-255-55644-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「キゾー式 パーフェクトハングル」	小倉紀蔵	精興社	4-88724-417-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験：30%、課題：30%、発表：20%、平常点（出席等）：20%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

① 平常時の指導 ： 授業中の発音練習や対話練習において、即時的に修正・助言を行う。
② 課題・テスト ： 提出物を添削・採点して返却し、全体的な傾向を解説する。
③ 振り返り ： 課題の練習、復習問題の習熟度に応じた学習アドバイスを提示する。
※ 試験の結果や今後の学習の取り組みについて指導と助言をします。メールまたはGoogle Classroomでお問合せください。
折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	第1課　몇 학번이에요?(学籍番号は何番ですか。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明1－1」から「説明1－2」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」「練習2」を解く。(2時間)
第2回	第2課　한국어를 열심히 공부할 거예요.(韓国語を一所懸命に勉強します。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明2－1」から「説明2－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習5」を解く。(2時間)
第3回	第3課　저 구두 좀 보여 주세요.(あの靴をちょっと見せてください。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明3－1」から「説明3－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)
第4回	第4課　자주 가는 한식집 있으면 소개해 주세요.(よく行っている韓食屋があったら紹介して下さい。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明4－1」から「説明4－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習6」を解く。(2時間)
第5回	復習（第1課～第4課）	
	事前学習（内容・時間）	「1課の復習」「2課の復習」「聞いてみよう1」「3課の復習」「4課の復習」「ステップアップ1」予習(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「1課の復習」「2課の復習」「聞いてみよう1」「3課の復習」「4課の復習」「ステップアップ1」復習(2時間)
第6回	第5課　함께 찍은 사진을 첨부했어요.(一緒に撮った写真を添付しました。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明5－1」から「説明5－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習5」を解く。(2時間)
第7回	第6課　발표 시간에 늦어서 죄송합니다..(発表時間に遅れてすみません。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明6－1」から「説明6－4」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習6」を解く。(2時間)
第8回	第7課　더운 여름에 삼계탕을 먹어요.(暑い夏にサンゲタンを食べます。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明7－1」から「説明7－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)
第9回	第8課　안 무거우니까 혼자 할게요.(重くないから自分でします。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明8－1」から「説明8－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)
第10回	復習（第5課～第8課）	
	事前学習（内容・時間）	「5課の復習」「6課の復習」「聞いてみよう2」「7課の復習」「8課の復習」「ステップアップ2」予習(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「5課の復習」「6課の復習」「聞いてみよう2」「7課の復習」「8課の復習」「ステップアップ2」復習(2時間)
第11回	第9課　컴퓨터 잠깐 빌려도 돼요? (コンピューターをちょっと借りてもいいですか。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明9－1」から「説明9－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)
第12回	第10課　리무진 버스가 편하겠죠?(リムジンバスが便利でしょう？)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明10－1」から「説明10－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習3」を解く。(2時間)
第13回	第11課　도자기도 만들어 봤어요?(陶磁器を作ったことありますか。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明11－1」から「説明11－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習5」を解く。(2時間)
第14回	第12課　한국 회사에 취직하려고 해요.(韓国の会社に就職するつもりです。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明12－1」から「説明12－3」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習1」から「練習4」を解く。(2時間)
第15回	復習（第9課～第12課）	
	事前学習（内容・時間）	「9課の復習」「10課の復習」「聞いてみよう3」「11課の復習」「12課の復習」「ステップアップ3」予習(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「9課の復習」「10課の復習」「聞いてみよう3」「11課の復習」「12課の復習」「ステップアップ3」予習(2時間)
第16回（定期試験）	各課の「練習問題」と「復習問題」を基本とする試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6200-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
日本語Ⅰ（J1）	共通	1年生・前期	2単位	選択	古川　幸子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	非漢字圏の学生で漢字学習を深めたいと思っていること。日本語1を履修したものは日本語2も履修することが望ましい。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、日本での留学生活はもちろん、大学での学習に必要な漢字（初級後半から中級程度）を授業で扱いながら、日本語力の総合的な向上を目標とする。読み書きを中心に、聞く、話す力を総合的に身につける。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日常生活に必要なことがらに真摯に向き合うための語学力を高めることが目標である。留学生活で目の当たりにする様々な書類やテキストなどの漢字が読め、また必要なことが書けるようになる。（JLPTのN2～N1相当）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

漢字学習がメインとはいえ、日本語力を高めることを目標にしているので、対話をしながら進める。積極的な日本語での発話を期待している。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室（452）で受け付ける。

**その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,
ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について**

学習の確認：進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
にほんご漢字トレーニング	松浦真理子・上妻直博・半田健一	アスク出版	978-4872177947

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語総まとめN2漢字	佐々木仁子	アスク出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%、小テスト20%、平常点10%（授業中の積極的な発表や提出物への取り組み方、内容によって評価します）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問合せください。折り返し連絡をします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業方針説明、受講上の注意、自己紹介、レベルテスト	
	事前学習（内容・時間）	テキストの準備　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	レベルテストの反省（2時間）
第2回	漢字をきれいに書くルールとポイント	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第3回	漢字の読み方がわかるルール①	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第4回	漢字の読み方がわかるルール②	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習・小テスト①の予習
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第5回	漢字の読み方が変わるルール①　小テスト①	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく　小テスト②の準備（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第6回	漢字の読み方が変わるルール②	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく・小テスト②の準備（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第7回	漢字の意味が分かる記号　小テスト②	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく　小テスト③の準備（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第8回	漢字一字の意味を考える　小テスト③	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく　小テスト④の準備（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第9回	少しの漢字から言葉を増やす　小テスト④	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第10回	漢字の前について言葉を作る漢字	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える　小テスト⑤の準備（2時間）
第11回	漢字の前後について言葉を作る漢字　小テスト⑤	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第12回	同じ読み方の漢字を覚える	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第13回	同じ意味を持つ漢字	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第14回	文章の中の漢字を考える	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく　小テスト⑥の準備（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第15回	身近なものから情報を得る　小テスト⑥	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験を行います。（持ち込み不可）	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6200-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
日本語Ⅰ（J2）	共通	1年生・前期	2単位	選択	全　彰煥

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	本講義は留学生を対象者とする中級以上の日本語講座である。 主に、初級から中級へのレベルアップするための学習をする。

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」ー「四恩」の⑴親・祖先の御恩　⑵教師・先生の御恩　⑶社会・国家の御恩　⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。

授業内容は、次のとおりである。

① 「日本語能力試験2級(N2)」の語彙、文法と「漢字検定6級」の漢字を学習する。
② 学習者は、毎週与えられる「漢字検定6級」の問題と「ワークブック問題」をレポートで提出しなければならない。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

外国人留学生として、正しい日本語学習を通して日本人と日本文化に対する理解力を増進することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りである。

① 日本語基礎文法を学び、中級レベルと漢字検定6級以上の日本語力取得を目指す。
② 「日本語能力試験2級(N2)」の語彙、文法を学習する。
③ 「日本語能力試験2級(N2)」と「漢字検定6級」の受験・取得を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

① 対話型例文を熟知して、「1：1チーム発表」で発表をする。
② レベル別漢字テストの基本漢字の関連単語と語句を自主的に調査し、課題として提出する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室（453）にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜水＞2-5限目
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：「日本語能力試験（JLPT）」N2と「漢字検定」6級以上を受験する。
試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語能力試験N2文法 必修パターン	氏原庸子／佐伯玲子	Jリサーチ出版	978-4-86392-331-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「書き込み式、漢字の学習」 ー漢検対応ー	明治書院教科書編集部	明治書院	978-4-625-23302-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験：30%、課題：30%、発表：20%、平常点（出席等）：20%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

① 口頭での助言 ： 授業内のやり取りを通じ、発音・アクセント・文法の適切さについて即時にアドバイスを行う。
② 課題の返却 ： 「漢検ミニテスト」と「CNN EE練習問題」の課題をチェックして返却する。
※ 試験の結果や今後の学習の取り組みについて指導と助言をします。メールまたはGoogle Classroomでお問合せください。
折り返して連絡します。

テーマ Theme		
第1回	基礎の復習ー1．助詞、2．副詞	
	事前学習 （内容・時間）	特定無し
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト①（2時間）
第2回	基礎の復習ー3．接続詞、4．敬語❶	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト②（2時間）
第3回	基礎の復習ー4．敬語❷	
	事前学習 （内容・時間）	「敬語資料」を熟読する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「敬語資料」暗記する。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト③（2時間）
第4回	「N3文型」の整理 （1）、（2）、（3）、（4）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ミニテスト④（2時間）
第5回	「N3文型」の整理 （5）、（6）、（7）、（8）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト⑤（2時間）
第6回	「N3文型」の整理 （9）、（10）、（11）、（12）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト⑥（2時間）
第7回	「N2文型」の整理 （1）、（2）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト⑦（2時間）
第8回	「N2文型」の整理 （3）、（4）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検４級ーミニテスト⑧（2時間）
第9回	「N2文型」の整理 （5）、（6）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ー過去問⑨（2時間）
第10回	「N2文型」の整理 （7）、（8） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト⑩（2時間）
第11回	「N2文型」の整理 （9）、（10）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト⑪（2時間）
第12回	「N2文型」の整理 （11）、（12）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ー過去問⑫（2時間）
第13回	「N2文型」の整理 （13）、（14） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト⑬（2時間）
第14回	「N2文型」の整理 （15）、（16）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト⑭（2時間）
第15回	「N2文型」の整理 （17）、（18）	
	事前学習 （内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検6級ーミニテスト⑮（2時間）
第16回 （定期試験）	テキストの「練習問題」「応用問題」「実践問題」「模擬試験問題」と漢検6級の課題を基にする試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6210-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
日本語Ⅱ（J1）	共通	1年生・後期	2単位	選択	古川　幸子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	漢字の読み書き、また、作文論文表現能力への向上意欲を持っていること。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、正しい文法で短い文章を作る（書く）練習から始め、最後には長い文章（レポートなど）が書けるようになるよう、課題に取り組む。書くことだけにとどまらず、コミュニケーション能力の向上も目指し、お互いの異文化に触れながらディスカッションをして理解を深める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

留学生として積極的に学ぶための、様々な場面で必要とされる文章を読み書きできる力を身につける。自分の意思を自分の力で表現する力、また相手の意見を明確に理解できる力を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

自分の考えを正しく表現することが目標であるので、考える→話す→聞く→書く→（まとめる）という順番で行う。授業中は意見を求めることも多いので、予告されたテーマについて準備しておくこと。最後の課題、レポートはWordで提出。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室（452）で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：進度に合わせて小テストなどを行い、理解度を確認する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語を学ぶ人のためのアカデミックライティング	伊集院郁子　高野愛子	アスク出版	978486639605

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%、小テスト20%、平常点10%（授業中の積極的な発表や提出物への取り組み方、内容によって評価します）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問合せください。折り返し連絡をします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：講義内容、方針説明、受講上の注意など	
	事前学習（内容・時間）	配布資料準備 1課を読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第2回	書き言葉と話し言葉、文体について。	
	事前学習（内容・時間）	該当箇所の予習 話し言葉と書き言葉の区別を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第3回	状況を説明し、意見を述べる①	
	事前学習（内容・時間）	身の回りの出来事を描写する言い方をまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第4回	状況を説明し、意見を述べる②	
	事前学習（内容・時間）	状況を説明する表現にはどのようなものがあるか調べておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第5回	段落を作る①	
	事前学習（内容・時間）	該当箇所の予習　配布プリントを読んで予習しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第6回	段落を作る②	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第7回	文や段落をつなぐ練習（接続詞など）	
	事前学習（内容・時間）	既習の接続詞などについてまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第8回	体験したことを書く	
	事前学習（内容・時間）	自分の体験をまとめてテーマを決めておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第9回	テーマに沿って意見文を書く①（疑問提示、伝聞、因果関係、予想、意見主張の表明）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第10回	テーマに沿って意見文を書く②	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　意見文を書く上で必要な表現について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内で書いたものを再度確認する　授業内に書いたものの清書（2時間）
第11回	レポート書くための基礎知識と構成①	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第12回	レポート書くための基礎知識と構成②引用の表現	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第13回	レポートを書くために基礎知識③資料を引用して書く	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　学習した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第14回	レポートを書く（資料をまとめる）	
	事前学習（内容・時間）	必要な資料を集めておく　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書をし確認（2時間）
第15回	レポートを書く（レポートの大筋を立てて書く準備をする）	
	事前学習（内容・時間）	レポートを書く上で必要な表現をまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験を行います。持ち込み不可。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6210-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅱ（J2）	共通	1年生・後期	2単位	選択	全　彰煥

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	留学生を対象者とする中・上級の日本語講座である。 主に、中級から上級へレベルアップするための学習をする。

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」ー「四恩」の⑴親・祖先の御恩　⑵教師・先生の御恩　⑶社会・国家の御恩　⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。

授業内容は、次のとおりである。

① 「日本語能力試験」N1の語彙、文法と「漢字検定5級」の漢字を学習する。
② 「日本語能力試験」N1の重要表現を文型を中心に学習する。
③ 「日本語能力試験」N1の文法問題を課題として熟知する。
④ インターネット・ニュースを持って時事問題を接し、聴解力と発表力を鍛えさせる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

外国人留学生として、正しい日本語学習を通して日本人と日本文化に対する理解力を増進することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りである。

① 「日本語能力試験」N1の語彙、文法を学習する。
② 「日本語能力試験」N1と「漢字検定」5級以上の受験・取得を目指す。
③ インターネット・ニュースを通して聴解力と発表力の向上を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

① 指定のインターネット・ニュースを発表する。
② レベル別漢字テストの基本漢字の関連単語と語句を自主的に調査し、課題として提出する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室（453）にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜水＞2ー5限目
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：「日本語能力試験（JLPT）」N1と「漢字検定」5級以上を受験する。
試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語能力試験N1文法 必修パターン	氏原庸子／岡本牧子	Jリサーチ出版	978-4-86392-233-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「日本語総まとめ」 ーN1、文法ー	佐々木仁子・松本紀子	アスク出版	978-4-87217-726-8
「書き込み式、漢字の学習」 ー漢検対応ー	明治書院教科書編集部	明治書院	978-4-625-23302-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験：30%、課題：30%、発表：20%、平常点（出席等）：20%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

① 口頭での助言 ： 授業内のやり取りを通じ、発音・アクセント・文法の適切さについて即時にアドバイスを行う。
② 課題の返却 ：「漢検ミニテスト」と「CNN EE練習問題」の課題をチェックして返却する。
※ 試験の結果や今後の学習の取り組みについて指導と助言をします。メールまたはGoogle Classroomでお問合せください。
折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	文法の復習1、2、3	
	事前学習（内容・時間）	特定無し
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト①（2時間）
第2回	文法の復習4．敬語	
	事前学習（内容・時間）	「敬語資料」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「敬語資料」暗記する。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト②（2時間）
第3回	N2・N3の復習1．2、3、4	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト③（2時間）
第4回	N2・N3の復習5、6、7、8	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト④（2時間）
第5回	N2・N3の復習9、10、11、12	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑤（2時間）
第6回	N1文型の整理（1）、（2）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑥（2時間）
第7回	N1文型の整理（3）、（4）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑦（2時間）
第8回	N1文型の整理（5）、（6）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑧（2時間）
第9回	N1文型の整理（7）、（8）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑨（2時間）
第10回	N1文型の整理（9）、（10）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑩（2時間）
第11回	N1文型の整理（11）、（12）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑪（2時間）
第12回	N1文型の整理（13）、（14）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑫（2時間）
第13回	N1文型の整理（15）、（16）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑬（2時間）
第14回	N1文型の整理（17）、（18）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検5級一ミニテスト⑭（2時間）
第15回	N1文型の整理（19）、（20）	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。(2時間)
第16回（定期試験）	テキストの「練習問題」「応用問題」「実践問題」「模擬試験問題」と漢検5級の課題を基にする試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6220-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅲ	219～	2年生・前期	2単位	選択	古川　幸子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	留学生を対象とする日本語講座です。日本語運用能力向上に意欲のある学生の受講を求めます。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づき、日本語を学び活用するうえで、学習者が陥りやすい誤用や不自然さを意識しながら語彙力をつける。日本語の基礎力と応用力を身につける。日本語能力試験の対策も行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本の大学で学ぶ上で必要な日本語運用能力、また多数ある類似語を場面で使い分けて表現し円滑なコミュニケーションが積極的にとれるようになる。また、語彙から日本の文化や習慣、価値観などに関して知り、日本社会について理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

特定の場面を提案するので、それぞれが既習の語彙を使って会話をし、さらによりよい表現になるように新しい言葉を学びながら練習する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室（452）で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語総まとめN2読解文法	佐々木仁子	アスク社	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%、小テスト20%、平常点10%（学習態度、提出物によって評価します）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問合せください。折り返し連絡をします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業方針説明、受講上の注意、自己紹介、プレテスト	
	事前学習（内容・時間）	Googleclassroom で配布したプリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	プレテスト内容の復習
第2回	4月の言葉（花見）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで春のイベントに関する用語など既習のものをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第3回	4月の言葉（入学）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んでセレモニーに関する用語など既習のものをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第4回	5月の言葉（ゴールデンウイーク）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで知っているオノマトペをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第5回	5月の言葉（こどもの日、こどもに関する言葉）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで足にまつわる動詞をまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第6回	手の動きに関する言葉	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで手の動きにまつわる動詞をまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第7回	6月の言葉（梅雨など天気に関する言葉）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで季節や気候についての既習の言葉をまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第8回	6月の言葉（ジューンブライド、結婚式など）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで文化の違いと疑問点、それにまつわる表現などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第9回	7月の言葉（海に関する言葉）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで目の動きや表情の言葉をまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第10回	7月の言葉（景色に関する言葉）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで聞くことにまつわる言葉の表現をまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第11回	7月の言葉(話すことに関する言葉)	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで口から発することを表す動詞や表現をまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第12回	心に関する言葉（気持ちなど）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第13回	お祭りに関する言葉	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第14回	秋に関する言葉	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで、秋冬の季節にまつわる表現をまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第15回	ことわざ	
	事前学習（内容・時間）	自国のことわざを説明するための準備。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験を行います。（持ち込み不可）	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6230-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅳ	219～	2年生・後期	2単位	選択	古川　幸子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	留学生を対象とする日本語講座です。日本語運用能力向上に意欲のある学生の受講を求めます。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づき、論理的思考を養うために様々な文章を読み、練習問題を重ねながらアカデミックジャパニーズを身につけます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本をより理解し、積極的に文献などを読み学習にあたるため、様々な文章に触れながら読解力を深め、さらには考えることを習慣化し、自分の考えを表現できるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

トピックスを正しく読み取り、ディスカッションしたりして意見をまとめ発表します。学生からの積極的な発話をお願いします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室（452）で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語ロジカルトレーニング　中級	西隈俊哉	アルク	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新聞記事など			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%、小テスト20%、平常点10%（発表等での態度や内容でも評価します）

学習成果に対するフィードバック（指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問合せください。折り返し連絡をします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業方針説明、評価の方法	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの準備　テキストの構成などを見ておく（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第2回	発想力：言葉の地図を作ってみよう	
	事前学習 （内容・時間）	「自分」のテーマについて考えておく。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	マッピングしたものを文章にする
第3回	イラストを見て考えよう	
	事前学習 （内容・時間）	言葉にするための表現をまとめておく。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第4回	文章を読んで図や表にしてみよう	
	事前学習 （内容・時間）	図表の表現について確認する。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第5回	標グラフの内容を読み取ってみよう	
	事前学習 （内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第6回	マッピングをしながら読んでみよう	
	事前学習 （内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第7回	登場人物になったつもりで読んでみよう	
	事前学習 （内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第8回	理由を考えながら読んでみよう	
	事前学習 （内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第9回	意味を考えながら読んでみよう	
	事前学習 （内容・時間）	指定された内容について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第10回	キーワードをつなげて読んでみよう（N2レベルの読解）	
	事前学習 （内容・時間）	N2の語彙、文法を確認しておく。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第11回	文章を読んで考えてみよう（N2レベルの読解）	
	事前学習 （内容・時間）	N2の語彙、文法を確認しておく。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第12回	文章を読んで考えてみよう（N1レベルの読解）	
	事前学習 （内容・時間）	N1の語彙、文法を確認しておく。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第13回	文章を読んで考えてみよう（N1レベルの読解）	
	事前学習 （内容・時間）	N1の語彙、文法を確認しておく。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第14回	文章を読んで考えてみよう（N1レベルの読解）	
	事前学習 （内容・時間）	N1の語彙、文法を確認しておく。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第15回	まとめ（新聞記事を読もう）	
	事前学習 （内容・時間）	新聞記事を準備する。読んでくる。授業中に質問します（二時間）
	事後学習 （内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第16回 （定期試験）	筆記試験を行います。持ち込み不可。	

ナンバリング（Numbering）
1GCB-5781-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報リテラシー演習 I	223～	1年生・前期	2単位	必修	リテラシー担当教員
情報リテラシー演習（教職関連科目 選 高等学校 情報）	219～222				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	パソコンの基本操作やタイピングに慣れていることが望ましい。

授業概要　Course Outline

本演習ではディプロマポリシーに基づき、少人数クラスに分かれて担当教員が分担して、情報リテラシーの基礎となるワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどに関する基礎技能を学ぶ。また、これらの基礎技能を用いて、実データの収集、分析、応用の方法について体験する。さらに、情報教育の基礎となる情報検索方法や情報モラル・セキュリティ、ネットワークコミュニケーション、人工知能についても概説する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】
・パソコンの基礎的事項（五大装置、通信方法）を説明できる。 ・情報の定義、情報モラル、セキュリティについて説明できる。
・インターネットの利点・欠点、SNSの利点・欠点を列挙できる。 ・人工知能の定義、実用例について説明できる。
【態度・習慣】
・疑問点を尋ねることができる。 ・講義に参加できる。
【技能】
・タッチタイピングができる。 ・ビジネス文書の例を模倣し、自分で作成することができる。 ・Excelで表やグラフの作成、数式の利用ができる。 ・Powerpointで発表スライドを作成し、発表できる。 ・講義レポートを作成することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ実習をこなすだけでなく、卒業論文や科目レポートの作成を念頭に、学ぶ機能がどう使えるかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、各担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

MOS（Microsoft Office Specialist）の合格者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇します。
学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックシートに必要事項を記入し8回目講義および最終講義時に提出すること.

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
リメディアル教育のための情報リテラシー	鈴木和也・荒平高章	八千代出版	978-4-8429-1812-9

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
適宜資料を配布する。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

提出課題(30%)、講義中の発表(10%)、実習試験(30%)、筆記試験(30%)で評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの回で、各自のノートパソコン上を用いて文章や資料作成の演習を行う時間を設け、各自の成果物について指導と助言を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	パソコンの基本設定１（学内ネットワーク接続、メール環境構築）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し、本科目の内容について把握する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)
第2回	パソコンの基本設定２（オフィスソフトのインストール、共有フォルダ設定）	
	事前学習（内容・時間）	大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)
第3回	授業計画説明、メールの書き方、人工知能・データサイエンス（導入講義）	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第4回	第１章 パソコン入門、第２章 タイピングの基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第5回	第３章 文書作成の基礎（１）、第４章 文書作成の基礎（２）	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第6回	第５章 文書作成の応用	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第7回	第６章 表作成の基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第8回	第７章 グラフ作成の基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第9回	第８章 表計算の応用	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第10回	第９章 レポート作成の基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第11回	第１０章 プレゼンテーションの基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第12回	第１１章 プレゼンテーションの応用	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第13回	第１２章 学生生活と情報、第１３章 インターネットと情報検索	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第14回	第１４章 情報モラルとセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第15回	第１５章 最新のネットワークコミュニケーション	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第16回（定期試験）	筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GCB-5792-12ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報リテラシー演習Ⅱ （教職関連科目 必 高等学校 情報） （数理・データサイエンス・AI入門）	226～	1年生・後期	2単位	必修	荒平　高章
	223～225			選択	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習Iを修得していること. 基礎数学程度の素養があること. ※編入生で当該講義を希望する場合は，事前に担当教員まで相談すること.

授業概要　Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，現代社会の読み書きそろばんともいわれるデータサイエンスについて，その役割にはじまり，データ分析の基礎事項，分析手法の基礎について概説する．また，分析手法については，コンピュータを用いた分析演習も実施する．さらに，現代社会におけるデータサイエンスの応用事例についても触れ，2年次以降の履修計画の参考にしてもらう．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①データサイエンスについて説明できる．②データサイエンスに関連する情報倫理とその問題について説明できる．③データ分析のためのデータ取得・管理方法について説明できる．④データ分析の基礎（ヒストグラム・箱ひげ図・平均値・分散・散布図・相関係数・回帰直線）について説明できる．⑤データサイエンスの手法について列挙でき，それについて説明できる．⑥コンピュータを用いてデータ分析ができる．⑦データサイエンスの応用事例について列挙できる．⑧講義に参加できる．⑨問題解決のために自ら行動することができる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室（653）にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
データサイエンス入門	竹村彰通　他	学術図書出版	978-4-7806-0730-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて資料を配布する．			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

講義内演習・レポート課題（20%），プレゼンテーション（40%），定期試験（40%）をもとに総合的に判断する．

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本講義では，企業データによるプレゼンテーションの実施を予定しており，企業の方からフィードバックをもらう機会の提供や，レポート課題に対しては，講義の冒頭で解説する等のフィードバックを適宜実施する．

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第2回	データサイエンスの役割	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.1-13)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第3回	データサイエンスと情報倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.14-33)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第4回	データ分析のためのデータの取得と管理	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.34-43)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第5回	データ分析の基礎　ヒストグラム・箱ひげ図・平均値と分散	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.45-55)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第6回	データ分析の基礎　散布図と相関係数	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.56-61)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第7回	データ分析の基礎　回帰直線	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.62-80)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第8回	データサイエンスの手法　クロス集計・回帰分析	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.81-89)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第9回	データサイエンスの手法　ベイズ推論・アソシエーション分析・クラスタリング	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.90-98)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第10回	データサイエンスの手法　決定木・ニューラルネットワーク・機械学習とAI	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.99-112)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第11回	データサイエンスの応用事例	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.160-216)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第12回	データ分析演習 「企業提供データを用いたデータ分析」（1）	
	事前学習（内容・時間）	第１１回までを復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第13回	データ分析演習 「企業提供データを用いたデータ分析」（2）	
	事前学習（内容・時間）	第１１回までを復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第14回	データ分析発表 「企業参加による発表とフィードバック」	
	事前学習（内容・時間）	データ分析演習の内容を整理し，プレゼンテーションの準備をする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第１４回までを復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第16回（定期試験）	定期試験を実施する	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5580-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
スタディ・スキル	224～	1年生・前期	2単位	必修	担当教員 クラス担任教員
コミュニケーションと自己発見Ⅰ	～223				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	
	①必修科目のため、1年生は必ず履修し合格すること。 ②入学前学習をすでに提出済みであること。 ③入学後のプレテストを受験していること。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

大学での学習は、自分で課題を設定したうえで、資料やインターネット等を駆使して、あるいは実地に赴いて調査し、客観的・論理的なレポートを作成し、他者に理解してもらうように発表（プレゼンテーション）する、といった汎用的で統合的な技能や思考力を必要とします。この授業では、1年生の皆さんが大学での学習を支障なく進めることができるように、「読み・書き・話す」に関わる基本的な技能を学んで、修得することを目的とします。したがって学生には課題が出されますので、それに従ってレポートを実際に作成し、発表していただくことになります。この授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」「Ⅳ　主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得させること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。
①学術書・専門書、インターネットなどを利用して論点を調べて自ら課題を設定し、結論を導き出すことができる。
②論理的・客観的なレポートを作成できる。
③他者を理解させるために、PowerPointやレジュメを作成、駆使できる。
④討論では、他者を尊重するとともに、自分の意見を積極的に発言できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

クラス別授業では、学生による発表や討論、担当教員による個別指導の機会を設けます。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は担当教員の研究室およびGoogleクラスルーム・メールにて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認については、kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学学びのことはじめ 入門ゼミナール スタディスキルズ・トレーニング	佐藤・矢島・山本 大江・黒崎・田中 吉原・間淵・冨江・小針	ナカニシヤ出版 学文社 実教出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出、課題の提出）。
成績評価の基準 ： 「到達目標」に同じ。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、授業を受ける姿勢 大学4年間における履修についての考え方（坂上・鈴木）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第2回	ノートの取り方、学術書・専門書の読み方（荒平）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第3回	図書館の利用法（図書館）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第4回	大学におけるAIの活用と留意点（中島）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第5回	インターネットで情報を検索してみよう①（宮崎）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第6回	レポートの書き方（平田）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第7回	参考文献の探し方、文献の引用方法（澤井）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第8回	プレゼンレーションの基本－PowerPointの使い方（野中）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第9回	発表（プレゼンテーション）の方法①－レジュメの作成（平田）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第10回	発表（プレゼンテーション）の方法②－PowerPointの作成（桑原）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第11回	リーディングスキルテスト（中島）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第12回	クラス別授業①－発表とレポート指導（クラス担任）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第13回	クラス別授業②－発表とレポート指導（クラス担任）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第14回	クラス別授業③－発表とレポート指導（クラス担任）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第16回 （定期試験）	レポートの提出、定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5590-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コミュニケーションと自己発見Ⅱ（再）	～223	1年生・後期	2単位	必修	坂上 宏

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	無断欠席はしないでください。課題に対して積極的に取り組む姿勢が重要です。 学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。			

授業概要　Course Outline

この科目は本来、初年次学生向けの導入教育を目的としていますが、再履修の学生はひと通り導入教育は済んでおり、また、その時期も過ぎているものとみなして、ITパスポート試験対策のための授業を行います。これは、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」に基づくものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

上記の通り、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」を到達目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、過去問題に取り組みます。分からなかったり、間違った問題については、事前・事後学習で再度あたってみる姿勢が望まれます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

363研究室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。
・学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、授業内で指定された期日までに提出してください。　・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見をお伝えする予定です。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
配布資料			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ITパスポート合格教本	岡嶋裕史	技術評論社	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：試験「ITパスポートコンテスト」（90%）、平常点（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸの提出状況、授業における姿勢など）（10%）
・成績評価の基準 ：本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験（「ITパスポートコンテスト」）の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス ／ 資料(1)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(1)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（1）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第2回	資料(2)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(2)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（2）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第3回	資料(3)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(3)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（3）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第4回	資料(4)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(4)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（4）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第5回	資料(5)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(5)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（5）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第6回	資料(6)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(6)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（6）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第7回	資料(7)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(7)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（7）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第8回	資料(8)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(8)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（8）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第9回	資料(9)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(9)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（9）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第10回	資料(10)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(10)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（10）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第11回	資料(11)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(11)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（11）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第12回	資料(12)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(12)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（12）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第13回	資料(13)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(13)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（13）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第14回	資料(14)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(14)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（14）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第15回	資料(15)の問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	資料(15)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	資料（15）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第16回 （定期試験）	定期試験：学内模試「ITパスポートコンテスト」 ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6650-11E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
大学基礎総合Ⅰ（日本人学生）	226	1年生・前期	1単位	選択	坂上　宏

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	
	履修規定第5条3項に基づいて、原則として次の事項に該当する者の履修を許可します。 ①4月に実施する「プレテスト」の結果、この科目の履修を推奨された日本人学生、②担当教員から特に履修の必要ありと認められた1年生、③その他。 ※原則として、2～4年生の履修は認めません。

授業概要　Course Outline

この授業では、日本人学生に対して、国語力の基本的な知識・技能を身につけることを目的に実施します。
「学士力」の基盤となる知識・技能を習得するには、言葉を理解し、適切に使用する語彙力を高めることが必要です。そこで本授業では、漢字学習を中心課題としながら、国語力（漢字能力、日本語表現力）の基礎的な能力とスキルの充実を図るとともに、学習習慣の定着を目指して取り組んでいきます。
なお、本授業は、本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」及びカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅴ　基礎学力・技能を確認・強化すること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

① 大学での授業を理解し知識や技能を習得していく上で、必要とされる基礎的な学力（主として漢字力）の充実を図る。
② 各自の漢字能力の向上と定着を図るために、漢字能力検定の合格を目指した課題学習に取り組む。
③ 授業及び自宅での課題に積極的に取り組むことを通して、意欲的に学習する習慣と態度を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業そのものは、漢字力の向上のための反復学習が中心となります。自身の弱点を見極め、日常的にその克服に向けた学習の習慣を築くことが非常に大切です。そのため、授業での課題を契機として、地道にそして主体的に自らの欠点を改善してほしいと願っています。また、漢字能力検定に関する問題集等を自ら購入し、主体的に取り組むことが重要です。「自学自習」の姿勢こそが、漢字力をはじめとする国語力を向上させる上で欠かせない要素です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員にメールをするか、授業終了後に声をかけてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

Google Classroomを活用します。
漢字能力検定の目標級の取得を目指して取り組みます。
本学で実施される検定試験は必ず受験してください。
授業では、ポートフォリオ＆ルーブリックに必要事項を記入し、授業後速やかに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
漢検分野別問題集3級	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	978-4890964833

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
内閣告示「常用漢字表」(平成22年) 内閣告示「現代仮名遣い」 内閣告示「送り仮名の付け方」	文化庁		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 定期試験の結果（70%）
② 平常点（課題の提出、ポートフォリオ＆ルーブリックの提出、その他）（30%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス、漢字能力検定の概要説明、練習問題と解説。	
	事前学習（内容・時間）	漢字検定問題集をもとに予習し、学習の見通しを立てる。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第2回	漢字のしくみ（漢字の読み①）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第3回	漢字のしくみ（漢字の読み②）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第4回	漢字のしくみ（漢字の部首①）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第5回	漢字のしくみ（漢字の部首②）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第6回	漢字のしくみ（熟語の構成①－二字熟語）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第7回	漢字のしくみ（熟語の構成②－四字熟語）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第8回	漢字のしくみ（対義語と類義語①）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第9回	漢字のしくみ（対義語と類義語②）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第10回	漢字のしくみ（同音・同訓異字語①）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第11回	漢字のしくみ（同音・同訓異字語②）を解説し、練習問題を解く。	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第12回	「誤字訂正」問題を解き、間違えやすい漢字を正確に書く。①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第13回	「誤字訂正」問題を解き、間違えやすい漢字を正確に書く。②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第14回	漢字能力検定の問題を解き、苦手な漢字を克服する。①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第15回	漢字能力検定の問題を解き、苦手な漢字を克服する。②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。（0.5時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6650-11E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
大学基礎総合Ⅰ（留学生）	226	1年生・前期	1単位	選択	齊藤 綾子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	・履修対象者は大学が指定します。

授業概要　Course Outline

この授業は、建学の精神およびカリキュラムポリシー「Ｖ基礎学力・技能を強化すること」に基づき、留学生のうちで日本語力の強化が必要と大学が認めた者に対して行われます。
「日本語能力試験」の練習問題に取り組み、文字語彙・文法力鍛えると同時に、文章作成を基礎から学び、文章作成力を高めていくことを目標とします。
※原則、授業中の携帯電話の使用は認めません。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本語能力試験の等級に合格すること、またはそれと同等の技能があると認められること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・日本語能力試験の問題や、文章作成練習を通して、表現力を身に付けます。
　疑問点等は、担当教員に質問してください。
・毎回授業では、事前学習と事後学習を課します。必ず取り組んでください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業前後またはGoogleクラスルームで受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験との関連：日本語能力試験を受験してください。
学習の確認：ポートフォリオ＆ルーブリックに記入して、指定する日時までに提出してください。
担当教員は、学生の学習状況をみて本人にフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
JLPT　N3 日本語能力試験 ベスト問題集	五十嵐香子、 金澤美香子、杉山舞	The Japan Times	978-4789017831

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学で学ぶための 日本語ライティング	佐々木瑞枝、 細井和代、藤尾喜代子	The Japan Times	978-4789012218

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・平常点40%
小テストの点数、授業中さらに事前学習、事後学習の課題の取り組み、ポートフォリオとルーブリックの提出。

・定期試験60%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本講義では計3回の小テストを実施します。各小テストの後に、個別に直接フィードバックを行います。
定期試験後のフィードバックについては、メールにてお問い合わせください。折り返してご連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション、N3漢字読み・表記①	
	事前学習（内容・時間）	シラバスの確認、本授業の見通しを立てる。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	事後学習プリント①を解く。（0.5h）
第2回	N3漢字読み・表記②、「比較」「理由」の表現①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント①を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	「比較」「理由」の表現を使って、短作文作成（0.5h）
第3回	N3漢字読み・表記③、「比較」「理由」の表現②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント②を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	「比較」「理由」の表現を使って、作文作成「自国と日本の違い」（0.5h）
第4回	N3漢字読み・表記 小テスト、情報を文章で説明する①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント③を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第5回	N3文脈規定・言い換え類義①、情報を文章で説明する②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント④を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第6回	N3文脈規定・言い換え類義②、状況を文章で説明する①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑤を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第7回	N3文脈規定・言い換え類義③、状況を文章で説明する②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑥を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第8回	N3文脈規定・言い換え類義 小テスト、状況を文章で説明する③	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑦を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第9回	N3語彙の用法・文の組み立て①、簡潔に意見を述べる①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑧を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第10回	N3語彙の用法・文の組み立て②、簡潔に意見を述べる②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑨を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第11回	N3語彙の用法・文の組み立て③、簡潔に意見を述べる③	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑩を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第12回	N3語彙の用法・文の組み立て 小テスト、接続詞①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑪を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第13回	N3文法形式の判断・文章の文法①、接続詞②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑫を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第14回	N3文法形式の判断・文章の文法②、データにについて説明する①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑬を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第15回	N3文法形式の判断・文章の文法③、データについて説明する②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑬を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第16回（定期試験）	筆記試験（持ち込み不可）□	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6810-11E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
大学基礎総合Ⅱ	226～	1年生・後期	1単位	選択	齊藤 綾子
特別実習・講義（語学） 日本語文章作成講座	～225				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・履修対象者は大学が指定します。

授業概要　Course Outline

本授業は、建学の精神およびカリキュラムポリシー「Ｖ基礎学力・技能を強化すること」に基づき、日本語能力の強化が必要であると大学が判断した学生を対象としています。
「日本語能力試験」の練習問題に取り組み、文字語彙・文法力鍛えると同時に、文章作成を基礎から学び、文章作成力を高めていくことを目標とします。
※原則、授業中の携帯電話の使用は認めません。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本語能力試験の等級に合格すること、またはそれと同等の能力があると認められること。
データや状況を文章で説明した上で、自身の意見を論理的に述べることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・日本語能力試験の問題や、文章作成練習を通して、表現力を身に付けます。
　疑問点等は、担当教員に質問してください。
・毎回授業では、事前学習と事後学習を課します。必ず取り組んでください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業前後またはGoogleクラスルームで受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験との関連：日本語能力試験を受験してください。
学習の確認：ポートフォリオ＆ルーブリックに記入して、指定する日時までに提出してください。
担当教員は、学生の学習状況をみて本人にフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
JLPT　N3 日本語能力試験 ベスト問題集	五十嵐香子、 金澤美香子、杉山舞	The Japan Times	978-4789017831

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学で学ぶための 日本語ライティング	佐々木瑞枝、 細井和代、藤尾喜代子	The Japan Times	978-4789012218

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・平常点40%
小テストの点数、授業中さらに事前学習、事後学習の課題の取り組み、ポートフォリオとルーブリックの提出。

・定期試験60%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本講義では計3回の小テストを実施します。各小テストの後に、個別に直接フィードバックを行います。
定期試験後のフィードバックについては、メールにてお問い合わせください。折り返してご連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション、漢字読み・表記①	
	事前学習（内容・時間）	シラバスの確認、本授業の見通しを立てる。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	事後学習プリント①を解く。（0.5h）
第2回	漢字読み・表記②、「比較」「理由」の表現　（基礎）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント①を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	「比較」「理由」の表現を使って、短作文作成（0.5h）
第3回	漢字読み・表記③、「比較」「理由」の表現　（応用）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント②を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	「比較」「理由」の表現を使って、作文作成「自国と日本の違い」（0.5h）
第4回	漢字読み・表記 小テスト、情報を文章で説明する　（基礎）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント③を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第5回	文脈規定・言い換え類義①、情報を文章で説明する　（応用）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント④を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第6回	文脈規定・言い換え類義②、状況を文章で説明する　（基礎）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑤を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第7回	文脈規定・言い換え類義③、状況を文章で説明する　（応用①）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑥を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第8回	文脈規定・言い換え類義 小テスト、状況を文章で説明する　（応用②）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑦を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第9回	語彙の用法・文の組み立て①、簡潔に意見を述べる①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑧を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第10回	語彙の用法・文の組み立て②、簡潔に意見を述べる②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑨を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第11回	語彙の用法・文の組み立て③、接続詞　（基礎）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑩を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第12回	語彙の用法・文の組み立て 小テスト、接続詞　（応用）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑪を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第13回	文法形式の判断・文章の文法①、データににについて説明する　（基礎）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑫を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第14回	文法形式の判断・文章の文法②、データについて説明する　（発表準備）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑬を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第15回	文法形式の判断・文章の文法③、データについて説明する　（発表）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリント⑬を解いて、わからないところを明確にしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学習した内容の復習（0.5h）
第16回（定期試験）	筆記試験（持ち込み不可）□	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6660-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅠ	224～	1年生・前期	2単位	必修	澤井雅明

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてのマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②登壇者の話をしっかり聴き、メッセージの要点を書きとる習慣を持つこと。

授業概要　Course Outline

本授業では、自己理解を深め、多様な社会に触れながら、自分の可能性を広げ、意思決定する力を育てます。これまで触れたことがない世界を知り、自分の興味に範囲を広げ、自らのキャリアをデザインする基礎を築きます。この講座では、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシーⅠとⅥも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

社会の多様な職業・働き方・価値観に触れ、自分との関係を考えていきます。自分の価値観、強み、興味を理解し、言語化できるようになります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がける。学生からの積極的な発言を期待します。
②企業事例を紹介する教材を準備するなど、実際のビジネスシーンを体感できるような講義を行います。
③毎回の授業では、いくつかの課題とレポート提出があります。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
個別の授業ごとに課題に関連する教材・資料を配布または提示する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて授業の中で紹介していく			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①遅刻・途中退席は原則認めない。
②筆記具・ノートを持たない学生は授業できない。
③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
④社会基準に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
⑤成績評価の方法：平常点（45%）、定期試験（55%）。
※平常点は、学修（学習）ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断します。
⑥定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習 （内容・時間）	事前にシラバスの内容（授業概要、到達目標、授業計画等）を確認しておく（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	オリエンテーションで伝えられた内容をノート等にまとめ、次回以降の授業に備える。不明な点があれば質問できるように準備する（2.0h）。
第2回	働くとは何か：仕事観・人生観をイメージする	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第3回	外部講師による講演	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第4回	自身の問題意識とソリューションの実現	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第5回	業種を知る	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第6回	業界を知る	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第7回	外部講師による講演	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第8回	業態を知る	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第9回	仕事をする場：組織を知る	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第10回	職種を知る	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第11回	マイナビ適性診断テスト	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第12回	マイナビガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第13回	グローバルな働き方	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第14回	就職・就社	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第15回	前期のまとめ	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第16回 （定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6660-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅡ	224～	1年生・後期	2単位	必修	澤井雅明

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてのマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②登壇者の話をしっかり聴き、メッセージの要点を書きとる習慣を持つこと。

授業概要　Course Outline

前期で学んだ多様な社会を踏まえ、自分を生かす場所を探し、その場所にアピールする準備を進めます。自分を知り、新たな場所を求めに行く体験に進む基礎を築きます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

キャリアアンカー（キャリアを選択する際に最も大切にする、譲れない価値観）を確認し、それを生かせる場所を探しますす。探した場所に対し自らをアピールするための準備を進めていきます。
この講座では、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシーⅠとⅥも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は考え行動し、協働して成果を生み出す力を育て、自分に合った進路を選ぶ力を養います。この講座は、知識だけでなく、自己管理や協力能力などの実践的なスキルを重視し、学生が将来の目標に向けて主体的に動けるようサポートします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がける。学生からの積極的な発言を期待します。
②企業事例を紹介する教材を準備するなど、実際のビジネスシーンを体感できるような講義を行います。
③毎回の授業では、いくつかの課題とレポート提出があります。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
個別の授業ごとに課題に関連する教材・資料を配布または提示する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて授業の中で紹介していく			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①遅刻・途中退席は原則認めない。
②筆記具・ノートを持たない学生は授業できない。
③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
④社会基準に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
⑤成績評価の方法：平常点（45%）、定期試験（55%）。
※平常点は、学修（学習）ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断します。
⑥定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習 （内容・時間）	事前にシラバスの内容（授業概要、到達目標、授業計画等）を確認しておく（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	オリエンテーションで伝えられた内容をノート等にまとめ、次回以降の授業に備える。不明な点があれば質問できるように準備する（2.0h）。
第2回	将来生まれる仕事・なくなる仕事・形を変える仕事	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第3回	外部講師による講演	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第4回	提供する価値を考え創出する仕事	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第5回	価格と価値の関係を考える仕事	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第6回	どこで客とつながり価値を提供するかを考える仕事	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第7回	外部講師による講演	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第8回	客に価値を伝える仕事	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第9回	自分を見つめる・知る	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第10回	ゼミフェス	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第11回	自分を知ってもらう	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第12回	組織への提案を考える	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第13回	提案する場を獲得する	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第14回	卒業までの計画を策定する	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第15回	後期のまとめ・1年の総括	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて事前確認し、特に関心を持った点や疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成し提出すること（2.0h）。
第16回 （定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6680-X2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
インターンシップ実習	224～	1・2年生・通年	2単位	選択	澤井 雅明

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	・学生は、インターンシップに参加する前に担当教員の承認を得ること。 ・事業先は大学が指定する企業或いは、学生自らが選び、担当講師から承認を得られた事業先とする。 ※大学での学研災付帯賠償責任保険加入手続きが必要である。

授業概要　Course Outline

この授業では、夏季休業期間中（8/9～9/18）、冬季休業期間中（12/26～1/7）の5日以上、大学指定する企業・事業所、或いは学生自ら選び、担当講師から承認を得られた企業・事業所等で実践的なインターンシップを通じて、民間企業などの多様で積極的な就労体験や実務経験を積むことが求められます。この実践的な教育により、大学内の理論だけでは得られない実社会への興味や関心を高め、キャリア教育の重要性を理解します。学生たちは学習意欲や就業意欲を向上させつつ、今後の進路選択や就職活動に活かすことが期待されています。この期間を通じて得た経験は、単なる職場体験だけでなく、将来の職業選択やキャリア形成において有益な知見を提供し、学生たちの成長に寄与します。授業の目的は、単なる学問だけでなく、実際の職場環境での学びを通じて、学生たちがより充実した大学生活を送り、将来の社会で活躍するための基盤を築くことにあります。この1年間の授業はディプロマポリシーⅢに向け、カリキュラムポリシーⅠ及びⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を修得し、自己成長を遂げます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

夏季休業（8/9～9/18）、冬季休業（12/26～1/7）にインターンシップを積極的に活用し、将来のキャリアにおいて不可欠な要素を手に入れることです。インターンシップを通じて、職場での実務経験を積み重ね、専門知識を獲得し、プロフェッショナルなスキルを発展させることで、将来の就職活動やキャリアの成功に向けた準備を低学年で達成します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

このインターンシップに参加することは、大学で学ぶ理論だけでなく実践的なスキルを身につける絶好の機会です。この主体的な学びのプロセスでは、学生は教室の枠を越えて実際の職場環境で主体的かつ積極的に学び、経験を得ることが期待されます。インターンシップを通じて、学生は企業や組織の日常業務に参加し、リアルな業務体験を通して専門知識や実践的なスキルを向上させます。これにより、抽象的な理論だけでなく、実際の業務において必要な能力や洞察を養うことができます。また、異なる環境でのコミュニケーションや問題解決などのスキルも発展させ、職場での実践的な課題に主体的かつ創造的に取り組む力を培います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者への相談は授業の前後にお願いします。
その他、インターンシップ実習に関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
個別の授業ごとに課題に関連する教材・資料を配布または提示する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①大学生のためのキャリアデザイン 自分を知る・社会を知る・未来を考える ②未来社会を展望するキャリアデザイン ③就職四季報　企業研究・インターンシップ版　2026年版 ④会社四季報　業界地図　2025年版 ⑤就職四季報　総合版　2026-2027 ⑥マイナビ2026　オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド　インターンシップ・仕事体験	①川崎 友嗣（編著） ②山本 和美、高橋 浩（共著） ③④⑤東洋経済新報社（編著） ⑥岡 茂信 、才木 弓加、美土路 雅子（共著）	①ミネルヴァ書房 ②学術図書出版社 ③④⑤東洋経済新報社 ⑥マイナビ出版	①978-4623084876 ②978-4780613018 ③978-4492974384 ④978-4492973349 ⑤978-4492971413 ⑥978-4839986469

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・実習先事業所からの評価なども含め総合的に評価して100点満点とする。
・履修登録をした上で、「事前指導」「夏季・冬季実習（インターンシップ）」「中間報告会」「事後指導」「成果報告会」のプロセスを踏むことを前提とする。
・提出書類が期限までに出ない、または不備を改善する意欲がない、担当講師や事業所の指導・教育担当者からの指導を聞き入れない場合は失格として、職場実習を中止する。
・成果報告会での口頭発表（およそ10%）、「インターンシップ実習簿」、「インターンシップ目標管理シート」の各書類（およそ40%）、実習先事業所からの評価（およそ50%）
※実習先での勤務評価は、実習簿の指導担当者の初見、担当講師、就職対策委員、就職課による企業・事業所への訪問、聞き取り内容より評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　事前指導①　なぜインターンシップにいくのか（参加目的、履修にあたっての心構え、注意点など）	
	事前学習（内容・時間）	事前にシラバスの内容（授業概要、到達目標、授業計画等）を確認しておく（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	オリエンテーションで伝えられた内容をノート等にまとめて、授業本番に備えておく。また、不明な点は質問できるように準備する。（0.5h）
第2回	事前指導②　仕事・働く意味を考える	
	事前学習（内容・時間）	配布資料から就業体験に必要な基礎知識を調べ、自分のノートに整理しておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	配布資料から授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。（0.5h）
第3回	事前指導③　企業の見方について	
	事前学習（内容・時間）	配布資料から就業体験に必要な基礎知識を調べ、自分のノートに整理しておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	配布資料から授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。（0.5h）
第4回	事前指導④　実社会に必要な汎用的能力とは	
	事前学習（内容・時間）	配布資料から就業体験に必要な基礎知識を調べ、自分のノートに整理しておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	配布資料から授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。（0.5h）
第5回	事前指導⑤　目標設定とビジネスマナー	
	事前学習（内容・時間）	配布資料から就業体験に必要な基礎知識を調べ、自分のノートに整理しておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	配布資料から授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。（0.5h）
第6回	就業体験①　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第7回	就業体験②　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第8回	就業体験③　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第9回	就業体験④　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第10回	就業体験⑤　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第11回	就業体験⑥　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第12回	就業体験⑦　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第13回	就業体験⑧　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第14回	就業体験⑨　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第15回	就業体験⑩　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第16回	中間報告会　就業体験の振り返り（夏季・インターンシップの学びに基づき、今後の行動計画を策定する）	
	事前学習（内容・時間）	実習体験を実習簿で振り返り、今後の行動計画を策定する。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	中間報告会で修正した目標設定を実習簿に記述しておく。（0.5h）

第17回	就業体験⑪　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第18回	就業体験⑫　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第19回	就業体験⑬　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第20回	就業体験⑭　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第21回	就業体験⑮　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第22回	就業体験⑯　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第23回	就業体験⑰　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第24回	就業体験⑱　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第25回	就業体験⑲　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第26回	就業体験⑳　インターンシップ実習簿作成	
	事前学習 （内容・時間）	実習簿を整理してノート等にまとめておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第27回	事後指導①　就業体験の振り返り（冬季・インターンシップの学びに基づき、実習簿をまとめる）	
	事前学習 （内容・時間）	実習簿を整理してノート等にまとめておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	成果報告のフォーマットを準備しておく（0.5h）　※報告会はパワーポイント、エクセル、ワードを使用
第28回	事後指導②　成果報告会に向けた準備　成果報告資料を作る	
	事前学習 （内容・時間）	成果報告の内容をまとめておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	成果報告の資料を完成しておく。（0.5h）
第29回	成果報告会　実習生の発表とフィードバック	
	事前学習 （内容・時間）	成果報告の発表準備をしておく。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	評価者のフィードバックを整理してまとめておく。（0.5h）
第30回	インターンシップ実習　総括	
	事前学習 （内容・時間）	今回のインターンシップ実習で学んだ事柄を、今後どのようにして活かすのか考える。（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	今後のインターンシップに参加して、自身の就職活動に繋げる（0.5h）
第31回 （定期試験）	・実習先事業所からの評価なども含め総合的に評価して100点満点とする。 ・成果報告会での口頭発表（およそ10%）、「インターンシップ実習簿」、「インターンシップ目標管理シート」の各書類（およそ50%）、実習先での勤務評価（およそ40%） ※実習先での勤務評価は、実習簿の指導担当者の初見、担当講師、就職対策委員、就職課による企業・事業所への訪問、聞き取り内容より評価する。	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5310-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
キャリデザインⅢ	224～	2年生・前期	2単位	選択	大多　正人
キャリデザイン入門Ⅰ	～223			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②実践的なアプローチ（グループワークなど）において能動的に取り組めること。

授業概要　Course Outline

就職活動の成功の鍵は、ルールと流れを徹底的に理解し、自己整理と企業が求める人物像を把握することにあります。自身の能力（仕事におけるスキル）、興味（やりたい仕事）、価値観（譲れない条件）を考慮に入れ、キャリアの方向性を明確にし、雄気堂々とした態度で就職活動に臨む準備を整えます。希望する業界・企業を絞り込み、事前に研究を行います。同時に、自己分析を通じて履歴書やエントリーシートをしっかりと準備し、アピールポイントを明確に示します。これにより、自分の強みを最大限に引き出し、企業に対して自信をもってアプローチすることが可能となります。自己分析と企業研究の徹底的な実践を通じて、充実した就職活動を展開し、理想のキャリアを築く一歩を踏み出します。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーⅠ（建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと）とカリキュラムポリシーⅥ（キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること）にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、大学でのキャリア教育や就業支援に長年携わるとともに、企業の人事採用コンサルタントとしても豊富な実務経験を有しています。その経験をもとに、学生には社会人として必要な基礎力やビジネス現場での実践的視点を伝えます。本授業では、学生が自らの将来をより充実させるための意識と関心を育むことを目的としています。第3回では外部講師を招き、オムニバス形式で専門家による講義を実施します。実務経験に基づく助言を通じて、学生が自分の強みを理解し、主体的にキャリアを形成する力を養うことを目指します。	担当講師は、人事採用コンサルタントとしての経験を生かし、学生が将来の進路に向けた効果的な準備を行えるよう指導します。授業では、自己分析や企業研究を通して履歴書・エントリーシート作成までの流れを体系的に学びます。これにより、学生は自身の強みを理解し、就職活動に自信を持って臨む力を身につけます。さらに第3回では外部講師によるオムニバス授業を実施し、実社会で役立つキャリアデザインの知識とスキルを学びます。こうした実践的な学習を通じて、理想のキャリア実現へ向けた確かな一歩を踏み出すことを目指します。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

（1）就職活動の実像を知り、疑問や不安を解消する。具体的には、
　①就職活動のルールと流れを知る
　②マナーや心構えをつくる
　③すべきことを明確にする
（2）実戦的なワークやアクティビティを通して、「雄気堂々」本番に臨めるように準備する。具体的には、
　④希望する業界・企業を絞り、事前に研究する
　⑤自己分析を通して履歴書・エントリーシートを準備する
　⑥グループディスカッションや面接の対策をする

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「キャリアデザイン」 テキスト・ワークブック （専用テキスト）	大多 正人	九州情報大学作成	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①大学生のためのキャリアデザイン 自分を知る・社会を知る・未来を考える ②マイナビ2027　オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド　業界＆職種研究ガイド ③マイナビ2027　オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド　自己分析　適職へ導く書き込み式ワークシート	①川崎 友嗣（編著） ②マイナビ出版編集部 ③岡 茂信	①ミネルヴァ書房 ②③マイナビ出版	①978-4623084876 ②978-4839989217 ②978-4839989132

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 遅刻・途中退席は原則認めない。
② テキストおよび筆記具を持参していない場合は、学習に支障が生じるため受講を認めない場合がある。
③ 授業中のノートパソコン、スマートフォン、イヤフォンなどの情報端末の使用は、学習目的で講師が指示した場合を除き禁止する。
④「社会基準」にのっとった態度・行動で授業を行う。これに従えない場合、講師の判断で受講を中断させることがある。
⑤ 出席状況は、カードリーダーによる入室確認および毎回提出する課題ワークシートにより把握する。課題ワークシートの内容や学習への取り組み状況は平常点に反映される。
⑥ 成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
　※平常点では、受講態度、授業への取り組み状況、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出状況、グループワークへの参加状況を重視する。
⑦ 定期試験では、すべての持ち込みを原則禁止とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

Google Classroomにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（「就職活動はなんのため？」「どうすればいいのか？」について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	1年次の必修科目「キャリアデザインⅠ」及び「キャリアデザインⅡ」を振り返り、自分なりの職業観について考えを整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	就活を知る①　低学年向けスタートアップ講座「就活の基本を知り、3年生になる前にやっておきたい準備を進める」	
	事前学習（内容・時間）	就職情報サイト「マイナビ」アプリをインストールして、“START”の内容について予習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことを整理し、マイナビ2027を利用する。※マイナビ インターンシップ&キャリア発見EXPOに予約する。（2.0h）
第3回	外部講師による講演　テーマ：自分だけのキャリア創造	
	事前学習（内容・時間）	4年後の目標・進路のイメージなどを明確にしておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の進路選択に反映させておく。（2.0h）
第4回	アクティブラーニング（前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます）	
	事前学習（内容・時間）	前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させる。（2.0h）
第5回	就活を知る②　マネープランとキャリア	
	事前学習（内容・時間）	就活情報サイト「キャリタス就活」アプリをインストールして、事前に示された内容については必ず予習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	労働政策研究・研修機構 「ユースフル労働統計2024」 21.生涯賃金など生涯に関する指標などを調べておく。（2.0h）
第6回	就活を知る③　就職活動の全体像（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第7回	社会が求める人物像　ビジネスマナーの重要性とコミュニケーション、コンピテンシー、モチベーション（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第8回	自分を知る①　自己分析ノススメ（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第9回	自分を知る②　マイナビの適性診断テスト「MATCH PLUS」から私の社会人としての適性を知る	
	事前学習（内容・時間）	就職情報サイト「マイナビ」アプリをインストールして、事前に示された内容については必ず予習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	適性診断テストの振り返りと課された課題について取り組んでおく。（2.0h）
第10回	仕事を知る①　企業研究の手がかり（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第11回	仕事を知る②　企業研究の進め方（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第12回	仕事を知る③　後悔しない企業（職場）選び（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第13回	履歴書･エントリーシート①　自己PRと短所（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。履歴書・エントリーシート作成に取り組む。（2.0h）
第14回	履歴書･エントリーシート②　学生時代に力を注いだこと（ガクチカ）、志望動機、履歴欄の書き方（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。履歴書・エントリーシート作成に取り組む。（2.0h）
第15回	総括　～就活準備を始めよう	
	事前学習（内容・時間）	就活の流れを調べ、自己分析を行い、興味のある業界を整理する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	準備ステップを計画化し、後期までの課題を明確にしてノートに記録する。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）						
1GCN-5320-22E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリデザインⅣ		224～	2年生・後期	2単位	選択	大多　正人
キャリアデザイン入門Ⅱ		～223			必修	
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②実践的なアプローチ（グループワークなど）において能動的に取り組めること。					

授業概要　Course Outline

就職活動において成功するためには、まずルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が望む人物像を明確に把握することが不可欠です。自身の仕事におけるスキルややりたい仕事に対する興味、そして譲れない価値観を考慮に入れ、後半にはグループディスカッションと模擬面接を通じて人間力を向上させることを目指します。他者との意見交換を通して意見を発信し、相互理解を深めることで、コミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じては自己表現力を養い、面接において魅力をアピールする方法を習得します。さらに、SPI3の演習では、自己の基礎能力を視覚化し向上を目指します。自身の強みや改善が必要な点を見つけ出すことで、より効果的な学習とスキル向上の方法を理解し、着実な成長を遂げていきます。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーⅠ（建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと）とカリキュラムポリシーⅥ（キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること）にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、大学でのキャリア教育・就業支援に長年携わるとともに、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を生かし、学生には社会人として必要な洞察力や基礎力を指導します。第3回には、新卒応援ハローワークでの実務経験を持つ外部講師が登壇し、就活マナー知識を共有します。後半では、SPI試験に対応した数理・論理能力問題を扱い、高等学校などでの指導経験を持つ講師が実践的なスキルを伝授します。これにより、学生は就職活動に必要な実践的能力を効果的に身につけます。	本授業では、就職活動で成果を上げるための実践的ステップを学びます。就職活動のルールや流れを理解し、自己整理や企業研究を通じて求められる人物像を把握します。グループディスカッションや模擬面接を通じて、人間力と自己表現力を高め、魅力的なアピール方法を磨きます。第6回～12回では、外部講師による専門的指導を実施し、SPI試験の数理・論理能力問題を中心に解説します。学生は苦手意識を克服し、具体的な問題解決を通じて自信と実践力を養い、就職活動の成功を目指します。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

就職活動のルールと流れを把握し、これまでの自己整理と企業が求める人物像を理解することです。自分の能力（仕事におけるスキル）、興味（やりたい仕事）、価値観（譲れない条件）を考慮に入れて、後期には、さらなるステップとして、多くの企業で採用されているSPI試験を攻略します。SPI3の演習では、私の基礎能力を可視化し、向上を目指します。自らの強みや改善すべき点を見つけることで、より効果的な学習やスキルの磨き方を把握し、成長していきます。次には模擬面接を通して人間力を磨くことを目標とします。他の人と意見を発信し、相互理解を深めることで、コミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じて自己表現力を養い、面接における魅力をアピールする方法を学びます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「キャリアデザイン」 テキスト・ワークブック （専用テキスト）	大多 正人	九州情報大学作成	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①大学生のためのキャリアデザイン 自分を知る・社会を知る・未来を考える ②これが本当のSPI3テストセンターだ! 2027年度版 ③これが本当のSPI3だ! 2027年度版 ④ これが本当のWebテストだ! 2027年度版【玉手箱・C-GAB編】 ⑤マイナビ2026　オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド　面接　自己PR　志望動機 ⑥マイナビ2026　オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド　面接担当者の質問の意図 ⑦マイナビ2026　オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド　Web面接　オンライン面接の心得	①川崎 友嗣（編著） ②③④SPIノートの会 ④⑤⑦才木 弓加	①ミネルヴァ書房 ②③④講談社 ④⑤⑦マイナビ出版	①978-4623084876 ②978-4065383940 ③978-4065383896 ④978-4065383919 ⑤978-4839989156 ⑥978-4839989149 ⑦978-4839989200

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 遅刻・途中退席は原則認めない。
② テキストおよび筆記具を持参していない場合は、学習に支障が生じるため受講を認めない場合がある。
③ 授業中のノートパソコン、スマートフォン、イヤフォンなどの情報端末の使用は、学習目的で講師が指示した場合を除き禁止する。
④「社会基準」にのっとった態度・行動で授業を行う。これに従えない場合、講師の判断で受講を中断させることがある。
⑤ 出席状況は、カードリーダーによる入室確認および毎回提出する課題ワークシートにより把握する。課題ワークシートの内容や学習への取り組み状況は平常点に反映される。
⑥ 成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
※平常点では、受講態度、授業への取り組み状況、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出状況、グループワークへの参加状況を重視する。
⑦ 定期試験では、すべての持ち込みを原則禁止とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

Google Classroomにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを事前に確認しておく。大学生活をどう充実させるのか、卒業後の進路選択をどうするのか、自分なりのイメージを描いておく。
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	就活を知る①　就職活動のマナー　リクルートスーツの着こなし	
	事前学習（内容・時間）	リクルートスーツや鞄・靴など就職活動の必需品を事前に準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、授業で足りなかった就活アイテムは事前準備しておく。（2.0h）
第3回	就活を知る②　就職活動のマナー　所作、言葉づかいの実践	
	事前学習（内容・時間）	自身のアピール内容を整理し、表現できるように準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを完成させ、提出する。自分たちで面接の経験を積む（2.0h）
第4回	グループディスカッション①　基礎編（グループディスカッションを知る）	
	事前学習（内容・時間）	自身のアピール内容を整理し、表現できるように準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	最近のグループディスカッションを調べて、次回の模擬体験に向けて準備する（2.0h）
第5回	グループディスカッション②　実践編（グループディスカッションを体験する）	
	事前学習（内容・時間）	当日のテーマに対する自分の意見とその根拠を整理し、どのように発言するのかをイメージして準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬体験での自分の発言内容や役割行動を振り返り、良かった点と改善点を整理して今後に活かしておく。（2.0h）
第6回	面接①　基礎編（面接を知る）	
	事前学習（内容・時間）	自己PRを整理し、面接で簡潔に説明できるように内容と言い回しを事前に確認しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	面接マナーや基本質問を復習し、授業で気づいた改善点や自分に不足している点をまとめて今後に備えておく。（2.0h）
第7回	面接②　実践編（模擬面接会）	
	事前学習（内容・時間）	模擬面接で想定される質問への回答を整理し、話す順序や伝え方を練習して当日の受け答えをイメージしておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬面接での姿勢・話し方・回答内容を振り返り、良かった点と改善点を整理して今後に生かしておく。（2.0h）
第8回	演習①　SPI試験対策　よく使われる就職試験の種類について解説　SPI模擬テスト	
	事前学習（内容・時間）	SPI3試験の出題傾向等をCDCから情報収集しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果から、言語問題、非言語問題の課題点を理解しておく。（2.0h）
第9回	演習②　SPI試験対策　数理論理能力問題解説①	
	事前学習（内容・時間）	SPI試験の練習問題（比率・割合、分割払い）の解答手順をノートに記録しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておく。（2.0h）
第10回	演習③　SPI試験対策　数理論理能力問題解説②	
	事前学習（内容・時間）	SPI試験の練習問題（定価・原価・利益・代金の割合）の解答手順をノートに記録しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておく。（2.0h）
第11回	演習④　SPI試験対策　数理論理能力問題解説③	
	事前学習（内容・時間）	SPI試験の練習問題（時間・距離・速さ、集合）の解答手順をノートに記録しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておく。（2.0h）
第12回	演習⑤　SPI試験対策　数理論理能力問題解説④	
	事前学習（内容・時間）	SPI試験の練習問題（順列・組合せ・確率、物の流れと比率）の解答手順をノートに記録しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておく。（2.0h）
第13回	演習⑥　SPI試験対策　数理論理能力問題⑤	
	事前学習（内容・時間）	SPI試験の練習問題（推論）の解答手順をノートに記録しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておく。（2.0h）
第14回	演習⑦　SPI試験対策　数理論理能力問題⑥　SPI受検会	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答を復習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておく。（2.0h）
第15回	総括　～今からできること	
	事前学習（内容・時間）	自分の資格や活動を調べ、学業との両立を考え、先輩の就職活動体験談を読む。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	数理論理能力問題の結果を振り返り、SPI試験問題に試みる。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5290-32E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅤ	224～	3年生・前期	2単位	選択	大多　正人
キャリアデザインⅠ	～223				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②実践的なアプローチ（グループワークなど）において能動的に取り組めること。

授業概要　Course Outline

進路・就職活動の総仕上げに焦点を当てたこの講義では、模擬面接や自己PRの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨くことが重要とします。学生は自らが主体となり、進路や就職活動において必要なスキルや知識を獲得し、実践的な経験を積んでいきます。このプロセスを通じて、学生たちは自己成長を促進し、ひとりで自分の進路や就職活動を堂々と進める自信を身につけます。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーⅠおよびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、大学でのキャリア教育・就業支援に長年携わるとともに、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。その豊富な実務経験を生かし、学生に社会人として必要な洞察力や基礎力を指導します。授業では全体を通じて、就職ナビサイトの企業担当者を招き、ナビサイトの利活用法、インターンシップなど就職活動の最新トレンドや傾向・対策を学ぶことで、学生がインターンシップの重要性を理解し、主体的にキャリア形成へ踏み出す契機とすることを目的としています。	担当講師は、大学でのキャリア教育と企業の人事採用支援の双方に携わるキャリアコンサルタントとして、実践的な就業支援を行っています。授業では、進路決定に役立つ最新情報を提供し、社会人として必要な基礎力や洞察力を養います。就職ナビサイト企業の担当者を招き、就職ナビサイトの効果的活用や企業研究を指導します。さらに第6回～第9回ではSPI試験対策を実施し、学生が就職活動に自信を持って臨めるよう支援します。これらを通じて実践的スキルと即戦力を育成します。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

進路・就職活動の総仕上げに重点を置いた講義を通じて、実践的な就職活動の準備として模擬面接や履歴書・エントリーシートの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨き、私自らが主体となり、自己成長を促進していきます。就職活動において必要なスキルや知識を積極的に学び、実践的な経験を積むことで、ひとりで自分の進路や就職活動をしっかりと進める自信を身につけていきます。最後には、自身で選択した会社説明会に参加して採用試験に臨みます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「キャリアデザイン」 テキスト・ワークブック （専用テキスト）	大多 正人	九州情報大学作成	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①これが本当のSPI3テストセンターだ! 2027年度版 ②これが本当のSPI3だ! 2027年度版 ③ これが本当のWebテストだ! 2027年度版【玉手箱・C-GAB編】 ④マイナビ2027　オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド　完全突破塾 ⑤就活BOOK2027　内定獲得のメソッド SPI　解法の極意 ⑥マイナビ2027　オフィシャル就活BOOK 内定獲得のメソッド　一般常識　即戦力 問題集	①②③SPIノートの会 ④岡　茂信 ⑤マイナビ出版編集部 ⑥マイナビ出版編集部	①②③講談社 ④⑤⑥マイナビ出版	①978-4065383940 ②978-4065383896 ③978-4065383919 ④978-4839989163 ⑤978-4839989194 ⑥978-4839989125

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 遅刻・途中退席は原則認めない。
② テキストおよび筆記具を持参していない場合は、学習に支障が生じるため受講を認めない場合がある。
③ 授業中のノートパソコン、スマートフォン、イヤフォンなどの情報端末の使用は、学習目的で講師が指示した場合を除き禁止する。
④「社会基準」にのっとった態度・行動で授業を行う。これに従えない場合、講師の判断で受講を中断させることがある。
⑤ 出席状況は、カードリーダーによる入室確認および毎回提出する課題ワークシートにより把握する。課題ワークシートの内容や学習への取り組み状況は平常点に反映される。
⑥ 成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
　※平常点では、受講態度、授業への取り組み状況、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出状況、グループワークへの参加状況を重視する。
⑦ 定期試験では、すべての持ち込みを原則禁止とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

Google Classroomにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを事前に確認しておく。大学生活をどう充実させてきたのか、卒業後の進路選択をどうするのか、自分なりのイメージを描いておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	就職ナビサイト登録会　就職ナビサイトの本登録と活用法を学ぶ	
	事前学習（内容・時間）	マイナビ、リクナビ、Re就活キャンパス、キャリタス就活、の就職ナビサイトを事前に仮登録しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	マイナビ、リクナビ、Re就活キャンパス、キャリタス就活の就職ナビサイトを本登録しておく。（2.0h）
第3回	学内合同企業説明会①　学内合説明前！合説活用講座	
	事前学習（内容・時間）	学内合同企業説明会の位置づけを知っておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学内合同企業説明会の企業研究の仕方、企業ブースの回り方のポイントを押さえておく。（2.0h）
第4回	学内合同企業説明会②　合同企業説明会を実体験する	
	事前学習（内容・時間）	身だしなみ・マナー・第一印象を準備しておく。企業選びの「判断軸」を自ら設けて選んでみる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	たくさんの企業のインターンシップ（企業説明会）に参加します。（2.0h）
第5回	就活本番を知る①　インターンシップ＆キャリア講座	
	事前学習（内容・時間）	インターンシップの種類や目的を調べ、自分が参加したい業界や理由を整理して授業に備えておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学んだ参加目的や選び方を踏まえ、興味のある企業の募集状況を調べ、参加計画を立てる。（2.0h）
第6回	演習①　SPI試験対策　数理論理能力問題　総括①	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答を復習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、翌々週の模擬試験に備えて準備しておく。（2.0h）
第7回	就活本番を知る②　業界・企業研究の進め方を知る	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界や企業を事前に調べ、特徴や仕事内容を簡潔にまとめて授業に臨む。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で得た企業研究の視点を活用し、志望業界の比較検討と情報整理を進め、就活本番に備える。（2.0h）
第8回	演習②　SPI試験対策　数理論理能力問題　総括②	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答を復習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、翌週の模擬試験に備えて準備しておく。（2.0h）
第9回	演習③　SPI試験対策　数理論理能力問題　総括③　言語・非言語Webテスト受検会（リクルート社）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答を復習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておく。（2.0h）
第10回	就活本番を知る③　内定者による就職活動報告会	
	事前学習（内容・時間）	先輩学生に内定獲得までのプロセスに関する質問事項を準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、インターンシップ（企業説明会）のエントリーに向けて準備する。（2.0h）
第11回	総仕上げ①　自己理解と仕事理解　マイナビの適性診断テスト「MATCH PLUS」から私に合った企業を選ぶ。	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。2年次の科目「キャリアデザインⅢ」（履修者のみ）を振り返り、時間内での解答まで進めておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	自身の自己理解と仕事理解を整理して、エントリーシートに記述する内容を準備しておく。（2.0h）
第12回	総仕上げ②　履歴書・エントリーシート完成　※MyCarrerBox（マイナビ）のシートを完成する	
	事前学習（内容・時間）	大学指定の履歴書、就職ナビサイトのエントリーシート　※MyCarrerBox（マイナビ）を確認しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	就職活動で提出するエントリーシートを完成させて面接準備をする。（2.0h）
第13回	総仕上げ③　面接対策講座　面接攻略法・企業の見ているポイントとは	
	事前学習（内容・時間）	企業が重視するポイントを事前に調べ、自分の強みや志望理由を整理し、面接で話せる形に準備する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学んだ評価基準を踏まえて、自身の回答内容や態度の改善点を整理し、模擬面接に向けて修正する。（2.0h）
第14回	総仕上げ④　模擬面接会（オンライン・対面・グループ）	
	事前学習（内容・時間）	自分のアピール内容を整理し、表現できるよう準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを完成させ、提出する。自分たちで面接の経験を積む。（2.0h）
第15回	総括　～この夏の行動計画を立てよう	
	事前学習（内容・時間）	夏休みのインターンや活動を調べ、必要な経験を整理し、計画する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	具体的な行動計画を作成し、インターンシップに参加する。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5300-32E

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅥ		224～	3年生・後期	2単位	選択	大多　正人
キャリアデザインⅡ		～223				
オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②国内の上場・大手企業に志望・受験することが条件です。事前に担当講師による審査により決定します。					

授業概要　Course Outline

この講義では、国内の上場・大手企業への就職を志し、更に上位の企業から内々定を勝ち取るスキルを身につけます。授業では、就職活動に不可欠な情報やスキルを習得しますが、その際には国内の上場・大手企業を志望・受験する条件があります。履歴書やエントリーシートの作成、面接対応など、実践的な就職活動の準備が行われ、求められるスキルや知識を上場・大手企業の人事担当者から学びます。自己分析を進め、自らの強みを明確に把握することも重要です。最終的な目標は、理想の企業から内々定を獲得することであり、学生たちはその目標に向かって決意を持ち、積極的に進展していきます。授業は定員制で、上場・大手企業への志望と受験が求められるため、限られた枠内で目指す企業への内定獲得に向けて効果的なスキルを養います。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーⅠおよびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、大学でのキャリア教育・就業支援に長年携わるとともに、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を生かし、学生に社会人として必要な洞察力や基礎力を指導します。第3回～第5回では、企業の経営者や人事担当者など、多様な実務経験を持つ外部講師を招き、自己分析、企業・業界研究、採用試験対策など就職活動に必要なスキルを講義します。学生が上場・大手企業の内定獲得を目指し、実践的な知識と行動力を効果的に身につけることを目的としています。	担当講師は、大学でのキャリア教育と企業の人事採用支援の両面で豊富な経験を持つキャリアコンサルタントです。上場・大手企業の採用傾向を踏まえ、学生に進路選択の視点や社会人基礎力を指導します。第3回～第5回は外部講師によるオムニバス授業で、企業が求めるスキルや就職試験対策を学びます。さらに、第11回～第14回では集団・個人面接対策を実施します。これらを通じて学生は実践的スキルを高め、自信を持って就職試験に臨む力を養います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

国内の上場・大手企業を志望・受験することが条件です。国内の上場・大手企業への就職を目指すための授業を通じて、履歴書やエントリーシートの書き方や面接の対応など、実践的な就職活動の準備を行います。また、上場・大手企業の人事担当者より社会や組織の中で自分が生きていくために必要な経験・知識とは何かを生の話を聴き、求められるスキルや知識を習得し、自己分析を進めて自らの強みを把握します。最終的な目標である理想の企業への内々定を実現するため、決意を持って進んでいきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。上場・大手企業の採用試験本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「キャリアデザイン」 テキスト・ワークブック （専用テキスト）	大多 正人	九州情報大学作成	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①現代語訳「論語と算盤」 ②就職四季報　企業研究・インターンシップ版　2027年版 ③会社四季報　業界地図　2026年版 ④就職四季報　総合版　2026-2027 ⑤これが本当のSPI3テストセンターだ! 2027年度版 ⑥これが本当のSPI3だ! 2027年度版 ⑦これが本当のWebテストだ! 2027年度版 【玉手箱・C-GAB編】	①渋沢栄一 ②③④東洋経済新報社編集 ⑤⑥⑦SPIノートの会	①筑摩書房 ②③④東洋経済新報社 ⑤⑥⑦講談社	①978-4480065353 ②978-4492974391 ③978-4492971413 ④978-4492973356 ⑤978-4065383940 ⑥978-4065383896 ⑦978-4065383919

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 遅刻・途中退席は原則認めない。
② テキストおよび筆記具を持参していない場合は、学習に支障が生じるため受講を認めない場合がある。
③ 授業中のノートパソコン、スマートフォン、イヤフォンなどの情報端末の使用は、学習目的で講師が指示した場合を除き禁止する。
④「社会基準」にのっとった態度・行動で授業を行う。これに従えない場合、講師の判断で受講を中断させることがある。
⑤ 出席状況は、カードリーダーによる入室確認および毎回提出する課題ワークシートにより把握する。課題ワークシートの内容や学習への取り組み状況は平常点に反映される。
⑥ 成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
※平常点では、受講態度、授業への取り組み状況、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出状況、グループワークへの参加状況を重視する。
⑦ 定期試験では、すべての持ち込みを原則禁止とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

Google Classroomにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを事前に確認しておく。卒業後の進路選択でどの業界・企業の上場・大手企業を選ぶのか、自分なりのイメージを描いておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	企業研究　上場・大手企業の選び方、求人票の見方、採用試験の傾向と対策	
	事前学習（内容・時間）	マイナビを使用して、受験する上場・大手企業をピックアップしておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	上場・大手企業の会社説明会等の情報収集しておく。（2.0h）
第3回	上場・大手企業の人事担当者による講演①　テーマ：上場・大手企業の求める人材像を読みとく	
	事前学習（内容・時間）	ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。（2.0h）
第4回	上場・大手企業の人事担当者による講演②　テーマ：上場・大手企業の求める人材像を読みとく	
	事前学習（内容・時間）	ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。（2.0h）
第5回	上場・大手企業の人事担当者による講演③　テーマ：上場・大手企業の求める人材像を読みとく	
	事前学習（内容・時間）	ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。（2.0h）
第6回	時事問題対策　ニュース時事能力検定試験対策講座	
	事前学習（内容・時間）	ニュース時事能力検定試験のホームページから、過去の問題に取り組んでおくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	第3回　ニュース時事能力検定（マークシート又は、IBT試験）に挑戦する。（2.0h）
第7回	グループディスカッション実戦編　大手向け！実戦テーマでのグループディスカッション	
	事前学習（内容・時間）	大手企業のGDテーマや評価基準を調べ、自分の役割や意見の方向性を整理して当日の議論に備えておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬GDでの発言・協調性・役割行動を振り返り、良かった点と改善点を整理して選考本番に生かす。（2.0h）
第8回	履歴書・エントリーシート実戦編①　大手向け！自己PR・学生時代に力を注いだこと（ガクチカ）	
	事前学習（内容・時間）	自分の学生時代の取り組みを洗い出し、成果・工夫・役割を整理して、ガクチカの軸を事前に考えておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学んだ構成や伝え方を基に、自身のガクチカを文章化し、強調すべき点と改善点を整理する。（2.0h）
第9回	履歴書・エントリーシート実戦編②　大手向け！志望動機	
	事前学習（内容・時間）	志望する大手企業や業界を調べ、魅力や興味を持った理由を整理し、自分との接点をまとめておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で学んだ志望動機の組み立て方を踏まえ、企業研究の不足点を補いながら志望動機を完成させる。（2.0h）
第10回	履歴書・エントリーシート実戦編③　大手向け！履歴欄の書き方とエントリーシート頻出設問	
	事前学習（内容・時間）	大手企業のES設問例を事前に確認し、自分ならどう答えるかを簡単に整理して授業での実践に備えておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で扱った頻出設問の回答を作成し、自己PR・ガクチカ・志望動機との整合性を確認して仕上げておく。（2.0h）
第11回	面接実践編　大手向け！面接での想定質問対応	
	事前学習（内容・時間）	大手企業の想定質問を事前に確認し、履歴書・エントリーシート実践編で作成した自己PR・ガクチカ・志望動機を踏まえて回答を準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	志望する大手企業の面接での想定質問に対する対応を準備しておく。（2.0h）
第12回	面接塾①　苦手克服（集団・個人面接）	
	事前学習（内容・時間）	キャリアデザインセンターを訪問して、昨年度の面接塾テキストを事前に確認しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	苦手克服（集団・個人面接）を復習して、模擬面接会に準備しておくこと。（2.0h）
第13回	面接塾②　苦手克服（模擬面接会）	
	事前学習（内容・時間）	キャリアデザインセンターを訪問して、昨年度の面接塾テキストを事前に確認しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬面接会の内容を復習して、面接試験の本番前に準備しておくこと。（2.0h）
第14回	面接塾③　苦手克服（内定者の面接を見て学ぶ）	
	事前学習（内容・時間）	キャリアデザインセンターを訪問して、昨年度の面接塾テキストを事前に確認しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	内定者との違いを明確にして、面接試験の本番前に準備しておくこと。（2.0h）
第15回	総括　～コミットメント	
	事前学習（内容・時間）	大手企業の採用情報や選考傾向を調べ、自己分析や書類準備（履歴書・エントリーシート）、面接対策を準備しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	志望企業を絞り込み、エントリーや面接対策を具体的に行動へ移す。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

専門教育科目
（両学科共通）

ナンバリング（Numbering）
1BMB-5331-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学総論Ⅰ	219～	1年生・前期	2単位	必修	井上　善海

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	・両学科とも必修科目であり，IT人材（高度情報化人材）となるための基礎として，経営情報および企業の経営・マネジメントに関心を持っていること。 ・日頃から社会（世の中）の出来事や経済・企業に関係するニュースなどに関心を持っていること。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略や事業計画作成支援など，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・「経営学総論Ⅰ（経営学入門）」では，企業と社会についての基本的な視点から，企業経営に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについても考察していきます。
・テキストを基に，伝統的な理論から現代の経営学まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化しています。理論だけでなく，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。
・なお人数制限はありませんが，履修人数が多い場合は2つの教室を使い，片方が教室で対面授業，もう片方が教室でオンライン授業となる事があります（学籍番号で割り振りし，対面とオンラインは交互に入れ替えます）。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

1．経営学の体系を理解するとともに，生活者としての企業との関わり方，近現代における企業の発展の歴史，企業がもたらす社会への貢献と負の影響の側面などを理解している。
2．企業を取り巻く環境変化の理解と現代企業のあり方について理解している。
3．個人個人が，企業との関わりの中でどのようにセルフコントロールしていくべきか理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。
また，企業経営や経営戦略に関するビデオを聴講し，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑ等で対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

授業内課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
企業経営入門	井上善海　他	中央経済社	978-4-502-42681-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ゼミナール経営学入門（新装版）	伊丹敬之 ・加護野忠男	日本経済新聞出版	978-4532135263

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（60%）と授業内課題レポート（40%）を基準とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢として良かったところ悪かったところなどを、試験結果やレポート、ポートフォリオやルーブリックの提出状況に基づいて説明します。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解） 企業経営を考える	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの事前確認および企業経営等に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスし，自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第2回	1．企業の種類と統治 企業の概念，企業の形態，企業の統治	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	2．企業の経営目的と理念 企業の経営特性，企業の経営目的，企業の経営理念	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	3．企業の社会的責任とSDG's 企業の社会的責任，CSRと企業評価，CSRとSDG's	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	4．企業の成長戦略とイノベーション 企業と戦略，企業の成長戦略，イノベーション	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	5．企業の競争戦略とグローバル化 競争と競争戦略，VUCA時代と競争戦略，グローバル化と競争戦略	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	6．企業の組織構造と組織文化 組織とは，組織構造，組織文化	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	講義のまとめ（第1回～第7回）と演習	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	7．企業の採用と人材育成 採用，育成，将来を見通した人材の成長	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	8．企業の評価と報酬 人事評価，人事評価の困難性，報酬	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	9．企業の動機づけとリーダーシップ 動機づけ，リーダーシップ，企業活動における動機づけとリーダーシップの実際	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	10．企業の生産と販売 生産管理，マーケティング，生産から販売までの全体最適	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	11．企業の情報と意思決定 情報と意思決定，企業の意思決定と情報，企業が記録し蓄積する情報	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	12．企業の資本と資金 企業の資本調達，企業の資金運用，企業の資金管理	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（第9回～第14回）と演習	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-5331-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
経営学総論Ⅰ（再履修）	219～	1年生・前期	2単位	必修	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・両学科とも必修科目であり，IT人材（高度情報化人材）となるための基礎として，経営情報および企業の経営・マネジメントに関心を持っていること。 ・日頃から社会（世の中）の出来事や経済・企業に関係するニュースなどに関心を持っていること。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略や事業計画作成支援など，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・「経営学総論Ⅰ（再履修）」では，企業と社会についての基本的な視点から，企業経営に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについて学習します。
・テキストを基に，伝統的な理論から現代の経営学まで，その形成過程や今日的課題について学習を進めます。
・なお再履修クラスでは，毎回，小論文を作成する事により，日本語力・文章作成能力の向上を目指すとともに，時間内にテキストを読み込み，具体的な内容を自身で理解・考察し，まとめていく作業を行っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

1．経営学の体系を理解するとともに，生活者としての企業との関わり方，近現代における企業の発展の歴史，企業がもたらす社会への貢献と負の影響の側面などを理解している。
2．企業を取り巻く環境変化の理解と現代企業のあり方について理解している。
3．個人個人が，企業との関わりの中でどのようにセルフコントロールしていくべきか理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的にテキスト関連および小論文等の演習を中心にした授業になります。よってただ単に出席するだけでなく，当日の演習を実施し，毎回，提出しなければ単位取得できません。
・毎回，講義中に行われる教員からの演習問題等へ積極的に対応し，自身の意見を積極的にまとめていくことが求められます。
・また演習に基づき，ディスカッション等を行うため，積極的な授業参加が求められます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポート）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
企業経営入門	井上善海　他	中央経済社	978-4-502-42681-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営学要論	岸川善光	同文舘出版	978-4-4953-9010-5

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率，ディスカッションへの参加，毎回のレポート提出，資格試験への取り組み，ポートフォリオ（事前学習/授業レポート）提出，教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：学習に対する積極性および環境変化と企業の役割・機能などについて基礎的な理解が図られている。自身と企業とのかかわりが理解でき，自律的・自発的な行動への判断基準が持てている。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

基本的には，Googleクラスルームを使って，適宜，学習状況について質問等を受け付け，フィードバックおよび助言・指導をします。また試験結果を踏まえたフィードバックも，必要に応じてGoogleクラスルームを通じて行います。その他，連絡事項等もGoogleクラスルームを活用するため，連絡メッセージ等はよく確認するようにして下さい。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）（全員：対面授業） 企業経営を考える	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの事前確認および企業経営等に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスし，自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第2回	1．企業の種類と統治（対面授業＋オンライン授業） 企業の概念，企業の形態，企業の統治	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	2．企業の経営目的と理念（対面授業＋オンライン授業） 企業の経営特性，企業の経営目的，企業の経営理念	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	3．企業の社会的責任とSDG's（対面授業＋オンライン授業） 企業の社会的責任，CSRと企業評価，CSRとSDG's	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	4．企業の成長戦略とイノベーション（対面授業＋オンライン授業） 企業と戦略，企業の成長戦略，イノベーション	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	5．企業の競争戦略とグローバル化（対面授業＋オンライン授業） 競争と競争戦略，VUCA時代と競争戦略，グローバル化と競争戦略	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	6．企業の組織構造と組織文化（対面授業＋オンライン授業） 組織とは，組織構造，組織文化	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	講義のまとめ（中間）と演習（対面授業＋オンライン授業）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	7．企業の採用と人材育成（対面授業＋オンライン授業） 採用，育成，将来を見通した人材の成長	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	8．企業の評価と報酬（対面授業＋オンライン授業） 人事評価，人事評価の困難性，報酬	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	9．企業の動機づけとリーダーシップ（対面授業＋オンライン授業） 動機づけ，リーダーシップ，企業活動における動機づけとリーダーシップの実際	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	10．企業の生産と販売（対面授業＋オンライン授業） 生産管理，マーケティング，生産から販売までの全体最適	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	11．企業の情報と意思決定（対面授業＋オンライン授業） 情報と意思決定，企業の意思決定と情報，企業が記録し蓄積する情報	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	12．企業の資本と資金（対面授業＋オンライン授業） 企業の資本調達，企業の資金運用，企業の資金管理	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）（全員：対面授業）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-5220-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
会計学入門	221～223	1年生・前期	2単位	必修	山下壽文
	219・220			選択	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	会計には計算がつきものになりますので、電卓は必ず持参してください。そうはいっても、基本的には足し算、引き算、掛け算しか使いませんので計算自体は簡単です。力を抜いて履修していただければと思います。ただし、講義を受ける上でのマナーは守ってください。 なお、会計学入門の履修者は、必ず簿記Ⅰ（前期）と簿記Ⅱ（後期）を履修するようにしてください。			

授業概要　Course Outline

本講義では、会計学とは何を学ぶのか、どのように社会で役に立っているのか、学修によって何ができるようになるのかを網羅的に学習していきます。 また、簿記や他の会計関係の講義への橋渡しになるスタートアップの授業となります。本講義の学修によって、本学のディプロマポリシーⅡおよびⅢを満たします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

会計学の知識は、現在、ビジネスに関わる人にとっては、身に付けておかねばならない重要な常識になっています。本講義は、このような社会的要請に応えるため、下記の目標を設定しています。
・会計学分野のすべての科目に通じる基礎的な知識を習得すること。
・習得した基礎的な知識を通じて、企業経営に参画するビジネスパーソンとしての手掛かりを得ること。
・より発展したものとして、簿記などの資格取得にトライする意欲を養うこと。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で適宜実施する小テスト・レポートを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義に関する質問、相談等は、講義終了後の教室又は研究室にて随時受け付けます。
・オフィスアワー時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
＊研究室にお越しの際は、事前にメールなどでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認として、ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ビギナーのための会計学	山下壽文他	創成社	978-7944-1479-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
会計学のススメ	山下壽文	創成社	978-47944-1471-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（60%）
2.平常点（40%）
＊平常点の内訳：各回の小テスト（30%）、授業への取組み（10%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

定期試験については、出題の主旨および解答についてクラスルームにアップする。
小テストについては、講義において解答する。

tei		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（授業の内容と進め方）・なぜ会計を学ぶのか？	
	事前学習（内容・時間）	まずはテキスト・プレレッスンを一読し、講義の全体像をイメージしてみましょう。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第2回	会計とは何か	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン1）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第3回	会計のグローバリゼーション	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン2）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第4回	わが国の会計制度のあらまし	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン3）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第5回	わが国の会計基準のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン4）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第6回	貸借対照表のしくみ⑴　基本構造・流動資産	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン5・6）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第7回	貸借対照表のしくみ⑵　固定資産・負債・純資産	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン7・8）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第8回	損益計算書のしくみ⑴　基本構造	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・9）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第9回	損益計算書のしくみ⑵　発生主義会計	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン9）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第10回	キャッシュ・フロー計算書のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン10）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第11回	公正価値⑴　貨幣は価値を生む	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン12）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第12回	公正価値⑵　将来価値・現在価値	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・12）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第13回	損益分岐点分析	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン13）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第14回	粉飾決算（不正な利益操作）	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン15）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト全体）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	これまでの講義の振り返りを行い、定期試験に向け、わからなかったところを中心に復習をしましょう（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験（講義全体をとおした学習成果の確認）	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-5831-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
簿記Ⅰ	226 経営情報学科	1年生・前期	2単位	必修	岩下　昌美 平川　淳一
	221～225			経営 必修 NW 選択	
初級簿記	219・220			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	テキストを必ず購入すること。なお、使用するテキストは市販されていませんので，初回の講義開始時に購入してもらいます。掲示板でもお知らせしますので，ご留意ください。 12桁程度の電卓を準備してください。推奨電卓は講義内でご案内をいたします。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき、この授業では、簿記の基礎的レベルについて説明します。
ビジネス社会において必要不可欠といわれる会計の知識，その基礎となっているのが，複式簿記の原理と技術です。複式簿記とは，企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする技能のことです。
本講義では，小規模な株式会社を前提した複式簿記の原理と技術の基礎的知識を習得します。企業の経営活動の記帳方法，簿記一巡の手続き，決算資料（財務諸表）の作成について学習します。日本商工会議所主催の簿記検定3級の内容です。後期の「簿記Ⅱ」の講義内容を含めて簿記検定3級の範囲を網羅しますので，必ず受講をするようにしてください。簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学では4年間で簿記検定3級，全員取得を掲げています。そこで本講義では，簿記一巡の手続きを理解し，小規模な株式会社における帳簿記帳の基礎的知識を習得することを目標とします。
そして「簿記Ⅰ」「簿記Ⅱ」の履修により日本商工会議所簿記検定3級取得を目指します。簿記検定のペーパー試験（統一試験）は6月，11月，2月（翌年）に実施されます。2021.4月からWEB検定（受験日自由選択）も実施されることになりました。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
授業終了時には毎回の理解度をチェックするため，ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワー時（年度はじめに掲示），あるいは電子メール（アドレス：masami-i@g.kiis.ac.jp)で受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『2026　日商簿記3級テキスト』，2,000円	岩下昌美	なお、使用するテキストは市販されていませんので，初回の講義開始時に購入してもらいます。	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『スッキリわかる 日商簿記3級 最新版 テキスト&問題集』	滝澤 ななみ	TAC出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（70%），平常点（15%），復習課題（15%）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の授業最後の成果物提出状況で判断する。
成績評価の基準：①3級の取引の仕訳ができるか。②試算表が作成できるか。③伝票が起票できるか。④決算整理事項から精算表および財務諸表（貸借対照表・損益計算書）が作成できるか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方について，メールまたはGoogle
クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法など）を確認します。 第1章　簿記の基礎（簿記の意味，目的，種類，簿記一巡の手続，簿記上の取引，５大要素）について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第1章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	第1章　簿記の基礎（「貸借対照表」と「損益計算書」の構造）について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第1章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	第2章　取引と仕訳（取引の種類と仕訳のルール）について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第2章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	第2章　取引と仕訳（勘定記入の方法と帳簿の種類）について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第2章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	第3章　株式会社の設立・剰余金の配当，資金の借入れ・貸付けの会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第3章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	第4章　商品売買（商品の仕入れ，売上げ，付随費用，請求書・領収証など証憑類）の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第4章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	第5章　現金・預金・小口現金の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第5章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	第6章　掛け取引（売掛金，買掛金，貸倒れ，貸倒引当金）の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第6章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第9回	第7章　手形取引と電子記録債権・債務（手形の振出しや受取り，電子記録債権・債務の発生や消滅）の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第7章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	第8章　固定資産（種類，取得，減価償却，売却）の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第8章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	第9章　その他の取引（債権・債務，未収入金と未払金，仮払金と前受金，立替金と預り金，受取商品券，差入保証金）の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第9章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	第10章　税金（税金の種類，法人税等，消費税）の会計処理について学習します。 第11章　伝票会計（3伝票制，入金伝票・出金伝票・振替伝票の作成）について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第10章，第11章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	第12章　試算表（勘定記入の検証，合計試算表・残高試算表・合計残高試算表の作成）について学習します。第13章　決算（決算の意義，手続き，決算整理）の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第12章，第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	第13章　決算（商品の棚卸し，売上原価の算定，費用・収益の前払い・前受けと未払い・未収）の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第15回	第13章　決算（精算表および財務諸表の作成，元帳の締切りと繰越試算表の作成）について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第16回 （定期試験）	60分の定期試験（電卓持ち込み可）	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-5831-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅰ	226 情報ネットワーク学科	1年生・前期	2単位	選択	長友　陛富

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	本学では、日本商工会議所主催の簿記検定3級の取得を大きな目的としています。この簿記を学んだことのない学生も基礎基本をしっかり学習することで、簿記3級の内容を理解し、簿記検定3級の検定に合格できると思います。「大原で合格る日商簿記3級」のCHAPTER0～11を読み、その内容を確認し、学習項目の流れを理解しておきましょう。本講義では、簿記検定3級の内容を学習項目ごとに段階的に修得するために、簿記の基礎基本の内容をしっかりかつ繰り返し学習します。 なお、計算することがありますので、電卓を購入しておいてください。 また、配布プリント等をとじる紙ファイルを各自必ず準備してください。 講義中の注意事項は以下の通りです。 1 私語はしない　2 時間を守る　3 飲食禁止（ペットボトルや食べ物など机上に置かない） 4 携帯電話の利用は禁止　5 講義開始と終了の挨拶の励行と学ぶ姿勢を身に付ける。 ネットワーク学科の学生で簿記検定3級合格を希望する者は、必ず簿記Ⅰ（前期）と簿記Ⅱ（後期）を履修してください。

授業概要　Course Outline

企業を経営管理するためには会計情報の知識（会社がどういう経営状態か）が必要です。必要な情報として会計情報を正確に理解するためには、簿記を理解することが不可欠です。経営情報学部を卒業する学生は、将来企業の経営管理に関わる可能性が高いことを考えると、簿記の知識習得は必須となります。本科目では、企業が行う経済活動により発生する、資産、負債、純資産、費用、収益の増減を一定のルールに従って、記録・計算・整理することを実践します。また、講義では建学の精神に則った学生生活の在り方を提唱する中で、この科目の学習の目的と進路意識を持たせ、何事にも意欲的に取り組む姿勢の一歩とし、日本商工会議所簿記検定3級合格を目指します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①簿記の基本概念及び記帳・計算の基礎を理解できる。
②日常の手続きを理解し、仕訳及び勘定記入ができ、決算の意味を理解し、試算表の作成ができる。
③簿記一巡の手続を理解し、財務諸表作成までの計算構造を理解できる。
④簿記の機能と役割を理解させ、簿記への興味関心を持たせ、学習習慣と学ぶ姿勢を確立し、日本商工会議所簿記検定3級合格を目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの積極的な発言を期待し、毎回授業中に知識の定着を図るための口頭試問を実施します。また、
学生自ら段階別の問題を作成し解答の具体的な説明を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（556）にて随時受け付けます。連絡先はnagatomoy@kiis.ac.jpです。
なお、出勤日は火曜日、水曜日、木曜日です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：日本商工会議所主催の簿記検定3級を必ず受験します。（検定月は、6月、11月、2月です。
検定料は￥2,850です。CDC就職課から申し込みの案内が2か月前にあります。）
学習の確認：ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に説明します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大原で合格る日商簿記3級 ￥1,210	資格の大原	中央経済社	978-4502533914

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日商簿記3級過去問へのステップアップ問題集 ¥1,320	資格の大原	大原出版	978-4864869218

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法
（1）講義回数の3分の2以上の出席を必須条件とします。
（2）定期試験50%
　口頭試問10%
　提出物　15%
　日本商工会議所簿記検定受験10%
　学習意欲（課題板書及び説明）15%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験結果と今後の学習の取組みについて、メールで問い合わせてください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	簿記で学ぶこと（簿記の基本を学ぶための、資産、負債、純資産、費用、収益について説明）教科書（P2－8） また、学習に対する取り組み姿勢や時間管理、注意事項など受講の在り方についての説明を行います。	
	事前学習 （内容・時間）	簿記で学ぶこと　CHAPTER　0（P2～P8）までを読み、貸借対照表項目と損益計算書項目を理解し、 記憶すること。（2時間）ステップアップ問題集（P2～P4）
	事後学習 （内容・時間）	CHAPTER　0（P2～P8）で学んだことを復習し、配布プリントを再確認し、反復学習をすること。（2時間）ステップアップ問題集（P2～P4）
第2回	簿記の意味と目的、意義、必要性等を興味深く説明し、目的を達成する財務諸表として貸借対照表及び損益計算書の作成を行います。（貸借対照表から企業の必要な資金の状態が分かり、記載するカテゴリーとして、資産、負債、純資産の分類を理解し、カテゴリーの中の勘定科目を記憶します。教科書（P4-8）	
	事前学習 （内容・時間）	貸借対照表カテゴリーのそれぞれの勘定科目を区別して理解し記憶すること。教科書P4～P8までの勘定科目及び配布プリントの勘定科目を明確に記憶し作成できること。ステップアップ問題集（P3～P4）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義中に学習した内容を教科書と配布プリントでしっかり振り返り、カテゴリー別の勘定科目を 確認すること。ステップアップ問題集（P3～P4）（2時間）
第3回	財務諸表の1つ損益計算書のカテゴリーの中のそれぞれの勘定科目を区別して、内容理解と共に記憶する こと。また、損益計算書の算式を理解すること。（P6～P8）ステップアップ問題集（P2～P4）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書P4～P5の確認とP6～P8までをしっかり確認し学習内容の把握をすること。ステップアップ 問題集（P2～P4）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	貸借対照表カテゴリーのそれぞれの勘定科目の理解、損益計算書のカテゴリーのそれぞれの勘定科目の理解 を、配布プリントで確認しそれぞれの表を作成できるようにする。ステップアップ問題集（P2～4）（2時間）
第4回	貸借対照表に関する勘定科目と、損益計算書に関する勘定科目の分類の説明と取引の意味を踏まえて仕 訳を行い、それぞれの勘定への転記を教科書、配布プリント及び問題集で説明する。（P10～P16）	
	事前学習 （内容・時間）	貸借対照表項目と損益計算書項目の分類と簿記上の取引について事前学習を行う。 ステップアップ問題集（P5～P10）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	貸借対照表及び損益計算書に関する勘定科目を区別して配布プリントを参考に理解し、簿記上の取引を見分け 仕訳を行い、各勘定への転記を理解する。ステップアップ問題集（P5～P10）（2時間）
第5回	各勘定への転記が正しいかどうかの判断を行うために試算表を作成する。一定期間の範囲の中で取引と判断できる取引を仕訳し、それぞれの勘定へ転記する。この一連の流れが正しいかどうか判断するための資料作成を説明する。（P10～P18）ステップアップ 問題集（P11～P17）	
	事前学習 （内容・時間）	各項目の勘定科目の意味と分類をしっかりと理解し、取引か取引でないかの判断をしたうえで仕訳を行い、それぞれの勘定に転記する意味を考え、記入方法を理解しておくこと。（P10～P18）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	取引か取引でないかの判断を行い、仕訳しそれぞれの勘定に転記して、その一連の行為が 正しいか判断する試算表の作成を理解する。ステップアップ問題集（P11～P17）（2時間）
第6回	商品売買に関する記帳を3分法で行う説明を行います。繰越商品勘定と仕入勘定と売上勘定の関係を説明し、繰越商品と仕入勘定は原価が記帳されている意味を理解させる。また、現金で商品を売買する、掛取引で売買する場合の処理方法、並びに返品や値引きを受ける時やした場合の会計処理、商品購入時の引取り費用の会計処理、販売時の発送費の会計処理方法について説明する。 （P20～P26）ステップアップ問題集（P14～P20）	
	事前学習 （内容・時間）	3分法の意味や会計処理、掛取引の会計処理、値引き返品の会計処理、引き取り費用及び発送費の会計処理について意味の理解をしておく。（P20～P26）ステップアップ問題集（P14～P20）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	商品購入の会計処理、商品売買の会計処理に関して現金使用時、掛取り引き時、商品購入時の引取運賃や商品販売時の発送費の会計処理を配布プリントで確認し理解を深める。ステップアップ問題集（P14～P20）（2時間）
第7回	商品売買契約を確実に行うため、商品受け渡し前に代金の一部を内金または手付金とする会計処理、ギフトカードや商店街や自治体が発行したものなど、売上取引に関連して、他者発行の商品券の会計処理について説明します。（P27～P32）	
	事前学習 （内容・時間）	内金や手付金の会計処理や商品券の会計処理の方法について、その内容を把握しておくこと。 また、前回の内容の確認をしておくこと。ステップアップ問題集（P18～P20）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	第7回講義内容、前払い金と前受け金の簿記上の意味を理解し、その会計処理について配布 プリントで確認理解を深めておくこと。ステップアップ問題集（P18～P20）（2時間）
第8回	簿記上の現金とは何か、その会計処理について、また、現金勘定の帳簿残高と実際有高との不一致の 場合の会計処理について、プリントを配布し説明します。（P34～P39）	
	事前学習 （内容・時間）	内金や手付金の確認と同時に、現金勘定の会計処理についてその内容を把握しておくこと。 また、現金過不足の意味や会計処理を把握しておくこと。（P21～P23）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	第8回講義内容、現金勘定の会計処理及び現金過不足の意味や会計処理について勘定記入を含めて、配布プリント及び問題集で確認し理解を深める。ステップアップ問題集（P21～P23）（2時間）
第9回	支払手段としての普通預金、当座預金勘定の意味と会計処理及び約束手形の意味と会計処理、電子記 録債権債務の会計処理について、教科書やプリントを配布し説明します。（P40～P50）	
	事前学習 （内容・時間）	支払手段としての現金の理解を確認したうえで、現金以外の支払い手段の内容について理解 をしておくこと。（P42～P52）ステップアップ問題集（P26～P30）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	支払手段としての普通預金及び当座預金、約束手形の意味や処理方法、そして勘定記入を 配布プリントで理解を深めること。ステップアップ問題集（P26～P30）（2時間）
第10回	有形固定資産の購入、改善と改良の会計処理、クレジット取引の会計処理、金銭を貸す場合や借りる場 合の会計処理について教科書及び配布プリントに従って説明します。（P52～P62）	
	事前学習 （内容・時間）	約束手形の確認をプリントで行ったうえで、有形固定資産の会計処理とクレジット売掛金の 会計処理について配布プリントで理解を深める。（P52～P62）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	有形固定資産の会計処理と金銭の貸借の会計処理、クレジット売買の会計処理の理解をプリ ント、問題集を使って深めること。ステップアップ問題集（P31～P36）（2時間）
第11回	金銭の貸し付けや借り入れを行うとき、手形を用いる場合の会計処理、商品以外の売買取引で代金を後日受取る場合と後日支払う場合の会計処理、従業員のために一時的に金銭を立て替えた場合、給料の源泉所得税を差し引いて一時的に預かり、後日税務署に支払う会計処理をプリント等で説明します。（P63～P72）	
	事前学習 （内容・時間）	有形固定資産の会計処理と金銭の貸借の会計処理、クレジット売買の会計処理の理解をプリントを使って深める。また、給料の会計処理や手形による金銭貸借等について理解しておく。（P63～P72）ステップアップ問題集（P33～P40）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	手形を用いて金銭貸借の会計処理や商品以外の掛取引の会計処理、給料の会計処理につ いてプリントなどで理解を深めること。ステップアップ問題集（P33～P40）（2時間）
第12回	従業員の出張に関する会計処理、従業員が出張中に取引先から金銭を送金してくる場合の会計処理契約を実行する担保として債務者が債権者に対して差し入れた保証金についての会計処理、消費税の会計処理について（間接税）プリントを交えて説明します。（P71～P78）ステップアップ問題集（P69～P72）	
	事前学習 （内容・時間）	手形を用いて金銭貸借の会計処理や商品以外の掛取引の会計処理、給料の会計処理についてプリントなどで理解を深め、また、従業員の出張に関する会計処理を理解しておく。ステップアップ問題集（P33～P47）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	出張に関する会計処理、消費税の会計処理について、配布プリントで確認し、理解を深める。 ステップアップ問題集（P33～P47）（2時間）
第13回	主要簿と補助簿の記入方法、仕訳帳の記入方法、総勘定元帳の記入方法、受取手形記入帳や支払手形 記入帳、仕入帳や売上帳についてプリントを配布し、記帳練習を繰り返し説明します。（P94～P114）	
	事前学習 （内容・時間）	出張に関する会計処理、消費税の会計処理について、配布プリントで確認し、理解を深める。 また、主要簿や補助簿、仕入帳、売上帳、受取手形記入帳などの理解をしておく。（P56－P68）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り返し記入方法を理解する。（P94～P114）ステップアップ問題集（P56～P68）（2時間）
第14回	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法についてプリントを配布して説明します。 （P109～P116）ステップアップ問題集（P94～P114）	
	事前学習 （内容・時間）	総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り返し記入方法を理解した上で、商品有高帳の記載について理解しておく。（P56～P68））（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリント で確認し理解を深める。（P94～P114）ステップアップ問題集（P56～P68）（2時間）
第15回	伝票会計の会計処理を行い、仕訳日計表の作成をプリント等を使用して説明します。（P116～P122）	
	事前学習 （内容・時間）	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリント で確認し理解を深める。また、伝票会計について理解しておく。（P116～P122）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	伝票会計の会計処理を行い、仕訳日計表の作成をプリント等で確認し理解を深める。 （P116～P122）ステップアップ問題集（P72～P78）（2時間）
第16回 （定期試験）	商工会議所簿記検定3級試験の検定範囲の中（学習した内容）で、決算問題を中心に60分間 で実施します。 持ち込み可能なもの ①電卓のみ	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-6462-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅱ	226 経営情報学科	1年生・後期	2単位	選択	岩下　昌美 平川　淳一
	221～225				
簿記演習	219・220			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「簿記Ⅰ」または「初級簿記」の単位を取得していること。 テキストを必ず準備してください。使用するテキストは，2022年度の前期「簿記Ⅰ」で使用したものになります。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき，この授業では簿記についての基礎レベルについて説明します。
本講義は，日本商工会議所主催の簿記検定3級の範囲，小規模な株式会社を前提した複式簿記の原理と技術の基礎的知識を習得するため，前期「簿記Ⅰ」と連続した内容になりますので，必ず受講をするようにしてください。簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学では4年間で簿記検定3級，全員取得を掲げています。そこで本講義では，簿記一巡の手続きを理解し，小規模な株式会社における帳簿記帳の基礎的知識を習得することを目標とします。
そして「簿記Ⅰ」「簿記Ⅱ」の履修により日本商工会議所簿記検定3級取得を目指します。簿記検定のペーパー試験（統一試験）は6月，11月，2月（翌年）に実施されます。2021.4月からWEB検定（受験日自由選択）も実施されることになりました。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
授業終了時には毎回の理解度をチェックするため，ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワー時（年度はじめに掲示），あるいは電子メール（アドレス：masami-i@g.kiis.ac.jp)で受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『2026　日商簿記3級テキスト』，2,000円 2026年度前期の「簿記Ⅰ」テキストと同じです。	岩下昌美	前期に購入していない場合は，空き時間を利用して岩下（270号室）研究室で購入してください。	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『スッキリわかる 日商簿記3級 最新版 テキスト&問題集』	滝澤 ななみ	TAC出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（70%），平常点（15%），復習課題（15%）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の授業最後の成果物提出状況で判断する。
成績評価の基準：①3級の取引の仕訳ができるか。②補助簿の作成できるか。⑤決算整理事項から精算表および財務諸表（貸借対照表・損益計算書）が作成できるか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方について，メールまたはGoogle
クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法など）を確認します。 前期「簿記Ⅰ」の復習として，総合的な仕訳問題その1（株式会社の設立等，商品売買，掛け取引，現金預金等）を解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前期「簿記Ⅰ」の復習および勘定科目一覧表を確認しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	前期「簿記Ⅰ」の復習として，総合的な仕訳問題その2（貸倒れ，手形取引等，固定資産，その他の債権・債務，税金，決算整理）を解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前期「簿記Ⅰ」の復習および勘定科目一覧表を確認しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	第14章　分記法（商品売買）の会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第14章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	第15章　補助簿（商品有高帳，仕入帳，売上帳，得意先元帳，仕入先元帳，現金出納帳）の作成方法について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第15章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	第15章　補助簿（当座預金出納帳，小口現金出納帳，手形記入帳，固定資産台帳，）の作成方法について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第15章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料①をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	勘定科目一覧表で資産・負債・純資産・費用・収益について確認してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第7回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料②をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第8回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料③をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第9回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の補助簿作成・穴埋め問題を配布資料④をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第10回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の補助簿作成・穴埋め問題を配布資料⑤をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第11回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の伝票問題を配布資料⑥をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第12回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の決算整理・精算表作成問題を配布資料⑦をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第13回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の決算整理・財務諸表作成問題を配布資料⑧をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第14回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の決算整理後試算表作成問題を配布資料⑨をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第15回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の帳簿記入と締切り，繰越試算表作成問題を配布資料⑩をもとに解いていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第16回 （定期試験）	60分の定期試験（電卓持ち込み可）	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-6462-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅱ	226 情報ネットワーク学科	1年生・後期	2単位	選択	長友　陛富

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	本学では、日本商工会議所主催の簿記検定3級の取得を大きな目的としています。この簿記を学んだことのない学生も基礎基本をしっかり学習することで、簿記3級の内容を理解し、簿記検定3級の検定に合格できると思います。「大原で合格る日商簿記3級」のCHAPTERO～11を読み、その内容を確認し、学習項目の流れを理解しておきましょう。本講義では、簿記検定3級の内容を学習項目ごとに段階的に修得するために、簿記の基礎基本の内容をしっかりかつ繰り返し学習します。 なお、計算することがありますので、電卓を購入しておいてください。 また、配布プリント等をとじる紙ファイルを必ず準備してください。 講義中の注意事項は以下の通りです。 1 私語はしない　2 時間を守る　3 飲食禁止（ペットボトルや食べ物など机上に置かない）4 携帯電話の利用は禁止　5講義開始と終了の挨拶の励行と学ぶ姿勢を身に付ける。 ネットワーク学科の学生で簿記検定3級合格を希望する者は、簿記Ⅱ（後期）を履修してください。

授業概要　Course Outline

企業を経営管理するためには会計情報の知識（会社がどういう経営状態か）が必要です。必要な情報として会計情報を正確に理解するためには、簿記を理解することが不可欠です。経営情報学部を卒業する学生は、将来企業の経営管理に関わる可能性が高いことを考えると、簿記の知識習得は必須となります。本科目では、企業が行う経済活動により発生する、資産、負債、純資産、費用、収益の増減を一定のルールに従って、記録・計算・整理することを実践します。また、講義では建学の精神に則った学生生活の在り方を提唱する中で、この科目の学修の目的と進路意識を持たせ、何事にも意欲的に取り組む姿勢の一歩とし、日本商工会議所簿記検定3級合格を目指します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①簿記の基本概念及び記帳計算の基礎を理解できる。
②日常の手続きを理解し、仕訳及び勘定記入ができ、決算の意味を理解し、試算表の作成ができる。
③簿記一巡の手続を理解し、財務諸表作成までの計算構造を理解できる。
④簿記の機能と役割を理解させ、簿記への興味関心を持たせ、学習習慣と学ぶ姿勢を確立し、日本商工会議所簿記検定3級合格を 目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの積極的な発言を期待し、毎回授業中に知識の定着を図るための口頭試問、課題の板書及び説明することを実施します。また、学生自ら段階別の問題を作成し解答を含め説明・発表します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（556）にて随時受け付けます。連絡先はnagatomoy@kiis.ac.jpです。
なお、出勤日は火曜日、水曜日、木曜日です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：日本商工会議所主催の簿記検定3級を必ず受験します。（検定月は、6月、11月、2月です。
検定料は￥2,850です。CDC就職課から申し込みの案内が2か月前にあります。）
学習の確認：ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に説明します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大原で合格る日商簿記3級 ￥1,320	資格の大原	中央経済社	978-4502392719

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日商簿記3級過去問へのステップアップ問題集 ¥1,320	資格の大原	大原出版	978-4864869218

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法
（1）講義回数の3分の2以上の出席を必須条件とします。
（2）定期試験50%
　口頭試問10%
　提出物　15%
　簿記コンテスト及び日本商工会議所簿記検定受験10%
　学習意欲（課題板書及び説明）15%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験結果と今後の学習の取組みについて、メールで問い合わせてください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	会計学入門や簿記Ｉで学習した内容を振り返る。そのうえで精算表の作成を説明し、貸し倒れの会計処理、貸借対照表のにおける貸倒引当金の表示、有形固定資産の減価償却の会計処理について説明する。(教科書P132～P168)	
	事前学習 (内容・時間)	前期の会計学入門と簿記Ｉの講義の内容を、教科書やプリントで振り返り理解を深め、精算表の作成についてその方法を理解しておくこと。(P132～P168)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	精算表の作成に決算整理事項として出題される貸し倒れと減価償却の計算方法、会計処理について、その仕訳と記帳方法を配布プリントで理解すること。ステップアップ問題集(P82～P93)(2時間)
第2回	会計学入門や簿記Ｉで学習した内容を振り返る。そのうえで精算表の作成を説明し、貸し倒れの会計処理、貸借対照表のにおける貸倒引当金の表示、有形固定資産の減価償却の計算及び会計処理について説明する。(P132～P168)ステップアップ問題集(P82～P93)	
	事前学習 (内容・時間)	第1回講義内容、精算表の作成に決算整理事項として出題される貸し倒れと減価償却について、その仕訳と記帳方法を配布プリントで理解し、有形固定資産の売却の会計処理について理解しておく。(P132～P168)ステップアップ問題集(P90～P115)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	精算表の作成に関して、貸倒の設定、減価償却の計算及び会計処理、有形固定資産の売却時の会計処理について配布プリントや問題集で確認する(P132～P168)ステップアップ問題集(P82～P93)(2時間)
第3回	精算表の作成に関して、費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え説明する。 教科書(P170～P184)ステップアップ問題集(P82～P93)	
	事前学習 (内容・時間)	貸倒れと減価償却等を配布プリントで理解を深め、費用収益の前払いや前受け、未払い・未収について、理解しておくこと。 (P170～P184)ステップアップ問題集(P82～P93)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	精算表の作成を理解する。費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え理解を深める (P170～P184)ステップアップ問題集(P82～P93)(2時間)
第4回	精算表の作成に関して、費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え説明する。教科書(P170～P184)ステップアップ問題集(P82～P93)	
	事前学習 (内容・時間)	貸倒れと減価償却等を配布プリントで理解を深め、費用収益の前払いや前受け、未払い・未収について、理解しておくこと。 教科書(P170～P184)ステップアップ問題集(P82～P93)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	精算表の作成を理解する。費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え理解を深める (P170～P184)ステップアップ問題集(P82～P93)
第5回	精算表の作成をプリント・問題集を利用して決算整理事項を含めて、作成の理解を深める。 (P209～P212)ステップアップ問題集(P114～P115)	
	事前学習 (内容・時間)	決算整理事項に関係する、貸倒、減価償却、売上原価、現金過不足、前受金、税金関係、費用・収益の見越し繰り延べ、貯蔵品等を含めた精算表作成の理解を深めておくこと。(P161～P212)ステップアップ問題集(P86～P115)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	精算表の作成手順をプリント・問題集を活用して明確に理解を深めること。(P161～P212)ステップアップ問題集(P86～P115)(2時間)
第6回	帳簿の締め切り及び財務諸表の作成までの一連の手続きについて、プリントと教科書で説明します。損益勘定の締め切り、資産・負債・資本書簡上の締め切りを行い、損益計算書と貸借対照表の作成を説明します。(P185～P204)ステップアップ問題集(P112～P116)	
	事前学習 (内容・時間)	決算整理事項を終了した後、各勘定を締め切る流れについて理解を深めること。また、一連の流れの中から損益計算書及び貸借対照表の作成について理解しておくこと。(P202～P205)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	第5回講義内容、損益計算書と貸借対照表の作成の手順と受取手形や売掛金に対する貸倒引当金及び減価償却累計額の表示の方法について明確に理解すること。ステップアップ問題集(P112～P116)(2時間)
第7回	帳簿の締め切り及び財務諸表の作成までの一連の手続きについて、プリントと教科書で説明します。損益勘定の締め切り、資産・負債・資本書簡上の締め切りを行い、損益計算書と貸借対照表の作成を説明します。(P145～P205)ステップアップ問題集(P82～P121)	
	事前学習 (内容・時間)	決算整理事項を終了した後、各勘定を締め切る流れについて理解を深めること。また、一連の流れの中から損益計算書及び貸借対照表の作成について理解しておくこと。(P145～P205)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	第6回講義内容、損益計算書と貸借対照表の作成の手順と受取手形や売掛金に対する貸倒引当金及び減価償却累計額の表示の方法について明確に理解すること。ステップアップ問題集(P82～P121)(2時間)
第8回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。1、過去に出題された仕訳問題をプリントを活用して解く。 ステップアップ問題集(P4～P121)	
	事前学習 (内容・時間)	取引から仕訳に関係する、今までに配布したプリントや問題集を振り返り、理解を深めておくこと。 ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	取引と判断できる場合の仕訳をあらゆるジャンルで出来るように繰り返し行い、理解を深めること。 ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
第9回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。1、過去に出題された仕訳問題をプリントを活用して解く。 ステップアップ問題集(P4～P121)	
	事前学習 (内容・時間)	取引から仕訳に関係する、今までに配布したプリントや問題集を振り返り、理解を深めておくこと。 ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	取引と判断できる場合の仕訳をあらゆるジャンルで出来るように繰り返し行い、理解を深めること。 ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
第10回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。2、過去に出題された試算表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。 教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)	
	事前学習 (内容・時間)	試算表の作成を行うためには、日々の取引の簡単な仕訳と転記が必要です。地道なことの繰り返し根気強く取り組んでください。(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	試算表の作成は多くの時間を要します。根気よく問題に向かって解くこと以外に方法はありません。繰り返し解くことで理解を深めてください。(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
第11回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。2、過去に出題された試算表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。 教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)	
	事前学習 (内容・時間)	試算表の作成を行うためには、日々の取引の簡単な仕訳と転記が必要です。地道なことの繰り返しですので根気強く取り組んでください。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	試算表の作成は多くの時間を要します。根気よく問題に向かって解くこと以外に方法はありません。繰り返し解くことで理解を深めてください。(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
第12回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。3、過去に出題された精算表、損益計算書・貸借対照表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)	
	事前学習 (内容・時間)	過去に出題された精算表・損益計算書・貸借対照表を教科書や問題集及びプリントを活用して、しっかり理解し正確な解答が出るように会計処理を高めること。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	第12回の講義内容、精算表・損益計算書・貸借対照表の作成時間が40分で完成できるように繰り返し問題を解き、正確性とスピードカを身につけること。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
第13回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。3、過去に出題された精算表、損益計算書・貸借対照表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)	
	事前学習 (内容・時間)	過去に出題された精算表・損益計算書・貸借対照表を教科書や問題集及びプリントを活用して、しっかり理解し正確な回答が出るように会計処理を高めること。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	第13回講義内容、精算表・損益計算書・貸借対照表の作成時間が40分で完成できるように繰り返し問題を解き正確性とスピードカを身につけること。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
第14回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。4、伝票の起票、集計、をプリント及び問題集を活用して解く。売掛金元帳・買掛金元帳、商品有高帳、仕入帳・売上帳の記入方法につて理解しておくこと。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)	
	事前学習 (内容・時間)	総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り返し記入方法を理解した上で、商品有高帳の記載について理解しておく。教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリントで確認し理解を深める。 教科書(P2～P209)ステップアップ問題集(P4～P121)(2時間)
第15回	日商簿記検定3級の総合問題の理解度確認し、抑えるべ項目の把握と理解度を高める。(3級検定試験全体)	
	事前学習 (内容・時間)	日商簿記3級検定試験範囲を繰り返し学習する過程で、時間配分や配点の部分まで考えて合格に結びつけられるよう問題を解く習慣を身につけておく。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	3級全体の問題に対する解答をバランスよく出来るように確認を最大限に行う。ステップアップ問題集(全体)(2時間)
第16回 (定期試験)	商工会議所簿記検定3級試験の検定範囲の中(学習した内容)で、決算問題を中心に60分間で実施します。 持ち込み可能なもの ①電卓のみ	

ナンバリング（Numbering）
1BMN-6510-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
マネージメント科学 （教職関連科目　必　高等学校　情報）	共通	2年生・前期	2単位	選択	澤井　雅明

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	授業中のディスカッションやワークに積極的に参加すること。 チームマネージメントや企業経営等について関心があることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、ビジネスシーンにおいて求められるマネージメントの基本についての知識や汎用的技能を身に付けます。幅広いマネージメントの領域において、本講座では特に自身とチームのマネージメントに注目し、ケースを用いて身近な問題に応用して演習をすることで理解を深めていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

目的達成のためには、積極的に周りの人たちを巻き込み、協力して課題を乗り越えてことが必要になります。それらマネージメントの問題を科学的に解決する初歩的な解決技法を理解し習得します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します
②マネージメントに関わる様々なケース教材を準備しグループで議論することで、実際のビジネスシーンを体感できるような講義を行います。授業中のディスカッションやワークに積極的に参加してください。
③毎回の授業の終わりに授業内容をまとめた課題とレポート提出があります。またコメントカードの作成・提出も指示しますので、感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
個別の授業ごとに課題に関連する教材・資料を配布または提示する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて授業の中で紹介していく			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（45%）、定期試験（55%）。平常点は、学修（学習）ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習 （内容・時間）	本授業のテーマについてネット検索等で調べ、疑問点を整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	受講のためのネットワーク環境や資料を整備する（2.0h）。
第2回	マネージメント概説	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第3回	自身のマネージメント（1） 自らの意思や判断で動く	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第4回	自身のマネージメント（2） 目的を設定して確実に行動する	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第5回	自身のマネージメント（3） 現状を分析し、課題を明らかにする	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第6回	自身のマネージメント（4） 課題解決に向けたプロセスを明らかにし準備する	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第7回	自身のマネージメント（5） 新しい価値を生み出す	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第8回	自身のマネージメント（6） 社会や人との約束を守る	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第9回	自身のマネージメント（7） ストレスの発生源に対応する	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第10回	チームのマネージメント（1） 自分の意見をわかりやすく伝える	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第11回	チームのマネージメント（2） 相手の意見を丁寧に聞く	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第12回	チームのマネージメント（3） 意見の違いや立場の違いを理解する	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第13回	チームのマネージメント（4） 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第14回	チームのマネージメント（5） 周囲の人を巻き込む	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第15回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	全体を振り返り、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	キーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第16回 （定期試験）	定期試験の実施。	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-6302-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ビジネス実務	219～	2年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	1.経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱ、マーケティング論などの関連科目を履修し単位を取得していること。2.履修者は全員、7月にCBTでｻｰﾋﾞｽ接遇検定試験（3級）を申し込み、受験し合格すること。

授業概要　Course Outline

この講義では、ビジネス実務の知識やスキルの習得、さらには広い視野から社会に広がるビジネス実務の諸課題を、具具体的な活動プロセスの中で探求し、実践の場で生かせるような必要な知識や方法を学習をとおして身に付けることに主眼をおいている。また体験学習を積極的に取り入れ、現場の課題に取り組む姿勢についても学習をする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義では、職業人として、企業においてビジネス実務を実際に行うために必要な基礎的な考え方と知識・技能を習得する。また講義をとおして、そうすることが「なぜ」必要なのかという考え方を持ち、 実際に活用できる能力も身に付ける。信頼される社会人として、ふさわしい言動や人柄を身に付け、社会に必要となる豊かな教養と温かい人間性を兼ね備えた人材としての基本を培う。
　なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施するロールプレイや小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。
　実務技能検定協会主催 サービス接遇検定試験の3級、または2級を受験し、合格を目指す。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
すらすら合格 サービス接遇検定 準1級・2級・3級 テキスト＆問題集	西村この実　著	翔泳社	978-4-7981-7005-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
サービスの心を磨く サービス接遇検定 公式テキスト 3級	実務技能検定協会　編	早稲田教育出版	978-4-7766-1305-3
サービスの心を磨く サービス接遇検定 公式テキスト 2級	実務技能検定協会　編	早稲田教育出版	978-4-7766-1306-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（5%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（10%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション[講義の進め方、成績評価について] サービススタッフの資質		
	事前学習（内容・時間）	教科書16頁～34頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第2回	専門知識[サービスの意義、サービスの機能、品選び①、品選び②、サービスの機能を考えた態度・行動]		
	事前学習（内容・時間）	教科書46頁～54頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第3回	専門知識[お客様を迎える心構え①、お客様を迎える心構え②、お客様対応のコツ①、お客様対応のコツ②]		
	事前学習（内容・時間）	教科書56頁～62頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第4回	一般知識[知っておきたいことわざ・慣用句]		
	事前学習（内容・時間）	教科書74頁～84頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第5回	一般知識[サービス業の用語、手紙における表現]		
	事前学習（内容・時間）	教科書86頁～106頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第6回	対人技能[人間関係の対処法、社内外の人間関係、適切な接遇用語、接遇者としての話し方]		
	事前学習（内容・時間）	教科書120頁～126頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第7回	対人技能[適切な服装と不適切な態度、サービス接遇の4S、接遇の流れ、購買行動]		
	事前学習（内容・時間）	教科書128頁～134頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第8回	対人技能[敬語、お役様に対する丁寧な言葉遣い]		
	事前学習（内容・時間）	教科書136頁～148頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第9回	実務技能[サービス接遇の基本手順、店舗以外での接客、クレーム対応①、クレーム対応②]		
	事前学習（内容・時間）	教科書164頁～174頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第10回	実務技能[問題処理法と非常事態、環境整備、金品管理、商品管理]		
	事前学習（内容・時間）	教科書178頁～186頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第11回	実務技能[社交業務①、社交業務②]		
	事前学習（内容・時間）	教科書188頁～190頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第12回	実務技能[服装のマナー、現金の包み方、水引のかけ方]		
	事前学習（内容・時間）	教科書192頁～194頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第13回	実務技能[上書きと水引①、上書きと水引②、上書きと水引③]		
	事前学習（内容・時間）	教科書196頁～200頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第14回	実務技能[電話応対の基本]		
	事前学習（内容・時間）	配布した参考資料を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第15回	実践演習[3級模擬問題、2級模擬問題、準1級面接対策]		
	事前学習（内容・時間）	教科書216頁～238頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）		

ナンバリング（Numbering）
1BMN-6540-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
民事法	219～225	2年生・前期	2単位	選択	丹羽 崇之

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「法学」、「日本国憲法」を履修済みであることが望ましい。

授業概要　Course Outline

私たちの私的生活関係は、二つの生活関係から成り立っている。契約のような、経済的取引活動を中心とする生活関係と、夫婦や親子、相続などの家族に関する生活関係である。前者に関する法規範を財産法といい、後者に関する法規範を家族法という。民法は、この二つを規律していて、市民生活の基本となる法律である。本講では、民法を中心として、民事手続法、会社法等の民事法について学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

市民生活を営むうえでは、民事法の基本的素養を身につけておくことが重要である。建学の精神をふまえて、私法の基本原理を確実に理解することから始め、法的思考力を養うことにより、トラブルの予防や紛争解決能力を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

判例を簡略化した事例を題材にするので、学生諸君に適用条文や法律関係を考えてもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、Goole Classroomや授業の前後の時間を積極的に利用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

欠席した場合には、その回の授業内容を学習したレポートを提出してもらう。（提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。）
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
民事法入門〔第9版〕	野村豊弘	有斐閣	978-4641222472

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ポケット六法　令和8年版	森田・小泉編	有斐閣	978-4641009264
民法基本判例集〔第5版〕	遠藤・川井他編	勁草書房	978-4326451364
民法Visual Materials〔第3版〕	池田真朗他	有斐閣	978-4641138575

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（各回の課題、レポート）30%、定期試験70%により総合評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各回の課題については、次の回に解説するとともに、Goole Classroomに正解を掲示するので、事後学習で活用すること。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	民事法の意義	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1章を読み、民事法、民法の意義を考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第2回	民法と民法典、権利と義務	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2章・第3章を読み、民法の基本原理を考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第2章・第3章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第3回	法律行為	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読み、法律行為、権利の主体について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第4章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第4回	代理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5章を読み、代理のしくみについて考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第5章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第5回	時効	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章を読み、時効について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第6回	契約	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読み、時効について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第7回	所有権	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読み、時効について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第8回	不法行為	
	事前学習（内容・時間）	教科書第9章を読み、不法行為の意義、要件、効果について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第9章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第9回	事務管理・不当利得	
	事前学習（内容・時間）	教科書第10章を読み、事務管理。不当利得の意義、要件、効果について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第10章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第10回	債務の弁済	
	事前学習（内容・時間）	教科書第11章を読み、債務の担保、債務の弁済について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第11章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第11回	家族	
	事前学習（内容・時間）	教科書第12章を読み、親族法の意義、基本原理について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第12章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第12回	親子、扶養	
	事前学習（内容・時間）	教科書第13章を読み、親子、親権、親族扶養について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第13章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第13回	相続	
	事前学習（内容・時間）	教科書第14章を読み、相続の意義、法定相続、遺言について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第14章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第14回	団体	
	事前学習（内容・時間）	教科書第15章を読み、法人、会社について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第15章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第15回	権利の実現	
	事前学習（内容・時間）	教科書第16章を読み、権利実現の方法、紛争の解決、裁判制度について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第16章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BMN-5360-22C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営情報学Ⅰ	223～	2年生・前期	2単位	必修	澤井雅明
経営情報論Ⅰ	～222			選択	

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	企業経営、情報テクノロジー等について関心があることが望ましい。 授業中のディスカッションに参加すること。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神と3つのポリシーを基盤とした、経営情報学の全体像を把握するための重要な科目です。経営環境の変化や情報技術の進展により、さまざまな企業の活動の中で情報通信技術がどのように活用されているかを学び、企業の目標達成への貢献について理解を進めていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

「学修成果(Student Learning Outcomes) 3項 社会で求められる知識・技能を修得し、もろもろの課題に主体的に取り組むことができる創造的な思考力や実践力を修得している」に基づき、情報通信技術の発展過程を理解できる、各情報通信技術について考え方を説明できる、ネットワーク社会の新しい分野で活躍できる人材となることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します
②毎回の授業の終わりに授業内容をまとめた課題とレポート提出があります。またコメントカードの作成・提出もお願いしますので、感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営情報入門	麻生隆史・荒平高章・井上善海編著	中央経済社	2026年2月刊行予定

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①現代経営情報論 ②コア・テキスト経営情報論	①遠山曉・村田潔・古賀広志 ②生稲史彦・高井文子・野島美保	①有斐閣 ②新世社	①9784641221789 ②9784883843312

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（45%）、定期試験（55%）。平常点は、学修（学習）ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	本授業のテーマについてネット検索等で調べ、疑問点を整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	受講のためのネットワーク環境や資料を整備する（2.0h）。
第2回	Society 5.0と情報化社会	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第3回	ビッグデータとデータサイエンス	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第4回	DX（digital transformation）と経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第5回	ICT（Information and communication technology）と経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第6回	AI（Artificial Intelligence）と経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第7回	デジタル技術とデジタル人材の育成	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第8回	企業戦略と経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第9回	意思決定と経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第10回	組織コミュニケーションと経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第11回	マネジメントと経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第12回	マーケティングと経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第13回	ファイナンスと経営情報	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第14回	経営情報の未来	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	全体を振り返り、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	キーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第16回（定期試験）	定期試験の実施。	

ナンバリング（Numbering）
1BMN-5370-U2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営情報学Ⅱ（教職関連科目　必　高等学校　情報）	223～	2・3年生・後期	2単位	選択	澤井　雅明
経営情報論Ⅱ（教職関連科目　必　高等学校　情報）	221・222				
	219・220 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「経営情報論Ⅰ」を履修しており、企業経営、情報テクノロジー等について関心があることが望ましい。 授業中のディスカッションに参加すること。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神と3つのポリシーを基盤とした、経営情報学の全体像を把握するための重要な科目です。経営環境の変化や情報テクノロジーの進展とともに、情報通信技術の活用における企業事例を解説することで、経営情報学を理解していく上での重要なポイントを学習します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

経営情報学の基本的な内容の理解を目指します。さらに多くの企業事例を学び、活用状況について正しく理解し、説明が出来るようになります。
また、社会で求められる経営情報学に関する土台としての知識を習得し、他の基礎科目、および応用・発展科目へと導き、より深い知識を得る道しるべを得ることができます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します
②企業事例を紹介する教材を準備し、実際のビジネスシーンを体感できるような講義を行います。
③毎回の授業の終わりに授業内容をまとめた課題とレポート提出があります。またコメントカードの作成・提出もお願いしますので、感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1からのデジタル経営	伊藤宗彦・松尾博文・富田純一編著	碩学舎	9784502410918

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①デジタル経営学入門　IT経営，eビジネス，マーケティング編	①大嶋淳俊	①学文社	①9784762030758
②経営情報学　理論と現象をつなぐ論理	②木嶋恭一・岸眞理子	②有斐閣	②9784641222083
③情報を儲けに変える　イラスト図解小さな会社のIpTマーケティング	③澤井雅明	③日本実業出版社	③9784534057488

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（45%）、定期試験（55%）。平常点は、学修（学習）ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	本授業のテーマについてネット検索等で調べ、疑問点を整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	受講のためのネットワーク環境や資料を整備する（2.0h）。
第2回	デジタル経営とビジネスモデル	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第3回	パターン認識と予測	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第4回	最適化	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第5回	サプライチェーン・マネジメント	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第6回	ブロックチェーン	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第7回	デジタル経営の戦略とプロセス	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第8回	DX変革	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第9回	リテールAI	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第10回	IoTソリューション・ビジネス	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第11回	スマートファクトリー	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第12回	ビジネス・エコシステム	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第13回	スマート農業	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第14回	オンライン・メンテナンス	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、教科書の当該箇所を読了し、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	全体を振り返り、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	キーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1BIN-5690-12CT

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報学入門 （教職関連科目 必 高等学校 情報）	223～	1年生・前期	2単位	必修	中島　直樹
	219～222			選択	

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報について学ぶ意識を強く持つことを期待します。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、情報学分野全般の基本的な知識（人工知能、ICTを含む）を習得することを目標とする。
具体的には、情報処理や情報ネットワークのような技術的な内容だけではなく、情報や情報メディアおよびそれらの活用、活用する際の姿勢・態度について学ぶ。情報ネットワーク学科の他の先生方とのオムニバス形式で運用するため、順番が前後したり、内容に若干の変更があったりすることがあります。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。状況によりオンライン(Zoom)授業になることがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

情報や情報技術に興味を持ち、それを扱う際に欠かせない基礎知識を学び、またメディアリテラシーの素養を育む。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、実生活でも身近になってきたネットショッピングサイトを題材に、そこで用いられている技術だけでなく、プラットフォーム、メディアとしての捉え方、活用する際の姿勢・態度についても考察する。その際には、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回指定した課題を解くこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「痛快！コンピュータ学」	坂村健	集英社	978-4087474282

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題（60%）、定期試験（40%）の総合評価とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回課される課題の補足説明や解説を講義開始時に行う。また、講義内容に対する質問等をGoogle Formsなどで随時募集し、説明や解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	入門（1）　　身近な例から始める情報と社会、情報とは（値、データなど）	
	事前学習（内容・時間）	大学入学までの情報に関する学習を振り返ってまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	データ、情報、知識についてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	入門（2）　　情報の種類と特性（アナログ、デジタル）、意味、価値	
	事前学習（内容・時間）	身近なアナログ、デジタルの例を探してまとめておく。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	アナログ、デジタルの違い、特徴、利点欠点についてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	メディア（1）　　媒体：メディアの種類と特性、媒介される対象としての情報	
	事前学習（内容・時間）	身近なメディアについて、書き出してまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	ノートをまとめ直す。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	データサイエンス（1） データ、情報、知識	
	事前学習（内容・時間）	データサイエンス、データリテラシーという用語について調べておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	データサイエンスの概要についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	データサイエンス（2） 人材、技術、実例	
	事前学習（内容・時間）	データサイエンスの応用事例について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	データサイエンティストの活躍分野、就職先について調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	情報通信システム（1） 情報通信産業、スマートシティ	
	事前学習（内容・時間）	スマートシティ、スマートソサエティ、スマートスピーカについて調べる。[2.0]
	事後学習（内容・時間）	インターネットを支えるインフラについて調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	情報通信システム（2） モバイル通信	
	事前学習（内容・時間）	IoT, ToSという用語、便利と危険のバランスについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	5Gで広帯域通信が可能になったらしてみたいことについてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	情報と医療（1） 遠隔医療	
	事前学習（内容・時間）	遠隔教育、通信教育、テレワークについて調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	遠隔医療に不可欠なインフラとその維持についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	情報と医療（2） 再生医療と情報	
	事前学習（内容・時間）	人工物と自然物の融合について考察し、まとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	開発競争と情報共有における問題、産業機密について考察。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	情報セキュリティ入門（1） 暗号入門	
	事前学習（内容・時間）	暗号の歴史、暗号をトリックにした小説について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	暗号の有用性についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	情報セキュリティ入門（2） PKI(Public Key Infrastructure)	
	事前学習（内容・時間）	暗号の活用とそのためのインフラ（社会基盤）について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	量子暗号について調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	生体情報（1） 脳、生物、歩行	
	事前学習（内容・時間）	人間の五感覚とセンサーとの対応、人間の代理としてのセンサーについて考察。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	二足歩行、四つ足、這うということの観察の仕方と再現についてまとめる。[2.0h]
第13回	生体情報（2） スポーツと情報	
	事前学習（内容・時間）	eスポーツについて調べる。従来のスポーツとの違いをまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	従来のスポーツとeスポーツとゲームとの関係を考察してまとめる。[2.0h]
第14回	Generative AIの利活用	
	事前学習（内容・時間）	Generative AIについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	情報の容器、道具としてのメディアの利点欠点をまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回の内容をまとめる。できるだけ紙のノートに書きだしてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、想定問題を考え、対策を立てる。 [2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）						
1BIB-5710-12E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報数学Ⅰ		219～	1年生・後期	2単位	選択	上田拓実
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎数学を履修していることが望ましい。					

授業概要 Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、大量データの処理に欠かせない数学の一分野である「線形代数」について学びます。「線形代数」は、経営学、会計学、統計学や情報処理の基礎知識である重要な科目です。個々のデータを一括表現することで、データ分析の本質的な要素を理解したり、大局的な視点を持つ素養を身に着けます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①行列の基本演算ができる
②行列の基本変形ができる
③行列の階数を求めることができる
④連立一次方程式を解くことができる
⑤逆行列を求めることができる
⑥行列式を求めることができる
⑦行列式を余因子展開やクラメルの公式によって計算できる
⑧疑問点を尋ねることができる
⑨講義に参加できる

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回授業内で演習を行います。演習に使用したプリントは回収し、採点後、次の講義でフィードバックします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは授業の前後で受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）
（フォームはクラスルームを通じて毎時間配布します。）

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
テキスト線形代数	小寺 平治	共立出版	978-4-320-01710-8

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
大学新入生のための線形代数入門	石村 園子	共立出版	978-4320110922

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習（20%），ノート提出（40%），定期試験（40%）により評価する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

演習に使用したプリントは回収し、採点後、次の講義でフィードバックします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、プレースメントテスト	
	事前学習（内容・時間）	高校の頃に勉強した数学の復習をしておく(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2.0h)
第2回	ベクトル	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（2～7ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第3回	行列	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（8～12ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第4回	行列の乗法	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（13～19ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第5回	行列の除法	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（20～27ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第6回	行列の基本変形	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（28～33ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第7回	ベクトルの一次独立性	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（34～39ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第8回	行列の階数	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（40～45ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第9回	連立一次方程式	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（46～52ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	教科書やノートを見ながら試験問題を解く(2.0h)
第10回	逆行列の計算	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（53～59ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第11回	面積・体積と行列式	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（60～67ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第12回	行列式の基本性質	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（68～74ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第13回	積の行列式	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（75～79ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第14回	逆行列の公式・クラメルの公式	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキスト（80～87ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2.0h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。これまでに間違えた問題を理解できるまで何度も解く(2.0h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BIN-5770-12ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報ネットワーク入門 （教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～	1年生・後期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報検索機器の操作やWebアプリケーションの操作等に慣れること。

授業概要　Course Outline

Webシステムを通して通信ネットワークの役割やネットワークシステムの基本構成、データ転送の仕組み、通信プロトコルなどを修得する。さらにWWW、電子メール、ネットニュースなどについて理解を深めることによりコミュニケーションの目的や仕組みについて習得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、情報ネットワークに関する用語や基礎知識の習得及び最近技術動向を修得することにより、ITパスポートおよび基本情報技術者試験のネットワーク分野の出題問題に対応できるレベルに達することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

情報ネットワークに関する最新のトレンドをつかむため、2人から4人のグループで必修用語や最新技術等をWeb上で調べ（5回以上）、ポートフォリオに記入すること。また、個人ホームページを作成し、第15回目の授業時間に提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：:水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（CCENT、ITパスポート、基本情報技術者）　学習の確認：情報ネットワーク関連用語のテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ネットワーク超入門講座第5版	三上信男	SBクリエイティブ	978-4815616199

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
3分間ネットワーク基礎講座	網野衛二	技術評論社	978-4774143736

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（30%）、Webテスト（20%）、Web学習（30%）、その他（20%、専用ノート、レポート、実習課題、外部試験の結果）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果や今後の学習の取り組みについてのお問い合わせはメールをご利用してください。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	情報ネットワークの全体像	
	事前学習（内容・時間）	テキストP2～P23を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。2時間
第2回	通信プロトコルとネットワークアーキテクチャ	
	事前学習（内容・時間）	テキストP24～P33を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第3回	Local Area Network	
	事前学習（内容・時間）	テキストP34～P43を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第4回	IP Address（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキストP44～P50を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第5回	IP Address（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキストP51～P63を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第6回	Wide Area Network（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキストP66～P81を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第7回	Wide Area Network（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキストP82～104を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第8回	スイッチの基本	
	事前学習（内容・時間）	テキストP106～P126を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第9回	仮想LAN	
	事前学習（内容・時間）	テキストP127～P152を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第10回	ルータの役割	
	事前学習（内容・時間）	テキストP154～174を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第11回	ルーティングプロトコル	
	事前学習（内容・時間）	テキストP175～P196を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第12回	ネットワークセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	テキストP198～P218を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第13回	情報データの暗号化	
	事前学習（内容・時間）	テキストP219～P243読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第14回	無線LANの基本構成	
	事前学習（内容・時間）	テキストP244～P256を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第15回	無線LANのセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	テキストP257～P270を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第16回（定期試験）	四択及び記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1BIB-6310-14E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネスソフト活用演習（Microsoft Office Specialist対策）	219～222	1年生・後期	4単位	選択	平川　淳一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	・2時限続けて受講できる人 ・MOS取得に意欲的な人 ・受講マナーを守れる人 ・学内のパソコンにログインできるようにしておいてください（ID・PW確認）

授業概要　Course Outline

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。
演習問題は、「MOS」試験の一般レベル（Word、Excel、PowerPoint）から、上級レベル（Excel、Word）までの範囲を網羅した内容です。
パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅴ 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピューターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialistの最上位となる「MOS Expert」の称号を目指します。
（MOS Expertの認定要件は、5科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。）
・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフトウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・ビジネスソフト活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。
学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべてのMissionをコンプリートしてください。
・毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・外部試験：Microsoft Office Specialist 365&2019
試験日：随時試験　※月に複数回実施、試験会場：任意で選択　※パソコン教室など多くの場所で受験可能
受験料：学割価格　8,580円（税込）　※受験には、事前に受験者IDの登録が必要
MOS公式HP：http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html

・学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。
・5回（第5回、第9回、第14回、第20回、第29回）実施するCheckテストの結果と学習状況をフィードバックします。
状況に応じて個別にフィードバックをする場合があります（理解度不足、受講態度不良など）。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-429-5
MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-430-1
MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-440-0
MOS Word 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-448-6
MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-447-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 30%、課題 30%、定期試験 40%
※平常点は、学習意欲、受講マナー等（減点、欠席扱い、受講停止の場合あり）から評価します。
注）スマートフォン及びデジタル機器の不適切使用（写真撮影や録画を含む）は認めていません。
※課題は、授業内作成物の完成度と確認テストの結果から評価します。
※定期試験をMOS受験（外部試験）に代えることを認めます（結果の提出義務、最低得点ラインあり）。
※MOS検定に2科目以上合格した人は、単位を認定します。

・成績評価の基準：MOS試験の合格レベルに達しているか。ビジネスソフトを正しく利活用することができているか。
Word：ビジネス文書やビジュアル文書を効率よく作成できているか。
Excel：関数やグラフなど自主的な判断により選択し、活用することができているか。
PowerPoint：ソフトの特性を理解して効果的に利用することができているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作能力を確認するテストを行います。 ※座席数に限りがあるため、履修希望者が多数の場合は、選抜テストによって履修者を決定します。	
	事前学習 （内容・時間）	必修科目「情報リテラシー演習」全15回の内容を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	オリエンテーションテストの内容を再確認して、疑問点などを解消しておくこと。（2.0h）
第2回	Word Specialist ①： 文書の管理 （参考文献 P.16～67） Word Specialist ②： 文字、段落、セクションの挿入と書式設定 （参考文献 P.68～91）	
	事前学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲1と2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲1と2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第3回	Word Specialist ③： 表やリストの管理 （参考文献 P.92～129） Word Specialist ④： 参考資料の作成と管理 （参考文献 P.130～155）	
	事前学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲3と4のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲3と4の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第4回	Word Specialist ⑤： グラフィック要素の挿入と書式設定 （参考文献 P.156～205） Word Specialist ⑥： 文書の共同作業の管理 （参考文献 P.206～229）	
	事前学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲5と6のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲5と6の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第5回	【Checkテスト】MOS Word Specialist 模擬試験問題 ※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	Word Specialist模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Specialist模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録（2.0h）
第6回	Excel Specialist ①： ワークシートやブックの作成と管理 （参考文献P.16～64） Excel Specialist ②： セルやセル範囲のデータの管理 （参考文献 P.66～122）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲1と2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲1と2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第7回	Excel Specialist ③： テーブルとテーブルのデータ管理 （参考文献 P.124～144） Excel Specialist ④： 数式や関数を使用した演算の実行 （参考文献 P.146～171）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲3と4のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲3と4の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第8回	Excel Specialist ⑤： グラフの管理（参考文献 P.174～200）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲5のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲5の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第9回	【Checkテスト】MOS Excel Specialist 模擬試験問題 ※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Specialist模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Specialist模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録（2.0h）
第10回	PowerPoint Specialist ①： プレゼンテーションの管理 （参考文献 P.16～95） PowerPoint Specialist ②： スライドの管理 （参考文献 P.96～123）	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲1と2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲1と2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第11回	PowerPoint Specialist ③： 参考文献、図形、画像の挿入と書式設定 （参考文献 P.124～169）	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲3のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲3の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第12回	PowerPoint Specialist ④： 表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 （参考文献 P.170～219）	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲4のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲4の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第13回	PowerPoint Specialist ⑤： 画面切り替えやアニメーションの適用 （参考文献 P.220～243）	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲5のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲5の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第14回	【Checkテスト】MOS PowerPoint Specialist 模擬試験問題 ※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録（2.0h）
第15回	Word Expert ①： 文書のオプションと設定の管理 （参考文献 P.16～71） テンプレートの管理、共同作業用の文書、言語オプションの設定	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第16回	Word Expert ②： 高度な編集機能や書式設定機能の利用 （参考文献 P.72～99） 高度な検索と置換、段落レイアウトのオプション、スタイルの作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）

第17回	Word Expert ③ : ユーザー設定のドキュメント要素の作成 （参考文献 P.100～141） 文書パーツの作成、索引・図表一覧の作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲3のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲3の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第18回	Word Expert ④-1 : 高度なWord機能の利用 （参考文献 P.142～168） フォーム、フィールド、コントロールの管理、マクロの作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲4-1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲4-1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第19回	Word Expert ④-2 : 高度なWord機能の利用 （参考文献 P.169～189） 差し込み印刷の設定と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲4-2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲4-2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第20回	【Checkテスト】MOS Word Expert 模擬試験問題 ※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録 （2.0h）
第21回	Word Expert 総復習 : MOS Word Expert 模擬試験問題の解答解説	
	事前学習 （内容・時間）	第2回Word Expert模擬試験問題を解答しておくこと。※1回 50分＋採点、解答確認 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	第1回、第2回Word Expert模擬試験問題を、もう一度解答しておくこと。※50分×2回＋解答確認 （2.0h）
第22回	Excel Expert ① : ブックのオプションと設定の管理 （参考文献 P.16～51） ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第23回	Excel Expert ②-1 : データの管理と書式設定 （参考文献 P.52～78） データの表示形式や入力規則の活用	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲2-1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲2-1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第24回	Excel Expert ②-2 : データの管理と書式設定 （参考文献 P.79～93） 詳細な条件付き書式やフィルターの利用	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲2-2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲2-2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）

第25回	Excel Expert ③-1 : 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 （参考文献 P.94～130） 関数の活用（論理演算、データ検索、高度な日付と時刻、財務）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲3-1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲3-1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第26回	Excel Expert ③-2 : 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 （参考文献 P.131～167） What-If分析、数式のトラブルシューティング、マクロの作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲3-2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲3-2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第27回	Excel Expert ④-1 : 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 （参考文献 P.168～186） グラフの活用（ ヒストグラム、マップグラフ、サンバースト、ウォーターフォール図など）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲4-1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲4-1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第28回	Excel Expert ④-2 : 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 （参考文献 P.187～219） ピボットテーブルやピボットグラフの作成、ドリルダウン分析	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲4-2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲4-2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第29回	【Checkテスト】MOS Excel Expert 模擬試験問題 ※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録 （2.0h）
第30回	Excel Expert 総復習 : MOS Excel Expert 模擬試験問題 解答解説	
	事前学習 （内容・時間）	第2回Excel Expert模擬試験問題を解答しておくこと。※1回 50分＋採点、解答確認 （2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	第1回、第2回Excel Expert模擬試験問題を、もう一度解答しておくこと。※50分×2回＋解答確認 （2.0h）
第31回 （定期試験）	定期試験 ※Microsoft Office Specialist試験に準じた内容で実施します。 （出題範囲：PowerPoint、Word Expert、Excel Expert）	

ナンバリング（Numbering）
1BIB-6550-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ（Microsoft Office Specialist 対策）	223～	1年生・前期	2単位	選択	平川　淳一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし	
履修の前提条件 Course Prerequisites	・MOS取得に意欲的な人 ・受講マナーを守れる人 ・304教室のパソコンにログインできるようにしておいてください（ID・PW確認）			

授業概要　Course Outline

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。
演習問題は「MOS」試験の一般レベル（Word、Excel、PowerPoint）の範囲を網羅した内容です。
パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅴ 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピューターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialist「MOS Associate」の称号を目指します。
（MOS Associateの認定要件は、3科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。）
・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフトウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・ビジネスソフトの活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。
学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべての問題をコンプリートしてください。
・毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・外部試験：Microsoft Office Specialist 365&2019
試験日：随時試験　※月に複数回実施、試験会場：任意で選択　※パソコン教室など多くの場所で受験可能
受験料：学割価格　8,580円（税込）　※受験には、事前に受験者IDの登録が必要
MOS公式HP：http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html

・学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。
・3回（第5回、第9回、第14回）実施するCheckテストの結果と学習状況をフィードバックします。
状況に応じて個別にフィードバックをする場合があります（理解度不足、受講態度不良など）。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-429-5
MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-430-1
MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-440-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 30%、課題 30%、定期試験 40%
※平常点は、学習意欲、受講マナー等（減点、欠席扱い、受講停止の場合あり）から評価します。
注）スマートフォン及びデジタル機器の不適切使用（写真撮影や録画を含む）は認めていません。
※課題は、授業内作成物の完成度と確認テストの結果から評価します。
※定期試験をMOS受験（外部試験）に代えることを認めます（結果の提出義務、最低得点ラインあり）。
※MOS検定に2科目以上合格した人は、単位を認定します。

・成績評価の基準：MOS試験の合格レベルに達しているか。ビジネスソフトを正しく利活用することができているか。
Word：ビジネス文書やビジュアル文書を効率よく作成できているか。
Excel：関数やグラフなど自主的な判断により選択し、活用することができているか。
PowerPoint：ソフトの特性を理解して効果的に利用することができているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルーム（クラスコード【 7i5z7hy 】）にてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画　Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作能力を確認するテストを行います。 ※座席数に限りがあるため、履修希望者が多い場合は、選抜テストによって履修者を決定します。	
	事前学習 （内容・時間）	必修科目「情報リテラシー演習」全15回の内容を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	オリエンテーションテストの内容を再確認して、疑問点などを解消しておくこと。（2.0h）
第2回	Word Specialist ①：文書の管理 （参考文献 P.16～67） Word Specialist ②：文字、段落、セクションの挿入と書式設定 （参考文献 P.68～91）	
	事前学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲1と2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲1と2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第3回	Word Specialist ③：表やリストの管理 （参考文献 P.92～129） Word Specialist ④：参考資料の作成と管理 （参考文献 P.130～155）	
	事前学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲3と4のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲3と4の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第4回	Word Specialist ⑤：グラフィック要素の挿入と書式設定 （参考文献 P.156～205） Word Specialist ⑥：文書の共同作業の管理 （参考文献 P.206～229）	
	事前学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲5と6のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Specialist 出題範囲5と6の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第5回	【Checkテスト】MOS Word Specialist 模擬試験問題　※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	Word Specialist模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Specialist模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録（2.0h）
第6回	Excel Specialist ①：ワークシートやブックの作成と管理 （参考文献P.16～64） Excel Specialist ②：セルやセル範囲のデータの管理 （参考文献 P.66～122）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲1と2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲1と2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第7回	Excel Specialist ③：テーブルとテーブルのデータ管理 （参考文献 P.124～144） Excel Specialist ④：数式や関数を使用した演算の実行 （参考文献 P.146～171）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲3と4のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲3と4の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第8回	Excel Specialist ⑤：グラフの管理（参考文献 P.174～200）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲5のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Specialist 出題範囲5の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第9回	【Checkテスト】MOS Excel Specialist 模擬試験問題　※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Specialist模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Specialist模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録（2.0h）
第10回	PowerPoint Specialist ①：プレゼンテーションの管理 （参考文献 P.16～95） PowerPoint Specialist ②：スライドの管理 （参考文献 P.96～123）	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲1と2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲1と2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第11回	PowerPoint Specialist ③：参考文献、図形、画像の挿入と書式設定 （参考文献 P.124～169）	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲3のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲3の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第12回	PowerPoint Specialist ④：表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 （参考文献 P.170～219）	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲4のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲4の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第13回	PowerPoint Specialist ⑤：画面切り替えやアニメーションの適用 （参考文献 P.220～243）	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲5のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist 出題範囲5の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第14回	【Checkテスト】MOS PowerPoint Specialist 模擬試験問題　※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	PowerPoint Specialist模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録（2.0h）
第15回	総復習（Word、Excel、PowerPoint）模擬試験問題	
	事前学習 （内容・時間）	第1～14回授業までの内容を見直し、Word、Excel、PowerPointの操作練習をしておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	模擬試験問題の結果を分析して、誤答箇所や苦手分野の最終確認と操作練習をしておくこと。（2.0h）
第16回 （定期試験）	定期試験　※Microsoft Office Specialist試験に準じた内容で実施します。 （出題範囲：Word Specialist、Excel Specialist、PowerPoint）	

ナンバリング（Numbering）
1BIB-6560-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ（Microsoft Office Specialist 対策）	223～	1年生・後期	2単位	選択	平川　淳一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	・MOS取得に意欲的な人 ・受講マナーを守れる人 ・学内のパソコンにログインできるようにしておいてください（ID・PW確認） ・前期に「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ」を履修していることが望ましい

授業概要　Course Outline

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。
演習問題は、「MOS」試験のExpertレベル（Excel、Word）範囲を網羅した内容です。
パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅴ 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピューターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialistの最上位となる「MOS Expert」の称号を目指します。
（MOS Expertの認定要件は、5科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。）
・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフトウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・ビジネスソフト活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。
学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべてのMissionをコンプリートしてください。
・毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・外部試験：Microsoft Office Specialist 365&2019
試験日：随時試験　※月に複数回実施、試験会場：任意で選択　※パソコン教室など多くの場所で受験可能
受験料：学割価格　8,580円（税込）　※受験には、事前に受験者IDの登録が必要
MOS公式HP：http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html

・学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。
・2回（第7回、第15回）実施するCheckテストの結果と学習状況をフィードバックします。
状況に応じて個別にフィードバックをする場合があります（理解度不足、受講態度不良など）。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-447-9
MOS Word 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-448-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 30%、課題 30%、定期試験 40%
※平常点は、学習意欲、受講マナー等（減点、欠席扱い、受講停止の場合あり）から評価します。
注）スマートフォン及びデジタル機器の不適切使用（写真撮影や録画を含む）は認めていません。
※課題は、授業内作成物の完成度と確認テストの結果から評価します。
※定期試験をMOS受験（外部試験）に代えることを認めます（結果の提出義務、最低得点ラインあり）。
※MOS検定に2科目以上合格した人は、単位を認定します。

・成績評価の基準：MOS Expert試験の合格レベルに達しているか。コンピュータを実務で利活用できているか。
Word：ビジネス文書や報告書など、高度な技能を用いて作成できているか。
Excel：ピボットテーブルやグラフツールなど、高度な技能を用いた情報分析ができているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルーム（クラスコード【 cxwetwq 】）にてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作能力を確認するテストを行います。 ※座席数に限りがあるため、履修希望者が多数の場合は、選抜テストによって履修者を決定します。	
	事前学習 （内容・時間）	科目「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ」または「情報リテラシー演習」の内容を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	オリエンテーションテストの内容を再確認して、疑問点などを解消しておくこと。（2.0h）
第2回	Word Expert ① ： 文書のオプションと設定の管理 （参考文献 P.16～71） テンプレートの管理、共同作業用の文書、言語オプションの設定	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第3回	Word Expert ② ： 高度な編集機能や書式設定機能の利用 （参考文献 P.72～99） 高度な検索と置換、段落レイアウトのオプション、スタイルの作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第4回	Word Expert ③ ： ユーザー設定のドキュメント要素の作成 （参考文献 P.100～141） 文書パーツの作成、索引・図表一覧の作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲3のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲3の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第5回	Word Expert ④-1 ： 高度なWord機能の利用 （参考文献 P.142～168） フォーム、フィールド、コントロールの管理、マクロの作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲4-1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲4-1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第6回	Word Expert ④-2 ： 高度なWord機能の利用 （参考文献 P.169～189） 差し込み印刷の設定と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲4-2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert 出題範囲4-2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第7回	【Checkテスト】MOS　Word Expert 模擬試験問題　※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	Word Expert模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Word Expert模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録（2.0h）
第8回	Excel Expert ① ： ブックのオプションと設定の管理 （参考文献 P.16～51） ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第9回	Excel Expert ②-1 ： データの管理と書式設定 （参考文献 P.52～78） データの表示形式や入力規則の活用	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲2-1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲2-1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第10回	Excel Expert ②-2 ： データの管理と書式設定 （参考文献 P.79～93） 詳細な条件付き書式やフィルターの利用	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲2-2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲2-2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第11回	Excel Expert ③-1 ： 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 （参考文献 P.94～130） 関数の活用（論理演算、データ検索、高度な日付と時刻、財務）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲3-1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲3-1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第12回	Excel Expert ③-2 ： 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 （参考文献 P.131～167） What-If分析、数式のトラブルシューティング、マクロの作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲3-2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲3-2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第13回	Excel Expert ④-1 ： 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 （参考文献 P.168～186） グラフの活用（ ヒストグラム、マップグラフ、サンバースト、ウォーターフォール図など）	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲4-1のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲4-1の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第14回	Excel Expert ④-2 ： 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 （参考文献 P.187～219） ピボットテーブルやピボットグラフの作成、ドリルダウン分析	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲4-2のLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×15問＋解答確認等（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert 出題範囲4-2の確認問題を解いておくこと。※1問5分×15問＋解答確認等（2.0h）
第15回	【Checkテスト】MOS Excel Expert 模擬試験問題　※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	Excel Expert模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※50分×2回＋採点（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Excel Expert模擬試験問題2を解いておくこと。※50分×1回＋採点、誤答箇所の記録（2.0h）
第16回 （定期試験）	定期試験　※Microsoft Office Specialist試験に準じた内容で実施します。 （出題範囲：Word Expert、Excel Expert）	

ナンバリング（Numbering）
1BIB-6110-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
統計学入門	219～	2年生・前期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎数学、情報数学Ⅰを修得していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

統計データには、アンケートや計測などで得られた1次データ（生データともいう）と、それらを何らかの目的で第三者がまとめた2次データがある。
本講義では、2次データの読み取りや目的に沿ったデータのまとめ方や視覚化と分析について学ぶ。また、実際の調査データや実験データなどを用いてデータ解析の意味や現代社会における統計スキルの必要性について学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータの視覚化や基本統計量などを踏まえて、データの特性や関連性を理解し、統計データを通した社会の見方や、エビデンス（証拠や根拠）を基にした議論の素養を身につけることを目標とします。また、データを読む力、説明する力の基礎を身につけ、データを扱えるようになることを目標します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の講義中に演習問題に取り組んでもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義中に演習問題に取り組んでもらいます。また、講義時間中に行えなかった問題については、次の講義までに自分で解答を考えます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プレステップ統計学I 記述統計学（プレステップシリーズ14）	稲葉 由之（著）	弘文堂	978-4335001598

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マンガでわかる統計学 素朴な疑問からゆる〜く解説 （サイエンス・アイ新書）	大上 丈彦（著） メダカカレッジ（監修）	SBクリエイティブ	978-4797342512

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題（50%）、定期試験（50%）の総合評価とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回課される課題の補足説明や解説を講義開始時に行う。また、講義内容に対する質問等をGoogle Formsなどで随時募集し、説明や解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	記述統計学について予習しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	エクセルとノートの準備を行う(2h)
第2回	統計データの分類	
	事前学習（内容・時間）	基本的なエクセル操作を確認する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第3回	統計データの集計	
	事前学習（内容・時間）	様々なデータの収集方法について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第4回	集計表と各種グラフ	
	事前学習（内容・時間）	様々なグラフの種類について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。エクセルで様々なグラフの作成を行う(2h)
第5回	度数分布表とヒストグラム	
	事前学習（内容・時間）	日本や世界の人口について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第6回	中心の位置の統計量	
	事前学習（内容・時間）	代表値について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第7回	平均値	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。平均値が有効な場面について考える(2h)
第8回	変化を表す統計量	
	事前学習（内容・時間）	前回までの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	様々なニュースを見て実際にどのように使われているか調べる(2h)
第9回	散らばりの統計量	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第10回	標準偏差の活用	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第11回	散らばりのグラフ表現	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	棒グラフや折れ線グラフへの応用を行う(2h)
第12回	2変数の関連性	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	相関関係と因果関係の両方が成り立つものについて調べる(2h)
第13回	記述統計と推測統計	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第14回	演習問題	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業の内容を確認する(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった分析や追加の情報収集を行う(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業の内容を確認する(2h)
	事後学習（内容・時間）	これまでに間違えた問題を理解できるまで何度も解く(2h)
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1BIN-5730-Z2CT

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報セキュリティ（教職関連科目　必　高等学校　情報）	219～	3・4年生・前期	2単位	必修	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	セキュリティの観点からインターネットの最新技術の動向を調べること。

授業概要　Course Outline

情報漏えいに関する事例紹介を通して情報通信技術に潜む危険について認識した上で、情報セキュリティの基本概念、セキュリティリスク及びその対策などについて調べる。情報セキュリティに関する最新技術、関連法規及び個人や企業の情報セキュリティに対する取組み動向について調べる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、情報セキュリティに関する事例や基礎知識の習得を通して、情報化社会における情報セキュリティの理解及びその全体像を把握する。その過程において、実際の情報セキュリティ機器のログの分析や日本および世界での情報セキュリティ関連のインシデント発生件数の推移などの実データに基づく様々な事例研究を行うことで、より実践的な教育を行う。また、情報セキュリティ管理士、ITパスポート、基本情報技術者試験のセキュリティ分野の出題問題に対応できる知識レベルに達することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

情報セキュリティについての最新ニュースや重要なトピックについて解説を行うので、それらの内容についても各自で調査すること。
また、テキストの各章末毎にそれぞれの章に書かれている内容に基づいた章末課題を出題するので、それにも解答すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回の授業内容を各自好きな方法でまとめること。（例：　専用のノートに書き込む、ノートパソコンにWordやPowerpointなどで講義内容をまとめた資料を作成する）

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
情報セキュリティ読本（七訂版）	情報処理推進機構	実教出版	978-4-407-36670-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
情報セキュリティの基本と仕組み	相戸浩志	秀和システム	978-4-798-02558-2

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（60%）、章末課題（40%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

テキストの各賞が終わる度にGoogleフォームを用いた章末課題を出題する。課題提出締め切り後の講義で、章末課題の解答を解説する。なお最後の章は、講義終了後にGoogleクラスルーム上で他の章末課題の解答と併せて公開し受講生が復習できるように配慮する。定期試験後は、成績評価の大まかな分布（秀・優・良・可それぞれの人数分布）を公開する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	セキュリティリスクの実例	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第1.1節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第2回	危険の認識と対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第1.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第3回	情報セキュリティの基本概念及び外部のリスク要因	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2.1,2.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第4回	内部のリスク要因	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2.3～2.5節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第5回	マルウェアの種類及び感染の原因	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.1節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第6回	マルウェア対策・不正アクセスログの分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第7回	標的型攻撃と誘導型攻撃、フィッシング詐欺への対策と近年の被害総額分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.3, 3.4節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第8回	サポート詐欺及び遠隔操作の脅威と対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.5, 3.6節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第9回	無線LANに潜む脅威とその対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.7節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第10回	組織のセキュリティ対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第4.1, 4.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第11回	情報漏えいについて	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第4.3～4.5節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第12回	アカウントとパスワードについて・脆弱なパスワードの統計情報分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5.1, 5.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第13回	脆弱性を悪用する攻撃とその対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5.3, 5.4節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第14回	暗号とデジタル署名	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5.5節前半を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第15回	認証局と身近に使われている暗号技術	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5.5節後半を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第16回（定期試験）	筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BIN-5702-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報システムの開発と管理（教職関連科目 必 高等学校 情報）	共通	3・4年生・前期	2単位	選択	桑原 重雄

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	本講義は、情報システムの開発プロセスを体系的に理解し、将来的にシステムエンジニアとして企業のDX推進や課題解決に携わることを志望する学生を主な対象とする。情報倫理やプログラミング入門、初級プログラミング、データベース論の履修が望ましいが、必須ではない。

授業概要　Course Outline

本講義では、要件定義から外部設計・内部設計・試験工程・移行計画・運用保守に至るまで、情報システム開発の一連の流れと関連する管理手法を体系的に学ぶ。特に、要件定義書、基本設計書、外部設計書、試験項目表など、実務で使用されるドキュメントの構造と作成方法に焦点を当て、企業で通用する文書作成能力と分析力を育成する。また、スケジュールや見積りの考え方、変更管理、障害管理、ナレッジマネジメントといったプロジェクトマネジメント領域についても取り扱い、開発の上流から下流までを総合的に理解できるよう構成している。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	プロジェクトマネージャーとして多数のシステム開発プロジェクトに従事した経験を踏まえ、実務で不可欠となる要件整理の技法や、曖昧な表現の排除、外部設計における論理構造の作り方、試験工程での品質担保の視点など、現場でしか得られない知見を講義に反映する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	△
	リーダーシップ	Leadership	△
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・システム開発工程（要件定義～移行・保守）の流れを体系的に説明できる。
・要求定義書・要件定義書・設計書など、主要ドキュメントの構造と記述内容を理解し、基本的な文書を作成できる。
・要件抽出・構造化の方法を理解し、曖昧表現を排除した論理的な記述ができる。
・試験工程・スケジュール策定・見積りなど、プロジェクト管理の重要性を理解し説明できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実務に近い演習（グループor個人）を中心に据えて学習を進める。業務要件から必要な情報を整理し、要件定義や外部設計に反映する演習、試験観点の洗い出しや移行計画の作成など、実際の開発現場で行われるタスクをモデル化した課題に取り組む。授業内で取り上げる事例をもとに、受講者自身が要件を読み解き構造化することで、主体的に学習する姿勢と自律的な問題解決能力の育成を図る。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

相談などは研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。必ず、研究室への来室は事前にメールで予約してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleFormsシート「Kiis学習ポートフォリオ・ルーブリック」の提出を平常点として加味する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
図解入門 よくわかる最新 システム開発者のための仕様書の基本と仕組み［**第4版**］	増田 智明	秀和システム	978-4798071107

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1週間でシステム開発の基礎が学べる本	増井 敏克	インプレス	978-4295016809

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

評価項目	割合	評価基準
平常点	40%	主体性、協働性、取り組み姿勢(質問・議論への参加)
発表・討論への貢献	30%	発表内容の質、説明力、議論への積極的参加
最終成果物	30%	成果物の内容(論理性・網羅生)、実現可能性、資料作成力
合計	100%	成績は、成果物だけでなく、主体的な学び・思考の深さ・実践的応用力を総合的に評価する

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

提出物に対して要点を指摘し、要件の明確化や設計の整合性など改善点を短く助言する。必要に応じて個別相談を行い、次回の講義に反映できるよう支援する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション／システム開発の流れ（ウォーターフォールとアジャイル） 講義の目的、進め方、評価方法、教科書の使用方法の説明、課題の提示	
	事前学習 （内容・時間）	教科書を読み、基本的なシステム開発の流れを把握しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	提示された顧客課題について、自分なりに改善したい点を整理し、疑問点をまとめる。（2時間）
第2回	顧客ヒアリングと要求整理（準備フェーズ）	
	事前学習 （内容・時間）	顧客への質問リストを10項目作成してくる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ヒアリング結果を整理し、顧客要求（As-Is）を文章化する。（2時間）
第3回	業務分析・業務フロー作成（要件定義フェーズ①）	
	事前学習 （内容・時間）	身近なサービスやアプリの業務フローを一つ書いてみる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内で作成した業務フローを清書し、顧客課題を明確化する。（2時間）
第4回	要求整理と機能要求の抽出（要件定義フェーズ②）	
	事前学習 （内容・時間）	「要求」と「要件」の違いを整理しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	顧客要求一覧と機能要求一覧のドラフトを作成する。（2時間）
第5回	非機能要件の整理（要件定義フェーズ③）	
	事前学習 （内容・時間）	非機能要件のカテゴリをテキストで確認しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	非機能要件を整理する。（2時間）
第6回	要件定義書の統合とレビュー（要件定義の総仕上げ）	
	事前学習 （内容・時間）	過去回のメモを整理し、抜け・曖昧表現をチェックする。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	レビューでの指摘を踏まえて要件定義書を修正する。（2時間）
第7回	基本設計①（画面設計・画面遷移図）	
	事前学習 （内容・時間）	想定する画面遷移を確認しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	画面遷移図と画面一覧表の草案を作成する。（2時間）
第8回	基本設計②（データ項目定義・入出力設計）	
	事前学習 （内容・時間）	データ項目（項目名/型/桁数/制約など）の概念を復習。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	データ項目定義書を作成し、画面設計との整合性を確認する。（2時間）
第9回	外部設計（ユーザー視点でのシナリオ設計）	
	事前学習 （内容・時間）	ユースケース図・シナリオの例を調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	シナリオ（利用ストーリー）を作成し、画面設計と対応付ける。（2時間）
第10回	テスト計画（テスト工程の全体像）	
	事前学習 （内容・時間）	正常系と異常系の観点を整理しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ユースケースにもとづくテスト観点リストを作成する。（2時間）
第11回	結合テスト・総合テスト設計（テスト仕様書作成）	
	事前学習 （内容・時間）	前回作成したテスト観点を整理しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	テストケースを作成する。（2時間）
第12回	移行計画（データ移行・切替方式）	
	事前学習 （内容・時間）	移行リスクの事例（データ欠損、型不整合など）を調べる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	移行手順の草案と移行チェックリストを作成する。（2時間）
第13回	障害管理（障害発生ケースの分析）	
	事前学習 （内容・時間）	障害事例を調べ、原因をまとめておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	障害報告書（ドラフト）を作成する。（2時間）
第14回	仕様変更対応（追加要求の提示と影響分析）	
	事前学習 （内容・時間）	要件定義書を読み直し、変更に弱い部分を事前に洗い出す。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	影響分析表（影響範囲・修正箇所）を作成する。（2時間）
第15回	最終発表・最終成果物提出・ふりかえり	
	事前学習 （内容・時間）	成果物を整理し、発表内容の骨子を作成する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	期末レポートを作成し、自分の成長点・課題・今後の学習計画をまとめる。（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BIN-6532-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
マルチメディア論（教職関連科目 必 高等学校 情報）	共通	3・4年生・前期	2単位	選択	古賀　裕章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習（情報リテラシー演習I）を修得していること．（編入生はこの限りではない．）			

授業概要　Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，コンピュータ，およびネットワークで取り扱うマルチメディア情報について概説する．また，現代社会で活用されているマルチメディアにも触れ，どのような場面でどのような技術が使用されているかを学ぶ．さらに，マルチメディアに関する調査研究を実施し，発表を行うことでマルチメディアに関する理解を深めてもらう．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

マルチメディアに関する基礎的事項（マルチメディア構成要素，メディア処理技術，インターネット通信，ネットビジネス）について分類や列挙，説明をすることができ，現代社会におけるマルチメディア技術の例を列挙し，説明することができる．
マルチメディアに関する課題を見つけ，自ら課題解決策を提案でき，第三者に伝えることができる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などはメール（h-koga@kiis.ac.jp）にて受け付ける．
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マルチメディア（ファーストステップ）	今井 崇雅	近代科学社	978-4764905511

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
入門マルチメディア　改訂新版	松阪喜幸	画像情報教育振興協会	978-4903474601

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

課題（30%），発表（30%）と定期試験（40%）をもとに総合的に判断する．

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたは Google クラスルームにてお問合せください．折り返して連絡します．

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第2回	マルチメディアの特徴	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.2-19)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第3回	音の符号化（1）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.24-38)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第4回	音の符号化（2）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.42-51)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第5回	音の符号化（3）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.52-57)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第6回	静止画像の符号化（1）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.66-83)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第7回	静止画像の符号化（2）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.84-95)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第8回	動画像の符号化	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.104-113)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第9回	文字の符号化	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.119-125)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第10回	ディジタル信号の品質	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.130-145)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第11回	マルチメディアのこれから	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.150-154)を通読する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第12回	調査研究と資料作成	
	事前学習 （内容・時間）	第2回から第11回までの講義内容を復習する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第13回	プレゼンテーション（1）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の調査内容を確認する．プレゼンテーション資料を作成する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第14回	プレゼンテーション（2）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼンテーション資料を作成する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第15回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	第2回から第14回までの講義内容を復習する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第16回 （定期試験）	定期試験を実施する	

ナンバリング（Numbering）	
1AMN-6490-12C	1EDN-6490-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
マーケティング論	219～	1年生・前期	2単位	経営必修 NW選択	秋吉 浩志

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営やマーケティングに興味をもつ学生は積極的に履修をすすめる。本学の経営情報学を学ぶための基礎的な1分野としてとても大事な科目である。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神をふまえつつ、アドミッションポリシーにに沿った、カリキュラムポリシーに基づき、マーケティングの基礎理論を包括的に講義する。毎回講義ではパワーポイントを使用し、プレゼンテーション方式で授業を行う。それに合わせて、テキストを使用、適宜プリントも配布するが、その回限定のプリントなので、再配布することはしない。よって、必ず出席すること。また、最新のマーケティング＆消費者行動に関するテキストを紹介するので、必ず読むことをすすめる。
この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）選択科目である。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

マーケティング論の基礎的な講義である。後期または2年次以降の経営情報学関連科目受講に向けての基礎科目であるので、この授業でマーケティングの基礎理論を学んで、2年次以降のとくにマーケティング及び流通関連科目、およびビジネス関連科目を理解する力を養うことが目標である。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室（2号館5階555研究室）にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。（遠隔授業の場合はGoogleクラスルームを活用して連絡を随時行う）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

この科目は経営学検定試験の初級「マーケティング」部分の基礎内容にもふれている。また販売士（リテールマーケティング）受験希望者は、必ず履修することを薦める。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに秋吉までメール（akiyoshi@gkiis.ac.jp）で提出してください。
また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「いちばんやさしいマーケティングの教本」第2版　人気講師が教える顧客視点マーケの基本と実践	中野崇	インプレス	ISBN978-4295021933

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マーケティング基礎読本 増補改訂版 図解マーケティング大全	日経デジタルマーケティング 安部徹也他	日経BP社 洋泉社MOOK	ISBN978-4-8222-3559-8 ISBN978-8003-1479-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。授業態度、ミニテストを基準とする。パソコン（タブレット型も含む）、携帯（スマートフォン）その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格（0点）にする。基本的に座席指定を行う。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回講義終了後に課題を提出してもらいます。.それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。
なお、課題のほかに、自身が講義で学んだことも問います。きちんと自分自身しっかりと理解しているかを確認していただきます。なお内容によっては教員が質問したり、意見を述べてフィードバックする場合もある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	マーケティングとは何か&ガイダンス（社会のなかでのマーケティングの役割について）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびにを事前配布している資料を読んでおくこと。特にマーケティングの基礎知識解説を読んでおくように。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第2回	アメリカと日本のマーケティングの歴史と定義の変遷について	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第3回	マーケティングミックス（マーケティングの4Pとターゲット層を考える）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第4回	製品戦略①（メーカーの製品づくりと製品コンセプトを考える）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第5回	製品戦略②（コモディティ化とメーカーの製品づくり、製品コンセプトを考える）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第6回	価格戦略①（価格決定について損益分岐点法など価格決定のプロセスについて）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第7回	価格戦略②（現代の価格決定法を考える：サブスクリプションなど新たな動きについて）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第8回	流通（チャネル）戦略①（商業の発展と流通の役割）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第9回	流通（チャネル）戦略②（流通システム、流通チャネル、取引数削減の原理など、流通の問題を考える）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第10回	プロモーション戦略①（広義のプロモーション戦略を考える）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第11回	プロモーション戦略②（広告、イベントなど狭義のプロモーションについて考える）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第12回	サービスマーケティング（サービスとはなにか、サービスの諸特徴について）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第13回	電子商取引とe-マーケティング（電子商取引の劇的な発展に伴う問題点を考える）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第14回	IT＆ICTとマーケティング（ITやIOTの発展によるマーケティング情報システムの諸問題を考える）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第15回	現代におけるマーケティング概念の劇的な変化と進展について＆まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	最後にマーケティング論のまとめレポートを書いてもらいます。（2h）
第16回 （定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5200-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
会計学	224～	1年生・前期	2単位	必修	春日　克則
	221～223	1年生・後期		選択	
	219・220	2年生・後期		経営必修	
				NW選択	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	「会計学入門」、簿記Ⅰ・Ⅱなど会計学の初歩的な知識を習得していることが望ましい。			

授業概要　Course Outline

会計はいろんなことに役立っています。例えば、①お金を投資している人にその投資先がどれだけ儲かったのかやその情報の信頼性について。②製品を製造している会社には作った製品にどれだけお金がかかり、それをいくらで売れば儲かるか。そして③その将来性について。さらには、④どの会社が環境に優しいのかや、⑤子供食堂などの営利を目的としていない法人がどうすれば潰れずにすむのか、などについて知るための手助けをしています。しかし、抽象的で少し分かりにくいのではないでしょうか。そこで、講義では、①について学ぶ分野を財務会計と監査論。②を原価計算と管理会計。③を経営分析。④を環境会計。⑤を公会計として、具体的な事例を使って会計が果たす役割について学んでいきます。そして、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

どんなに記憶力がよい人でも、世界で活躍する大企業（例えば、Apple）の行動全てを覚えることは不可能でしょう。仮に、できたとしても、その人の記憶を引き継ぐ人はいるのでしょうか。PCがある？でも、それはPCが記憶できる形にしないとダメですよね。会計は、企業などの活動をお金に換算して記録・集計し、それを役立つ形にして提供します。このような、役割を持つ会計について、①財務会計と監査論、②原価計算と管理会計、③経営分析、④環境会計、⑤公会計の各分野ごとに区分して、具体的な事例に基づいてその内容を理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向（私と皆さん、それに皆さんと皆さんの友人との）で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果（小テスト）を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果（小テスト）を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は非常勤講師室で授業終了後に受け付けています。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

外部試験：日本商工会議所簿記検定2級および1級の基礎となる授業です。
学習の確認：毎回の小テストによって学習の確認とフィードバックを行います。さらに、第8回の授業で中間テスト（簡易試験）を行い、その結果と今後の学習の指針を各個人及びクラス全体に伝えます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義時間に資料を配付します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
図解でナットク！会計入門[第3版]	桝岡源一郎編著	中央経済社	978-4-502-41621-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の基礎領域にある「会計学」について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。
具体的には、定期試験60%、毎回の課題（小テスト）提出40%の割合を持って評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

講義の理解を深めるために、各回ごとに課題（小テスト）の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の助けとなります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（授業の内容と進め方）。会計が分かると学園祭の模擬店に応用できる。	
	事前学習（内容・時間）	「簿記Ｉ」を復習しておいて下さい。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第2回	公認会計士ってどんな仕事なんだろう（監査論）。	
	事前学習（内容・時間）	第１回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第3回	経営者に優しい監査が良いのだろうか。それとも、厳格な監査が良いのだろうか。	
	事前学習（内容・時間）	第2回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第4回	3回の授業で、公認会計士になってみたくなったかい？	
	事前学習（内容・時間）	第3回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第5回	作った製品をいくらで売れば儲かるか。－管理会計－	
	事前学習（内容・時間）	第4回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第6回	意思決定①: 部品を自製すべきだろうか、外部購入すべきだろうか	
	事前学習（内容・時間）	第5回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第7回	意思決定②:a.安い値段でも追加注文を受けるべきだろうか。B製造途中の製品を販売しても良いだろうか。	
	事前学習（内容・時間）	第6回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第8回	中間テスト（これまで学習した項目の理解度テスト）とその解説	
	事前学習（内容・時間）	第１回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第9回	投資している会社がどれだけ儲かったのかを知る。－財務会計－	
	事前学習（内容・時間）	第7回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第10回	企業の成績表のうち貸借対照表をつくるにはどうしたらよいのか。	
	事前学習（内容・時間）	第9回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第11回	企業の成績表のうち損益計算書をつくるにはどうしたらよいのか。	
	事前学習（内容・時間）	第10回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第12回	君はどちらを選ぶ？薄利多売戦略と高級路線戦略について。－経営分析－	
	事前学習（内容・時間）	第11回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第13回	利益の獲得を目的にしない組織がある。－公会計－	
	事前学習（内容・時間）	第12回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第14回	どの会社が環境に優しいのか。－環境会計－	
	事前学習（内容・時間）	第13回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第15回	これまでの講義のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	第9回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験（講義全体をとおした学習成果の確認）	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5562-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
コマース論	224～	2年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也
コマース論Ⅰ	219～223 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	1.経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱ、マーケティング論などの関連する科目を履修し単位を取得していること。2.履修者は全員、7月にCBTで販売士検定試験（3級）を申し込み、受験し合格すること。

授業概要　Course Outline

この講義は、多様化・高度化した顧客ニーズを的確に捉え、ニーズに合った商品やサービスの提供、商品の開発や仕入、販売、物流などを効率的かつ効果的に行うための実践的なスキルを身に付ける。さらには、将来、商品開発やマーケティング等の分野で活躍できるための専門的な知識も習得する。
なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催販売士検定試験3級を受験し合格を目指す。（販売士試験については、現在1級から3級までCBT方式にて、指定会場でコンピュータを使った受験になりました。年間を通して受験が可能です。）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。
日本商工会議所主催 販売士検定試験（リテール・マーケティング）3級を受験し、合格を目指す。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1回で合格!!リテールマーケティング(販売士)検定3級テキスト&問題集	上岡 史郎	成美堂出版	978-4-415-23432-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
販売士検定試験2級ハンドブック（応用編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験3級対応	日本商工会議所 全国商工会連合会	カリアック	H00100338

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（5%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（10%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について、販売士検定試験について） 小売業の類型Ⅰ	
	事前学習（内容・時間）	小売業は生産者と消費者の橋渡し役 ／4人以下の規模が半数近くの中小小売業を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第2回	小売業の類型Ⅱ	
	事前学習（内容・時間）	規模のメリットを享受する組織小売業／フランチャイズの組織とその特徴を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第3回	小売業の類型Ⅲ	
	事前学習（内容・時間）	本部が権限を把握するチェーンストア／販売形態の種類と特徴を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答。 （2.0h）
第4回	小売業の類型Ⅳ	
	事前学習（内容・時間）	インターネット社会とキャッシュレス対応／ネットショップとリアルショップ通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答。 （2.0h）
第5回	マーチャンダイジングⅠ	
	事前学習（内容・時間）	商品の品質3要素と商品のコンセプト／商品の分類と本体要素／マーチャンダイジングの構成要素を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第6回	マーチャンダイジングⅡ	
	事前学習（内容・時間）	コンビニエンスストアの商品計画と仕入計画／コンビニエンスストアの在庫管理と販売管理を通読する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第7回	マーチャンダイジングⅢ	
	事前学習（内容・時間）	商品計画と顧客ニーズ／品揃え計画での品揃えの幅と奥行 を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第8回	ストアオペレーションⅠ	
	事前学習（内容・時間）	効率的な店舗運営のための開店準備／さまざまな役割を担うレジ業務を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第9回	ストアオペレーションⅡ	
	事前学習（内容・時間）	荷受・検収と補充（リセット）の基本／残さず切らさずが発注の基本を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第10回	ストアオペレーションⅢ	
	事前学習（内容・時間）	顧客の満足度を高める包装／見やすく、選びやすいディスプレイを通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第11回	マーケティングⅠ	
	事前学習（内容・時間）	変化する市場に働きかけるマーケティング／小売業のマーケティングの基本知識を通読する 。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第12回	マーケティングⅡ	
	事前学習（内容・時間）	売上志向から顧客満足経営へ／顧客の固定化をはかる顧客維持政策を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答。 （2.0h）
第13回	マーケティングⅢ	
	事前学習（内容・時間）	地理的、時間的範囲で分けられる商圏／小売業にとっての立地条件の重要性を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第14回	販売・経営管理Ⅰ	
	事前学習（内容・時間）	接客のマナーと挨拶・接客方法／クレームや返品への対応方法を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第15回	販売・経営管理Ⅱ	
	事前学習（内容・時間）	小売業に関する法令／販売活動に関する法令／商品に関する法令を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （リテールマーケティング［販売士］検定試験3級と同定程度の内容、難易度の問題で実施をする。）	

ナンバリング（Numbering）	
1AMN-5400-22E	1EDN-5400-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営分析	219～	2年生・前期	2単位	選択	山下　壽文

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記や会計学の基本的な知識を修得していることが望ましいが、企業の業績や成長性の分析に興味を有することが必要である。

授業概要　Course Outline

企業が公表する財務諸表は企業情報の宝庫である。財務諸表等から得られる情報を利用した分析理論と手法を学習し、企業の経営成績・財政状態・キャッシュ・フローの状況を判断できる能力を養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の経営分析について知識を修得することを目標とする。そのため、企業が作成した貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書を使用して、様々な分析（診断）を行う。この過程で、収益性・安全性・成長性等の各種分析手法を身につける。さらに、分析にもとづいて企業経営の問題点を指摘し、これを解決するための提案力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けている。そこで、当該時間において、双方向で課題に対する見解を昇華させて行きたい。レポート提出に際しては、その内容に応じて報告を課すこともある。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室にて行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に適宜指示する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営分析～テキスト＆問題	山下壽文	冊子（600円）	市販されていません 初回講義で購入してください

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営分析を学ぶ	山下壽文他	税務経理協会	978-4-419-05478-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験60%、課題提出40%で評価。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

定期試験の主旨および解答は、クラスルームにアップする。課題提出は、講義においてその趣旨を明らかにする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の内容・進め方）、会社数字の読み方	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第1回を読んで会社数字の読み方を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第2回	貸借対照表のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2回を読んで貸借対照表のしくみを整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第3回	損益計算書のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3回を読んで損益計算書のしくみを整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第4回	経営分析の手法	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第4回を読んで経営分析の手法を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第5回	安全性分析⑴～短期支払能力	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5回を読んで短期の安全性分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第6回	安全性分析⑵～長期支払能力	
		テキスト第6回を読んで長期の安全性分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第7回	収益性分析～売上高利益率、資本利益率	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第7回を読んで収益性分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。.（2時間）
第8回	資金運用分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第8回を読んで資金運用分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第9回	株価分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第9回を読んで株価分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第10回	生産性分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第10回を読んで生産性分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第11回	損益分岐点分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第11回を読んで損益分岐点分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第12回	キャッシュフロー計算書⑴～CF計算書の作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第12回を読んでCF計算書の作成方法を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第13回	キャッシュフロー計算書⑵～CF分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第13回を読んでキャッシュ・フロー分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容について復習。（2時間）
第14回	総合演習⑴	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第14回の演習問題を予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストの演習問題について復習。（2時間）
第15回	総合演習⑵	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第15回の演習問題を予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストをもとに経営分析の要点について復習。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）	
1EDB-6082-22E	1AMB-6082-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
統計学	219～	2年生・後期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	【219～】 統計学入門を修得していること。 【～218】 Webで「統計とは」と「確率とは」のキーワードをそれぞれ検索し、特に入門的な複数のサイトを選んでその内容を読んでおくこと。

授業概要　Course Outline

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、記述統計学と推測統計学の違いを意識しながら、データの縮約・視覚化、母集団と標本分布の違い、統計的仮説検定の基本的な手順を学びます。また、データ解析の目的にあわせた基本的な統計処理と確率分布との関連性について、さらに統計処理をする目的やその限界についても学びます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】
・母集団と標本、標本抽出法を説明できる。・質的データと量的データの違いを説明できる。・データを記述するための基礎事項（代表値、散布度、標準化、相関係数、回帰直線）を説明できる。・統計的検定やその他の検定法について説明できる。
【態度・習慣】
・疑問点を尋ねることができる。・講義に参加できる。
【技能】
・教科書の例題を模倣し、演習問題を解くことができる。・時間内で、与えられた問題を解くことができる。
・任意のデータを適切に記述できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する応用問題を講義の終わりにほぼ毎回実施します。
また、Excel の分析ツールを用いて、統計的検定の理解と実習を行いますので、積極的に取り組む様に心掛けてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回指定した課題を解くこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
書き込み式統計学入門	須藤昭義	東京図書株式会社	978-4-489-02315-6

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
コア・テキスト統計学	大屋　幸輔	新世社	978-4-88384-307-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題（50%）、定期試験（50%）の総合評価とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回課される課題の補足説明や解説を講義開始時に行う。また、講義内容に対する質問等をGoogle Formsなどで随時募集し、説明や解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	統計とは	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	データ、情報、知識につ習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）いてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	記述統計学と推測統計学	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第3回	確率分布の期待値と分散	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第4回	正規分布と確率分布	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第5回	標準正規分布	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第6回	母集団と標本	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第7回	母数の推定	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第8回	母平均と標本平均	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第9回	区間推定と t-分布	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第10回	統計的仮説検定の考え方	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第11回	カイ2乗検定	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第12回	平均値の差の検定（t検定－対応なし）	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第13回	平均値の差の検定（t検定－対応あり）	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第14回	分散分析－1 要因	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5600-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コンピュータ会計	224～	2年生・後期	2単位	選択	岩下　昌美
	219～223 経営情報学科	2年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	ソフトのライセンス数により受講者制限がありますので，受講希望者は，メール（masami-i@g.kiis.ac.jp)にて「受講希望　学籍番号と氏名」とお知らせください。メールの先着順により受講者を決定し，折り返し受講可否の返事をいたします。また、パソコン操作に関する知識と複式簿記に関する基礎知識が必須となります。さらに大学のネットワーク（KIISNW）にログインできることと，テキストを購入することが条件となります。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき，本講義ではコンピュータ会計の基礎的なレベルについて説明をします。
1年時の「簿記」講義において，手記会計をもとに学んだと思いますが，実社会の企業においては，会計処理（帳簿記録）もコンピュータを利用し会計ソフト（システム）で行われている場合がほとんどです。そこで，業界トップシェアの会計ソフトである「弥生会計」を用いて，会計ソフトのしくみ，メニュー構成，基本操作，各種帳票類の出力方法などを学習します。さらには経理担当者として必要な給料計算および税務の知識などもあわせて学習しますので，税理士事務所などでインターンシップの際に役立つ内容です。
また令和3年度において「電子帳簿保存法」の改正があり、おおむねすべての企業が影響をうけることになりますので、その内容および要件にも触れてみたいと思います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

会計ソフトのしくみ，メニュー構成，基本操作，各種帳票類の出力，特殊機能，会計情報の活用方法について学習し，企業においての会計ソフトの導入から財務諸表の作成ができる能力を身につけます。会計ソフトに関連する検定試験（電子会計実務　3級，2級　弥生会計　2級）の取得も可能となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

企業が現実に行っている会計処理などについて，各自が毎回実習を積み重ねていきますので，遅刻欠席のないようにお願いします。授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
毎回の授業終了時には成果物の提出をお願いします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問などは，授業の前後またはオフィスアワーを利用してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

会計ソフトを使用した検定試験（日本商工会議所主催電子会計実務）を推奨します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『コンピュータ会計　基本テキスト』	弥生スクールプロジェクトメンバー（編集）	実教出版	978-4407366143

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『はじめて使う 弥生会計 26』	嶋田知子（著），前原東二（監修）	C&R研究所	978-4863544956

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（60%），レポート（10%），平常点（30%）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の授業最後の成果物提出状況なで判断する。
成績評価の基準：①会計ソフトのデータファイル作成，基本操作（入力，編集，修正，削除），開始残高登録，科目登録，補助科目登録などができるか。②残高試算表で確認，チェックができるか。③固定資産管理ができるか，④消費税を理解して会計処理ができているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方について，メールまたはGoogle
クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法などを説明します。） 複式簿記の基礎知識（3級程度）を復習します。	
	事前学習 （内容・時間）	簿記3級で学んだ簿記一巡の手続について確認しておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義時の簿記3級の問題を再度復習し確認しておくこと。（2時間）
第2回	第1章　企業活動と会計処理：企業経理，会計情報の活用と作成について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第1章pp.8～24を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	企業活動と会計処理について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第3回	第2章　会計ソフトの操作（基礎知識）①：コンピュータの関連知識，会計ソフトの起動，データファイル作成，バックアップ，復元，終了について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第2章pp.26～31を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	会計ソフトの利用方法について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第4回	第2章　会計ソフトの操作（基礎知識）②：会計データの入力操作と帳簿体系，伝票検索・印刷方法，集計表の作成について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第2章pp.32～54を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	会計ソフトの入力操作，帳簿体系について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第5回	第3章　基幹業務の内容とビジネス法務：商取引に必要なビジネス法務，企業の業務システムと会計処理について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第3章pp.56～59を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	企業の業務やビジネス法務について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第6回	第3章　業務ごとの会計処理（1）現金預金に関連する業務，（2）売上に関する業務について，入力作業を行います。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第3章pp.60～82を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	企業の業務（現金預金，売上）について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第7回	第3章　業務ごとの会計処理（3）仕入に関連する業務，（4）経費に関する業務，（5）その他の債権・債務に関する業務について，入力作業を行います。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第3章pp.83～108を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	企業の業務（仕入，経費，その他）について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第8回	第3章　業務ごとの会計処理（6）給料に関する業務について，給料計算の仕組みを学習したのち入力作業を行います。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第3章pp.109～122を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	企業の業務（給与）について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第9回	第4章　税金に関連する業務と会計処理：法人税のしくみ，消費税のしくみについて学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第4章pp.124～143を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	税金に関する業務について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第10回	第5章　会計データの入力処理と集計①：テキスト例題による証憑類のデータ入力を行っていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第5章pp.144～155を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義時の証憑に基づく会計処理について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第11回	第5章　会計データの入力処理と集計②：テキスト例題の証憑類によるデータ入力を行っていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第5章pp.156～175を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義時の証憑に基づく会計処理について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第12回	第5章　会計データの入力処理と集計③：テキスト例題の証憑類によるデータ入力を行っていきます。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第5章pp.176～190を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義時の証憑に基づく会計処理について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第13回	第6章　月次決算に関連する業務と会計処理：決算の手続き，残高チェック，減価償却について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第6章pp.192～203を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	月次決算について，テキストを再度確認して理解を深める。（2時間）
第14回	第6章　年次決算と決算書出力方法について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第6章pp.204～223を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	月次決算および年次決算について，講義時の内容を再度確認して理解を深める。（2時間）
第15回	固定資産管理（固定資産台帳へ登録，減価償却の自動計算）および電子帳簿保存法の概要について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	指示された固定資産について，国税庁のホームページより耐用年数を調べておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	減価償却について，講義時の内容を再度確認して理解を深める。（2時間）
第16回 （定期試験）	60分定期試験（実技試験を含む）	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5980-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
知的財産権（教職関連科目 必 高等学校 情報）	224～	3・4年生・前期	2単位	選択	丹羽 崇之
知的所有権（教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～223 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「法学」、「民事法」を履修していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

知的財産とは、人の知的な創造活動によって生み出された発明や著作物などの成果のことをいう。知的財産権とはそれらの成果に対する権利の総称であり、著作権と産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権等）に分けられる。現代の情報社会においては、知的財産権に関する知識を身に付けておくことの重要性がさらに高まっている。この講義では、基本的な考え方を養いながら、最新の知識を習得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

建学の精神をふまえ、知的財産権の理解を深め、「法的なものの考え方」・「リーガルマインド」の習得をはかる。そのうえで、関連法分野の知見を習得し、研鑽を重ねることにより、紛争処理能力を涵養する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

最新の事件や判例等をとりあげるので、学生諸君に法律関係や適用法令について考えてもらう。新聞には毎日目を通し、知的財産に関する記事を切り抜くなどして、記録しておくこと。また、関連する雑誌の記事も確認するようにしてもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、Goole Classroomや授業の前後の時間を積極的に利用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

授業を欠席した場合には、その回の授業内容を学習したレポートを提出してもらう。（提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。）
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し、最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プレップ知的財産法	小泉直樹	弘文堂	978-4335313301

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
図録 知的財産法	前田・金子・青木（編）	弘文堂	978-4335358586
知的財産法判例教室 第10版	正林真之（監）	法学書院	978-4587561994

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（各回の課題、レポート）30%、定期試験70%により総合評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各回の課題については、次の回に解説するとともに、Goole Classroomに正解を掲示するので、事後学習で活用すること。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、知的所有権とはなにか	
	事前学習（内容・時間）	知的所有権とは何か、考えてみる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	知的所有権とは何か、学んだことを確認する（2時間）
第2回	特許法（1） 特許権は誰のものか	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1章を読み、特許権の帰属について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章を読み返し、特許権の帰属について復習する（2時間）
第3回	特許法（2） 特許発明の技術的範囲	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2章を読み、特許発明の技術的範囲について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第2章を読み返し、特許発明の技術的範囲について復習する（2時間）
第4回	特許法（3） 均等侵害・間接侵害	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3章を読み、均等侵害・間接侵害について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第3章を読み返し、均等侵害・間接侵害について復習する（2時間）
第5回	特許法（4） 相手方の反論・損害賠償	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読み、相手方の反論・損害賠償について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第4章を読み返し、相手方の反論・損害賠償について復習する（2時間）
第6回	特許法（5） 特許権の成立をめぐる争い	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5章を読み、特許権の成立をめぐる争いについて考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第5章を読み返し、特許権の成立をめぐる争いについて復習する（2時間）
第7回	特許法（6） ライセンス（実施権）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章を読み、ライセンス（実施権）について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章を読み返し、ライセンス（実施権）について復習する（2時間）
第8回	著作権法（1） 著作物	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読み、著作物について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章を読み返し、著作物について復習する（2時間）
第9回	著作権法（2） 著作者	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8章を読み、著作者について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第8章を読み返し、著作者について復習する（2時間）
第10回	著作権法（3） 複製と翻案	
	事前学習（内容・時間）	教科書第9章を読み、複製と翻案について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第9章を読み返し、複製と翻案について復習する（2時間）
第11回	著作権法（4） 著作権の制限	
	事前学習（内容・時間）	教科書第10章を読み、著作権の制限について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第10章を読み返し、著作権の制限について復習する（2時間）
第12回	著作権法（5） 著作者人格権・著作隣接権	
	事前学習（内容・時間）	教科書第11章を読み、著作者人格権・著作隣接権について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第11章を読み返し、著作者人格権・著作隣接権について復習する（2時間）
第13回	意匠法	
	事前学習（内容・時間）	意匠法の条文を読み、意匠の意義、登録要件、保護主体等について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	意匠法、配布資料を読み返し、意匠の意義、登録要件、保護主体等について復習する（2時間）
第14回	商標法	
	事前学習（内容・時間）	商標法の条文を読み、商標法の概要、商標権侵害について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	商標法、配布資料を読み返し、商標法の概要、商標権侵害について復習する（2時間）
第15回	不正競争防止法	
	事前学習（内容・時間）	不正競争防止法の条文を読み、不正競争防止法の目的、概要等について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	不正競争防止法、配布資料を読み返し、不正競争防止法の目的、概要等について復習する（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5390-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営組織論	224～ 219～223 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	井上　善海

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営者、管理職、起業などを考える学生にとって経営組織の知識はなくてはならないものである。経営に興味のある者の履修をすすめる。

授業概要　Course Outline

日常生活の中で、私たちは様々な「組織」に関わり生活をしています。しかし、日常的経験があるが故にかえって深く考えることをせず、その結果として、本質的な理解が妨げられることも多いのではないでしょうか。
この授業では、本学の建学の精神をふまえつつ、そのなかのカリキュラムポリシーに基づき、経営組織論の概念をもとに個人、集団、組織全体についての考察を進め、現代社会における「組織」の諸側面を深く理解すると同時に、組織における個人・集団の振る舞いや、経営組織の活動の背後にある意味を洞察する力を磨いていくことをめざします。さらには組織はすでに市場との密接な関係が深まり、消費者も組織の中に組み込まれています。そのような仕組みを「気づかせる」ことに目的を持っています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略や経営組織等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①経営組織に関する知識や考え方を習得する。
②日本的経営のメリット・デメリットを理解し、説明できるようになること。
③日本の経営のあるべき姿を展望できるようになること。
④劇的に変化する組織の形態に対応できるスキルを得ることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。
また，企業経営や経営組織に関するビデオを聴講し，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる組織論	田尾雅夫 編著	ミネルヴァ書房	978-4623056484

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（60%）と授業内課題レポート（40%）を基準とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢として良かったところ悪かったところなどを、試験結果やレポート、ポートフォリオやルーブリックの提出状況に基づいて説明します。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス： 授業の概要・講義の進め方・成績評価方法などを説明します。	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第2回	組織の特徴と概念：組織って何だろう、何のために組織を作るのか	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第3回	組織の基礎理論①：効率を追求する組織を作った科学的管理法	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第4回	組織の基礎理論②：人間を中心に組織を作った人間関係論	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第5回	組織の基礎理論③：組織を動かすための動機付け理論	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第6回	組織の基礎理論④：リーダーシップ	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第7回	組織の基礎理論⑤：意思決定、組織文化	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第8回	組織の構造①：組織の基本の形	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第9回	組織の構造②：柔軟な組織の形	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第10回	日本的組織経営①：欧米の経営手法とは異なった日本独特の経営スタイル	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第11回	日本的組織経営②：定年まで継続して雇ってくれる終身雇用制	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第12回	日本的組織経営③：勤務年数が長くなると役職と給与が上がる年功序列制	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第13回	新たな組織モデル①：外の力を活かす組織間関係	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第14回	新たな組織モデル②：組織を変えるイノベーション	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第15回	新たな組織モデル②：個々人の成長を促すキャリア形成	
	事前学習（内容・時間）	講義資料を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。(2h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5432-12ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
計算機システム論 （教職関連科目　選　高等学校　情報）	219～	1年生・後期	2単位	選択	桑原 重雄

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	本講義の履修に特別な専門知識は不要であり、高校までの基本的なPC操作（検索・文章作成など）ができれば十分である。 内容は、計算機システムを企業経営の視点から理解することを目的としており、工学的な詳細には踏み込まないものの、将来システムエンジニアを目指す学生にとっても基礎的素養となる構成とする。

授業概要　Course Outline

本講義では、計算機システムを「企業経営を支える情報システム」として捉え、経営活動においてどのように情報技術（IT）が活用されているかを体系的に学習する。特に、教科書『経営情報システム 第5版』の内容を基礎とし、企業経営に不可欠な情報システムの構造、クラウド・デジタル技術の活用、ビジネスモデルの変革、デジタルマーケティング、サプライチェーン管理、ナレッジマネジメント、メタバース・ブロックチェーン等の最新動向まで幅広く扱う。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われる。

	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	企業システム開発に従事した経験をもとに、教科書の概念が実務でどのように活用されているかを補足する。特に「業務プロセス」「SCM」「クラウド活用」など、現場感覚を取り入れながら講義を展開する。抽象概念ではなく、実際にどのように企業が情報システムを使い、どのような課題に直面するかを理解できるようにする。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・企業活動と情報システムの関係を説明できる。
・ハードウェア・OS・ネットワークの基礎知識を、実務で必要な範囲で理解できる。
・クラウドコンピューティングの特徴と企業導入の意義を説明できる。
・ビジネスプロセス、SCM、ナレッジマネジメントなどの理論と事例を分析できる。
・デジタルマーケティング・デジタル財・新ビジネスモデルを理解し、企業事例と結びつけて論じることができる。
・最新技術（ブロックチェーン・メタバース等）が企業戦略に与える影響を概説できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

本講義では、講義内容の理解を深めるため、企業事例や最新のIT活用例を取り上げ、個人での調査やケース分析を行う。学生は、クラウド、SCM、ナレッジマネジメント、デジタルマーケティングなどのテーマについて、自分で調べた事例を整理し、授業内で共有する簡易的な発表やレポートに取り組む。これにより、理論と実際の企業活動を結びつけて考える力や、情報を収集・整理する力を養い、主体的に学ぶ姿勢を身につける。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

相談などは研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。必ず、研究室への来室は事前にメールで予約してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleFormsシート「Kiis学習ポートフォリオ・ルーブリック」の提出を平常点として加味する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営情報システム＜第5版＞	宮川公男（監） 上田泰・飯島淳一（編）	中央経済社	978-4502545610

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる DX時代のICTリテラシー ～知っておきたいICTの基礎知識～	富士通ラーニングメディア	FOM出版	978-4867750643

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

評価項目c	割合	評価基準
課題	40%	倫理観点の深さ 分析の論理性 資料の質
定期試験	50%	テキスト理解 倫理判断力 知識定着
平常点	10%	主体性、協働性、取り組み姿勢
合計	100%	成績は、知識の理解度だけでなく主体的な学び・思考の深さ・実践的応用力を総合的に評価する

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本授業では、学生の理解を確実に定着させるため、授業内外で継続的なフィードバックを行う。リフレクション・シートの結果をもとに、誤解されやすい内容や重要ポイントを授業内で丁寧に解説し、学生が自身の理解度を把握できるようにする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション、情報化社会と経営	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第1章を精読し、「キーワード」だけに目を通す（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第1章を復習し、情報化投資の効果を理解しメモする（2時間）
第2回	企業活動と情報システム	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第2章を精読し、自ら考えたポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第2章を復習し、管理者の意思決定における情報の役割をまとめる（2時間）
第3回	情報技術の基礎①	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第4章を精読し、ハードウェアとソフトウェアのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第2章を復習し、コンピューターの基本構成をまとめる（2時間）
第4回	情報技術の基礎②	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第4章を精読し、ネットワークのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第2章を復習し、クラウドコンピューティングについてまとめる（2時間）
第5回	クラウドコンピューティング	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第5章を精読し、クラウドコンピューティングのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第2章を復習し、クラウドサービス範囲についてまとめる（2時間）
第6回	ビジネスプロセス	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第9章を精読し、ビジネスプロセスのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第9章を復習し、ビジネスプロセス基礎理論についてまとめる（2時間）
第7回	ナレッジマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第7章を精読し、ナレッジマネジメントのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第7章を復習し、SECI理論についてまとめる（2時間）
第8回	意思決定支援／BI	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第8章を精読し、意思決定プロセスのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第8章を復習し、情報活用力についてまとめる（2時間）
第9回	サプライチェーンマネジメント／SCM	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第10章を精読し、サプライチェーンマネジメントのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第10章を復習し、SCMの基本概念についてまとめる（2時間）
第10回	インターネットビジネス戦略	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第11章を精読し、インターネットビジネス戦略のポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第11章を復習し、インターネットビジネスモデルについてまとめる（2時間）
第11回	デジタルマーケティング	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第12章を精読し、デジタルマーケティングのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第12章を復習し、カスタマージャーニーについてまとめる（2時間）
第12回	デジタル財とデジタル市場	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第13章を精読し、デジタル市場のポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第13章を復習し、デジタル市場の問題についてまとめる（2時間）
第13回	ブロックチェーンと仮想通貨	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第14章を精読し、ブロックチェーンと仮想通貨のポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第14章を復習し、ブロックチェーンの実例を調べてまとめる（2時間）
第14回	メタバースと新ビジネス	
	事前学習（内容・時間）	教科書の第15章を精読し、メタバースのポイントをメモする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の第15章を復習し、メタバースの実例を調べてまとめる（2時間）
第15回	総括	
	事前学習（内容・時間）	教科書や配布資料を見直して、内容の理解を深める(2時間)
	事後学習（内容・時間）	定期試験のための準備を行う(2時間)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5122-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
アルゴリズムとデータ構造 （教職関連科目　必　高等学校　情報）	219～	2年生・前期	2単位	選択	朝廣　雄一

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「基礎数学」と「プログラミング初歩I」（情報ネットワーク学科），または「基礎数学」と「プログラミング入門」(経営情報学科)を合格している（または同等の知識を有している）ことを前提とする（履修規程第5条3項に基づく）。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、経営情報学分野の応用的な知識として、情報システムの基本的かつ重要な要素であるアルゴリズムとデータ構造を扱い、各種の問題とそれらに対するアルゴリズムの漸近的な性能を解析する手法について解説する。まず単純な問題を対象とし、アルゴリズムとその性能を解析する流れについて概説する。その後、基本的データ構造を用いた、各種の計算などのアルゴリズムについて漸近的な性能の解析を行う。問題演習やPCを用いた実習を適宜取り入れることにより、知識の定着を図る。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

経営情報学分野の応用的な知識として、アルゴリズムとデータ構造の知識を習得し、アルゴリズムの漸近的な性能を解析する手法について習得するのを目指している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

反転授業を行います。配布資料の学習ならびに演習問題に主体的に取り組み、疑問点などについて履修者同士で議論したり、授業中に積極的に発言して下さい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワーはなし。電子メールにてasahiro@is.kyusan-u.ac.jp宛てに連絡を取ってください。ただし、携帯電話やフリーメールアドレスからではなく、大学のアドレスから発信して下さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

授業で扱う内容の一部は、基本情報技術者試験の試験範囲に含まれる。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入すること。
各回の実施形態(対面またはオンライン)は変更することがある。
中間試験の日程は，変更することがある。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
授業は配布プリントに従って実施する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
アルゴリズムイントロダクション　第3版　第1巻	コルメン、ライザーソン、リベスト、シュタイン（浅野、岩野、梅尾、山下、和田訳）	近代科学社	978-4-7649-0406-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法
　レポート（10%）　中間試験（20%）　定期試験（70%）
・成績評価の基準
　授業計画の欄に示した各項目について理解しているかが成績評価の基準である。具体的には，それぞれの項目について
　レポート課題、中間試験、定期試験のいずれかまたは複数に出題し、合計得点で評価することにより、総合的な理解度を評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

中間試験の結果の伝達と解説を、中間試験の実施回以降の一番最初の対面実施回に行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	計算におけるアルゴリズムの役割について理解する[対面]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料01を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題01-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第2回	疑似プログラムの概要について理解する [オンライン]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料02の前半を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行う(2時間)
第3回	SRAMモデルの概要について理解する [オンライン]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料02の後半を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題02-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第4回	単純な問題とアルゴリズムについて理解する。[オンライン]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料03を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題03-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第5回	各種演算とアルゴリズムについて理解し、第一回中間テストを受験する。[対面]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料04を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題04-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第6回	条件分岐について理解する [対面]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料05を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題05-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第7回	高度な条件分岐について理解する [オンライン]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料06の前半を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題06-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第8回	最良計算時間と最悪計算時間について理解する。[オンライン]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料06の後半を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題06-02が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第9回	数列について理解する [オンライン]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料07を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題07-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第10回	ループ構造を持つアルゴリズム（1）数の和を計算するアルゴリズムについて理解する [オンライン]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料08を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題08-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第11回	ループ構造を持つアルゴリズム（2）ループ不変式について理解し、第二回中間テストを受験する [対面]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料09を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題09-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第12回	ループ構造を持つアルゴリズム（3）自然数の和を計算するアルゴリズムについて理解する [対面]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料10を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題10-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第13回	O記法について理解する [対面6回目]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料11を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題11-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第14回	ループ構造を持つアルゴリズムの設計について理解する[対面]	
	事前学習 （内容・時間）	配布資料12を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の復習を行い、演習問題11-01が授業時間内に終えられなかった場合にはそれに取り組む(2時間)
第15回	各種アルゴリズムの実験的評価に取り組む（実習を含む） [対面]	
	事前学習 （内容・時間）	PCの準備（アダプターやケーブルなどの準備，ならびに事前設定など）を行う(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	授業中に完了できなかった課題とレポート作成に取り組む(2時間)
第16回 （定期試験）	定期試験 [対面]	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6060-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
データベース論 （教職関連科目 必 高等学校 情報）	共通	2年生・前期	2単位	選択	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報学入門を修得済みであることが望ましい。 各自でデータベースを作成するため、ノートPCを必ず持参すること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータベースの概要を学ぶ。データベースとしては現在最も広範囲に使用されているリレーショナルデータベースを中心にデータベースの設計方法、アクセス方法を演習を通じて身につける。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

自分でデータベースを作成し、アクセスすることができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてデータベースへの操作をしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回必ずパソコンを持参する事。
また、インストールしたデータベースのソフトウェアなどを毎回利用できるよう、パソコンのアップデートやメンテナンスを継続して行うこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料配布 （Google Classroomを利用します）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
データベースの基礎（改訂版） － MariaDB/MySQL対応 －	永田武	コロナ社	978-4-339-02919-2

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(60%)、データベース作成演習(20%)、データベース総合演習(20%)
※部活動の大会やインターンシップなどでデータベース作成演習およびデータベース総合演習に出席できなかった学生は、代わりに別の課題を出題し、その評価を上述の成績評価に加えることを認める場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

ほぼ毎回各自のノートパソコン上でデータベースを作成・操作を行う演習を行う。演習時間では、個別の質問や操作の解説などを行う。また、データベース作成演習およびデータベース総合演習の後に、それぞれの解答例をGoogleクラスルーム上で公開する。定期試験後は、成績評価の大まかな分布（秀・優・良・可それぞれの人数分布）を公開する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、データベースとは	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読む(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う、スライド資料を読み内容を理解する(2h)
第2回	Sqlite3・PHPのインストールおよび動作確認	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	Sqlite3・PHPの起動と終了を何度も行い操作に慣れる(2h)
第3回	Tableの作成	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回1つTableを作成する(2h)
第4回	データの挿入	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableにデータを挿入する(2h)
第5回	データの修正	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableのデータを修正する(2h)
第6回	データの削除	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableのデータを削除する(2h)
第7回	データの参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableのデータを参照する(2h)
第8回	データの抽出条件による参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableのデータを抽出条件を入れて参照する(2h)
第9回	phpプログラムを利用したデータの参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
第10回	phpプログラムを利用したデータの抽出条件による参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
第11回	データベースの設計、正規化による整理方法	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に指示のあった作業をもう一度自分で実施する(2h)
第12回	複数の表の結合によるデータ参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
第13回	データベース作成演習（前半）	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業で行ったデータベースに対する操作を何度も自分で繰り返す(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中の問題の復習およびこれまでの授業の復習をする(2h)
第14回	データベース作成演習（後半）	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業で行ったデータベースに対する操作を何度も自分で繰り返す(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中の問題の復習をする(2h)
第15回	データベース総合演習	
	事前学習（内容・時間）	これまでの講義資料を読んでおく(2h)
	事後学習（内容・時間）	データ操作言語の命令文をしっかりと復習する(2h)
第16回（定期試験）	筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6580-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ゲームプログラミング	223～	2年生・前期	2単位	選択	荒平高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミングに興味があること 経営情報学科の学生であってもゲームプログラミングに興味のある学生の履修は妨げない

授業概要　Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，プログラミングの基本をおさえつつ簡単なゲームを開発し，実践的なゲーム開発の基礎を学ぶ．本講義では，Pythonを使用する．
ただし、プログラミングの基礎から授業を行うため、プログラミングを今まで体験したことない学生も歓迎する．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる．②サンプルプログラムを応用できる．③課題に応じて最適な処理構文を選択し，使用できる．④プログラム処理のためにPCを操作できる．⑤講義に参加できる．⑥課題解決のためにお互いに助けることができる．⑦疑問点を尋ねることができる．⑧プログラム作成のためにフローチャートを自分で準備できる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく，実習型講義を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡は全てクラスルームにて行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義に沿った配布資料を準備し，それに沿って進めます．			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ゲーム作りで楽しく学ぶ　Pythonのきほん	森 巧尚	マイナビ出版	978-4-8399-7356-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

個人ワークおよびグループワーク（35%）、授業内での成果物（35%）、試験（30%）で評価する．

学習成果に対するフィードバック（指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本講義では，個人ワークおよびグループワークを実施する．その際，教員からのフィードバックのほか，TAによるアドバイスも含め，多角的なフィードバックを実施するので，自身の自己学習等の参考にすること．

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講座ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第2回	Python基礎(1)	
	事前学習 （内容・時間）	プログラミングの基礎を学ぶ．(2h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第3回	Python基礎(2)・アルゴリズム基礎	
	事前学習 （内容・時間）	プログラミングの基礎を学ぶ．(2h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第4回	Python基礎(3)・アルゴリズム基礎	
	事前学習 （内容・時間）	プログラミングの基礎を学ぶ．(2h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第5回	アルゴリズム 演習	
	事前学習 （内容・時間）	第2～4回の内容を復習する．(2h)
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第6回	ゲーム開発準備	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第7回	ゲーム開発(1)	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第8回	ゲーム開発(2)	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第9回	ゲーム開発(3)	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第10回	ゲーム開発(4)	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第11回	ゲーム発表(1)	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第12回	ゲーム発表(2)	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第13回	フィードバック	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第14回	ゲーム改善(1)	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第15回	ゲーム改善(2)	
	事前学習 （内容・時間）	前回の講義を復習する（2h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する．(2h)
第16回 （定期試験）	定期試験を実施する．	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6690-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
eスポーツ概論	224～	2年生・後期	2単位	選択	秋吉浩志 中島直樹 宮崎武
特別実習・講義（情報） eスポーツ概論	223				

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	eスポーツ業界、ゲーム業界、デジタルビジネス関係の多くの実践興味を持っている学生には選択をすすめる。

授業概要　Course Outline

欧米で小規模コミュニティのイベントとしてスタートし、プロ化、そしてグローバル＆拡大ビジネス化したeスポーツ の成立から発展の歴史を詳しく学び、海外の流れと、その動きに乗り遅れたにもかかわらず飛躍的な拡大路線 を取り始めた日本の状況を紹介する。eスポーツ主要競技の流れについても学び、eスポーツの特徴も理解す る。メディア、行政、法律、教育分野、既存のフィジカルスポーツ団体等を巻き込みながら日々益々拡大する。さらにはeスポーツを取り巻く情報システムやゲームプログラミングの世界についても紹介したい。そして、eスポ ーツの過去と現在の理解を深め今後についての考察を行えるようにすることを目的とする。
また、建学の精神や特にカリキュラムポリシーに沿って、IT業界で活躍できる広く多様性ある人材づくりを目指すものである。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当する eスポーツに関わる多くの学外講師が1回ごとオムニバスで担当する予定である。	eスポーツ業界で企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐にわたる実務経験のある講師がオムニバスで講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。

kannrennsuru

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

デジタルネィティブ世代のメインストリームになるeスポーツの歴史と現状、今後の流れを考察して、物事を 多方面から見ることが出来る力をつけてもらう。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。
⑤主に業界の外部講師の授業が多いため、しっかりとコミュニケーションをとることをすすめる。
など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に秋吉研究室（2号館5階555研究室）にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。（遠隔授業の場合はGoogleクラスルームを活用して連絡を随時行う）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

この科目は急速に発展しているeスポーツ業界に関連する知識を得るための科目である。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに秋吉までメール（akiyoshi@gkiis.ac.jp）で提出してください。
また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する。
事後学習として毎週課題があり、課題を提出しないと授業に出席しても出席にはならない。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
毎回主にパワーポイントかPDFによる資料を配布する。配布はクラスルームにて行う。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
・まるわかり! eスポーツ・ビジネス（日経ムック） ・続・eスポーツ地方創生 新たな展開を見せ拡大し続けるムーブメントの未来 ・みんなが知りたかった 最新eスポーツの教科書	KPMGコンサルティング 筧 誠一郎 岡安 学	日本経済新聞出版 白夜書房 秀和システム	ISBN-13 978 : -4532183103 ISBN-13 978 : -4864943451 ISBN-13 : 978-4798059235

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：授業での出席や活動状況、発表、課題提出、レポート、定期試験等の成績により総合的に評価する。主に定期試験40%程度、課題提出やグループワークなど（30%）、イベント運営参加（20%）、その他（授業態度など）(10%)。
・成績評価の基準 ：講義のなかで①集団の中で他者と協力・協調できているか、②責任もった行動がとれているか、③提出物や発表（プレゼンテーション）で大学生としての自己表現ができているか、など。
・なお、eスポーツは実際運営することが重要なスキルとなっている。よって15回の講義以外に以降の3つのイベントいずれかに参加して、レポートを提出していただく。①学園祭におけるeスポーツイベント②太宰府市で開催されるeスポーツイベント③福岡県eスポーツ協会主催のイベント（日程は講義中に発表する）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言） Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回講義終了後に課題を提出してもらいます。.それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。
なお、課題のほかに、自身が講義で学んだことも問います。きちんと自分自身しっかりと理解しているかを確認していただきます。なお内容によっては教員が質問したり、意見を述べてフィードバックする場合もある。さらに外部講師や自治体などにもプレゼンを行い、その意見を聞くなどのフィードバックもあります。

あくまで		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンスおよびeスポーツの基礎知識について	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前にPDF資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること（2h）
第2回	eスポーツとは何か（eスポーツの定義、学びのeスポーツ他）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前にPDF資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること（2h）
第3回	eスポーツの歴史について（ゲームからeスポーツへ）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること（2h）
第4回	eスポーツのジャンルについて（FPS、TPS,RTSなど、拡張するゲームの分野）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第5回	eスポーツの施設や設備それに合わせたイベントの計画について	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第6回	eスポーツとeスポーツが起こす文化について	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第7回	eスポーツのビジネスについて①（スポーツ産業とeスポーツ）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第8回	eスポーツのビジネスについて②（スポーツ産業とeスポーツ）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第9回	eスポーツに関わる心理的な作用について考える。	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第10回	eスポーツに関わる法律、条令等について（著作権、肖像権など）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第11回	eスポーツを取り巻く、情報システムについて	
	事前学習（内容・時間）	classroomで外部講師のPDF資料を事前に配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第12回	eスポーツに関するイベントや交流会等実習	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に担当教員の資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第13回	eスポーツと教育について（これからの教育に欠かせないゲームと育成）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に担当教員の資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第14回	eスポーツと地方創生（地方振興、観光資源との関りなど）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に担当教員の資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第15回	これからのeスポーツの発展と展開について（eスポーツのイベントの企画、立案、制作、実施など、そしてオリンピックに向けて:）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に担当教員の資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、Googleフォームで作成した課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。 これからの時代に向けて、こらからのeスポーツに関わる基本的な知識が理解されているかを問う。	

ナンバリング（Numbering）	
1AIN-6610-22E	1AIN-6610-22C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報処理技術演習 I （ITパスポート 対策）	223～	2年生・前期	2単位	経営選択 NW必修	ディンダ プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	ITパスポート資格取得に意欲的に取り組む意志があること.

授業概要 Course Outline

本授業では，ITパスポート試験に向けて必要な情報技術の基本的な知識を獲得し，ディプロマポリシーに基づいてテクノロジ系の入門を行う.文系と理系の視点から，コンピュータの仕組みや処理について学ぶアプローチで授業が提供する.演習問題を通して内容を網羅し，受講者全員がITパスポート試験に合格することを目標とする.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ITパスポート資格について説明できる.テクノロジー分野に関する基本事項，用語について説明することができる. 演習やテストに参加することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に，学生参加型の演習やテストを行う.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp ； Google クラスルーム

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので，毎回PCを持参することが望ましい.
毎回の講義時間後，Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し，提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
よくわかるマスター 令和8-9年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集	富士通ラーニングメディア	FOM出版 (富士通ラーニングメディア)	978-4-86775-190-9

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
2026年度版 みんなが欲しかった! ITパスポートの教科書&問題集	TAC出版情報処理試験研究会（編著）	TAC株式会社出版事業部	978-4300117521

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

テスト(中間課題演習と後期課題演習) 40%,定期試験 40%,平常点 20%で評価する.
なお,平常点には「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況,課題の提出状況,ならびに本学開催の iパスKIISコンテストへの参加状況を含む.積極的な参加を推奨する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,テスト(中間課題演習と後期課題演習)の結果,ならびに課題およびポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	本講義について，シラバスと関連する教科書およびネット記事を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	本講義のキーワードと目的を特定し，自己評価を行っておくこと.（2時間）
第2回	基礎理論	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.195～p.213）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第3回	アルゴリズムとプログラミング	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.214～p.227）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第4回	コンピュータ構成要素	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.231～p.243）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第5回	システム構成要素	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.244～p.254）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第6回	ソフトウェア	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.255～p.263）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第7回	ハードウェア	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.264～p.267）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第8回	情報デザイン	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.273～p.278）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第9回	テスト：中間課題演習	
	事前学習 （内容・時間）	第2回～第8回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内に回答できなかった問題は必ず，復習させること.（2時間）
第10回	情報メディア	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.279～p.284）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第11回	データベース	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.285～p.300）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第12回	ネットワーク	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.301～p.319）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第13回	セキュリティ	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.320～p.351）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第14回	計算ソフト	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.363～p.369）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第15回	テスト：後期課題演習	
	事前学習 （内容・時間）	第10回～第14回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内に回答できなかった問題は必ず，復習させること.（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）	
1AIN-5750-24E	1AIN-5750-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報テクノロジー演習 I （ITパスポート対策）	220～222 219 情報ネットワーク学科	2年生・前期	4単位	経営 選 NW 必 必修	ディンダ プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	ITパスポート資格取得に意欲的に取り組む意志があること.

授業概要 Course Outline

働く人が共通して備えておきたい情報技術や企業活動に関する基本的な知識を幅広く問われるのが，情報技術者試験のITパスポートである.この授業では，ディプロマポリシーに基づき，ストラテジ系，マネジメント系，テクノロジ系の3つの分野の出題範囲について，過去問題を通して網羅していく.受講者全員のITパスポート試験合格を目標とする.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ITパスポート資格について説明できる.テクノロジー分野に関する基本事項，用語について説明することができる.ストラテジー分野に関する基本事項，用語について説明することができる.マネジメント分野に関する基本事項，用語について説明することができる.演習や確認テストに参加することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に，学生参加型の演習や確認テストを行う.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp ; Google クラスルーム（クラスコードou3gndzb）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので，毎回PCを持参することが望ましい.
毎2回の講義時間後，Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し，提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
2026年度版 みんなが欲しかった! ITパスポートの教科書&問題集	TAC出版情報処理試験研究会（編著）	TAC株式会社出版事業部	978-4300117521

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
令和8-9年度版 ITパスポート試験 対策テキスト &過去問題集	富士通ラーニングメディア	FOM出版 (富士通ラーニングメディア)	978-4867751909

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

確認テスト①～③ 40%,定期試験 40%,平常点 20%で評価する.
なお,平常点には「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況,課題の提出状況,ならびに本学開催の iパス KIISコンテストへの参加状況を含む.積極的な参加を推奨する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言） Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,確認テスト①～③の結果,ならびに課題およびポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（ITパスポート試験の概要と演習の進め方）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第2回	プレテスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第3回	テクノロジ　系①　数の表現と論理演算	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第4回	テクノロジ　系①　統計の概要とAI技術	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第5回	テクノロジ　系②　データ構造とアルゴリズム	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第6回	テクノロジ　系②　プログラミング・プログラム言語	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第7回	テクノロジ　系③　システム処理形能とシステム利用形能	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第8回	テクノロジ　系③　性能と信頼性	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第9回	テクノロジ　系④　ハードウェア	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第10回	テクノロジ　系④　ソフトウェア: OSの役割とファイル管理	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第11回	確認テスト①の練習	
	事前学習（内容・時間）	第3回～第10回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第12回	確認テスト①	
	事前学習（内容・時間）	第3回～第10回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題や補助資料(solution)に取り組むこと.あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を行うこと.（2時間）
第13回	テクノロジ　系⑤　ソフトウェア：オフィスツールとオペンソースソフトウェア	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第14回	テクノロジ　系⑤　ソフトウェア：インタフェースとマルチメディア	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第15回	テクノロジ　系⑥　データベースの設計	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第16回	テクノロジ　系⑥　データベース管理システムの機能	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）

第17回	テクノロジ　系⑦　ネットワークと送信プロトコル	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第18回	テクノロジ　系⑦　インターネットとIP	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第19回	テクノロジ　系⑧セキュリティ	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第20回	テクノロジ　系⑧　暗号化技術とディジタル署名	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第21回	確認テスト②の練習	
	事前学習 （内容・時間）	第１３回～第２０回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第22回	確認テスト②	
	事前学習 （内容・時間）	第１３回～第２０回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	定期試験に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題や補助資料(solution)に取り組むこと.あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を行うこと.（2時間）
第23回	マネジメント　系①　システム開発技術	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第24回	マネジメント　系①　開発プロセス・手法	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）

第25回	マネジメント　系②　プロジェクトマネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第26回	マネジメント　系②　サービスマネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第27回	ストラテジ　系①　IoT・組込みシステム	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第28回	ストラテジ　系①　要件定義	
	事前学習 （内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第29回	確認テスト③の練習	
	事前学習 （内容・時間）	第２３回～第２８回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第30回	確認テスト③	
	事前学習 （内容・時間）	第２３回～第２８回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	定期試験に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題や補助資料(solution)に取り組むこと.あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を行うこと.（2時間）
第31回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6620-22E

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報処理技術演習Ⅱ（ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ 対策）		223～	2年生・後期	2単位	選択	平川　淳一
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites	・国家資格「情報技術者試験 ITパスポート」合格を目標にしている人 ・受講マナーを守れる人					

授業概要　Course Outline

企業活動や情報技術に関する基本的な知識について、広く問われる「情報技術者試験 ITパスポート」は、ビジネスパーソンが共通して備えておくべき知識として位置付けられています。デジタル時代を生きる現代人が取得しておくべき、合格率50%の国家資格です。
授業ではiパスの過去問題を通して出題範囲の内容をインプットし、確認テストや毎回実施する復習テストによってアウトプットすることで知識の定着を図ります。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅱ経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能や知識・理解を修得させること。」に基づいて、ITパスポート試験の対策科目として学んでいきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

経営情報学の汎用的技能や知識・理解についての基礎を習得するために、この科目では経営・会計・情報を中心とする経営情報分野全般を横断的に学習し、国家資格情報技術者試験 ITパスポートの取得を目指します。
ITパスポートは通過点と捉え、次なる目標「基本情報技術」のための、基礎知識の定着が最低目標となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
・配付するプリントにはメモ欄を用意しているので、たくさん書込みを行って独自の資料を作り上げてください。
　※授業終了時にプリントを確認します。
・間違えノートは、用語辞書としての役割を果たすので、記録を怠らないようにしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・外部試験： ITパスポート試験
　試験日：随時試験（受験会場に確認）、受験料：7,500円（税込）、試験会場：天神、博多、久留米、北九州
　※受験するためには、事前に受験者IDの登録が必要です。

・学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。
・毎回の授業で実施する復習テストの結果と学習状況をフィードバックします。
　状況に応じて個別にフィードバックをする場合があります（理解度不足、受講態度不良など）。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
改訂版 ITパスポート試験 書いて覚える 学習ドリル （よくわかるマスター）	富士通ラーニングメディア	富士通ラーニングメディア	978-4867751923

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
かんたん合格ITパスポート過去問題集 令和8年度 春期	間久保　恭子	インプレス	978-4295023227

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 30%、課題 30%、定期試験 40%
　※平常点は、学習意欲、受講マナー等（減点、欠席扱い、受講停止の場合あり）から評価します。
　　注）スマートフォン及びデジタル機器の不適切使用（写真撮影や録画を含む）は認めていません。
　※課題は、毎回実施する復習テストと確認テストの結果から評価します。
　※学内で実施される『iパスkiisコンテスト』参加者は、平常点を加算します。
　※定期試験をITパスポート受験（外部試験）に代えることを認めます（結果の提出義務、最低得点ラインあり）。

・成績評価の基準：ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ試験の本試験レベルの問題で各分野の正答率が60%以上に達しているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルーム（クラスコード【 7jcyrro 】）にてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業概要とITパスポート試験の内容を確認。過去問題にチャレンジ。	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験について調査し、内容や出題範囲などをノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	オリエンテーション問題で間違えた論点について、その内容をノートにまとめておくこと。（2.0h）
第3回	ストラテジ系 ： 1. 経営・組織 （テキスト P.36～53）、2. 業務分析・データ利活用 （テキスト P.54～66）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト1.2、1.3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「経営・組織」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第4回	ストラテジ系 ： 3. 会計・財務 （テキスト P.19～34）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト1.1「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「会計・財務」の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第5回	ストラテジ系 ： 4. 知的財産権～8. 標準化関連 （テキスト P.67～83）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト1.4「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「知的財産権」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第6回	ストラテジ系 ： 9. 経営戦略手法～10. マーケティング （テキスト P.87～118）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.1「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「経営戦略手法」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第7回	ストラテジ系 ： 11. ビジネス戦略と目標・評価～17. IoT システム・組込みシステム （テキスト P.119～163）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.2「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「ビジネス戦略」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第8回	ストラテジ系 ： 18. 情報システム戦略～21. システム活用促進・評価 （テキスト P.131～136）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「ビジネス戦略」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第9回	ストラテジ系 ： 22. システム化計画～24. 調達計画・実施 （テキスト P.140～146）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.4「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「システム化計画」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第10回	マネジメント系 ： 25. システム開発技術～26. 開発プロセス・手法 （テキスト P.167～184）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト3.1「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「システム開発技術」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第11回	マネジメント系 ： 27. プロジェクトマネジメント～32. 内部統制 （テキスト P.185～209）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト3.2、3,3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第12回	テクノロジ系 ： 33. 離散数学～39. その他の言語 （テキスト P.213～254）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト4.1～4.3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「離散数学」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第13回	テクノロジ系 ： 40. プロセッサ～53. マルチメディア応用 （テキスト P.227～293）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト4.4～4.5「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「プロセッサ」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第14回	テクノロジ系 ： 54. データベース方式～57. トランザクション処理 （テキスト P.399～410）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト6.1～6.2「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「データベース方式」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第15回	テクノロジ系 ： 58. ネットワーク方式～63. 情報セキュリティ対策・実装技術 （テキスト P.299～379）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト5.1～5.7「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「ネットワーク方式」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験 ※情報技術者試験 ITパスポート試験に準じた内容で実施します。	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5760-24E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ（ITパスポート対策）	220～222	2年生・後期	4単位	選択	平川　淳一
	219 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	2年生・後期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	・国家資格「情報技術者試験ITパスポート」の取得を目標にしている人 ・2時限続けて受講できる人 ・受講マナーを守れる人

授業概要　Course Outline

企業活動や情報技術に関する基本的な知識について、広く問われる「情報技術者試験 ITパスポート」は、ビジネスパーソンが共通して備えておくべき知識として位置付けられています。デジタル時代を生きる現代人が取得しておくべき、合格率50%の国家資格です。
授業ではiパスの過去問題を通して出題範囲の内容をインプットし、確認テストや毎回実施する復習テストによってアウトプットすることで知識の定着を図ります。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅱ経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能や知識・理解を修得させること。」に基づいて、ITパスポート試験の対策科目として学んでいきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

経営情報学の汎用的技能や知識・理解についての基礎を習得するために、この科目では経営・会計・情報を中心とする経営情報分野全般を横断的に学習し、国家資格情報技術者試験 ITパスポートの取得を目指します。
ITパスポートは通過点と捉え、次なる目標「基本情報技術」のための、基礎知識の定着が最低目標となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
・配付するプリントにはメモ欄を用意しているので、たくさん書込みを行って独自の資料を作り上げてください。
　※授業終了時にプリントを確認します。
・間違えノートは、用語辞書としての役割を果たすので、記録を怠らないようにしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・外部試験： ITパスポート試験
　試験日：随時試験（受験会場に確認）、受験料：7,500円（税込）、試験会場：天神、博多、久留米、北九州
　※受験するためには、事前に受験者IDの登録が必要です。

・学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。
・毎回の授業で実施する復習テストの結果と学習状況をフィードバックします。
　状況に応じて個別にフィードバックをする場合があります（理解度不足、受講態度不良など）。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
改訂版 ITパスポート試験 書いて覚える 学習ドリル （よくわかるマスター）	富士通ラーニングメディア	富士通ラーニングメディア	978-4867751923

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
かんたん合格ITパスポート過去問題集 令和8年度 春期	間久保　恭子	インプレス	978-4295023227

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 30%、課題 30%、定期試験 40%
　※平常点は、学習意欲、受講マナー等（減点、欠席扱い、受講停止の場合あり）から評価します。
　注）スマートフォン及びデジタル機器の不適切使用（写真撮影や録画を含む）は認めていません。
　※課題は、毎回実施する復習テストと確認テストの結果から評価します。
　※学内で実施される『iパスkiisコンテスト』参加者は、平常点を加算します。
　※定期試験をITパスポート受験（外部試験）に代えることを認めます（結果の提出義務、最低得点ラインあり）。

・成績評価の基準：ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ試験の本試験レベルの問題で各分野の正答率が60%以上に達しているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業概要とITパスポート試験の内容を確認。過去問題にチャレンジ。	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験について調査し、内容や出題範囲などをノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	事前学習でまとめた内容をもとに、ITパスポート取得までの日程表を作成しておくこと。（2.0h）
第2回	オリエンテーション問題　解答解説 ： 理解度の確認と自己点検	
	事前学習（内容・時間）	オリエンテーション問題で間違えた論点について、その内容をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	オリエンテーション問題（120分）を再度解答し、記憶の状況と理解度を確認しておくこと。（2.0h）
第3回	ストラテジ系 ： 1. 経営・組織 （テキスト P.36～53）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト1.2「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「経営・組織」の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第4回	ストラテジ系 ： 2. 業務分析・データ利活用 （テキスト P.54～66）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト1.3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「業務分析」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第5回	ストラテジ系 ： 3. 会計・財務 （テキスト P.19～34）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト1.1「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「会計・財務」の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第6回	ストラテジ系 ： 4. 知的財産権～5. セキュリティ関連法規 （テキスト P.67～74）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト1.4「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「知的財産権」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第7回	ストラテジ系 ： 6.労働関連・取引関連法～8. 標準化関連 （テキスト P.78～83）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト1.5「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「労働関連法」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第8回	ストラテジ系 ： 9. 経営戦略手法～10. マーケティング （テキスト P.87～118）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.1「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「経営戦略手法」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第9回	ストラテジ系 ： 11. ビジネス戦略と目標・評価～13. 技術開発戦略の立案・計画 （テキスト P.119～130）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.2「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「ビジネス戦略」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第10回	ストラテジ系 ： 14. ビジネスシステム～17. IoT システム・組込みシステム （テキスト P.147～163）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「ビジネスシステム」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第11回	ストラテジ系 ： 18. 情報システム戦略～21. システム活用促進・評価 （テキスト P.131～136）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.4「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「情報システム戦略」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第12回	ストラテジ系 ： 22. システム化計画～24. 調達計画・実施 （テキスト P.140～146）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト2.5「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「システム化計画」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第13回	【Checkテスト】 ストラテジ系 （66問）	
	事前学習（内容・時間）	第3回～12回までに学んだストラテジ系の内容を復習して、テストの準備をしておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ストラテジ系Checkテストを採点。間違えた論点を調べてノートにまとめておくこと。（2.0h）
第14回	【総括】 ストラテジ系　Checkテストの解答解説　※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習（内容・時間）	第3回～12回の事後学習で分析した出題傾向の調査結果レポートを作成しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ストラテジ系の過去問を100問解いて、苦手分野の把握と自己評価をしておくこと。（2.0h）
第15回	マネジメント系 ： 25. システム開発技術～26. 開発プロセス・手法 （テキスト P.167～184）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト3.1「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「システム開発技術」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第16回	マネジメント系 ： 27. プロジェクトマネジメント （テキスト P.185～195）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト3.2「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	「ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）

第17回	マネジメント系 ： 28. サービスマネジメント～30. ファシリティマネジメント （テキスト P.197～201）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト3,3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「ｻｰﾋﾞｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。 （2.0h）
第18回	マネジメント系 ： 31. システム監査～32. 内部統制 （テキスト P.202～209）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト3,4「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「システム監査」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。 （2.0h）
第19回	【Checkテスト】 マネジメント系	
	事前学習 （内容・時間）	第15回～18回までに学んだマネジメント系の内容を復習して、テストの準備をしておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	マネジメント系Checkテストを採点。間違えた論点を調べてノートにまとめておくこと。（2.0h）
第20回	【総括】 マネジメント系　Checkテストの解答解説　※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	第15回～18回の事後学習で分析した出題傾向の調査結果レポートを作成しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	マネジメント系の過去問を100問解いて、苦手分野の把握と自己評価をしておくこと。（2.0h）
第21回	テクノロジ系 ： 33. 離散数学～35. 情報に関する理論 （テキスト P.213～226）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト4.1「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「離散数学」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第22回	テクノロジ系 ： 36. データ構造～39. その他の言語 （テキスト P.241～254）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト4.3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「データ構造」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第23回	テクノロジ系 ： 40. プロセッサ～44. システムの評価指標 （テキスト P.277～293）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト4.5「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「プロセッサ」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。（2.0h）
第24回	テクノロジ系 ： 45. オペレーティングシステム～49. ハードウェア （テキスト P.256～275）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト4.4「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。 （2.0h）

第25回	テクノロジ系 ： 50. ヒューマンインタフェース技術～53. マルチメディア応用 （テキスト P.227～240）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト4.2「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「ﾋｭｰﾏﾝｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。 （2.0h）
第26回	テクノロジ系 ： 54. データベース方式～57. トランザクション処理 （テキスト P.399～410）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト6.1～6.2「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「データベース方式」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。 （2.0h）
第27回	テクノロジ系 ： 58. ネットワーク方式～60. ネットワーク応用 （テキスト P.299～325）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト5.1～5.3「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「ネットワーク方式」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。 （2.0h）
第28回	テクノロジ系 ： 61. 情報セキュリティ～63. 情報セキュリティ対策・実装技術 （テキスト P.344～379）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト該当ページの精読と、テキスト5.4～5.7「練習問題」を解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	「情報セキュリティ」等の過去問を50問解いて、理解度と出題傾向の分析をしておくこと。 （2.0h）
第29回	【Checkテスト】 テクノロジ系　※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習 （内容・時間）	第21回～28回までに学んだテクノロジ系の内容を復習して、テストの準備をしておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テクノロジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。（2.0h）
第30回	【総括】 テクノロジ系　Checkテストの解答解説	
	事前学習 （内容・時間）	第21回～28回の事後学習で分析した出題傾向の調査結果レポートを作成しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テクノロジ系Checkテストを採点。間違えた論点を調べてノートにまとめておくこと。（2.0h）
第31回 （定期試験）	定期試験 ※情報技術者試験 ITパスポート試験に準じた内容で実施します。	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6630-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報処理技術演習Ⅲ	223～	3･4年生・前期	2単位	選択	宮﨑　武 合田　和正 平川　淳一

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	
	IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)の開催する「ITパスポート試験」に合格か、「情報処理技術演習Ⅰ」および「情報処理技術演習Ⅱ」を習得済であるか、 または、それ相当の学習をしていると認められる資格などを持っているもので まだ「基本情報技術者試験」や「応用情報技術者試験」に合格していないもの。 後期開講の「情報処理技術演習Ⅳ」を受講予定または履修済みであることが望ましい。 （編入生などで上述の単位を取得していない学生は個別に判断する）

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではIPAの国家資格である「基本情報技術者試験」に合格することを目指し、テクノロジー分野を中心にA,B科目問題を併せて各テーマ毎に内容の解説と演習問題を解くことで基礎知識を積み重ねていく。そのため後期の「情報処理技術演習Ⅳ」の講義と併せてテキストの中から重要な内容を幾つか取り上げて読み進めていく。本講義では、前半の「第1章 コンピュータの構成要素」から「第4章 アルゴリズムとプログラミング」までの中から重要な内容を中心に見ていく。これ以降は「情報処理技術演習Ⅳ」で取り扱うことから、本講義の受講者は、後期に引き続き「情報処理技術演習Ⅳ」を受講することが推奨される。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

基本情報技術者試験に出題される3分野（テクノロジー、マネジメント、ストラテジ）の中で大きなウェイトを占めるテクノロジ分野を中心に、各個別のテーマ毎に基礎的な知識を学習する。その後で、実際に過去の試験で出題された問題を演習として解いてみて、どのような解法を取ることが求められるのかについて解説を行う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習では参加者それぞれに問題を解いてもらいます。また、各章末毎にその章で取り扱った内容に関する問題を出題するので、各自で解答を作成してクラスルームに提出してもらいます。
また、ITパスポート試験に合格していない学生については、併せて学内のiパスコンテストにも積極的に参加してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義中にそれぞれの節で説明した内容について実際に過去出題された問題を解きます。また、各章毎に学習の振り返りを課題と併せて提出します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
令和08年 イメージ＆クレバー方式で よくわかる かやのき先生の 基本情報技術者教室	栢木 厚	技術評論社	978-4297152451

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
キタミ式イラストIT塾 基本情報技術者 令和08年	きたみりゅうじ	技術評論社	978-4297153014

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(50%)、各講義での演習や授業参加態度(50%)

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回の講義中に過去問題やサンプル問題、ITパスポート試験などの類似問題を出題し解答と解説・補足を行う。また、ワークシートや書き込み式の配布資料を用いて、講義中に受講生本人が直接書き込むような教材を使用し、講義後に回収して内容を確認する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、第1章[1] 情報の表現、コンピュータの構成	
	事前学習（内容・時間）	可能であればテキストを準備し、クラスルームに事前登録する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第1-01節から第1-02節の内容を復習する。（2.0h）
第2回	第1章[2]　CPU、CPUの動作原理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1-03節から第1-04節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第1-03節から第1-04節までの内容を復習する。（2.0h）
第3回	第1章[3] 半導体メモリ、入出力装置	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1-06節・第1-08節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第1章の全ての内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第4回	第2章[1] ソフトウェア、ジョブ管理とタスク管理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2-01節から第2-02節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第2-01節から第2-02節までの内容を復習する。（2.0h）
第5回	第2章[2] 記憶管理、ファイル管理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2-03節から第2-04節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第2-03節から第2-04節までの内容を復習する。（2.0h）
第6回	第2章[3] マルチメディア	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2-05節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第2章の全ての内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第7回	第3章[1] 基数変換、補数と固定小数点	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3-01節から第3-02節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第3-01節から第3-02節までの内容を復習する。（2.0h）
第8回	第3章[2] シフト演算、論理演算	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3-05節から第3-06節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第3-05節から第3-06節までの内容を復習する。（2.0h）
第9回	第3章[3] 計測と制御、AI	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3-08節・第3-10節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第3-08節・第3-10節の内容を復習する。（2.0h）
第10回	第3章[4] 線形代数、確率・統計	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3-11節から第3-12節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第3章の全ての内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第11回	第4章[1] アルゴリズム、配列	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4-01節から第4-02節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第3-05節から第3-08節までの内容を復習する。（2.0h）
第12回	第4章[2] 連結リスト、キューとスタック	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4-03節から第4-04節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第4-03節から第4-04節までの内容を復習する。（2.0h）
第13回	第4章[3] 木構造、データの探索	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4-05節から第4-6節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第4-05節から第4-06節までの内容を復習する。（2.0h）
第14回	第4章[4] データの整列、アルゴリズムの計算量	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4-07節から第4-08節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第4-07節から第4-08節までの内容を復習する。（2.0h）
第15回	第4章[5] プログラムの性質、プログラム言語とマークアップ言語	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4-09節から第4-10節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第4章の全ての内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第16回（定期試験）	講義で取り扱った範囲内での基本情報技術者試験の過去問をベースとした、筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6640-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報処理技術演習Ⅳ	223～	3･4年生・後期	2単位	選択	宮﨑　武 合田　和正 平川　淳一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)の開催する「ITパスポート試験」に合格か、 「情報処理技術演習Ⅰ」および「情報処理技術演習Ⅱ」を習得済であるか、 または、それ相当の学習をしていると認められる資格などを持っているもので まだ「基本情報技術者試験」や「応用情報技術者試験」に合格していないもの。 前期開講の「情報処理技術演習Ⅲ」を履修済みであることが前提となる。 （編入生などで上述の単位を取得していない学生は個別に判断する）

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではIPAの国家資格である「基本情報技術者試験」に合格することを目指し、テクノロジー分野を中心にA,B科目問題を併せて各テーマ毎に内容の解説と演習問題を解くことで基礎知識を積み重ねていく。前期の「情報処理技術演習Ⅲ」の講義から続ける形式でテキストを読み進めていく。本講義では、テキスト後半から「第8章 情報セキュリティ」と「第10章マネジメント系」「第11章ストラテジ系」「第12章 科目B対策」の各章を数回ずつに分割して解説していく。本講義の受講者は「情報処理技術演習Ⅲ」を履修済みであることを想定している。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

基本情報技術者試験に出題される3分野（テクノロジー、マネジメント、ストラテジ）のうち、前期「情報処理技術演習Ⅲ」で取り扱わなかったテーマついて、各個別のテーマ毎に基礎的な知識を学習する。その後で、実際に過去の試験で出題された問題を演習として解いてみて、どのような解法を取ることが求められるのかについて解説を行う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習では参加者それぞれに問題を解いてもらいます。また、各章末毎にその章で取り扱った内容に関する問題を出題するので、各自で解答を作成してクラスルームに提出してもらいます。
また、ITパスポート試験に合格していない学生については、併せて学内のiパスコンテストにも積極的に参加してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

毎回の講義中にそれぞれの節で説明した内容について実際に過去出題された問題を解きます。また、各章毎に学習の振り返りを課題と併せて提出します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
令和08年 イメージ＆クレバー方式で よくわかる かやのき先生の 基本情報技術者教室	栢木 厚	技術評論社	978-4297152451

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
キタミ式イラストIT塾 基本情報技術者 令和08年	きたみりゅうじ	技術評論社	978-4297153014

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(50%)、各講義での演習や授業参加態度(50%)

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回の講義中にそれぞれの節で説明した内容について実際に過去出題された問題を解きます。また、各章毎に学習の振り返りを課題と併せて提出します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、第8章[1] 情報セキュリティ管理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8-01節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第8-01節の内容を復習する。（2.0h）
第2回	第8章[2] 脅威とマルウェア、サイバー攻撃	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8-02節から第8-03節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第8-02節から第8-03節までの内容を復習する。（2.0h）
第3回	第8章[3] 暗号技術	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8-04節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第8-04節の内容を復習する。（2.0h）
第4回	第8章[4] 認証技術、利用者認証とネットワークセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8-05節から第8-06節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第8章の全ての内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第5回	第10章[1] プロジェクトマネジメント、スコープ・コストマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	教科書第10-01節から第10-02節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第10-01節から第10-02節までの内容を復習する。（2.0h）
第6回	第10章[2] タイムマネジメント、ITサービスマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	教科書第10-03節から第10-04節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第10-03節から第10-04節までの内容を復習する。（2.0h）
第7回	第10章[3]　システム監査と内部統制	
	事前学習（内容・時間）	教科書第10-05節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第10章の全ての内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第8回	第11章[1] ソリューションビジネスとシステム活用促進、経営戦略、マーケティング戦略	
	事前学習（内容・時間）	教科書第11-01節から第11-03節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第11-01節から第11-03節までの内容を復習する。（2.0h）
第9回	第11章[2] ビジネスインダストリ、品質管理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第11-06節から第11-07節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第11-06節から第11-07節までの内容を復習する。（2.0h）
第10回	第11章[3] 会計・財務、知的財産権とセキュリティ関連法規	
	事前学習（内容・時間）	教科書第11-08節から第11-09節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第11-08節から第11-09節までの内容を復習する。（2.0h）
第11回	第11章[4] 労働・取引関連法規と標準化、オペレーションズリサーチ	
	事前学習（内容・時間）	教科書第11-10節から第11-11節までを読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第11章の全ての内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第12回	第12章[1] 科目B対策　復習：第4章　アルゴリズムとプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第4章の内容を復習する。（2.0h）
第13回	第12章[2] 科目B対策　擬似言語[1]	
	事前学習（内容・時間）	教科書第12章前半を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第12章前半の内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第14回	第12章[3] 科目B対策　擬似言語[2]	
	事前学習（内容・時間）	教科書第12章後半を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	講義内容を確認する。第12章の全ての内容を復習し章末課題に解答する。（2.0h）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	教科書を通して忘れている内容が無いか調べる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	基本情報技術者試験の受験日程や受験方法を調査し、次回の試験機会に挑戦する（2.0h）
第16回（定期試験）	講義で取り扱った範囲内での基本情報技術者試験の過去問をベースとした、筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5440-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
計測・制御論 （教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～	3・4年生・後期	2単位	選択	麻生　隆史

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	コンピュータシステムの基礎知識を理解しておくこと。			

授業概要　Course Outline

現在、私たちの周辺には、産業用・民製用を問わず、エレクトロニクス機器があふれています。そして、それらの内部にはマイコンと呼ばれる超小型のコンピュータが組み込まれ、高性能・高機能な制御システムを構成しています。特に様々な機器がコンピュータを介してどのようなシステムで構築されコントロールされているのかを知ることが重要です。
本科目では、建学の精神に基づき、高度情報化社会の要請をふまえ、身の回りのエレクトロニクス機器の内部構成を理解する上で、共通して必要となる計測及び制御システムに関する知識を学びます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

情報学分野のひとつのシステムである計測・制御について深く理解し、パソコンやネットワークを用いてシステム設計が行えるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎講義時間内に計測・制御に関するテーマを提示し、受講者全員でディスカッションを行います。各自の積極的な発言を望みます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡はメールにて行います。又、オフィスアワーは、研究室にて行います。自由に来室願います。調整が必要な場合はすべてグーグルクラスルームを積極的に活用します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎講義終了前に課題を設定しますので、メールにて課題の回答を提出してください。また、ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
特になし			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
計測・制御テクノロジーシリーズ11 プロセス制御	高津　春雄	コロナ社	4-339-0336108

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業に取り組む態度（10%）及び定期試験（80%）及び毎講義に設定した課題の回答メール（10%）により学習成果を総合的に評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業終了後の評価を全員に伝達し、コメント形式の助言を各々の学生にフィードバックする

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	制御システムとコンピュータ（オリエンテーション）	
	事前学習（内容・時間）	制御システムとコンピュータについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	制御システムを用いた応用事例を考察する（2時間）
第2回	センサ	
	事前学習（内容・時間）	センサの種類について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	センサを用いている機器について実例を考察する（2時間）
第3回	定位置検知センサ	
	事前学習（内容・時間）	GPSの仕組みを調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	定位置検知センサが用いられている事例を考察する（2時間）
第4回	光及び温度検知センサ	
	事前学習（内容・時間）	光及び温度を検出するシステムを調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	光及び温度検知センサを用いた機器を考察する（2時間）
第5回	超音波センサ	
	事前学習（内容・時間）	超音波センサが用いられている事例を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	超音波センサを用いている機器を考察する（2時間）
第6回	アクチュエータの種類	
	事前学習（内容・時間）	アクチュエータの概念を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	アクチュエータを用いている機器を考察する（2時間）
第7回	直流モータと交流モータ	
	事前学習（内容・時間）	直流と交流の違いを調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	直流モータと交流モータの機器への応用を考察する（2時間）
第8回	ステッピングモータ及びサーボモータ	
	事前学習（内容・時間）	ステッピングモータ及びサーボモータの違いを調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ステッピングモータ及びサーボモータの実用例を考察する（2時間）
第9回	圧電素子	
	事前学習（内容・時間）	身近に利用されている圧電素子を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	圧電素子と静電素子の違いを考察する（2時間）
第10回	アナログ制御とデジタル制御	
	事前学習（内容・時間）	アナログとデジタルの違いについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	アナログ制御とデジタル制御の得意不得意分野を考察する（2時間）
第11回	フィードバック制御	
	事前学習（内容・時間）	なぜフィードバックが必要なのか調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	フィードバック制御により得られる実例を考察する（2時間）
第12回	制御システムのステップ応答	
	事前学習（内容・時間）	ステップ応答がなぜ必要なのか調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	制御システムにおけるステップ応答の役割を考察する（2時間）
第13回	制御アルゴリズム	
	事前学習（内容・時間）	アルゴリズムとは何かを調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	制御アルゴリズムの高速化手法を考察する（2時間）
第14回	現代制御理論	
	事前学習（内容・時間）	システム制御の歴史を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	未来における制御システムを考察する（2時間）
第15回	制御システムと通信システム	
	事前学習（内容・時間）	身近な通信システムを調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	通信システムにおける制御の実例を考察する（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）	
1EMN-5670-12E	1EDN-5670-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
消費者行動論	共通	1年生・後期	2単位	選択	秋吉 浩志

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営やマーケティング、消費者行動、ブランド論に興味をもつ学生は積極的に履修をすすめる。経営に関する1分野としてとても大切な科目である。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づき、消費者行動の基礎理論を包括的に講義する。毎回講義ではパワーポイントを使用し、プレゼンテーション方式で授業を行う。また、講義ではオリジナルプリントを使用するが、プリントの内容について授業中質問をするので、質問に答えられるよう集中しておくこと。
この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）選択科目である。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

景気の動向、経済政策、企業経営、文化・ライフスタイル、ファッション、さらには国際化＆グローバル化にいたるまでさまざまな動向を探り、世の中の消費者行動を分析する力を養う。小売店のバイヤー、Webビジネス関係企業、マーケティング関係の企業、マスコミ関係の就職等を望んでいる学生は履修を勧める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、プリント以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

この科目は経営学検定試験の初級「マーケティング」部分の基礎内容にもふれている。また販売士（リテールマーケティング）受験希望者は、必ず履修することを薦める。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定した期日までに秋吉までメール（akiyoshi@g.kiis.ac.jp））で提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する また、マーケティング論で使用したテキストの用意も薦める。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
消費者行動論	青木幸弘他	有斐閣アルマ	978-4641124639
消費者・コミュニケーション戦略	田中洋他	有斐閣アルマ	978-4641122741

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート（60%）、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。（30%）、授業態度、ミニテストなど（10%）を基準とする。
パソコン（タブレット型も含む）、携帯（スマートフォン）その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格（0点）にする。基本的に座席指定を行う。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回講義終了後に課題を提出してもらいます。.それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。
なお、課題のほかに、自身が講義で学んだことも問います。きちんと自分自身しっかりと理解しているかを確認していただきます。なお内容によっては教員が質問したり、意見を述べてフィードバックする場合もあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	消費者行動論とはなにか＆ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第2回	消費者行動とマーケティング：身近な個人個人の行動を考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第3回	消費社会とはなにか①：消費社会の誕生と発展ついて考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第4回	消費社会とはなにか②：日本での消費社会の発展を歴史を追って考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第5回	消費者行動論の基礎理論①：消費者行動を把握するための6つの理論について考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第6回	消費者行動論の基礎理論②BMEモデル、刺激反応モデル、S-O-R理論について考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第7回	消費者行動論の基礎理論③脳科学的分析方法など最新の消費者行動理論を考える	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第8回	ライフコース、ライフスタイル、ライフサイクルの3類型について考える	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第9回	国際的消費者行動論①「国際的消費者行動と文化について」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第10回	国際的消費者行動論②「現地適応化か、国際標準化か」グローバル消費者行動への提言	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第11回	東アジアの文化と消費者行動論①「日本・韓国・中国の基礎文化比較と消費者行動」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第12回	消費者行動とブランド形成について①「ブランドとはなにか」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第13回	消費者行動とブランド形成について②「ブランド形成に必要なものはなにか」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第14回	消費者行動とインターネットにおける相互性について「ネット上の消費者行動」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第15回	消費者行動とライフ設計、そして「AIも含めたこれからの消費者行動分析について」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）	
1EMN-5070-22E	1ENN-5070-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
デジタルビジネス論	223～	2年生・後期	2単位	選択	秋吉 浩志
Webサービス論	219～222	2年生・後期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①マーケティング論・消費者行動論、経営戦略論、経営情報論Ⅰ・Ⅱを履修している学生に薦める。 ②デジタル社会における総合的なネットビジネスを通じた問題点を探るため、ネットビジネスに興味のある学生を求めます。

授業概要 Course Outline

本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づいた授業を展開する。前半はデジタル社会におけるWebサービス・広告＆マーケティングの基礎を展開し、中盤は広告計画、実践、後半はWebサービスの変化をより具体的に説明を行う。さらにはWebサービスを通じた社会的な問題もとりあげる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当する	デジタルビジネスに関わっている、例えば企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐にわたる実務経験を中心に講師が講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。特に実務的なグループワークが重要である。

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

現代のあらゆるデジタルビジネス（Webサービス）の基礎を展開してゆく。よって、広告、放送関係業界、通販業界、企業の企画、マーケティング担当者を目指す学生に対して、知識・教養・実践力・想像力などを身につけることを目標としている。デジタルビジネスは原題のあらゆるデジタルビジネスに関する基礎理論を外部講師の講義を中心に紹介していく。経営情報について、また、デジタルビジネス関連に興味のあるものは、選択をすすめる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④グループワークなども実践し、考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。
など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jp.にメール連絡をしておくことを薦める。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに設定したクラスルームの課題欄に提出してください。
また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する。
資料に関してはGoogleクラスルームを活用して配布する場合もあるので教員の案内に注意を払うこと。
2021以前の学生でWebサービス論の単位を取っている学生は履修できない。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
はじめてでもよくわかる！ デジタルマーケティング集中講義 わかりやすい広告論 これからの広告の教科書	カティサーク 押切 孝雄 石崎徹 佐藤達郎	マイナビ出版 八千代出版 かんき出版	978-4839961619 978-4842915647 978-4761270957

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート、講義内での課題や発表・発言・議論、グループワーク。出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。、授業態度、ミニテストなどを基準とする。またポートフォリオの内容作成を毎時間行ってもらう。
資料に関してはGoogleクラスルームを活用して配布する。教員の案内に注意を払うこと。
また、ゲスト講師の回に理由があって休んだ学生には、その授業の録画動画を見てもらい、欠席者向け課題とレポートを提出していただく。
また、指示がない限り、スマートフォン、パソコンの使用を禁止する。
※この科目はアクティブラーニングを積極的に行うため、履修人数を20人までを上限とする。学内掲示板などに予約のためのGoogle form QRコードを掲示するので、それに従って予約をするように。20人を超えた場合はキャンセル順に履修できる連絡をするのでメールをなどを見逃がさないようにすること。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回講義終了後に課題を提出してもらいます。.それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。
なお、課題のほかに、自身が講義で学んだことも問います。きちんと自分自身しっかりと理解しているかを確認していただきます。なお内容によっては教員が質問したり、意見を述べてフィードバックする場合もある。さらに外部講師や自治体などにもプレゼンを行い、その意見を聞くなどのフィードバックもあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンスおよびデジタルビジネス社会における「Webサービス」について	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。課題もある場合がある。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第2回	デジタルビジネスとは①そもそもデジタルビジネスとは何か	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第3回	デジタルビジネスとは②広告としてのWebのありかた	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第4回	メディアを考える①四大メディアからデジタル化が進むWeb関連のメディアへ	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第5回	メディアを考える②新たなメディアの台頭について（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第6回	SNSの普及とデジタルメディア（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第7回	デジタルビジネスとデジタル音楽と映像について（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第8回	映像や音声のデジタル化とAI生成について（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第9回	デジタルビジネスと体験接点型メディア	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第10回	企業組織やキャリア教育におけるデジタル化の進展について（ゲスト講師）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第11回	グローバル化するデジタルビジネス（Webサービス）とメディア	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第12回	デジタルマーケティングの世界：デジタルマーケティングの範囲について	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第13回	ゲーム業界の世界（デジタル化の進展によるゲームの変化）について（外部講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第14回	AR（拡張現実）、VR（仮想現実）、MR（複合現実）について（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第15回	デジタル社会におけるビジネス展開上の消費者参加＆発信型メディアの台頭とまとめ	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）	
1EMN-5010-22E	1ENN-5010-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
SNS活用と問題解決	219～	2年生・前期	2単位	選択	秋吉　浩志

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	太宰府地区ならびにその周辺地区の方々と積極的に交流するので、書く（メモをとる）、聴く、話す、考える力を要求する。また、基本的なSNSを利用していることが条件である。 また、マーケティング、消費者行動の基礎知識が必要になるため、この科目をすでに履修している学生にすすめる。

授業概要　Course Outline

SNSと問題解決（コミュニケーションデザイン）は主にSNSなどを利用した人間の生活・活動に密着した科目であり、生活と不即不離の関係にある。今日の情報化社会において、地域の問題解決を生産される製品や地域の情報を発信、ブランド化に繋げるなど、地域や消費者に好ましい印象を持たせるための問題解決をさぐる。よって講義とにフィールドワークによって生活者･社会人として必要なコミュニケーション能力を高める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本学のアドミッションポリシーやカリキュラムポリシーにもある高度な情報に関する知識と経営の知識を融合を目指した科目のひとつである。さらに講義とフィールドワークなどを通して、社会と密接に関りながら、発想力を強化し、企画・立案等のコンセプトワークの作成やプレゼンテーション能力の向上ならびに個人個人の社会人としてのコミュニケーション能力（デザインとスキル）習得することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①講義内では毎回ディスカッション（討論）を行なってもらう
②個人またはチームごとにプレゼンテーションを行う（3回開催予定）
③地域のフィールドワークに参加し、コミュニケーションを行い、問題解決の策定を行う（1回開催予定）
④講義は学生同士の討論とディベートを中心とするため、教員はテーマの提供とアドバイスしか行わない
⑤学外の住民との協議の様子は録画するため、この回を欠席した学生は動画を見てもらい課題にも取り組むこと

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

この科目は少人数でしか運営できない科目のため、予約限定先着20名履修可能とする。（1回目の講義で履修をやめた人数分繰りあげで受講可能：最大人数を20名とする）
予約日を掲示板等で発表するので、掲示板を注意深く見ておくこと。
予約はGoogle Formにて行う（先着順）ので、履修Web登録ができたとしても、それは無効とする。

事前に内容について聴きたい学生は、予約して研究室に来ること。
質問メールアドレス（共有）：akiyoshi@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。
過去旧カリキュラム「SNS応用演習」の科目を履修し、単位を取れた学生はこの科目は履修できない。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
問題解決の進め方〔新訂〕	秋光 淳生他	放送大学教育振興会	978-4595319556

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

プレゼンテーション・フィールドワークの内容、課題レポート・課題作品等(40%)
評価の観点：出席、発表、提出物の内容、創意工夫の成果、自宅学習の程度等。（40%）
期末試験（20%）
チームによる3回のフィールドワーク参加とプレゼンテーションの発表に参加できない学生は評価の対象外となるので、同じチームの成員に迷惑をかけないように臨んでもらいたい。（無断欠席、遅刻はいかなる理由があろうとも一切認めない）。指示があるとき以外はスマートフォンなどの電子機器などの使用を禁止する。守れない場合は失格処分とする。
あた、フィールドワークを行うが、基本的に土日を活用する（2回程度）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回講義終了後に課題を提出してもらいます。.それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。
なお、課題のほかに、自身が講義で学んだことも問います。きちんと自分自身しっかりと理解しているかを確認していただきます。なお内容によっては教員が質問したり、意見を述べてフィードバックする場合もある。さらに外部の住民や自治体などにもプレゼンを行い、その意見を聞くなどのフィードバックもあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	準備学習　オリエンテーション（履修の前提条件）自己紹介＆ワークチーム決定	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。課題もある場合がある（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと（2h）
第2回	大宰府市個人商店や住民、観光インフルエンサーと地域の問題点についての協議	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第3回	太宰府のコンテンツ、問題点の発見と問題解決方法のチーム発表（パワーポイント）1回目	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第4回	太宰府のコンテンツ、問題点の発見と問題解決方法のチーム発表（パワーポイント）2回目	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第5回	情報発信のありかたと情報発信におけるSNSの利用による問題解決討論	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第6回	SNS使用で魅力あるコンテンツとWeb文章とはなにか	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第7回	太宰府情報発信サイトを利用した実践的な情報発信を考える(主にSNSを活用する)	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第8回	太宰府情報発信サイトを利用した実践的な情報発信を考える(主にSNSを活用する)	
		テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第9回	情報とコミュニケーションデザインの役割について	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第10回	言語、視覚によるコミュニケーション法、色彩の特質と効果およびサインとシンボルについて	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第11回	コンサルタントを含めたプレゼンテーション発表	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第12回	図と言語、また写真や動画を使ったコンテンツ企画＆作成計画について	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第13回	多面的なコミュニケーションによる地域の問題発見と問題解決	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第14回	地域問題において発見した問題をどのように解決するか、問題解決に向けての企画立案と提案	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第15回	地域創造と地域発展の課題と問題点（まとめ）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習 （内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第16回 （定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）
1EGN-5030-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ（教職関連科目 選 高等学校 情報）	224～	2年生・前期	2単位	選択	クリス フリン
	221～223 経営情報学科				
TOEIC Ⅰ（教職関連科目 選 高等学校 情報）	219・220 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること ③英検3級程度の英語能力は基準			

授業概要 Course Outline

テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。英検の問題も入れて学習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP）、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論（DEBATE）できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。試験日 1月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリン までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 2 (4th Edition)	Atsushi Mizumoto Mark D. Stafford	桐原書店	978-4-34255263-2

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題を クラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Daily Life　品詞の違い、広告を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、TOEICについてネットで調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Places　カード、通知を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	People　代名詞、図表とメモを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	Travel　資料と手紙を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Business　動詞の形、通知・メモを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Office　手紙を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Technology　語い関係、メモと概要を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Personnel　記事を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	Management　接続詞、通知を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Purchasing　レシートを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Finances　時制、レシピを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Media　記事を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Entertainment　Eメールを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Health　FAXを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	TEST　定期試験 準備	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	テスト範囲を記録し、学習する。(2hr＋)
第16回（定期試験）	定期試験はTOEIC　TEST　の形式の縮小版です。LISTENING COMPREHENSION (Part 1, Part 2, Part 3) and READING　COMPREHENSION Part 4, Part 5, Part 6, Part 7). Test will be 60 Minutes	

ナンバリング（Numbering）
1EGN-5040-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ（教職関連科目 選 高等学校 情報）	224～	2年生・後期	2単位	選択	クリス フリン
	221～223 経営情報学科				
TOEICⅡ（教職関連科目 選 高等学校 情報）	219・220 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること ③英検準2級程度の英語能力は基準

授業概要 Course Outline

前期に続いて、テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。英検の問題も学習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP）、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

21世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論（DEBATE）できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日 1月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリンまでメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 3 4th Edition	Atsushi Mizumoto Mark D. Stafford	桐原書店	978-4-342-55264-9

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

学習成果に対するフィードバック(指導と助言） Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題を クラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Daily Life　品詞の違い、広告を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、TOEICについてネットで調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Places　カード、通知を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	People　代名詞、図表とメモを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	Travel　資料と手紙を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Business　動詞の形、通知・メモを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Office　手紙を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Technology　語い関係、メモと概要を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Personnel　記事を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	Management　接続詞、通知を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Purchasing　レシートを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Finances　時制、レシピを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Media　記事を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Entertainment　Eメールを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Health　FAXを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	定期試験の準備	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	テスト範囲を記録し、学習する。(2hr＋)
第16回（定期試験）	定期試験はTOEIC　TEST　の形式の縮小版です。LISTENING COMPREHENSION (Part 1, Part 2, Part 3) and READING　COMPREHENSION Part 4, Part 5, Part 6, Part 7). Test will be 60 Minutes	

ナンバリング（Numbering）
1EGN-6280-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネス英語	224～	3・4年生・前期	2単位	選択	藤内　響子
ビジネス英語Ⅰ	221～223 経営情報学科				
	219・220 経営情報学科	2年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	英語の基礎力を持っていること。熱意を持って学習や発表に取り組めること。

授業概要　Course Outline

商品価格や為替相場決定のメカニズムから説き起こして、関税、経済ブロック、対外債務、南北格差問題、さらには経済成長が地球環境に及ぼす影響まで。身の回りで起こっている様々な経済事象の中から、最も大きな変化をとげつつあるテーマを題材に選び、今日の世界経済を語るうえで欠かせないテーマを英語で学ぶものである。
なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

基本的な経済事項を英語で理解できる様になること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容を敷衍する形で現実に社会の中で起きている経済事象を確認し、問題点等をまとめて、授業で発表してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室（272）にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。
ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Let's Enjoy Business English	佐藤哲三、佐藤勇治、池田賢治　他	南雲堂	978-4-523-17828－6　C0082

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語 Evergreen	川崎芳人 他	いいずな書店	978-4-86460-721-6 C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学修の取組みについて、メールまたはGoogleclassroomでお問い合わせください。折り返して連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第2回	Britons brace as sales tax hiked to 20%①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第3回	Britons brace as sales tax hiked to 20%②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第4回	Administration keeping close watch on yen rate①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第5回	Administration keeping close watch on yen rate②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第6回	Consumer prices fall; jobless rate eases①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第7回	Consumer prices fall; jobless rate eases②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第8回	U.S. stocks up first time this month①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第9回	U.S. stocks up first time this month②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第10回	Android handsets outsell iPhones①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第11回	Android handsets outsell iPhones②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第12回	Kedanren, Rengo, in wage talks faceoff①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第13回	Kedanren, Rengo, in wage talks faceoff②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第14回	Struggling Nokia scores patent victory over Apple①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第15回	Struggling Nokia scores patent victory over Apple②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第16回 （定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1SAN-6130-YYE

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
特別実習・講義（会計） ファイナンシャル・プランニング	223～	1年生・前期	2単位	選択	平川　淳一

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	・国家検定「3級ファイナンシャル・プランニング技能士」試験の合格を目標にする人 ・受講マナーを守れる人 ・電卓を準備しておいてください

授業概要　Course Outline

私たちのライフプランに関わってくる年金や保険、貯蓄やローン、税制や不動産、贈与や相続といった内容について包括的に学びます。暮らしとお金の相談員が、ファイナンシャルプランナーです。
銀行や証券会社、不動産会社だけではなく、一般企業の事務職においても必要とされる知識を習得することができます。
国が認定する検定資格「FP技能士3級実技試験」の内容を学習範囲とします。
FP3級試験の過去問題を教材とし、検定試験の合格レベルに到達することを目指していきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅲ 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に基づいて、年金や保険、税金、法律などの社会制度について、複眼的な知識の習得を目標とします。
・国家検定「3級ファイナンシャル・プランニング技能士」の実技試験合格を目標とします。
・自身のライフプランを実現するために、ファイナンシャル・プランニングが行えるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
・目的を持ち、自らの意思において学ぶ姿勢が必要です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・外部試験 ：FP技能検定 3級 （試験実施機関：一般社団法人 金融財政事情研究会）
試験日　　：毎月実施、CBT（Computer-Based Testing）方式による試験
試験会場 ：主要都市で開催、受検料：学科試 4,000円、験実技試験 4,000円
URL：　http://www.kinzai.or.jp/

・学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。
・中間テスト（第9回実施）の結果と学習状況をフィードバックします。
状況に応じて個別にフィードバックをする場合があります（理解度不足、受講態度不良など）。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリわかる FP技能士3級 テキスト＋問題集 2025-2026年	白鳥 光良	TAC出版	978-4300116098

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリとける FP技能士3級 過去+予想問題 2025-2026年	TAC FP講座	TAC出版	978-4300116128

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 30%、課題 30%、定期試験 40%
※平常点は、学習意欲、受講マナー等（減点、欠席扱い、受講停止の場合あり）から評価します。
注）スマートフォン及びデジタル機器の不適切使用（写真撮影や録画を含む）は認めていません。
※課題は、毎回実施する復習テストと確認テストの結果から評価します。
※定期試験をFP技能検定 3級受験（外部試験）に代えることを認めます（結果の提出義務、最低得点ラインあり）。
※FP技能検定 3級に合格した人は、単位を認定します。

・成績評価の基準：3級FP技能検定実技試験の受験レベルに達しているか。
ライフプランニングと資金計画：年金や健康保険、住宅ローンなどについて理解しているか。
リスク管理：生命保険、損害保険などの各種保険商品について理解しているか。
金融資産運用：株式や債券、投資信託などについて理解しているか。
タックスプランニング：所得税や法人税などの税金と控除について理解しているか。
不動産：不動産の売買や法令などについて理解しているか。
相続・事業承継：相続や贈与、事業の継承について理解しているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業の概要、FP技能士試験についての説明、FP試験問題の体験	
	事前学習（内容・時間）	「3級ファイナンシャル・プランニング技能士」の内容と出題範囲を調べて、ノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	オリエンテーションテストを振り返り、再確認をして疑問点は解消しておくこと。（2.0h）
第2回	ライフプランニングと資金計画 ① FPの倫理と関連法規、健康保険 （テキスト P. 5 ～ 30）	
	事前学習（内容・時間）	FPに関わる関連法規について調査し、その概要や社会的役割をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	健康保険に関するテキスト問題演習の解答、採点、正答確認をしておくこと。（2.0h）
第3回	ライフプランニングと資金計画 ② 社会保険の仕組み （テキスト P. 32 ～ 45） リスク管理 ① 生命保険 （テキスト P. 50 ～ 67）	
	事前学習（内容・時間）	社会保険の仕組みについて調査し、その概要や社会的役割をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	生命保険に関するテキスト問題演習の解答、採点、正答確認をしておくこと。（2.0h）
第4回	リスク管理 ② 生命保険商品、第三分野の保険、損害保険 （テキスト P. 88 ～ 105） 金融資産運用 ① 金融資産を取り巻く環境、様々な金融商品1 （テキスト P. 90 ～ 107）	
	事前学習（内容・時間）	生命保険商品について調査し、その概要や社会的役割をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	生命保険と金融商品に関するテキスト問題演習の解答、採点、正答確認をしておくこと。（2.0h）
第5回	金融資産運用 ② 様々な金融商品2、金融商品の税金 （テキスト P. 112 ～ 128） タックスプランニング ① 所得税の仕組み （テキスト P. 132 ～ 155）	
	事前学習（内容・時間）	金融商品の税金について調査し、その概要や社会的役割をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	金融商品の税金に関するテキスト問題演習の解答、採点、正答確認をしておくこと。（2.0h）
第6回	タックスプランニング ② 所得控除、税額控除 （テキスト P. 157 ～ 176） 不動産 ① 不動産の調査と取引 （テキスト P. 180 ～ 189）	
	事前学習（内容・時間）	所得税の仕組みについて調査し、その概要や社会的役割をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	所得・税額控除に関するテキスト問題演習の解答、採点、正答確認をしておくこと。（2.0h）
第7回	不動産 ② 不動産に関する法律 （テキスト P. 195 ～ 216） 相続・事業継承 ① 贈与の基本、相続の基本 （テキスト P. 220 ～ 233）	
	事前学習（内容・時間）	不動産の取引や法律について調査し、その概要や社会的役割をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	不動産に関するテキスト問題演習の解答、採点、正答確認をしておくこと。（2.0h）
第8回	相続・事業継承 ② 相続のしくみ、相続財産の評価 （テキスト P. 238 ～ 261）	
	事前学習（内容・時間）	贈与と相続について調査し、その概要や社会的役割をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	贈与と相続に関するテキスト問題演習の解答、採点、正答確認をしておくこと。（2.0h）
第9回	中間テスト（第1回～8回までに学んだ内容から出題します。）※採点結果と学習状況をフィードバックします。	
	事前学習（内容・時間）	第1回～8回までの内容を復習し、中間テスト対策をしておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	中間テストを振り返り、苦手分野の知識を補強するとともに疑問点を解消しておくこと。（2.0h）
第10回	[実技] ライフプランニングと資金計画 ： 公的年金に関する計算 （テキスト P. 296 ～ 304）	
	事前学習（内容・時間）	公的年金に関する計算方法を確認し、年金額を増やす方法についても調べておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	自身の公的年金額を計算し、老後の生活をシミュレーションしておくこと。（2.0h）
第11回	[実技] 金融資産運用 ： 株式投資指標と債券利回りに関する計算 （テキスト P. 305 ～ 310）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある企業の株価と債券を3社以上調べ、投資対象として比較評価をしておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	株式投資指標や債券利回りを計算して、投資評価と将来のシミュレーションをしておくこと。（2.0h）
第12回	[実技] タックスプランニング ： 所得控除額、総所得金額の計算 （テキスト P. 311 ～ 320）	
	事前学習（内容・時間）	源泉徴収票を読み取り、所得控除の種類と意味、計算方法をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	自身の世帯（家庭）の所得について調べ、所得控除額と総所得金額を計算しておくこと。（2.0h）
第13回	[実技] 不動産 ： 建蔽率・容積率の計算 （テキスト P. 324 ～ 330）	
	事前学習（内容・時間）	実際の不動産物件を5件調べて、その情報をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	売地情報を5件調べて、それぞれの建蔽率と容積率を計算してレポートを作成しておくこと。（2.0h）
第14回	[実技] 相続・事業承継 ： 相続税に関する計算 （テキスト P. 331 ～ 335）	
	事前学習（内容・時間）	事業承継に関するニュースを調査して、相続問題を抱える企業についてまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	相続事例を3件調べ、公表情報から相続税額を計算してレポートを作成しておくこと。（2.0h）
第15回	総復習 実技試験 ： 個人資産相談業務	
	事前学習（内容・時間）	第1回～14回までの授業内容と、これまで記録したノートを見直しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	総復習をもとに、定期試験の対策を立てておくこと。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験 ※FP本試験に準じた内容で実施します。	

ナンバリング（Numbering）
1SIN-6180-YYE

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
特別実習・講義（情報） アプリ共同開発実践	223～	1～4年生・通年	2単位	選択	宮﨑　武 合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	2026年6月から2027年1月まで予定されている、「九州アプリチャレンジキャラバン」に参加して、実際にアプリ開発を行っている学生のみを対象とする。何らかの理由で、「九州アプリチャレンジキャラバン」へ参加しなかった学生、または、途中まで参加したが途中で参加を取りやめた学生は、原則として単位認定は行えない。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、複数の大学・高等専門学校・専門学校の学生によるチームが社会人メンターのサポートを受けながら実際にアプリ開発を行うコンテストである「九州アプリチャレンジキャラバン」に参加し、そこで得た知見や現状の課題と解決への取り組みについて報告をする。また同じコンテストに参加している学生同士で協力や意見交換を行って共通の課題への対応や解決方法を模索する。これらの活動を通して、社会人として必要な共同作業や連絡・報告方法などについて学習する。なお、一部の講義は実際に九州アプリチャレンジキャラバンのイベントに参加することが求められ、また必要に応じてZoomなどを用いたオンライン形式の講義を行う場合がある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本講義では以下のような到達目標がある
1. アプリ開発のため、複数の組織・複数の専門の異なる学生間での共同作業を行う
2. 各自に与えられた課題や必要な成果物を期限内に取りまとめる能力を身に付ける
3. これまでに実現していない機能やアイディアを創造しアプリという形で表現する
4. コンテストで自分たちが開発したアプリについて成果発表を行う
5. 定期的な振り返りによりこれまで行った活動と今後への課題を確認し、解決方法を模索する

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

自主的に「九州アプリチャレンジキャラバン」への参加を行い、自らのアイディアや持ちうるスキルなどをチームの中でどのようにして活かしていくか考える。また、社会人メンターによるサポートをどのように受け止め、それに対してどのように対処するのかをチームとしてまとめる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274, 269）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,
ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

「九州アプリチャレンジキャラバン」実行委員会と連携し、イベントへの参加状況や参加レポートを確認する。また、各段階での振り返りや開発したアプリ、コンテストで使用した発表資料などを成果物として提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成果物（60%）、振り返りレポート（20%）、簡易振り返りフォーム記入（20%）
複数人で分担して作成した成果物に関しては、各自がどの部分を主に担当したのか明確にすること。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの講義回毎に簡易な学習の振り返り内容をフォームで提出してもらい、これに対して必要な助言を行う。また、講義回の間隔が開いていることもあり随時質問や参考資料の提示・共有などを補助する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	これまでに受講した講義でアプリ開発に関連する内容を復習する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。共同開発者を考える。(0.5h)
第2回	過去参加者が作成したアプリレビュー	
	事前学習（内容・時間）	過去に九州アプリチャレンジキャラバンで発表されたアプリを調査する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。また興味を持った点や改良点などを考察する。(0.5h)
第3回	九州アプリチャレンジキャラバン参加申し込み	
	事前学習（内容・時間）	九州アプリチャレンジキャラバンのWebサイトを見てどのような活動なのかを予習する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	九州アプリチャレンジキャラバンの学校説明会を聴講し、参加手続きを行う(0.5h)
第4回	アイディアソン＆チームマッチングイベントへの準備	
	事前学習（内容・時間）	アイディアソン＆チームマッチングイベントで何が行われるか調査する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。イベント参加のための準備を行う(0.5h)
第5回	アイディアソン＆チームマッチングイベントへの参加	
	事前学習（内容・時間）	アイディアソン＆チームマッチングイベントで行いたい目標を決める(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。イベントに参加する。(0.5h)
第6回	アイディアソン＆チームマッチングイベントの振り返り	
	事前学習（内容・時間）	アイディアソン＆チームマッチングイベントについてまとめる(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアイディアなどの修正を行う(0.5h)
第7回	アイディア発表会への参加（1）	
	事前学習（内容・時間）	アイディア発表会に向けて作成した資料を修正する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。アイディア発表会に参加する(0.5h)
第8回	アイディア発表会への準備（2）	
	事前学習（内容・時間）	アイディア発表会に向けて必要な資料などを作成する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアイディアなど修正を行う(0.5h)
第9回	アイディア発表会への参加（3）	
	事前学習（内容・時間）	アイディア発表会に向けて作成した資料を修正する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。アイディア発表会に参加する(0.5h)
第10回	アイディア発表会の振り返り	
	事前学習（内容・時間）	アイディア発表会についてまとめる(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアイディアなど修正を行う(0.5h)
第11回	コアイベントに向けての準備（1）	
	事前学習（内容・時間）	コアイベントにいて調べる(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第12回	コアイベントに向けての準備（2）	
	事前学習（内容・時間）	コアイベントにいて調べる(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第13回	コアイベントの振り返り	
	事前学習（内容・時間）	コアイベントについてまとめる(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第14回	プロトタイプ発表会への準備（1）	
	事前学習（内容・時間）	プロトタイプ発表会に向けて必要な資料などを作成する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第15回	プロトタイプ発表会への準備（2）	
	事前学習（内容・時間）	プロトタイプ発表会に向けて必要な資料などを作成する(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第16回	プロトタイプ発表会の振り返り	
	事前学習（内容・時間）	プロトタイプ発表会についてまとめる(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)

第17回	10月コアイベントへの準備（1）	
	事前学習 （内容・時間）	10月コアイベントに向けて必要な資料などを作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第18回	10月コアイベントへの準備（2）	
	事前学習 （内容・時間）	10月コアイベントに向けて必要な資料などを作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第19回	10月コアイベントの振り返り	
	事前学習 （内容・時間）	10月コアイベントについてまとめる(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第20回	11月コアイベントへの準備（1）	
	事前学習 （内容・時間）	11月コアイベントに向けて必要な資料などを作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第21回	11月コアイベントへの準備（2）	
	事前学習 （内容・時間）	11月コアイベントに向けて必要な資料などを作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第22回	11月コアイベントの振り返り	
	事前学習 （内容・時間）	11月コアイベントについてまとめる(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせてアプリなど修正を行う(0.5h)
第23回	コンテストへの準備（1）	
	事前学習 （内容・時間）	コンテストで使用する資料を作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせて資料を修正する(0.5h)
第24回	コンテストへの準備（2）	
	事前学習 （内容・時間）	コンテストで使用する資料を作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせて資料を修正する(0.5h)
第25回	コンテストへの準備（3）	
	事前学習 （内容・時間）	コンテストで使用する資料を作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせて資料を修正する(0.5h)
第26回	コンテスト参加	
	事前学習 （内容・時間）	コンテストで使用する資料を作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせて資料を修正する(0.5h)
第27回	コンテストの振り返り	
	事前学習 （内容・時間）	コンテストについてまとめた資料（プレゼン・レポートなど）を作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせて資料を修正する(0.5h)
第28回	振り返りイベントへの準備	
	事前学習 （内容・時間）	振り返りイベントで使用する資料を作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせて資料を修正する(0.5h)
第29回	振り返りイベント参加	
	事前学習 （内容・時間）	振り返りイベントで使用する資料を作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	簡易振り返りフォームに記入して提出する。必要に合わせて資料を修正する(0.5h)
第30回	九州アプリチャレンジキャラバンの振り返りとまとめ	
	事前学習 （内容・時間）	これまでのアプリ開発活動についてまとめた資料（プレゼン・レポートなど）を作成する(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	開発したアプリや作成した資料などをまとめてGoogleクラスルームに提出する(0.5h)
第31回 （定期試験）	試験（成果物の提出）	

専門教育科目

（経営情報学科）

ナンバリング（Numbering）
1AMN-6440-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ベンチャービジネス入門	226～ 経営情報学科	1年生・前期	2単位	選択	遠藤　真紀
	219～225 経営情報学科	1年生・後期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・大学を卒業して社会に出れば働く場として必ず「企業」と関わります。企業に雇われてサラリーマンになることを当然とせず，自ら事業を興すなど，ビジネスマンとして自分の仕事を創造していく気概が望まれます。 ・新聞・雑誌やWebニュース等を読む習慣を身に付けるなど，社会のあらゆる事象に興味を持ち，自身の人生を成り行きに任せるのではなく，自分の理想とする社会，仕事，働く意義ややり甲斐とは何かを考え，前向きに生きようとする事が前提です。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・過去の実務経験を基に，ベンチャービジネスに限らず社会やビジネスそのもの，および企業の目的・意義について議論を展開していきます。
・ビデオの資料等を活用し，身近な事例を題材に講義を進め，働く事の意義やベンチャー企業および社会そのものに関心を持ってもらい，IT人材（高度情報化人材）としての基本的な知識の修得や企業と自分との関係を知ろうとする積極性を養っていきます。卒業後，社会に出て「何をすべきか」、「自分ならどうするか」という自らの答えを導き出せる思考能力を培っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・自分自身と社会や企業との関わりについて理解できるようになる。
・IT人材（高度情報化人材）として，広く社会の仕組みや仕事の意義を理解し，自分の将来像について想い描けるようになる。また「やり甲斐のある仕事や企業とは何か」を知り，現実的な思考，手段，人間関係等のあり方について理解している。
・大企業等に執着することなく，またサラリーマン（給料のために働く人）となる事と当然とせず，自ら会社を興すなど，ビジネスマン（自分のやりたい仕事を創造し実践する人）として社会で活躍できるマインドを身につける。
・同時に，事業の成功や失敗のケースを学び，社会に出てから役に立つ経営学について関心を持ち，簿記や販売士等各種の資格にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し，自身の意見を発言していくことが求められます。
・ベンチャー企業や革新的企業の経営や戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を行います。また演習に基づきディスカッションを行うため，ビデオ内容の聞き取り力，メモ力，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
事業創造入門	井上・黒澤・田中	中央経済社	978-4-502-51331-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ベンチャー企業	松田修一	日本経済新聞出版社	10-4532113032

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率やディスカッションへの参加状況，各種レポートの作成・提出状況，資格試験等への取り組み，ポートフォリオの活用や教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：社会の状況や企業および仕事の意義について理解している。自分自身の将来について明確な意識を持ち，社会やベンチャーを含む企業等との関わりについて理解している。また各種の資格試験に挑むくらい，経営情報学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

基本的には，Googleクラスルームを使って，適宜，学習状況について質問等を受け付け，フィードバックおよび助言・指導をします。また試験結果を踏まえたフィードバックも，必要に応じてGoogleクラスルームを通じて行います。その他，連絡事項等もGoogleクラスルームを活用するため，連絡メッセージ等はよく確認するようにして下さい。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習（内容・時間）	ベンチャーや起業の体験談およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスして収集し，自分の学習材料として整理しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	本講義のアウトラインについての復習，課題への取り組み（2時間）
第2回	企業の目的と企業の意義ーベンチャービジネスとは何か	
	事前学習（内容・時間）	配布資料等の事前確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布資料・講義内容および自身の提出課題内容の再確認（2時間）
第3回	社会や企業と自分との関わりを考える（ビデオ演習）	
	事前学習（内容・時間）	提出課題に基づき，企業と自身の関わりについて検討する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	自分の将来を考える：選択の自由	
	事前学習（内容・時間）	ビデオ演習を含む，前回講義内容を基に，自身の将来像について検討する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成①：会社への依存 or 自立（自律）	
	事前学習（内容・時間）	自身の将来像に関連させ，働く事の意義について検討する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	現代社会とベンチャー企業	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等に基づき，ベンチャー企業の特徴等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	起業への準備（1）企業の事を知る①会社の種類	
	事前学習（内容・時間）	課題演習として「企業」について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	起業への準備（1）企業の事を知る②株式会社	
	事前学習（内容・時間）	課題演習として「株式会社」について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	起業への準備（1）企業の事を知る③企業の存在意義	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	起業への準備（2）ビジネスの事を知る：経営者の視点と労働者の視点	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	起業への準備（3）自分の潜在的能力を伸ばす：求められるジンザイ（人材→人財）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成②：ベンチャー・ビジネスの事例	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	起業への準備（4）起業の仕方を知る①ビジネスアイティアの見つけ方	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	起業への準備（4）起業の仕方を知る②開業までのスケジュールとビジネスプラン	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AMB-5332-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学総論Ⅱ	223～経営情報学科	1年生・後期	2単位	選択	井上　善海
	219～222 経営情報学科			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営情報学科の必修科目であり，IT人材となるための基礎として，経営情報および企業の経営・マネジメントに関心を持っている事。日頃から社会（世の中）の出来事や経済・企業に関係するニュース等に関心を持つ事。 経営学総論Ⅰを履修している事。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
本授業は、経営戦略、イノベーションの知識の理解と習得を目的とします。企業経営の究極の目的は、競合する企業に勝つことではなく、将来にわたって企業を存続・成長させることにあります。企業の戦略は、軍事用語の戦略から派生したものですが、必ず勝てる方法などありません。だとすれば、負けないための知識を身につけ、負けない戦い方をすれば良いのです。しかし、未だ、勝ちに行く戦略を採っている企業がなんと多いことか。基本的に企業はつぶれるもの。だから英知を駆使して、長期的に存続・成長させる戦略を考え、実行しなければなりません。負けない戦略は守りの戦略ではありません。負けない態勢をつくり、未来を創り出すイノベーションを起こす戦略です。本授業で紹介する事例は全社、負けない態勢をつくり、イノベーションを起こしている企業です。それも、成長している産業ではなく、成熟または衰退している産業においてイノベーションを起こし成長している企業なのです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

1．経営戦略の基本的な要素を説明できる。
2．勝ちに行く戦略と負けない戦略の違いを説明できる。
3．イノベーションは成長している産業だけでなく、成熟・衰退している産業でも実現できる根拠を説明できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。
また，企業経営や経営戦略に関するビデオを聴講し，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑ等で対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
負けない戦略	井上善海	中央経済社	978-4-502-44111-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営戦略入門（第2版）	井上善海・大杉奉代・森宗一	中央経済社	978-4502421310

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（60%）と授業内課題レポート（40%）を基準とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢として良かったところ悪かったところなどを、試験結果やレポート、ポートフォリオやルーブリックの提出状況に基づいて説明します。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの事前確認および企業経営等に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため、積極的にアクセスし、自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第2回	企業経営を考える	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	勝ちに行く戦略と負けない戦略（テキスト序章）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	企業家精神を発揮する（テキスト第１章１）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	社会事業責任を果たす（テキスト第１章２）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	理念に基づき経営をする（テキスト第１章３）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	長期的な変化に適応する（テキスト第２章１）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	講義のまとめ（第1回～第7回）と演習	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	人を大切にする（テキスト第２章２）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	自社の立ち位置を明らかにする（テキスト第２章３）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	他者の力を借りる（テキスト第３章１）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	適正規模を維持する（テキスト第３章２）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	事業の仕組みをつくる（テキスト第３章３）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	負けない戦略の実行（テキスト終章）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（第9回～第14回）と演習	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5260-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
企業金融	219～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	片山　准一

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎的な経営学と簿記・会計学の知識があること。 経営学と簿記・会計学で使われている日本語が理解できること。

授業概要　Course Outline

企業金融（コーポレート・ファイナンス）の諸問題を資本調達論の観点から商法（会社法）と関連付けて論じる。企業金融を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・講義する。講義内容を『原理論』『段階論』『現状分析論』の三段階に分割して論じていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

デュプロマポリシーに基づきこの授業では企業の経営財務の諸問題を資本調達論の観点から歴史的・論理的に論じ得ること。講義全体を通して、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

可能な限り双方向のディスカッションを中心とした講義を心掛けたい。講義中基本的な質問を行うので、積極的に回答してもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員と連絡をとりたい場合は、研究室を訪ねること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ＆ルーブリックに必要事項を記入の上、最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営財務論	片山伍一・後藤泰二	ミネルヴァ書房	ISBN4-623-01750-8 C3034

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験での評価（70%）　講義中の質問への回答及び板書の記帳等の評価（30%）第1回の講義でノートの取り方など、詳細を説明するので、必ず、出席すること。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回、授業終了後、コメントペーパーを提出してもらう。次回の講義で朱書して返却する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	はじめに　企業金融（コーポレート・ファイナンス）の講義案を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	企業金融・経営財務等の概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	講義概要をよく復習しておくこと。疑問があれば次回の講義で質問すること。（120分）
第2回	資本とは　資本の循環・回転について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	資本とは何かを質問するので、回答できるようネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	資本の循環・回転図を何度も書いて理解すること。（120分）
第3回	資本及び資本家概念について　「機能資本家」「無機能資本家」概念について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	資本・資本家概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	「機能資本家」「無機能資本家」概念及び「出資」と「貸付」概念の相違を理解すること。（120分）
第4回	企業形態の展開過程　個人企業→合名会社→合資会社→株式会社の展開過程を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	企業組織諸形態を事前にネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	唯物弁証法による企業形態の展開過程を理解すること。（120分）
第5回	株式会社発生前史　ｺﾝﾒﾝﾀﾞ・ｿｷｴﾀｽの企業形態を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	ｺﾝﾒﾝﾀﾞ・ｿｷｴﾀｽ等の概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	株式会社の発生過程を史実に基づいて理解すること。（120分）
第6回	株式会社発達史　東印度会社　運河会社　鉄道会社　重化学工業会社への株式会社形態を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	ｱﾀﾞﾑ・ｽﾐｽの「諸国民の富」4（岩波文庫）を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	株式会社の発展には「バブル」がついて回ることを理解すること。（120分）
第7回	株式会社の古典的学説　ｱﾀﾞﾑ・ｽﾐｽ ｶｰﾙ・ﾏﾙｸｽ ﾙﾄﾞﾙﾌ・ﾋﾙﾌｧｰﾃﾞｨﾝｸﾞ等の学説を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	「諸国民の富」「資本論」「金融資本論」を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	上記、3冊を熟読すること。（120分）
第8回	ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ①　会社支配論―所有者支配論　経営者支配論　金融機関支配論について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	配布資料を元に文献検索しておくこと。（120分）
第9回	ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ②　米国のｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	配布資料を元に文献検索をしておくこと。（120分）
第10回	ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ③　日本のｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	配布資料を元に文献検索しておくこと。（120分）
第11回	ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ④　持株会社とｺｰﾎﾟﾚｰﾄ・ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	配布資料を元に文献検索しておくこと。（120分）
第12回	企業集中①　企業間競争について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	競争概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	競争概念を理解すること。（120分）
第13回	企業集中②　ｶﾙﾃﾙ　ﾄﾗｽﾄ　ｺﾝﾁｪﾙﾝについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	ｶﾙﾃﾙ・ﾄﾗｽﾄ・ｺﾝﾁｪﾙﾝ概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	ｶﾙﾃﾙ・ﾄﾗｽﾄ・ｺﾝﾁｪﾙﾝ概念を理解すること。（120分）
第14回	競争と独（寡）占　資本主義的競争→独（寡）占へのプロセスについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	独占禁止法をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	企業の独占化への必然性を理解すること。（120分）
第15回	企業金融のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	講義の総括を行うので、復習しておくこと。講義全体を通して疑問があれば質問すること。（120分）
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて復習しておくこと。（120分）
第16回（定期試験）	定期テスト	

ナンバリング（Numbering）						
1AMB-6192-22E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営史		224～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也
日本経営史		219～223 経営情報学科				
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	経済学、日本事情（留学生のみ）、経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱなどの科目を履修し単位を取得していること。					

授業概要　Course Outline

今日おこっている日本経済・経営の諸問題 や今後の展開も、その成立過程、つまり歴史によって規定されている要素はとても多い。この講義では、近代以降の日本の企業経営はどのように展開してきたのか、その結果現在どのような特徴を持つようになったのかについて学ぶ。さらに、史実を垣間見ることによって、すべての社会、産業、経営に関する新しい知識の習得に努め、社会に貢献できる産業人としての基本を醸成する。
なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・歴史を単なる過去に対する知識ととらえず、今日的な問題の源流ととらえる。
・経済・経営の諸問題を、自分自身の身近な現 象として認識し、それに対する知識や見識を深める。
・今後社会人として、会社や社会や他国などと共有できるような知識や意識を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1からの経営史	宮本又郎 他編著	碩学社	978-4502089008

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
企業家に学ぶ 日本経営史― テーマとケースでとらえよう	宇田川　勝　他編著	有斐閣	978-4641184008

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（10%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（5%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について） 江戸時代の経営		
	事前学習（内容・時間）	教科書2頁、7頁～24頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第2回	明治の企業家たち		
	事前学習（内容・時間）	教科書27頁～43頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第3回	近代産業経営の成立		
	事前学習（内容・時間）	教科書45頁～61頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第4回	財閥の多角化と組織		
	事前学習（内容・時間）	教科書71頁～85頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第5回	重化学工業化と新興財閥		
	事前学習（内容・時間）	教科書87頁～103頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第6回	技術経営の誕生		
	事前学習（内容・時間）	教科書105頁～121頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第7回	「日本型」人事管理とサラリーマンの誕生		
	事前学習（内容・時間）	教科書123頁～140頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第8回	都市型ビジネスの成立		
	事前学習（内容・時間）	教科書143頁～154頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第9回	経済民主化と企業変革		
	事前学習（内容・時間）	教科書169頁～183頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第10回	大量消費社会の到来と家電メーカーの発展		
	事前学習（内容・時間）	教科書185頁～201頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第11回	企業集団とメインバンク		
	事前学習（内容・時間）	教科書203頁～220頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第12回	日本的生産システムの形成		
	事前学習（内容・時間）	教科書223頁～241頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第13回	流通のイノベーション		
	事前学習（内容・時間）	教科書243頁～261頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第14回	変貌する総合商社		
	事前学習（内容・時間）	教科書263頁～279頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第15回	日本的経営とその内容		
	事前学習（内容・時間）	教科書281頁～298頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）		

ナンバリング（Numbering）
1AMN-6572-Z2ET

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
労務管理論 （教職関連科目　必　高等学校　情報）		219～ 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	1．経済学、経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱなどの科目を履修し単位を取得していること。2．受講者は日本経営協会主催のマネジメント検定試験Ⅲ級を受験して合格すること。					

授業概要　Course Outline

企業は労働力という経営資源を獲得しなければ企業活動を実現することができない。そのためにヒトの獲得や活用、さらには労働者（従業員）と企業との間の対立の解決に関わる諸活動や調整が必要となる。この講義では、人事・労務管理、あるいは人的資源管理と呼ばれるこれらの活動の概要と経営的意義について学習を深めていく。さらには、これまでに学んだ経営学やマーケティングなどの基本的知識も活かしながら、社会で活躍できる人材としての基本を培う。
なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

企業における仕事がどのような性質を有しているか、また企業で働くことが自分の今後の生活にどのような意味をもつ ことになるのかを考えられるようにする。さらに、日本経営協会主催のマネジメント検定試験Ⅲ級に合格できる知識を身に付ける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。
日本経営協会主催 マネジメント検定試験Ⅲ級を受験して、合格を目指す。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新しい人事労務管理 第6版	佐藤博樹　他著	有斐閣	978-4641222274

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
人的資源管理論	平野文彦　編著	税務経理協会	4-419-03544-7
人的資源管理〔新訂〕	原田順子・平野光俊　著	放送大学教育振興会	978-4-595-14104-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（10%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（5%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について） 人事管理とは		
	事前学習（内容・時間）	教科書Ⅰ～Ⅴ、2頁～15頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第2回	組織をつくる		
	事前学習（内容・時間）	教科書16頁～28頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第3回	働くということ		
	事前学習（内容・時間）	教科書129頁～152頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第4回	システムとしての人事管理		
	事前学習（内容・時間）	教科書288頁～290頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第5回	社員格付け制度：雇用関係を支える仕組み		
	事前学習（内容・時間）	教科書69頁～95頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第6回	採用と退出：雇用関係を交わす		
	事前学習（内容・時間）	教科書33頁～40頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第7回	配置：仕事を割り振る		
	事前学習（内容・時間）	教科書42頁～53頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第8回	評価と報酬：報いる		
	事前学習（内容・時間）	教科書99頁～124頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第9回	人事育成：「育つ」と「育てる」の交差		
	事前学習（内容・時間）	教科書157頁～185頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第10回	労使関係：従業員尊重のための人事管理		
	事前学習（内容・時間）	教科書241頁～257頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第11回	非正社員の基幹化		
	事前学習（内容・時間）	教科書189頁～211頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第12回	女性の活躍推進		
	事前学習（内容・時間）	教科書226頁～228頁、304頁～306頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第13回	ワークライフ・バランスと働き方改革		
	事前学習（内容・時間）	教科書230頁～232頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第14回	高齢者雇用		
	事前学習（内容・時間）	教科書59頁～65頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第15回	グローバル経営と国際的人事管理／人事管理の未来		
	事前学習（内容・時間）	教科書261頁～288頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）		

ナンバリング（Numbering）
1AMA-5350-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営思想	219～222 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	坂上　宏

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①社会思想について関心を持っていること。 ②下記の参考書に目を通しておくこと。 ※禁止事項：私語、　正当な理由のない遅刻、 許可のない入退室、携帯電話の使用、その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

フェルディナンド・テンニースとマックス・ウェーバーの思想をとりあげて、近代社会の構造的変容と人間性の疎外の問題について考えていきます。授業の前半は、ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの特徴について解説します。後半は、近代資本主義とキリスト教プロテスタンティズムの倫理観の関連について解説します。最後に社会における支配の正当性と官僚制について概述します。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業の目標は次の二つです。
第一にテンニースの所説を通じて、ゲマインシャフト(共同社会)とゲゼルシャフト(利益社会)の特徴、およびそれぞれの社会において人間はどのような存在として位置づけられているか、そして人間同士を結びつけるのは何であるか、という点について理解できるようになること。　第二にウェーバーの所説を通じて、近代資本主義社会の精神的土台となった禁欲的合理主義について、そして官僚制の特徴と官僚制社会における人間のあり方について理解できるようになること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。
・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見をお伝えする予定です。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『ゲマインシャフトとゲゼルシャフト上下』 『資本主義の精神とﾌﾟﾛﾃｽﾀﾝﾃｨｽﾞﾑの倫理』	テンニエス ウェーバー	岩波文庫 岩波文庫	4003420713 4003400000 4003420934

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出）。　成績評価の基準 ：①ゲマインシャフトについて、特に個人と集団の関係、産業の特徴などについて理解しているか。②ゲゼルシャフトについて、特に個人と集団の関係、産業の特徴、交換と価値の意味、労働のあり方、都市と人間のあり方などについて理解しているか。③資本主義の精神について、特に合理主義、世俗内禁欲と職業召命観などについて理解しているか。④支配の正統性と官僚制の特徴、官僚制社会の将来と人間のあり方について理解しているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、テンニースの思想とウェーバーの思想について概要紹介　:ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習（内容・時間）	テンニースは、近代社会がどのようにして発展してきたと考えていますか。第1回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	経済における合理主義の特徴について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第2回	テンニースの思想①（合理主義と歴史主義の総合、本質意志と選択意志、社会発展論、ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの本質的概念）:ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習（内容・時間）	テンニースは社会を結びつけるものについてどのように考えていますか。第2回授業プリントを見て答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの本質的概念について説明してください。（2時間）
第3回	テンニースの思想②（ゲマインシャフトの基本的特徴、初期的形態、父子関係、ゲマインシャフトの発展、ゲマインシャフト的意志）:ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習（内容・時間）	テンニースは、ゲマインシャフトがどのように発展していくと説明していますか。第3回授業プリントを読んで答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゲマインシャフトの基本的特徴について説明してください。（2時間）
第4回	テンニースの思想③（ゲマインシャフトの成員を結びつける精神、ゲマインシャフトの重要な根本法則、ゲゼルシャフトにおける交換と価値、擬制、ゲゼルシャフト的価値と必要、個人の労働と社会の利益）:ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習（内容・時間）	テンニースは、ゲゼルシャフトにおける交換と価値についてどのように述べていますか。第4回授業プリントを読んで答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゲゼルシャフト的価値と必要について説明してください。（2時間）
第5回	テンニースの思想④（ゲゼルシャフトは相互的、集団の成立、犠牲的人格、法人、ゲゼルシャフト的な法秩序の前提、「市民社会」ま、たは「交易ゲゼルシャフト」、競争と同盟）:ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習（内容・時間）	ゲゼルシャフトは相互的とはどういう意味ですか。第5回授業プリントを読んで答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゲゼルシャフトにおける個人や集団の行動の特徴について説明してください。（2時間）
第6回	テンニースの思想⑤（国家のゲゼルシャフト的な発展、世界市場の成立、大都市と人間の運命、合理化の進展と人間関係の変化、世界都市と人間疎外）:ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習（内容・時間）	国家のゲゼルシャフト的な発展について、第6回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	合理化の進展と人間関係の変化について授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第7回	テンニースの思想⑥（現代の運命、人間らしい生活を取り戻せるか…）、ウェーバーの思想①（問題意識、経歴）:ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習（内容・時間）	近代資本主義に関するウェーバーの問題意識について、第7回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	経済における合理主義について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第8回	ウェーバーの思想②（西洋近代の資本主義の合理的性格、資本主義の倫理観（精神）、生活態度、合理主義の特徴、プロテスタンティズムの思想）:ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習（内容・時間）	プロテスタンティズム運動と思想の特徴について、第8回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	資本主義の倫理観について授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第9回	ウェーバーの思想③（信仰と救済、世俗内禁欲と職業、1647年「ウェストミンスター信仰告白」）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習（内容・時間）	カルヴァン派の二重予定説について、第9回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	世俗内禁欲と職業について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第10回	ウェーバーの思想④（救済の自己確信と職業労働、神と人間の関係、職業召命観）:ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	カルヴァン派は、救済の確信をどのようにして得られると考えていますか。第10回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	職業召命観について授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第11回	ウェーバーの思想⑤（信仰と営利、利得と節約、宗教的倫理の喪失）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習（内容・時間）	信仰と営利について、第11回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カルヴァン派の世俗内禁欲の思想と資本主義のエートスについて授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第12回	ウェーバーの思想⑥（新しい職業倫理の誕生、「精神のない専門人」と「心情のない享楽人」、近代的官僚制社会の特徴と将来）:ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習（内容・時間）	「独自の市民的な職業のエートス（習慣、道徳」としての「資本主義の精神」について、第12回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ウェーバーの言葉「精神のない専門人」、「心情のない享楽人」について授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第13回	ウェーバーの思想⑦（近代官僚制の重要な特徴、官僚制は必然的な支配形態、官僚の支配する社会）:ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習（内容・時間）	近代官僚制の重要な特徴としてウェーバーは4つあげています。それは何ですか。第13回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	官僚制社会の進行が生み出すものとして、ウェーバーはどのように述べていますか。（2時間）
第14回	ウェーバーの思想⑧（支配の正統性そのⅠ）:ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習（内容・時間）	支配の正統性としてウェーバーは3つあげています。それは何ですか。第14回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	合法的支配の内容について説明してください。（2時間）
第15回	ウェーバーの思想⑨（支配の正統性その2）:ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習（内容・時間）	伝統的支配の内容について説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	資本主義社会における人間の生き方について、あなたの考えを述べてください。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5740-X2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報テクノロジー（教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～ 経営情報学科	1・2年生・前期	2単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	この授業のルールに同意できる方のみ. 例えば, 授業中の飲食は禁止である. ただし, 健康上の理由があり, 事前に証明書を提出した場合は例外とする. 飲食が発見された場合(ガムの噛むなど含む)はまず「注意」を行い, 再度同様の行為が確認された場合は成績を「**0**」(zero)点とする. 高等学校における情報関連科目など入学前までに学習した情報関連科目があれば復習しておくこと.

授業概要　Course Outline

前半はコンピュータの仕組み, 後半はネットワークを含む情報システムの仕組みについて学ぶ.コンピュータの仕組みでは, 全体構成からハードウェア, ソフトウェア, コンピュータの情報表現や演算処理について学び, 一連の情報処理の中でそれらがどのように関わり, 利用されているかを理解できるようにする.情報システムの仕組みでは, その構築に欠かせないデータベース, ネットワーク通信, プログラミング言語の概要について学び, 企業と情報システムの関連やその業務に携わる職種や職業についても言及する.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業ではディプロマポリシーに基づいて, コンピュータや情報システムの基礎的な仕組みや構成を理解し, その知識を活用できるようにすることを目指する.
具体的にはITパスポートのテクノロジー分野に出題されるような基礎的な項目を理解することを到達目標とする.
また, 学生の理解の範囲内で, トピックを包括的にカバーするために, グループディスカッションを実施する.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型および演習型とグループディスカッションを併用して実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp ; Google クラスルーム

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので, 毎回PCを持参することが望ましい.
毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
コンピュータと情報システム（第3版）	草薙　信照	サイエンス社	978-4-7819-1560-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
コンピュータ概論: 情報システム入門 第9版	魚田 勝臣, 渥美 幸雄, 植竹 朋文, 大曽根 匡, 森本 祥一, 綿貫 理明	共立出版	978-4320124981

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験50%＋平常点 50%（「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」の提出,課題の提出,授業中のグループディスカッション・プレゼンテーション）」で評価する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,課題およびポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンスとコンピュータの歴史と性能	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第2回	コンピュータの基礎知識１（機器構成,CPU,情報の単位と接頭辞）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.26～p.36) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第3回	コンピュータの基礎知識２（データ表現,2進数とn進数,基数変換）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.38～p.39) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第4回	コンピュータの基礎知識３（算術演算,補数,論理演算）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.41) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第5回	ハードウェア１（中央処理装置と記憶装置）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.44～p.62) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第6回	ハードウェア２（入出力装置と周辺装置）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.64～p.72) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第7回	ソフトウェア（OS,言語,アプリケーション）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.78～p.91) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第8回	データ形式とマルチメディア（文字コード,文字・画像・音声・動画データ）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.96～p.106) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第9回	グループテーション発表会	
	事前学習（内容・時間）	各グループに発表用のスライドを作成し,準備を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	グループプレゼンテーションの質疑応答については各自復習すること.（2時間）
第10回	通信ネットワーク	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.110～p.132) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第11回	インターネットとセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.136～p.153) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第12回	コンピュータと情報システム	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.164～p.180) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第13回	データベースシステム	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.182～p.196) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第14回	システムの設計と開発	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.200～p.216) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ,各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第15回	システムの運用と管理	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について,教科書 (p.220～p.238) やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて,本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること.（提出するのは不必要）（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6381-U2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プログラミング入門 （教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～ 経営情報学科	2・3年生・前期	2単位	選択	桑原 重雄

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング経験は不要とする。 PCの基本操作（ファイル操作、ブラウザ操作等）ができることを前提とする。 将来、システムエンジニアやITを活用した業務に関心を持つ学生の履修を想定する。

授業概要 Course Outline

本授業では、Scratchを用いたビジュアルプログラミングを通して、プログラミングの基本的な考え方（アルゴリズム、処理の流れ、条件分岐、繰り返し、変数など）を体系的に学ぶ。
コード記述そのものよりも、「処理を順序立てて考える力」「仕様をもとに動作を設計する力」に重点を置き、システムエンジニアに不可欠な論理的思考力・問題分解力の基礎を養うことを目的とする。サンプルコードをもとに実際にプログラムを作成する。最終的には、応用演習課題をもとに、課題設定から設計・実装・改善までを一通り経験する。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	システム開発に関する実務経験をもとに、実際のシステム開発で重視される「処理の流れ」や「条件判断」「繰り返し」といった考え方を紹介する。Scratchでの演習を通して、プログラミング言語が異なっても共通する論理構造や設計の発想を理解させ、将来のシステムエンジニア業務につながる基礎的思考力の育成を図る。

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本科目修了時に、以下の事項ができるようになることを目標とする。
・プログラムの基本構造（順次処理・分岐・繰り返し）を説明できる
・簡単な処理内容をアルゴリズムとして整理できる
・Scratchを用いて、意図した動作を実現するプログラムを作成できる
・プログラミングがシステムエンジニアの業務において果たす役割を理解できる

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義において、短時間の説明の後に演習課題を中心とした学習を行う。
学生は、提示された課題に対して自ら考え、試行錯誤しながらプログラムを作成・修正する。
また、途中経過の共有や完成例の比較を通じて、自身の考え方を言語化し、他者の考え方から学ぶ機会を設ける。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

相談などは研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
必ず、研究室への来室は事前にメールで予約してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleFormsシート「Kiis学習ポートフォリオ・ルーブリック」の提出を平常点として加味する。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Scratchで学ぶ プログラミングとアルゴリズムの基本 **改訂第2版**	中植 正剛・太田和志・鴨谷真知子	日経BP	978-4822286170

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Scratchでたのしく学ぶプログラミング的思考	鷲崎 弘宜・齋藤 大輔・坂本 一憲	マイナビ出版	978-4839969738

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

評価項目c	割合	評価基準
課題提出	30%	各段階での課題の完成 資料の質
最終成果物	50%	最終成果物と振り返りレポートの質
平常点	20%	演習への取り組み状況主体性、積極性）姿勢
合計	100%	成績は、知識の理解度だけでなく主体的な学び・思考の深さ・実践的応用力を総合的に評価する

学習成果に対するフィードバック(指導と助言） Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

提出された課題や演習成果に対して、処理の考え方や構造に着目したコメントを行う。
単に正誤を示すのではなく、「なぜその処理になるのか」「他にどのような考え方があるか」を示し、理解の深化を促す。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション、Scratchのインストール	
	事前学習（内容・時間）	シラバスの確認、教科書を読む（教科書：第1章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる(2時間)
第2回	プログラムの流れ	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第2章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第3回	変数	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第3章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第4回	配列	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第3章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第5回	条件分岐	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第4章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第6回	繰り返し	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第4章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第7回	関数	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第5章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第8回	アルゴリズム①	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第6章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第9回	アルゴリズム②（チャレンジ作成）	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第6章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第10回	アルゴリズム③	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第7章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第11回	アルゴリズム④（チャレンジ作成）	
	事前学習（内容・時間）	教科書を参考にScratchに触れてみる（教科書：第7章）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明のあった操作をもう一度、実行してみる(2時間)
第12回	ステップアップ演習①	
	事前学習（内容・時間）	11回までの授業で作成したプログラムを復習しする(2時間)
	事後学習（内容・時間）	ステップアップ演習を完成させる(2時間)
第13回	ステップアップ演習②	
	事前学習（内容・時間）	11回までの授業で作成したプログラムを復習しする(2時間)
	事後学習（内容・時間）	ステップアップ演習を完成させる(2時間)
第14回	応用演習課題①	
	事前学習（内容・時間）	前回授業までのプログラムを復習する(2時間)
	事後学習（内容・時間）	応用演習課題に取り組む(2時間)
第15回	応用演習課題②	
	事前学習（内容・時間）	応用演習課題に取り組む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	応用演習課題の完成、振り返りレポート作成（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6590-U2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ（教職関連科目　必　高等学校　情報）	223～ 経営情報学科	2･3年生・後期	2単位	選択	桑原 重雄

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	PCの基本操作（ファイル操作、ブラウザ操作）ができること。 「プログラミング入門」を履修している、または同等のプログラミングの基本概念（順次、分岐、反復、変数など）を理解していること。 クラウドサービスおよびデータベースの基本的な役割について興味があること。

授業概要　Course Outline

本授業では、kintoneを用いたノーコード（/ローコード）開発を通して、業務を支える情報システムの基本構造と開発プロセスを学ぶ。
実際の業務を想定した課題をもとに、要件整理、データ設計、アプリ作成、改善までを一連の流れとして経験し、システムエンジニアに求められる「業務理解力」「論理的設計力」「改善視点」を養うことを目的とする。
コード記述よりも、「どのような業務を、どのような仕組みで支えるか」に重点を置く。
この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	システムエンジニアとしての実務経験をもとに、実際の企業における業務システムの役割、要件定義からシステム化までの考え方、中小企業・組織DXにおけるkintone活用事例などを紹介する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本科目修了時に、以下の事項ができるようになることを目標とする。
・業務内容を整理し、システム化すべき要件を説明できる。
・kintoneアプリを用いて、基本的な業務システムを構築できる。
・データ項目・入力ルール・一覧表示などを適切に設計できる。
・システムエンジニアに必要な設計思考・改善思考を理解できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

各回の講義では、簡潔な解説の後、kintoneを実際に操作する演習中心の学習を行う。
学生は課題に沿ってアプリを構築し、動作確認・改善を繰り返すことで、自ら考え、試し、修正するプロセスを経験する。
最終的には、簡単な業務システムを自力で設計・構築する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

相談などは研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
必ず、研究室への来室は事前にメールで予約してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleFormsシート「Kiis学習ポートフォリオ・ルーブリック」の提出を平常点として加味する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Kintone完全マニュアル	中村徹・情報親方	秀和システム	987-4798073705

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
作成資料を適宜配布する。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

評価項目c	割合	評価基準
課題提出	30%	各段階での課題の完成 資料の質
最終成果物	50%	最終成果物と振り返りレポートの質
平常点	20%	演習への取り組み状況(主体性、積極性)姿勢
合計	100%	成績は、知識の理解度だけでなく 主体的な学び 思考の深さ・実践的応用力を総合的に評価する

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

演習中および提出課題に対して、「要件と実装が整合しているか」、「設計内容が論理的に説明できているか」、「修正・改善の方向性が妥当か」等のフィードバックを行う。
単なる正誤の指摘ではなく、「なぜその設計にしたのか」「改善の余地は何か」を示し、理解の定着を図る。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション、kintoneと業務アプリ開発	
	事前学習（内容・時間）	シラバス確認とKintoneの概要確認（教科書：Chapter01～02）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の要点整理（2時間）
第2回	kintone基本操作①（アプリを使ってみる）	
	事前学習（内容・時間）	kintone操作、マニュアル確認（教科書：Chapter03）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の要点整理、操作で不明点をメモ（2時間）
第3回	kintone基本操作②（画面設定）	
	事前学習（内容・時間）	kintone操作、マニュアル確認（教科書：Chapter05）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	サンプルアプリを作成（2時間）
第4回	kintone基本操作③（フィールド設定）	
	事前学習（内容・時間）	kintone操作、マニュアル確認（教科書：Chapter05）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	サンプルアプリを作成（2時間）
第5回	kintone基本操作④（レコード編集、テーブル配置）	
	事前学習（内容・時間）	kintone操作、マニュアル確認（教科書：Chapter06）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	サンプルアプリを改善（2時間）
第6回	kintone基本操作⑤（フィールドの計算）	
	事前学習（内容・時間）	kintone操作、マニュアル確認（教科書：Chapter06）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	サンプルアプリを改善（2時間）
第7回	kintone基本操作⑥（アクセス権、プロセス管理）	
	事前学習（内容・時間）	kintone操作、マニュアル確認（教科書：Chapter07）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	アクセス権、プロセス管理の復習（2時間）
第8回	実装業務要件整理・要件定義	
	事前学習（内容・時間）	提示された要件をもとに質問を検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	要件定義書（簡易版）作成（2時間）
第9回	実装業務基本設計	
	事前学習（内容・時間）	要件定義書の再確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	基本設計メモ作成（2時間）
第10回	実装①（基本設計に基づく構築）	
	事前学習（内容・時間）	設計内容の確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	実装結果の振り返り（2時間）
第11回	実装②（テスト）	
	事前学習（内容・時間）	テスト観点整理（2時間）
	事後学習（内容・時間）	不具合と対応内容を整理（2時間）
第12回	仕様変更	
	事前学習（内容・時間）	既存要件・設計の再確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	仕様変更の影響範囲整理（2時間）
第13回	仕様変更対応①	
	事前学習（内容・時間）	修正内容整理（2時間）
	事後学習（内容・時間）	修正内容の実装（2時間）
第14回	仕様変更対応②（最終調整）	
	事前学習（内容・時間）	テスト項目再整理（2時間）
	事後学習（内容・時間）	成果物整理（2時間）
第15回	成果物の整理と総括（発表を行う場合もある）	
	事前学習（内容・時間）	成果物資料の作成（2時間）
	事後学習（内容・時間）	振り返りレポート作成（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6392-U2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
初級プログラミング実習 （教職関連科目　必　高等学校　情報）	219～222 経営情報学科	2・3年生・後期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	原則として、「情報リテラシー演習Ⅰ」に合格し、タイピングに不自由がないこと、 「プログラミング入門」に合格済、または同時に履修すること。 原則として、他学科履修を認めない。 ITパスポート試験に合格済であることが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、プログラミング統合環境の基本操作から始め、コーティング、コンパイル、デバック、実行といった基本的なソフトウェア開発活動について学ぶ。さらにそれらの手順、流れを実習によって体得する。プログラミング言語としてC言語を用いて、簡単なプログラムを例として、プログラミング技法を学ぶ。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

プログラミング言語であるC言語の文法を修得すること。次にプログラミングとは何か。アルゴリズムとは何かについて、C言語を通して学習する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容に関して受講者が自主的にテーマを設定してレポートを作成してもらう。対話型の授業を心がける。まず授業内容について、実習を行う前に解説します。学生自身が実習を通して積極的に授業に参加するしくみを行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：情報に関する検定試験を受験すること。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して提出すること。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学生のための詳解C	中村　隆一	東京電機大学出版局	978-4-501-54260-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学生のためのC	内山　章夫　他	東京電機大学出版局	978-4-501-52310-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや小テスト、演習、その他の課題等）が約50%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約50%
3) 次の2項目をきちんと理解しているか。①C言語の文法②プログラミングとは何か。
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、授業内容の説明、受講上の注意、プログラミングについて	
	事前学習（内容・時間）	プログラミングの概要について学習すること。テキスト1頁（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	プログラムとは何かについて理解を深めること（0.5時間）
第2回	ガイダンス、授業内容の説明、受講上の注意、プログラミングについて(2)実習環境について	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング環境の概要について学習すること。テキスト1頁（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	プログラムとはプログラミングとは何かについて理解を深めること（0.5時間）
第3回	プログラミング言語、C言語とは何か、C言語のスタイルについて： 座学・説明中心	
	事前学習（内容・時間）	プログラムの作成手順（テキスト1頁）、構造化プログラミングについて（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	流れ図について学習すること（0.5時間）
第4回	プログラミング言語、C言語とは何か、C言語のスタイルについて： 実習	
	事前学習（内容・時間）	プログラムの作成手順（テキスト1頁）、構造化プログラミングについてまとめること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	流れ図について実際に描いてみることを含め、学習すること（0.5時間）
第5回	文字列の出力（1）、文字列の出力（2） 演習問題： 説明・留意点、ヒントなど座学中心	
	事前学習（内容・時間）	データの出力（テキスト4～10頁）を読んでprintf関数について学習すること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題について自宅で確認すること（0.5時間）
第6回	文字列の出力（1）、文字列の出力（2） 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	データの出力（テキスト4～10頁）を読んでprintf関数の機能についてまとめること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書掲載分や授業中の実習問題の類題を自作してプログラミングしてみること（0.5時間）
第7回	変数と型宣言、演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト11頁、整数と実数について学習すること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題をもう一度確認すること（0.5時間）
第8回	変数と型宣言、演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト11頁、整数と実数の違いにきをつけてまとめること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書計算の実習問題について、99頁までどのような問題かを一度確認すること（0.5時間）
第9回	算術演算（加減乗除、剰余の計算） 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト10～17頁を重点的に目を通しておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第10回	算術演算（加減乗除、剰余の計算） 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト10～17頁を参照に目を通し、数学の演算記号との違いについてまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第11回	入力（1）入力（2）について 演習問題： 説明、座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト13～17頁を読んで、scanf関数について学習する（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第12回	入力（1）入力（2）について 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト13～17頁を読んで、scanf関数についてprintf関数と対比してまとめること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第13回	選択処理（if文）について 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト24～33頁を読んでおくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第14回	選択処理（if文）について 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト24～33頁を読んで、今回の新しい内容をまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第15回	選択処理に関する演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	第3章選択処理に関する項目を読んでおくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第16回	選択処理に関する演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	第3章選択処理に関する項目を読んで、具体的な制御文についてまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）

第17回	反復処理（for文） 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト47～50頁のfor文に関する学習（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第18回	反復処理（for文） 演習問題： 実習	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト47～50頁のfor文について、選択処理との違いをまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第19回	くり返し処理（while文） 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト50～51頁　while文に関して事前に読んでおくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第20回	反復処理（while文） 演習問題： 実習	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト50～51頁　while文に関して事前に読んでfor文とのちがいをまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第21回	反復処理（do-while文） 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト52～53頁　do-whileに関する事前理解（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第22回	反復処理（do-while文） 演習問題： 実習	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト52～53頁　do-whileに関して、for文、while文との違いをまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第23回	反復処理に関する総合的な演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習 （内容・時間）	for文、while文、do-while文について理解する事（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第24回	反復処理に関する総合的な演習問題： 実習	
	事前学習 （内容・時間）	for文、while文、do-while文について違いと使い分けを理解すること（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）

第25回	配列（1） 1次元配列について 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習 （内容・時間）	第5章　1次元配列について事前に読んでおくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第26回	配列（1） 1次元配列について 演習問題： 実習	
	事前学習 （内容・時間）	第5章　1次元配列について、これまでのデータ型との違いを理解しておくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第27回	配列（2） 2次元配列について 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト85～99頁の2次元配列について目を通しておくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第28回	配列（2） 2次元配列について 演習問題： 実習	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト85～99頁の2次元配列について、1次元配列との違いを整理しておくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第29回	総合演習	
	事前学習 （内容・時間）	これまでに学習したC言語の文法の確認（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	これまでに学習したC言語の文法についてまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習 （内容・時間）	これまで学習した実習問題の問題点を確認（0.5時間）
第31回 （定期試験）	プログラミング言語であるC言語の基礎的水準の内容に関する問題を出題予定	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6522-U2ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
マネージメントゲーム（教職関連科目　選　高等学校　情報）	219～ 経営情報学科	2・3年生・後期	2単位	選択	澤井　雅明

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	授業中のディスカッションやワークに積極的に参加すること。 マネージメントや企業経営等について関心があることが望ましい。 「マネージメント科学」を履修していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、ビジネスシーンにおいて求められるマネージメントの実践に当たっての知識や汎用的技能を身に付けます。幅広いマネージメントの領域において、本講座では特にコミュニケーションとチームマネジメントに注目し、ケーススタディや体感ゲームなどを行うことで、「わかる」と「できる」のギャップを理解し、実際に行うことができるようになるための技能について、様々な演習を通して理解を深めていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

目的達成のためには、チームをつくり、メンバーとコミュニケーションを進め、協力して課題を乗り越えてことが必要になります。そのためのチームマネージメントは、「わかる」と「できる」の間に大きなギャップが存在します。実際に取り組む難しさを知るとともに、現場で進めて行くための技法を理解し習得します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します
②マネージメントに関わる様々なケーススタディやゲーム教材を準備し議論することで、実際のビジネスシーンを体感できるような講義を行います。授業中のディスカッションやワークに積極的に参加してください。
③毎回の授業の終わりに授業内容をまとめた課題とレポート提出があります。またコメントカードの作成・提出もお願いしますので、感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、個別の授業ごとに課題に関連する教材・資料を配布または提示する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて授業の中で紹介していく			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（45%）、定期試験（55%）。平常点は、学修（学習）ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	本授業のテーマについてネット検索等で調べ、疑問点を整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	受講のためのネットワーク環境や資料を整備する（2.0h）。
第2回	コミュニケーション・マネージメント（1）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第3回	コミュニケーション・マネージメント（2）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第4回	リーダーシップ・マネージメント（1）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第5回	リーダーシップ・マネージメント（2）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第6回	フィードバック・マネージメント（1）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第7回	フィードバック・マネージメント（2）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第8回	問題解決・意思決定に向けてのマネージメント（1）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第9回	問題解決・意思決定に向けてのマネージメント（2）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第10回	創造性開発に向けてのマネージメント（1）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第11回	創造性開発に向けてのマネージメント（2）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第12回	組織活性化に向けてのマネージメント（1）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第13回	組織活性化に向けてのマネージメント（2）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第14回	組織活性化に向けてのマネージメント（3）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献などを用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	全体を振り返り、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	キーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第16回（定期試験）	定期試験の実施。	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6403-Z2ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング論 （教職関連科目 選 高等学校　情報）	共通 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング入門に合格していること。（編入生は別途対応） ビジネスプログラミング(他学科履修)に合格済であることが望ましい。 原則として、プログラミング未経験者(編入生含む)は受講不可。 ITパスポート試験に合格していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、フローチャートや変数表を活用して第三者が作成したプログラムを理解したり、更新したりできるようにする。また、逆に第三者が理解や更新を施すのが容易なプログラムの記述方法、例えば字下げや注釈添付なども学ぶ。さらに高度なプログラムを作成し、より高品質、より高信頼のプログラム作成を目指す。高品質を実現する方法の一つとしてGUI(Graphical User Interface)を用いた、プログラム作成にも挑戦してみる。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

プログラミング入門で学習したプログラミングの基礎理論に基づいて、そしてさらにイベント駆動やオブジェクト指向といった異なるプログラミング様式にも触れながら実際に多くのプログラムを作成しつつ、プログラミング理論への理解をいっそう深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学生のためのExcel VBA　第2版	若山芳三郎	東京電機大学出版局	978-4-501-55450-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	関連項目の総復習・プレースメント試験	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング入門の内容を復習し、プレースメント試験に備える。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題について復習。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	開発環境、文字列出力、命令文、GUI部品の基本	
	事前学習（内容・時間）	GUIとCUIについて調べる。GUI部品について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	基本データ型と宣言文、定数、演算子	
	事前学習（内容・時間）	基本データ型について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	データ型I（整数型を中心に）	
	事前学習（内容・時間）	整数型、浮動小数点数型、固定小数点数型について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	制御文I（選択構造）	
	事前学習（内容・時間）	制御文について調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	データ型II（整数型以外）	
	事前学習（内容・時間）	文字型、通貨型、配列について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	制御文II（反復構造）	
	事前学習（内容・時間）	繰り返し文（反復文）について調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	中間試験	
	事前学習（内容・時間）	第7回までの内容（プログラミング入門の内容を含む）を総復習して備える。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題について復習。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	プログラムの抽象化	
	事前学習（内容・時間）	抽象化・一般化、具体化・特殊化について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	手続きと関数I（戻り値なし）	
	事前学習（内容・時間）	手続きについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	手続きと関数II（戻り値あり）	
	事前学習（内容・時間）	関数について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	再帰とスタック	
	事前学習（内容・時間）	再帰、スタック、キューについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	応用プログラムI	
	事前学習（内容・時間）	12回までの内容をまとめる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	応用プログラムII	
	事前学習（内容・時間）	13回で何がよかった、足りなかったかを踏まえて準備する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容をまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、想定問題を作成し、解答の説明を考える。振り返りを書く。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）						
1AIN-6600-Z2ES						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級プログラミング （教職関連科目 選 高等学校 情報）		223～ 経営情報学科	3・4年生・後期	2単位	選択	上田拓実
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	初級プログラミング(または初級プログラミング実習) およびプログラミング論を両方とも合格していること。					

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では高度なプログラミング言語でのプログラム作成に必要な技術を身に着けることを目指す。また、講義中に行われる実習により、配列などの複雑なデータ構造やそれらのデータを操作するための演算子への理解を深める。そして、抽象化によるより見通しのよいプログラム開発について取り扱う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

初級プログラミング（または初級プログラミング実習）を基礎として、さらに高度なプログラミングに挑戦する。また、他者にも理解できるプログラミングができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてプログラミングをしてください。また、講義中に設ける演習時間に作成したプログラムについて各自説明してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは授業の前後で受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,
ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義中に各自のPCで小規模なプログラミングを行う演習を行います。また、宿題として次の講義までにもう少し規模の大きなプログラムを作成する課題を出すので次の講義が開始するまでにGoogleクラスルームにてファイルを提出します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新　わかりやすいJava 入門編　第3版	川場隆	秀和システム	978-4-7980-6775-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
独習Java 新版	山田祥寛	翔泳社	978-4-7981-5112-0
スッキリわかるJava入門	中山清喬／国本大悟	インプレス	978-4-295-00780-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(50%)、各講義でのプログラミング演習や授業参加態度(50%)

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各講義回毎に、簡単な演習課題を2，3題出題し、その解答について解説を行う。このとき、入力したプログラムが動作することを確認するとともに疑問点や不具合対応など必要な指導を行う。また、講義内の演習以外にホームワークを課す。これは次の講義までにGoogleクラスルーム上にファイルを提出する形式で行い、次の講義回冒頭で解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、開発環境のインストール、開発環境の構築	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読み、PCのアップデート等がないか確認する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章とスライド資料を読みながら開発環境を整える。課題提出のテストを行う（2.0h）
第2回	プログラムの書き方・変数	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.1節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第3回	演算子	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.4～2.6節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第4回	標準クラスのメソッド	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.7～2.10節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第5回	配列とレコード	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3.1, 3.2節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第6回	リスト（不変リストと可変リスト）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3.3, 3.4節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第7回	メソッド	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第8回	条件を作成する演算子	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.1節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第9回	if文	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.2節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第10回	switch文とswitch式	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.3,5.7節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第11回	繰り返し回数を指定するfor文	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.4節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第12回	while文とジャンプによる制御	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.5～5.6節を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第13回	オブジェクトの作成	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第14回	オブジェクトの仕組み	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第15回	継承	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8章を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	課題を行ってクラスルームに提出する（2.0h）
第16回（定期試験）	筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6414-Z2ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
中級プログラミング実習 （教職関連科目 選 高等学校 情報）	219～222 経営情報学科	3･4年生・後期	2単位	選択	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	初級プログラミング実習およびプログラミング論を両方とも合格していること。 ただし編入生などで、事前に面談を行って受講するのに十分な知識と技能を持っていると判断すれば、上述講義を受講していないか受講しながらであっても本科目の受講を妨げない。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではプログラムの作成仕様を満足するだけでなく、第三者にとって、理解、保守が容易なプログラムを作成できるようになることを目指す。その中で効率的なプログラミングや効果的な注釈文の書き方を体得していく。より高度なプログラミングに対応するために実習を通して配列などの複雑なデータ構造やそれらのデータを操作するための演算子への理解をさらに深める。そして、プログラムを抽象化することで見通しの良い、理解が容易なプログラムに仕上げる手法について学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

初級プログラミング実習を基礎として、さらに高度なプログラミングに挑戦する。また、他者にも理解できるプログラミングができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてプログラミングをしてください。また、自身が作成したプログラムについての発表もしてもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義中に各自のPCで小規模なプログラミングを行う演習を行います。また、宿題として次の講義までにもう少し規模の大きなプログラムを作成する課題を出します。次の講義ではそのプログラムについて解説をします。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新　わかりやすいJava 入門編　第3版	川場隆	秀和システム	978-4-7980-6775-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
独習Java 新版	山田祥寛	翔泳社	978-4-7981-5112-0
スッキリわかるJava入門	中山清喬／国本大悟	インプレス	978-4-295-00780-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(50%)、各講義でのプログラミング演習や授業参加態度(50%)

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各講義回毎に、簡単な演習課題を2，3題出題し、その解答について解説を行う。このとき、入力したプログラムが動作することを確認するとともに疑問点や不具合対応など必要な指導を行う。また、講義内の演習以外にホームワークを課す。これは次の講義までに各自でプログラムを作成し、これを次の講義1限目でプログラムの動作確認と解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、開発環境のインストール	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを読み、PCのアップデート等がないか確認する（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	教科書第1章とスライド資料を読みながら開発環境を整える(0.5h)
第2回	開発環境の構築	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを読み、PCのアップデート等がないか確認する（0.5h）
	事後学習 （内容・時間）	教科書第1章とスライド資料を読みながら開発環境を整える(0.5h)
第3回	プログラムの書き方	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第2.1節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第4回	変数	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第2.2,2.3節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第5回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第2.4～2.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第6回	演算子	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第2.4～2.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第7回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第2.7～2.10節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第8回	標準クラスのメソッド	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第2.7～2.10節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第9回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第3.1, 3.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第10回	配列とレコード	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第3.1, 3.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第11回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第3.3, 3.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第12回	リスト	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第3.3, 3.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第13回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第4章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第14回	メソッド	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第4章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第15回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.1節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第16回	条件を作成する演算子	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.1節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)

第17回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第18回	if文	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第19回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.3,5.7節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第20回	switch文とswitch式	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.3,5.7節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第21回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第22回	繰り返し回数を指定するfor文	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第23回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.5～5.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第24回	while文とジャンプによる制御	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第5.5～5.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)

第25回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第6章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第26回	オブジェクトの作成	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第6章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第27回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第7章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題の復習を行う(0.5h)
第28回	オブジェクトの仕組み	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第7章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題の復習を行う(0.5h)
第29回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第8章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題の復習を行う(0.5h)
第30回	継承	
	事前学習 （内容・時間）	教科書第8章を読んでおく(0.5h)
	事後学習 （内容・時間）	課題の復習を行う(0.5h)
第31回 （定期試験）	筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5610-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コンピュータグラフィックス論（教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～ 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	鶴野　玲治

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	テキストに従って事前学習、事後学習しておくことを推奨します。 基礎的な数学や物理学の知識、また、説明を読解するため若干の英語力が必要になります。 windowsへのソフトウエア導入と設定、基本的な操作やエラー対応などは各自で対応できるという前提で進めます。

授業概要　Course Outline

この授業では建学の精神『至心』に基づいて、心に描いたものを表現し、人に伝え、お互いの考えを理解する方法として、コンピュータを使ったビジュアルな表現方法を学びます。人は8割から9割の情報を視覚を通して取得しています。視覚に働きかける表現方法として、三次元CG(コンピュータグラフィックスを扱います。三次元CGの基礎を講義し、演習を通して体験的に学びます。CGの処理は三次元の物体や空間をコンピュータの中にどのように定義するかという「モデリング」とこれを二次元的なコンピュータ画像としてどのように表現するかという「レンダリング」に大きく分けることができます。本科目ではこの流れを概観しながら、これらを構成する技術や考え方を解説し、同時にCGソフトウエア(PovRay)を使った演習を通して体験的に学んでいきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

コンピュータグラフィックスの本質は情報科学です。コンピュータの中に人工的な空間や物体を設定し、光を計算して画像を作ります。そのために空間や被写体を感覚的にとらえ、構造や配置などを論理的に考えて記述します。この一連の流れを通して知識だけでなく論理的思考力や問題解決力を身につけることが目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

最初のうちは説明を聞いて例題を試してください。そのあとは自分なりに応用的な課題を設定し、各自で進めてください。たくさんの試行錯誤の中から問題の本質を見極めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員は非常勤なので授業の時以外は学内には居ません。質問や相談は授業の時にお願いします。
緊急の場合のみ、メールで受け付けます。アドレスは授業中にお伝えします。メールには必ず、所属名、授業名、氏名を記述してから問い合わせ内容を書いてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

インターネットからオンラインソフトウエアをダウンロードしインストールします。
これらが可能な自分専用のwindowsの入ったPCを用意してください。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
POV-Rayによる3次元CG制作 ーモデリングからアニメーションまでー	鈴木広隆・倉田和夫・佐藤尚	CGARTS協会	978-4-903474-19-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
コンピュータグラフィックス	コンピュータグラフィックス[改訂新版]編集委員会	CGARTS協会	978-4-903474-49-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回の授業での課題を出題し、さらに全体を通した最終課題を出題します。
試験については、授業内容の理解度、理論の応用力、表現力、構成力など判断し(60%)、これに平常点（毎回の課題等）(40%)を加えて最終評価とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

講義の中に演習を加えています。グラフィックスという分野の性質上、各自の理解度や修得度は演習結果から自分自身で直観的に認識できると思われますが、必要と認めた場合は個別に説明や問題解決のアドバイスを致します。また、授業中時間外でもメールなどを通して質問を受け付けます。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	三次元CG技法の概観。全体を構成する技術とそれによって作られる画像や映像を解説。	
	事前学習（内容・時間）	一般的な事例の確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	紹介した技術、理論、事例の再確認（2h）
第2回	空間座標系、モデリングとレンダリングの説明。実習ソフトウエア(povray)の説明と動作確認。	
	事前学習（内容・時間）	幾何学の概念の復習、コンピュータos(windows)とソフトウエアインストール環境の確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	コンピュータグラフィックスの技術的視点からの考え方の復習、ソフトウエア動作確認（2h）
第3回	空間の考え方。直交座標系の中での光源、視点、投影空間などの説明、単一のオブジェクトを描く。	
	事前学習（内容・時間）	三次元空間の扱い方の復習、ソフトウエアインストールと動作確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	ソフトウエア内での空間の扱い方の概念の復習（2h）
第4回	空間の中でのオブジェクトの配置、シーンスクリプト(記述言語)の構成と簡単な文法を説明。	
	事前学習（内容・時間）	データの入力と編集方法の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	モデリング、エディッティング、レンダリングの一連の動作の再確認（2h）
第5回	反射色と発光色の概念。RGB(Red,Green,Blue)のみを使って加法混色と減法混色を表現する	
	事前学習（内容・時間）	光学系、色の表現と取扱い方法の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	仮想的な色と光のモデル、発光と反射による表現実験（2h）
第6回	座標変換。平行移動、回転移動、スケーリングの考え方と変換方法。スクリプトでの実装。	
	事前学習（内容・時間）	座標変換、幾何学的変換の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	アフィン変換の実験と結果の確認、オブジェクトモデリングへの適用と確認（2h）
第7回	連続的、パラメトリックな座標変換。パラメータを使った複数オブジェクトの取り扱い方法を確認。	
	事前学習（内容・時間）	モデリングとレンダリングでの定数と変数の扱い方の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	パラメータ化による自動変換方法の確認（2h）
第8回	CSGモデリング。物体形状を基本立体の演算(union, difference, intersection)で表現する。	
	事前学習（内容・時間）	空間内形状演算方法の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	空間内形状演算の実験と結果の確認、応用モデルの試作（2h）
第9回	前半で解説、実習した内容を応用し、課題制作を行う。	
	事前学習（内容・時間）	任意のオブジェクト、シーン、光源環境、動作等の構想（2h）
	事後学習（内容・時間）	上記の表現方法、スクリプト記述方法の試行、レンダリングと結果確認（2h）
第10回	表面模様の表現方法。マッピングの考え方を解説し、演習する。	
	事前学習（内容・時間）	テクスチャマッピングの概念の確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	スクリプトへの実装方法の復習、レンダリング結果の再確認（2h）
第11回	材質感の表現方法。物体表面の反射モデルを説明し、石、木材、金属などの質感表現を実習する。	
	事前学習（内容・時間）	マテリアル表現、反射特性の考え方の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	反射モデルの分類と特性と効果の再確認（2h）
第12回	透明で光が屈折するモデルを説明する。ガラス、水晶、水などの質感表現を実習する。	
	事前学習（内容・時間）	マテリアル表現、光の透過屈折特性の考え方の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	透過屈折モデルの特性とレンダリング結果の再確認（2h）
第13回	照明モデルを説明する。平行光線、点光源、指向性光源のモデルとその効果を実習する。	
	事前学習（内容・時間）	ライティングの概念の予習、光源モデルの確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	光源モデルの与え方とスクリプトでの記述方法の復習、レンダリング結果の確認（2h）
第14回	CSG、表面反射、透明屈折、照明効果、空間文字列を加えたシーンを練習課題とする。	
	事前学習（内容・時間）	具体的なシーンをイメージしそれぞれを表現する方法や記述方法を計画（2h）
	事後学習（内容・時間）	試行錯誤を通じて具体的なシーンのレンダリングを試行する（2h）
第15回	シーン構成、データ化、レンダリング、フィードバックなど、制作の工程を想定して制作する。	
	事前学習（内容・時間）	具体的なシーンを構成する個々のエレメントのデータ化を考える（2h）
	事後学習（内容・時間）	個々の技術を考えながら全体の具体的なイメージを制作する（2h）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-6020-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級簿記	224～経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	岩下　昌美
中級簿記演習Ⅰ	219～223経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	複式簿記（3級）の基本知識を習得していることが望ましい。 「会計学入門」・「簿記Ⅰ・Ⅱ」などの会計関連科目を履修していることが望ましい。 電卓必須。遅刻は厳禁。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき，この授業では，簿記の専門的レベルの知識・技能について説明します。
複式簿記とは，企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする原理と技能のことです。本講義では，簿記Ⅰ・Ⅱで習得した複式簿記の基礎的な原理・技術に加えて，日本商工会議所主催の簿記検定2級の商業簿記の内容，つまり，株式会社の経営活動に関わる会計処理・決算手続きを学んでいきます。
ただし，内容は広範囲にわたるため，後期開講の「中級簿記演習Ⅱ」までが2級の学習範囲となります。
簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義では，日本商工会議所検定2級の商業簿記の内容中心に簿記の技術や理論を学び，株式会社の経済活動を記録・計算・整理・集計したものを活用して，財務諸表を作成することができることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
授業終了時には毎回の理解度をチェックするため，ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にて，オフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
ただし，研究室への来室は事前にメール（masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,
ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記 Ver.17.0 ミニサイズ版[ネット試験 統一試験 完全対応](TAC出版)（よくわかる簿記シリーズ）	TAC簿記検定講座	TAC出版	978-4300115312

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリわかる 日商簿記2級 商業簿記　2025年度版 [ネット試験・統一試験 完全対応](TAC出版)（スッキリわかるシリーズ）	滝澤 ななみ	TAC出版	978-4300115725

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（50%），平常点（30%），課題への取組み（20%）。
平常点は毎回の課題提出や講義への参加状況で判断します。
成績評価の基準：①仕訳ができるか。②補助簿への記入ができるか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方について，メールまたはGoogle
クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法等を確認する。） 簿記Ⅰ・Ⅱ（3級）の復習 【テーマ00】簿記一巡の手続き	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ00】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	【テーマ01】財務諸表：損益計算書・貸借対照表 ・財務諸表の様式を学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ01】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	【テーマ02】商品売買 ・商品売買取引の記帳方法，返品・割戻，仕入・売上の計上基準，期末評価について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ02】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	【テーマ03】現金および預金 ・当座預金の調整（預金残高の不一致の原因の会計処理），銀行勘定調整表の作成，定期預金について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ03】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	【テーマ04】債権・債務 ・クレジット売掛金，手形取引，電子記録債権・債務，その他の債権の譲渡について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ04】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	【テーマ05】有価証券 ・有価証券の範囲，分類，株式の処理，公社債（債券）の処理，有価証券の期末評価について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ05】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	【テーマ06】有形固定資産（Ⅰ） ・固定資産の購入，減価償却，固定資産の売却について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ06】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	【テーマ07】有形固定資産（Ⅱ） ・割賦購入，建設仮勘定，改良と修繕，除却と廃棄，買換え，臨時損失，圧縮記帳について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ07】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第9回	【テーマ08】リース取引 ・リース取引の仕組み，分類，借手側の会計処理，ファイナンス・リース取引（売買処理），オペレーティング・リース取引（賃貸借処理）について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ08】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	【テーマ09】無形固定資産等と研究開発費 ・無形固定資産，投資その他の資産，研究開発費について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ09】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	【テーマ10】引当金 ・引当金の意義，貸倒引当金，その他の引当金について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ10】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	【テーマ11】外貨換算会計 ・為替換算，外貨建取引の会計処理，為替予約について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ11】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	【テーマ12】税金 ・税金の分類，法人税等，消費税について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ12】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	まとめ（1） 総合演習	
	事前学習 （内容・時間）	第1回から第7回までの復習問題・解答を再度確認してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する演習問題を解いてください。（2時間）
第15回	まとめ（2） 総合演習	
	事前学習 （内容・時間）	第8回から第13回までの復習問題・解答を再度確認してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する演習問題を解いてください。（2時間）
第16回 （定期試験）	60分の定期試験（電卓持ち込み可）	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-6030-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級簿記演習Ⅱ	219～223 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	岩下　昌美

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	複式簿記（3級）の基本知識を習得していることが望ましい。 前期開講の「中級簿記演習Ⅰ」を履修し単位を取得していることが望ましい。 電卓必須。遅刻は厳禁。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき，この授業では，簿記の専門的レベルの知識・技能について説明します。
複式簿記とは，企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする原理と技能のことです。本講義では，簿記Ⅰ・Ⅱで習得した複式簿記の基礎的な原理・技術に加えて，日本商工会議所主催の簿記検定2級の商業簿記の内容，つまり，株式会社の経営活動に関わる会計処理・決算手続きを学んでいきます。
ただし，前期開講の「中級簿記演習Ⅰ」を引き継ぎ学習していきます
簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義では，日本商工会議所検定2級の商業簿記の内容中心に簿記の技術や理論を学び，株式会社の経済活動を記録・計算・整理・集計したものを活用して，財務諸表を作成することができることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
授業終了時には毎回の理解度をチェックするため，ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にて，オフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
ただし，研究室への来室は事前にメール（masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、後期定期試験日までにメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記 Ver.17.0 ミニサイズ版[ネット試験 統一試験 完全対応](TAC出版)（よくわかる簿記シリーズ）	TAC簿記検定講座	TAC出版	978-4300115312

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリわかる 日商簿記2級 商業簿記　2025年度版 [ネット試験・統一試験 完全対応](TAC出版)（スッキリわかるシリーズ）	滝澤 ななみ	TAC出版	978-4300115725

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（50%），平常点（30%），課題への取組み（20%）。
平常点は毎回の課題提出や講義への参加状況で判断します。
成績評価の基準：①仕訳ができるか。②決算整理事項をもとに財務諸表等の作成ができるか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方について，メールまたはGoogle
クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法等を確認する。） 中級簿記演習Ⅰ・Ⅱの復習	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ00】～【テーマ12】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	【テーマ13】課税所得の算定と税効果会計 ・課税所得，差異の発生と解消，税効果会計の意義，一時差異と永久差異，将来減算一時差異，その他有価証券評価差額金にかかる税効果会計，税効果会計の仕訳について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ13】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	【テーマ14】株式の発行 ・株式会社の概要，純資産（資本），株式の発行，株式申込証拠金について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ14】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	【テーマ15】剰余金の配当と処分 ・利益剰余金の配当と処分，利益準備金の積立て，その他資本剰余金による配当，株主資本の計数の変動，株主資本等変動計算書について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ15】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	【テーマ16】決算手続 ・決算の意義，決算手続，精算表，勘定の締切り，月次損益の算定，決算整理仕訳について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ16】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	【テーマ17】収益の認識基準 ・サービス業（役務収益，役務原価），収益認識の基本原則，契約資産と債権，売上割戻について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ17】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	【テーマ18】本支店会計 ・本支店間取引（内部取引），支店間取引，決算手続，決算振替（純損益の振替），本支店合併財務諸表の作成について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ18】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	【テーマ19】合併と事業譲渡 ・合併，事業譲渡，のれんの償却について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ19】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第9回	【テーマ20】連結会計Ⅰ（資本連結Ⅰ） ・連結会計の意義，連結財務諸表と作成方法，連結財務諸表の構成，支配獲得日の連結，投資と資本の相殺消去について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ20】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	【テーマ21】連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ） ・支配獲得後の連結，連結精算表について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ21】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	【テーマ22】連結会計Ⅲ（成果連結） ・成果連結と連結修正仕訳，内部取引高と債権・債務の相殺消去，未実現利益（棚卸資産，土地などの売買）の消去について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ22】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	【テーマ23】連絡会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書作成） ・連結株主資本等変動計算書の概要，連結財務諸表の関係，連結修正仕訳，連結精算表について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ23】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	【テーマ24】製造業会計 ・残高試算表，決算整理，財務諸表について学習します。	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの【テーマ24】を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	まとめ（1）　総合演習	
	事前学習 （内容・時間）	第1回から第7回までの復習問題・解答を再度確認してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する演習問題を解いてください。（2時間）
第15回	まとめ（2）　総合演習	
	事前学習 （内容・時間）	第8回から第13回までの復習問題・解答を再度確認してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する演習問題を解いてください。（2時間）
第16回 （定期試験）	60分の定期試験（電卓持ち込み可）	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5480-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
原価計算論	224～経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	山下　壽文
原価計算論 I	219～223経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記関連科目を履修し、.日本商工会議者主催簿記検定試験3級程度を理解していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

講義では、「原価計算基準」にもとづいて、日本商工会議所主催簿記検定試験2級「工業簿記」の内容をテキストをもとに解説、例題による確認、練習問題を解いて復習することにより、工業簿記の基礎を修得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の原価計算について知識を修得することを目標とする。そのため、原価計算、工業簿記の基本的項目を体系的に整理・理解し、製造業の取引を記録、計算、分類、集計して財務諸表作成までを学習する。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級工業簿記に合格できる能力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

○　対話型の講義を心がけるので、質問等積極的な取組みを期待する。
○　講義内で実施する小テストを活用し、講義内容の理解を深めるとともに講義への積極的な参加を促す。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室にて行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価等、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
原価計算論 I	山下壽文	冊子（実費）	市販されていません 初回講義で購入してください

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
検定簿記講義2級工業簿記	岡本清他	中央経済社	978-4-502-83553-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

.定期試験60%、.小テスト40%で評価。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

定期試験の主旨および解答は、クラスルームにアップする。小テストは、講義において解答する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の内容・進め方）、工業簿記と原価計算	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第１回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第2回	原価の勘定体系	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第3回	製造原価報告書の作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第4回	原価の費目別計算（1）： 材料費	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第４回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第5回	原価の費目別計算（2）： 消費賃金（労務費）、経費	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第6回	製造間接費・個別原価計算：製造間接費の配賦、原価計算表の作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第6回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第7回	部門別計算： 部門費の集計、補助部門費の配賦、製造部門費の予定配賦	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第7回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第8回	総合原価計算（1）： 期末仕掛品の計算	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第8回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第9回	総合原価計算（2）： 等級別・組別・工程別・連産品総合計算表、副産物の評価・処理	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第9回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第10回	標準原価計算： 原価差異と原価分析、標準原価計算の記帳	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第10回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第11回	直接原価計算：損益分岐点分析、全部原価計算と直接原価計算	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第11回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第12回	工場独立会計	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第12回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第13回	総合問題（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題を予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布の模範解答による復習。（2時間）
第14回	総合問題（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題を予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布の模範解答による復習。（2時間）
第15回	まとめ：要点整理	
	事前学習（内容・時間）	テキストを読んで要点を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストをもとに工業簿記の要点について復習。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5490-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
原価計算論Ⅱ	219～223 経営情報学科	2学年・後期	2単位	選択	春日　克則

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	[原価計算論Ⅰ]を履修していることが望ましい。さらには、日商簿記検定試験2級受験に積極的にチャレンジして下さい。なお、毎回、小テストを行います。小テストは、講義内容を理解するとともに、自分の考えを示さなければなりません。そこで、履修のためには、自分の世界に閉じこもるのではなく、友人との話し合いの中で自分の考えを明確にし、それを相手にうまく伝えること、つまり言葉のキャッチボールができることが必要です。

授業概要　Course Outline

この講義は、日本商工会議所主催の「簿記検定2級」の内容を学習します。具体的には、前期に開設されている「原価計算論Ⅰ」をふまえて、さらに発展した「標準原価計算」「直接原価計算」と「原価・営業量・利益関係の分析」を学習します。なお、講義の前半では復習のために「個別原価計算」と「総合原価計算」に取り組みます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

原価計算は、製品の原価を計算し、経営管理に役立てるための一連の手続きをいいます。そこで、原価計算に関連した基本的な用語や計算方法を習得し、さらには原価計算システムが経営管理目的に有用な情報を提供していることについて理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向（私と皆さん、それに皆さんと皆さんの友人との）で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果（小テスト）を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果（小テスト）を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いにわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は非常勤講師室で授業終了後に受け付けています。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回の小テストによって学習の確認とフィードバックを行います。さらに、第7回の授業で中間テスト（簡易試験）を行い、その結果と今後の学習の指針を各個人及びクラス全体に伝えます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配付します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格トレーニング日商簿記2級 工業簿記（最新版）	TAC株式会社	TAC出版	最新版

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「原価計算論Ⅱ」について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の内容、進め方など）、材料費・労務費・経費の意味と計算方法	
	事前学習（内容・時間）	インターネット等で工業簿記について調べておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第2回	材料費の内容と処理法	
	事前学習（内容・時間）	第１回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第3回	労務費の種類と処理法	
	事前学習（内容・時間）	第2回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第4回	経費の分類と処理法	
	事前学習（内容・時間）	第４回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第5回	個別原価計算の勘定連絡	
	事前学習（内容・時間）	第４回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第6回	個別原価計算における製造間接費の配賦	
	事前学習（内容・時間）	第5回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第7回	中間テスト（これまで学習した項目の理解度テスト）とその解説	
	事前学習（内容・時間）	第１回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第8回	製造間接費分析の意義	
	事前学習（内容・時間）	第6回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第9回	シュラッター図の作成と分析	
	事前学習（内容・時間）	第8回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第10回	総合原価計算（月末仕掛品の評価：月初仕掛品がない場合）	
	事前学習（内容・時間）	第9回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第11回	総合原価計算（月末仕掛品の評価：平均法と先入先出法）	
	事前学習（内容・時間）	第１０回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第12回	標準原価計算の意義と手続き	
	事前学習（内容・時間）	第１２回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第13回	標準原価計算（原価差異の分析）	
	事前学習（内容・時間）	第１２回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第14回	直接原価計算の意義	
	事前学習（内容・時間）	第１３回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第15回	CVP分析－学園祭のお好み焼きをいくらで販売したらよいのか	
	事前学習（内容・時間）	第１４回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中に取り組んだ課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5620-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
財務会計論	219～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	山下　壽文

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「簿記Ⅰ・Ⅱ」「会計学入門」「会計学総論」等会計学の初歩的な知識を習得していることが望ましい

授業概要　Course Outline

講義では、初歩的な簿記の知識を前提として、財務会計の必要性や基礎的な用語、企業会計の理論・制度の両極分化についての実態を把握するとともに、「企業会計原則」および「企業会計基準」に即した財務会計の理論的・制度的構造を、損益、資産、負債、純資産の各分野にわたって考察し、財務諸表における主要な論点について、金融構造の変化との関連を明らかにする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の財部会計について知識を修得することを目標とする。今日、実体経済に比べ金融経済が益々優位を占めるようになっているため、財務会計に関する知識はだれもが身につけるべき常識となっている。このような社会的要請に応えるため、講義では財務諸表の基礎を学習する。まず、「企業会計原則」の資産・負債・資本・損益に関する問題を検討し、次に、「企業会計原則」と「国際財務報告基準」、、「収益費用アプローチ」と「資産負債会アプローチ」への制度・理論の両極分化とその主要問題について考察する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容および講義資料の性質に応じて、可能な限り、質疑応答等の対話を取り入れる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問・相談は、研究室で行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
財務会計論～テキスト＆問題	山下壽文	冊子（700円）	市販されていません 初回講義で購入してください

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ビギナーのための会計学	山下壽文他	創成社	978-4-7944-1479-3

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

学期末試験60%、課題40%で評価。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

定期試験の主旨および解答は、クラスルームにアップする。課題については、講義においてその主旨を明らかにする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の内容・進め方）、わが国における企業会計制度の体系	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第1回を読んでわが国の企業会計制度を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに企業会計制度について復習。（2時間）
第2回	会計会計の基本ルール～会計公準、会計主体論および会計原則	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2回を読んで会計公準および会計主体論の論点を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに会計公準および会計主体論について復習。（2時間）
第3回	損益計算書原則～損益計算書のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3回を読んで損益計算書しくみを整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに損益計算書について復習。（2時間）
第4回	貸借対照表原則～貸借対照表のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第4回を読んで貸借対照表のしくみを整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに貸借対照表について復習。（2時間）
第5回	流動資産⑴～金銭債権	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5回を読んで金銭債権の種類および評価を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに金銭債権について復習。（2時間）
第6回	流動資産⑵～有価証券	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第6回を読んで有価証券の種類および評価を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに有価証券について復習。（2時間）
第7回	流動資産⑶～棚卸資産	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第7回を読んで棚卸資産の種類および評価を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに棚卸資産の内容について復習。（2時間）
第8回	固定資産・繰延資産	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第8回を読んで固定資産などの種類および評価を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに固定資産などについて復習。（2時間）
第9回	固定資産の減損	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第9回を読んで固定資産の減損の意義および計算を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに固定資産の減損について復習。（2時間）
第10回	負債⑴～引当金・退職給付引当金	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第10回を読んで引当金・退職給付引当金の処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに引当金・退職給付引当金について復習。（2時間）
第11回	負債⑵～社債・資産除去債務	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第11回を読んで社債・資産除去債務の処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに社債・資産除去債務について復習。（2時間）
第12回	純資産	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第12回を読んで純資産の区分・処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに純資産について復習。（2時間）
第13回	キャッシュフ・ロー計算書	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第13回を読んでキャシュ・フロー計算書の作成方法を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとにキャシュー・フローについて復習。（2時間）
第14回	リーース会計	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第14回を読んでリース会計の種類・処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとにリース会計について復習。（2時間）
第15回	ストックオ・プション、のれん	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第15回を読んでストック・オプションなどの処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとにストック・オプションなどについて復習。（2時間）
第16回（定期試験）	学期末試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5630-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
財務管理	219～222 経営情報学科	2年生　後期	2単位	選択	鵜崎　清貴

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	・経営学入門・総論、会計学入門・総論を履修しておくことが望ましい ・特に企業の「投資」、「資金調達」、「配当」などに関心を持つと、講義内容について、より深い理解が得られるため、日頃から経済ニュースにふれておくこと。

授業概要　Course Outline

財務管理の諸問題を資本調達論の観点から商法（会社法）を関連付けて論じる。財務管理を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・講義する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	金融機関の非常勤監査役 （会計・税務担当，5年）	企業の税務・会計関連面からの企業戦略

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

デュプロマポリシーに基づきこの授業では、企業の財務管理の諸問題を資本調達論の観点から歴史的・論理的に論じ得ること。講義全体を通して、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・講義中、基本的な質問を行うので、積極的に回答してもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員と連絡を取りたい場合は、研究室を訪ねること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ＆ルーブリックに必要事項を記入のうえ、最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
財務管理論	市村昭三編	創成社出版	978-4794420589

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験での評価(50%)，中間テスト(30%)そして講義中の発言等の総合評価(20%)

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回の授業の振り返りはポートフォリオで確認します。必要に応じてコメントします。試験結果や今後の学習の取り組みについては、メールやGoogleクラスルームを通じてアドバイスしますので、お問い合わせください。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイ ダン ス c 本科目 で学ぶ内 容、学び方およ び成績評価に ついて	
	事前学習 （内容・時間）	企業金融、経営財務、財務管理等の概念をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	講義概要をよく復習しておくこと。疑問があれば次回の講義で質問すること。（120分）
第2回	貨幣の時間的価値について述べる。	
	事前学習 （内容・時間）	貨幣の時間的価値とは何かを質問するので、回答できるようネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	貨幣の時間的価値について，現在価値から将来価値への計算できるようにする。（120分）
第3回	資金調達方法，特に株式会社の資金調達について述べる。	
	事前学習 （内容・時間）	株式会社の資金調達方法をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	株式会社の資金調達方法，株式と社債の評価について理解すること。（120分）
第4回	資本予算について述べる。（NPVとIRR）	
	事前学習 （内容・時間）	資本予算についてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	NPVとIRRの概念と計算方法を理解すること。（120分）
第5回	債券の利回りについて述べる。	
	事前学習 （内容・時間）	債券の概念と利回りについてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	債券の概念と利回りについて理解すること。（120分）
第6回	種々の債権の概念と計算方法について述べる。	
	事前学習 （内容・時間）	債券に影響を与える要因は何か？をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	種々の債権の計算方法の理解すること。（120分）
第7回	不確実性とリスクについて述べる。	
	事前学習 （内容・時間）	収益率，期待収益率そして標準偏差についてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	収益率，期待収益率そして標準偏差についての課題を解く。（120分）
第8回	中間テスト	
	事前学習 （内容・時間）	第7回までの復習をしましょう。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	出題された模範解答をもとに復讐をしましょう。（120分）
第9回	ポートフォリオ理論について述べる。	
	事前学習 （内容・時間）	ポートフォリオ理論についてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	ポートフォリオを組み，有効フロンティアを図示しましょう。（120分）
第10回	ポートフォリオ理論について述べる。	
	事前学習 （内容・時間）	第9回の復習をする。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	ポートフォリオを組み，有効フロンティアを図示しましょう。（120分）
第11回	資本資産評価モデル（CAPM）	
	事前学習 （内容・時間）	資本資産評価モデルについてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	ベータを計算できるようになりましょう。（120分）
第12回	資本コスト（WACC）について述べます。	
	事前学習 （内容・時間）	資本コストの概念についてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	資本コストを計算できるようにしよう。（120分）
第13回	配当政策とMM理論について述べます。	
	事前学習 （内容・時間）	配当政策とMM理論についてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	日本企業の配当性向と配当利回りをネットで検索してみよう。（120分）
第14回	財務管理とSDGsについて述べます。	
	事前学習 （内容・時間）	SDGsについてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	日本企業のSDGsについて具体的企業名を挙げ，その方策まとめましょう。（120分）
第15回	財務管理のまとめ	
	事前学習 （内容・時間）	講義の総括を行うので、復習しておくこと。講義全体を通して疑問があれば質問すること。（120分）
	事後学習 （内容・時間）	定期試験に向けて復習しておくこと。（120分）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5230-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
会社法	219～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	吉野　正

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「法学」を履修していることが望ましいです。

授業概要　Course Outline

会社の法的な仕組みを学んで行きます。まず、会社の法的な性質を理解できるようになった上で、会社の種類ごとの法的な性質の違いを学びます。その後、株式会社の4つの類型を学んで、株式会社の各機関（株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、委員会等）の機能を理解できるよう授業を進めます。最後に取締役にどのような責任が課せらているかを学んで行きます。
なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	弁護士実務50年、長年の監査役経験を有する。多くの会社法関連事件を処理してきた。	会社法関連事例を具体的にとりあげて、会社法の実務運用を教示する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

株式会社、持分会社についての法的な知識を修得して、ビジネス社会で必要とされる汎用的技能を身に付けます。具体的には、株式会社、持分会社の法的な知識を修得して、ニュース、新聞等の経済報道をより正確に理解できるようになることを目指します。更に株式会社の各機関の役割について知識を身に付け、役員（主に取締役）の法的な責任を深く理解することで、ビジネス社会において法的なリスクを回避できる汎用的技能の修得を目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

株式会社について自主的にテーマを設定して、レポートを作成してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

金曜・2時限の授業後に連絡、質問、相談等を受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：授業の最初に前回の内容について質問を行いますので、積極的な発言を期待します。
ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
現代商法入門 デイリー六法	近藤光男編 大石 眞 編集	有斐閣 三省堂	978-4641221772 978-4385158815

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
会社法判例百選（第3版）	岩原紳作、神作裕之、他編	有斐閣	9784641115309

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験95%　平常点（レポートの提出状況等）5%。 成績評価の基準：①会社の特徴について理解をしているか。②株式会社、合名会社、合資会社、合同会社のそれぞれの性質の違いを理解しているか。③株式会社のうち取締役会を設置することで機関の権限にどのような違いが出てくるかを理解しているか。④株式会社の指名委員会等設置会社、監査等員会設置会社を理解しているか。⑤取締役にどのような責任が課せられているか説明できること。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

できるだけ、具体的な会社法上問題となる事例を紹介、学生にその問題点を認識させ、解決策を自ら考え出すよう指導する。
試験結果や成績評価等についてはコメントカードや手紙等で問い合わせてください。適宜、アドバイスします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	会社法とは	
	事前学習（内容・時間）	民法、商法、会社法、刑法の違いを事前に学ぶ（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第2回	会社の法的意義	
	事前学習（内容・時間）	法人と自然人の違いを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第3回	持分会社	
	事前学習（内容・時間）	持分会社の種類を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第4回	持分会社の責任	
	事前学習（内容・時間）	持分会社と社員の責任を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第5回	株式会社と持分会社の比較	
	事前学習（内容・時間）	株式会社の株主のことを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第6回	株式会社の類型（1）	
	事前学習（内容・時間）	取締役会設置会社のことを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第7回	株式会社の類型（2）	
	事前学習（内容・時間）	委員会設置会社の意味を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第8回	株式会社の役員、機関	
	事前学習（内容・時間）	株式会社の機関の種類について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第9回	公開会社と非公開会社	
	事前学習（内容・時間）	株式譲渡の可否について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第10回	取締役の責任（1）	
	事前学習（内容・時間）	取締役の会社に対する義務について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第11回	取締役の責任（2）	
	事前学習（内容・時間）	経営判断の意味を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第12回	取締役の責任（3）	
	事前学習（内容・時間）	株主代表訴訟について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第13回	監査役、会社参与及び会計監査人の責任	
	事前学習（内容・時間）	監査役の役割について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第14回	株式の譲渡	
	事前学習（内容・時間）	株式譲渡の方法について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	会社と従業員の関係について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5240-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
監査論	219～223 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	春日　克則

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記や会計学の基本的な知識を習得していることが望ましいですが、企業の監査（スポーツでいえば審判すること）に興味を持つことが必要です。また、毎回、小テストを行います。小テストは、講義内容を理解するとともに、自分の考えを示さなければなりません。そこで、履修のためには、自分の世界に閉じこもるのではなく、友人との話し合いの中で自分の考えを明確にし、それを相手にうまく伝えること、つまり言葉のキャッチボールができることが必要です。

授業概要　Course Outline

監査をスポーツの審判と比較すると分かりやすいと思います。スポーツのうち、ボーリングやゴルフなどは自分１人だけでプレイできるため（楽しいかどうかは？）他人にチェックしてもらう必要はありません。しかし、テニスや柔道などは相手がいるスポーツなので、ルールの適用や解釈、得点の判断などはプレーヤー以外の第三者、つまり審判が必要になります。監査は、会社とその利害関係者（株主や債権者）との間で審判と同じ役割を果たします。つまり、会社と利害関係者の意見が一致しない場合、会社は必要なお金が集められず、株主等も投資が出来なくなります。その結果、社会的に有用な活動が停滞することになります。そこで、独立した第三者（監査人）を用意しておき、審判（監査）を行わせることで、効率的な社会が実現できることになります。授業では、これらを詳しく学びます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

講義では、監査の必要性を学んだ上で、実際の手順、すなわち、実施のための準備、計画、実行、そして結果の報告を行うために必要な基礎的な理解を得ることを目標としています。
この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向（私と皆さん、それに皆さんと皆さんの友人との）で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果（小テスト）を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果（小テスト）を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いにわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は非常勤講師室で授業終了後に受け付けています。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回の小テストによって学習の確認とフィードバックを行います。さらに、第8回の授業で中間テスト（簡易試験）を行い、その結果と今後の学習の指針を各個人及びクラス全体に伝えます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配付します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ベーシック監査論	伊豫田隆俊他	同文舘出版	978-4-495-18257-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「監査論」について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。
具体的には、定期試験60%、毎回の課題(小テスト)提出40%の割合を持って評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション－自己証明は証明にあらず－	
	事前学習（内容・時間）	インターネット等で「監査」について調べておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第2回	監査はどんな仕事か①：DVDによって、公認会計士の光と影を学びましょう。	
	事前学習（内容・時間）	第１回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第3回	監査の社会的な役割：監査はなぜ必要なのでしょう。	
	事前学習（内容・時間）	第2回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第4回	監査はどんな仕事か②：DVDによって、会社の行う不正について学びましょう。	
	事前学習（内容・時間）	第3回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第5回	監査を合理的、効率的に行うための監査計画を作る。	
	事前学習（内容・時間）	第4回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第6回	監査はどんな仕事か③：DVDによって、企業の行う不正が取引先や銀行にまで影響を与えることを学びましょう。	
	事前学習（内容・時間）	第5回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第7回	公認会計士が監査を行うためには、どんなことを身につけておくべきかを考えます。	
	事前学習（内容・時間）	第6回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第8回	中間テスト（これまで学習した項目の理解度テスト）とその解説	
	事前学習（内容・時間）	第１回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第9回	監査はどんな仕事か④：DVDによって、監査は報酬を支払ってもらう会社を潰す可能性があることを学びましょう。	
	事前学習（内容・時間）	監査は、厳格に行うべきか、それとも円満に行うべきかのどちらかを選びその根拠を考えておくこと。
	事後学習（内容・時間）	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第10回	不正が行われる危険性の高い分野を監査する、「リスク監査」について学びます。	
	事前学習（内容・時間）	第9回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第11回	監査はどんな仕事か⑤：DVDによって、親しい友人の会社を監査することにどんな問題があるか考えましょう。	
	事前学習（内容・時間）	第10回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第12回	監査を行うには、まず会社内部の組織（内部統制組織といいます）が重要であることを学びましょう。	
	事前学習（内容・時間）	第11回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第13回	監査はどんな仕事か⑥：DVDによって、監査は会社を救うことができるのかを考えてみましょう。	
	事前学習（内容・時間）	第12回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第14回	監査を実施した結果について、どのようにして社会の人々に知らせるのかについて学びましょう。	
	事前学習（内容・時間）	第13回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第9回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験（講義全体をとおした学習成果の確認）	

ナンバリング（Numbering）						
1EAN-5910-Z2E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
税務会計論		219～ 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	春日 克則
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites	会計学や簿記に関する科目を履修済かあるいは同程度の知識を有することが望ましいが、何よりも、税金に興味を持っていることが大切です。なお、毎回、小テストを行います。小テストは、講義内容を理解するとともに、自分の考えを示さなければなりません。そこで、履修のためには、自分の世界に閉じこもるのではなく、友人との話し合いの中で自分の考えを明確にし、それを相手にうまく伝えること、つまり言葉のキャッチボールができることが必要です。					

授業概要　Course Outline

税は、取る者と取られる者との戦いの歴史といえます。例えば、株式会社などの所得（利益）に課せられる法人税は、国から見ると（個人）所得税や消費税と並ぶ大きな財源となっています。反面、納税者の側からは、住民税、事業税を合わせると法人所得の約40%が徴収されることになります。そこで、税務当局と納税者の利害が激しくぶつかることになるのですが、「税務会計論」では、この戦いをどのように終わらせ、どうしたらお互いが納得できるかの仕組みを学びます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

税を学ぶ場合に、最も重要な原則は租税法律主義です。この原則は、納税者の代表が決めた法律によることでのみ税を課すことができないというものです。そこで、この授業では、国と納税者が争った判例をみることによって、租税法律主義を具体的に理解することを目標とします。同時に、このような理念が税額の計算にどのように具体的に活かされているかについても理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向（私と皆さん、それに皆さんと皆さんの友人との）で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果（小テスト）を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果（小テスト）を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いにわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は非常勤講師室で授業終了後に受け付けています。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回の小テストによって学習の確認とフィードバックを行います。さらに、第8回の授業で中間テスト（簡易試験）を行い、その結果と今後の学習の指針を各個人及びクラス全体に伝えます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配付します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる税法入門	三木義一	有斐閣	978-4-641-28150-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「税務会計論」について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	サラリーマンなのに37年間、所得税を納めなかった男－申告納税制度－	
	事前学習（内容・時間）	日本の税制、特に所得税制についてインターネットを活用して調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第2回	ホステスの報酬にかかる源泉徴収事件－税を学ぶ場合に最も重要な原則「租税法律主義」－	
	事前学習（内容・時間）	第１回の授業で配付された資料を読め疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第3回	1600億円をタダでもらっても税金はゼロ？（武富士事件）－租税法律主義は正しいのか－	
	事前学習（内容・時間）	第2回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第4回	同族会社の判定①－特殊関係人－	
	事前学習（内容・時間）	第3回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第5回	同族会社の判定②－特殊関係人を理解したうえで結論を出す－	
	事前学習（内容・時間）	第4回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第6回	税金の金額を計算してみよう①－簿記・会計上の利益を所得に変換する便利な用具（別表4）－	
	事前学習（内容・時間）	第5回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第7回	税金の金額を計算してみよう②－税金の額を簡単に計算するための便利な用具（別表1と次葉）－	
	事前学習（内容・時間）	第6回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第8回	中間テスト（これまで学習した項目の理解度テスト）とその解説	
	事前学習（内容・時間）	第１回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第9回	交際費を使うと税金がかかる－交際費の限度額計算（別表15）－	
	事前学習（内容・時間）	第７回授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第10回	ふるさと納税をしてみよう－寄附金制度－	
	事前学習（内容・時間）	第９回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第11回	寄附をすると税金がかかる－寄附金の限度額計算（別表14）－	
	事前学習（内容・時間）	第１０回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第12回	配当金を受け取っても税金がかからない－受取配当等の益金不算入（二重課税の防止）－	
	事前学習（内容・時間）	第１１回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第13回	皆さんにとって身近な税金－個人の所得税（納税義務の範囲）－	
	事前学習（内容・時間）	第１２回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第14回	どんなことをすると税金がかかるのか(身の回りの税金)－所得の分類－	
	事前学習（内容・時間）	第１３回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第15回	国際的な税金逃れを防止する－MATANAの支払っている税金は適正か－	
	事前学習（内容・時間）	第１４回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第16回（定期試験）	定期テスト（講義全体をとおした学習成果の確認）	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5900-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
税法学	219～ 経営情報学科	3・4年生・後期	2単位	選択	鵜崎　清貴

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	税法は、社会のルール。税法学の授業はそのルールを教える授業である。 従って、税法学総論を受講する者は、学則で決められたルールは必ず守ること。 ①　遅刻・欠席をしない ②　授業中のスマホの私的利用、私語は禁止

授業概要　Course Outline

「租税は、…およそ民主主義国家にあっては、国家の維持及び活動に必要な経費は、主権者たる国民が共同の費用として代表者を通じて定めるところにより自ら負担すべきものである」(大島判決（最判：昭和60年3月27日判決))とされている。税とは何か、税による国家の活動にはどのようなものがあるかを学ぶ。
また、身近な税である所得税・消費税を取り上げ、今後学生諸君が実生活に出てどのようにかかわっていくかなどを学ぶ。
なお、所得税の確定申告書を作成するなど実践的な学習を行う。国税庁ホームページにアクセスして、所得税の申告書作成システムを利用した所得税確定申告書の作成模擬演習を行うなど、電子機器を取り入れた授業も予定している。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	金融機関の非常勤監査役 （会計・税務担当，5年）	コーポレートガバナンス，会計，税法，ファイナンス

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえ、経営情報学の応用領域にある租税法に関して基本的な知識を修得することを目標とします。
①租税とは何かを理解する。
②所得税の仕組みを理解する。
③所得税確定申告書の作成ができるようになる。（国税庁ホームページを利用しての作成を含む。）
④消費税の仕組みと特色を理解する。
この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①授業中不明の点があれば積極的に質問してください。また、教授からの質問に対しては自分の考えを率直に述べてください。
②国税庁ホームページなどの情報を提供しますので、自ら閲覧するなどして知識等を広めてください。
③毎回コメント用紙（兼出席票）を配りますので、意見や質問などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問，相談等は，研究室にてオフィスアワー時に受け付けます。その他の時間は，メールでアポイントを取った上対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート及び小テストにより学習の確認を行います。
授業改善アンケートの結果及びそれを踏まえた今後の方針などをクラスの学生に伝えます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
税務大学校講本 Ⅰ税法入門 Ⅱ所得税法	－	国税庁ホームページ	－

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プレップ租税法〔第4版〕	佐藤　英明	弘文堂	978-4-335-31331-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（講義時の小テストの解答状況や受講態度など）40%、定期試験60%で評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回の授業の振り返りはポートフォリオで確認します。必要に応じてコメントします。試験結果や今後の学習の取り組みについては、メールやGoogleクラスルームを通じてアドバイスしますので、お問い合わせください。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	「租税の意義」	
	事前学習（内容・時間）	テキストⅠ税法入門（以下「税法入門」という）の第1章第1節「租税の意義」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキスト等により租税の意義について復習し理解を深める。（2時間）
第2回	「財政」（歳入・歳出）	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第1章第2節「財政に占める租税の位置づけ」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	我が国における歳入・歳出の状況について、財務省ホームページ等で復習する。（2時間）
第3回	「租税負担率・国民負担率」及び「財政赤字」	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第1章第3節「国民の租税負担」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	我が国の税制の状況を理解し、今後いかにすべきかを考える。（2時間）
第4回	「租税の種類」及び「租税の原則」	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第1章第8節「租税の分類」及び第9節「租税の原則」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや財務省・国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第5回	「租税の根拠」及び「担税力」	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第1章第4節「租税の根拠と配分」及び第2章第2節「租税体系についての考え方」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「担税力」、「垂直的公平」、「水平的公平」、「タックスミックス」など講義で学んだことをまとめる。（2時間）
第6回	「租税法律主義」及び「三権分立」	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第2章第10節「租税法律主義」を読んでおく。また、「三権分立」とは何かを調べておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第7回	「所得の概念」及び「所得の種類」	
	事前学習（内容・時間）	テキストⅡ所得税法（以下「所得税法」という）の第1章第2節「所得の概念」及び第2章「所得の種類と意義」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第8回	「給与収入」と「給与所得」の関係	
	事前学習（内容・時間）	所得税法の第2章4「給与所得の金額の計算」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	給与所得控除の意義について理解を深めた上で、計算問題を解く。（2時間）
第9回	「所得控除」について	
	事前学習（内容・時間）	所得税法の第3章「所得控除」を読んで所得控除の概要を理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第10回	「勤労学生控除」、「扶養控除」及び「基礎控除」	
	事前学習（内容・時間）	「勤労学生控除」、「扶養控除」及び「基礎控除」の各控除について、所得税法で具体的な要件と控除額を確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第11回	「課税される所得金額」及び「税額の計算」	
	事前学習（内容・時間）	所得税法の第4章「税額計算」を読んで、税額計算の方法等を確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	設例を基に税額の計算を行う。（2時間）
第12回	「源泉徴収制度」	
	事前学習（内容・時間）	所得税法の第5章「源泉徴収制度」を読んで概要を理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第13回	「納付税額の計算」及び「所得税確定申告書の作成」	
	事前学習（内容・時間）	第8回から第12回までを復習し、税額の計算手順を確認しておく。また、確定申告書の様式を確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	設例を基に所得税の税額計算方法を復習する。（2時間）
第14回	「消費税の仕組み」	
	事前学習（内容・時間）	事前配付資料を読んで、消費税法の概要を確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第15回	電子機器を使用した所得税確定申告書の作成	
	事前学習（内容・時間）	国税庁ホームページでスマホ申告の概要を確認する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スマートフォンを使用した所得税確定申告書作成の操作要領を復習する。（2時間）
第16回（定期試験）	租税について正しく理解できているか、記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1EMN-5380-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
経営戦略論	224～ 経営情報学科	1年生・後期	2単位	選択	遠藤　真紀
	219～223 経営情報学科	1年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・1年生から履修可能な科目となっているが，経営学の派生理論であるため，経営学の基礎である「経営学総論Ⅰ」「経営学総論Ⅱ」などを既に修得し，理解している事が望ましい。 ・また「マーケティング論」，「ベンチャービジネス入門」，「会計学入門」，「簿記」など，基礎的な経営学関連科目も履修し，理解していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・IT人材（高度情報化人材）として必要な，経営戦略に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に，伝統的な理論から現代の戦略論まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。ビデオの聴講を含む演習等も行います。
・現代企業の経営戦略が，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・現代企業の経営における戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論（分析型・プロセス型経営戦略，ドメイン，製品・市場戦略，経営資源，競争戦略等）について理解している。
・具体的には，卒業後，IT人材（高度情報化人材）として就職した企業の経営戦略等が理解でき，自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになる。
・また例えば，企業物とよばれる小説またはビジネス雑誌・書籍等の理解が促進されるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し，自身の意見を発言していくことが求められます。
・企業経営や経営戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を行います。また演習に基づき，ディスカッションを行うため，ビデオ内容の聞き取り力，メモカ，聴講した内容や関連情報に関する考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営戦略論要論	岸川善光	同文舘出版	4-495-37421-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる経営戦略論 戦略プロフェッショナル	井上善海・佐久間信夫編著 三枝 匡	ミネルヴァ書房 日経ビジネス文庫	978-4-623-05069-7 978-4-532-19145-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率やディスカッションへの参加状況，各種レポートの作成・提出状況，資格試験等への取り組み，ポートフォリオの活用や教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：学習に対する積極性をもっている。経営戦略の意義や各経営戦略理論等について基礎的な理解が図られている。自身に関係する企業の経営戦略等が理解でき，自律的・自発的な行動への判断基準が持てている。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

基本的には，Googleクラスルームを使って，適宜，学習状況について質問等を受け付け，フィードバックおよび助言・指導をします。また試験結果を踏まえたフィードバックも，必要に応じてGoogleクラスルームを通じて行います。その他，連絡事項等もGoogleクラスルームを活用するため，連絡メッセージ等はよく確認するようにして下さい。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習 （内容・時間）	企業および経営・戦略に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスして収集し，自分の学習材料として整理しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	本講義のアウトラインについての復習，課題への取り組み（2時間）
第2回	経営戦略の意義　－環境変化と経営戦略－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分および配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，講義内容の再確認（2時間）
第3回	経営戦略の意義　－経営戦略の定義，企業と環境のかかわり方－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分および配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，講義内容の再確認（2時間）
第4回	経営戦略の意義　－将来志向的な構想，意思決定プロセス－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，講義内容の再確認（2時間）
第5回	経営戦略論の生成と発展　－経営戦略論の生成（チャンドラー，アンゾフ，スタイナー等）－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第6回	経営戦略論の生成と発展　－分析型経営戦略論（経験曲線，PPMほか）－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第7回	経営戦略論の生成と発展　－プロセス型・情報創発型・社会調和型経営戦略論－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第8回	経営戦略論の体系　－全体戦略と個別戦略，経営戦略の構成要素－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第9回	経営戦略の体系　－経営戦略策定プロセス，経営戦略の構成要素の適合性－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第10回	ドメイン　－ドメインの意義，ドメイン定義の要件－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第11回	製品・市場戦略　－製品・市場戦略の意義，製品・市場マトリクス－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第12回	製品・市場戦略　－多角化戦略，差別化と細分化，新製品開発，新市場開拓－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第13回	経営資源　－経営資源と経営戦略－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第14回	競争戦略　－競争戦略の意義，価値連鎖，競争基本戦略，競争戦略の定石－	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの該当部分や配布資料等の事前確認，事前学習/授業レポートの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の振り返り（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EMN-5572-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コマース論Ⅱ	219～223 経営情報学科	2学年・後期	2単位	選択	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	1.コマース論（コマース論Ⅰ）を履修し単位を取得していること。2.履修者全員が販売士検定試験（2級）を受験すること。			

授業概要　Course Outline

この講義は、多様化・高度化した顧客ニーズを的確に捉え、ニーズに合った商品やサービスの提供、商品の開発や仕入、販売、物流などを効率的かつ効果的に行うための実践的なスキルを身に付ける。さらには、将来、商品開発やマーケティング等の分野で活躍できるための専門的な知識も習得する。
なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催販売士検定試験2級を受験し合格を目指す。（販売士試験については、現在1級から3級までCBT方式にて、指定会場でコンピュータを使った受験になりました。年間を通して受験が可能です。）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。
日本商工会議所主催 販売士検定試験（リテール・マーケティング2級を受験し、合格を目指す。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1回で合格!!リテールマーケティング(販売士)検定2級テキスト&問題集	上岡 史郎	成美堂出版	978-4415234311

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
販売士検定試験2級ハンドブック（応用編）～リテールマーケティング（販売士）検定試験2級対応	日本商工会議所 全国商工会連合会	カリアック	H00100227

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（5%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（10%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について） 小売業の類型Ⅰ		
	事前学習（内容・時間）	教科書13頁～26頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第2回	小売業の類型Ⅱ		
	事前学習（内容・時間）	教科書23頁～40頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第3回	小売業の類型Ⅲ		
	事前学習（内容・時間）	教科書41頁～57頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第4回	マーチャンダイジングⅠ		
	事前学習（内容・時間）	教科書61頁～73頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第5回	マーチャンダイジングⅡ		
	事前学習（内容・時間）	教科書74頁～89頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第6回	マーチャンダイジングⅢ		
	事前学習（内容・時間）	教科書90頁～103頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第7回	ストアオペレーションⅠ		
	事前学習（内容・時間）	教科書107頁～127頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第8回	ストアオペレーションⅡ		
	事前学習（内容・時間）	教科書128頁～141頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第9回	ストアオペレーションⅢ		
	事前学習（内容・時間）	教科書142頁～153頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第10回	マーケティングⅠ		
	事前学習（内容・時間）	教科書157頁～178頁を通読する 。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第11回	マーケティングⅡ		
	事前学習（内容・時間）	教科書179頁～198頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第12回	マーケティングⅢ		
	事前学習（内容・時間）	教科書199頁～207頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第13回	販売・経営管理Ⅰ		
	事前学習（内容・時間）	教科書211頁～230頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第14回	販売・経営管理Ⅱ		
	事前学習（内容・時間）	教科書231頁～245頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第15回	販売・経営管理Ⅲ		
	事前学習（内容・時間）	教科書246頁～255頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （リテールマーケティング［販売士］検定試験2級と同定程度の内容、難易度の問題で実施をする。）		

ナンバリング（Numbering）
1EMN-6430-U2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ベンチャー企業論	219～223 経営情報学科	2・3年生・後期	2単位	選択	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・「ベンチャービジネス入門」が一定の基礎となるため，既に履修しており，理解している事が望ましい。 ・また経営学・会計学関連の科目をできるだけ多く履修している事が望ましい。 ・「ベンチャービジネス入門」と同様，社会のあらゆる事象に興味を持ち，自身の人生を成り行きに任せるのではなく，自分の理想とする社会や仕事，働く意義ややり甲斐とは何かを考え，前向きに生きようとする事が前提です。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・ベンチャーだけでなく，ビジネスや経営は，実際に行ってみないと本当の理解はできません。しかしテキストによる基本理論の理解やビデオ・資料等による演習を通じて疑似体験する事は可能です。
・これまでの実務経験を踏まえ，企業経営が身近に感じられるような講義を行い，IT人材（高度情報化人材）として必要なベンチャー企業に関する基本的な知識および自身と社会や企業との関わりについて深く知ろうとする積極性を養っていきます。卒業後，社会に出て「何をすべきか」、「自分ならどうするか」という自らの答えを導き出せる思考能力を培っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・自分自身と社会や企業との関わりについて理解できるようになる。
・IT人材（高度情報化人材）に必要な，ベンチャー企業の社会的意義や特徴および課題や対策等に関する基礎的理論を理解し，社会や企業について関心を持つようになる。
・大企業等に執着することなく，またサラリーマン（給料のために働く人）となる事と当然とせず，自ら会社を興すなど，ビジネスマン（自分のやりたい仕事を創造し実践する人）として社会で活躍できるマインドを身につける。
・また社会に出てから役に立つ経営学について関心を持ち，販売士等各種の資格にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し，自身の意見を発言していくことが求められます。
・ベンチャー企業や革新的企業の経営や戦略等に関するビデオの聴講およびベンチャー企業経営者による講演等による演習を行います。聴講したビデオ・資料等に基づきディスカッションを行うため，ビデオや講演内容の聞き取り力，メモ力，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
事業創造入門	井上・黒澤・田中	中央経済社	978-4-502-51331-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ベンチャー企業	松田修一	日本経済新聞出版社	10-4532113032

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率やディスカッションへの参加状況，各種レポートの作成・提出状況，資格試験等への取り組み，ポートフォリオの活用や教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：広く社会の仕組みや企業および仕事の意義等について理解し，自分自身のと社会やベンチャー企業等との関わりについて理解している。また各種の資格にも挑むくらい，経営学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

基本的には，Googleクラスルームを使って，適宜，学習状況について質問等を受け付け，フィードバックおよび助言・指導をします。また試験結果を踏まえたフィードバックも，必要に応じてGoogleクラスルームを通じて行います。その他，連絡事項等もGoogleクラスルームを活用するため，連絡メッセージ等はよく確認するようにして下さい。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習 （内容・時間）	ベンチャーや起業の体験談およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスして収集し，自分の学習材料として整理しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	本講義のアウトラインについて復習，課題への取り組み（2時間）
第2回	企業の存在意義とベンチャー企業の必要性	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	ベンチャー企業とは：わが国のベンチャー企業の実態	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	ベンチャー企業の特性	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	ベンチャー企業の成長・発展過程（1）成長の考え方と経営戦略の論理	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	ベンチャー企業の成長・発展過程（2）マーケティングの重要性	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	ベンチャー企業の成長・発展過程（3）イグジット（出口戦略）とIPO・MBOの動向	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	ベンチャー企業の活動実態と問題点（1）スタートアップ期	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	ベンチャー企業の活動実態と問題点（2）成長期，成熟期	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	ベンチャー企業の活動実態と問題点（3）安定期	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成③	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	ベンチャー企業と政策	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の「事前学習/授業レポート」に基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EMN-6040-U2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
中小企業論	219～ 経営情報学科	2・3年生・前期	2単位	選択	井上　善海

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	・中小企業論は，経営学の派生理論になります。一般的に大企業を対象とした「経営学」を，中小企業にあてはめながら中小企業固有の課題等について考察してきます。 ・よってベースとなる基本的な経営学関連科目である「経営学総論Ⅰ」「経営学総論Ⅱ」および「経営情報学」，「経営戦略論」，「マーケティング論」，「会計学」，「簿記」などを既に履修し，理解しておく必要があります。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・中小企業は，わが国において企業数および雇用される従業員数とも圧倒的多数を占め，またわが国産業の競争力を下支えしています。IT人材（高度情報化人材）として必要な知識として，大企業との格差問題や下請問題のみならず，中小企業が社会や地域経済に寄与していることについて考察していきます。
・テキストだけでなくビデオ教材等を活用し，また実務経験を踏まえた具体的な事例を交え，構造的・政策的・実践的な議論を展開していきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・中小企業を論じるために必要な，経営学関連科目の基礎知識を有している。
・IT人材（高度情報化人材）として必要な中小企業についての基礎知識（特性や役割および政策等）および今日的な課題（大企業との格差問題や下請問題および中小企業に必要なマネジメント理論）等について理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。
また，中小企業経営に関するビデオを聴講し，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑ等で対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

授業内課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
中小企業経営入門（第2版）	井上・木村・瀬戸編著	中央経済社	978-4-502-42141-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
中小企業白書小規模企業白書 2025年版(上)(下)	中小企業庁	日経印刷	978-4865794731 978-4865794748

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（60%）と授業内課題レポート（40%）を基準とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢として良かったところ悪かったところなどを、試験結果やレポート、ポートフォリオやルーブリックの提出状況に基づいて説明します。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習 （内容・時間）	中小企業およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスし，自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	本講義のアウトラインについて復習，課題への取り組み（2時間）
第2回	中小企業の特性	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	中小企業の歴史	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	海外の中小企業	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	中小企業問題と中小企業政策	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	中小企業の戦略マネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	下請分業構造の変容と中小企業のマネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	中小企業ネットワークのマネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	地域産業集積の変容と中小企業のマネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	グローバル経済の変容と中小企業のマネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	中小企業の組織・人材マネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	中小企業の事業承継マネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	中小企業の製品開発・事業開発マネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	中小企業の財務マネジメント	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EMN-6320-Z2E

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ビジネスプランニング		219～ 経営情報学科	3・4年生・後期	2単位	選択	遠藤　真紀
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	・自身のビジネスアイディアを事業計画書へまとめるにあたり，経営学の基礎である「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」をはじめ，「経営情報学」，「会計学」，「簿記」，「管理会計」，「経営戦略論」，「マーケティング論」，「消費者行動論」，「流通経済論」など，基本的な関連科目を履修し，理解している事が前提です。 ・需要予測や資金計画・利益計画も作成するため，特に計数管理に必要な財務・会計などの知識は必須となります。					

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。
・新しく企業やビジネスを興す時，製品・サービスの市場性の見きわめ（市場調査・需要予測などの外部環境分析）や自社（自分）の能力評価（内部環境分析）が必要です。過去の実務経験を踏まえ，アイディアの出し方やまとめ方および事業計画の作成方法をテキストやワークシート等を使って講義します。なお週一回の断片的な講義では，考えがまとまらなかったり，作業が進まなかったりするため，例年，土日を使った集中特別講義を行っています。
・最終的には，IT人材（高度情報化人材）として，自分のビジネスアイディアを事業計画書にまとめあげる能力を養い，その内容を発表するなど，プレゼンテーション能力を培っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・自分自身と社会や企業との関わりについて理解し，社会に役立つビジネスアイディアが出せるようになる。
・起業して事業を成功させるために必要な経営戦略やマーケティングおよび資金計画・利益計画など，事前検討項目等を理解するとともに，講義・演習を通じて，その検討結果を自分自身の事業計画書（ビジネスプラン）として，まとめていく能力が備わっている。
・同時に，IT人材（高度情報化人材）として事業の成功や失敗のケースを学び，社会に出てから役に立つ経営学について関心を持ち，積極的に関連する資格（ITパスポートや簿記，販売士等）にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型・演習型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応するとともに，自身のビジネスアイディアを抽出し，それをビジネスプラン（事業計画書）としてまとめ，発表してもらいます。
・また土日を使った集中講義（特別講義）では，ビデオ演習や学外の企業・店舗を視察し，損益分析などのビジネスシミュレーションを行います。視察資料やビデオに基づきディスカッションを行うなど，情報収集能力（聞き取り力，メモ力等）や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
事業創造入門	井上・黒澤・田中	中央経済社	978-4-502-51331-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
事業再構築のプランニング	井上善海ほか	中央経済社	4-502-37510-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率，ディスカッションへの参加，毎回のレポート提出，資格試験への取り組み，ポートフォリオ（事前学習/授業レポート）提出，教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：広く社会の仕組みや企業および仕事の意義等について理解している。一貫性のあるビジネスプランを作成するプロセスおよび必要な各検討項目を理解している。自分自身のアイディアをビジネスプランとしてまとめることができる。また各種の資格にも挑むくらい，経営学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

基本的には，Googleクラスルームを使って，適宜，学習状況について質問等を受け付け，フィードバックおよび助言・指導をします。また試験結果を踏まえたフィードバックも，必要に応じてGoogleクラスルームを通じて行います。その他，連絡事項等もGoogleクラスルームを活用するため，連絡メッセージ等はよく確認するようにして下さい。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインおよびワークシートの理解）	
	事前学習（内容・時間）	シラバス，テキストの確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の再確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
第2回	自信と企業の関係，企業の存在意義と成長要因	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の再確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
第3回	経営理念・事業コンセプトの重要性（学外の店舗視察等を含む集中特別講義含む）	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の確認とビジネスプラン各項目の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の再確認とビジネスプラン各項目の検討（2時間）
第4回	新事業計画の策定手順と記入例（学外の店舗視察等を含む集中特別講義含む）	
	事前学習（内容・時間）	配布資料（事業計画書ワークシート）の事前確認とビジネスプランの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布資料（事業計画書ワークシート記入例）の再確認とビジネスプランの検討（2時間）
第5回	事業計画ワークシートの作成－演習（1）：ビジネスアイディアの抽出	
	事前学習（内容・時間）	配布資料（事業計画書ワークシート記入例）の再確認とビジネスプランの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身のビジネスプラン各項目の検討（2時間）
第6回	事業計画ワークシートの作成－演習（2）：ビジネスアイディアの評価	
	事前学習（内容・時間）	自身のビジネスプランの検討と評価（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身のビジネスプランの評価とブラッシュアップ（2時間）
第7回	事業計画ワークシートの作成－演習（3）：事業コンセプトと経営理念	
	事前学習（内容・時間）	自身のアイディアの事業コンセプトの再確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身のアイディアの事業コンセプトのブラッシュアップ（2時間）
第8回	事業計画ワークシートの作成－演習（4）：外部環境と内部環境の評価	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容の外部環境・内部環境の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容の外部環境・内部環境の再検討（2時間）
第9回	事業計画ワークシートの作成－演習（5）：マーケティングの展開	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容のマーケティング施策の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容のマーケティング施策の再検討（2時間）
第10回	事業計画ワークシートの作成－演習（6）：ビジネスモデルの検討	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容のビジネスモデルの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容のビジネスモデルのブラッシュアップ（2時間）
第11回	事業計画ワークシートの作成－演習（7）：収支計画（見積損益計算書の作成）	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容の収支計画の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容の収支計画の再検討（2時間）
第12回	事業計画ワークシートの作成－演習（8）：資金計画（設備資金と運転資金）	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容の資金計画の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容の資金計画の再検討（2時間）
第13回	事業計画ワークシートの作成－演習（9）：販売計画	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容の販売計画の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容の販売計画の再検討（2時間）
第14回	ビジネス・プレゼンテーション（プレゼンテーションとビジネスプランの評価）	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業のプレゼンテーション内容の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業のプレゼンテーション内容のブラッシュアップ（2時間）
第15回	講義のまとめと全体総括	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業計画書の再確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義のまとめと全体総括の復習（2時間）
第16回（定期試験）	期末試験：事業計画書(ビジネスプラン)およびプレゼンテーション資料の提出と発表	

ナンバリング（Numbering）						
1EGN-5510-22E						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
国際経営論		219～ 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	王　効平
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし			
履修の前提条件 Course Prerequisites		①世界経済や多国籍企業に興味があること。 ②新聞を読んで、時事問題に関心を持っていること。				

授業概要　Course Outline

経済のグローバル化と少子高齢化の進行に対応して、日本企業は製造業から商業・小売業に至るまで、中国や東南アジア諸国へと進出している。授業では、グローバル化する世界経済の実態を学び、変化する経済環境に対応して採られる企業の国際経営戦略を考察する。実例に相応しい新聞記事を取り上げて理解を深める。
授業は、毎回準備するプリントとテキストを併用して進める。
受講者の理解度を確認するために、小テストを実施し、不出来な箇所の理解を深める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業では、学則第3条を踏まえて、経営学の基本知識の修得に努め、
・世界経済の現状が把握できること
・企業の国際経営戦略の課題が理解できること
・国際経営分野の更に専門的な学習への橋渡し、あるいは実生活での活用に役立てられることを目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①双方向・対話型の授業を心掛けるので、積極的な発言を期待する。
②質問を歓迎する。理解できないことは、どしどし質問して欲しい。
③企業の経営者であるとの想定で企業戦略を考えてもらうような取り組みも実施したい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業中か授業終了後に質問を受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,
ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：事前・事後学習のチェックを行うので、指示があれば必要事項を記入してメールで提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
国際ビジネス論を学ぶ	小川雄平・猿渡剛編著	中央経済社	978-4-502-35761-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
国際経営　第5版	吉原英樹	有斐閣	978-4-641-22172-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験を実施する。成績評価は、学習成果の達成度を評価する観点から、定期試験70%、授業中に実施する小テスト20%、授業への取組み（積極的な発言等）10%とする。欠席日数が3分の1を超える者は定期試験の受験資格を認めない。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業中に小テストを実施し、理解が不十分だと思われる箇所については、詳しく解説する。定期試験終了後にもオフィスアワーを利用して理解不十分と思われる箇所の解説を行い、学習指導に万全を期す。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション：経済と経営の違いは？国際経営とは？（授業のアウトラインの説明）		
	事前学習（内容・時間）	シラバスをよく読んで、注意事項をメモし、授業の全体の流れを把握しておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	プリントを熟読して授業内容を振り返り、不明な個所を明らかにしておく。	時間：2時間
第2回	株式会社の仕組みと企業経営		
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで「株式会社」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第3回	多国籍企業の経営目標と国際経営戦略		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけてておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	テキストの第5章をよく読んで、多国籍企業の理解を深めておく。	時間：2時間
第4回	日本経済の構造変化と企業の多国籍化		
	事前学習（内容・時間）	テキストの序章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけてておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで、授業内容を復習する。	時間：2時間
第5回	日本企業のグローバル展開：グローバルサプライチェーンとは何か		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第6回	少子高齢化と日本的経営		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第7回	日本企業とアジアビジネス		
	事前学習（内容・時間）	テキストの４章と11章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第8回	為替レートと企業戦略Ⅰ：為替レートの決定要因、為替レートの影響、企業の社内レート		
	事前学習（内容・時間）	テキストの３章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第9回	為替レートと企業戦略Ⅱ：円高と生産・輸出拠点の移転・再移転		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第10回	貿易取引の実際と決済		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで「外国為替」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第11回	日本の関税と自由貿易協定（FTA）		
	事前学習（内容・時間）	テキストの2章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第12回	メガFTAと企業戦略		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第13回	自動車産業の生産・輸出基地としてのメキシコ		
	事前学習（内容・時間）	テキストの７章をよく読んで、自動車生産についての理解を深めておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第14回	多国籍企業とタックスヘイブン（租税回避地）		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第15回	日本企業の税務戦略と移転価格税制		
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで「移転価格税制」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第16回（定期試験）	定期試験		

ナンバリング（Numbering）
1EGN-5530-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
国際情報分析	219～223 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	クリス フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	英検準2級・TOEIC 550程度の英語能力が必要。

授業概要 Course Outline

この講義では世界のマスコミや情報源を紹介し、主に英語の情報を分析して研究する。毎週時事ニュースの記事を紹介し、研究する。世界の主な新聞、テレビ、インターネットサイトなどの記事やレポートを徹底的に分析、理解、そして議論する。毎回のプリントが試験持ち込み可なので、大事にとっておいてください。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

現代の社会では国際化・情報化がマスコミに大きな影響を与えてきた。衛星テレビ、インターネットのニュースサイトやテレビ局のon-demand動画映像などが大量の情報を供給しているが、その中から適切な情報を検索、選択する技術が求められている。またはいわれるFAKE NEWSを見分けるスキルも身に付ける

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

中間試験と期末試験として、学生が新聞記事などを用意し、クラスに詳しく説明するというプレゼンテーション形式を実施する。または積極的に毎週の主なニュースを調べて、クラスに紹介する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。オフィスアワー:
火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　5,10,1月、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入すること。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
毎週、新聞記事をプリントして配布する。その記事はテストの題材となる			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
報道は欠陥商品と疑え	鳥越 俊太郎	ウエイツ	4-901391-22-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

50%授業の貢献度、50%期末レポート・試験

学習成果に対するフィードバック(指導と助言） Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題を クラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction to Media Studies　国際情報分析・メディア	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第2回	First News Topic　第1回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第3回	Second News Topic　第2回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第4回	Third News Topic　第3回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第5回	Fourth News Topic　第4回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第6回	Fifth News Topic　第5回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第7回	Sixth News Topic　第6回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第8回	Seventh News Topic　第7回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	1から7の記事を復習すること。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第9回	Eigth News Topic　第8回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第10回	Ninth News Topic　91回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第11回	Tenth News Topic　第10回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第12回	中間テスト、これまで勉強した1～4回の記事(TOPIC)についてのテスト	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第13回	中韓テスト　振り返り	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第14回	Eleventh News Topic　第11回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第15回	Tests preparation テスト準備	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第16回（定期試験）	期末テスト、 TOPIC 5～11についての期末テスト	

ナンバリング（Numbering）
1EGN-6290-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネス英語Ⅱ	221～223 経営情報学科	3・4年生・後期	2単位	選択	藤内　響子
	219・220 経営情報学科	2年生・後期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	英語の基礎力を持っていること。熱意を持って学習や発表に取り組めること。

授業概要　Course Outline

商品価格や為替相場決定のメカニズムから説き起こして、関税、経済ブロック、対外債務、南北格差問題、さらには経済成長が地球環境に及ぼす影響まで。身の回りで起こっている様々な経済事象の中から、最も大きな変化をとげつつあるテーマを題材に選び、今日の世界経済を語るうえで欠かせないテーマを英語で学ぶものである。
なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

基本的な経済事項を英語で理解できる様になること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容を敷衍する形で現実に社会の中で起きている経済事象を確認し、問題点等をまとめて、授業で発表してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室（272）にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。
ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Let's Enjoy Business English	佐藤哲三、佐藤勇治、池田賢治　他	南雲堂	978-4-523-17828－6　C0082

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語 Evergreen	川崎芳人 他	いいずな書店	978-4-86460-721-6 C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学修の取組みについて、メールまたはGoogleclassroomでお問い合わせください。折り返して連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction: Disaster　damage threatens car maker's steady recovery①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第2回	Wal-Mart still tops Fortune 500 list①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第3回	Wal-Mart still tops Fortune 500 list②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第4回	Son floats joint natural energy plant in Gobi Desert with Beijing, Seoul①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第5回	Son floats joint natural energy plant in Gobi Desert with Beijing, Seoul②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第6回	Economy up for first time in four months①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第7回	Economy up for first time in four months②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第8回	IMF, OECD, push for sales tax hike①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第9回	IMF, OECD, push for sales tax hike②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第10回	U.S. sees big rise in skilled immigrants①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第11回	U.S. sees big rise in skilled immigrants②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第12回	Disasters knock Aussie growth①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第13回	Bioremediation and Bioreactors	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第14回	Disasters knock Aussie growth②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第15回	SMFG looking to expand Asian earnings by 50%①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第16回 （定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EGA-5520-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
国際物流論	226～ 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	男澤　智治
国際経済論	～225 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	①世界的な経済・社会状況に関心があること。 ②時事問題に興味を持って新聞を読むこと。

授業概要　Course Outline

近年の国際ビジネス環境や貿易政策の変化を踏まえた上で、国際物流論の視点から解説を行う。国際物流論は、国際的な貨物の移動を考察する。国際的な貨物の移動は、主として企業の国際貿易活動によって生じるものである。企業のグローバル化がますます進展すると共に、従来の貿易活動は勿論のこと企業の海外進出が大幅に拡大すると共に、企業内の物流は勿論のこと地球規模での貨物の移動はますます増大し、高品質で安価な国際物流ネットワークが求められている。
テキストは使用せず、テキストに代わるプリントを準備して授業を進める。
授業の理解度を測るために、授業時間中に小テストを実施し、学生の理解度を確認する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業では、学則第1条を踏まえて、豊かな人間性を備えた創造的・実践的な人材の育成を目標に、
①グローバル化した世界経済・社会の現状が把握できること
②国際貿易の仕組みが理解できること
③物流、ロジスティクスの定義など基礎的事項が理解できること
④国際物流とは何かを理解できること、を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①双方向・対話型の授業を心がけるので、積極的な発言を求める。
②授業内容に関係する記事を配布して自分なりの意見を言えるようにする。
③質問を歓迎する。理解できないことは授業中に質問をしてほしい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

非常勤講師なので、授業中か授業終了後に質問を受け付ける。また、それ以外では、ozawa@cb.kiu.ac.jpにメールをして頂きたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：適宜、GoogleFormsによるアンケートまたはミニッツペーパーを実施する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教科書に代わるプリントを準備する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
物流論（第3版）	齊藤実・矢野裕児・林克彦	中央経済社	978-4-502-52811-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験を実施する。成績評価は、学習成果の達成度を評価する観点から、定期試験70%、授業中の小テスト20%、授業への取り組み（積極的な発言等）10%とする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業中に実施する小テストの提出に対してコメントを添えることで、学習成果をフィードバックします。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション（授業概要、受講上の注意事項、貿易と物流に関するキーワードの説明）		
	事前学習（内容・時間）	シラバスをよく読んで、授業の全体の流れを理解し、注意事項を確認する。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	プリントをよく読んで、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第2回	国際ビジネスとその展開（国際ビジネスとは？、戦後の国際ビジネスの展開）		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第3回	中国の台頭と世界経済（社会主義経済の中国、中国のWTO加盟など）		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第4回	FTAと貿易戦略（FTAとは何か、FTAネットワークと日系企業の貿易戦略）		
	事前学習（内容・時間）	トランプ関税について自分なりに整理し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第5回	戦後のわが国物流の発展		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第6回	物流活動の諸機能		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第7回	1990年における規制緩和		
	事前学習（内容・時間）	物流における規制緩和とは何かを調べ、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第8回	SCMと3PL、フィジカルインターネット		
	事前学習（内容・時間）	テーマに関する言葉の意味を調べ、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第9回	企業の国際化と国際物流		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第10回	国際物流の担い手（キャリア・フォワーダー・ターミナル）		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第11回	国際航空貨物輸送		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第12回	国際海上貨物輸送		
	事前学習（内容・時間）	コンテナ輸送について自分なりに調べ、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第13回	国際鉄道貨物輸送（国際複合一貫輸送）		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第14回	フォワーダー、船荷証券、航空運送状、輸出入通関システムなど		
	事前学習（内容・時間）	「船荷証券」「航空運送状」とは何か自分なりに調べ、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第15回	国際物流拠点（港湾、空港の働き）・・・中国・深圳港の事例紹介		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモをしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点を再度確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第16回（定期試験）	定期試験		

ナンバリング（Numbering）
1EGA-5540-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
国際政治学	～222 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	坂上　宏

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「政治学」をすでに受講済みであることが望ましい。 ②カント『永遠平和のために』を読了しておくことが望ましい。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

近代国際関係の成立に関して、その最も重要な契機となるのが1648年ウェストファリア講和会議です。この会議を経て、主権を有する国民国家を単位とする「国際関係」が生まれたと考えられています。この講義の前半では、H.Jモーゲンソーおよび F.L.シューマンの所説に依拠しながら、近代国際関係の成立の背景として、中世末期から同会議に至る西ヨーロッパ世界の変遷について説明し、次に近代国際関係の主要な特徴である国家主権、国際法、勢力均衡について解説します。後半では、イマニュエル・カントの道徳論とそれに立脚する平和論について解説します。カントは、人間は自ら進んで善を行う「自律」的存在であるとし、そのような「市民」から成る国家間の連合によって平和が実現されると主張します。このようなカントの平和論の根底には、彼の哲学的に深遠な洞察があります。この講義では、そうした彼の思想についても可能な限り言及することにしたいと思います。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義の目標は、第一に受講者がH.Jモーゲンソーおよび F.L.シューマンが説明する近代国際関係の成立とその基本的特徴について理解できるようになることです。第二にイマニュエル・カントの説く平和論の内容について理解できるようになることです。これらにより、受講者の国際政治に関する歴史的・理論的視野を広げることがさらなる目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

・学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。
・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見をお伝えする予定です。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『永遠平和のために』『君主論』 『リヴァイアサン(1)～(4)』	カント，マキャベリ， ホッブズ	岩波文庫	4003362594,4003400000 4003400410・429・437・445
『国際政治　上中下』※特に中巻 『国際政治　上下』※特に上巻	モーゲンソー（原彬久ほか訳） シューマン	岩波文庫 東京大学出版	4003402812・2820・2839, 4130300296,413030030X

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出）。　　成績評価の基準 ：
①西欧国家体系の特質について、特にウェストファリア体制の成立、国家主権、国際法、勢力均衡について理解しているか。
②カントの平和論について、特に実践理性、平和状態と市民的体制、国際法と諸国家の連合、世界市民法と普遍的な友好に関してそれぞれの内容を理解しているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、現代国際関係の特徴(ボーダーレスとボーダーフル) :ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習 (内容・時間)	現代国際関係の特徴についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	現代国際関係の特徴についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①)(2時間)
第2回	中世ヨーロッパ社会の特徴、中世から近代への移行(ルネサンス運動、宗教改革) :ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習 (内容・時間)	中世ヨーロッパ社会の特徴についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	ルネサンス運動の特徴についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②)(2時間)
第3回	中世から近代への移行(資本主義、絶対王政国家の出現)、ドイツ30年戦争 :ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習 (内容・時間)	中世から近代への移行についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	ドイツ30年戦争についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③)(2時間)
第4回	ﾄﾞｲﾂ30年戦争とｳｪｽﾄﾌｧﾘｱ講和条約～西欧国家体系の誕生、国際関係の誕生と外交の形成 :ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習 (内容・時間)	ｳｪｽﾄﾌｧﾘｱ講和条約についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	西欧国家体系についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④)(2時間)
第5回	国際関係の誕生と外交の形成(中世ｲﾀﾘｱの状況)、外交の目標と手段、国際政治とは何か :ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習 (内容・時間)	『君主論』で述べられている外交の目標と手段について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	『君主論』で述べられている外交の目標と手段について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤)(2時間)
第6回	西欧国家体系を構成する概念その1(国家主権の概念について、その思想の変遷) :ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習 (内容・時間)	国家主権の概念についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	国家主権の概念についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥)(2時間)
第7回	西欧国家体系を構成する概念その2(国際法と国際社会) :ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習 (内容・時間)	国際法についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	国際法についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦)(2時間)
第8回	西欧国家体系を構成する概念その3(勢力均衡とﾊﾟﾜｰﾎﾟﾘﾃｨｸｽ):ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習 (内容・時間)	勢力均衡についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	勢力均衡についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧)(2時間)
第9回	国際政治と理想主義の思想 :ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習 (内容・時間)	国際政治に関する理想主義の思想についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	国際政治に関する理想主義の思想についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨)(2時間)
第10回	ｶﾝﾄの思想① 純粋理性と実践理性 :ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習 (内容・時間)	カントが述べる純粋理性と実践理性についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	カントが述べる純粋理性と実践理性についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩)(2時間)
第11回	ｶﾝﾄの思想②平和論(戦争状態と平和状態、平和状態と市民的体制):ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習 (内容・時間)	カントが述べる戦争状態と平和状態についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	カントが述べる平和状態と市民的体制についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪)(2時間)
第12回	ｶﾝﾄの思想③平和論(国際法と諸国家の連合、世界市民法と普遍的な友好):ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習 (内容・時間)	カントが述べる国際法と諸国家の連合についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	カントが述べる世界市民法と普遍的な友好についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫)(2時間)
第13回	ｶﾝﾄの思想④ 自然の摂理と永遠平和の保証について:ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習 (内容・時間)	カントが述べる自然の摂理についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	カントが述べる永遠平和の保証についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬)(2時間)
第14回	ｶﾝﾄの思想⑤ 道徳について :ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習 (内容・時間)	カントが述べる道徳のあり方についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	カントが述べる道徳のあり方についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭)(2時間)
第15回	ｶﾝﾄの思想⑥ 道徳と政治の関係 :ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習 (内容・時間)	カントが述べる道徳と政治のあり方についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭)(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	カントが述べる道徳と政治のあり方についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑮)(2時間)
第16回 (定期試験)	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

専門教育科目

（情報ネットワーク学科）

ナンバリング（Numbering）
1AIB-6361-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プログラミング初歩Ⅰ	219～ 情報ネットワーク学科	1年生・前期	2単位	必修	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	これまでに学習した情報・プログラミング関連の内容についてまとめておく。本学図書館の教職指定コーナーに配置されている高等学校情報科「情報の科学」「情報Ⅰ」の教科書のプログラミング関連項目を読んでおく。（このまとめは提出物として回収予定） ITパスポート試験、テクノロジ分野の合格点到達を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、プログラミングを通して、プログラミングの手順や流れを修得する。どのプログラミング言語を学ぶ上でも根本が同じであることをプログラミング言語を通じて体感する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

簡単なフローチャートを読み書きできるようになる。基本制御構造について理解し、簡単なプログラミングができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Scratchではじめよう！ プログラミング入門	杉浦学	日経BP社	978-4-8222-9774-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、プログラミング入門	
	事前学習（内容・時間）	身近なプログラムについて調べ、履修要件の内容をまとめて提出できるようにしておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	プログラミング関連の用語、概念	
	事前学習（内容・時間）	概念、コンセプト、イメージについて調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	フローチャート入門	
	事前学習（内容・時間）	フローチャート、流れ図、図式について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	端点、線、処理について理解を確認する。実際に描いてみる。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	フローチャートとIPOモデルの考え方	
	事前学習（内容・時間）	起承転結、序論・本論・結論、文章による説明の流れについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	IPO(Input, Process, Output)モデルに近いものを探してみる。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	フローチャートを意識したScratchプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	Scratchプログラム（並べたブロック）やその実行結果、実況などを調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	フローチャートとScratchプログラムの類似点を確認する。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	Scratchプログラミング実習	
	事前学習（内容・時間）	Scratchプログラムで簡単そうなものを探してみる(scratch.mit.edu)。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業時間内に終わらなかった課題を完成させる。類題に挑戦する。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	Scratchプログラミング、より高度な機能	
	事前学習（内容・時間）	これまでに使ったScratchのブロックとその分類についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	ペンに代表される拡張機能や、ブロック定義などを実際に使ってみる。[2.0h]
第8回	フローチャートを意識したScratchプログラミング（2）より高度な機能	
	事前学習（内容・時間）	IPOモデルやフローチャートの定義済み処理を意識したプログラムを考えてみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	実際にフローチャートを描いてから、それに基づいてプログラミングしてみる。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	基本制御構造： 連接、選択、反復	
	事前学習（内容・時間）	プログラムの基本制御構造（連接、選択、反復）について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	Scratchの制御ブロックと選択、反復の対応を確認する。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	Scratchプログラミング実習（2）基本制御構造を意識して	
	事前学習（内容・時間）	部品化やIPOモデルを意識したプログラミングを想像してみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	文章、フローチャート、Scratchプログラムの順に開発してみる。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	Scratchプログラミング実習（3） 選択構造、反復構造	
	事前学習（内容・時間）	10回でプログラミングしやすかった点、しにくかった点についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業時間内に終わらなかった課題を完成させる。類題に挑戦する。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	プログラミングにおける再帰の考え方と反復	
	事前学習（内容・時間）	再帰、基底、帰納、反復について調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	単純なプログラムで再帰と反復を比較してみる。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	情報に関する知識とプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	プログラミングで扱うデータ表現と情報科学の知識について調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業をうけて、初めてふれたこと、なぜ調べられなかったのか考察。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	変数と基本的データ構造とプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	基本的データ構造、整数型、実数型、範囲、ビット数などについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	最も基本的なデータ型一つは何か考察する。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容をまとめる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、準備・復習をする。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIB-6372-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング初歩Ⅱ	219～ 情報ネットワーク学科	1年生・後期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング初歩Ⅰに合格していること（編入生を含む）。 ITパスポート試験の合格を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、フローチャートや変数表を活用して第三者が作成したプログラムを理解したり、更新したりできるようにする。また、逆に第三者が理解や更新を施すのが容易なプログラムの記述方法、例えば字下げや注釈添付なども学ぶ。さらに高度なプログラムを作成し、より高品質、より高信頼のプログラム作成を目指す。高品質を実現する方法の一つとしてGUI(Graphical User Interface)を用いた、プログラム作成にも挑戦してみる。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

プログラミング初歩Ⅰで学習したプログラミングの基礎に基づいて、さらに実際に多くのより複雑なプログラムを作成しつつ、プログラミング理論への理解をいっそう深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1) Scratchではじめよう！プログラミング入門	1) 杉浦学	1) 日経BP社	1) 978-4-501-55450-7
2) 学生のためのExcel VBA　第2版	2) 若山芳三郎	2) 東京電機大学出版局	2) 978-4-8222-9774-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、プレースメント試験	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング初歩Ⅰの内容を復習する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題を復習。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	開発環境 (Scratch, VBS/VBA, Python)	
	事前学習（内容・時間）	開発環境、プラットフォーム、OS(基本ソフト)について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	プログラミング初歩Ⅰの開発環境についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	基本データ型	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング初歩Ⅰで学んだデータ型についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	型付き、型無し、強い型、弱い型についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	データ型Ⅰ	
	事前学習（内容・時間）	基本データ型、派生データ型、配列、構造体、参照型、オブジェクトについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	VBS, VBS, Scratchにおけるデータ型の扱いを確認する。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	制御文（選択構造）	
	事前学習（内容・時間）	選択する際に、二者択一の場合と多岐選択の場合の違いを考察する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	多岐選択が1つの部品の場合と複数の二者択一の組合せの場合と比較。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	データ型Ⅱ	
	事前学習（内容・時間）	データ型と演算子、動的型付けと静的型付けについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	モデル化、付番、数値化について調べる。振り返りを書く。[1.0h]
第7回	制御文（反復構造）	
	事前学習（内容・時間）	選択と反復の違いと特徴を確認する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定回反復と不定回（条件）反復、前判定と後判定についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	中間試験	
	事前学習（内容・時間）	7回までの内容（プレースメント試験含む）を総復習する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題を復習。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	プログラムの抽象化	
	事前学習（内容・時間）	コンピュータの五大装置と抽象化、データ・手続きの抽象化について考察。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	マジックナンバーの排除の事例、変数・定数の導入を実習。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	手続きと関数Ⅰ（戻り値なし）	
	事前学習（内容・時間）	手続き、作業、段取り、ひとまとめについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	手続きを含むプログラムを書いて実行してみる。ない場合と比較。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	手続きと関数Ⅱ（戻り値あり）	
	事前学習（内容・時間）	関数、変換、加工、写像について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	関数を含むプログラムを書いて実行してみる。ない場合と比較。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	再帰とスタック	
	事前学習（内容・時間）	再帰と反復の関係、スタック、キューについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	再帰プログラムと反復プログラムを比較。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	応用プログラムⅠ	
	事前学習（内容・時間）	Scratch, VBS,VBAを復習する。フローチャート、IPOモデルについて復習する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業時間内に完成しなかった課題を完成させる。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	応用プログラムⅡ	
	事前学習（内容・時間）	VBS/VBA, Pythonを復習する。Scratchとの違いを意識する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業時間内に完成しなかった課題を完成させる。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容をノートにまとめる。手書きを強く推奨。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、想定問題を作成し、解法込で説明できるようにする。振り返りを書く。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6342-24E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プログラミング実践Ⅰ	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	4単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング初歩Iを修得していること．（編入学生はこの限りではない．）

授業概要　Course Outline

本講義ではディプロマポリシーに基づき，プログラミングに関する基本事項をおさえ，プログラムコードの記述方法，プログラムの実行に関する基本作法を学び，これらを実習を通して体系的に習得する．本実習ではPythonを使用する．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる．②サンプルプログラムを応用できる．③課題に応じて最適な処理構文を選択し，使用できる．④選択処理，反復処理の構文が列挙できる．⑤講義に参加できる．⑥課題解決のためにお互いに助けることができる．⑦疑問点を尋ねることができる．⑧プログラム処理のためにPCを操作できる．⑨サンプルプログラムを模倣できる．⑩プログラム作成のためにフローチャートを自分で準備できる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく，実習型講義を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室（653）にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スラスラわかるPython 第2版	岩崎 圭（著），北川 慎治（著），寺田 学（監修）	翔泳社	978-4798169361

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Pythonチュートリアル	Guido van Rossum	オーム社	978-4-87311-753-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

実習課題（50%）と定期試験（50%）で評価する．

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

中間課題，期末課題では各学生に結果をフィードバックする．講義内の小テストについては，回収はせずに他己採点のもと結果を自身で保管し，学習に役立てられるように配慮する．

授業計画 Course Schedule		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習 (内容・時間)	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第2回	プログラミング概要	
	事前学習 (内容・時間)	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第3回	Pythonの実行環境構築	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の付録AおよびBを通読する(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第4回	Pythonの実行環境構築	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の付録AおよびBを通読する(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第5回	Pythonプログラミング入門(1)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.12-24)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第6回	Pythonプログラミング入門(1)　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.12-24)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第7回	Pythonプログラミング入門(2)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.25-35)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第8回	Pythonプログラミング入門(2)　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.25-35)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第9回	プログラムの材料と道具	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.38-61)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第10回	プログラムの材料と道具　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.38-61)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第11回	データと型	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.64-86)通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第12回	データと型　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.64-86)通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第13回	データ型	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.88-113)通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第14回	データ型　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.88-113)通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第15回	中間課題演習(1)	
	事前学習 (内容・時間)	第１回から第14回までの講義の復習をする．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第16回	中間課題演習(2)	
	事前学習 (内容・時間)	第１回から第14回までの講義の復習をする．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)

第17回	条件分岐と繰り返し(for文)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.118-122)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第18回	条件分岐と繰り返し(for文) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.118-122)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第19回	条件分岐と繰り返し(if文)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.123-128)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第20回	条件分岐と繰り返し(if文) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.123-128)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第21回	条件分岐と繰り返し(while文とエラー)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.129-145)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第22回	条件分岐と繰り返し(while文とエラー) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.129-145)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第23回	ファイルの読み書き(1)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第24回	ファイルの読み書き(1) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第25回	ファイルの読み書き(2)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第26回	ファイルの読み書き(2) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第27回	期末課題演習(1)	
	事前学習 (内容・時間)	第1回から第26回までの講義の復習をする. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第28回	期末課題演習(2)	
	事前学習 (内容・時間)	第1回から第26回までの講義の復習をする. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第29回	期末課題演習(3)	
	事前学習 (内容・時間)	前回の期末課題演習の準備と復習を行う. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第30回	期末課題演習(4)	
	事前学習 (内容・時間)	前回の期末課題演習の準備と復習を行う. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第31回 (定期試験)	定期試験を実施する.	

ナンバリング (Numbering)
1AIN-6353-24E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング実践II	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・後期	4単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング実践Iを修得したこと（履修中や「不可」は不可）. （編入生はこの限りではない. ）

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき, この授業では, Pythonプログラミングに関する基本事項を復習し, それらの知識・技能を活かして, より応用的な知識及び技能の獲得を目指す.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる. ②サンプルプログラムを応用できる. ③課題に応じて最適な処理構文を選択し, 使用できる. ④講義に参加できる. ⑤課題解決のためにお互いに助けることができる. ⑥疑問点を尋ねることができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく, 実習型講義を実施する.
授業では教科書には載っていない内容についてもカバーする.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp ; Google クラスルーム

その他 Others, 外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎2回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.
生成系AIの使用に関するポリシーに基づき, 本授業はその使用を禁止しています.
初回の授業において, 生成系AIの使用に関する規約宣言書を記入し, 提出してください.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ゼロから学ぶPythonプログラミング Google Colaboratoryでらくらく導入	渡辺 宙志	講談社	978-4065218839
Python2年生 データ分析のしくみ 体験してわかる! 会話でまなべる!	森巧尚	翔泳社	978-4798164960

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新・標準プログラマーズライブラリ 試してわかる Python[基礎]入門	谷尻 かおり	技術評論社	978-4297125004

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

プログラミング課題30%＋中間課題演習15%＋後期課題演習15%＋定期試験30%＋平常点10%(「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」の提出状況)で評価する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,中間課題演習および後期課題演習の結果,ならびにプログラミング課題およびポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.
補助資料（Solution）等は,必要に応じてGoogle クラスルームでお知らせするため,各自Google クラスルームの通知をよく確認すること.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス, プログラミング概要	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, プログラミング実践Iの教科書を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方, 手順などを教科書, Web, その他の参考書などを通して理解しておくこと.(2時間)
第2回	Pythonプレテスト	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, プログラミング実践Iの教科書を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて,本時の学修内容を記載する.(2時間)
第3回	Pythonの概要	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, プログラミング実践Iの教科書の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.(2時間)
第4回	Google Colabの使い方	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, プログラミング実践Iの教科書の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.(2時間)
第5回	条件分岐	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.(2時間)
第6回	繰り返し処理	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.(2時間)
第7回	関数	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.(2時間)
第8回	再帰呼び出し	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.(2時間)
第9回	リスト	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.(2時間)
第10回	タプル	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.(2時間)
第11回	文字列処理とファイル操作	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.(2時間)
第12回	ワードクラウドの作成	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.(2時間)
第13回	クラスとオブジェクト指向プログラミング (OOP)	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.(2時間)
第14回	実践的なOOP：属性を持つクラスと属性を持たないクラスの作成	
	事前学習 (内容・時間)	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.(2時間)
第15回	中間課題演習の練習	
	事前学習 (内容・時間)	第3回～第14回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	時間内にできなかった問題は必ず完成させること. 中間課題演習に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題に取り組むこと（提出は不要）.(2時間)
第16回	中間課題演習	
	事前学習 (内容・時間)	第3回～第14回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	定期試験に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題や補助資料(solution)に取り組むこと（提出は不要）. あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を行うこと.(2時間)

第17回	NumPyとSciPyの使い方	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第18回	画像処理：フィルタ変換	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，参考文献，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第19回	乱数を使ったプログラム	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，参考文献，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第20回	数値シミュレーション：じゃんけんプログラム	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，参考文献，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第21回	pandasの使い方	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第22回	pandasの応用	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第23回	Matplotlib:可視化	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第24回	Matplotlib:カスタマイズ	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）

第25回	seabornのサンプルデータセット	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第26回	iris(アヤメ)のデータセットの分析	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第27回	Scikit-learn: サンプルデータセット	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第28回	Scikit-learn: Digitsデータセット	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までに，教科書，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第29回	後期課題演習の練習	
	事前学習 （内容・時間）	第17回～第28回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内にできなかった問題は必ず完成させること. 後期課題演習に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題に取り組むこと（提出は不要）.（2時間）
第30回	後期課題演習	
	事前学習 （内容・時間）	第17回～第28回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	定期試験に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題や補助資料(solution)に取り組むこと（提出は不要）. あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を行うこと.（2時間）
第31回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIB-5720-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報数学Ⅱ	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎数学を履修していることが望ましい。 （編入生はそれに類する科目を履修済みであることが望ましい）

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、大量データの処理に欠かせない数学の一分野である「微分・積分」について学びます。蓄積されたデータから未来を予測するために必要な基礎知識を身に付けます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

1．基本的な関数の概念を知る。（基礎的な関数の復習を行う）
2．微分・積分の定義および概念を知る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する演習問題を解き、数学的な考え方を学習します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：学習した内容を定期試験までに指定の用紙にまとめて提出してもらいます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
計算力をつける微分積分	神永正博・藤田育嗣	内田老鶴圃	978-4-7536-0031-1

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学基礎数学 微分積分キャンパス・ゼミ　改訂1	馬場敬之	マセマ出版社	978-4-86615-218-9
基礎数学 -微分積分-	小島政利・竹内善和	共立出版	978-4-32001-634-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（60%）、演習課題（40%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各講義毎に演習の時間を設け、実際に例題を解く。その後で解答例を解説し、解き方や取り組む方法を示す。3回の講義毎に講義内の演習とは別に演習課題を出題する。この演習課題の解答は、翌週の講義かGoogleクラスルーム上で公開する。また、定期試験後は、成績評価の大まかな分布（秀・優・良・可それぞれの人数分布）を公開する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	これまでに学んだ数学の基礎を復習をしておく(2h)
	事後学習 （内容・時間）	教科書を入手する。また過去使用した数学の教科書や参考書を見て復習する(2h)
第2回	基本的な関数（1） 対数関数・指数関数	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第1章を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第1章の問や演習問題を解く(2h)
第3回	基本的な関数（2） 三角関数	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第2章を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第2章の問や演習問題を解く(2h)
第4回	極限	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第3章3.1節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第3章3.1節の問や演習問題を解く(2h)
第5回	導関数と微分	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第3章3.2節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第3章3.2節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第6回	指数関数・対数関数の微分	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第1章および第3章3.1節、3.2節を復習する(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第3章3.2節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第7回	三角関数の微分	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第2章および第3章3.1節、3.2節を復習する(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第3章3.2節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第8回	合成関数の微分	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第3章3.3節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第3章3.3節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第9回	対数微分法・ロピタルの定理	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第3章3.4節,3.5節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第3章3.4節,3.5節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第10回	マクローリン展開・テイラー展開	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第3章3.6節,3.7節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第3章3.6節,3.7節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第11回	関数の増減	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第3章3.8節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第3章3.8節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第12回	不定積分	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第4章4.1節から4.2節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第4章4.1節から4.2節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第13回	部分積分・置換積分	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の第4章4.3節から4.4節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第4章4.3節から4.4節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第14回	定積分	
	事前学習 （内容・時間）	不定積分について復習する。また、教科書の第4章4.8節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第4章4.8節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第15回	面積・体積	
	事前学習 （内容・時間）	定積分について復習する。また、教科書の第4章4.9節を読み、例題を解いて解説を読む(2h)
	事後学習 （内容・時間）	課題を行う。教科書の第4章4.9節の問や演習問題の該当部分を解く(2h)
第16回 （定期試験）	筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5192-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
オペレーティングシステム論	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・後期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報学入門および情報リテラシー演習Ⅰに合格していること。 ITパスポート試験に合格していることが望ましい。 基本情報技術者試験の合格を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野の情報システム、オペレーティングシステムについての基本的な知識を習得することを目標とする。
具体的には、オペレーティングシステムの主たる機能：プロセス制御、割り込み、仮想記憶システム、ファイルの入出力を中心に理解する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

オペレーティングシステム（OS）とは何か、どんな機能を提供しているのか、オペレーティングシステムがなかったらコンピュータはどうなるかについて理解する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

小テストや演習課題等で自主的な学習を促す。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
オペレーティングシステム入門（新版）	古市栄治	オーム社	978-4-274-22921-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
レクチャー　オペレーティングシステム	福田晃	数理工学社	978-4864810647
IT TEXT オペレーティングシステム	野口健一郎	オーム社	978-4274132506

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1）提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2）小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごと評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス・プレースメント試験	
	事前学習（内容・時間）	情報学入門、ITパスポート試験のテクノロジ分野について学習しておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題、不正解あるいは不安だった問題の復習。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	オペレーティングシステムの役割	
	事前学習（内容・時間）	テキストがあれば、目次と本文前半を通読。なければ表題を検索してみる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	役割を表す文章は暗記する。振り返りを書く。 [2.0h]
第3回	プロセスの制御(1) 状態遷移	
	事前学習（内容・時間）	プログラムとプロセスについて調べる。プロセスの状態について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	プロセスの状態および状態間の遷移について図とともに理解し暗記。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	プロセスの制御(2) 排他制御	
	事前学習（内容・時間）	哲学者の食事問題について調べてまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	排他制御がないと困る場合とそうでない場合を整理。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	プロセスのスケジューリング(1) プロセスの活動と並行動作	
	事前学習（内容・時間）	並行、並列、逐次の各用語について調べまとめておく。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	逐次実行と並行実行を比較して、利点欠点を整理。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	プロセスのスケジューリング(2) 様々なスケジューリング	
	事前学習（内容・時間）	基本的なスケジューリングについて、弱点と必要性をまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	基本的なスケジューリングと比較しながらまとめる。 振り返りを書く。[2.0h]
第7回	割り込みの制御(1) 外部割込みと内部割込み	
	事前学習（内容・時間）	割込みの種類と説明から自分のノートPCでの事例をイメージしまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	外部割込みと内部割込みの具体的事例を自分のノートPCを例に考えてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	割り込みの制御(2) 割り込みハンドラ、コンテクスト切替	
	事前学習（内容・時間）	実生活で作業を中断して、別作業後に円滑に元の作業に戻る工夫について考察。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	実生活での工夫とOSでの情報保持について対応を考察。振り返りを書く。 [2.0h]
第9回	仮想記憶システム(1) 主記憶と仮想記憶	
	事前学習（内容・時間）	各自の短期記憶と長期記憶とノートなどの記録との関係を整理してみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	各自の記憶・記録と仮想記憶とを比較して対応付けしてみる。振り返りを書く。 [2.0h]
第10回	仮想記憶システム(2) ページング、入れ替えアルゴリズム	
	事前学習（内容・時間）	スワッピングとページングの違い、基本的なページングアルゴリズムについて整理。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	ノートやExcelで表を作成して実際に記入しながら理解を進める。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	仮想記憶システム(3) 演習、特にFIFO, LRUアルゴリズム	
	事前学習（内容・時間）	教科書の演習問題を解いておく。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題の復習。部分点を得るための工夫を整理。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	入出力とファイルの制御(1) デバイス	
	事前学習（内容・時間）	プロセスのスケジューリングや割込みの内容と関連付ける。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	プリンタやLANなど身近なデバイスと関連付けて考察。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	入出力とファイルの制御(2) ファイルシステム、ディレクトリ	
	事前学習（内容・時間）	ルート、ホーム、ディレクトリ、ツリー構造について用語整理。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	相対パスと絶対パス、区切り文字、ルートディレクトリについて整理。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	総合演習	
	事前学習（内容・時間）	ページングアルゴリズム、特にLRUについて復習しておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題の復習。部分点を得るための工夫を整理。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容をまとめておく。定期試験の想定問題と解説を考えてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、不得意な内容、不安な内容を復習する。振り返りを書く。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6550-Z2ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
モバイルネットワーク（教職関連科目　選　高等学校　情報）	共通 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	岸川　洋

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「情報学入門」及び「情報処理技術演習Ⅰ（情報テクノロジー演習Ⅰ）」を履修し、テクノロジ分野について理解していることが望ましい。（履修規程第5条3項に基づく） 「第5世代移動通信システム（5G）」の特徴及び活用事例について調べ、疑問点について整理しておくことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学習目標・目的（学則第3条）を踏まえて、ネットワーク関連の情報通信技術の知識とその活用能力を修得することを目的とする。
電気通信事業会社で、交換設備部門、端末機器部門、社内システム開発部門、法人営業部門の実務経験のある教員が、モバイル通信の歴史、モバイル通信のしくみ 等を解説することにより、第1世代から第6世代までの基礎知識を学修する。図表を作成し要点を整理することにより、理解を深める。
連絡事項はGoogleクラスルームにおいて確認できる。授業の資料はGoogleクラスルームにおいて入手できる。毎回の課題、レポート、ポートフォリオ、ルーブリックをGoogleクラスルームに提出する。授業の質問や感想もGoogleクラスルームに提出できる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	電気通信事業会社勤務（30年）、交換設備部門（11年）（研究開発（3年）、計画（2年）、設計（2年）、調達（2年）、保守（2年））、端末機器部門（3年）（開発）、社内システム開発部門（7年）（監視システム）、法人営業部門（6年）（公共（2年）、金融（1年）、SI（1年）、人材育成（2年））の実務経験を有する。	電気通信事業会社における実務経験（交換設備部門、端末機器部門、社内システム開発部門、法人営業部門）をもとに、モバイル通信の歴史、モバイル通信のしくみ、各分野における活用事例、電気通信事業者、電気通信事業法 等について具体的に説明する。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

「学修成果(Student Learning Outcomes) 2項 汎用的技能：ICT関連科目の学習をとおして、マネージメント分野だけでなく社会の多様な場面において、ICTを駆使して対応できる高度で専門的な技能を修得している。」に基づき、モバイル通信のしくみを理解し効果的にモバイル通信を活用できる、「情報通信白書」等を活用して電気通信事業の動向を把握できる、さらにネットワーク社会の新しい分野で活躍できる人材となることを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の授業で、授業内容をまとめた課題の提出があります。資料やネット検索等を活用して補足してください。
また意見、感想なども記入してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。又は事務局へ伝えてください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：ITパスポート資格の未取得者は受験すること。資格取得状況を成績評価の対象とする。
学修の確認：ポートフォリオシート・ルーブリックに該当事項を記入して、課題と一緒にGoogleクラスルームへ提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
モバイル基礎テキスト（第9版）	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム	リックテレコム	9784865944174

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
情報通信白書（令和2年版）	総務省	日経印刷株式会社	9784865792263
モバイル通信のしくみと技術がわかる本	井上伸雄	アニモ出版	'9784897951454

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：平常点（60%）、定期試験（40%）。平常点は授業への取組み状況、毎回の課題提出状況、学習ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、小テスト、レポートの内容等で総合的に判断する。
成績評価の基準：IT利用部門での情報リーダーとして必要な、モバイル通信ネットワークに関する知識がある。
（ 毎回の授業でのキーワードについて正しく説明できる。）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回の学生からの課題提出に対して、各学生へコメントが返信される。また、クラスの授業改善アンケート結果に対して、クラスの学生へ補足説明が伝えられる。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（授業の概要・受講上の諸注意）	
	事前学習（内容・時間）	「第5世代のサービス」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	受講するために必要なネットワーク環境や資料を整備する。（2時間）
第2回	モバイル通信のネットワーク	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目1-1,1-5)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	固定電話と携帯電話のネットワーク構成の違いについて説明できるようにする。（2時間）
第3回	モバイル通信のつながるしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目1-1,1-5)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	位置登録データベースやハンドオーバの必要性について説明できるようにする。（2時間）
第4回	モバイル通信の歴史	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目1-2,1-3)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	モバイル端末やモバイルネットワークの急激な進展について説明できるようにする。（2時間）
第5回	セルラー方式	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目3-1)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	セルラー方式の必要性について説明できるようにする。（2時間）
第6回	電波の性質	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目3-2)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	移動体通信で利用される周波数とその特性について説明できるようにする。（2時間）
第7回	各世代の特徴（第1世代～第2世代）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目3-3)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	複数のチャンネルを確保する方法について説明できるようにする。（2時間）
第8回	各世代の特徴（第3世代～第4世代）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目3-4,3-5,3-6)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	通信の大容量化・高速化について説明できるようにする。（2時間）
第9回	各世代の特徴（第5世代～第6世代）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目10-1,10-2,10-3,10,4)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	移動通信システムのシステム要求条件について説明できるようにする。（2時間）
第10回	モバイル通信のGPS機能	
	事前学習（内容・時間）	「GPSの仕組み」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	位置測定の原理及びGPSの活用例について説明できるようにする。（2時間）
第11回	モバイル通信とクラウドコンピューティング	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目4-7)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	クラウドのメリット、ディメリットについて説明できるようにする。（2時間）
第12回	電気通信事業者	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目1-4)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	電気通信市場における競争の構図について説明できるようにする。（2時間）
第13回	電気通信事業法	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目9-1)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	電気通信事業法の目的、電気通信事業者への規制・禁止内容を説明できるようにする。（2時間）
第14回	モバイル通信の各産業・分野における活用事例	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(項目10-3,10-4,10-5)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	各分野での活用事例について説明できるようにする。（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	全体を振り返り、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の授業でのキーワードについて再確認し説明できるようにする。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5050-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
Webデザイン	223～ 情報ネットワーク学科	1年生・後期	2単位	選択	平塚　智一
Webコンテンツ制作 I	219～222 情報ネットワーク学科	1年生・後期			

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習 I に合格済であることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。
ビジネスとインターネット、各種サービスとインターネットを概観する。ユーザ・インターフェイスと提供したいサービスの機能・構造との関係をどのようにデザインするか考察する。基本的なHTMLおよびCSSについて学習する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務（15年）の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ウェブサイト構築におけるプロジェクトの進め方を理解しつつ、ターゲットユーザの設定やウェブアクセシビリティ、サイト構造・デザインの検討プロセス等について学ぶ。また、HTMLファイル、CSSファイルについて基本的な読み書きができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、自分で考えたビジネス等のウェブサイトのデザインを目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員とのメール等で行う。
（メールアドレス等は講義中に指示）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の参考とする。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
（資料配付）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1冊ですべて身につくHTML＆CSSとWebデザイン入門講座	Mana	SBクリエイティブ	978-4815618469
Webディレクションの新・標準ルール 改訂第2版	栄前田 勝太郎, 滝川 洋平	エムディエヌコーポレーション	978-4844369783

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業への参加態度等（30%）、課題や授業振り返りなどの提出状況（30%）、小テストおよび定期試験（40%）等で総合的に判断する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メール、Google Classroomからのコメント、またはポートフォリオ回答フォームの質問欄から問い合わせください。折り返し回答します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、Webとは	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第2回	Web制作の流れ（開発の流れ、UI・UX、ユーザビリティ、セキュリティ）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第3回	Web制作の流れ（Webサイト開発の準備1）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第4回	Web制作の流れ（Webサイト開発の準備2、ターゲットユーザー、ペルソナ）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第5回	Web制作の流れ（カスタマージャーニー、開発方法を考える）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第6回	Web制作の流れ（開発方法を考える）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第7回	Web制作の流れ（ユーザーとの接点）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第8回	Web制作の流れ（Webサイトの構造）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第9回	Web制作の流れ（Webサイトを作る（デザイン編））	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第10回	Web制作の流れ（Webサイトを作る（デザイン編／コーディング・開発編））	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第11回	Web制作の流れ（Webサイトを作る（コーディング・開発編））	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第12回	HTMLの基礎（HTML基礎、見出し、文章、画像挿入、リンク、リスト、表）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第13回	HTML・CSSの基礎（フォーム、ブロック、グループ化、CSS基礎、文字）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第14回	CSSの基礎（色、背景、幅、高さ、余白、レイアウト組む）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第15回	よりよいデザインの工夫	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5862-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
スイッチング技術	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	1年次科目「情報ネットワーク入門」を70点以上の成績で単位を取得すること。

授業概要　Course Outline

LANスイッチングに関する技術を実習を通して修得する。具体的には、スイッチの基本設定をはじめ、スパニングツリープロトコル、仮想LAN、VLAN間ルーティングなど企業内ネットワーク機器の根幹をなす機器であるスイッチに関する技術を習得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、実習を中心に、情報通信ネットワークの基礎技術であるスイッチング技術を習得し、エンタープライズLANのパフォーマンスおよびセキュリティー対策として有効なVLANの運用に必要なスキル習得を目標とする。本授業を履修すると、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。本講義履修と並行にCCNA（CCENT）資格の準備を始める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。
オフィスアワー：水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（CCENT, CCNA, CCNP）
学習の確認：オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材　（https://www.netacad.com）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ	978-4797388824

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験・オンラインテスト（40%）、実習（40%）、その他（20%、課題、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果や今後の学習の取り組みについてのお問い合わせはメールをご利用してください。説明の日時・場所は別途お知

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	スイッチ導入ネットワークの概要	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション1．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト1．0．1．2の課題を専用のノートにまとめること。2時間
第2回	LAN設計	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション1．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト1．1．1．6の課題を専用のノートにまとめること。2時間
第3回	スイッチ導入環境	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション1．2と1．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト1．1．2．3及び1．2．1．6の課題を専用のノートにまとめること。2時間
第4回	スイッチの基本設定	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション2．0と2．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習2．1．1．6をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第5回	スイッチの管理	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション2．2読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習2．2．4．11をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第6回	スイッチセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション2．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト2．3．1．3のトポロジーの実装をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第7回	VLANの概念	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．0．1．2の課題を専用のノートにまとめること。2時間
第8回	VLANセグメンテーション	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．1．2．7の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第9回	VLANの設計	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．2．2．5の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第10回	VLANの実装	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．3．2．2の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第11回	VLANのセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．4．1．3のトポロジーの実装をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第12回	VLAN間ルーティングの設定	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション5．0と5．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト5．1．2．4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第13回	VLAN間ルーティングのトラブルシューティング	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション5．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト5．2．2．4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第14回	Layer 3 スイッチング	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション5．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト5．3．2．4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第15回	スイッチネットワークの実装	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション5．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト5．4．1．2の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第16回（定期試験）	シスコネットワーキングアカデミーオンラインテストを行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5873-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ルーティング技術	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・後期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	2年次科目「スイッチング技術」を70点以上の成績で単位を修得すること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、LANにおけるルーティングに関する技術を実習を通して修得する。具体的には、RIP、EIGRP,OSPFなどダイナミックルーティングプロトコル及び高度なIPアドレッシング技法について学習する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

実習を中心に、情報通信ネットワークの基盤技術であるルーティング技術を習得し、エンタープライズLANの最適運用に必要なプロトコルの操作に関するスキルの習得を目標とする。本授業を履修すると、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。本講義履修と並行にCCNA（CCENT）資格の準備を始める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。
オフィスアワー：水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（CCENT, CCNA, CCNP）
学習の確認：オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材　（https://www.netacad.com）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ	978-4797388824

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験・オンラインテスト（40%）、実習（40%）、その他（20%、課題、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果や今後の学習の取り組みについてのお問い合わせはメールをご利用してください。説明の日時・場所は別途お知

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ルーティングの概念	
	事前学習（内容・時間）	テキスト4．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4．0．1．2．を専用のノートにまとめておくこと。2時間
第2回	ルータの初期設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト4．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習4．1．4．6をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第3回	ルーティングの決定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト4．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4．2．2．5を専用のノートにまとめること。2時間
第4回	ルータの動作	
	事前学習（内容・時間）	テキスト4．3と4．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4．3．1．4を専用のノートにまとめること。2時間
第5回	スタティックルーティングの実装	
	事前学習（内容・時間）	テキスト6．0と6．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題6．1．2．6を専用のノートにまとめること。2時間
第6回	スタティックルートとデフォルトルートの設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト6．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習6．2．2．5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第7回	CIDR、VLSMとIPアドレッシング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト6．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習6．3．3．7をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第8回	スタティックルート及びデフォルトルートのトラブルシューティング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト6．4～6．6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習6．5．2．5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第9回	ダイナミックルーティングプロトコル	
	事前学習（内容・時間）	テキス7．0と7．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7．1．4．9～7．1．4．11を専用のノートにまとめること。2時間
第10回	ディスタンスベクターダイナミックルーティング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト7．2と7．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習7．3．1．8をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第11回	リンクステートダイナミックルーティング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト7．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7．4．2．9を専用のノートにまとめること。2時間
第12回	ルーティングテーブル	
	事前学習（内容・時間）	テキスト7．5と7．6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7．5．3．3を専用のノートにまとめること。2時間
第13回	シングルエリアOSPF	
	事前学習（内容・時間）	テキスト8．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題8．0．1．2を専用のノートにまとめること。2時間
第14回	OSPFの特性	
	事前学習（内容・時間）	テキスト8．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題8．1．3．5を専用のノートにまとめること。2時間
第15回	シングルエリアOSPFの設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト8．2から8．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習8．2．4．5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第16回（定期試験）	シスコネットワーキングアカデミー実施のオンラインテストを行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5060-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
Webシステム	223～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	平塚　智一
Webコンテンツ制作Ⅱ	219～222 情報ネットワーク学科	2年生・前期			

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	Webデザイン（Webコンテンツ制作Ⅰ）に合格済であることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。
科目「Webデザイン（Webコンテンツ制作Ⅰ）」での学習を踏まえて、各種Webサービスが提供する機能とそのための構造、それらを支える基盤技術やプログラミング技術について総合的に学習する。Web関連ファイルについて理解を深める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務（15年）の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

具体的なウェブサイトを制作する際のHTML・CSSのコーディング手法、及びウェブサイトのコンテンツの一部であるロゴやキャッチコピーの考え方について理解する。また、ウェブサイトを公開・運用する上で必要となるウェブやネットワークの技術背景についての理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、自分で考えたビジネス等のウェブサイトのデザインを目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員とのメール等で行う。
（メールアドレス等は講義中に指示）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の参考とする。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
（資料配付）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1冊ですべて身につくHTML＆CSSとWebデザイン入門講座	Mana	SBクリエイティブ	978-4815618469
図解まるわかり Web技術のしくみ	西村 泰洋	翔泳社	978-4798169491

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業への参加態度等（30%）、課題や授業振り返りなどの提出状況（30%）、小テストおよび定期試験（40%）等で総合的に判断する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メール、Google Classroomからのコメント、またはポートフォリオ回答フォームの質問欄から問い合わせください。折り返し回答します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第2回	OSI参照モデル、MACアドレス、スイッチング、IPアドレス	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第3回	ルーティング、TCP・UDP、NAT・NAPT、Webサーバー・HTTP	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第4回	ネットワーク、プロトコル、TCP/IP、URL・ドメイン、DNS	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第5回	HTTPの仕組み	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第6回	HTTPSの仕組み、ステートフル・ステートレス、Cookie、セッション	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第7回	Webアプリケーションの基本、3層構造、MVCモデル、フレームワーク	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第8回	Webサーバー・Webクライアント	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第9回	Webプログラミング、API、CGI	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第10回	Webのセキュリティ・認証	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第11回	Webのセキュリティ・認証	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第12回	Webシステムの構築（検討）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第13回	Webシステムの構築（設計）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第14回	Webシステムの運用	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第15回	CMS	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5082-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
Webﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ Ⅰ	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・後期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「プログラミング初歩I」、「「プログラミング初歩II」を履修し、単位を修得すること。 注意事項：携帯電話・スマートフォンの利用は禁止します。

授業概要　Course Outline

HTML、CSSによるWebページの作成およびPHPとのデータを受け取る仕組みについて実習を通して修得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、Webシステムの開発に必要な基礎概念およびスキールの修得を目標とする。本授業を履修すると、WebシステムにおけるHTML,CSSおよびPHPの役割や基礎概念の修得は勿論、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ホームページのトレンドをつかむため、２人から４人のグループで必修技術や最新技術等をWeb上で調べ（5回以上）、ポートフォリオに記入すること。また、個人ホームページをレンタルサーバー（自己管理サーバー）上に作成し、第１５回目の授業時間にそのURLを提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：水曜日２、３時限、木曜日３時限　研究室：６５６号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：HTML5プロフェッショナル認定試験を受験すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1冊ですべて身につくHTML&CSSとWebデザイン入門講座［第2版］	Mana	SBクリエイティブ	978-4815618469

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
いきなりはじめるPHP	谷藤賢一	リックテレコム	978-4-89797-885-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（30%）、実習課題（50%）、その他（20%、レポート、外部試験の結果）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果や今後の学習の取り組みについてのお問い合わせはメールをご利用してください。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	HTMLの基礎	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　1と2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題1を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第2回	Webシステムの概要、開発環境について	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　3と4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題2と3を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第3回	開発用ソフトウェアの導入、設定	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　5と6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4から6を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第4回	Webページの作成、保存、表示	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　7と8を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7と8を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第5回	文字の操作（1）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　9を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題9と10を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第6回	文字の操作（2）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　1と2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題11と12を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第7回	リンクについて	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　3と4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題13と14を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第8回	背景と罫線のデザイン	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　5と6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題15から17を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第9回	画像の操作（1）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　7と8を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題18と19を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第10回	画像の操作（2）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　9から11を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題20から22を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第11回	テーブルの操作	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　12と13を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題23と24を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第12回	フォームの操作（1）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 First step CSS Section　1から3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題25と26を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第13回	フォームの操作（2）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 First step CSS Section　4から6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題27と28を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第14回	フォームデータのPHP操作の仕組み（1）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 First step CSS Section　7から9を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題29を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第15回	フォームデータのPHP操作の仕組み（2）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 First step CSS Section　10から12を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題30を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第16回（定期試験）	4択及び記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5093-Z2E

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
Webﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ Ⅱ		219～ 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	3・4年生・前期	2単位	選択	車　炳玘
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	「Webプログラミング Ⅰ」を70点以上の成績で、単位を取得すること。					

授業概要　Course Outline

PHPプログラミング及びMySQLの基礎及びHTMLとの連携について実習を通して取得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、Webシステム開発の基礎知識であるPHPプログラミング及びMySQLデータベースに関するスキールの取得を目標とする。本授業を履修すると、HTMLデータの処理方法やDBへの登録、検索、修正、削除などに必要なスキールを取得できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容を参考に各自Webシステムの設計及び実装を行い、第15回目の授業時に完成したものを発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：PHP7技術者認定初級試験を受験すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
確かな力が身につくPHP「超」入門	松浦健一郎	SBクリエイティブ	978-4815617141

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
イラストでよくわかるPHP	岡本雄樹	インプレスジャパン	978-4-8443-3295-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（30%）、実習課題（50%）、その他（20%、レポート、外部試験の結果）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果や今後の学習の取り組みについてのお問い合わせはメールをご利用してください。説明の日時・場所は別途お知

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	PHPの紹介と開発環境	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 1と2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題1を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第2回	echo文の使い方	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 3．1から3．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題2を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第3回	form tagの使い方	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 3．3から3．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題3を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第4回	チョックボックスと条件分岐	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 4．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第5回	ラジオボタンとセレクトボックスの使い方	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 4．2から4．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題5を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第6回	繰り返しと配列（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 4．4から4．5を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題6を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第7回	繰り返しと配列（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 4．6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第8回	複数のチェックボックスとループ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 4．7を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題8を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第9回	乱数と正規表現	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 5．1から5．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題9を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第10回	パスワードと正規表現	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 5．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題10を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第11回	文字列操作	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 5．5から5．6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題11を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第12回	ファイル操作（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 5．7を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題12を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第13回	ファイル操作（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 5．8を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題13を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第14回	関数のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 5を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題14を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第15回	課題の発表	
	事前学習（内容・時間）	発表内容のPPTを作成し、予行演習を行うこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	発表内容の修正及びコメントなどを取り入れ、プログラムを修正し、指定のフォルダに保存しておくこと。5時間
第16回（定期試験）	4択及び記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5104-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	219～ 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	3・4年生・後期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「Webプログラミング Ⅱ」を70点以上の成績で、単位を取得すること。

授業概要　Course Outline

関数の使い方など高度なPHPプログラミング技法及びデータベースの設計や管理、セキュリティ対策スキールを、実習を通して取得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、実践的Webシステム開発に必要なPHP及びMySQLスキールの取得を目標とする。本授業を履修すると、セキュリティ対策などを取り入れた安全なWebシステムの設計・実装及び運用に関するスキールを身に着けることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容を参考に各自Webシステムの設計及び実装を行い、第10回目及び第15回目の授業時に発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（HTML5プロフェッショナル認定資格、PHP技術者認定試験、ITパスポート、基本情報技術者） 学習の確認：HTML・CSS・PHPのコマンドのテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基本がわかるSQL入門	西村 めぐみ	技術評論社	978-4-297-11659-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリわかるSQL入門	飯田理恵子	インプレス	978-4295005094

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（30%）、実習課題（50%）、その他（20%、レポート、外部試験の結果）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果や今後の学習の取り組みについてのお問い合わせはメールをご利用してください。説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	SQL&DBの基礎知識	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　1.1を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題1を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第2回	DBMSの基本機能	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 1.2～1.3を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題2を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第3回	DB及びテーブルの作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.1～2.2を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題3を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第4回	テーブルの削除及び外部キーの設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.3を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第5回	データの追加と変更	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.4～2.5を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題5を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第6回	データの追加と変更の削除と検索	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.6を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題6を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第7回	データの検索2	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.7を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第8回	データの操作(SELECTの基本構文)	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　6-1を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題8を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第9回	関数と演算子	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-2を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題9を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第10回	結合	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-3を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題10を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第11回	集約関数	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-5を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題11を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第12回	テーブルの連結	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-6を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題12を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第13回	サブクエリー	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-8を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題13を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第14回	ウィンドウ関数	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-9を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題14を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第15回	データの更新	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-10を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題14を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第16回（定期試験）	4択及び記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-6270-Z4ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ネットワークアプリケーション構築（教職関連科目　選　高等学校　情報）	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・通年	4単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	原則として、プログラミングの経験があること。未経験者で履修を希望する場合には、開講前に事前相談すること。Web関連の授業を受講済であることが望ましい。Oracle Certified Java Programmer試験の合格を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、情報学分野の情報システム、システム開発についての知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、Webアプリケーション開発のための技術について、アプリケーションの設計、プログラム開発の実習を含めて学ぶ。プログラミング言語としては、Java, Webサーバおよびアプリケーションをサーバ内で稼働させるコンテナとしてはTomcat、アプリケーションの記述としてはサーブレット、JSP、JavaBeansを学び、演習を通して実際に経験することによって構築技術を身に付ける。必要に応じてDockerコンテナを使用する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。
この授業は、原則として対面で実施予定であるが、オンライン(Zoom)で実施する可能性がある。オンライン実施の際は必要な情報は別途連絡する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

Javaによるプログラミングを通じて、アプリケーションを作成できるようになる。また、Javaを学ぶことにより、現在のシステム開発において重要なオブジェクト指向の基本を理解し説明できるようになる。今自分が利用しているWebのシステムがどのようにして構築されているかを理解し説明できるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

システム構築の基本はプログラム作成ですから、多くのプログラムを書いて基本を習得してください。関連書籍も多く、ネット上にも多くのサンプルプログラムがあります。これらを利用してプログラミングに慣れてください。プログラムの中で命令や論理に疑問を残さず、質問してください。課題は必ず提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認としてポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出してください（提出時期については指示します）。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
やさしいJava 第7版	高橋 麻奈	SB　Creative	978-4-8156-0084-6

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
本格学習Java入門 [改訂3版] 基本の習得からゲームプログラミング 作成まで	佐々木　整	技術評論社	978-4-2971-0122-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや小テスト、演習、その他の課題等）が約50%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約50%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス（1）、Javaの環境設定とプログラム作成手順	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson 1, 2 のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指定したプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第2回	ガイダンス（2）、Javaの環境設定とプログラム作成手順,プログラムの基本スタイルおよび変数	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson 3, 4 のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指定したプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第3回	構造化プログラミング（1）、条件判断による処理の分岐（if文、switch文）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson5 前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の条件分岐のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第4回	構造化プログラミング（2）、条件判断による処理の分岐（if文、switch文）	
	事前学習（内容・時間）	教科書　Lesson5 後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の条件分岐のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第5回	繰り返し処理（1）for文による回数指定の繰り返し、while文による条件指定の繰り返し（前判断型）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson6, Sec6.1 for前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第6回	繰り返し処理（2）for文による回数指定の繰り返し、while文による条件指定の繰り返し（前判断型）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson6, Sec6.1 for後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第7回	繰り返し処理（3）while文による繰り返し（後判断型）、強制終了と中断再開	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson6の残りのSec のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第8回	繰り返し処理（4）while文による繰り返し（後判断型）、強制終了と中断再開	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson7 のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第9回	オブジェクト指向プログラミング（1）オブジェクト指向の考え方、メソッドの作り方	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson8 前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第10回	オブジェクト指向プログラミング（2）オブジェクト指向の考え方、メソッドの作り方、アクセッサ	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson8 後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第11回	オブジェクト指向プログラミング（3）オブジェクトとクラス、初期化（コンストラクタ）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson9 前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第12回	オブジェクト指向プログラミング（4）オブジェクトとクラス、初期化（コンストラクタ）、後始末（デストラクタ）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson9 後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第13回	クラスの継承、インターフェイス、パッケージの作成（1）継承（インヘリタンス）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson11(10は自習課題) のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のクラスのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第14回	クラスの継承、インターフェイス、パッケージの作成（2）継承の用法	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson12,13 のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のクラスのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第15回	例外（エラー）処理、ストリームによるデータのコンソールやファイルからの入出力とデータ送受信（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson13, 14前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の例外処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第16回	例外（エラー）処理、ストリームによるデータのコンソールやファイルからの入出力とデータ送受信（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson14 後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の例外処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）

第17回	マルチスレッド（サーバーでの同時並行処理）、ソケットによるネットワークプログラミング、応用問題（1）	
	事前学習 （内容・時間）	Lesson15 前半のプログラムと説明をよく読んで機能の概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のソケットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第18回	マルチスレッド（サーバーでの同時並行処理）、ソケットによるネットワークプログラミング、応用問題（2）	
	事前学習 （内容・時間）	Lesson15 後半のプログラムと説明をよく読んで機能の概要を理解し、応用を考える（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のソケットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第19回	Webプログラミングとは、Tomcat（Webサーバとコンテナ）のインストール、設定と動作確認	
	事前学習 （内容・時間）	事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自宅で操作手順を再度実行して操作法を確認する（2時間）
第20回	Webプログラミングとは、Tomcat（Webサーバとコンテナ）のインストール後の動作確認とサンプルの実行	
	事前学習 （内容・時間）	事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要を理解し、動作確認しておく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自宅で操作手順を再度実行して操作法を確認する（2時間）
第21回	サーブレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その1：連携の概要	
	事前学習 （内容・時間）	事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第22回	サーブレットの構造とプログラミング(アプリケーション制御機能)、その2：実際の連携	
	事前学習 （内容・時間）	サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第23回	サーブレットプログラミング演習（1）概要	
	事前学習 （内容・時間）	事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第24回	サーブレットプログラミング演習（2）応用	
	事前学習 （内容・時間）	サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）

第25回	JSPのプログラミング（データの表示機能）、その1： 表示とその仕組み	
	事前学習 （内容・時間）	事前に配布した資料を読んでJSPプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第26回	JSPのプログラミング（データの表示機能）、その2： 実際の表示	
	事前学習 （内容・時間）	JSPプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第27回	JSPのプログラミング演習（1）概要	
	事前学習 （内容・時間）	事前に配布した資料を読んでJSPプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第28回	JSPのプログラミング演習(2)応用	
	事前学習 （内容・時間）	JSPプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第29回	JavaBeansのプログラミング、全体のまとめ(1)概要	
	事前学習 （内容・時間）	事前に配布した資料を読んでJavaBeansプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のJavaBeansプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第30回	JavaBeansのプログラミング、全体のまとめ(2)応用	
	事前学習 （内容・時間）	JavaBeansプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	課題のJavaBeansプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第31回 （定期試験）	定期試験（JavaによるWebプログラミング）	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5884-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
インターネット技術	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「ルーティング技術」を70点以上の成績で単位を修得すること。

授業概要　Course Outline

顧客の要求の収集方法、これらの要求に見合う設備と必要なプロトコル、および顧客のニーズに対処したネットワークトポロジーの設定方法などを実習を通して修得する。さらに、顧客に提案する設計をどう作成し、構築するか、その方法に習熟する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、小規模エンタープライズのためのLAN および WAN の設計に必要な技術力を養成することを目的とする。CCENT、CCNA、CCNPの資格取得を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学籍番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（CCENT, CCNA, CCNP）
学習の確認：オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材　（https://www.netacad.com）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ	978-4797388824

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験・オンラインテスト（40%）、実習（40%）、その他（20%、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果や今後の学習の取り組みについてのお問い合わせはメールをご利用してください。説明の日時・場所は別途お知

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	アクセスコントロールリスト	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト9．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	テキスト9．0．1．1．の内容を専用のノートにまとめること。2時間
第2回	IP アクセスコントロールリストの動作	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト9．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	課題9．1．5．4を専用のノートにまとめること。2時間
第3回	標準アクセスコントロールリスト	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト9．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実習9．2．3．4をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第4回	拡張アクセスコントロールリスト	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト9．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実習9．3．2．13をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第5回	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング1	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト9．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	課題9．3．2．7～9．3．2．9を専用のノートにまとめること。2時間
第6回	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング2	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト9．5を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実習9．3．2．10と9．3．2．11をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第7回	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング3	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト9．6を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実習9．3．2．12と9．3．2．13をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第8回	DHCP	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト第10章を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実習10．1．4．4．をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第9回	ネットワークアドレス変換の概要	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト11．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	テキスト11．0．1．1の内容を専用のノートにまとめること。2時間
第10回	ネットワークアドレス変換の動作	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト11．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実習11．1．2．6をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第11回	ネットワークアドレス変換の設定	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト11．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実習11．2．3．7をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第12回	ネットワークアドレス変換のトラブルシューティング	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト11．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実習11．3．1．5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第13回	LAN設計及び実装1	
	事前学習 （内容・時間）	小規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実装したLANに標準アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
第14回	LAN設計及び実装2	
	事前学習 （内容・時間）	中規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実装したLANに拡張アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
第15回	LAN設計及び実装3	
	事前学習 （内容・時間）	大規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習 （内容・時間）	実装したLANに拡張アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
第16回 （定期試験）	シスコネットワーキングアカデミー実施のオンラインテストを行う。	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-6372-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネスプログラミング	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング入門またはプログラミング初歩 II を修得した方が望ましい.

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき, この授業では, Excelを高度に利用するためにVBA(Visual Basic for Application)を使用したマクロのプログラミングを学習する.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

Excelのマクロの記録, VBAによるExcelデータに対するプログラミングの学習によってExcelの利用方法が広がり, 今後の学習や仕事で広範囲に活用することができるようになる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで, 実際に手を動かしてプログラミングをしてください.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp ; Google クラスルーム（クラスコード5bg3wnxp）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学生のためのExcel VBA　第2版	若山芳三郎	東京電機大学出版局	978-4-501-55450-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Excel VBAユーザーのための Python プログラミング入門	伊藤潔人	日経BP	978-4296202652

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験60%＋毎回のプログラミング課題30%＋平常点10%(「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」の提出状況)で評

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,毎回のプログラミング課題およびポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス，自動記録によるマクロの作成と実行	
	事前学習 （内容・時間）	講義開始前までにPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第2回	簡単なマクロの作成	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.9～p.19）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第3回	変数の使い方と計算	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.20～p.23）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第4回	セルの選択とコピー	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.23～p.27）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第5回	条件による分岐	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.27～p.31）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第6回	複数の条件による分岐（If...Then...Else...End Ifステートメント）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.31～p.32）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第7回	複数の条件による分岐（Select Caseステートメント）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.33～p.35）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第8回	処理の繰り返し（Do While...Loop）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.35～p.37）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第9回	処理の繰り返し（For...Nextステートメント）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.38～p.39）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第10回	二重の繰り返し	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.39～p.42）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第11回	メインプロシージャとサブプロシージャ	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.42～p.45）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第12回	一次元配列	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.45～p.49）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第13回	二次元配列	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.49～p.51）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第14回	ユーザーフォームの作成	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所（p.56～p.75）を通読し,講義開始前までに行った課題・宿題の確認ならびにPCのセットアップおよび動作確認を行っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を含めて,本時の学修内容を記載する.（2時間）
第15回	総合演習と復習	
	事前学習 （内容・時間）	第2回～第13回を復習しておくこと．（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	時間内にできなかった問題は必ず完成させること. 定期試験に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題に取り組むこと（提出は不要）. あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を行うこと.（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-6092-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
多変量解析	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	統計学入門、統計学を修得していること。 （履修していない場合は、先に上記科目を履修すること。） ただし、編入生はこの限りではない。

授業概要　Course Outline

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、多変量データによるデータ間の関連性の把握、予測、要因分析などを通して、新たな（潜在的な）情報を把握するため、身近で簡単な例題をもとに、代表的な手法の考え方、使い方、分析結果の見方を学びます。基本的にテキストと演習による座学形式での講義である。本科目と「データ解析」の講義を履修することで理論と実際を学ぶことができる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】
・分析手法（回帰分析・クラスター分析・主成分分析・判別分析・因子分析）を説明できる。
【態度・習慣】
・疑問点を尋ねることができる。・講義に参加できる。
【技能】
・教科書の例題を模倣し、演習問題を解くことができる。・時間内で、与えられた問題を解くことができる。
・任意のデータを適切に記述できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

教員との連絡方法は、授業の終了後、あるいは研究室を訪ねてください。
オフィスアワーの時間は、掲示を参照して下さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）
（フォームはクラスルームを通じて毎時間配布します。）

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
例題でよくわかる はじめての多変量解析	加藤豊	森北出版	978-4-627-08221-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営のための多変量解析法	本多正久・島田一明	産能大学出版部	ISBN4 382-04511-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習やレポートなどの提出物（50%）、定期試験（50%）を総合的に評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

講義内で演習の時間を設けるので、その時間を使ったコメントなどを参照に取り組むことでさらに理解が進む。レポートのフィードバック等は講義内で全体へのフィードバックを行うだけでなく希望学生には個別に実施する.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1章　多変量解析とは　1　（目的・準備、回帰分析、数量化の方法）	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（1～3ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第2回	1章　多変量解析とは　2　（クラスター分析、主成分分析、因子分析、判別分析）	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（4～7ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第3回	2章　統計の基礎事項の準備	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（8～18ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第4回	3章　線形代数の基礎事項の準備	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（21～28ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第5回	4章　単回帰分析	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（30～46ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第6回	4章　単回帰分析	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（30～46ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第7回	5章　重回帰分析	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（48～62ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第8回	5章　重回帰分析	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（48～62ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第9回	6章　数量化I類	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（65～73ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第10回	7章　クラスター分析（1）	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（75～88ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第11回	7章　クラスター分析（2）	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（75～88ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第12回	8章　主成分分析	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（90～108ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第13回	9章　判別分析、　10章　因子分析	
	事前学習 （内容・時間）	習う予定のテキスト（117～125、128～137ページ）をよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第14回	データ分析演習・レポート作成	
	事前学習 （内容・時間）	第1回～第13回の内容を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	時間内にできなかった部分などを整理し、レポートにまとめる。（2.0h）
第15回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	第1回～第13回の内容を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	第1回～第13回の内容を復習しておくこと。（2.0h）
第16回 （定期試験）	定期試験を実施する。	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-6052-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
データ解析	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	統計学入門，統計学を両方とも修得しているか十分な知識を得ていることが望ましい。 多変量解析の講義を受講しながら、もしくは修得後に受講することを推奨する。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータサイエンスの基本となるデータ分析について，データの取得，分析，結果の解釈までを代表的な分析手法に適用し，一連のプロセスを学ぶ．また，最も重要な分析結果の解釈についてもクラス内で発表の機会を設ける．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

データサイエンスの一連のプロセス（問題点の発見，関連データの取得，データの精査，分析，結果の解釈，問題解決）を経験・修得することを目標とする．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

各自で実際に手を動かして、集めて来たデータをEXECLの分析ツールを用いて解析をしてもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
入門統計学　第2版	栗原　伸一	オーム社	978-4-274-22738-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基礎から学ぶ統計学	中原 治	羊土社	978-4-758-12121-7
完全独習 統計学入門	小島　寛之	ダイヤモンド社	978-4-478-82009-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

データ解析の定期試験、および、演習・課題の結果などを総合的に判断します。
配点割合：　定期試験50%、演習・課題50%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

ほぼ毎回各自のノートパソコン上でデータ解析演習やExcelのデータ分析ツールを用いたデータ分析を行う。毎回の講義で30分程度の演習時間と，その解説を行う。また，講義後に演習の解答をGoogleクラスルーム上で公開する。定期試験後は，成績評価の大まかな分布（秀・優・良・可それぞれの人数分布）を公開する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス・記述統計学	
	事前学習（内容・時間）	統計学入門および統計学の授業の復習をしておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	講義資料を用いて教科書第1章を復習する(1h)
第2回	確率分布	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第2章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第2章を復習する(2h)
第3回	推測統計学	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第3章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第3章を復習する(2h)
第4回	信頼区間の推定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第4章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第4章を復習する(2h)
第5回	χ 二乗分布とF分布	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第5章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第5章を復習する(2h)
第6回	検定の基本	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第6章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章を復習する(2h)
第7回	対応のない2群の差	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書7.1～7.3節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第7.1～7.3章を復習する(2h)
第8回	対応のある2群の差と等分散の検定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書7.4, 7.5節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章全体を復習する(2h)
第9回	一元配置分散分析	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書8.1～8.4節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第8.1～8.4章を復習する(2h)
第10回	二元配置以上の分散分析	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書8.5節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第8章全体を復習する(2h)
第11回	多重比較法	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第9章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第9章を復習する(2h)
第12回	実験計画法	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第10章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第10章を復習する(2h)
第13回	カテゴリデータの検定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第11.1, 11.2章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第11.1, 11.2章を復習する(2h)
第14回	順位データの検定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第11.3～11.5章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第11.3～11.5章を復習する(2h)
第15回	総合演習	
	事前学習（内容・時間）	これまでのデータ解析の手法について復習しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	演習問題の解答を作成し、Google Classroomに提出する(2h)
第16回（定期試験）	筆記による定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-6070-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
データモデリング	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報数学Ⅰ、情報数学Ⅱを合格する程度の線形代数および微分積分の知識があること

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、本講義では、大量データの処理において欠かせないモデル作成について学びます。自然現象をモデル化し、解析する手法の紹介を通して、蓄積されたデータから未来を予測するために必要な知識を身に付けます。微分方程式や行列の計算など情報数学Ⅰ、情報数学Ⅱで学んだ内容の応用になります。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

自然現象や社会現象に対して数理モデルを構築する考え方を身につける。
データに基づく考察が出来る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する課題を定期的に出題し、解答してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回指定した課題を解くこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
力学系入門	Morris W. Hirsch他	共立出版	978-4320111363
進化のダイナミクス	Martin A. Nowak	共立出版	978-4320056657
数理生物学	瀬野祐美	共立出版	978-4320056565

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題（50%）、定期試験（50%）の総合評価とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回課される課題の補足説明や解説を講義開始時に行う。また、講義内容に対する質問等をGoogle Formsなどで随時募集し、説明や解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読み、情報数学Ⅰ（線形代数）および情報数学Ⅱ（微分積分）の復習をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	情報数学Ⅰ（線形代数）および情報数学Ⅱ（微分積分）の復習をする(2h)
第2回	微分方程式	
	事前学習（内容・時間）	高校の数Ⅲの微分方程式および情報数学Ⅱ（微分積分）の復習をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第3回	微分方程式の解のふるまい	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第4回	ロジスティック方程式	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第5回	分岐現象	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第6回	二元微分方程式	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第7回	固有値と固有ベクトル	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第8回	固有値が異なる2つの実数の場合	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第9回	複素数	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第10回	固有値が2つの複素数の場合	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第11回	固有値が1つの実数（重解）の場合	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第12回	線形化	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第13回	ベイズの定理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第14回	ベイズ推定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-6120-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
統計プログラミング	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	統計学を修得していること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、Pythonを使って、統計に関する基本的な知識や技能を学び、それらを活かしてより応用的なデータ分析を行うことができるようになるというものである。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業では、以下の事項を目標とする。①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる。②統計的なサンプルプログラムを応用できる。 ③課題に応じて最適な処理構文を選択し、使用できる。 ④講義に参加できる。⑤課題解決のためにお互いに助けることができる。⑥疑問点を尋ねることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に、学生参加型の演習を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

プログラミングには自身のPCでPythonを用い、環境としてJupyter Notebookを活用する。□

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Python2年生 データ分析のしくみ	森 巧尚	翔泳社	ISBN-13 ： 978-4798164960

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
データサイエンス教本	橋本洋志, 牧野浩二	オーム社	ISBN-13 ： 978-4274222900

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題（50%）、定期試験（50%）の総合評価とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回課される課題の補足説明や解説を講義開始時に行う。また、講義内容に対する質問等をGoogle Formsなどで随時募集し、説明や解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス、プログラミング概要	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに、テキストの該当箇所を通読しておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第2回	Localでpythonの実行環境構築 (Jupyter Notebook)	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.20～25 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内にJupyter Notebookのインストールできなかった人は必ず、完成させること。(2時間)
第3回	Jupyter Notebookの使い方	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.26～38 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第4回	表形式のデータを読み込む	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.40～53 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第5回	データの選択と索引付け	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.54～66 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第6回	データの確認と補修	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.67～76 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第7回	データの比較	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.77～100 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第8回	中間課題演習	
	事前学習（内容・時間）	第3回～第7回を復習しておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、復習や完成させること。(2時間)
第9回	グラフの作成	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.101～130 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第10回	分散・標準偏差	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.131～143 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第11回	正規分布：自然なばらつき・累積分布関数	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.144～159 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第12回	正規分布：自然なばらつきの確認・違うばらつきのデータを比較	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.160～168 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第13回	回帰分析：2種類のデータの相関関数・予測	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.169～181 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第14回	回帰分析：アヤメのデータ	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.187～197 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第15回	後期課題演習	
	事前学習（内容・時間）	第9回～第14回を復習しておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること。(提出するのは不必要) (2時間)
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-5251-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
機械学習	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング実践IIを修得していること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、近年、爆発的な進歩と普及を遂げている、いわゆる「人工知能（AI）技術」の根幹をなす機械学習技術について重要事項を学び、演習を通じてモデル構築を体験し、実践的な能力を身につける。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業では、機械学習技術の重要事項を身につけ、目的に応じて、データを収集、モデルを構築、処理し、評価し、結果を導く能力（一定の実装能力を含む）を獲得することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

すべての授業に出席することを期待している。 授業では教科書には載っていない内容についてもカバーするので、これは特に重要なこと。 また、聴講型講義の他に、学生参加型の演習を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

プログラミングには自身のPCでPythonを用い、環境としてJupyter NotebookやGoogle Colaboratoryを活用する。□

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Python3年生 機械学習のしくみ	森 巧尚	翔泳社	ISBN-13 ： 978-4798166575

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
機械学習を解釈する技術	森下 光之助	技術評論社	ISBN-13 ： 978-4297122263

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題（50%）、定期試験（50%）の総合評価とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回課される課題の補足説明や解説を講義開始時に行う。また、講義内容に対する質問等をGoogle Formsなどで随時募集し、説明や解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	機械学習イントロダクション	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.11～29 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	第1回の内容を復習しておくこと。(2時間)
第2回	機械学習環境の準備　(Google Colaboratory ・Jupyter Notebook)	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.30～52を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	第2回の内容を復習しておくこと。(2時間)
第3回	Scikit-learn（サイキットラーン）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.53～65、pp.70～75、pp.82～84 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第4回	Scikit-learn（サイキットラーン）の塊例を分類：データを用意する・学習用とテスト用に分ける	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.85～95を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第5回	Scikit-learn（サイキットラーン）の塊例を分類：学習して予測する・分類を可視化する	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.96～110を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第6回	線形回帰で予測する	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.111～121を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第7回	分類：ロジスティク回帰	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.122～130を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第8回	分類：SVM (サポートベクターマシン)	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.131～142を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第9回	分類：決定木	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.143～151を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第10回	分類：ランダムフォレストとk-NN(k近傍法)	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.152～158を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第11回	MNIST（手書きの数字）データセット：データ・学習データの準備	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.165～178を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第12回	MNIST（手書きの数字）データセット：学習・予測	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.179～190を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第13回	教師なし学習のクラスタリング：k-means(k平均法)・その他	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.159～164、pp.191～195を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第14回	Perceptron (パーセプトロン)	
	事前学習（内容・時間）	Web、教科書で第14回のテーマを検索し、選んでその内容を読んでおくこと。 (2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第15回	Artificial Neural Network (人工ニューラルネットワーク)	
	事前学習（内容・時間）	Web、教科書で第15回のテーマを検索し、選んでその内容を読んでおくこと。 (2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること。(提出するのは不必要) (2時間)
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-5262-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
人工知能	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期	2単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング実践 I および機械学習を修得した方が望ましい.

授業概要　Course Outline

現在, 人工知能技術は, 私たちの生活の様々なところで使われている. 本授業では, ディプロマポリシーに基づき, 人工知能技術の基礎を体系的に学ぶ. 人工知能技術の応用例について触れ, 実生活に密着してきつつある姿を垣間見る. また, 学生の分析能力を育成し, トピックを包括的にカバーするために, グループディスカッションを実施し, 発表する機会を設ける.□

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①人工知能に関する基本用語が説明できる. ②講義に参加できる. ③課題解決のためにお互いに助けることができる. 疑問点を尋ねることができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型および実習型講義とグループディスカッションを併用して実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp ; Google クラスルーム（クラスコード3sthru2p）

その他 Others, 外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
AIのしくみと活用がこれ1冊でしっかりわかる教科書	高橋 海渡, 立川 裕之, 小西 功記, 小林 寛子, 石井 大輔	技術評論社	978-4297132187

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基礎から学ぶ人工知能の教科書	小高知宏	オーム社	978-4-274-22426-3

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験60%＋平常点 40%（「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」の提出,課題の提出,授業中のグループディスカッション・プレゼンテーション）」で評価する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,課題およびポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．（2.0h）
第2回	人工知能とは：定義・得意な分野と苦手な分野	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する． 「人工知能」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第3回	人工知能とは：発展過程	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する． 「人工知能」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第4回	AIとビッグデータ	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「AIとビッグデータ」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第5回	機械学習アルゴリズム	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「機械学習アルゴリズム」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第6回	教師あり学習：線形回帰モデル	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「線形回帰モデル」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第7回	教師あり学習：k-NN（k-Nearest Neighbor）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「k-NN」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第8回	教師あり学習：ロジスティック回帰モデル	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「ロジスティック回帰モデル」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第9回	人工ニューロンとパーセプトロン	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「人工ニューロンとパーセプトロン」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第10回	教師なし学習：ディープラーニング（DL）のオートエンコーダ（AE）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「オートエンコーダ」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第11回	教師あり学習：ディープラーニング（DL）の畳み込みニューラルネットワーク（CNN）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「畳み込みニューラルネットワーク」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第12回	自然言語処理（NLP）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「自然言語処理」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容を実施すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第13回	大規模言語モデル（LLM）のTransformer	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の当該箇所を通読する.「大規模言語モデル（LLM）のTransformer」をキーワードとしてウェブ上の資料を検索し,通読すること.（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容に基づき，スライドを作成すること．（2.0h） KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第14回	発表会	
	事前学習 （内容・時間）	グループディスカッションで決定した内容に基づき，スライドを提出すること．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	他のグループからのスライドや発表を評価すること． KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の内容を記載する.（2.0h）
第15回	課題演習	
	事前学習 （内容・時間）	第2回～第14回を復習しておくこと．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	時間内にできなかった問題は必ず完成させること． 定期試験に向けて,Google クラスルームの授業（Materials）内にある練習問題に取り組むこと（提出は不要）． あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックへの記入を行うこと.(2.0h)
第16回 （定期試験）	定期試験を実施する．	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-6840-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
AI・データサイエンス応用実践	226～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期	2単位	選択	荒平　高章　・　中島　直樹 平川　淳一　・　宮崎　武
特別実習・講義（情報） AI・データサイエンス応用実践	～225 情報ネットワーク学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「情報リテラシー演習Ⅱ」「統計学入門」「統計学」の全ての講義を合格していること。 なお、編入生などは面談を行った上で、上述の条件以上の知識と技能を持ち合わせていると確認された場合はこの限りではない。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき，この講義ではAI及びデータサイエンスの内容に関する実践的な応用事例をについて実例を基にした実習による学習を行う。複数のテーマについて実データやそれに類するデータを用いて解析を行う。各テーマの間で、本学教員による様々な視点からのデータサイエンスに関する事例を紹介する。また，生成AIパスポート試験に合格することを目指し，内容の解説と演習問題を解く。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学のデータサイエンスコースで主に講義している様々なデータ解析手法を用いて，幾つかのテーマについて具体的なデータを用いたデータ解析を行う実践的な演習を行う。また，AIについても知識を整理し生成AIパスポート試験への合格を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ゲスト講師による特別講義の回を除き，それぞれの講義において演習課題を出題する。これらの演習課題に取り組みその内容から読み取ったデータ解析結果について発表する。また生成AIパスポート試験の演習では，サンプル問題や例題などを中心に実際に問題を解き，解答とどのようにして問題を解いたのか解法手順について口頭説明する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

講義の各テーマに関してまとめを作成する。また，定期的に開催される生成AIパスポート試験への受験を積極的に行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
GUGA公認 生成AIパスポート テキスト&問題集	一般社団法人　生成AI 活用普及協会(GUGA)	日本能率協会 マネジメントセンター	978-4-8005-9391-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
データサイエンス応用基礎	竹村彰道・田中琢真・椎名洋・深谷良治　編	学術図書出版社	978-4-7806-0715-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(30%)、各講義での演習問題への取り組みや授業参加態度(70%)

学習成果に対するフィードバック（指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各講義のテーマ毎に行ったデータ解析結果の発表について補足や解説を行う。また，生成AIパスポート試験の講義・演習では，サンプル問題や例題への解答に対する口頭発表に対しても同様に補足や解説を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス・テーマ（1）情報セキュリティとデータ分析　前半	
	事前学習（内容・時間）	これまで学習してきた統計学やデータ解析に関する講義内容を復習する（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	ガイダンスで説明した講義内容を確認する。また講義内容について復習する（2.0時間）
第2回	テーマ（1）情報セキュリティとデータ分析　後半	
	事前学習（内容・時間）	テーマ（1）情報セキュリティとデータ分析前半で説明した内容を復習する（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	テーマ（1）情報セキュリティとデータ分析で説明した内容についてまとめる（2.0時間）
第3回	特別講義①：　心理学とデータサイエンス	
	事前学習（内容・時間）	特別講義①に関連した情報を文献やWebなどから集める（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	特別講義①の講義内容をまとめる（1・5時間）
第4回	テーマ（2）　物理・化学実験と結果分析・整理，テキストマイニング実習　前半	
	事前学習（内容・時間）	物理・化学実験と結果分析・整理，テキストマイニングに関する情報を文献やWebなどから集める（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について復習する（2.0時間）
第5回	テーマ（2）　物理・化学実験と結果分析・整理，テキストマイニング実習　後半	
	事前学習（内容・時間）	テーマ（2）物理・化学実験と結果分析・整理，テキストマイニング実習前半で説明した内容を復習する（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	テーマ（2）物理・化学実験と結果分析・整理，テキストマイニング実習で説明した内容についてまとめる（2.0時間）
第6回	特別講義②：　スポーツ・トレーニングとデータサイエンス	
	事前学習（内容・時間）	特別講義②に関連した情報を文献やWebなどから集める（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	特別講義②の講義内容をまとめる（2.0時間）
第7回	テーマ（3）　オープンデータによる生成AIを使用したデータ分析の実践　前半	
	事前学習（内容・時間）	生成AIを使用したデータ分析について情報を集める（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について復習する（2.0時間）
第8回	テーマ（3）　オープンデータによる生成AIを使用したデータ分析の実践　後半	
	事前学習（内容・時間）	テーマ（3）オープンデータによる生成AIを使用したデータ分析の実践前半で説明した内容を復習する（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	テーマ（3）オープンデータによる生成AIを使用したデータ分析の実践で説明した内容についてまとめる（2.0時間）
第9回	特別講義③：　企業における実践的なデータ利活用とデータサイエンス	
	事前学習（内容・時間）	特別講義③に関連した情報を文献やWebなどから集める（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	特別講義③の講義内容をまとめる（2.0時間）
第10回	生成AIパスポート　試験対策講座①　講義前半	
	事前学習（内容・時間）	生成AIパスポート試験について情報を集め、受験手続きや費用などを調べる（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について復習する（2.0時間）
第11回	生成AIパスポート　試験対策講座②　講義後半	
	事前学習（内容・時間）	生成AIパスポート試験の出題範囲を調べ、受験できるように準備をすすめる（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について復習する（2.0時間）
第12回	生成AIパスポート　試験対策講座③　演習（1）	
	事前学習（内容・時間）	生成AIパスポート試験対策講座①・②の講義内容をまとめる（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	演習で取り上げた例題や練習問題などを復習する（2.0時間）
第13回	生成AIパスポート　試験対策講座④　演習（2）	
	事前学習（内容・時間）	生成AIパスポート試験対策講座③の演習内容をまとめ、関連する情報を調べる（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	演習で取り上げた例題や練習問題などを復習する（2.0時間）
第14回	生成AIパスポート　試験対策講座⑤　演習（3）	
	事前学習（内容・時間）	生成AIパスポート試験対策講座④の演習内容をまとめ、関連する情報を調べる（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	これまで5回の生成Aパスポート試験対策講座の内容をまとめる（2.0時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第1回から第14回までのそれぞれの講義内容についてまとめる（2.0時間）
	事後学習（内容・時間）	定期試験に備えて試験勉強を行う（2.0時間）
第16回（定期試験）	筆記試験	

教職に関する科目

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5010-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報科教育法Ⅰ（教職に関する科目）	223～	3年生・前期	2単位	教必	荒平　高章
「情報」教科教育法Ⅰ（教職に関する科目）	～222				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	2年生までの教職科目・教科科目のすべてに合格済であることが望ましい。 情報リテラシー演習ⅠおよびⅡに合格済みであること。

授業概要　Course Outline

本講義では、ディプロマポリシーおよび教職コアカリキュラムに基づき、情報学分野の情報教育、特に高等学校の情報科における教科教育法についての知識を習得することを目標とする。具体的には、教科情報科が設置された経緯、教育目標と内容について理解し、情報技術の進展と社会への影響を踏まえ、情報に関する幅広い知識とともに、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する実践力と情報モラルの育成の方法について、実習を伴いながら習得し、教科情報科に対する内容的な理解を目指す。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①情報科教育の背景について理解できる。 ②情報科教育の体系と構成について説明できる。 ③共通教科情報科の目標および内容について説明できる。 ④専門教科情報科の各科目について分類し列挙できる。⑤指導案を作成できる。⑥模擬授業を実施できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室（653）にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う．

**その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,
ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について**

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
情報科教育法	鹿野利春ほか編	実教出版	978-4407355215

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
高等学校学習指導要領解説 情報編	文部科学省	開隆館	978-4407355215

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

提出物・模擬授業（50%）、定期試験（50%）で評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本講義では、模擬授業を含め複数回プレゼンテーションを実施する。その際、教員からのフィードバックのほか、他己採点による他の学生の評価によるフィードバックも実施する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	これまでの教職科目・教科科目で学んだ内容を整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第2回	第１章　情報科教育の背景　（１）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト8～23ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第3回	第１章　情報科教育の背景　（２）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト8～23ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第4回	第２章　情報科教育の体系と構成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト26～39ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第5回	第３章　共通教科情報科の目標と内容　（１）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト42～59ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第6回	第３章　共通教科情報科の目標と内容　（２）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト60～76ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第7回	第４章　専門教科情報科の各科目　（１）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト80～89ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第8回	第４章　専門教科情報科の各科目　（２）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト90～105ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第9回	第５章　学習指導と学習評価　（１）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト108～117ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第10回	第５章　学習指導と学習評価　（２）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト118～127ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第11回	第５章　学習指導と学習評価（学習評価のデザインに関する実習）（３）	
	事前学習（内容・時間）	前回の講義の復習をする．（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第12回	第６章　学習と評価の計画　（１）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト130～139ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第13回	学習指導案の作成と模擬授業計画　（１）	
	事前学習（内容・時間）	第１２回までの内容を復習する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第14回	模擬授業　（１）	
	事前学習（内容・時間）	前回講義の内容を整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第15回	模擬授業　（２）	
	事前学習（内容・時間）	前回講義の内容を整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5020-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報科教育法Ⅱ（教職に関する科目）	223～	3年生・後期	2単位	教必	荒平　高章
「情報」教科教育法Ⅱ（教職に関する科目）	～222				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「情報」教科教育法Ⅰに合格していること。

授業概要　Course Outline

本講義では、ディプロマポリシーおよび教職コアカリキュラムに基づき、情報科教育法Ⅰの内容を踏まえて、実際の授業事例や学習指導例を参考に、教育実習に向けた指導案作成や模擬授業を実施するための準備と実践を行う。より多くの事例を体験することにより、多角的な視点で授業を計画、実施できるようになることを目指す。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

①実際の授業の事例について調査し、まとめることができる。②任意の単元に関して学習指導案を作成することができる。③作成した学習指導案に準じた模擬授業のための教材を作成できる。④作成した学習指導案に準じた模擬授業を実施できる。⑤実施した模擬授業に対して適切な評価を行うことができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室（653）にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
情報科教育法	鹿野利春ほか編	実教出版	978-4407355215

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
高等学校学習指導要領解説 情報編	文部科学省	開隆館	978-4407355215

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

提出物・模擬授業（50%）、定期試験（50%）で評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本講義では、模擬授業を含め複数回プレゼンテーションを実施する。その際、教員からのフィードバックのほか、他己採点による他の学生の評価によるフィードバックも実施する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、情報科教育法Ⅰの復習	
	事前学習（内容・時間）	これまでの教職科目・教科科目で学んだ内容を整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第2回	第7章　授業の事例と学習指導　（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト142～159ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第3回	第7章　授業の事例と学習指導　（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト160～174ページを通読する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第4回	模擬授業①　準備（1）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業箇所の内容について調査・整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第5回	模擬授業①　準備（2）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業箇所の内容について調査・整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第6回	模擬授業①　実施（1）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の学習指導案に目を通し、教材等を用いて練習をする（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第7回	模擬授業①　実施（2）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の学習指導案に目を通し、教材等を用いて練習をする（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第8回	模擬授業①　フィードバックと改善	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業実施者全員についてルーブリック評価を実施する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第9回	模擬授業②　準備（1）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業箇所の内容について調査・整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第10回	模擬授業②　準備（2）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業箇所の内容について調査・整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第11回	模擬授業②　準備（3）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業箇所の内容について調査・整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第12回	模擬授業②　実施（1）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の学習指導案に目を通し、教材等を用いて練習をする（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第13回	模擬授業②　実施（2）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の学習指導案に目を通し、教材等を用いて練習をする（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第14回	模擬授業②　実施（3）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の学習指導案に目を通し、教材等を用いて練習をする（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第15回	模擬授業②　フィードバックと改善	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業実施者全員についてルーブリック評価を実施する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する.（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5080-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育哲学（教職に関する科目）	共通	2年生・後期	2単位	教必	坂上　宏

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「教師入門」をすでに単位取得済みであること。 ②下記の参考書のどれか一冊を読了しておくことが望ましい。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

この授業では、「教職課程コアカリキュラム」（文部科学省）に準拠し、教育の理念、概念、歴史的変遷などテーマとして取り上げます。特に、歴史上名高い哲学者・思想家の代表的な著作に見られる教育観、道徳観、人間観などについて講義します。「教育」という事象を単に　’教える’、’学ぶ’という側面だけではなく、人間存在の根源的見地から考えて、教育と道徳のあり方、教育と社会の関係性などについて考えていきます。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。
①ソクラテス・プラトンの教育観と人間観（魂の配慮、哲人教育、魂の浄化）等の概要について理解できる。
②アリストテレスの道徳観と人間観（公教育、自由人にふさわしい教育、徳のあり方）等の概要について理解できる。
③コメニウスの教育観と人間観（人間と教育、近代的学校の構想）等の概要について理解できる。
④ロックの教育観と人間観（ジェントルマン教育と貧民教育、しつけと道徳）等の概要について理解できる。
⑤ルソーの教育観と人間観（自然と教育のあり方、幼児期～少年期の教育、少年期～青年期の教育）等の概要について理解できる。
⑥カントの教育観、道徳観、人間観（啓蒙と理性、道徳の実践、実践的教育と自然的教育）等の概要について理解できる。
⑦ペスタロッチの教育観と人間観（メトーデ構想）等の概要について理解できる。
⑧デューイの教育観と人間観（民主主義と教育、学校のあり方）等の概要について理解できる。
⑨代表的な思想家・哲学者の教育観と人間観等の概要について理解できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学習の確認：ポートフォリオとルーブリック、教職履修カルテに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。
・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見をお伝えする予定です。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
配布プリント			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ｿｸﾗﾃｽの弁明・クリトン	プラトン	岩波文庫	
国家　上・下	プラトン	岩波文庫	
政治学	アリストテレス	岩波文庫	
ニコマコス倫理学　上・下	アリストテレス	岩波文庫	
大教授学Ⅰ・Ⅱ	コメニュウス	明治図書	
教育学（カント全集17）	カント	岩波書店	
教育に関する考察	ロック	岩波文庫	
エミール上・中・下	ルソー	岩波文庫	
隠者の夕暮れ・ｼｭﾀﾝﾂだより	ペスタロッチー	岩波文庫	
ゲルトルート児童教育法	ペスタロッチ	明治図書	
人間の教育　上・下	フレーベル	岩波文庫	
一般教育学	ヘルバルト	明治図書	
道徳教育論	デュルケム	明治図書	
民主主義と教育	デューイ	岩波文庫	
学校と社会	デューイ	岩波文庫	
ラッセル教育論	ラッセル	岩波文庫	
教育思想史	今井康雄（編）	有斐閣	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）、ルーブリック、教職履修カルテの提出）。
成績評価の基準：　上記到達目標①～⑨について説明できる。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション、教育と学校教育（憲法と教育基本法）、プラトン『ソクラテスの弁明』における人間観と道徳観（魂の配慮） :ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習（内容・時間）	第1回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで準備をしてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ｿｸﾗﾃｽが説く「魂の配慮」の要点について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
第2回	プラトン『国家』における教育観と人間観①（哲人教育） :ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習（内容・時間）	プラトンが説く「哲人教育」の目的とは何ですか。ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	哲人教育の段階と内容について、その1～その5までを簡単に説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
第3回	プラトン『国家』における教育観と人間観②（徳と浄化） :ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習（内容・時間）	魂の浄化についてプラトンはどのように述べていますか。ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	プラトンの目指す教育について、授業ではどのように説明されていましたか。ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
第4回	アリストテレス『政治学』『ニコマコス倫理学』における教育観と道徳観（善き国民のための教育、自由人にふさわしい教育、徳のあり方）:ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習（内容・時間）	アリストテレスの教育に対する基本的な考え方について、第4回の授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	アリストテレスは自由人にふさわしい教育についてどのように考えていますか。ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
第5回	コメニウス『大教授学』『隠者の夕暮れ・ｼｭﾀﾝﾂだより』の教育観と人間観①（人間の目的と教育の必要性、近代的学校の構想）:ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習（内容・時間）	コメニウスの主張の意義について、第5回の授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教育、学校に関するコメニウスの基本的な考え方について説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
第6回	コメニウス『大教授学』『隠者の夕暮れ・ｼｭﾀﾝﾂだより』の教育観と人間観②（教育のための障害物を克服するために）:ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習（内容・時間）	コメニウスが考える学校の姿　Ⅰ～Ⅴについて簡単に述べてください。第6回の授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「教育のための障害物を克服するために　教授および学習の全般的要件」について、1）～5）について簡単に述べてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
第7回	ロック『教育に関する考察』『人間知性論』における教育観と人間観①（人間性と教育のあり方） :ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習（内容・時間）	ロックの教育観について簡単に説明してください。第7回の授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックの言葉「教育によって精神を理性に従わせること」について説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
第8回	ロック『教育に関する考察』における教育観と人間観②（躾と行儀作法、貧民教育） :ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習（内容・時間）	ロックが考える徳のあり方1）～5）について説明してください。第8回の授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックが考える学習のあり方について説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）
第9回	ルソー『人間不平等起原論』『エミール』における人間観と教育観①（憐れみの情、乳幼児期の教育：自然と教育） :ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習（内容・時間）	『エミール』のあらすじとテーマについて説明してください。第9回の授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーが目指す教育とは何ですか。2つ述べてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
第10回	ルソー『エミール』における人間観と教育観②（児童期・少年前期：事物から学ぶ消極教育） :ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	現在を無視する教育への批判に関してルソーはどのように述べていますか。ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーの言葉「人間よ、人間的であれ。」の意味について答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
第11回	ルソー『エミール』における人間観と教育観③（児童期・少年前期：自尊心と理性、道徳） :ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習（内容・時間）	ルソーは、児童期・少年前期における教育の手法として、「説教するな、実例で教えよ」と述べています。それはなぜですか。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーは、年齢に応じて子どもを扱うべきだ、と述べています。この言葉の意味を説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
第12回	ルソー『エミール』における人間観と教育観④（少年後期の教育） :ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習（内容・時間）	少年後期（15歳まで）の教育のあり方について、ルソーはどのように考えていますか。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	少年後期　12～15歳　の教育・学習の特徴についてルソーの考えを説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
第13回	ペスタロッチ『隠者の夕暮れ・ｼｭﾀﾝﾂだより』『ゲルトレート児童教育法』における人間観と教育観①（神と信仰と教育） :ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習（内容・時間）	ペスタロッチによる国民（貧民）教育への貢献として3点述べてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ペスタロッチが考える人間の自然の本性について、3点説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
第14回	ペスタロッチ『隠者の夕暮れ・ｼｭﾀﾝﾂだより』『ゲルトレート児童教育法』における人間観と教育観②（ﾒﾄｰﾃﾞ構想）:ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	ペスタロッチが考える家庭的精神と道徳教育について説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ペスタロッチが提唱した「直観教授法」（ﾒﾄｰﾃﾞ）における基本的な要素について説明してください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
第15回	カント『教育学』における教育観（実践的教育と自然的教育）:ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習（内容・時間）	カントが説く実践的教育について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが説く自然的教育について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑮）（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック、教職履修カルテ作成等	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5100-12ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教師入門（教職に関する科目）	共通	1年生・後期	2単位	教必	桑野裕文

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①学校教育に関心がある者。②教師への志望動機が明確である者。③ディスカッションに意欲的に取り組む者。

授業概要　Course Outline

15回の講義中、一人最低2回は各自が自主的に設定したテーマについて、問題提起をしてもらう。それに対し、グループ又は個人としての意見・疑問を出し合い討論する。討論の時間では、建学の精神である「至心」に基づいて、積極的かつ誠実な態度での討論を行う。第1回から第15回までの講義を通して、各人自分自身の理想の教育及び教師像について考える。以上内容は、教職コアカリキュラムに基づいている。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業の到達目標は、①建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」の育成　、②教師としての心構えから、教育課程、校務分掌等幅広く理解する、③代表的な授業スタイル「講義型授業」「問答型授業」「個別型授業」「対話型授業」のメリット・デメリット、及びICT機器を活用した指導法について理解を深める　である。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学校教育を多様な視点で捉え、主体的に事前事後の学習ができるようにしてください。
対話型の授業を心がけますので、意欲的な発言を期待しています。
授業の終わりには毎回コメントカードを作成・提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワーは、授業日の授業の前後の時間になります。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して授業の前までにメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教職入門	藤本典裕	教育図書	978-4-8100-9720-7

・成績評価の方法：定期試験50%、問題提起25%、平常点25%（ディスカッション、ポートフォリオ、レポート、コメントカードの作成、事前学習・事後学習等）
・成績評価の基準
①教員としての心構え、教職の専門性、教職員の服務、教育活動等を理解しているか。
②創意工夫をして問題提起を行おうとしているか。ディスカッションに積極的に参加しているか。
③多様な意見を吸収し、建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」に近づこうとしているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の取組みについて、オフィスアワー時間内に研究室にて説明します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業の進め方，成績評価等についての説明等　対面	
	事前学習 （内容・時間）	教職とは何かについて調べてまとめておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容をwordで400字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください。（2時間）
第2回	教員としての心構え（宣誓義務と服務義務）	
	事前学習 （内容・時間）	公務員の宣誓についてまとめておく。（『地方公務員法（服務の宣誓）第30条・第31条』 参照）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容をwordで400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第3回	教職の専門性と研修	
	事前学習 （内容・時間）	「教師聖職者論」、「教師労働者論」、「教師聖職者論」についてまとめておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「教師の研修」を中心に、講義内容をwordで400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第4回	学校教育の意義・役割	
	事前学習 （内容・時間）	「教員と教師」と「業務と公務」について調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「中学校と高等学校の違い（教師・生徒・教育課程」を中心に、講義内容をwordで400字以内にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第5回	日本の教育制度	
	事前学習 （内容・時間）	日本の教育制度について、wordで400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	①単線型教育制度と複線型教育制度」の違い、②「中等教育制度と高等教育制度」について400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第6回	教育活動と教育課程	
	事前学習 （内容・時間）	「教育課程」について調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「中学校・高等絵学校時代の学校行事（文化祭・体育祭・就学両行・他）について400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第7回	学校としての組織マネージメント	
	事前学習 （内容・時間）	「校務分掌」について調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「関心の高い校務分掌」について、wordで400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第8回	1回目から8回目までの講義内容についての個人発表会	
	事前学習 （内容・時間）	日本の特別支援教育の歴史について、400字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表についての感想と、講義内容をwordで400字以内にまとめ、メールで送ってください。（2時間）

第9回	学びの多様化（不登校生徒に対する支援）	
	事前学習 （内容・時間）	「学級担任制」と「教科担任制」のちがいについて調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「不登校、フリースクール、発達障害」と講義内容をwordで400字以内にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第10回	授業スタイル「講義型授業」「問答型授業」「個別型授業」「対話型授業」のメリット・デメリット	
	事前学習 （内容・時間）	PDCAサイクルについて調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「思い出に残る授業・先生」と講義内容をwordで400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第11回	ICTを活用した指導法について	
	事前学習 （内容・時間）	ICT機器について調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容をwordで400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第12回	学校を取り巻く動向（教育行政と教育委員会の役割）	
	事前学習 （内容・時間）	戦前と前後の教育制度の違いについて調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義内容をwordで400字程度にまとめ、メールで送ってください。（2時間）
第13回	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、教師の仕事について解説します。その際、必要に応じて意見交流をします。	
	事前学習 （内容・時間）	中学校・高校時代の校則について、wordで400字程度にまとめ、メールで送ってください（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表内容・意見交換内容をwordで400字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第14回	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、教師の置かれている現在的な問題について考え、どうすれば効果的な教育が行われるのかについて意見交換をします。対面	
	事前学習 （内容・時間）	教師の仕事を阻害していると考えられる事柄について、400字程度でまとめてください。授業で発表してもらいます（2時間）。
	事後学習 （内容・時間）	発表内容・意見交換内容をwordで400字程度にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第15回	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、これからの時代に求められる「理想」の教師像について議論をします。対面	
	事前学習 （内容・時間）	自分なりの「理想の教師像」を、400字程度でまとめてきてください。授業で質問します（2時間）。
	事後学習 （内容・時間）	発表内容・意見交換内容をwordで400字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第16回 （定期試験）	教師の役割、教師を取り巻く環境の変化、不登校児童生徒への取り組み等、学習したすべての事柄が試験の対象となります。	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5050-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
教育社会学（教職に関する科目）	共通	2年生・後期	2単位	教必	平田 毅

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	将来教職を目指す者に向けた授業であるので、教える＝学ぶという主客往復運動を自らの裡に作用させ主体的に取り組む姿勢と態度そして能力が求められる。

授業概要　Course Outline

現代社会は大きな転換期を経験している。2020年にはCOVID-19感染症パンデミック以降、学校教育の在り様も変貌している。ICTの導入や生AIの活用（不活用）も含め、学校や教育のあり方が大きく問われ、さまざまなな変革を迫られている。
この授業では、そうした状況のなか、教育社会学の基本的な考え方と知識を身に付ける。 教育･学校を取り巻く“問題”に焦点を当て、その構造とメカニズムを社会学的に考察･解明していく。
　一方的に私が講義する授業だけでなく、受講生のみなさんがそれぞれのテーマに基づいて作成したレポートの発表を取り入れた授業を行うので、問題意識を持って、積極的に課題に取り組んでほしい。
　なお、本授業は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーのⅠおよびⅥを満たす科目ともなる。また、教職課程コアカリキュラムにおける「教育に関する社会的・制度的又は経営的事項」に関連した授業である。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・教育・学校をとりまく状況や問題を社会学的に捉え、その相互関係のメカニズムを考察し理解する。
・教職を志望するに当たって、教育・学校における諸問題・諸事象を複眼的に捉える視点と態度を養う。
・PC、PowerPoint、インターネットなど情報ツールを有効な利活用と、それらを効果的に用いたプレゼンテーションができるスキルの習得を図る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

テキスト沿ったテーマを分担して、PowerPointを用いて原稿を作成し発表する。
①担当テーマを各自が十分にリサーチし、その内容や問題の十分な理解に努める。
②オーディエンスにも「よくわかる発表」になるように工夫したPowerPoint原稿を作成する。
③作成したPowerPointをもとに発表の準備（練習）を行う。
④発表。
⑤聴き手は予めテキストの指定箇所を熟読し要点と疑問点を念頭に置きながら発表を傾聴する。
⑤発表後、聴き手は積極的に質問し意見を述べるなど、発表に対して真摯にレスポンスを返す。
※以上が、相互に学び合う場を創出していくうえで、不可欠な要素です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業終了後に気軽に声を掛けてくださいい。てください。
メールアドレス： t-hirata@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

毎時のテーマ発表について「教育社会学 発表学習の記録』シートを記入し、学びの振り返りをします。
しっかり、記入するようにしてください。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
これからの教育社会学	相澤真一・伊佐夏実 内田良・徳永知子 著	有斐閣 （2,100円税別）	978-4-641-20003-6

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる教育社会学	酒井朗・多賀太・ 中村高康編著	ミネルヴァ書房 （2,600円税別）	978-4-623-06293-5

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

テーマ発表の内容と再校版の提出（60%）と期末試験ト（40%）により総合的に評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

テーマ発表については、口頭もしくはClassroomを活用して、作成過程及び発表後に随時指導と助言を行う。
期末試験の結果については、採点評価終了後に、Classroomを通して告知する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス　教育社会学とは何か	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを精読し、教育社会学で学ぶことを把握しておく。自らの学校経験を振り返り、学校や教育の意味を考える。[2h]
	事後学習（内容・時間）	自らの学校経験や被教育体験を重ね合わせて、テキストを概観し、興味ある箇所を読む。[2h]
第2回	学校と社会 ～教育は社会の中で行われている	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第3回	学校と社会 ～「7人の小さき探究者たち」（NHK ETV特集）で考える	
	事前学習（内容・時間）	視聴する番組について、予めネット等でリサーチして、その内容について予習しておくこと。 ネット視聴が可能なら予め観ておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	番組の視聴とその後のディスカッションで得たことがらをノートにまとめること。[2h]
第4回	試験と学歴から考える教育	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第5回	格差と不平等から考える教育	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第6回	教育の場としての家庭	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第7回	ジェンダーと子育て	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第8回	学校のなかの家族	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第9回	教育問題の社会学 ～見えない教育問題	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第10回	「子どものため」の陥穽	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第11回	教師の仕事、学校の役割とは何か ～底辺校と呼ばれる高校の取り組みに学ぶ（ビデオ視聴）	
	事前学習（内容・時間）	教師の仕事・学校の役割についての事前ワークシートに取り組むこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	番組を視聴とその後のディスカッションで明らかになったことがらをノートにまとめること。[2h]
第12回	マイノリティの子どもの排除と包摂	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第13回	映画「カランコエの花」を観てセクシャルマイノリティについて考える	
	事前学習（内容・時間）	映画「カランコエの花」について、予めネット等でリサーチして、その内容について予習しておくこと。ネット視聴が可能なら予め観ておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第14回	マイノリティと共につくる教育と社会へ　～今、学校・教師に求められていること	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	映画の視聴とその後のディスカッションで得たことをノートにまとめること。[2h]
第15回	授業の振り返りとまとめ	
	事前学習（内容・時間）	これまでのテーマを振り返って、それぞれのエスプリを整理する。[2h]
	事後学習（内容・時間）	期末レポート作成に向けて、テーマを明確にしその作成に取り組む。[2h]
第16回（定期試験）	定期試験（筆記記述）	

ナンバリング（Numbering）						
2TTB-5060-22ET						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育心理学 （教職に関する科目）		共通	2年生・後期	2単位	教必	鈴木　和也
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	「心理学」を履修(単位修得)もしくは同時履修していること。 3年次に各自が希望する都道府県で実施される教員採用試験の早期選考（3年生対象）を受験すること。					

授業概要　Course Outline

建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」を基礎と、高等学校の教員としての基本的条件(専門科目知識や技能は勿論)としての役割(自己管や対人理解、共感力や支援力など)に関する知識・態度を理解し、自らの課題として自覚できるための能力を身に付ける。特に、文部科学省が示すコアカリキュラムに基づき、生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身に付け、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。

	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

（1）様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。
（2）主体的な学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。
（3）生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容と関連させて、今日の学校教育をめぐる諸問題についてグループ・ディスカッションを導入する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学修の確認については、kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
はじめて学ぶ教育心理学	吉川成司・関田一彦・他	ミネルヴァ書房	978-4-623-07448-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code

補助教材として、授業内容に関連したプリント資料を配付・活用します。

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験の成績と授業中の参加度(質問・発表、グループワーク等)を総合的に評価します。
両者の比重は、概ね6対4とします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：「教育心理学」を学ぶにあたって	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第2回	教育心理学の目的と意義	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第3回	教育心理学の方法：学校教師に求められる研究方法	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第4回	人間の発達(1)考え方・規程要因・過程	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第5回	人間の発達(2)発達の諸相	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第6回	学習(1)動機づけ	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第7回	学習(2)学習の評価	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第8回	学習(3)ICT教育とメディアリテラシー	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第9回	まとめと確認①：グループワークによる自己点検	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第10回	学級集団とその指導(1)学級の心理学的構造	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第11回	学級集団とその指導(2)心理教育	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第12回	生徒理解と個別指導	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第13回	問題行動と教育相談	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第14回	特別支援教育：発達の個人差への教育的対応	
	事前学習（内容・時間）	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第15回	まとめと確認②：グループワークによる自己点検	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業内容を総復習し、ノートにまとめる。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	難しく感じた問題等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。（2.0）
第16回（定期試験）	定期試験(筆記試験)	

ナンバリング（Numbering）
2TTN-5140-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
特別支援教育（教職に関する科目）	219～経営情報学科	2年生・後期	2単位	教必	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	日本国憲法、心理学、教育哲学、教師入門、教育社会学、教育心理学、教育課程論を履修（あるいは単位を取得）していること。 3年次に各自が希望する都道府県で実施される教員採用試験の早期選考（3年生対象）を受験すること。

授業概要　Course Outline

この講義では、文部科学省の示すコアカリキュラムに基づき、通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

（1）インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。
（2）発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理 的特性及び学習の過程
を理解している。
（3）「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を理解している。
（4）特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する 意義と方法を理解してい
る。
（5）特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学修の確認については、kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
高等学校教員のための特別支援教育入門	大塚　玲　著	萌文書林	978-4-89347-362-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
特別支援教育の基礎・基本 2020	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	株式会社ジアース教育新社	978-4-86371-548-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（10%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（5%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション～支援教育と特別支援教育		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「特別支援教育とその現状」を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第2回	学校教育のシステムと個に応じた指導とは		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「学校教育のシステムと個に応じた指導」を通読	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第3回	通常学級で困っている子ども(生徒)たち		
	事前学習（内容・時間）	教科書68頁～76頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第4回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)①知的障害		
	事前学習（内容・時間）	教科書152頁～183を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第5回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)②発達障害(自閉性障害)		
	事前学習（内容・時間）	教科書302頁～320頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第6回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)③学習障害（LD）		
	事前学習（内容・時間）	教科書323頁～331頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第7回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)④注意欠陥多動性障害(ADHD)		
	事前学習（内容・時間）	教科書333頁～339頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第8回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)⑤その他(文化マイノリティ)		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「文化マイノリティを通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第9回	特別支援教育の実際と課題①学級づくり～生徒指導、教育相談		
	事前学習（内容・時間）	教科書39頁～45頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第10回	特別支援教育の実際と課題②授業づくり～目標設定と方法・評価		
	事前学習（内容・時間）	教科書51頁～52頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第11回	特別支援教育の実際と課題③保護者・地域社会との連携～成長と理解		
	事前学習（内容・時間）	教科書64頁～66頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第12回	特別支援教育の実際と課題④専門機関との連携		
	事前学習（内容・時間）	教科書50頁～51頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第13回	特別支援教育の実際と課題⑤特別支援教育における情報機器の活用（アシスティブ・テクノロジーについて）		
	事前学習（内容・時間）	教科書61頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第14回	特別支援教育の実際と課題⑥特別支援教育における情報機器等の活用の実際（教材作成の道具としての活用、生徒の個別学習への活用について）		
	事前学習（内容・時間）	教科書119頁～122頁、176頁～178頁、257頁～261頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第15回	まとめ		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「特別支援教育の課題と展望」を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （振り返りを行い、特別支援教育に対する見識を深める。）		

ナンバリング（Numbering）
2TTN-5130-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
総合的な探究の時間の指導法（教職に関する科目）	共通	3年生・後期	2単位	教必	相良　誠司

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	21世紀の高度情報化社会にあって、次世代の高等学校教育において「至心をもって事にあたる人間づくりをなす」という確固たる意思をもち、高等学校情報科教諭として修得すべき「総合的な探究の時間」の在り方について意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。

授業概要　Course Outline

＜内容＞
1　新学習指導要領の背景や理念、及び高等学校の教育課程全体について理解を深める。
2　「総合的な探究（学習）の時間」の意義・目標・特質について理解を深める。
3　「総合的な探究の時間」の体制づくり・全体計画・年間計画・単元構想・評価について理解を深める。
4　先進的な「総合的な探究の時間」の実践例について調査発表し、協議する。
5　総合的な探究の時間の単元の構想を発表し、協議する。
★以上の内容は、教職コアカリキュラムを踏まえ定めている。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【1.知識・理解】
・総合的な探究の時間の意義;・目標・特質について理解することができる。
【2.汎用的技能】
・カリキュラム・マネジメントの観点から、総合的な探究の時間の全体計画・単元計画等を立案し検討することができる。
【3. 態度・志向性】
・「総合的な探究の時間の指導法」の学びを調整しながら進め、振り返って成果と今後の課題を明らかにすることができる。
【4.統合的な学習経験と創造的思考力】
・先進的な総合的な探究の時間の実践例について探究し、自らの考えを構築することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

適宜、ICTを活用し、動画視聴、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。
また、Gooleクラスルームをはじめとするgoogle Workspaceアプリを活用する。
これらを通じて、自らの考えを構築し協議し、探究するという「主体的・対話的で深い学び」を展開する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせや質問には、主としてメールで対応する。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

・第１回～第14回まで毎回、Googleフォームにより、「KIIS学修ポートフォリオ」及び振り返りを提出する。また、第15回に、「学びの振り返りレポート」を構想し、第16回の定期考査で記述し提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　総合的な探究の時間編	文部科学省	東京書籍	978-4-7625-0536-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(高等学校編)	文部科学省		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

○授業課題への取組（42%）
○ポートフォリオ・授業の振り返り（28%）
○学びの振り返りレポート（30%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームを通じての学生からの問い合わせに対して、授業課題への取組、ポートフォリオ・授業の振り返り、学びの振り返りレポートの提出状況・内容等を踏まえて指導と助言をする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　授業の目標・計画・方法等について　自己目標（なりたい自分）の設定	
	事前学習 （内容・時間）	自分自身の体験した、「総合的な探究（学習）の時間」を想起し、メモする。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業への質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記載し、フォームで提出する。（2時間）
第2回	日本の学校教育の動向　　社会に開かれた教育課程	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第3回	教育課程の基準としての新学習指導要領（育成を目指す資質・能力の3本柱）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第4回	総合的な探究の時間の意義・目標・特質	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分の疑問や考えを記入しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第5回	総合的な探究の時間を柱とした教育課程編成の実際　（カリキュラム・マネジメント）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第6回	総合的な探究の時間の体制づくり	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分の疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第7回	総合的な探究の時間のデザイン　（全体計画・年間指導計画）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第8回	総合的な探究の時間の単元の構想　指導と評価	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第9回	先進的な総合的な探究の時間の実践例①に学ぶ（金沢大学附属高等学校）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第10回	先進的な総合的な探究の時間の実践例②③に学ぶ（山梨県立北杜高等学校・岡山県立真庭高等学校）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第11回	先進的な総合的な探究の時間の実践例④⑤に学ぶ（広島県立安芸南高等学校・大分県立日田三隈高等学校）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第12回	総合的な探究の時間の構想①（プレゼンテーションと協議）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第13回	総合的な探究の時間の構想②（プレゼンテーションと協議）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第14回	総合的な探究の時間の構想③（プレゼンテーションと協議）	
	事前学習 （内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第15回	総合的な探究の時間の指導法のまとめ	
	事前学習 （内容・時間）	学びの振り返りレポートを作成しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「KIIS学修ポートフォリオ＆ルーブリック」をまとめて提出する。（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験「学びの振り返りレポート」	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5030-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育課程論（特別活動を含む）（教職に関する科目）	共通	2年生・後期	2単位	教必	坂本　洸朔

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	原則として教師入門と教育心理学を履修していること。

授業概要　Course Outline

本講義では、「教職課程コアカリキュラム」（文部科学省）に準拠し、教育の「計画」である教育課程（カリキュラム）について、その歴史的変遷から現代的な課題、具体的な編成原理までを多角的に検討します。教育の目的を単なる知識の積み重ねではなく、その過程を通じて人が変容していくプロセスとして理解し、自らが教壇に立った際にどのような教育環境をデザインすべきかを、グループワークやPBLの実践を通じて具体的に構想することを目指します。なお、この授業は本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈悲慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・学校の教育課程とその内容を理解することができる。

・教育課程を、知識の蓄積だけでなく人が変容していく過程として理解できる。

・現代の教育課程編成の課題を捉え，自分なりの解釈を行い，解決策を模索する力を身につける。

・特別活動の教育課程上の位置づけを理解した上で，教育現場で知識を活用できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義形式であるが，必要に応じて授業内で個人・集団ワーク，発表の機会を設ける。
課題については，知識を問う内容に限らず，学生が主体的に課題を設定し探究する内容の課題に取り組んでもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業内容に関することであれば，メール（ksakamoto@kiis.ac.jp）にて受けつける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り，学修状況の把握や学生自身による自己評価，教員評価など，双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ワークで学ぶ教育課程論	田崎　博美 編 井藤　元 編	ナカニシヤ出版	978-4-7795-1267-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験60%，課題30%，授業への参加態度10%
各授業終了後，課題に加え，感想や質問等を記載するコミュニケーションカードの提出を求める。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方についてなど説明します。
Googleクラスルーム，もしくはメール（ksakamoto@kiis.ac.jp）にてお問い合わせください。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション	
	事前学習（内容・時間）	教育課程に関する自らの興味や疑問点を整理し、説明することができるようにする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第2回	教育課程とは何か	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第3回	教育課程編成の原理と歴史	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第4回	日本と諸外国の教育課程	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第5回	学習指導要領の変遷①～道徳の時間設定～	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第6回	学習指導要領の変遷②～生活科の新設，ゆとり教育～	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第7回	高等学校教育における教育課程の編成	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第8回	教育課程における法と行政①～教育目的・目標や授業時数，教材に関する法制度について～	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第9回	教育課程における法と行政②～教育課程の管理，運営について～	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第10回	カリキュラム評価の理論と実践	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第11回	教科横断的なカリキュラム編成～STEAM教育などの例に～	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第12回	近年の教育課程の諸課題と限界	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第13回	特別活動の目標―「望ましい集団活動」から「互いのよさや可能性」へ	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第14回	特別活動と他教科との関連および家庭・地域・関係機関との連携	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第15回	まとめ～主体性を育む教育課程とは～	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験 （まとめと振り返りを行う。）	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5090-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
教育方法学（ICT活用を含む）（教職に関する科目）	共通	3年生・前期	2単位	教必	益田　潤子 荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①学校教育に関心があること。 ②ICTを用いた授業計画を作成し、これを用いた授業を展開すること。 ③学習指導案の作成とプレゼンテーションの実施に、意欲的に参加すること。 ④模擬授業やプレゼンテーション終了後の、ディスカッションに積極的に参加すること。 ※禁止事項：私語。正当な理由のない遅刻、許可のない入退。

授業概要　Course Outline

本授業では、ディプロマポリシーおよび教職コアカリキュラムに基づき、教育方法に関する理論・実践を学ぶ。その過程において、今日、特に求められるICT理論・技術、プログラミング等を含めた授業方法を学び、学習指導案を作成する。それをもとに、各自が模擬授業やプレゼンテーションを行う。その後、各自の授業内容やICTの使用方法等が、適切であったかどうかについての意見交換を行う。各自指摘を受けた点を改善し、次年度の教育実習に向けて備える。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本科目の到達目標は、①教育方法の理論・実践を理解している。②適切に教育内容・教育方法（ICTを含む）を選定し、教科指導に用いることができる。③学習評価の基礎的な考え方を理解している。④話法・板書などの授業を行う上での基礎的な技術を身につけている。⑤プレゼンテーションで不十分であった点を、話合って改善することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

プレゼンテーション終了後に、ディスカッションを行う。
対話型の授業を行うので、意欲的な発言を期待する。
授業の終わりに、コメントカードの作成・提出を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡問合せは、kimandkayl@yahoo.co.jp、または。jtaka0623@gmail.comにて随時受け付ける。
オフィスアワーは、授業日の授業前後の時間になる。
また、クラスルームを開設するので、講義以外での連絡等はクラスルームで行う。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して授業の前までに益田までメールで提出。
学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）（フォームはクラスルームを通じて毎時間配布します。）（荒平）

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教育方法の理論と実践	小川哲生、菱山覚一郎	明星大学出版部	9784895491549
高等学校学習指導要領解説情報編	文部科学省	開隆堂出版	9784304021633

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、学習指導案と実技50%、平常点20%（ディスカッション、ポートフォリオ、模擬授業評価表、コメントカードの作成）
・成績評価の基準
①教育方法の理論や学習指導要領の役割を理解しているか。
②創意工夫を行って、分かりやすい学習指導案を作成しようとしているか。
③ディスカッションに、積極的に参加しようとしているか。
④ICTの使い方を理解し、授業で適切に使おうとしているか。
⑤コメントカードには、講義に関する質問・要望、自己の取り組みに関する反省等を記しているか。
⑥講義中に指定された個所まで、学習指導案を作成して益田のメールアドレスに送付しているか。添削に修正要求があった場合、必ず修正して提出しているか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

益田：メール（jtaka0623@gmail.com)にてお問合せください。
本講義では、模擬授業を含め複数回のプレゼンテーションを実施する。プレゼンテーションごとに教員によるフィードバックや他己採点による結果をフィードバックすることで、次のプレゼンテーションに役立ててもらう。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	導入の講義。授業の概要を説明した後、学習指導案作成の教材決め等を行う。（担当：荒平、益田）	
	事前学習（内容・時間）	高校時代の教科書等から、事前に学習指導案を作成するための単元（教材）を決めておくこと。授業で質問する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教材、授業目標等を、wordで100字程度にまとめ、メールで送ること。（2時間）
第2回	ICTと教育（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	自身がこれまでの受けてきた講義を振り返り、どのようなICT機器が使用されていたか，どのように講義で使用されていたかを考えておく．（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して，気づき・発見等についてワード等の電子ファイルにまとめる．（2時間）
第3回	ICT機器の教育への応用（Microsoft Office）（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	自身の講義にどのようなICT機器やICT技術が使えるのかについて考え、ノートにまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。（2時間）
第4回	ICT機器の教育への応用（プログラミング①）（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	自身がこれまでの受けてきたプログラミング系講義を振り返り、どのようなプログラミング言語を学んできたか、また情報科目で取り扱われているプログラミングの単元について調査しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。（2時間）
第5回	ICT機器の教育への応用（プログラミング②）（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	第4回の講義を振り返り、情報科目で自身が教えることができる内容について考えておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。（2時間）
第6回	ICT機器・技術を用いた模擬講義計画（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	第4回、5回の講義を振り返り、情報科目で自身が教えることができる内容について考えておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。（2時間）
第7回	ICT機器・技術を用いた模擬講義実践（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	第6回の講義を振り返り、講義ができるように教材の準備をしておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。他者の講義に対して評価票を作成する。（2時間）
第8回	ICT機器・技術を用いた模擬講義改善とフィードバック（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	他者の講義に対して評価票を作成する。自身の模擬講義の反省点をワードファイルにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第2回から第8回までの講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。模擬講義に関するフィードバックを反映させたレポートを作成する。（2時間）
第9回	授業とは何か、教材研究の方法と手順について学ぶ（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	自身がこれまで受けてきた授業や講義を振りかえり、授業とは何かについて考えておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で気付いたこと、わからなかったこと等をワードファイルにまとめる。（2時間）
第10回	学習指導要領等をもとに、指導法と単元の目的について学ぶ（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	学習指導要領をもとに、自身が選択した教材で、達成すべき単元目標とその手だてを調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で気付いたこと、わからなかったこと等をワードファイルにまとめる。（2時間）
第11回	学習指導要領等をもとに、単元の評価基準について学ぶ（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	単元の評価基準とは何かについて調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で気付いたこと、わからなかったこと等をワードファイルにまとめる。（2時間）
第12回	学習指導案作成①（担当：益田） 第9回～11回までの講義をもとに、学習指導案の「本時の展開計画」を構想する（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	学習指導案の「本時の展開計画」を構想してくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で気付いたこと、わからなかったこと等をワードファイルにまとめる。（2時間）
第13回	学習指導案作成② 学習指導案の完成（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	効果的な発問方法・板書計画・机間指導方法・評価方法等を考えてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で気付いたこと、わからなかったこと等をワードファイルにまとめる。（2時間）
第14回	プレゼンテーション① この授業では、数名のプレゼンテーションを行う。それぞれ、20分間のプレゼンの後に、10分間の質疑応答を行う。その後、改善点等を話し合う。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	学習指導案を作成させておく。完成させた学習指導案を、益田の連絡先アドレスに送る。送付されない場合は、評価に反映されない。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	プレゼン者の発表に対する評価表を作成する。（2時間）
第15回	プレゼンテーション② この授業では、数名のプレゼンテーションを行う。それぞれ、20分間のプレゼンの後に、10分間の質疑応答を行う。その後、改善点等を話し合う。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	学習指導案を作成させておく。完成させた学習指導案を、益田の連絡先アドレスに送る。送付されない場合は、評価に反映されない。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	プレゼンテーションに関するフィードバックを反映させたレポートを作成する。（2時間）
第16回（定期試験）	教育方法の理論、ICT、単元の評価基準、教材研究等の学習したすべての事柄が試験の対象となる。	

ナンバリング（Numbering）
2TTA-5120-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
生徒指導（進路指導を含む）（教職に関する科目）	共通	3年生・前期	2単位	教必	相良　誠司

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	21世紀の高度情報化社会にあって、次世代の高等学校教育において「至心をもって事にあたる人間づくりをなす」という確固たる意思をもち、高等学校情報科教諭として修得すべき「生徒指導（進路指導を含む）」の在り方について意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。

授業概要　Course Outline

＜内容＞
1　新学習指導要領の背景や理念、及び高等学校の教育課程全体について理解を深める。
2　生徒指導及び進路指導（キャリア教育）の意義・目標・特質について理解を深める。
3　「高等学校キャリア教育の手引き」参考に、進路指導（キャリア教育）の定義、カリキュラムマネジメント、ホームルーム活動等について理解を深める。
4　「生徒指導提要（改訂版）」を参考に、生徒指導の定義、方法、指導体制、関係機関等の連携等について理解を深める。
5　動画視聴・プレゼンテーション・グループワークを通じて、具体的な事例・事案について自らの考えを構築し、協議する。
★以上の内容は、教職コアカリキュラムを踏まえ定めている。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【1.知識・理解】
・生徒指導及び進路指導（キャリア教育）の意義;・目標・特質について理解することができる。
【2.汎用的技能】
・個別の課題を抱える児童生徒への対応（具体的な事例・事案）について探究し、自らの考えを構築することができる。
【3. 態度・志向性】
・「生徒指導（進路指導を含む）」の学びを調整しながら進め、振り返って成果と今後の課題を明らかにすることができる。
【4.統合的な学習経験と創造的思考力】

・生徒指導及び進路指導（キャリア教育）についての学習経験をもとに、学校現場での具体的な取組への展望をもつことができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

適宜、ICTを活用し、動画視聴、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。
また、GooleクラスルームをはじめとするGoogle Workspaceアプリを活用する。
これらを通じて、自らの考えを構築し協議し、探究するという「主体的・対話的で深い学び」を展開する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせや質問には、主としてメールで対応する。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・第１回～第14回まで毎回、Googleフォームにより、「KIIS学修ポートフォリオ」及び振り返りを提出する。また、第15回に、「学びの振り返りレポート」を構想し、第16回の定期考査で記述し提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
生徒指導提要（改訂版）	文部科学省	東洋館出版社	978-491-05175-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
中学校・高等学校キャリア教育の手引き	文部科学省	実業之日本社	978-4408416847

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

○授業課題への取組（42%）
○ポートフォリオ・授業の振り返り（28%）
○学びの振り返りレポート（30%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームを通じての学生からの問い合わせに対して、授業課題への取組、ポートフォリオ・授業の振り返り、学びの振り返りレポートの提出状況・内容等を踏まえて指導と助言をする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　授業の目標・計画・方法等について　自己目標（なりたい自分）の設定	
	事前学習（内容・時間）	自分自身の体験した、「生徒指導」「進路指導（キャリア教育）」を想起し、メモする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業への質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記載し、振り返りを提出する。（2時間）
第2回	進路指導（キャリア教育）の定義・意義・育成する能力	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第3回	進路指導（キャリア教育）のカリキュラム・マネジメント	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第4回	進路指導（キャリア教育）とホームルーム活動	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分の疑問や考えを記入しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第5回	生徒指導の定義、構造	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第6回	生徒指導の方法、基盤、取組上の留意点	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第7回	生徒指導と教育課程	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第8回	生徒指導体制、教育相談体制、チーム学校	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第9回	危機管理体制、関係機関等との連携、生徒指導に関する法制度	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第10回	いじめ・インターネットに関わる問題	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第11回	暴力行為・少年非行	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第12回	児童虐待・自殺	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第13回	不登校・中途退学	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第14回	性に関する課題　多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第15回	「生徒指導（進路指導を含む）」のまとめと振り返り	
	事前学習（内容・時間）	「KIIS学修ポートフォリオ＆ルーブリック」を作成しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学びの振り返りレポートを構想する。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験「学びの振り返りレポート」	

ナンバリング（Numbering）
2TTA-5070-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育相談（教職に関する科目）	共通	2年生・後期	2単位	教必	米光　真由美

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	教師入門、教育心理学を履修していること(履修規定第5条3項に基づく)。

授業概要　Course Outline

教育相談は、一人一人の生徒の教育上の問題について、本人またはその親などに、その望ましい在り方を助言することである。その方法としては、1対1の相談活動に限定することなく、すべての教師が生徒に接するあらゆる機会をとらえ、あらゆる教育実践の中に生かし、教育相談的な配慮をすることが大切である。この授業では、教育相談を実践していく上で基本的に必要な以下の項目について具体的に取り上げ、考察する。①学校で生じる様々な現象についてその背景を考慮する。②生徒や保護者等から話を聴くことができる。③関係職員と連携して問題の解決に向けて見通しを持てる。④継続的な努力を重ねられる。また、この授業では「教職課程コアカリキュラム」（文部科学省）に準拠し「意識と理論」「基礎的知識」「相談の進め方」など今日的な課題と学校現場の現状を折に触れて論じていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学の建学の精神である『至心』を基本として
1）学校における教育相談の意義と理論を理解している。
2）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解している。
3）教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業中に一部ディスカッションの時間を設けます。グループ討議の時間も設定しています。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などはメールにて受け付けます。授業終了後に質問時間を取ります。
yonemitsu.health@gmail.com

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の授業の終わりに「授業の振り返り」の提出をお願いします。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教室で生かす カウンセリング・マインド 教師の立場でできるカウンセリングとは	桑原知子	日本評論社	4-535-56146-x

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(60%)　授業の振り返り(10%)　授業中のレポート(10%)　授業で学んだことを発表する(20%)

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　授業全体の概要説明及び学校教育相談の概要の解説	
	事前学習 （内容・時間）	事前に本授業のシラバスを読む。疑問点を確認しておく。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第2回	学校教育相談の意義と課題	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第3回	思春期・青年期の発達における特徴	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第4回	思春期・青年期の不適応と問題行動の特徴	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第5回	教育相談の方法　　カウンセリングマインドとは	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第6回	教育相談の進め方　カウンセリングの姿勢と技法	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第7回	発達障がいのある児童生徒への対応　（1）	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第8回	発達障がいのある児童生徒への対応　（2）	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第9回	教育相談における、いじめの問題に対する原因と対応	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第10回	教育相談における、不登校の問題に対する原因と対応	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第11回	教育相談における、虐待の問題に対する原因と対応	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第12回	教育相談における、非行の問題に対する原因と対応	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第13回	教師支援の必要性	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第14回	教育相談と連携	
	事前学習 （内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第15回	まとめ・授業で学んだことを発表する	
	事前学習 （内容・時間）	授業で学んだことをまとめ、発表原稿を作る。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	他学生の発表を振り返り整理する。(2時間)
第16回 （定期試験）	定期試験(筆記試験)	

ナンバリング（Numbering）
2TTA-5110-42ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教職実践演習（高）（教職に関する科目）	共通	4年生・後期	2単位	教必	鈴木和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	将来教職を目指す者に向けた授業であるので、教える＝学ぶという主客往還運動を自らの裡に作用させ主体的に取り組む姿勢と態度そして能力が求められる。現場での実践事例をとおして、教育実習で培った経験を活かして、教育職員としての適切な判断と行動身に付けようという姿勢で取り組むこと。

授業概要　Course Outline

2006年7月の中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」によれば、教職実践演習は、教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、本学が目指す教員養成のあり方（至心や紫恩の心を身に付け豊かな人間性を兼ね備えた教員を育成する）や到達目標等に照らして最終的に確認をするものである。学生はこの科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。このように、この科目は、教職課程における全体を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。なお、本授業は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーのⅠおよびⅥを満たす科目ともなる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・教職に必要な実践的総合的な資質・能力とは何かを理解し、それを自ら培おうとする態度を身につける。
・教職に求められているメディアリテラシーについて理解をするとともに、情報通信機器を有効に活用できるスキルの習得を図る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教職に関する課題について、
・調べ学習・グループ討議・発表 が中心の演習を行う。
・卒業後教職に就いている先輩（現場の教員）からの聞き取りや交流を通して、教育の課題や理想について深く考える機会を設ける。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

4年間の教職課程で学んだことを確認し、卒業後のキャリア形成に繋げていきます。
学習の確認の確認については、kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度やその定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教職実践演習　ワークブック 教職編	石野正彦 ほか 著	発行：上越教育大学出版会 発売：株式会社 桐朋（1300円税別）	978-4-909561-02-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教職実践演習 ワークブック	西岡加名恵・石川英真 川地亜弥子・北原琢也 編著	ミネルヴァ書房（2,000円税別）	978-4-623-06651-3

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

グループワーク・討論への取り組みと小レポート（40%）、および、定期試験（60%）に基づき判断し、評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス：教職実践演習の目指すもの・進め方	
	事前学習（内容・時間）	これまで教職課程で学んできたことを振り返っておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	これまで教職課程で学んできたことを「振り返ってシート」にまとめる。（2.0）
第2回	教育実習で学んだこと(1) （グループ討論を通して、実習での学びを総括する）	
	事前学習（内容・時間）	教育実習で学んできたことを振り返っておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	意見交換した内容を振り返りまとめる。（2.0）
第3回	教育実習で学んだこと(2) （教育実習報告会の準備・予行演習）	
	事前学習（内容・時間）	PowerPoint原稿の素案を作成する。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	PowerPoint原稿を完成させる。（2.0）
第4回	教育実習で学んだこと(3) （発表・教育実習報告会発表）	
	事前学習（内容・時間）	PowerPointでの発表の練習をする。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	報告会での協議を踏まえて、教育実習の学びをまとめる。（2.0）
第5回	教師の教育実践とはなにか(1)：授業づくり・学級づくりの重要性（生徒理解と教材研究・集団づくり）	
	事前学習（内容・時間）	テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。（2.0）
第6回	教師の教育実践とはなにか(2)：教師集団の相互理解と学校づくり	
	事前学習（内容・時間）	テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。（2.0）
第7回	教師の教育実践とはなにか(3)：保護者・地域との連携と授業づくり・学級づくり・学校づくり	
	事前学習（内容・時間）	テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。（2.0）
第8回	教師の教育実践とはなにか(4)：教師集団の相互理解と学校づくり　※現場教員（卒業生）との交流	
	事前学習（内容・時間）	テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。（2.0）
第9回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(1)：コロナショックは学校に何をもたらしたか	
	事前学習（内容・時間）	コロナ禍の学校について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる事実を整理する。（2.0）
第10回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(2)：ポスト･コロナ（ウィズ・コロナ）の学校の姿はどうあるべきか	
	事前学習（内容・時間）	コロナ禍後の学校・教育のあるべき姿について、自分なりにデザインしてみる。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる将来像を描写してみる。（2.0）
第11回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(3)：「いじめ」問題(1)（事例・事件に学ぶ）	
	事前学習（内容・時間）	「いじめ」問題について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる事実を整理する。（2,0）
第12回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(4)：「いじめ」問題(2) （問題の所在について討議する）	
	事前学習（内容・時間）	「いじめ」問題について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	「いじめ」問題について、その問題の在処を整理する。（2.0）
第13回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(5)：「いじめ」問題(3)（対応策について考え討議する）	
	事前学習（内容・時間）	「いじめ」問題の対応策や解決策について、自分なりに考え整理しておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる対応策・解決策を描写してみる。（2.0）
第14回	教師の教育実践とはなにか：教師・学校への社会の期待と教育実践の創造	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業内容で学んだことをもとに教師・学校の社会的役割について考えておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、教師･学校への社会的期待を具体的に描写してみる。（2.0）
第15回	まとめ：いま、教員に求められる資質能力とは何か	
	事前学習（内容・時間）	これまで教職課程で学んだことをもとに、これからの教師・学校に求められていることを考えておく。（2.0）
	事後学習（内容・時間）	これまでのすべての“学び”を振り返り、自らが社会的に果たすべき使命について具体的にデザインする。（2.0）
第16回（定期試験）	期末レポートの提出、筆記試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
2TTA-5040-43ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育実習（事前事後指導）（教職に関する科目）	共通	4年生・通年	3単位	教必	鈴木和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	教職科目と教科専門科目を規定単位数修得しておくこと。また、情報科教育法をはじめその他の教職科目で学んだことを再度復習しておくこと。

授業概要　Course Outline

文部科学省のコアカリキュラムによれば、教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。
なお、事前指導では教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解する。これらを通して教育実習の意義を理解する。
本講義は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーのⅠおよびⅥを満たす科目である。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。
②指導教員等の実施する授業を視点を持って観察し、事実に即して記録することができる。
③教育実習校の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解している。
④学級担任や教科担任等の補助的な役割を担うことができる
⑤学習指導要領及び児童又は生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、授業を実践することができる。
⑥学習指導に必要な基礎的技術（話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など）を実地に即して身に付けるとともに、適切な場面で情報機器を活用することができる。
⑦学級担任の役割と職務内容を実地に即して理解している。
⑧教科指導以外の様々な活動の場面で適切に児童又は生徒と関わることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教育実習---これこそがアクティヴラーニングそのものである。
事前：「授業をつくる」という取り組み（教材研究・指導案づくり）を経て、模擬授業を実際に行う。
事後：教育実習で学んだことを発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

教育実習を終え、必要単位を充足によって、教員免許（高・情報）の申請となる。
教育実習は、実習校にとっても受講生（実習生）にとっても意義あるものにするために、事前準備と事後総括の取り組みは極めて重要である。このことを自覚して、教育実習全体をとおして主体的に取り組んでほしい。学習の確認の確認については、kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『MINERUVA はじめて学ぶ教職 教育実習 』	三田部 勇・吉田武男 編著	ミネルヴァ書房	978-4-623-09285-7

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
教育実習完全ガイド	山崎英則編著	ミネルヴァ書房	978-4-623-03913-5
ベストをつくす教育実習	筒井美紀・遠藤野ゆり編	有斐閣	978-4-641-17432-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

教育実習校の評価（60%）、
〔事前指導〕模擬授業への取り組み（5%）
〔事後指導〕教育実習報告会の取り組み（5%）
定期試験による評価（30%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス～教育実習とは何か	
	事前学習（内容・時間）	これまでに履修した教職科目の授業内容について振り返っておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	自らの教員志望の動機を文章で記述する。[1.25h]
第2回	教育実習の意義と目的	
	事前学習（内容・時間）	実習に行くにに当たっての自らの抱負を文章で記述する。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	教員志望の動機と教育実習の抱負をまとめなおす。[1.25h]
第3回	高校にとっての教育実習と実習生	
	事前学習（内容・時間）	高校時代の被教育経験を振り返っておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	実習先高校の概要や教育理念等について調べ、プリントに書き込む。[1.25h]
第4回	人権教育の視点～ひとり一人を大切にした授業	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学校等で経験した「人権に関する学習」の内容について振り返っておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	「ひとり一人を大切にした授業」について小論文（1000字程度）を作成する。[1.25h]
第5回	教育実習の準備と心得（1）	
	事前学習（内容・時間）	事前配布の授業プリントの指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	授業プリントの本時で扱った箇所を再読してミニ課題に答える。[1.25h]
第6回	教育実習の準備と心得（2）	
	事前学習（内容・時間）	事前配布の授業プリントの指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	授業プリントの本時で扱った箇所を再読してミニ課題に答える。[1.25h]
第7回	教材研究と授業構想（1）	
	事前学習（内容・時間）	高校情報の教科書を概観し、模擬授業で取り上げる単元の目星をつける。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	高校情報の教科書の該当単元を熟読する。[1.25h]
第8回	教材研究と授業構想（2）	
	事前学習（内容・時間）	該当単元の授業計画を作成する。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	該当単元の授業計画を再考しリメイクする。[1.25h]
第9回	授業をつくる（1）～模擬授業に向けて	
	事前学習（内容・時間）	高校情報の教科書の該当単元を熟読し、単元の目標を作成しておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	高校情報の教科書の該当単元を熟読し、単元目標の内容を再考しリメイクする。[1.25h]
第10回	授業をつくる（2）～学習指導（案）とは何か	
	事前学習（内容・時間）	該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業のめあてを作成しておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業のめあてを再考しリメイクする。[1.25h]
第11回	授業をつくる（3）～学習指導案作成の仕方	
	事前学習（内容・時間）	該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業の展開イメージを作る。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業で必要な教材等の構想を練る。[1.25h]
第12回	授業をつくる（4）～学習指導案の作成・教材づくり ①	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の展開を「授業構想メモ」を用いて構想を練る。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の展開について再考し、構想をより具体化する。[1.25h]
第13回	授業をつくる（5）～学習指導案の作成・教材づくり ②	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の展開を「授業構想メモ」を用いてより具体的に再度練り直す。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の教材等を具体的にデザイン（設計）する。[1.25h]
第14回	授業をつくる（6）～模擬授業（予行練習）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の「授業構想」を完成させ、必要な教材等を作成する準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の「授業構想」と必要な教材等を完成させる。[1.25h]
第15回	授業をつくる（7）～模擬授業①	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の反省をし、成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
第16回	授業をつくる（8）～模擬授業②	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の内容を振り返る。[1.25h]
第17回	授業をつくる（9）～模擬授業の総括	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	他の模擬授業から学んだことも含めて、模擬授業の総括レポートにまとめる。[1.25h]

第18回	教育実習簿の書き方（1）	
	事前学習 （内容・時間）	配布された「教育実習簿」を内容を把握しておく。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	「教育実習簿」の指定箇所を清書する。[1.25h]
第19回	教育実習簿の書き方（2）	
	事前学習 （内容・時間）	「教育実習簿」の「実習の心得」など指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	「実習の心得」など指定された箇所を再度熟読し、指定された箇所を清書する。[1.25h]
第20回	教育実習簿の書き方（3）	
	事前学習 （内容・時間）	「教育実習簿」の「実習の心得」など指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	「実習の心得」など指定された箇所を再度熟読し、指定された箇所を清書する。[1.25h]
第21回	教育実習に向けて（心構え）	
	事前学習 （内容・時間）	教育実習の向けての抱負を確認し、自己紹介の内容を準備をする。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	教育実習の向けての抱負を再確認し、自己紹介の予行練習を行う。[1.25h]
第22回	**教育実習（1）**	
	事前学習 （内容・時間）	実習校の指示に従った事前学習を行う。[1.25h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
	事後学習 （内容・時間）	実習校の指示に従った事後学習を行う。[1.25h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
第23回	**教育実習（2）**	
	事前学習 （内容・時間）	実習校の指示に従った事前学習を行う。[2h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
	事後学習 （内容・時間）	実習校の指示に従った事後学習を行う。[2h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
第24回	教育実習簿の提出	
	事前学習 （内容・時間）	「教育実習簿」を整理し、内容や誤字脱字・表現上の誤記がないか点検する。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	教育実習の内容を振り返る。[1.25h]
第25回	教育実習を振り返る	
	事前学習 （内容・時間）	教育実習のまとめの発表コンテンツの構想を練る。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	他の実習先の報告も考慮して、自ら教育実習のまとめを整理する。[1.25h]
第26回	教育実習の総括（1）	
	事前学習 （内容・時間）	教育実習の報告発表のコンテンツ構想を具体化するための材料の準備をする。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	教育実習の報告会の発表コンテンツの構想をまとめる。[1.25h]
第27回	教育実習の総括（2）	
	事前学習 （内容・時間）	発表原稿の下書きを作成する。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	発表原稿を完成させ、報告発表の準備をする。[1.25h]
第28回	教育実習で学んだこと（1） 報告発表	
	事前学習 （内容・時間）	報告発表のリハーサルをする。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	報告発表の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
第29回	教育実習で学んだこと（2）発表	
	事前学習 （内容・時間）	報告発表のリハーサルをする。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	報告発表の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	教育実習で得たものをレポートにまとめる準備をする。[1.25h]
	事後学習 （内容・時間）	レポートを完成させ、提出する。[1.25h]
第31回 （定期試験）	教育実習簿（レポート）の提出、筆記試験の実施	

ゼミ・演習

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6720-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プレゼミⅠ	226	1年生・前期	2単位	選択	秋吉・鈴木

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	
	1年生から将来に向けた研究や就職・起業などを意識ししながら、社会進出に向けて、いち早く目標に向けた準備を行うゼミである。ゼミ活動を理解して、自主的に行動できる学生でないと履修しても自分自身成長はできないので、とくにチャレンジ精神の強い学生を求めます。 例えば4年次までに ①大手一部上場企業など有名企業への内定獲得を目指すひと。 ②海外企業などのグローバル企業で働きたいひと。 ③地方上級、国家公務員Ⅱ種その他公務員受験を目指すひと。 など

授業概要　Course Outline

一年間以下の内容を主に実施します。（計画）
スタートアップ・インターンシップ活動を中心に行う。
企業（産業）研究、キャリア形成、企業の経営戦略や組織論、マーケティング、ビジネスマナー等に関する本学の講義をふまえて、プレゼミと提携しているモデル中堅・中小企業、または官公庁へプレゼミ生のみで訪問し、インタビュー調査、見学型インターンシップ、企業の魅力をまとめたレポート作成・発表を行います。企業の魅力や働く現場を自分の眼で観ることで、将来の選択肢を拡げることにつなげます。
そして、福岡を中心とした地域で活躍する企業や団体における「働きがい」、「働く場としての魅力」、また官公庁について、学生のみなさんがインタビューやインターンシップを通じて感じた魅力をまとめ、ゼミ内外で発表します。
さらに大宰府の諸史跡を訪問して、日本文化、日本の歴史にも触れていきたい。
※なお、それに加え、ディプロマポリシー＆カリキュラムポリシーの方針に基づいて、ゼミは進行していく。特にカリキュラムポリシーの条件を念頭にゼミを進めていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

①自分を知り自分の価値（ブランド）を高めるスキルをつける
②積極性、プレゼンテーション力、コミュニケーション力をつける
③社会人力養成のスタートアップを行って、基礎ゼミ・専門ゼミにつなげる。
④就職活動に向けた基本的なビジネス上のルール、マナーを身につける　など
そして、3年生・4年生の本格的なインターンシップならびに就職活動へスムーズにつなげていくための力をつけることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

プレゼミⅠはプレップ・インターンシップ活動を中心に行います。プレップ・インターンシップとはフィールドワーク（アクティブラーニング）の手法を用いて福岡＆大宰府「地域」に根差した、産業分野、文化遺産などに焦点を当て、プレゼミ生のもつ興味と自主性、主体的な活動の醸成を目的とします。様々な現場に出向き、事前に学習した内容を基礎に新たな知見や認識を「成果」として得ることや、主体的な活動でしか味わえない「課題」を体験します。（自己分析カードゲーム、大宰府検定、観光アプリなどを活用）

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

自分自身のコミュニケーション力、人間力、社会人基礎力をつけたい人は選択をおすすめします。
問い合わせ連絡先：秋吉（主）；akiyoshi@g.kiis.ac.jp 鈴木（副）：:kasuzuki@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

実践力、出席、フィールドワーク、インターンシップの評価などで総合的に判断します。
毎回課題があります。
（事前学習）企業研究、プレゼンテーション準備などをする。
（事後学習）レポート作成など復習など、準備も忘れないように。
特に★のついている回は学外に出るため、その準備を欠かさないこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学内での講義の場合、毎回資料を教員側から配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「絶対内定2023-2025 インターンシップ」	熊谷智宏（著）	ダイヤモンド社	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

実践力、出席、フィールドワーク、インターンシップの評価などで総合的に判断します。
特に★印の回は学外での研修に行くので、休んだ場合は評価が下がります。（4回実施予定）
※主にプレゼミの課題、アクティブラーニング等（60%）、試験や出席、ゼミへの総合的な取り組み等（40%）として判定します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

課題の提出がありますが、それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス＆オリエンテーション（大学での生活の話議論）	
	事前学習（内容・時間）	大学のガイダンス関係の書類を読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	時間割など、再度確認すること（2h）
第2回	大学の講義や実習について（自己紹介）	
	事前学習（内容・時間）	自己紹介パワーポイントなどの作成をすること（2h）
	事後学習（内容・時間）	訂正点を書き直して、再度発表できる用意をしておくこと（2h）
第3回	太宰府を知ろう（準備：1）：太宰府市の地図や史跡を調べる）	
	事前学習（内容・時間）	おもにgoogleなどを利用して太宰府市の史跡を調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義で説明した史跡を再度確認すること（2h）
第4回	太宰府を知ろう（準備：2）：太宰府検定に挑戦！（3級）	
	事前学習（内容・時間）	与えられた場所の問題を解いておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	解答を再確認すること（2h）
第5回	太宰府を知ろう（準備：3）：太宰府検定に挑戦！（3級）	
	事前学習（内容・時間）	与えられた場所の問題を解いておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	解答を再確認すること（2h）
第6回	太宰府を知ろう（準備：4）：太宰府検定に挑戦！＆訪問ルート選定	
	事前学習（内容・時間）	与えられた場所の問題を解いておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	解答を再確認すること（2h）
第7回	太宰府を知ろう：九州国立博物館訪問★	
	事前学習（内容・時間）	九州国立博物館の常設展示物を予習しておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	観覧したレポートをフォームに記入すること（2h）
第8回	自分自身を知ろう（セルフカウンセリング）	
	事前学習（内容・時間）	自分自身についてあらかじめ分析をすること（2h）
	事後学習（内容・時間）	分析結果をまとめておくこと
第9回	企業研究（日本にはどのような企業や業界があるのか）	
	事前学習（内容・時間）	日本の企業やサービス文化などについて調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	企業研究した企業を再整理すること（2h）
第10回	太宰府市内の起業家訪問★	
	事前学習（内容・時間）	企業訪問時の質問を作っておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	訪問レポートをフォームに書き込むこと（2h）
第11回	業界研究Ⅰ（自分の興味ある業界を調べる）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界について調べておくこと
	事後学習（内容・時間）	興味のある業界について分析結果をまとめておくこと
第12回	業界研究Ⅱ（自分の興味ある業界を調べる）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界について調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	興味のある業界について分析結果をまとめておくこと（2h）
第13回	地域を知ろう（国分寺地区訪問）★	
	事前学習（内容・時間）	国分寺地区について調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	訪問成果をフォームに記入すること（2h）
第14回	インターンシップに行こう（マイナビインターンシップ訪問）★	
	事前学習（内容・時間）	訪問予定の企業、業界を調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	訪問した企業ブースについて整理しておくこと（2h）
第15回	プレゼミを振り返って	
	事前学習（内容・時間）	半年間の自分の成長を整理しておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後、客観的に成長についてフォームに記載しておくこと（2h）
第16回（定期試験）	1回から15回までのプレゼミの実施に照らし合わせて、試験を行う。 試験は対面方式で、筆記試験の予定。	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6720-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プレゼミI	226	1年生・前期	2単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	研究活動に興味があること.

授業概要　Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，具体的に「研究活動」とはどういうことを行っているのか，ということを実際にゼミの学生が研究しているところを見学し，一緒に体験することで，将来のゼミ活動への導入をスムーズにすることと，先輩の話を聞くことで，九州情報大学での生活に早いうちに慣れてもらうことを目的とする.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

【知識】ゼミ活動について説明することができる.
【態度】教員や他の学生と円滑にコミュニケーションをとることができる.
【技能】実験などの活動を自発的に行うことができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する. また，演習を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室（653）にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
各研究内容について必要な文献などを適宜準備する.			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
誰も教えてくれなかった実験ノートの書き方（研究を成功させるための秘訣）	野島 高彦	化学同人	978-4759819335

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

実験ノート（70%），実習後のレポート（30%）で評価する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

実験ノートの確認の際，フィードバックを実施する. 改善点だけでなく，優れている点については積極的に助言し，研究に対するモチベーションが高くなるように教員と履修生が一体となって取り組む体制をとる.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第2回	情報（文献）の検索方法	
	事前学習（内容・時間）	自分の興味のあるテーマについてインターネットで検索をする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第3回	研究内容紹介（生体工学）	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（生体工学）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第4回	体験実習（生体工学）①	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（生体工学）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第5回	体験実習（生体工学）②	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（生体工学）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第6回	研究内容紹介（データ分析）	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（データ分析）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第7回	体験実習（データ分析）①	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（データ分析）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第8回	体験実習（データ分析）②	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（データ分析）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第9回	研究内容紹介（ゲーム開発）	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ゲーム開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第10回	体験実習（ゲーム開発）①	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ゲーム開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第11回	体験実習（ゲーム開発）②	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ゲーム開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第12回	研究内容紹介（アプリ開発）	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（アプリ開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第13回	体験実習（アプリ開発）①	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（アプリ開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第14回	体験実習（ゲーム開発）②	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（アプリ開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第１４回までを復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第16回（定期試験）	実験ノートを提出してもらう．	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6720-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミⅠ（中島）	226	1年生・前期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	脳科学や人工知能に興味があること。

授業概要　Course Outline

脳科学や人工知能は現代社会においていろいろな場所で活用されています。
本講義ではディプロマポリシーに基づき、脳科学や人工知能が社会でどのように使用されているのかの紹介や実際に体験することにより知識を深めていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

身近なものに対して疑問を持ち、自分自身で調べる能力を身につける

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関して自分で調べたり、応用について考える。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学生によるプレゼンとそのフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
脳・心・人工知能　数理で脳を解き明かす	甘利　俊一	講談社	978-4-06-257968-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

提出物(50%)と取り組み(50%)で評価を行います。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

Google Classroomへの成果物の提出により各学生の取り組み度合を教員が把握し、ゼミ内の時間で各学生に応じてフィードバック（具体的な取り組み方法など）を実施する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読み、脳や人工知能について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第2回	基礎：脳科学について①	
	事前学習（内容・時間）	脳の部位について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第3回	基礎：脳科学について②	
	事前学習（内容・時間）	神経細胞について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第4回	基礎：脳科学について③	
	事前学習（内容・時間）	シナプスについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第5回	基礎：脳科学について④	
	事前学習（内容・時間）	STDPについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第6回	基礎：脳科学について⑤	
	事前学習（内容・時間）	海馬について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第7回	基礎：人工知能について①	
	事前学習（内容・時間）	パーセプトロンについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第8回	基礎：人工知能について②	
	事前学習（内容・時間）	ホップフィールドネットワークについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第9回	基礎：人工知能について③	
	事前学習（内容・時間）	ディープニューラルネットワークについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第10回	基礎：人工知能について④	
	事前学習（内容・時間）	バックプロパゲーションについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第11回	基礎：人工知能について⑤	
	事前学習（内容・時間）	トランスフォーマーについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第12回	基礎：脳科学と人工知能の共通点①	
	事前学習（内容・時間）	脳と人工知能の違いについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第13回	基礎：脳科学と人工知能の共通点②	
	事前学習（内容・時間）	脳と人工知能の学習方法の違いについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第14回	基礎：脳科学と人工知能の共通点③	
	事前学習（内容・時間）	BMIについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	前期にやったことを振り返る(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第16回（定期試験）	成果物を提出	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6720-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミⅠ（競技プログラミング入門）	226	1年生・前期	2単位	選択	合田 和正 宮崎　武

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	これまでに学習した情報・プログラミング関連の内容についてまとめておく。本学図書館の教職指定コーナーに配置されている高等学校情報科「情報の科学」「情報Ⅰ」の教科書のプログラミング関連項目を読んでおく。（このまとめは提出物として回収予定） ITパスポート試験の合格を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能の習得と並行して、競技プログラミングに対する理解を深め、参加の準備をすることを目標とする。
具体的には、座学と実習での学習を通して、競技プログラミングの概要や参加方法、入門レベル問題の解法を修得する。また競技プログラミングにおけるプログラミング言語の選択について、プログラミング言語Pythonとの比較により体感する。
※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。
※AtCoderの運用や授業の進捗によっては、順序や内容の一部を変更することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

競技プログラミングに関する知識・技能について理解を深める。競技プログラミングの参加に必要な環境を設定したり、プログラミング能力、アルゴリズム知識の向上を図ったりして、参加の準備をする。前期のプレゼミⅠではレーティング無し参加を1回以上してみる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
アルゴリズム的思考力が身につく! プログラミングコンテストAtCoder入門	大槻 兼資	KADOKAWA	978-4046044082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・期末レポート・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	競技プログラミングAtCoderについて調査してまとめる。自分なりのイメージを持つ。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	プログラミングと競技プログラミング入門	
	事前学習（内容・時間）	プログラミングと競技プログラミングの違いについて調べておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	競技プログラミングと独習(1) AtCoder	
	事前学習（内容・時間）	一般的な独習について調べる。プログラミングの独習についてイメージを持つ。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	競技プログラミングと独習(2) AOJ(Aizu Online Judge)	
	事前学習（内容・時間）	AOJの概要と歴史、現状について調べてまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	競技プログラミング入門(2) AtCoder ABC(AtCoder Beginner Contest)	
	事前学習（内容・時間）	AtCoderにおけるコンテストの種類とそれらの特徴について調べて、まとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	競技プログラミングと言語選択、入門者向け	
	事前学習（内容・時間）	AtCoderで使用可能なプログラミング言語について調べる。自分が知っている言語があるかどうか確認する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	競技プログラミングと言語選択、就活向け、上級者向け、流行・情勢	
	事前学習（内容・時間）	人気、有名なプログラミング言語について、様々な観点による順位について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	競技プログラミングと独習(3) Paiza ラーニング	
	事前学習（内容・時間）	プログラミングのオンライン学習サービス、Paizaラーニングについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	競技プログラミングと開発環境(1) Visual Studio Code	
	事前学習（内容・時間）	エディタ・統合開発環境としての Visual Studio Codeについて調べておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	競技プログラミングと開発環境(2) Google Colaboratory	
	事前学習（内容・時間）	Jupyter Notebook, Google Colaboratoryについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	競技プログラミングと開発環境(3) WSL (Windows Subsystem for Linux)	
	事前学習（内容・時間）	WSL, Ubuntuについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	競技プログラミングと開発環境(4) 仮想環境(VirtualBox, Dockerほか)	
	事前学習（内容・時間）	仮想環境 VirtualBox, Dockerについて調べる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	AtCoderのA問題と頻出テーマ(1) 簡単な文法の確実な活用	
	事前学習（内容・時間）	競技プログラミングの入門レベルの問題について過去問題を調べておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	AtCoderのA問題と頻出テーマ(2) よく使うデータ型と判断・反復	
	事前学習（内容・時間）	競技プログラミングの入門レベルの問題について、過去問題の解説を読んでおく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	本科目全体のまとめに向けて第14回までの振り返りを見直してまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	本科目全体の内容をまとめておく。振り返りを書く。期末レポートの準備をする。[2.0h]
第16回（定期試験）	期末レポート	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6720-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プレゼミI（基礎コンピュータと組込みシステム入門-1）	226	1年生・前期	2単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	コンピュータOSであるWindowsやLinuxに興味があること.

授業概要　Course Outline

本プレゼミは,ディプロマ・ポリシーに基づき,Windows および Linux に代表されるコンピュータ OS の基礎を学ぶことを目的とする.
本プレゼミにおいて実施されている PC を用いた具体的な事例を見学し,さらにその一部を体験することにより,将来のゼミ活動および研究活動への円滑な導入を図る.
なお,前期には報告に関する発表を実施する.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

研究活動のイメージを持つことができる
　WindowsやLinuxを使った研究活動が,どのような流れで行われているのかを理解できる.

PCを使った基礎的な研究作業を体験できる
　ゼミで行われているPCを用いた研究の一部を体験し,基本的な操作や取り組み方を身につける.

発表を通して自分の考えを伝えられるようになる
　発表を行い,自分の取り組み内容を分かりやすく説明できるようになる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

普通の授業と異なり,毎回,各学生に2～3分間の連絡事項を話してもらい（資料なしでも可）,自分のPCを持参してください.授業時間外では,少なくとも月に1回,事前に予約をして1対1のディスカッションを行うことをお勧めする.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので, 毎回PCを持参することが望ましい.
毎の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
これ1冊でできる！Arduinoではじめる電子工作 超入門 改訂第6版	福田和宏	ソーテック社	978-4800713308

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

研究イベントの参加へとポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況（20%）,提出物（40%）,発表（40%）.

学習成果に対するフィードバック（指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,ポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに，本ゼミのシラバスを読んでおくこと.自分のPCにOffice等の基本ツールをインストールすること.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き，KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて，本時の学修内容を記載する.(2時間)
第2回	大学生活とPCの関係	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに，指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第3回	コンピュータの仕組み	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第4回	OSの基本操作	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第5回	組み込みシステムとはなにか	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第6回	ハードウェア(HW)基礎	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第7回	ソフトウェア(SW)基礎	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第8回	研究活動とはなにか	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第9回	体験：PC環境の準備	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第10回	体験：人工知能(AI)アプリ	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第11回	研究報告の作り方	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第12回	演習：研究報告の作成	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第13回	演習：研究報告の改良	
	事前学習（内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第14回	発表	
	事前学習（内容・時間）	自分の作った研究報告を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	ゼミで自分と他の方の発表した内容を復習し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第14回までを復習しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	復習を行い,研究報告を提出する.あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.(2時間)
第16回（定期試験）	成果物を提出	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6730-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プレゼミⅡ	226	1年生・後期	2単位	選択	秋吉・鈴木

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	
	1年生から将来に向けた研究や就職・起業などを意識ししながら、社会進出に向けて、いち早く目標に向けた準備を行うゼミである。ゼミ活動を理解して、自主的に行動できる学生でないと履修しても自分自身成長はできないので、とくにチャレンジ精神の強い学生を求めます。 例えば4年次までに ①大手一部上場企業など有名企業への内定獲得を目指すひと。 ②海外企業などのグローバル企業で働きたいひと。 ③地方上級、国家公務員Ⅱ種その他公務員受験を目指すひと。 など

授業概要　Course Outline

プレゼミⅠ・Ⅱを通じて一年間以下の内容を主に実施します。（計画）
スタートアップ・インターンシップ活動を中心に行う。
企業（産業）研究、キャリア形成、企業の経営戦略や組織論、マーケティング、ビジネスマナー等に関する本学の講義をふまえて、プレゼミと提携しているモデル中堅・中小企業、または官公庁へプレゼミ生のみで訪問し、インタビュー調査、見学型インターンシップ、企業の魅力をまとめたレポート作成・発表を行います。企業の魅力や働く現場を自分の眼で観ることで、将来の選択肢を拡げることにつなげます。
そして、福岡を中心とした地域で活躍する企業や団体における「働きがい」、「働く場としての魅力」、また官公庁について、学生のみなさんがインタビューやインターンシップを通じて感じた魅力をまとめ、ゼミ内外で発表します。
さらに大宰府の諸史跡を訪問して、日本文化、日本の習慣、日本の歴史にも触れていきたい。
※なお、それに加え、ディプロマポリシー＆カリキュラムポリシーの方針に基づいて、ゼミは進行していく。特にカリキュラムポリシーの条件を念頭にゼミを進めていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

①自分を知り自分の価値（ブランド）を高めるスキルをつける
②積極性、プレゼンテーション力、コミュニケーション力をつける
③社会人力養成のスタートアップを行って、基礎ゼミ・専門ゼミにつなげる。
④就職活動に向けた基本的なビジネス上のルール、マナーを身につける　など
そして、3年生・4年生の本格的なインターンシップならびに就職活動へスムーズにつなげていくための力をつけることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

プレゼミⅡもプレップ・インターンシップ活動を中心に行います。プレップ・インターンシップとはフィールドワーク（アクティブラーニング）の手法を用いて福岡＆大宰府「地域」に根差した、産業分野、文化遺産などに焦点を当て、プレゼミ生のもつ興味と自主性、主体的な活動の醸成を目的とします。様々な現場に出向き、事前に学習した内容を基礎に新たな知見や認識を「成果」として得ることや、主体的な活動でしか味わえない「課題」を体験します。（自己分析カードゲーム、大宰府検定、観光アプリなどを活用）

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

自分自身のコミュニケーション力、人間力、社会人基礎力をつけたい人は選択をおすすめします。
問い合わせ連絡先：秋吉（主）；akiyoshi@g.kiis.ac.jp 鈴木（副）：:kasuzuki@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

実践力、出席、フィールドワーク、インターンシップの評価などで総合的に判断します。
毎回課題があります。
（事前学習）企業研究、プレゼンテーション準備などをする。
（事後学習）レポート作成など復習など、準備も忘れないように。
特に★のついている回は学外に出るため、その準備を欠かさないこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学内での講義の場合、毎回資料を教員側から配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「絶対内定2023-2025 インターンシップ」	熊谷智宏（著）	ダイヤモンド社	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

実践力、出席、フィールドワーク、インターンシップの評価などで総合的に判断します。
特に★印の回は学外での研修に行くので、休んだ場合は評価が下がります。（4回実施予定）
※主にプレゼミの課題、アクティブラーニング等（60%）、試験や出席、ゼミへの総合的な取り組み等（40%）として判定します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

課題の提出がありますが、それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス＆オリエンテーション（大学での生活の話後期篇）	
	事前学習（内容・時間）	大学のガイダンス関係の書類を読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	時間割など、再度確認すること（2h）
第2回	大学の講義や実習について（前期を振り返って、後期に向けて）	
	事前学習（内容・時間）	自分の目標をパワーポイントなどの作成をすること（2h）
	事後学習（内容・時間）	訂正点を書き直して、再度発表できる用意をしておくこと（2h）
第3回	太宰府を知ろう（準備：1）：太宰府市の地図や史跡を調べる）	
	事前学習（内容・時間）	おもにgoogleなどを利用して太宰府市の史跡を調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義で説明した史跡を再度確認すること（2h）
第4回	太宰府を知ろう：太宰府政庁、観世音寺、戒壇院、坂本神社訪問★	
	事前学習（内容・時間）	訪問予定地を調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	訪問レポート作成＆フォームに記入（2h）
第5回	太宰府を知ろう（準備：3）：太宰府検定に挑戦！（2級）	
	事前学習（内容・時間）	与えられた場所の問題を解いておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	解答を再確認すること（2h）
第6回	太宰府を知ろう：内山＆竈門神社地区訪問★	
	事前学習（内容・時間）	訪問予定地を調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	訪問レポート作成＆フォームに記入（2h）
第7回	太宰府を知ろう：九州国立博物館訪問★	
	事前学習（内容・時間）	九州国立博物館の常設展示物を予習しておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	観覧したレポートをフォームに記入すること（2h）
第8回	自分自身を知ろう（セルフカウンセリング）2回目：エンゲージメントカード使用	
	事前学習（内容・時間）	自分自身についてあらかじめ分析をすること（2h）
	事後学習（内容・時間）	前期と比較して分析結果をまとめておくこと
第9回	企業研究（日本にはどのような企業や業界があるのか）	
	事前学習（内容・時間）	日本の企業やサービス文化などについて調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	企業研究した企業を再整理すること（2h）
第10回	太宰府市内の起業家訪問2回目★	
	事前学習（内容・時間）	企業訪問時の質問を作っておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	訪問レポートをフォームに書き込むこと（2h）
第11回	業界研究Ⅰ（自分の興味ある業界を調べる）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界について調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	興味のある業界について分析結果をまとめておくこと（2h）
第12回	業界研究Ⅱ（自分の興味ある業界を調べる）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界について調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	興味のある業界について分析結果をまとめておくこと（2h）
第13回	地域を知ろう（水城地区訪問）★	
	事前学習（内容・時間）	水城地区について調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	訪問成果をフォームに記入すること（2h）
第14回	インターンシップに行こう（マイナビインターンシップ訪問）★	
	事前学習（内容・時間）	訪問予定の企業、業界を調べておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	訪問した企業ブースについて整理しておくこと（2h）
第15回	プレゼミを振り返って	
	事前学習（内容・時間）	1年間の自分の成長を整理しておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後、客観的に成長についてフォームに記載しておくこと（2h）
第16回（定期試験）	1回から15回までのプレゼミの実施に照らし合わせて、試験を行う。 試験は対面方式で、筆記試験の予定。	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6730-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミII	226	1年生・後期	2単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	研究活動に興味があること. プレゼミIを修得していること.

授業概要　Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，具体的に「研究活動」とはどういうことを行っているのか，ということを実際にゼミの学生が研究しているところを見学し，一緒に体験することで，将来のゼミ活動への導入をスムーズにすることと，先輩の話を聞くことで，自身の興味のある問題を探してもらうことを目的とする.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

【知識】ゼミ活動について説明することができる.
【態度】教員や他の学生と円滑にコミュニケーションをとることができる.
【技能】実験などの活動を自発的に行うことができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する. また，演習を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室（653）にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
各研究内容について必要な文献などを適宜準備する.			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
誰も教えてくれなかった実験ノートの書き方（研究を成功させるための秘訣）	野島 高彦	化学同人	978-4759819335

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

実験ノート（70%），実習後のレポート（30%）で評価する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

実験ノートの確認の際，フィードバックを実施する. 改善点だけでなく，優れている点については積極的に助言し，研究に対するモチベーションが高くなるように教員と履修生が一体となって取り組む体制をとる.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第2回	プレゼミIの振返り	
	事前学習（内容・時間）	プレゼミIの振返りをする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第3回	研究内容紹介（ものづくり）	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ものづくり）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第4回	体験実習（ものづくり）①	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ものづくり）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第5回	体験実習（ものづくり）②	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ものづくり）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第6回	研究内容紹介（ロボット工学）	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ロボット工学）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第7回	体験実習（ロボット工学）①	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ロボット工学）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第8回	体験実習（ロボット工学）②	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（ロボット工学）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第9回	研究内容紹介（データベース）	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（データベース）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第10回	体験実習（データベース）①	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（データベース）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第11回	体験実習（データベース）②	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（データベース）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第12回	研究内容紹介（システム開発）	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（システム開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第13回	体験実習（システム開発）①	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（システム開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第14回	体験実習（システム開発）②	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの研究テーマ（システム開発）について調査をする．．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第１４回までを復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．実験ノートをまとめる．(2h)
第16回（定期試験）	実験ノートを提出してもらう．	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6730-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミⅡ（中島）	226	1年生・後期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	脳科学や人工知能に興味があること。

授業概要　Course Outline

脳科学や人工知能は現代社会においていろいろな場所で活用されています。
本講義ではディプロマポリシーに基づき、脳科学や人工知能が社会でどのように使用されているのかの紹介や実際に体験することにより知識を深めていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

身近なものに対して疑問を持ち、自分自身で調べる能力を身につける

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関して自分で調べたり、応用について考える。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学生によるプレゼンとそのフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
脳・心・人工知能　数理で脳を解き明かす	甘利　俊一	講談社	978-4-06-257968-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

提出物(50%)と取り組み(50%)で評価を行います。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

Google Classroomへの成果物の提出により各学生の取り組み度合を教員が把握し、ゼミ内の時間で各学生に応じてフィードバック（具体的な取り組み方法など）を実施する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読み、脳や人工知能について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第2回	応用：脳科学について①	
	事前学習（内容・時間）	脳の部位について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第3回	応用：脳科学について②	
	事前学習（内容・時間）	神経細胞について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第4回	応用：脳科学について③	
	事前学習（内容・時間）	シナプスについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第5回	応用：脳科学について④	
	事前学習（内容・時間）	STDPについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第6回	応用：脳科学について⑤	
	事前学習（内容・時間）	海馬について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第7回	応用：人工知能について①	
	事前学習（内容・時間）	パーセプトロンについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第8回	応用：人工知能について②	
	事前学習（内容・時間）	ホップフィールドネットワークについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第9回	応用：人工知能について③	
	事前学習（内容・時間）	ディープニューラルネットワークについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第10回	応用：人工知能について④	
	事前学習（内容・時間）	バックプロパゲーションについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第11回	応用：人工知能について⑤	
	事前学習（内容・時間）	トランスフォーマーについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第12回	応用：脳科学と人工知能の共通点①	
	事前学習（内容・時間）	脳と人工知能の違いについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第13回	応用：脳科学と人工知能の共通点②	
	事前学習（内容・時間）	脳と人工知能の学習方法の違いについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第14回	応用：脳科学と人工知能の共通点③	
	事前学習（内容・時間）	BMIについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	前期にやったことを振り返る(2h)
	事後学習（内容・時間）	興味を持ったことに対して調べ、疑問を持つ(2h)
第16回（定期試験）	成果物を提出	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6730-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミⅡ（競技プログラミング入門）	226	1年生・後期	2単位	選択	合田 和正 宮崎　武

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	原則としてプレゼミⅠ（競技プログラミング入門）に合格しているものに限る。これまでに学習した競技プログラミング関連の内容（環境、アルゴリズム、データ構造など）についてまとめておく。（このまとめは提出物として回収予定） ITパスポート試験・基本情報技術者試験の合格を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
プレゼミⅠ（競技プログラミング入門）や他のプログラミング関連科目でログラミングについての基本的な知識・技能の習得を前提として、競技プログラミングに対する理解をよりいっそう深め、レーティング無し参加からレーティングありの参加へ向けての準備をすることを目標とする。
具体的には、座学と実習での学習を通して、競技プログラミングの具体的な問題、過去問題で、入門レベル問題の解法を修得する。プログラミング言語はPython3という前提で実習する。
※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。
※AtCoderの運用や授業の進捗によっては、順序や内容の一部を変更することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

競技プログラミングの問題に解答する上での知識・技能について理解をいっそう深める。競技プログラミングへの参加環境を改善したり、プログラミング能力、アルゴリズム知識の向上を図ったりして、レーティング有り参加へつなげる。後期のプレゼミⅡではレーティング有り参加を1回以上してみる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にPython3を中心にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
アルゴリズム的思考力が身につく! プログラミングコンテストAtCoder入門	大槻 兼資	KADOKAWA	978-4046044082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・期末レポート・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	プレゼミＩの総復習・演習	
	事前学習（内容・時間）	プレゼミＩの内容を整理してまとめておく。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	AtCoderのA問題とB問題(1) レベルの差と得意不得意	
	事前学習（内容・時間）	直近の過去問題5回分のA問題とB問題について調べて比較・検討してまとめておく。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	AtCoderのA問題とB問題(2) 難しい問題への対応	
	事前学習（内容・時間）	直近の過去問題10回分のB問題について、特に難しい問題とその理由についてまとめておく。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	競技プログラミングにおける実践的手法(1) タイピング分量の削減方法	
	事前学習（内容・時間）	直近のコンテストのA問題で、Python3での提出のうちAC（受諾）を獲得したソースコードで短いものを調べる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	競技プログラミングにおける実践的手法(2) 頻出パターンの照合と適用	
	事前学習（内容・時間）	AtCoder, ABCコンテストの分析をしているサイトを調べて、検討する。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	競技プログラミング以外でも活用できるメタ知識(1) 分割統治の考え方	
	事前学習（内容・時間）	分割統治について、プログラミング以外の適用も含めて調べてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	競技プログラミング以外でも活用できるメタ知識(2) リフレクション	
	事前学習（内容・時間）	リフレクション、フィードバック、振り返り、メタ認知について調べてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	競技プログラミング以外でも活用できるメタ知識(3) メタプログラミング、パラメトリック	
	事前学習（内容・時間）	メタプログラミング、ジェネレータについて調べてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	競技プログラミング以外でも活用できるメタ知識(4) 参照透明性とカプセル化	
	事前学習（内容・時間）	情報隠蔽、カプセル化、モジュール結合について調べてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	競技プログラミング以外でも活用できるめたち式(5) 依存関係と継承・実装	
	事前学習（内容・時間）	データ依存、スライシング、データの伝播について調べてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	より高度なプログラミング(1) 手続きを用いた部品化・構造化	
	事前学習（内容・時間）	手続き、関数、メソッド、構造体、クラスについて調べてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	より高度なプログラミング(2) 内包表記	
	事前学習（内容・時間）	内包表記、クロージャ、ラムダ関数について調べてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	より高度なプログラミング(3) 高階関数	
	事前学習（内容・時間）	高階関数、map, filter, fold について調べてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	総合演習	
	事前学習（内容・時間）	これまでに知ったアルゴリズム、データ構造についてまとめる。
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	プレゼミ全体のまとめに向けて第14回までの振り返りを見直してまとめておく。
	事後学習（内容・時間）	プレゼミＩ Ⅱ 全体の内容をまとめておく。振り返りを書く。期末レポートの準備をする。[2.0h]
第16回（定期試験）	期末レポート	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6730-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミⅡ（基礎コンピュータと組込みシステム入門-2）	226	1年生・後期	2単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	コンピュータOSであるWindowsやLinuxに興味があること. プレゼミIを修得していること.

授業概要　Course Outline

本プレゼミIIでは,ディプロマ・ポリシーに基づき,
組込みシステムを対象とした1つのプロジェクトに取り組むことを通して,研究活動の具体的な進め方を理解・体験することを目的とする.
プロジェクトテーマは学生自身が関心に基づいて選択し,教員および上級生の研究事例を参考にしながら,グループで協力して進める.
その過程において,研究の背景,問題設定,解決方法,実験,結果の分析,まとめ・考察といった研究活動の一連の流れを実践的に学び,グループ発表を実施する.
また,上級生による研究紹介や体験談を通して,将来のゼミ活動および卒業研究につながる自身の興味・関心分野を明確にすることを目指す.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

研究活動のイメージを持つことができる
　WindowsやLinuxを使った研究活動が,どのような流れで行われているのかを理解できる.

PCを使った基礎的な研究作業を体験できる
　ゼミで行われているPCを用いた研究の一部を体験し,基本的な操作や取り組み方を身につける.

発表を通して自分の考えを伝えられるようになる
　進捗報告の発表を行い,自分の取り組み内容を分かりやすく説明できるようになる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

普通の授業と異なり,毎回,各学生に2～3分間の連絡事項を話してもらい（資料なしでも可）,自分のPCを持参してください.授業時間外では,少なくとも月に1回,事前に予約をして1対1のディスカッションを行うことをお勧めする.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので, 毎回PCを持参することが望ましい.
毎の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
これ1冊でできる！Arduinoではじめる電子工作 超入門 改訂第6版	福田和宏	ソーテック社	978-4800713308

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

研究イベントの参加へとポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況（20%）,提出物（20%）,中間発表 (30%),最終発表(30%).

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,ポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,本ゼミのシラバスを熟読し,ゼミの目的・到達目標を理解しておくこと.また,自分のPCにOffice等の基本的なツールをインストールしておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ガイダンス内容を踏まえ,ゼミ参加の目的および本ゼミで身につけたい能力について整理し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由と本時の学修内容を記載する.（2時間）
第2回	プレゼミIの振返り：組込みシステム入門	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った組込みシステムの基礎内容を整理し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第3回	プレゼミIの振返り：研究活動	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	研究活動における重要なプロセスを整理し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第4回	テーマ検討①（個人）	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の興味・関心をもとに複数の研究テーマ案を整理し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第5回	テーマ検討②（グループ）	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	グループ討議を通じて得られた意見や新たな視点を整理し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第6回	研究背景と目的の整理	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自身の研究テーマについて,背景と目的を文章として整理し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第7回	解決方法・システム構成の検討	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	研究テーマに対する解決方法およびシステム構成案を整理し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第8回	中間発表	
	事前学習 （内容・時間）	自身で作成した中間発表用資料を通読し,発表内容を整理しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	中間発表での指摘事項や改善点を整理し,今後の課題をKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第9回	実験・実装①	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	実験・実装の進捗状況および得られた結果を整理し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第10回	実験・実装②	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料を通読し,前回の実験・実装内容を振り返っておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	実験・実装の結果を整理し,問題点や改善点についてKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第11回	結果の整理・分析	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	得られた実験結果を分析し,その意味や傾向をKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入し,提出すること.（2時間）
第12回	考察とまとめ	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.（2時間）
第13回	発表資料作成	
	事前学習 （内容・時間）	指定されたWeb資料の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義で扱った例題および補助資料を自力で解き,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.（2時間）
第14回	最終発表	
	事前学習 （内容・時間）	自分の作った発表用資料を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミで自分と他の方の発表した内容を復習し,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	後期にやったことを振り返る.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	復習を行い,発表用資料を提出する.あわせて,KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに記入のうえ,提出すること.（2時間）
第16回 （定期試験）	成果物を提出	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
基礎演習（データ活用）	～225	2年生・通年	4単位	必修	荒平　高章 宮﨑　　武 中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習I, IIを修得していることが望ましい. 基礎数学を修得していることが望ましい.

授業概要　Course Outline

現在，たくさんのデータで世の中は溢れていて，その中には重大な発見や可能性を秘めたものも多くあります．データとは，売り上げのような数値，写真のような画像，会話のような音声，運動を記録した動画などあらゆるものが対象です．

この基礎演習では，あらゆる「データ」に注目して，「データ」を取得・利用・分析する力を養うことを目指します．この力は，今後の学生生活だけでなく，研究活動や就職した後も必要不可欠なものです．

具体的には，ディプロマポリシーに基づき，様々な実験や調査活動を通してデータを取得し，利用する，あるいは分析するというサイクルを経験してもらいます．

また，データサイエンス（基礎ゼミ）と合同で発表会や活動を実施することがあります．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

あらゆるデータに対して，適切な可視化・分析を行うことができる．
具体的には，
① 論文や関連する文献等を読み，要点をまとめることができる．
② 本演習で使用するデータを分析することができる．
③ 分析したデータをグラフ等で可視化することができる．
④ 分析・可視化したデータを他者へ適切に伝えることができる．
⑤ 他者の発表について意見・質問ができる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的には聴講型ではなく，実習を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは各教員の研究室にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：実験ノートに実施した実験内容や調査した内容を記載方法を遵守してまとめること（毎時間）．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
実習内容に応じて資料・文献等を準備する．			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
各担当教員が必要に応じて補助資料を準備する．			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

レポート（60%）と実験ノートおよびグループ発表（40%）で評価する．

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

学期末に実験ノートを回収し，各学生の取り組み度合を教員が把握し，演習内の時間で各学生に応じてフィードバック（具体的な取り組み方法など）を実施する．

授業計画 Course Schedule		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを読み，実施内容等を通読し，疑問点などを整理する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートに基礎的事項を記入し，次週以降の準備をする．(2.0h)
第2回	5分間プレゼンテーション（自己紹介等）	
	事前学習 （内容・時間）	前回のガイダンスの内容の整理をする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	プレゼンテーションの自己分析と他者のプレゼンテーションの分析をする．(2.0h)
第3回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスI （1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第4回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスI （2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第5回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスI （3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	与えられた課題・レポートを完成させ提出する．(2.0h)
第6回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスII （1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第7回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスII （2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第8回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスII （3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	与えられた課題・レポートを完成させ提出する．(2.0h)
第9回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスIII （1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第10回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスIII （2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第11回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスIII （3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	与えられた課題・レポートを完成させ提出する．(2.0h)
第12回	実データ分析（グループ演習）（1）	
	事前学習 （内容・時間）	統計の基礎事項，Excel等でのグラフ化について復習する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	自身の担当する部分について分析・可視化する（2.0h）
第13回	実データ分析（グループ演習）（2）	
	事前学習 （内容・時間）	統計の基礎事項，Excel等でのグラフ化について復習する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	発表資料を作成する．(2.0h)
第14回	実データ分析（グループ演習） 発表 （1）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．(2.0h)
第15回	実データ分析（グループ演習） 発表 （2）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．(2.0h)
第16回	前期の振返り，後期ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	前期の内容を整理する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	講義の内容を整理し，実験ノート等の準備をする．(2.0h)

第17回	各教員の研究紹介（荒平・宮﨑・中島） オムニバスI	
	事前学習 （内容・時間）	前期の担当教員が実施した体験に関する実験ノートの振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートに講義内容をまとめる．（2.0h）
第18回	各教員の研究紹介（荒平・宮﨑・中島） オムニバスII	
	事前学習 （内容・時間）	前期の担当教員が実施した体験に関する実験ノートの振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートに講義内容をまとめる．（2.0h）
第19回	各教員の研究紹介（荒平・宮﨑・中島） オムニバスIII	
	事前学習 （内容・時間）	前期の担当教員が実施した体験に関する実験ノートの振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートに講義内容をまとめる．（2.0h）
第20回	これまでの内容のまとめ・整理	
	事前学習 （内容・時間）	第１９回までの内容を整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	第１９回までの内容を一枚のスライドにまとめる．（2.0h）
第21回	専門ゼミ・演習選択に係る全体説明会・ゼミフェス	
	事前学習 （内容・時間）	説明を聞きたいゼミの募集要項を通読し，不明な点を明らかにしておく．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	説明会・ゼミフェスでの情報をもとに，希望するゼミの選定および提出書類を作成する．（2.0h）
第22回	実データ分析（個人実施） Ｉ （１）	
	事前学習 （内容・時間）	データ分析の手法の復習，前期のデータ分析実習の振返りを行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	取得するデータについて必要な調査および実験を実施する．（2.0h）
第23回	実データ分析（個人実施） Ｉ （２）	
	事前学習 （内容・時間）	データ分析の手法の復習，取得したデータの分析を行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	取得するデータについて必要な調査および実験を実施する．（2.0h）
第24回	実データ分析（個人実施） Ｉ 発表 （１）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．（2.0h）
第25回	実データ分析（個人実施） Ｉ 発表 （２）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．（2.0h）
第26回	実データ分析（個人実施） Ⅱ （１）	
	事前学習 （内容・時間）	データ分析の手法の復習，前期のデータ分析実習の振返りを行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	取得するデータについて必要な調査および実験を実施する．（2.0h）
第27回	実データ分析（個人実施） Ⅱ （２）	
	事前学習 （内容・時間）	データ分析の手法の復習，取得したデータの分析を行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	取得するデータについて必要な調査および実験を実施する．（2.0h）
第28回	実データ分析（個人実施） Ⅱ 発表 （１）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．（2.0h）
第29回	実データ分析（個人実施） Ⅱ 発表 （２）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．（2.0h）
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	第２９回目までの内容を整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートを完成させ，提出する．（2.0h）
第31回 （定期試験）	実験ノート・レポートを提出後，評価する．	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎演習（簿記検定対策と社会人基礎力）	～225	2年生・通年	4単位	必修	岩下　昌美

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記Ⅰ，Ⅱの単位を取得していること

授業概要　Course Outline

本演習では，「簿記」講義の補完的学習や問題集を通じてその傾向と対策を行い，日本商工会議所主催の簿記検定3級取得を目指し，会計学の分野で活躍できる人材を養成することを目的とします。また，社会人としての素養や礼儀・マナーにもふれ「至心」を備えた人格形成を目指します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催の簿記検定3級の取得と社会人としての基礎的なマナー習得を目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業時，簿記検定の問題を解き，割り当てられた問題の解法を他の受講生へ説明する

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
ただし，研究室への来室は事前にメール（masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『2025　日商簿記3級テキスト』，1,800円	岩下昌美	市販されていない 1年次「簿記Ⅰ・Ⅱ」で使用したテキスト	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格テキスト 日商簿記3級	TAC簿記検定講座	TAC出版	最新版

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：検定試験成績（70点），平常点（30点）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の課題取り組み状況で判断する。
成績評価の基準：①3級の取引の仕訳ができるか。②試算表が作成できるか。③伝票が起票できるか。④決算整理事項から精算表および財務諸表（貸借対照表・損益計算書）が作成できるか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方について，メールまたはGoogle
クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法など）とともに目標を再確認。 簿記3級の仕訳問題（株式会社の会計）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第3章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	簿記3級の仕訳問題（借入および貸付け，商品売買）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第3章，第4章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	簿記3級の仕訳問題（現金・預金・小口現金）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第5章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	簿記3級の仕訳問題（掛け取引，手形取引等）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第6章，第7章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	簿記3級の仕訳問題（固定資産）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第8章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	簿記3級の仕訳問題（税金，その他）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第9章，第10章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	簿記3級の仕訳問題（伝票，訂正）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第11章，第14章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	簿記3級の仕訳問題（決算整理その1）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第9回	簿記3級の仕訳問題（決算整理その2）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	簿記3級の試算表作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第12章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	簿記3級の精算表作成問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	簿記3級の精算表作成問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	簿記3級の財務諸表作成問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	簿記3級の財務諸表作成問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第15回	簿記3級の財務諸表作成問題③に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第16回	簿記3級の損益勘定と繰越試算表作成問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）

第17回	簿記3級の損益勘定と繰越試算表作成問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１３章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第18回	簿記3級の損益勘定と繰越試算表作成問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１３章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第19回	簿記3級補助簿の売上帳と仕入帳作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第20回	簿記3級補助簿の商品有高帳（先入先出法）作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第21回	簿記3級補助簿の商品有高帳（移動平均法）作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第22回	簿記3級補助簿の現金出納帳，当座預金出納帳作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第23回	簿記3級補助簿の小口現金出納帳作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第24回	簿記3級補助簿の得意先元帳，仕入先元帳作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）

第25回	簿記3級補助簿の手形記入帳作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第26回	簿記3級補助簿の固定資産台帳①作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第27回	簿記3級補助簿の固定資産台帳②作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第28回	簿記3級補助簿の固定資産台帳②作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第29回	簿記3級の総合問題（仕訳，補助簿，財務諸表）に時間を図りながら取り組む①	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第30回	簿記3級の総合問題（仕訳，補助簿，財務諸表）に時間を図りながら取り組む②	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの第１５章を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第31回 （定期試験）	ペーパー試験	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎演習（経営一般）	～225	2年生・通年	4単位	必修	桑野裕文

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	スポーツクラブ（学校での部活動、地域社会でのクラブ、民間でのクラブ、他）経験者が望ましい。

授業概要　Course Outline

建学の精神「至心」を進んで実践する豊かな人間性を備えた人材を養成する。
第１週～第5週　:基礎ゼミで学びたいこと　スポーツを題材に、「読む、書く、話す」の基礎練習
第6週～第10週　：個別テーマによる個人発表
第11週～第15週　：グループ発表ア「スリート（アマチュア・プロ）及び指導者の視点よりスポーツ・健康問題を考える」
：スポーツイベントの今日的課題と将来像について考える。
第16週～第20週　：スポーツ選手のセカンドキャリアについて調査、発表する。
第21週～第25週　：自分の5年後・10年後について考える。
第26週～第30週　：採用試験対策（一般教養、教職教養）
：経営学演習Ⅰ・Ⅱ対策（研究計画を立てる）

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

「読む、書く、話す」の基礎演習を通して、
①スポーツ・健康科学（方法・経営）
②スポーツ選手のセカンドキャリア
③スポーツイベント
を学ぶ。
※卒業研究のテーマを考えながら、本基礎演習ゼミで何を学ぶべきかを学習することを目標とする。目的が「最終的に成し遂げようとする事柄や目指すべき到達点」を意味するのに対して、目標は「目的を達成するための指標」を指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

スポーツイベントの参加（選手として、競技役員・補助員として）及びボランティア活動

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室（359研究室）、オフィススアワー時間内、随時受け付けます。

健康関連有資格は評価の対象とする。

スポーツイベントの参加（選手として、競技役員・補助員として）及びボランティア活動・健康関連の講座・研修への参加、スポーツ・

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教員作成資料を随時配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「スポーツマーケティング」 「スポーツビジネスの戦略と知恵」	[原田宗彦編著] [間宮聴夫]	[体修館書店] [ベースボール・マガジン社]	【4-469-26546-2】 【4-583-03215-3】

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表評価（個人発表2回、グループ発表1回）。イベントスタッフへの参加　ボランティア活動参加については配慮します。
定期試験（50%）、個人・グループ発表（30%）、事前学習・事後学習としての提出物（20%）。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の取組みについて、オフィスアワー時間内に研究室にて説明します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	基礎演習ゼミで学びたいことを発表し（事前学習の内容）、各人の履修目的を確認する。	
	事前学習（内容・時間）	基礎ゼミ演習で学びたいことについて400字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第2回	各人の基礎ゼミで学びたいこと（第１回目の発表内容）を確認し、本ゼミ全体のとしての共通テーマを作成する。	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から、ゼミ生共通のテーマについて、考えをまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	演習時最後に次回のテーマに言及する。このテーマについての準備や、疑問点について整理する。（2時間）
第3回	スポーツをにテーマした、「読む、書く、話す」を展開する。 テーマは「パリオリンピック」。	
	事前学習（内容・時間）	東京オリンピックとパリオリンピックについて調べておく。A4一枚程度。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	演習時最後に次回のテーマに言及する。このテーマについての準備や、疑問点について整理する。（2時間）
第4回	スポーツをテーマにした、「読む、書く、話す」を展開する。 テーマ「パラリンピック」	
	事前学習（内容・時間）	パラリンピックについてまとめておく。A41枚程度。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	演習時最後に次回のテーマに言及する。このテーマについての準備や、疑問点について整理する。（2時間）
第5回	スポーツをテーマにした、「読む、書く、話す」を展開する。 テーマは「スポーツボランティア」。	
	事前学習（内容・時間）	スポーツボランティアについてまとめておく。A41枚程度。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	演習時最後に次回のテーマに言及する。このテーマについての準備や、疑問点について整理する。（2時間）
第6回	出身地を紹介する（特産物、名所・史跡等）。その①	
	事前学習（内容・時間）	発表資料としてA41枚程度にまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	発表資料としてA41枚程度にまとめる。（2時間）
第7回	出身地を紹介する（特産物、名所・史跡等）。その②	
	事前学習（内容・時間）	発表資料としてA41枚程度にまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	発表資料としてA41枚程度にまとめる。（2時間）
第8回	個別テーマによる個人発表（時事問題、趣味、行ってみたい都市・国、他）。その①	
	事前学習（内容・時間）	発表資料の作成。パワーポイントにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	発表資料の作成。パワーポイントにまとめる。（2時間）
第9回	個別テーマによる個人発表（時事問題、趣味、行ってみたい都市・国、他）。その②	
	事前学習（内容・時間）	発表資料の作成。パワーポイントにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	発表資料の作成。パワーポイントにまとめる。（2時間）
第10回	個別テーマによる個人発表（時事問題、趣味、行ってみたい都市・国、他）。その③	
	事前学習（内容・時間）	発表資料の作成。パワーポイントにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	発表資料の作成。パワーポイントにまとめる。（2時間）
第11回	アスリート及び指導者の視点よりスポーツ・健康問題を考える。グループ別テーマによるグループ発表。その① テーマは「熱中症」。	
	事前学習（内容・時間）	熱中症の予防と対策について調べておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	熱中症予防と対策用ポスター作成。（2時間）
第12回	熱中症予防のポスターの発表会 アスリート及び指導者の視点よりスポーツ・健康問題を考えるグループ別テーマによるグループ発表。その② テーマは「勝利至上主義」	
	事前学習（内容・時間）	「勝利至上主義」について調べておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自分のストレス解消法についてまとめておく。（2時間）
第13回	アスリート及び指導者の視点よりスポーツ・健康問題を考えるグループ別テーマによるグループ発表。その③ テーマは「ストレス解消法の紹介」	
	事前学習（内容・時間）	ストレス解消法について調べておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スポーツ障害についてまとめておく。（2時間）
第14回	アスリート及び指導者の視点よりスポーツ・健康問題を考える。グループ別テーマによるグループ発表。その④ テーマは「怪我をしないトレーニング法」。	
	事前学習（内容・時間）	「怪我をしないトレーニング法」についてまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「怪我をしないトレーニング法」の発表について感想をまとめる。（2時間）
第15回	アスリート及び指導者の視点よりスポーツ・健康問題を考える。グループ別テーマによるグループ発表。その⑤ テーマは「個別のトレーニング法」	
	事前学習（内容・時間）	各人の「トレーニング法」についてまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「自分に合ったトレーニング法」を考案する。（2時間）
第16回	スポーツイベントの今日的課題と将来像について考える。その①	
	事前学習（内容・時間）	どのようなスポーツイベントがあるか調べておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スポーツイベントのメリット・デメリットについてまとめる。（2時間）

第17回	スポーツイベントの今日的課題と将来像について考える。その②	
	事前学習 （内容・時間）	どのようなスポーツイベントがあるか調べておむ。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	スポーツイベントのメリット・デメリットについてまとめる（2時間）
第18回	スポーツイベントの今日的課題と将来像について考える。その③	
	事前学習 （内容・時間）	どのようなスポーツイベントがあるか調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	スポーツイベントのメリット・デメリットについてまとめる（2時間）
第19回	スポーツイベントの今日的課題と将来像について考える。その④	
	事前学習 （内容・時間）	どのようなスポーツイベントがあるか調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	スポーツイベントのメリット・デメリットについてまとめる。（2時間）
第20回	スポーツイベントの今日的課題と将来像について考える。その⑤	
	事前学習 （内容・時間）	どのようなスポーツイベントがあるか調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	スポーツイベントとのかかわり方について考察する。（2時間）
第21回	スポーツ選手のセカンドキャリアについて調査、発表する。その①	
	事前学習 （内容・時間）	自分の先輩たちの現状について調べておく（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表を聞いての感想を指定の原稿用紙（20文字×20行）にまとめる（2時間）
第22回	スポーツ選手のセカンドキャリアについて調査、発表する。その②	
	事前学習 （内容・時間）	プロスポーツ選手の現在の職業について調べる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表を聞いての感想を指定の原稿用紙（20文字×20行）にまとめる（2時間）
第23回	スポーツ選手のセカンドキャリアについて調査、発表する。その③	
	事前学習 （内容・時間）	プロスポーツ選手の現在の職業について調べる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表を聞いての感想を指定の原稿用紙（20文字×20行）にまとめる（2時間）
第24回	スポーiツに係る仕事について調べておく。その①	
	事前学習 （内容・時間）	スポーツ分野の仕事について調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表を聞いての感想（2時間）
第25回	スポーiツに係る仕事について調べておく。その②	
	事前学習 （内容・時間）	スポーツ分野の仕事について調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表を聞いての感想を指定の原稿用紙（20文字×20行）にまとめる（2時間）
第26回	自分の5年後・10年後について考える。その①	
	事前学習 （内容・時間）	自分の5年後・10年後について考える。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表を聞いての感想を指定の原稿用紙（20文字×20行）にまとめる（2時間）
第27回	自分の5年後・10年後について考える。その②	
	事前学習 （内容・時間）	自分の5年後・10年後について考える。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自分の5年後・10年後について考える。（2時間）
第28回	自分の5年後・10年後について考える。その③	
	事前学習 （内容・時間）	自分の5年後・10年後について考える。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自分の5年後・10年後について考える。（2時間）
第29回	先輩ゼミ生を囲んで、専門ゼミ・専門演習ゼミについて考える。	
	事前学習 （内容・時間）	先輩ゼミ生の卒業研究テーマについて調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自分の卒業研究についのテーマ（案）について考えておく。（2時間）
第30回	専門ゼミ・専門演習ゼミについて考える	
	事前学習 （内容・時間）	卒業研究について調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	志望する、専門ゼミ・専門演習ゼミについて考える。（2時間）
第31回 （定期試験）	試験を行う	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎演習（検定試験対策）	～225	2年生・通年	4単位	必修	末永英男 坂上 宏

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	無断欠席はしないでください。課題に対して積極的に取り組む姿勢が重要です。 学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。			

授業概要　Course Outline

ITパスポート試験対策のための授業を行います。これは、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」に基づくものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

上記の通り、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」を到達目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、過去問題に取り組みます。分からなかったり、間違った問題については、事前・事後学習で再度あたってみる姿勢が望まれます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

363研究室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。
・学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、授業内で指定された期日までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
配布資料			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ITパスポート合格教本	岡嶋裕史	技術評論社	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：学内模試「ITパスポートコンテスト」（90%）、平常点（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸの提出状況、授業における姿勢など）（10%）
・成績評価の基準　：本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験（「ITパスポートコンテスト」）の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス ／ 資料(1)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(1)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（1）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第2回	資料(2)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(2)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（2）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第3回	資料(3)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(3)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（3）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第4回	資料(4)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(4)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（4）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第5回	資料(5)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(5)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（5）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第6回	資料(6)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(6)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（6）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第7回	資料(7)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(7)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（7）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第8回	資料(8)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(8)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（8）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第9回	資料(9)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(9)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（9）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第10回	資料(10)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(10)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（10）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第11回	資料(11)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(11)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（11）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第12回	資料(12)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(12)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（12）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第13回	資料(13)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(13)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（13）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第14回	資料(14)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(14)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（14）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第15回	資料(15)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(15)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（15）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第16回	資料(16)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(16)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（16）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)

第17回	資料(17)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(17)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(17)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第18回	資料(18)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(18)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(18)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第19回	資料(19)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(19)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(19)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第20回	資料(20)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(20)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(20)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第21回	資料(21)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(21)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(21)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第22回	資料(22)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(22)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(22)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第23回	資料(23)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(23)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(23)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第24回	資料(24)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(24)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(24)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)

第25回	資料(25)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(25)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(25)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第26回	資料(26)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(26)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(26)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第27回	資料(27)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(27)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(27)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第28回	資料(28)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(28)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(28)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第29回	資料(29)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(29)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(29)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第30回	資料(30)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(30)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(30)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第31回 (定期試験)	定期試験:学内模試「ITパスポートコンテスト」 ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎演習（相撲と社会交流）	～225	2年生・通年	4単位	必修	竹石 洋介

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	相撲やイベント関係に興味がある学生。イベントの運営に参加し協力できる学生。履修している授業に出席する。必ず連絡が取れる学生。

授業概要　Course Outline

竹石基礎演習は相撲の文化的考察をテーマにした演習です。相撲における「伝統的な行動」とは何か、伝統を如何に教えればよいのか。歴史学的な相撲研究の成果を踏まえながら、「相撲を教えるとは如何なることか」についてディスカッションしていく。相撲には欠かせないちゃんこ鍋の栄養を考える。調理方法も指導する。イベントではどのようにイベントが運営しているのかを体験する。

建学の精神「至心」を進んで実践する豊かな人間性を備えた人材を養成する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

相撲の理解を深める。イベントの概要を理解する。自分の履修している授業に出席する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、学生が主体的に問題を発見し答えを見つける。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

502研究室・yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
見る・学ぶ・教えるイラスト相撲	日本体育大学武道学研究室 塔尾 武夫・小川 光哉・松本 茂	五月書房	ISBN4-7727-0387-X

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表・レポート提出（20%）、小テスト（20%）、定期試験（60%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス 基礎演習の説明	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第2回	竹石研究と論文について。 日本体育大学・武道学科 卒業論文 ～相撲の歴史とその指導法～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第3回	竹石研究と論文について。 福岡大学・人文学科教育・臨床心理 修士論文 ～相撲の文化史的考察・教材研究の一環として～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第4回	①竹石研究と論文について。 弘前大学・医学部 医学博士論文 ～大学駅伝選手における試合後の疲労の蓄積～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第5回	②竹石研究と論文について。 弘前大学・医学部 医学博士論文 ～大学駅伝選手における試合後の疲労の蓄積～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第6回	相撲を知ろう 相撲とは？(相撲の始まり・神道の行事・武術、興行、スポーツとしての相撲・) まわしとは？(女子相撲のまわし)	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第7回	相撲を知ろう 昔の土俵・現在の土俵 勝敗の決まり方は？ 試合の方法は？(土俵での礼法・仕切り・立ち合い・試合の終わり)	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第8回	相撲動作とは 基本動作(蹲踞・塵手水・四股・伸脚・腰割り・鉄砲)	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第9回	①基本となる技 押し・寄り・突き・投げ技・ひねり技・前さばき	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第10回	②基本となる技 押し・寄り・突き・投げ技・ひねり技・前さばき	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第11回	大相撲 今の大相撲・番付・相撲部屋	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第12回	アマチュア相撲 アマチュア相撲とは・アマチュア相撲の取り組み	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第13回	国内の大会 大学生と社会人の大会	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第14回	①世界へ広がる相撲 相撲の国際化と対応・相撲とオリンピック	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第15回	②世界へ広がる相撲 相撲の国際化と対応・相撲とオリンピック	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第16回	テスト	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)

第17回	ガイダンス 基礎演習の説明	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第18回	①九州栄養福祉大学 卒業論文力士の生活習慣からみる現代人の食生活のありかた	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第19回	②九州栄養福祉大学 卒業論文力士の生活習慣からみる現代人の食生活のありかた	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第20回	③九州栄養福祉大学 卒業論文力士の生活習慣からみる現代人の食生活のありかた	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第21回	①九州栄養福祉大学 卒業論文 力士の食生活から見る現代人の問題点	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第22回	②九州栄養福祉大学 卒業論文 力士の食生活から見る現代人の問題点	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第23回	③九州栄養福祉大学 卒業論文 力士の食生活から見る現代人の問題点	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第24回	①九州栄養福祉大学 卒業論文 力士の食生活から見る現代人の食事研究 ～特に1日2食について～	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）

第25回	②九州栄養福祉大学 卒業論文 力士の食生活から見る現代人の食事研究 ～特に1日2食について～	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第26回	③九州栄養福祉大学 卒業論文 力士の食生活から見る現代人の食事研究 ～特に1日2食について～	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第27回	①日本体育大学 卒業論文 相撲の歴史及び技の指導法	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第28回	②日本体育大学 卒業論文 相撲の歴史及び技の指導法	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第29回	③日本体育大学 卒業論文 相撲の歴史及び技の指導法	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第30回	基礎演習のまとめ・考察 基礎演習を踏まえて次年度の演習の選択について面談をする。	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第31回 （定期試験）	テスト	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎演習（ITエンジニア）	～225	2年生・通年	4単位	必修	合田・車・プラマンタ

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	コンピュータのハードウェアやソフトウェアに興味があることが望ましい。 情報ネットワーク学科でITエンジニアコース所属が望ましい。 1年生までの必須科目すべてに合格していることが望ましい。 ITパスポート試験の合格を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のハードウェア・ソフトウェアについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。
情報学入門・プログラミング初歩Ⅰの学習内容を前提として、シングルボードコンピュータ(Arduino Uno)を題材に、IoT、ITエンジニアの基礎を学ぶ。ITパスポート試験や基本情報技術者試験の基本的部分の学習方法を確認する。Arduinoを使った実習では、ハードウェア・素子は基本的な部品のみ、ソフトウェア・プログラミングでは、C言語の基礎的な構文のみを用いて学習を進める。前期のまとめとして、Arduinoを用いた簡単なプロジェクトを実施して、後期の冒頭で発表する。後期はより高度な内容に挑戦する。
※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。開発環境として、Arduino IDE, Google Colaboratory を使用する予定である。オンライン(Zoom)で実施することがある。
※学生の興味・関心や進捗状況によっては順序や内容の一部を変更することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

ITパスポート試験の問題レベルを理解し、実際に受験・合格を目指す。学内の模擬試験も積極的に受験し、高得点を目指す。
ITエンジニアの幅広い活動範囲を理解し、その一部として、ハードウェアの構成、ソフトウェアの構成があることをArduinoを使った実習体験を通して体感・理解する。
3・4年生での専門ゼミ・情報学演習で何をしたいか、大雑把で良いのでテーマ探し・検討を進める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ITパスポート試験レベルの知識に不安がある場合は、過去問題を中心に知識の確認、補強をしてください。まずは各自で、公開問題や問題集を学習してください。
ハードウェア、回路の構成は手間がかかりますが、実際に配置・配線することでしかわからないこともあります。ですから、オンラインでの仮想回路の利用は、動作確認など最小限にして授業時間外に実際に実機を使って手を動かして復習してください。
不明点・疑問は先送りせずに質問してください。振り返りなどの課題は必ず提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けるほか、所属学生にはLINE他の連絡方法でも受け付けます。なお、所属学生についてはオフィスアワー以外でもできるだけ優先的に対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認としてポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出してください（提出時期については指示します）。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。昨年度以前の資料の一部を公開します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Arduinoをはじめよう 第4版	Massimo Banziほか	オライリー・ジャパン	978-4814400232

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題・発表資料等）が約40%、
2) 小テスト・前期・後期の学期末レポート・後期冒頭のプロジェクト発表、授業態度等が約60%であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス（メンバー紹介、学生、担当教員）、ITエンジニア入門	
	事前学習（内容・時間）	1年生までの自分について知識・技能など現時点の状況を確認する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	各自でArduino Unoを準備する。その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第2回	Arduinoを始めよう（1）部品の確認、開発環境 Arduino IDEについて	
	事前学習（内容・時間）	Arduino Uno本体および部品群のセットを準備する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第3回	Arduinoを始めよう（2）参考書の紹介、Arduino本体の構造・ピン配置や構成、よく使う部品	
	事前学習（内容・時間）	Arduino IDEのインストール状況を確認。LED1つを点灯させる回路の復習。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第4回	Arduinoの学習を確かなものにする方法、手書きの学習ノート： 記入内容・整理・活用（チェック予告）	
	事前学習（内容・時間）	綴りノート（A4またはB5)を準備。ノートの取り方について調べておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第5回	Arduinoとつないでみよう（1） ブレッドボードの仕組み・接続状況・使い方、部品の配置の工夫	
	事前学習（内容・時間）	ブレッドボードの特徴や寸法、種類や価格、仕組みや配置について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第6回	Arduinoとつないでみよう（2） いろいろな使い方、電子回路の動作やシリアルモニタ（表示機能）	
	事前学習（内容・時間）	シリアルとパラレル、COMについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第7回	Arduinoと回路図記号、電子回路の記号の初歩（抵抗器ほか）、記号の新旧、国際・国内の通用性	
	事前学習（内容・時間）	回路図記号、特に電池、交流電源、電球、LED、抵抗器、コンデンサ、コイルについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第8回	Arduinoと対話（？）、内部状態： 何をどのように表示するか、わかりやすい表示とは？	
	事前学習（内容・時間）	Arduinoの内部状態とプログラムの変数について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第9回	Arduinoとスイッチ、何をどのように切り替えるか？2つ以上の状態、回路とプログラム	
	事前学習（内容・時間）	日常生活で使っているスイッチやソフトウェアスイッチについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第10回	Arduinoとつないでみよう（3） 温湿度センサ、何に使う？どこで使われている？	
	事前学習（内容・時間）	各自が持っているセットに入っているセンサー部品やよく使うセンサーについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第11回	Arduinoとプログラム（1） for文をより深く理解、プログラムトレースを書いてみよう！	
	事前学習（内容・時間）	フローチャート（流れ図）や変数、五大装置の復習をする。トレースについて調べる。[2.0]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第12回	Arduinoとプログラム（2） for文をさらに理解、二重ループ、うまく省略したプログラムトレースを書いてみよう！	
	事前学習（内容・時間）	変数表について、特にループを含む場合の変数表について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第13回	Arduinoとプログラム（3） for文を使って、シリアルへ出力、回路へ出力、どう違う？何が似ている？	
	事前学習（内容・時間）	回路でLEDを点灯・消灯させることと、シリアルへ文字を出力されることを比べてみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第14回	Arduino 総合演習： これまでの学習内容を組み合わせる	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学習した内容について、学習ノートでまとまっているか確認。情報を探しやすく工夫。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第15回	前期のまとめ、前期期末レポート出題、夏休みのプロジェクト課題の出題	
	事前学習（内容・時間）	前期期末レポートで何が出題されそうか検討する。プロジェクトのテーマを考える。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	前期全体をを振り返り、期末レポートを作成する。また、夏休みのプロジェクトの計画を立てる。[2.0h]
第16回	後期ガイダンス、夏休みのプロジェクトの成果物回収と振り返り	
	事前学習（内容・時間）	前期全体を振り返り、成果としての夏休みのプロジェクトの発表準備をする。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]

第17回	後期、プレースメント試験（前期の内容、ITパスポート試験過去問題ほか）	
	事前学習 （内容・時間）	過去3年間のITパスポート試験の過去問題をやってみる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第18回	夏休みのプロジェクト発表（1）	
	事前学習 （内容・時間）	発表予定者は発表準備、発表の予定がない場合は、質問案を考える。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第19回	夏休みのプロジェクト発表（2）	
	事前学習 （内容・時間）	発表予定者は発表準備、発表の予定がない場合は、質問案を考える。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第20回	前期の総復習、Arduinoプログラミングでよく使う英単語	
	事前学習 （内容・時間）	プログラムで出てくる英単語についてまとめたり調べたりする。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第21回	学園祭（紫苑祭）について、いろいろな学内行事、裏方・運用について知ろう	
	事前学習 （内容・時間）	学年歴や掲示を見て学内行事を調べる。イベントの運用について調べる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第22回	専門ゼミ・情報学演習の募集について、いろいろな教員・職員と話そう！	
	事前学習 （内容・時間）	研究してみたいテーマやそれに近い科目についてシラバスを読んで調べる。教員の研究を調べる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第23回	Arduinoとつないでみよう（3） 7セグメントLED、基本情報技術者試験の過去問題の回路	
	事前学習 （内容・時間）	日常生活で使っている7セグメントLEDや、LED表示について調べる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第24回	Arduinoとつないでみよう（4） 7セグメントLED、カウンタ、スロットマシン	
	事前学習 （内容・時間）	7セグメントLEDを1桁使う場合の応用、複数桁使う必要性について調べる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]

第25回	Arduinoとつないでみよう（5） 7セグメントLED、16進数を表示するためには？	
	事前学習 （内容・時間）	7セグメント以外のセグメントLEDについて調べる、16進数表示について調べる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第26回	Arduinoとつないでみよう（6） 7セグメントLED、1つずつ点灯、まとめて点灯、数字をシリアルに出力、の比較	
	事前学習 （内容・時間）	出力する内容と方法とデバイスについて考察し、調べる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第27回	IPA情報処理試験：ITパスポート試験のシラバスと共通テスト（1） 情報関係基礎（数学・別冊）、特にプログラミング	
	事前学習 （内容・時間）	ITパスポート試験の最新版シラバスをダウンロードし、読んでおく。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第28回	IPA情報処理試験：ITパスポート試験のシラバスと共通テスト（2） 情報Ｉ、特にプログラミング	
	事前学習 （内容・時間）	高等学校指導要領解説「情報」をダウンロードし、読んでおく。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第29回	最終レポート出題、テーマの解釈とオリジナリティ	
	事前学習 （内容・時間）	この1年間で学んだことをどのような観点でまとめるか検討する。いろいろな観点でまとめてみる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第30回	前期・後期を通じたまとめ	
	事前学習 （内容・時間）	レポートを書き始める。特に印象に残った内容、興味を惹かれた内容についてまとめる。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	1年間を振り返り、期末（学年末）レポート作成の準備をする。[2.0h]
第31回 （定期試験）	期末レポートで実施する	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎演習（スポーツ×経営学）	～225	2年生・通年	4単位	必修	野中　渓人

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	スポーツをする、みる、ささえるのいずれかに関心を持っていることが望ましい。

授業概要　Course Outline

自ら課題を見つけ、課題解決に向けて、これまでに学修した知識や技能を用いたり、必要な知識や技能を新たに学ぶ。また、明らかになったことを他者へ分かりやすく伝えることを目指す。学生は、教員の指導の下、専門書や論文を精読して、課題解決に必要な専門性を高めるとともに、研究の計画立案、遂行、結果の解釈、考察、発表等の研究活動の基礎的な知識や技術を学ぶ。また、学習過程を通して、本学の建学の精神である「至心」を実践し、社会人生活へむけて、基礎的な検索能力、プレゼンテーション能力、文章作成能力の養成を目指す。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

1）自ら課題を見つけることができる。
2）自らの課題解決にむけて、これまでに学修した知識・技能を活用することができる。
3）自らの課題解決に必要な新たな知識・技能を能動的に学び活用することができる。
4）課題解決の方策および結果について、他者に分かりやすく伝えることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

1）専門書およびインターネット等を使用し、必要な資料を準備し、パワーポイント等にまとめてもらいます。
2）まとめた資料は、授業内で発表し、質疑応答等を行います。
3）講義内で学習した経営学を用いて、イベント運営を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室、オフィスアワー内に随時受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回指定した課題を解くこと、講義内でフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
適宜プリントを配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
アスリート・コーチ・トレーナーのためのトレーニング科学	山本　正嘉	市村出版	

レポート（60%）、発表会（30%）、平常点（10%）をもとに総合的に評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方については、メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション	
	事前学習（内容・時間）	ゼミで学びたいこと研究したいことを発表できるようにまとめてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	現在考える研究テーマを考え、レポートを作成する。（2時間）
第2回	トレーニングについて	
	事前学習（内容・時間）	トレーニングとは何か考え、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	トレーニングについて再度レポートにまとめる。（2時間）
第3回	トレーニングの原理原則について	
	事前学習（内容・時間）	トレーニングの原理原則について調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	トレーニングの原理原則に基づいて、トレーニングを1つ考える。（2時間）
第4回	科学について	
	事前学習（内容・時間）	科学とは何か考え、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	科学について再度レポートにまとめる。（2時間）
第5回	図・表の見方について	
	事前学習（内容・時間）	興味のある論文の図・表を調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	論文と同じ図・表を1つずつ作成する。（2時間）
第6回	統計について	
	事前学習（内容・時間）	有意差とは何か、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	例題を用いて、統計分析を行う。（2時間）
第7回	科学的なトレーニングについて	
	事前学習（内容・時間）	科学的なトレーニングを3つ以上調べ、まとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	科学的なトレーニングを3つ以上調べ、まとめる。（2時間）
第8回	トレーニング方法について	
	事前学習（内容・時間）	トレーニングの方法について調べ、まとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	陸上競技におけるトレーニングについて調べ、まとめる。（2時間）
第9回	筋力トレーニングについて	
	事前学習（内容・時間）	筋力を向上させるトレーニングについて考え、まとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	効率的な筋力向上トレーニングを考え、レポートにまとめる。（2時間）
第10回	食事と筋力トレーニングについて	
	事前学習（内容・時間）	トレーニングに必要な食事について、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	トレーニングに必要な、食事例を作成する。（2時間）
第11回	力とパワーについて	
	事前学習（内容・時間）	力とパワーの違いについて調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	パワー向上のトレーニングについて、レポートにまとめる。（2時間）
第12回	陸上競技におけるウエイトトレーニングについて	
	事前学習（内容・時間）	陸上競技に必要なウエイトトレーニングについて調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	陸上競技に必要なウエイトトレーニングを実践する。（2時間）
第13回	スポーツバイオメカニクスについて（並進運動について）	
	事前学習（内容・時間）	運動学と運動力学について調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日頃のトレーニングをバイオメカニクス的観点（並進運動）から調べ、まとめる。（2時間）
第14回	スポーツバイオメカニクスについて（回転運動について）	
	事前学習（内容・時間）	回転運動について調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日頃のトレーニングをバイオメカニクス的観点（回転運動）から調べ、まとめる。（2時間）
第15回	陸上競技におけるスポーツバイオメカニクスについて	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチ・ショートニング・サイクルについて調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	陸上競技に必要なトレーニングについて、バイオメカニクス的視点から考える。（2時間）
第16回	持久力のトレーニングについて	
	事前学習（内容・時間）	持久力向上のトレーニングを調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	持久力向上のトレーニングを実践する。（2時間）

第17回	陸上競技における運動生理学について	
	事前学習 （内容・時間）	乳酸について調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	陸上競技に必要なトレーニングについて、運動生理学的観点から考える。（2時間）
第18回	ハイパフォーマンス発揮のためのコンディショニング管理について	
	事前学習 （内容・時間）	実践しているコンディショニング管理方法についてまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ハイパフォーマンス発揮のためのコンディショニング管理方法を実践する。（2時間）
第19回	スポーツマネジメントについて	
	事前学習 （内容・時間）	自立した部活動運営の方法を調べて、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自立した部活動運営の計画書を作成する。（2時間）
第20回	コーチング学について	
	事前学習 （内容・時間）	コーチングに必要な行動を調べ、まとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	コーチング計画を作成する。（2時間）
第21回	コーチング計画の作成	
	事前学習 （内容・時間）	コーチングモデルについて調べ、まとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	コーチングモデルを意識した、長期的なコーチング計画を作成する。（2時間）
第22回	陸上競技におけるコーチングの事例	
	事前学習 （内容・時間）	陸上競技におけるコーチング事例を調べ、まとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	自分自身をコーチングする際の計画を作成する。（2時間）
第23回	論文抄読会	
	事前学習 （内容・時間）	興味のある論文を調べ、抄録を作成する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表した抄録を、スライドの発表資料にまとめる。（2時間）
第24回	トレーニング効果の測定方法について（各種ジャンプ能力の測定）	
	事前学習 （内容・時間）	身近なトレーニングの測定方法を調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	測定結果について、考察を行う。（2時間）

第25回	トレーニング効果の測定方法について（体組成の測定）	
	事前学習 （内容・時間）	身近なトレーニングの測定方法を調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	測定結果について、考察を行う。（2時間）
第26回	トレーニング効果の測定方法について（スプリント能力の測定）	
	事前学習 （内容・時間）	身近なトレーニングの測定方法を調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	測定結果について、考察を行う。（2時間）
第27回	トレーニング効果の測定方法について（各種ジャンプ能力の測定）	
	事前学習 （内容・時間）	身近なトレーニングの測定方法を調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	測定結果について、考察を行う。（2時間）
第28回	イベント開催計画の立案	
	事前学習 （内容・時間）	イベントの目的、集客方法、計画を考えてくる（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	フィードバックを踏まえ、イベントの目的、集客方法、計画を改善する。（2時間）
第29回	イベントの開催	
	事前学習 （内容・時間）	イベントの計画を再確認する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	開催結果について、反省をノートにまとめる。（2時間）
第30回	レポート作成	
	事前学習 （内容・時間）	興味のあるテーマについて調べ、レポートにまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分について調べ、レポートに反映させる。（2時間）
第31回 （定期試験）	レポートの提出を定期試験とする。	

ナンバリング (Numbering)
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎演習 （英検基礎）	～225	2年生前・通年	4単位	必修	藤内響子

オンライン授業 Online Class	無	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	有

履修の前提条件 Course Prerequisites	英語や英文法、及び歴史や文化に関心のある学生を求めます。

授業概要　Course Outline

英検準2級以上の合格を目指して、毎回文法事項を中心に学習します。教科書およびプリントの宿題確認後、新しい項目を学習し、質問を共有しながら言語理解を深めます。授業後は、宿題をやることで、同時に復習を行い、定着度は小テストで確認します。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

英語という言語をより深く理解し、各自の目指す英検の級に合格すること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学習はあくまでも能動的でなければなりません。自ら知識を獲得しようと努力する態度を常に忘れないでください。授業に積極的に参加し、予習や発表をきちんと行うことが大切です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

希望者はメールで連絡して下さい。Email:fujiuchi@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

英語検定試験; TOEICなど。
ポートフォリオの作成やGoogle Classroomによる課題確認を通して学習を確認します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語 Evergreen English Grammar	いいずな書店編集部	いいずな書店	978-4-86460-360-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語 Evergreen	川崎芳人 他	いいずな書店	978-4-86460-721-6 C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学修の取組みについて、メールまたはGoogleclassroomでお問い合わせください。折り返して連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction　文の成り立ち	
	事前学習（内容・時間）	教科書のはしがきを読んで、教科書を確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の把握と課題（2時間）
第2回	動詞と文型（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第3回	動詞と文型（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第4回	動詞と時制（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第5回	動詞と時制（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第6回	動詞と時制（3）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第7回	完了形（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第8回	完了形（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第9回	助動詞（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第10回	助動詞（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第11回	態（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第12回	態（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第13回	不定詞（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第14回	不定詞（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第15回	不定詞（3）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第16回	動名詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）

第17回	動名詞と不定詞	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第18回	分詞（1）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第19回	分詞（2）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第20回	分詞（3）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第21回	文の種類（1）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第22回	文の種類（2）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第23回	比較(1)	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第24回	比較（2）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第25回	関係詞（1）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第26回	関係詞（2）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第27回	関係詞（3）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第28回	仮定法（1）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第29回	仮定法（2）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第30回	仮定法（3）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第31回 （定期試験）	確認テスト	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6751-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ（実践的社会人基礎力養成）	～225	2年生・通年	4単位	必修	秋吉浩志

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎ゼミに関しては、マーケティング論、建学の精神と人生、スタディースキルの単位取得済、消費者行動論を履修している学生を希望しています。学外活動が多く、時間割のゼミ活動時間以外の活動が多いため、多くの時間や日にちを確保できる学生を求めます。留学生は日本語能力に自信のある学生を求めます。（最低N2は取得している学生を求めます）

授業概要　Course Outline

本年度は、社会の問題解決、街おこし、地方創生、エンターテーメントなどの実践的専門書などをゼミで読みます。（輪読）さらに実践的なマーケティング活動をベースにその内容に沿ったような学外の企業や団体、個人経営者、従業員などとの実践的な共同作業やゼミが関わっている幾つかの学外プロジェクトに参加していただきます。
また、専門ゼミ生が参加している各種コンペにも参加していただきます。
※なお、ディプロマポリシー＆カリキュラムポリシーの方針に基づいて、ゼミは進行していく。特にカリキュラムポリシーの条件を念頭にゼミを進めていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

3年次の専門ゼミに向けた研究や社会的実践活動などの基礎学力や社会人基礎力等を磨き、専門ゼミに対応できる、学力や実践力等を身につけることを第１の目標とします。特に就職活動が早くなっているので、その準備も並行して行います。
（外部の方が、一緒に仕事やチーム活動などがやりたいと思えるような学生人材を育てたい）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

アクティブラーニングの内容としては、事前学習型授業、反転授業、調査学習、フィールドワーク、双方向アンケート、グループワーク、対話・議論型授業、ロールプレイ、プレゼンテーション、模擬授業、PBLなど、現在多く利用されている方法を組み合わせて、ゼミ活動を行っていく。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究は質問からはじまります。教員に直接聞いてください
メール：akiyoshi@g.kiis.ac.jp
アポイントをとって、必ず「１人で」面接に来てください。
その面接において、面接態度、教員に対する聞く力、話す力、考える力、社会的常識などの有無などを考慮して、総合的に判断します。成績とGPAは参考程度とします。それ以降の募集期間中の面接は不可です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ゼミ活動への積極的参加度、学習到達目標への到達度、社会人的基礎力の到達度などを総合的に判断して、評価します。
ポートフォリオ・ルーブリックに関してはGoogleフォームで毎回確認をとります。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ネットビジネス進化論　何が「成功」をもたらすのか（絶版になっているため古本で購入してください）	尾原和啓	NHK出版	978-4140818213

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
推しエコノミー「仮想一等地」が変えるエンタメの未来	中山 淳雄	日経BP	978-4296000357
エンタメビジネス全史 「IP先進国ニッポン」の誕生と構造	中山 淳雄	日経BP	978-4296001439

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

主にゼミの課題、アクティブラーニング等（60%）、試験や出席、ゼミへの総合的な取り組み等（40%）として判定します。そして、ゼミ活動への積極的参加度、学習到達目標への到達度、社会人的基礎力の到達度などを総合的に判断して、評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

課題の提出がありますが、それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス及び研究の進行について	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの進行について質問をまとめておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	内容をしっかりと復習すること（2h）
第2回	レジュメの切り方	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	内容をしっかりと復習すること（2h）
第3回	読解力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	自分で理解したことを、フォームに残しておく（2h）
第4回	読解力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	自分で理解したことを、フォームに残しておく（2h）
第5回	読解力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	自分で理解したことを、フォームに残しておく（2h）
第6回	読解力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	自分で理解したことを、フォームに残しておく（2h）
第7回	プレゼンカを磨く	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	練習したことを漏らさず自分の中に落とし込むよう記録に残す（2h）
第8回	プレゼンカを磨く	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	練習したことを漏らさず自分の中に落とし込むよう記録に残す（2h）
第9回	プレゼンカを磨く	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	練習したことを漏らさず自分の中に落とし込むよう記録に残す（2h）
第10回	コンペディションに向けて	
	事前学習（内容・時間）	毎回新しく発見したことなど、自分の担当個所などをチェックしておく（2h）
	事後学習（内容・時間）	経験してきたことを漏らさず自分の中に落とし込むよう記録に残す（2h）
第11回	コンペディションに向けて	
	事前学習（内容・時間）	毎回新しく発見したことなど、自分の担当個所などをチェックしておく（2h）
	事後学習（内容・時間）	経験してきたことを漏らさず自分の中に落とし込むよう記録に残す（2h）
第12回	コンペディションに向けて	
	事前学習（内容・時間）	毎回新しく発見したことなど、自分の担当個所などをチェックしておく（2h）
	事後学習（内容・時間）	経験してきたことを漏らさず自分の中に落とし込むよう記録に残す（2h）
第13回	地方創生事業から地域問題を考える（問題解決を考える）	
	事前学習（内容・時間）	学外活動が多くなるので、基本的な行動をチェックしておくこと
	事後学習（内容・時間）	この日に得たことなどをレポートに上げること（2h）
第14回	地方創生事業から地域問題を考える（問題解決を考える）	
	事前学習（内容・時間）	学外活動が多くなるので、基本的な行動をチェックしておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	この日に得たことなどをレポートに上げること（2h）
第15回	地方創生事業から地域問題を考える（問題解決を考える）	
	事前学習（内容・時間）	学外活動が多くなるので、基本的な行動をチェックしておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	この日に得たことなどをレポートに上げること（2h）
第16回	地方創生事業から地域問題を考える（問題解決を考える）	
	事前学習（内容・時間）	学外活動が多くなるので、基本的な行動をチェックしておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	この日に得たことなどをレポートに上げること（2h）

第17回	マーケティング戦略を実践する	
	事前学習 （内容・時間）	外部の方との交渉、プレゼンをしっかり準備すること（2h）
	事後学習 （内容・時間）	計画書を訂正すること（2h）
第18回	マーケティング戦略を実践する	
	事前学習 （内容・時間）	外部の方との交渉、プレゼンをしっかり準備すること（2h）
	事後学習 （内容・時間）	計画書を訂正すること（2h）
第19回	マーケティング戦略を実践する	
	事前学習 （内容・時間）	外部の方との交渉、プレゼンをしっかり準備すること（2h）
	事後学習 （内容・時間）	計画書を訂正すること（2h）
第20回	企画、運営をプランニングする	
	事前学習 （内容・時間）	企画書、提案書、プレゼンの準備を行うこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	企画書、提案書、プレゼンの修正を行うこと（2h）
第21回	企画、運営をプランニングする	
	事前学習 （内容・時間）	企画書、提案書、プレゼンの準備を行うこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	企画書、提案書、プレゼンの修正を行うこと（2h）
第22回	企画、運営をプランニングする	
	事前学習 （内容・時間）	企画書、提案書、プレゼンの準備を行うこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	企画書、提案書、プレゼンの修正を行うこと（2h）
第23回	社会貢献を考える	
	事前学習 （内容・時間）	これまで学んできたことを活かして事前に課題に取り組むこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	
第24回	社会貢献を考える	
	事前学習 （内容・時間）	これまで学んできたことを活かして事前に課題に取り組むこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第25回	社会貢献を考える	
	事前学習 （内容・時間）	これまで学んできたことを活かして事前に課題に取り組むこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第26回	卒業研究に向けて	
	事前学習 （内容・時間）	今までの中で、自分がやりたい分野を選定し、まとめておくこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	まとめたレポートを提出してもらう（2h）
第27回	インターンシップを考える	
	事前学習 （内容・時間）	インターンシップに参加するための準備を行うこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第28回	インターンシップを考える	
	事前学習 （内容・時間）	インターンシップに参加するための準備を行うこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第29回	インターンシップを考える	
	事前学習 （内容・時間）	インターンシップに参加するための準備を行うこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第30回	次の専門ゼミに向けての準備	
	事前学習 （内容・時間）	自分の中で何を研究テーマとして卒論に取り組むかまとめておくこと（2h）
	事後学習 （内容・時間）	必ず記録に残すこと、計画書を書いてもらう（2h）
第31回 （定期試験）	定期試験は、しっかりとレポートを書いてもらう。1年間経験したことなどを記録に残しているかどうかが試される	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6751-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ（データサイエンス）	～225	2年生・通年	4単位	必修	荒平　高章 宮﨑　　武 中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習I, IIを修得していることが望ましい. 基礎数学を修得していることが望ましい.

授業概要　Course Outline

　データサイエンスという言葉を耳にしない日はないと思います．現在，たくさんのデータで世の中は溢れていて，その中には重大な発見や可能性を秘めたものも多くあります．
　この基礎ゼミでは，あらゆる「データ」に注目して，「データ」を分析・応用する力を養うことを目指します．このカは，今後の学生生活だけでなく，研究活動や就職した後も必要不可欠なものです．
具体的には，ディプロマポリシーに基づき，様々な実験や調査活動を通してデータを取得し，分析し，応用するというサイクルを経験してもらいます．
　また，データ活用（基礎演習）と合同で発表会や活動を実施することがあります．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

あらゆるデータに対して，適切な可視化・分析を行うことができ，得られた知見をもとに応用することができる．
具体的には，
① 論文や関連する文献等を読み，要点をまとめることができる．
② 本演習で使用するデータを分析することができる．
③ 他者が分析したデータや配布されたデータを解釈することができる．
④ 分析したデータをグラフ等で可視化することができる．
⑤ 分析・可視化したデータを他者へ適切に伝えることができる．
⑥ 他者の発表について意見・質問ができる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的には聴講型ではなく，実習を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは各教員の研究室にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：実験ノートに実施した実験内容や調査した内容を記載方法を遵守してまとめること（毎時間）．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
実習内容に応じて資料・文献等を準備する．			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
各担当教員が必要に応じて補助資料を準備する．			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

レポート（60%）と実験ノートおよびグループ発表（40%）で評価する．

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

学期末に実験ノートを回収し，各学生の取り組み度合を教員が把握し，ゼミ内の時間で各学生に応じてフィードバック（具体的な取り組み方法など）を実施する．

授業計画 Course Schedule		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを読み，実施内容等を通読し，疑問点などを整理する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートに基礎的事項を記入し，次週以降の準備をする．(2.0h)
第2回	5分間プレゼンテーション（自己紹介等）	
	事前学習 （内容・時間）	前回のガイダンスの内容の整理をする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	プレゼンテーションの自己分析と他者のプレゼンテーションの分析をする．(2.0h)
第3回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスI （1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第4回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスI （2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第5回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスI （3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	与えられた課題・レポートを完成させ提出する．(2.0h)
第6回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスII （1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第7回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスII （2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第8回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスII （3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	与えられた課題・レポートを完成させ提出する．(2.0h)
第9回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスIII （1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第10回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスIII （2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理をする．(2.0h)
第11回	各教員の研究体験（荒平・宮﨑・中島） オムニバスIII （3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，前の時間の振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	与えられた課題・レポートを完成させ提出する．(2.0h)
第12回	実データ分析（グループ演習）（1）	
	事前学習 （内容・時間）	統計の基礎事項，Excel等でのグラフ化について復習する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	自身の担当する部分について分析・可視化する（2.0h）
第13回	実データ分析（グループ演習）（2）	
	事前学習 （内容・時間）	統計の基礎事項，Excel等でのグラフ化について復習する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	発表資料を作成する．(2.0h)
第14回	実データ分析（グループ演習） 発表 （1）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．(2.0h)
第15回	実データ分析（グループ演習） 発表 （2）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．(2.0h)
第16回	前期の振返り，後期ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	前期の内容を整理する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	講義の内容を整理し，実験ノート等の準備をする．(2.0h)

第17回	各教員の研究紹介（荒平・宮﨑・中島） オムニバスI	
	事前学習 （内容・時間）	前期の担当教員が実施した体験に関する実験ノートの振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートに講義内容をまとめる．（2.0h）
第18回	各教員の研究紹介（荒平・宮﨑・中島） オムニバスII	
	事前学習 （内容・時間）	前期の担当教員が実施した体験に関する実験ノートの振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートに講義内容をまとめる．（2.0h）
第19回	各教員の研究紹介（荒平・宮﨑・中島） オムニバスIII	
	事前学習 （内容・時間）	前期の担当教員が実施した体験に関する実験ノートの振返りをする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートに講義内容をまとめる．（2.0h）
第20回	これまでの内容のまとめ・整理	
	事前学習 （内容・時間）	第１９回までの内容を整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	第１９回までの内容を一枚のスライドにまとめる．（2.0h）
第21回	専門ゼミ選択に係る全体説明会・ゼミフェス	
	事前学習 （内容・時間）	説明を聞きたいゼミの募集要項を通読し，不明な点を明らかにしておく．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	説明会・ゼミフェスでの情報をもとに，希望するゼミの選定および提出書類を作成する．（2.0h）
第22回	実データ分析（個人実施） Ｉ （１）	
	事前学習 （内容・時間）	データ分析の手法の復習，前期のデータ分析実習の振返りを行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	取得するデータについて必要な調査および実験を実施する．（2.0h）
第23回	実データ分析（個人実施） Ｉ （２）	
	事前学習 （内容・時間）	データ分析の手法の復習，取得したデータの分析を行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	取得するデータについて必要な調査および実験を実施する．（2.0h）
第24回	実データ分析（個人実施） Ｉ 発表 （１）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．（2.0h）
第25回	実データ分析（個人実施） Ｉ 発表 （２）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．（2.0h）
第26回	実データ分析（個人実施） Ⅱ （１）	
	事前学習 （内容・時間）	データ分析の手法の復習，前期のデータ分析実習の振返りを行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	取得するデータについて必要な調査および実験を実施する．（2.0h）
第27回	実データ分析（個人実施） Ⅱ （２）	
	事前学習 （内容・時間）	データ分析の手法の復習，取得したデータの分析を行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	取得するデータについて必要な調査および実験を実施する．（2.0h）
第28回	実データ分析（個人実施） Ⅱ 発表 （１）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．（2.0h）
第29回	実データ分析（個人実施） Ⅱ 発表 （２）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員や学生から指摘された事項に対して，発表資料に反映させる．（2.0h）
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	第２９回目までの内容を整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートを完成させ，提出する．（2.0h）
第31回 （定期試験）	実験ノート・レポートを提出後，評価する．	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6751-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ（ベンチャー・流通マーケット）	～225	2年生・通年	4単位	必修	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・企業に雇われてサラリーマンになることを当然とせず，広く社会の仕組みや社会人としての常識を理解しつつ，自らの事業を創造していくなど，社会で活躍できるビジネスマンになるための気概が望まれます。企業経営に興味があり，将来，起業したいと思っている熱意のある学生を歓迎します。 ・新聞・雑誌やWebニュース等を読む習慣を身に付けるなど，社会のあらゆる事象に興味を持ち，自身の人生を成り行きに任せるのではなく，自分の理想とする社会，仕事，働く意義ややり甲斐とは何かを考え，前向きに生きようとする事が前提です。

授業概要　Course Outline

テーマ：ベンチャー・流通マーケティング
・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。
・ベンチャー・流通マーケティングなど「企業経営」に係わる分野だけでなく，社会人として必要な基礎知識や思考能力など，幅広い分野を基礎から学習します（読む・書く・話す・聞くなどコミュニケーション能力の訓練等）。
・名刺・自己紹介ツール，イベント企画書，各種計画書等の作成，PDCAサイクルの実践等，商業施設見学，展示会やイベント等の参加，人脈（ネットワーク）の作り方，会社の設立（起業）の仕方，お金の儲け方（マーケティング・事業運営），お金の集め方（資金調達），事業計画の作り方，売上見込みの作り方，一流企業への就職・独立開業して成功する・幸せな人生をおくる方法など
・毎回，自分の考えを述べてもらうなどのディスカッション形式で進めます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・専門ゼミを含む3年次以降の専門科目を理解するために必要な基礎知識（読み，書き，話す能力等）および基礎的な経営学関連科目について理解している。
・社会の仕組みや「企業経営」を理解し，主体的に「ビジネス」について考えられるようになる。
・最終的には，IT人材（高度情報化人材）として，流通やマーケティングおよびビジネスについて思考・考察し，その内容をまとめ，発表する（プレゼンテーション）能力を培っていきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型・演習型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応するとともに，自身の考えを積極的に発表してもらいます。
・また土日や放課後等を使った集中講義（特別講義）やビデオ演習，学外の企業・店舗の視察や損益分析などのビジネスシミュレーション等々を行います。視察やビデオに基づきディスカッションを行うなど，情報収集能力（聞き取り力，メモ力等）や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得や就職対策等々を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・グループLINEにより，教員だけでなくゼミ生全員の情報交換とコミュニケーションを図ります。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
販売士ハンドブック	日本商工会議所	株式会社カリアック	ー

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
企業経営入門	井上・遠藤・山本	中央経済社	978-4-502-42681-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：提出された課題・レポート・成果物等の内容（60%），平常点（出席率やディスカッションへの参加状況，各種レポートの作成・提出状況，資格試験等への取り組み，ポートフォリオの活用や教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（40%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：広く社会の仕組みや企業経営およびビジネスや仕事の意義等について理解している。自分自身でビジネスアイディアを考案・検討することができる。また各種の資格にも挑むくらい，経営学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

基本的には，Googleクラスルームを使って，適宜，学習状況について質問等を受け付け，フィードバックおよび助言・指導をします。また試験結果を踏まえたフィードバックも，必要に応じてGoogleクラスルームを通じて行います。その他，連絡事項等もGoogleクラスルームを活用するため，連絡メッセージ等はよく確認するようにして下さい。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習（内容・時間）	シラバス，テキストの確認と興味あるビジネスに関する検討，自己紹介の準備（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容およびテキスト・配布資料等の再確認と演習・課題（自己紹介ワークシート）の実施（2時間）
第2回	自己紹介を通じたコニュニケーションスキルの醸成①	
	事前学習（内容・時間）	前回配布資料等の再確認と演習・課題（宿題：自己紹介ワークシート）の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容およびテキスト・配布資料等の再確認と関連情報の収集・考察（2時間）
第3回	自己紹介を通じたコニュニケーションスキルの醸成②（やり直し含む）（名刺の作成と名刺交換のロールプレイ）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：名刺作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第4回	キャリアプランとスケジュール管理（資格取得計画含む）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：スケジュール管理法の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第5回	労働生産性と商品の付加価値についての検討（筍掘り）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：筍掘りの情報収集）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第6回	漢字問題・文章作成問題（記述のセオリー：演習）①	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：記述のセオリー）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第7回	漢字問題・文章作成問題（記述のセオリー：演習＋解答確認）②	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：記述のセオリー）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第8回	企画書の作成（宝満登山の案内）①	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：宝満登山企画書作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第9回	企画書の作成（宝満登山の案内：企画書の評価と解答例の確認）②	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：宝満登山企画書作成・評価）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第10回	商業施設見学の検討	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：見学候補の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第11回	商業施設見学（SC，アウトレットその他）の実施・総括	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：見学レポートの作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第12回	時事問題（演習：思考力訓練）①	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：時事問題①）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第13回	地域イベント・施設産業等の視察とマーケティングの考察（山笠，みずほpaypayドーム等）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：見学レポート作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第14回	大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト応募への検討①	
	事前学習（内容・時間）	学びたい事など，自分自身で企業経営や社会的事象等に関する情報収集を行う（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第15回	夏休みの行動計画（宿題：ビジネスアイディアの検討含む）と前期の総括	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：夏休み計画の作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第16回	夏休みの結果報告（宿題：ビジネスアイディアの検討含む）と後期の講義計画	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：結果報告書の作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）

第17回	大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト応募への検討②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：VBPの検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第18回	学園祭出店計画（演習：思考力訓練）①	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：出店の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第19回	学園祭出店計画（演習：思考力訓練）②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：出店計画の作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第20回	展示会（ギフトショー等）の視察	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：展示会への応募）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第21回	展示会（ギフトショー等）視察の総括	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：視察レポートの作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第22回	時事問題（演習：思考力訓練）②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：演習問題②）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第23回	時事問題（演習：思考力訓練）③	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：演習問題③）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第24回	大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト ファイナルの見学	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：事前情報収集）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）

第25回	企画書の作成（ゼミイベント：学外学習，旅行企画等）③	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：企画の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第26回	企画書の作成（ゼミイベント：企画書の評価と総括）④	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：企画の評価）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第27回	冬休みの行動計画（宿題：3年次の計画含む）と前期の総括	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：計画の作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第28回	冬休みの結果報告（宿題：3年次の計画含む）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：結果報告書の作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第29回	時事問題（演習：思考力訓練）④	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：演習問題④）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第30回	春休みの行動計画（宿題：ビジネスアイディアの検討含む）と後期の総括	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第31回 （定期試験）	期末試験：課題・レポート・成果物等の提出と発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6751-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ （ﾋﾞｼﾞﾈｽ×ﾃﾞｼﾞﾀﾙの最前線を学ぶⅠ）	～225	2年生・通年	4単位	必修	澤井　雅明

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	昨今のデジタルビジネスの理解を深め、将来はビジネスパーソンとして活躍したいと考えている人が望ましい。 プレゼンテーション資料の準備・発表があります。 自身の発表以外の授業の際も、ディスカッションに積極的に参加し、発言してもらうことを求めます。

授業概要　Course Outline

進化の激しいデジタル技術は、ビジネスに大きな影響を与えています。本ゼミでは、デジタル技術がどのようにビジネスの運営・管理・戦略に影響を与えているかについて分析し、企業がデジタルツールやデータを用いて目標を達成しようとする方法について学びます。
世の中の様々な商品・サービスに利用されているデジタル技術に焦点を当て、どのようにイノベーションを創出し、ビジネスを成功に導こうとしているのかについて、具体的な事例を通じて理解を進めることが本ゼミの目標となります。
この1年間の授業はディプロマポリシーⅢに向け、カリキュラムポリシーⅠ及びⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を修得し、自己成長を遂げます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

3年次以降の専門科目の理解のために必要な基礎知識を理解していきます。
企業のデジタルビジネスを分析し、内実を理解できるようになるとともに、その内容をまとめ、発表する能力を習得していきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
②企業事例を紹介する教材を準備し、実際のビジネスシーンを体感できるような講義を行います。
③プレゼンテーション資料の作成や発表を行ってもらい、その内容について全員でディスカッションを進めて行きます。
④毎回の授業の終わりに授業内容をまとめた課題とレポート提出があります。またコメントカードの作成・提出もお願いしますので、感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『企業経営入門』	井上善海・遠藤真紀・山本公平	中央経済社	978-4-502-42681-0
『情報を儲けに変える イラスト図解 小さな会社のIoTマーケティング』	澤井雅明	日本実業出版社	978-4-534-05748-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

ゼミに対する日頃の取り組み（50%）と、与えられた課題や報告のレベル（50%）を基に評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	本授業のテーマについてネット検索等で調べ、疑問点を整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	受講のためのネットワーク環境や資料を整備する（2.0h）。
第2回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（1）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第3回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（2）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第4回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（3）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第5回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（4）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第6回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（5）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第7回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（6）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第8回	デジタルビジネス入門（1）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第9回	デジタルビジネス入門（2）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第10回	デジタルビジネス入門（3）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第11回	デジタルビジネス入門（4）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第12回	デジタルビジネス入門（5）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第13回	デジタルビジネス入門（6）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第14回	プレゼン資料作成	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、疑問点を抽出し整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業内容の整理を行い、次回以降の授業で活用できるよう準備しておく（2.0h）。
第15回	秋学期のガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	ここまでの学修成果を整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	今後の調査内容とスケジュールの確認・整理を行う（2.0h）。
第16回	プレゼン・ディスカッションの方法	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて、疑問点を抽出し整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業内容の整理を行い、次回以降の授業で活用できるよう準備しておく（2.0h）。

第17回	収集情報の報告と共有（1）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第18回	収集情報の報告と共有（2）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第19回	収集情報の報告と共有（3）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第20回	収集情報の報告と共有（4）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第21回	収集情報の報告と共有（5）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第22回	収集情報の報告と共有（6）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第23回	収集情報の報告と共有（7）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第24回	収集情報の報告と共有（8）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第25回	収集情報の報告と共有（9）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第26回	収集情報の報告と共有（10）	
	事前学習 （内容・時間）	プレゼン資料・発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	自身や他メンバーの発表・ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第27回	今後の課題の明確化（1）	
	事前学習 （内容・時間）	1年の学修成果を振り返り、自分なりに成果と課題を整理し、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業で得た知見などを整理する（2.0h）。
第28回	今後の課題の明確化（2）	
	事前学習 （内容・時間）	1年の学修成果を振り返り、自分なりに成果と課題を整理し、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業で得た知見などを整理する（2.0h）。
第29回	今後の課題の明確化（3）	
	事前学習 （内容・時間）	1年の学修成果を振り返り、自分なりに成果と課題を整理し、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業で得た知見などを整理する（2.0h）。
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	1年間のゼミ活動、学修成果をまとめる（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	これまでの成果をまとめ説明できるようにする（2.0h）。
第31回 （定期試験）	期末試験：課題・レポート・成果物等の提出と発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6751-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ（経営史／労働政策入門）	～225	2年生・通年	4単位	必修	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・経営学総論Ⅰ、マーケティング論、簿記Ⅰ、会計学、建学の精神と人生の各科目を履修し、単位を取得していること。 ・留学生は、日本語能力試験（JLPT）N2に合格していること。

授業概要　Course Outline

この授業は、経営史、および労務管理の専門書を用いて、文献の読み方と整理の仕方、さらには、学術論文を執筆する際の基本的なプロトコルや、PowerPointを用いたプレゼンテーションの仕方などを身に付けることを主な目的とする。本学の必修である「卒業研究」を円滑に進め、最終成果物としての「卒業論文」を正しく執筆するための知識を身に付けることで、創造的な思考力や論理的な思考力を高め、社会の様々な事象、とりわけ企業の成り立ちや成長企業・衰退企業の特徴、さらには、人的資源の活用や雇用に関する問題などに触れることで、本学ディプロマポリシーⅤに示すような、広範囲に対応できる複眼的な知識や理解、汎用的な技能を獲得し、それらを総合的に活用することで、自ら立てた新たな課題に適用させることにより、その課題を解決することができる主体的でかつ実践的な思考力を身に付けることが可能になる。そのために、マインドマップの手法を用いて思考力の整理とアウトプットの具体的な方法を学び、活用をしていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

（1）学術論文を読んで考える力、議論する力が身に付いた。
（2）学術論文を執筆できる基礎的な力が身に付いた。
（3）教員と学生、学生どおしの交流を深めることにより、人間的な成長をはかることができた。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容と関連させて、個人発表やグループ・ディスカッションを導入する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認については、kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営史入門シリーズ 経営史＜第2版＞	安部悦生	日本経済新聞社	978-4-532-11218-9
ゼロからわかる大学生のための レポート・論文の書き方	石井一成	ナツメ社	978-4-8163-5057-3
人事労務管理入門	今野浩一郎	日本経済新聞社	978-4-532-11190-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マインドマップ練習帳 即効 だれでも・やさしくまなべる	片岡俊行	秀和システム	4-7980-1229-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

グループワーク・討論への取り組み（15%）とレポート（15%）、及び定期試験（70%）に基づき判断し、評価をする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（基礎ゼミの内容、授業の進め方、成績評価の方法についての説明）	
	事前学習（内容・時間）	2024年度 基礎ゼミ・演習ガイドブックを通読しておく （2.0）
	事後学習（内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理 （2.0）
第2回	マインドマップとは	
	事前学習（内容・時間）	マインドマップの概要について、配布資料を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	マインドマップとは何かについて整理する。 （2.0）
第3回	マインドマップとはマップの書き方とルール、練習問題（1）	
	事前学習（内容・時間）	マインドマップの書き方について、配布資料を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	練習問題の確認とマインドマップの書き方について整理する。 （2.0）
第4回	見やすいマインドマップを作ろう、練習問題（2）	
	事前学習（内容・時間）	見やすいマインドマップの作成方法について、配布資料を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	練習問題の確認と見やすいマインドマップの作成方法について整理する。 （2.0）
第5回	まとめながらメモを取る方法	
	事前学習（内容・時間）	まとめながらメモを取る方法について、配布資料を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	まとめながらメモを取る方法について整理をする。 （2.0）
第6回	さらに見やすいメモのテクニック、練習問題（3）、マインドマップのまとめ	
	事前学習（内容・時間）	マインドマップの基本的知識のまとめについて、配布資料を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	練習問題の確認とマインドマップの基本的知識についての整理をする。 （2.0）
第7回	経営史はなぜ必要か	
	事前学習（内容・時間）	テキスト13頁～19頁を通読する （2.0）
	事後学習（内容・時間）	テキスト13頁～19頁の内容をマインドマップでまとめる。要約の作成。 （2.0）
第8回	Ⅰ戦略商品と経済覇権の変遷　1．市場と商品	
	事前学習（内容・時間）	テキスト22頁～26頁を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	テキスト22頁～26頁の内容をマインドマップでまとめる。要約の作成。 （2.0）
第9回	2．第一次産業革命－パックス・ブリタニカ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト27頁～33頁を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	テキスト27頁～33頁の内容をマインドマップでまとめる。要約の作成。 （2.0）
第10回	3．第2次産業革命－パックス・アメリカーナ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト34頁～38頁を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	テキスト34頁～38頁の内容をマインドマップでまとめる。要約の作成。 （2.0）
第11回	4．第3次産業革命－エレクトロニクス革命	
	事前学習（内容・時間）	テキスト38頁～51頁を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	テキスト38頁～51頁の内容をマインドマップでまとめる。要約の作成。 （2.0）
第12回	Ⅱ会社の誕生－イギリスの産業革命　1．企業と企業家	
	事前学習（内容・時間）	テキスト54頁～62頁を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	テキスト54頁～62頁の内容をマインドマップでまとめる。要約の作成。 （2.0）
第13回	2．工場と会社の誕生－木綿工業	
	事前学習（内容・時間）	テキスト62頁～74頁を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	テキスト62頁～74頁の内容をマインドマップでまとめる。要約の作成。 （2.0）
第14回	3．重工業における技術革新と市場－製鉄業	
	事前学習（内容・時間）	テキスト74頁～81頁を通読する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	テキスト74頁～81頁の内容をマインドマップでまとめる。要約の作成。 （2.0）
第15回	まとめと発表－マインドマップと要約の作成、PowerPointによる発表	
	事前学習（内容・時間）	第8回、第12回の要約をもとにPowerPointで発表資料を作成する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	発表内容の振り返りと自己評価を行う。（振り返りシートの作成）。 （2.0）
第16回	レポート・論文とは	
	事前学習（内容・時間）	レポート・論文とはどのようなものかについてテキストを通読して理解する。 （2.0）
	事後学習（内容・時間）	レポート・論文とはどのようなものかを整理する。 （2.0）

第17回	レポート作成の基本		
	事前学習（内容・時間）	レポート作成の基本についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	レポート作成の基本について整理する。	（2.0）
第18回	論文を書くための10のステップ		
	事前学習（内容・時間）	論文を書くための10のステップについてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	論文を書くための10のステップについて整理する。	（2.0）
第19回	テーマ設定の仕方		
	事前学習（内容・時間）	テーマ設定の仕方についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	テーマ設定の仕方について整理する。	（2.0）
第20回	基本資料の収集とその方法		
	事前学習（内容・時間）	基本資料の収集とその方法についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	基本資料の収集とその方法について整理する。	（2.0）
第21回	「先行研究」の重要性		
	事前学習（内容・時間）	「先行研究」の重要性についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	「先行研究」の重要性について整理する。	（2.0）
第22回	章立ての作り方		
	事前学習（内容・時間）	章立ての作り方についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	章立ての作り方について整理する。	（2.0）
第23回	論文にふさわしい文章の作り方		
	事前学習（内容・時間）	論文にふさわしい文章の作り方についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	論文にふさわしい文章の作り方について整理する。	（2.0）
第24回	日本語表記上のルール		
	事前学習（内容・時間）	日本語表記上のルールについてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	日本語表記上のルールについて整理する。	（2.0）
第25回	引用の基本		
	事前学習（内容・時間）	引用の基本についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	引用の基本について理解する。	（2.0）
第26回	参考文献一覧の作り方		
	事前学習（内容・時間）	参考文献一覧の作り方についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	参考文献一覧の作り方について理解する。	（2.0）
第27回	卒業論文作成に向けて		
	事前学習（内容・時間）	卒業論文作成にむけてについてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	卒業論文作成に向けてについて整理する。	（2.0）
第28回	卒業論文の体裁と章構成の実際		
	事前学習（内容・時間）	卒業論文の体裁と章構成の実際についてテキストを通読して理解する。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	卒業論文の体裁と章構成の実際について整理する。	（2.0）
第29回	論文を書いてみよう（1）		
	事前学習（内容・時間）	これまでの学習を踏まえて各自テーマを設定して論文の構成を考える。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	各自が設定した論文のテーマと構成の確認。	（2.0）
第30回	論文を書いてみよう（2）		
	事前学習（内容・時間）	各自が設定した論文のテーマと構成をもとに論文を書く準備をする。	（2.0）
	事後学習（内容・時間）	各自が執筆した論文の内容とその評価	（2.0）
第31回（定期試験）	レポートの提出、定期試験の実施		

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6751-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ（ITエンジニア）	～225	2年生・通年	4単位	必修	合田・車・プラマンタ

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	コンピュータのハードウェアやソフトウェアに強い興味があることが望ましい。 情報ネットワーク学科でITエンジニアコース所属が望ましい。 1年生までの必須科目すべてに優秀な成績で合格していることが望ましい。 ITパスポート試験に合格済であること、基本情報技術者試験の合格を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のハードウェア・ソフトウェアについての知識・技能を習得することを目標とする。
シングルボードコンピュータ(Arduino Uno)を題材に、IoT、ITエンジニアについて学ぶ。ITパスポート試験や基本情報技術者試験の学習方法を確認する。Arduinoを使った実習では、ハードウェア・素子はよく使う部品、ソフトウェア・プログラミングでは、C言語を用いて学習を進める。前期のまとめとして、Arduinoを用いたプロジェクトを実施して、後期冒頭で発表する。後期はさらに高度な内容に挑戦する。
※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。開発環境として、Arduino IDE, Google Colaboratory を使用する予定である。オンライン(Zoom)で実施することがある。
※学生の興味・関心や進捗状況によっては順序や内容の一部を変更することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

基本情報技術者試験のA科目（旧午前問題）レベルを理解し、実際に受験・合格を目指す。学内の模擬試験も積極的に受験し、高得点を目指す。
ITエンジニアの幅広い活動範囲を理解し、ハードウェアやソフトウェアの構成についてArduinoを使った実習体験を通して体感・理解する。
3・4年生での専門ゼミ・情報学演習で何をしたいか、大雑把で良いのでテーマ探し・検討を進める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本情報技術者試験レベルの知識に不安がある場合は、過去問題を中心に知識の確認、補強をしてください。まずは各自で、公開問題や問題集を学習してください。
ハードウェア、回路の構成は手間がかかりますが、実際に配置・配線することでしかわからないこともあります。ですから、オンラインでの仮想回路の利用は、動作確認など最小限にして授業時間外に実際に実機を使って手を動かして復習してください。また学習したことを授業時間外に振り返るとともに、再構成・まとめ直しするように心がけてください。
不明点・疑問は先送りせずに質問してください。振り返りなどの課題は必ず提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けるほか、所属学生にはLINE他の連絡方法でも受け付けます。なお、所属学生についてはオフィスアワー以外でもできるだけ優先的に対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認としてポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出してください（提出時期については指示します）。
※学内のiパスコンテスト参加者、60%以上の高得点者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。昨年度以前の資料の一部を公開します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
これ1冊でできる！Arduinoではじめる電子工作 超入門 改訂第6版	福田和宏	ソーテック社	978-4800713308

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題・発表資料等）が約40%、
2) 小テスト・前期・後期の学期末レポート・後期冒頭のプロジェクト発表、授業態度等が約60%であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が35%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で35%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス（メンバー紹介、学生、担当教員）、ITエンジニア入門	
	事前学習（内容・時間）	1年生までの自分について知識・技能など現時点の状況を確認する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	各自でArduino Unoを準備する。その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第2回	Arduinoプロジェクト始動（1） Arduino IDEのインストールとサンプルプロジェクト実行（回路・プログラム）	
	事前学習（内容・時間）	Arduino Uno本体および部品群のセットを準備する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業後に何度かArduino IDEでサンプルを実行。その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h
第3回	Arduinoプロジェクト始動（2） Arduinoの構造と起動、参考書の紹介、部品の説明	
	事前学習（内容・時間）	何も参照せずにLED1つを点灯させるプロジェクトを作成・実行してみて不明な点を解消しておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第4回	Arduinoプロジェクトノートの作成と更新、手書きノートの効用と活用方法（抜き打ちチェックあり）	
	事前学習（内容・時間）	綴りノート（A4またはB5)を準備。ノートの取り方について調べておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第5回	Arduinoと部品（1） ブレッドボードの構造と機能、主な用途、よく使われる工夫	
	事前学習（内容・時間）	ブレッドボードの特徴や寸法、種類や価格、仕組みや配置について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第6回	Arduinoと部品（2） シリアル(COM)モニタの活用と電子回路との共存	
	事前学習（内容・時間）	シリアルとパラレル、COMについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第7回	回路図記号、記号の新旧、国際・国内の通用性	
	事前学習（内容・時間）	回路図記号、特に電池、交流電源、電球、LED、抵抗器、コンデンサ、コイルについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第8回	Arduinoを知る、外部から見えない情報（内部状態）を知る方法、わかりやすく整理された表示とは？	
	事前学習（内容・時間）	Arduinoの内部状態とプログラムの変数について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第9回	Arduinoと部品（3） ボタンスイッチと事例	
	事前学習（内容・時間）	日常生活で使っているスイッチやソフトウェアスイッチについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第10回	Arduinoと各種センサ、種類と使用方法	
	事前学習（内容・時間）	各自が持っているセットに入っているセンサー部品やよく使うセンサーについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第11回	Arduinoとプログラム（1） for文をより深く理解、プログラムトレースを書いてみよう！	
	事前学習（内容・時間）	フローチャート（流れ図）や変数、五大装置の復習をする。トレースについて調べる。[2.0]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第12回	Arduinoとプログラム（2） for文をさらに理解、二重ループ、うまく省略したプログラムトレースを書いてみよう！	
	事前学習（内容・時間）	変数表について、特にループを含む場合の変数表について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第13回	Arduinoとプログラム（3） for文を使って、シリアルへ出力、回路へ出力、どう違う？何が似ている？	
	事前学習（内容・時間）	回路でLEDを点灯・消灯させることと、シリアルへ文字を出力されることを比べてみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第14回	Arduino 総合演習： これまでの学習内容を組み合わせる	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学習した内容について、学習ノートでまとまっているか確認。情報を探しやすく工夫。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第15回	前期のまとめ、前期期末レポート出題、夏休みのプロジェクト課題の出題	
	事前学習（内容・時間）	前期期末レポートで何が出題されそうか検討する。プロジェクトのテーマを考える。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	前期全体をを振り返り、期末レポートを作成する。また、夏休みのプロジェクトの計画を立てる。[2.0h]
第16回	後期ガイダンス、夏休みのプロジェクトの成果物回収と振り返り	
	事前学習（内容・時間）	前期全体を振り返り、成果としての夏休みのプロジェクトの発表準備をする。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]

第17回	後期、プレースメント試験（前期の内容、ITパスポート試験過去問題ほか）	
	事前学習（内容・時間）	過去3年間のITパスポート試験の過去問題をやってみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第18回	夏休みのプロジェクト発表（1）	
	事前学習（内容・時間）	発表予定者は発表準備、発表の予定がない場合は、質問案を考える。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第19回	夏休みのプロジェクト発表（2）	
	事前学習（内容・時間）	発表予定者は発表準備、発表の予定がない場合は、質問案を考える。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第20回	前期の総復習、Arduinoプログラミングでよく使う英単語	
	事前学習（内容・時間）	プログラムで出てくる英単語についてまとめたり調べたりする。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第21回	学園祭（紫苑祭）について、いろいろな学内行事、裏方・運用について知ろう	
	事前学習（内容・時間）	学年歴や掲示を見て学内行事を調べる。イベントの運用について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第22回	専門ゼミ・情報学演習の募集について、いろいろな教員・職員と話そう！	
	事前学習（内容・時間）	研究してみたいテーマやそれに近い科目についてシラバスを読んで調べる。教員の研究を調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第23回	Arduinoの高度な出力（1） 1桁の7セグメントLEDによる数字の表示と表示可能な表現	
	事前学習（内容・時間）	日常生活で使っている7セグメントLEDや、LED表示について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第24回	Arduinoの高度な出力（2） 10進数、16進数、昇順、降順、ランダム、いろいろな表示、複数桁	
	事前学習（内容・時間）	7セグメントLEDを1桁使う場合の応用、複数桁使う必要性について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]

第25回	Arduinoの高度な表示（3） 抽象・解釈と見立て、8の字サーキットに見立てる？	
	事前学習（内容・時間）	7セグメント以外のセグメントLEDについて調べる、16進数表示について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第26回	Arduinoの高度な表示（4） 全灯同時点灯と時間差点灯、アニメーション？	
	事前学習（内容・時間）	出力する内容と方法とデバイスについて考察し、調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第27回	IPA情報処理試験：ITパスポート試験のシラバスと共通テスト（1） 情報関係基礎（数学・別冊）、特にプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験の最新版シラバスをダウンロードし、読んでおく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第28回	IPA情報処理試験：ITパスポート試験のシラバスと共通テスト（2） 情報Ⅰ、特にプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	高等学校指導要領解説「情報」をダウンロードし、読んでおく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第29回	最終レポート出題、テーマの解釈とオリジナリティ	
	事前学習（内容・時間）	この1年間で学んだことをどのような観点でまとめるか検討する。いろいろな観点でまとめてみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回を振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第30回	前期・後期を通じたまとめ	
	事前学習（内容・時間）	レポートを書き始める。特に印象に残った内容、興味を惹かれた内容についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	1年間を振り返り、期末（学年末）レポート作成の準備をする。[2.0h]
第31回（定期試験）	期末レポートで実施する	

ナンバリング（Numbering）
1SeBN-6751-24C

科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester		単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ（TOEIC）		～225	2年生・通年		4単位	必修	クリス　フリン
オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること ③英検準2級程度の英語能力は基準 ④留学生の場合JLPT　N1も本格的に目指す						

授業概要　Course Outline

Course outline:

このゼミは、英語力の向上を目的とした1年間の集中講座である。TOEICテストを中心に、新聞記事、オンライン記事、Audio Visual Media、Podcastなど、幅広いテキスト教材を使用し、英語の理解力だけでなく、一般常識や時事問題など、視野を広げていきます。より高いレベルの英語力が身につけば、コミュニケーションや情報収集・発信の効果的なツールとして活用できる。また、教師はプロの翻訳者・通訳者としての資格を生かし、生徒の英語と日本語との関連についての知識を高めます。生徒は教師が企画する課外活動に参加するよう奨励される。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1，3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

The objective of this seminar is for students to reach the level of a score of 600 in the TOEIC test. This will be done through a year of dedicated work concentrating on the 7 parts of the TOEIC L&R test. The first semester will focus on the listening questions and the second semester on the reading questions. Through a number of texts and projects the students will aim to raise their English ability to a level where it can be used in the workplace after graduation. It is also desireable that the students continue on to 専門ゼミⅠ in third year where they can attain over 700 and 専門ゼミⅡ in their final year where they can attain over 800 in the official TOEIC test.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

The students will be actively involved in giving presentations during class on designated topics.
Oral presentations will be a main part of weekly classes. Also, students will be required to create their own TOEIC questions to submit to the class in collaborative tasks promoting active learning.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

Students can contact the teacher through office hour, Google Classrooms or directly by email flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　1月、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに　フリン　までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
TOEIC TEST 単語特急新形式対策	森田　哲也	朝日新聞出版	978-4-02-331536-5

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
公式TOEIC Reading and Listening 1		ETS	978-4-906033-49-2
公式TOEIC Reading and Listening 2		ETS	978-4-906033-50-8
公式TOEIC Reading and Listening 3		ETS	978-4-906033-53-9
公式TOEIC Reading and Listening 4		ETS	978-4-906033-54-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、レポート・提出物など60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルーム（クラスコード42ikoord）にてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題をクラスルームで設定、宿題についてコメントします.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction to the Seminar. Students will introduce themselves in English	
	事前学習（内容・時間）	Prepare oral introductions with powerpoint slides 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise introduction on advice from teacher and viewing other students 2hr
第2回	Introduction to the TOEIC test listening parts 1, 2, 3, 4	
	事前学習（内容・時間）	Look up the listening questions in the library and online 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise classwork exercises of listening questions 2hr
第3回	Introduction to the TOEIC Test reading parts 5, 6, 7	
	事前学習（内容・時間）	Examine the different types of writing exercises in text books in library and online 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise classwork and reading exercises from class 2hr
第4回	TOEIC test Part 1 Picture questions	
	事前学習（内容・時間）	Students research part 1 question and bring a picture to make question 2hr
	事後学習（内容・時間）	Study all the part 1 questions created by students in class 2hr
第5回	TOEIC Part 2 Short answers	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 1 short answer questions from past tests in library and online 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 1 short answer questions 2hr
第6回	TOEIC Part 2 Short answers (continued)	
	事前学習（内容・時間）	Create Part 2 short answer questions for class 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the Part 2 short answer questions created by students 2hr
第7回	TOEIC Part 3 Conversation questions	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 3 conversation questions from past tests in library and online 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 3 conversation questions 2hr
第8回	TOEIC Part 3 Conversation questions （continued）	
	事前学習（内容・時間）	Create Part 3 conversation questions for class 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the Part 3 conversation questions created by students 2hr
第9回	TOEIC Part 4 Single speaker questions	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 4 single speaker questions from past tests in library and online 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 4 single speaker questions 2hr
第10回	TOEIC Part 4 Single speaker questions （continued）	
	事前学習（内容・時間）	Create Part 4 single speaker questions for class 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the Part 4 single speaker questions created by students 2hr
第11回	Other English tests, Eiken	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test books in the library find out what your Eiken level is 2hr
	事後学習（内容・時間）	Download an Eiken test from the official site and do the test. 2hr
第12回	Eiken writing test	
	事前学習（内容・時間）	Revise the writing requirements for your Eiken level 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete a writing test question 2hr
第13回	Other Test TOEFL IBT	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test books in the library examine the 4 parts to the TOEFL test 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete TOEFL tasks designated by teacher 2hr
第14回	Other Test IELTS	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test books in the library examine the 4 parts to the IELTS test 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete IELTS tasks designated by teacher 2hr
第15回	Semester Test Mini TOEIC Test in class	
	事前学習（内容・時間）	Revision of previous TOEIC listening questions 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise your test answers 2hr
第16回	Introduction to Second Semester	
	事前学習（内容・時間）	Revision of previous TOEIC listening 2hr
	事後学習（内容・時間）	Prepare designated materials 2hr

第17回	TOEIC Part 5　short sentences	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in Part 5 past tests in the library 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework tasks Part 5 and revision 2hr
第18回	TOEIC Part 5　short sentences (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in part 5 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 5 homework tasks designated by teacher 2hr
第19回	TOEIC Part 5　short sentences (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Create Part 5 questions 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise all Part 5 questions created by students 2hr
第20回	TOEIC Part 6　Text Completion	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in Part 6 past tests in the library 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework Part 6 tasks and revision 2hr
第21回	TOEIC Part 6　Text Completion (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in part 6 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 6 homework tasks designated by teacher 2hr
第22回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in past Part 6 tests in the library 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homewor Part 6 tasks and revision 2hr
第23回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued）	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in Part 7 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 7 homework tasks designated by teacher 2hr
第24回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued） strategies	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare question answering strategies Part 7 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework task – designate Part 7 strategies 2hr

第25回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued） Tests	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare vocabulary lists for Part 7 test 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise Part 7 tests done in class 2hr
第26回	Mini TOEIC test	
	事前学習 （内容・時間）	Study vocabulary and grammar lists provided by teacher prior to test　2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise corrected test and any mistakes from mini test　2hr
第27回	Eiken Step up level. Students will advance to the next level up for writing exercise in Eiken	
	事前学習 （内容・時間）	Study prior tests and answers to the 2 writing tasks provided by teacher 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Review the 2 writing tasks in your designated level 2hr
第28回	Eiken in-class test. Abbreviated Eiken test in each students' level	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare vocabulary and grammar, writing and listening 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Review the results and mistakes in your test 2hr
第29回	Study TOEIC via news media 1 (provided by teacher in class)	
	事前学習 （内容・時間）	Watch news videos and short documentaries designated by teacher 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Search for similar news reports to present in class 2hr
第30回	Study TOEIC via news media 2 – student presentations	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare news report media and explanation 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise all students' presentations 2hr
第31回 （定期試験）	レポートを課す。自分でTOEIC Testの問題を作成し、提出。	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門演習 Ⅰ 数理・AI・データサイエンス（リテラシーレベル）	～224	3年生・通年	4単位	必修	荒平 高章・中島 直樹・宮崎 武

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	データサイエンスを含む情報系の基礎的な知識・技術の習得に興味があり、データ利活用に関する演習やDAC・eスポーツ部の活動にも積極的に参加できること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、本演習では情報系の基礎的な知識・技術の習得を目指す。具体的には、KIIS数理・AI・データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）の修得を目指すことや、DAC・eスポーツ部といった情報に関連する部活動の様々な活動に参加することなどを行うことなどによって様々な知見を得る。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学の建学の精神に則り、自分自身で設定したそれぞれの目標について学習計画や活動計画を立案し、実践することができる力を得る。また、様々な課外活動を通して、チームワークの重要性や自己管理能力の大切さなどを再確認する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

専門演習の時間以外でも、各担当教員の専門ゼミや具体的な研究についても興味を広げ、自ら調査・学習する力を育てる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などはそれぞれの教員の研究室（653, 273, 274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

卒業論文のテーマとそれに関連する調査内容をまとめた発表資料を作成し、提出してもらいます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
興味のある分野に合わせ 文献や課外活動案などを示す			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
各自のテーマに沿った文献等を教員が準備し、提示する。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

KIIS数理・AI・データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）の修得のための計画書と報告書（40%）
DACやeスポーツ部と合同で活動した際の活動記録（レポート）（40%）
報告等に関するプレゼンテーション（20%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

個人で定めた目標に対する達成度について各教員から助言を演習の時間内で行う．また，学生の問い合わせについては随時答えられる体制を整えておく．

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	前期ガイダンス・履修計画	
	事前学習（内容・時間）	自分の自己管理能力についてまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS数理・AI・データサイエンス教育プログラム修得のための計画を立案し、履修登録を行う（2.0h）
第2回	自己紹介	
	事前学習（内容・時間）	自己紹介の発表用スライドを作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教員や他の参加者から得られたコメントなどを反省させる（2.0h）
第3回	基礎学習①	
	事前学習（内容・時間）	情報系の基礎的な知識について予習しておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第4回	基礎学習②	
	事前学習（内容・時間）	情報系の基礎的な知識について予習しておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第5回	基礎学習③	
	事前学習（内容・時間）	情報系の基礎的な知識について予習しておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第6回	ITパスポート試験の問題研究①	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験の過去問題を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	演習問題や知らなかった知識を再度確認する（2.0h）
第7回	ITパスポート試験の問題研究②	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験の過去問題を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	演習問題や知らなかった知識を再度確認する（2.0h）
第8回	ITパスポート試験の問題研究③	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験の過去問題を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	演習問題や知らなかった知識を再度確認する（2.0h）
第9回	eスポーツ部の紹介	
	事前学習（内容・時間）	eスポーツについて事前調査する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	eスポーツ部のどのような活動に参加するか計画を立てる（2.0h）
第10回	eスポーツ部の活動参加①	
	事前学習（内容・時間）	参加するeスポーツ部の活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	eスポーツ部の活動について記録を残す（2.0h）
第11回	eスポーツ部の活動参加②	
	事前学習（内容・時間）	参加するeスポーツ部の活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	活動に参加してみてどのような感想を得たかレポートにまとめる（2.0h）
第12回	DACの紹介	
	事前学習（内容・時間）	データ分析について事前調査する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	DACのどのような活動に参加するか計画を立てる（2.0h）
第13回	DACの活動参加①	
	事前学習（内容・時間）	参加するDACの活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	DACの活動について記録を残す（2.0h）
第14回	DACの活動参加②	
	事前学習（内容・時間）	参加するDACの活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	活動に参加してみてどのような感想を得たかレポートにまとめる（2.0h）
第15回	前期まとめと後期への準備	
	事前学習（内容・時間）	前期の専門演習で行った内容について記録を集める（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	夏季休業中に行いたい内容をまとめ計画を立てる（2.0h）
第16回	後期ガイダンス・履修計画の見直し	
	事前学習（内容・時間）	夏季休業中に行った内容について要約する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	発表に対する意見や、他の参加者の発表について考えをまとめる（2.0h）

第17回	基礎学習③	
	事前学習 （内容・時間）	情報系の基礎的な知識について予習しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第18回	基礎学習④	
	事前学習 （内容・時間）	情報系の基礎的な知識について予習しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第19回	基礎学習⑤	
	事前学習 （内容・時間）	情報系の基礎的な知識について予習しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第20回	基礎学習⑥	
	事前学習 （内容・時間）	情報系の基礎的な知識について予習しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第21回	eスポーツ部の活動参加③	
	事前学習 （内容・時間）	参加するeスポーツ部の活動について調べておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	eスポーツ部の活動について記録を残す（2.0h）
第22回	eスポーツ部の活動参加④	
	事前学習 （内容・時間）	参加するeスポーツ部の活動について調べておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	eスポーツ部の活動について記録を残す（2.0h）
第23回	eスポーツ部の活動参加⑤	
	事前学習 （内容・時間）	参加するeスポーツ部の活動について調べておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	活動に参加してみてどのような感想を得たかレポートにまとめる（2.0h）
第24回	中間報告	
	事前学習 （内容・時間）	これまでの活動についてまとめて報告する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた内容から自己管理力や今後の活動方針について考える（2.0h）

第25回	DACの活動参加③	
	事前学習 （内容・時間）	参加するDACの活動について調べておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	DACの活動について記録を残す（2.0h）
第26回	DACの活動参加④	
	事前学習 （内容・時間）	参加するDACの活動について調べておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	DACの活動について記録を残す（2.0h）
第27回	DACの活動参加⑤	
	事前学習 （内容・時間）	参加するDACの活動について調べておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	活動に参加してみてどのような感想を得たかレポートにまとめる（2.0h）
第28回	より高度な研究についての調査①	
	事前学習 （内容・時間）	専門ゼミで行われている研究の中で興味のある分野を調べる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実際にどのような研究が行われているかヒアリングを行う（2.0h）
第29回	より高度な研究についての調査②	
	事前学習 （内容・時間）	ヒアリングを行ってきた内容についてプレゼン資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された内容や自分で興味がある事柄について更に調べる（2.0h）
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	1年間の専門演習を通して得られた内容を調べる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	来年度に向けてどのような内容を調べていくのか考える（2.0h）
第31回 （定期試験）	KIIS数理・AI・データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）の修得のための計画書と報告書（40%） DACやeスポーツ部と合同で活動した際の活動記録（レポート）（40%） 報告等に関するプレゼンテーション（20%）	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅰ（簿記検定対策と社会人基礎力）	～224	3年生・通年	4単位	必修	岩下　昌美

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記Ⅰ・Ⅱの単位を取得していること 中級簿記演習を履修していること

授業概要　Course Outline

本演習では，「中級簿記演習」及び「原価計算」の補完的学習や問題集をとおして日本商工会議所主催の簿記検定2級取得を目指し，会計学の分野で活躍できる人材を養成することを目的とします。また，社会人としての素養や礼儀・マナーにもふれ「至心」を備えた人格形成を目指します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催の簿記検定2級の取得と社会人としての基礎的なマナー習得を目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業時，簿記検定の問題を解き，割り当てられた問題の解法を他の受講生へ説明する

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
ただし，研究室への来室は事前にメール（masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格テキスト 日商簿記2級（商業簿記，工業簿記）	TAC簿記検定講座	TAC出版	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格トレーニング 日商簿記2級（商業簿記，工業簿記）	TAC簿記検定講座	TAC出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：検定試験成績（70点），平常点（30点）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の課題取り組み状況で判断する。
成績評価の基準：①2級の取引の仕訳ができるか。②決算整理事項から精算表および財務諸表（貸借対照表，損益計算書，株主資本等変動計算書）が作成できるか。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方について，メールまたはGoogle
クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（年間予定の確認） 簿記2級の仕訳問題（商品売買）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ02（商品売買）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	簿記2級の仕訳問題（現金および預金），銀行勘定調整表作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ03（現金および預金）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	簿記2級の仕訳問題（債権，債務）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ04（債権・債務）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	簿記2級の仕訳問題（有価証券）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ05（有価証券）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	簿記2級の仕訳問題（有形固定資産の取得と減価償却）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ06（有形固定資産（Ⅰ））を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	簿記2級の仕訳問題（有形固定資産の割賦購入，除却と廃棄，買換え，圧縮記帳）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ07（有形固定資産（Ⅱ））を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	簿記2級の仕訳問題（リース取引）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ08（リース取引）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	簿記2級の仕訳問題（無形固定資産等と研究開発費）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ09（無形固定資産等と研究開発費）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第9回	簿記2級の仕訳問題（引当金）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ10（引当金）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	簿記2級の仕訳問題（外貨換算会計）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ11（外貨換算会計）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	簿記2級の仕訳問題（税金）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ12（税金）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	簿記2級の仕訳問題（課税所得の算定と税効果会計）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ14（株式の発行）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	簿記2級の仕訳問題（株式の発行）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ14（課税所得の算定と税効果会計）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	簿記2級の仕訳問題（剰余金の配当と処分）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ15（剰余金の配当と処分）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第15回	簿記2級の仕訳問題（決算手続）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ16（決算手続）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第16回	簿記2級の仕訳問題（収益の認識基準）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ17（収益の認識基準）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）

第17回	簿記2級の仕訳問題（本支店会計）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ18（本支店会計）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第18回	簿記2級の仕訳問題（合併と事業譲渡）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ19（合併と事業譲渡）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第19回	簿記2級の仕訳問題（連結会計：資本連結Ⅰ）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ20，21（連結会計：資本連結Ⅰ・Ⅱ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第20回	簿記2級の仕訳問題（連結会計：成果連結）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ22（連結会計：成果連結）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第21回	簿記2級の仕訳問題（連結会計：連結株主資本等変動計算書）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ23（連結会計：連結株主資本等変動計算書）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第22回	簿記2級の精算表作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ16（決算手続）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第23回	簿記2級の財務諸表（損益計算書）作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ16（決算手続）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第24回	簿記2級の財務諸表（貸借対照表）作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ16（決算手続）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）

第25回	簿記2級の財務諸表（繰越試算表）作成問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ16（決算手続）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第26回	簿記2級の製造業会計問題に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ24（製造業会計）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第27回	卒論の書き方	
	事前学習 （内容・時間）	配布された「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	テーマの候補，目次を検討してください。（2時間）
第28回	簿記2級の工業簿記仕訳問題（材料費，労務費，経費）に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ01～07を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第29回	簿記2級の工業簿記，個別原価計算問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ08（個別原価計算）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第30回	簿記2級の工業簿記，個別原価計算問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ08（個別原価計算）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第31回 （定期試験）	ペーパー試験	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅰ（検定試験対策）	～224	3年生・通年	4単位	必修	山内 進 坂上 宏

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	無断欠席はしないでください。課題に対して積極的に取り組む姿勢が重要です。 学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。			

授業概要　Course Outline

ITパスポート試験対策のための授業を行います。これは、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」に基づくものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

上記の通り、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」を到達目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、過去問題に取り組みます。分からなかったり、間違った問題については、事前・事後学習で再度あたってみる姿勢が望まれます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

363研究室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。
・学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、授業内で指定された期日までに提出してください。　・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見をお伝えする予定です。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
配布資料			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ITパスポート合格教本	岡嶋裕史	技術評論社	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：学内模試「ITパスポートコンテスト」（90%）、平常点（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸの提出状況、授業における姿勢など）（10%）
・成績評価の基準 ：本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験（「ITパスポートコンテスト」）の結果について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス ／ 資料(1)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(1)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（1）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第2回	資料(2)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(2)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（2）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第3回	資料(3)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(3)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（3）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第4回	資料(4)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(4)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（4）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第5回	資料(5)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(5)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（5）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第6回	資料(6)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(6)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（6）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第7回	資料(7)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(7)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（7）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第8回	資料(8)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(8)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（8）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第9回	資料(9)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(9)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（9）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第10回	資料(10)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(10)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（10）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第11回	資料(11)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(11)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（11）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第12回	資料(12)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(12)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（12）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第13回	資料(13)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(13)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（13）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第14回	資料(14)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(14)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（14）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第15回	資料(15)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(15)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（15）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第16回	資料(16)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(16)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料（16）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)

第17回	資料(17)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(17)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(17)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第18回	資料(18)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(18)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(18)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第19回	資料(19)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(19)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(19)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第20回	資料(20)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(20)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(20)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第21回	資料(21)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(21)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(21)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第22回	資料(22)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(22)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(22)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第23回	資料(23)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(23)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(23)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第24回	資料(24)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(24)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(24)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)

第25回	資料(25)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(25)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(25)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第26回	資料(26)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(26)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(26)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第27回	資料(27)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(27)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(27)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第28回	資料(28)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(28)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(28)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第29回	資料(29)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(29)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(29)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第30回	資料(30)の問題に取り組む	
	事前学習 (内容・時間)	資料(30)の問題を回答する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	資料(30)の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第31回 (定期試験)	定期試験:学内模試「ITパスポートコンテスト」 ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出	

ナンバリング（Numbering）						
1SeAN-6762-34C						
科目名 Class		入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習 I		～224	3年生・通年	4単位	必修	全　彰煥
オンライン授業 online class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり			
履修の前提条件 Course Prerequisites	原則的に、3年次留学生を対象とする。					

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」ー「四恩」の⑴親・祖先の御恩　⑵教師・先生の御恩　⑶社会・国家の御恩　⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。

授業内容は、次のとおりである。

① 留学生の日本語力改善のため、漢字の読み書きと作文能力の向上を目指す。
② 時事英語の学習を通してマルチリンガルの国際人としての実力と才能を兼備する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 （Competency Goals）

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解　Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解　Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル　Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル　Mathematics	
	情報リテラシー　Information Literacy	
	論理的思考力　Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力　Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy	○
	自己管理力　Self-management	○
	チームワーク　Teamwork	
	リーダーシップ　Leadership	
	倫理観　Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任　Social Responsibility	○
	生涯学習力　Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験　Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力　Creative Thinking Skills	○

到達目標 （Objectives）

① 日本語能力試験N2以上と漢字検定5，6級の取得と日本語の文章作成能力の向上を目指す。
② 日本語・英語・母国語の比較、対照を通して言語能力の向上を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 （Active Learning）

① テキストの「漢字検定問題集（5，6級）」の課題を自主学習する。
② Google Classroomに提供される「CNN Engkish Express(PDF)」を自主学習する。

教員との連絡方法・オフィスアワー （Office Hour）

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室（453）にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜火＞5限目以後
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

① 外部試験：日本語能力試験、漢検、英検、TOEIC等
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 （Textbooks）

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1.「漢検5、6級、書き込み式、問題集」 2.「CNN English Express」	1. 資格試験対策研究会 2. 竹内祐介	1. 高橋書店 2. 朝日出版社	1. 978-4-471-27570-9 978-4-471-27566-2 2. 4910016330359

参考文献 （Reference Books）

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「書き込み式、漢字ベーシック」	明治書院教科書編集部	明治書院	978-4-625-23404-0

成績評価方法 （Grading Criteria / Method of Evaluation）

課題の発表 ⇒ 30%、授業参加度 ⇒ 30%、平常点（出席等） ⇒ 40%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言） Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

① CNN EEのWorkbook課題を Google Classroom を通じて個別に添削・指導する。
② 毎週与えられる「漢検ミニテスト」課題の確認を通じて日本語の語彙や漢字の読み書きを指導する。
※ 試験の結果や今後の学習の取り組みについて指導と助言をします。メールまたはGoogle Classroomでお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 （Course Schedule）		
テーマ Theme		
第1回	1．漢検問題集6級 － ① 2．CNN English Express ＜3月号 － ①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ① ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ① ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ①＞ ： 2時間
第2回	1．漢検問題集6級 － ② 2．CNN English Express ＜3月号 － ②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ② ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ② ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ②＞ ： 2時間
第3回	1．漢検問題集6級 － ③ 2．CNN English Express ＜3月号 － ③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ③ ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ③ ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ③＞ ： 2時間
第4回	1．漢検問題集6級 － ④ 2．CNN English Express ＜3月号 － ④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ④ ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ④ ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ④＞ ： 2時間
第5回	1．漢検問題集6級 － ⑤ 2．CNN English Express ＜4月号 － ①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑤ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑤ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ①＞ ： 2時間
第6回	1．漢検問題集6級 － ⑥ 2．CNN English Express ＜4月号 － ②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑥ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑥ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ②＞ ： 2時間
第7回	1．漢検問題集6級 － ⑦ 2．CNN English Express ＜4月号 － ③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑦ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑥ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ③＞ ： 2時間
第8回	1．漢検問題集6級 － ⑧ 2．CNN English Express ＜4月号 － ④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑧ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑧ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ④＞ ： 2時間
第9回	1．漢検問題集6級 － ⑨ 2．CNN English Express ＜5月号 － ①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑨ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑨ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ①＞ ： 2時間
第10回	1．漢検問題集6級 － ⑩ 2．CNN English Express ＜5月号 － ②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑩ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑩ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ②＞ ： 2時間
第11回	1．漢検問題集6級 － ⑪ 2．CNN English Express ＜5月号 － ③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑪ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑪ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ③＞ ： 2時間
第12回	1．漢検問題集6級 － ⑫ 2．CNN English Express ＜5月号 － ④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑫ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑫ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ④＞ ： 2時間
第13回	1．漢検問題集6級 － ⑬ 2．CNN English Express ＜6月号 － ①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑬ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑬ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ①＞ ： 2時間
第14回	1．漢検問題集6級 － ⑭ 2．CNN English Express ＜6月号 － ②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑭ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑭ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ②＞ ： 2時間
第15回	1．漢検問題集6級 － ⑮ 2．CNN English Express ＜6月号 － ③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑮ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑮ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ③＞ ： 2時間
第16回	1．漢検問題集6級 － ⑯ 2．CNN English Express ＜6月号 － ④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑯ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集6級 － ⑯ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ④＞ ： 2時間

第17回	1．漢検問題集5級－① 2．CNN English Express ＜7月号－①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－①　：　2時間 2．CNN English Express ＜7月号－①＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－①　：　2時間 2．CNN English Express ＜7月号－①＞　：　2時間
第18回	1．漢検問題集5級－② 2．CNN English Express ＜7月号－②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－②　：　2時間 2．CNN English Express ＜7月号－②＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－②　：　2時間 2．CNN English Express ＜7月号－②＞　：　2時間
第19回	1．漢検問題集5級－③ 2．CNN English Express ＜7月号－③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－③　：　2時間 2．CNN English Express ＜7月号－③＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－③　：　2時間 2．CNN English Express ＜7月号－③＞　：　2時間
第20回	1．漢検問題集5級－④ 2．CNN English Express ＜7月号－④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－④　：　2時間 2．CNN English Express ＜7月号－④＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－④　：　2時間 2．CNN English Express ＜7月号－④＞　：　2時間
第21回	1．漢検問題集5級－⑤ 2．CNN English Express ＜8月号－①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑤　：　2時間 2．CNN English Express ＜8月号－①＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑤　：　2時間 2．CNN English Express ＜8月号－①＞　：　2時間
第22回	1．漢検問題集5級－⑥ 2．CNN English Express ＜8月号－②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑥　：　2時間 2．CNN English Express ＜8月号－②＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑥　：　2時間 2．CNN English Express ＜8月号－②＞　：　2時間
第23回	1．漢検問題集5級－⑦ 2．CNN English Express ＜8月号－③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑦　：　2時間 2．CNN English Express ＜8月号－③＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑦　：　2時間 2．CNN English Express ＜8月号－③＞　：　2時間
第24回	1．漢検問題集5級－⑧ 2．CNN English Express ＜8月号－④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑧　：　2時間 2．CNN English Express ＜8月号－④＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑧　：　2時間 2．CNN English Express ＜8月号－④＞　：　2時間

第25回	1．漢検問題集5級－⑨ 2．CNN English Express ＜9月号－①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑨　：　2時間 2．CNN English Express ＜9月号－①＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑧　：　2時間 2．CNN English Express ＜9月号－①＞　：　2時間
第26回	1．漢検問題集5級－⑩ 2．CNN English Express ＜9月号－②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑩　：　2時間 2．CNN English Express ＜9月号－②＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑩　：　2時間 2．CNN English Express ＜9月号－②＞　：　2時間
第27回	1．漢検問題集5級－⑪ 2．CNN English Express ＜9月号－③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑪　：　2時間 2．CNN English Express ＜9月号－③＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑪　：　2時間 2．CNN English Express ＜9月号－③＞　：　2時間
第28回	1．漢検問題集5級－⑫ 2．CNN English Express ＜9月号－④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑫　：　2時間 2．CNN English Express ＜9月号－④＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑫　：　2時間 2．CNN English Express ＜9月号－④＞　：　2時間
第29回	1．漢検問題集5級－⑬ 2．CNN English Express ＜10月号－①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑬　：　2時間 2．CNN English Express ＜10月号－①＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑬　：　2時間 2．CNN English Express ＜10月号－①＞　：　2時間
第30回	1．漢検問題集5級－⑭ 2．CNN English Express ＜10月号－②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑭　：　2時間 2．CNN English Express ＜10月号－②＞　：　2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集5級－⑭　：　2時間 2．CNN English Express ＜10月号－②＞　：　2時間
第31回	期末試験（課題の提出）	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習 I	～224	3年生・通年	4単位	必修	竹石 洋介

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎演習から内容を深めます。演習 I から参加希望の学生は約束事を必ず守る事。相撲に興味がある学生。イベントの運営に参加し協力できる学生。論文のデータ協力。履修している授業には必ず参加する。卒後に向けて努力する学生。必ず連絡が取れる学生。

授業概要 Course Outline

竹石演習 I は相撲の文化的考察をテーマにした演習 I です。相撲における「伝統的な行動」とは何か、伝統を如何に教えればよいのか。歴史的な相撲研究の成果を踏まえながら、相撲を学ぶ。イベントの運営。論文データの協力。

建学の精神「至心」を進んで実践する豊かな人間性を備えた人材を養成する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

相撲の理解を深める。イベントの概要を理解する。自分の履修している授業に出席する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切 磋琢磨し、学生が主体的に問題を発見し答えを見つける。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（502）にて随時受け付けます。yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
見る・学ぶ・教えるイラスト相撲	日本体育大学武道学研究室 塔尾 武夫・小川 光哉・松本 茂	五月書房	ISBN4-7727-0387-X

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
資料を配布します			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表・レポート提出（20%）、小テスト（20%）、定期試験（60%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言） Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス 演習Ⅰの説明	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第2回	①竹石研究と論文について。 日本体育大学・武道学科 卒業論文 ～相撲の歴史とその指導法～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第3回	②竹石研究と論文について。 日本体育大学・武道学科 卒業論文 ～相撲の歴史とその指導法～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第4回	③竹石研究と論文について。 日本体育大学・武道学科 卒業論文 ～相撲の歴史とその指導法～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第5回	①竹石研究と論文について。 福岡大学・人文学科教育・臨床心理 修士論文 ～相撲の文化史的考察・教材研究の一環として～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第6回	②竹石研究と論文について。 福岡大学・人文学科教育・臨床心理 修士論文 ～相撲の文化史的考察・教材研究の一環として～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第7回	①竹石研究と論文について。 弘前大学・医学研究科 医学博士論文 ～大学駅伝選手における試合後の疲労の蓄積～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第8回	②竹石研究と論文について。 弘前大学・医学研究科 医学博士論文 ～大学駅伝選手における試合後の疲労の蓄積～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第9回	③竹石研究と論文について。 弘前大学・医学研究科 医学博士論文 ～大学駅伝選手における試合後の疲労の蓄積～	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第10回	国際大会 世界相撲選手権・世界女子相撲選手権・世界ジュニア相撲選手権	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第11回	①相撲に類似した競技 モンゴルの相撲・中国の相撲・韓国の相撲	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第12回	②相撲に類似した競技 モンゴルの相撲・中国の相撲・韓国の相撲	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第13回	今日の力士養成のあり方 ～急激な時代変化の中で～ 東洋英和女学院大学大学院 中澤 嗣子	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第14回	①相撲界とは何か 相撲の歴史・財団法人日本相相撲・相撲部屋	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第15回	②相撲界とは何か 相撲の歴史・財団法人日本相相撲・相撲部屋	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)
第16回	③相撲界とは何か 相撲の歴史・財団法人日本相相撲・相撲部屋	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布プリントを復習すること。(2時間)

第17回	ガイダンス 演習Ⅰの説明	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第18回	①力士の生活 本場所相撲と番付・巡業・相撲教習所・相撲部屋の生活・健康管理と治療	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第19回	②力士の生活 本場所相撲と番付・巡業・相撲教習所・相撲部屋の生活・健康管理と治療	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第20回	③力士の生活 本場所相撲と番付・巡業・相撲教習所・相撲部屋の生活・健康管理と治療	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第21回	④力士の生活 本場所相撲と番付・巡業・相撲教習所・相撲部屋の生活・健康管理と治療	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第22回	①力士養成に影響を与えている伝統的な教育観 子やらい・自然本位・若者組・身体を通しての教育・『風姿花伝』「型」の重要性	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第23回	②力士養成に影響を与えている伝統的な教育観 子やらい・自然本位・若者組・身体を通しての教育・『風姿花伝』「型」の重要性	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第24回	③力士養成に影響を与えている伝統的な教育観 子やらい・自然本位・若者組・身体を通しての教育・『風姿花伝』「型」の重要性	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）

第25回	④力士養成に影響を与えている伝統的な教育観 子やらい・自然本位・若者組・身体を通しての教育・『風姿花伝』「型」の重要性	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第26回	①入門までの教育と力士養成の係り 力士養成への学校教育の影響・力士養成への家庭の「しつけ」の影響・新弟子の多様化	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第27回	②入門までの教育と力士養成の係り 力士養成への学校教育の影響・力士養成への家庭の「しつけ」の影響・新弟子の多様化	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第28回	③入門までの教育と力士養成の係り 力士養成への学校教育の影響・力士養成への家庭の「しつけ」の影響・新弟子の多様化	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第29回	④入門までの教育と力士養成の係り 力士養成への学校教育の影響・力士養成への家庭の「しつけ」の影響・新弟子の多様化	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第30回	演習Ⅰ 課題を考察する。	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第31回 （定期試験）	テスト	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅰ（情報分野で自分の能力を探す・磨く）	～224	3年生・通年	4単位	必修	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	2年生・通年		

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報分野において自分の能力を探す・磨くということに積極的に取り組める学生。

授業概要　Course Outline

情報分野の基礎知識を身に着けることで、建学の精神「至心」を進んで実践する豊かな人間性を備えた人材を養成する。演習1では、自分の能力に見合った分野を探すため、情報分野の現状について調査を行う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

最低3つの分野における情報技術の活用事例を調査し、報告する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

定期的に調査した活用事例をゼミ内で共有することにより、さらなるスキールアップを目指す。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室（656研究室）、オフィススアワー時間内等、随時受け付けます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
卒業論文発表の教科書	都司拓也	Amazon Kindle版	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
レポート・論文のまとめ方	新田誠吾	Amazon Kindle版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

事前学習・事後学習（40%）、試験（60%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果や今後の学習の取り組みについてのお問い合わせはメールをご利用してください。
説明の日時・場所は別途お知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	基礎演習ゼミ（前期）で学んだことを発表する。	
	事前学習（内容・時間）	基礎ゼミ演習（前期）で学びたいことについて800字程度にまとめておく。2時間
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。2時間
第2回	基礎演習ゼミ（後期）で学んだことを発表する。	
	事前学習（内容・時間）	基礎ゼミ演習（後期）で学びたいことについて800字程度にまとめておく。2時間
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。2時間
第3回	基礎演習ゼミの学習内容により、今後の検討課題・発展的課題と思ったこと。	
	事前学習（内容・時間）	基礎演習ゼミ全般の感想を800字程度にまとめる。2時間
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について800字程度にまとめる。2時間
第4回	調査対象の産業分野を調査する。1	
	事前学習（内容・時間）	活用事例調査対象の分野を調べる。2時間
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生と共有した調査内容を800字程度にまとめる。2時間
第5回	調査対象の産業分野を調査する。2	
	事前学習（内容・時間）	調査対象の分野を3つに絞り、それぞれの分野の特徴を200じ程度でまとめる。2時間
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生と共有した調査内容を800字程度にまとめる。2時間
第6回	各分野における情報技術の活用事例調査1ー1	
	事前学習（内容・時間）	調査内容を、10分程度の発表資料としてまとめる。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第7回	各分野における情報技術の活用事例調査1－2	
	事前学習（内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第8回	各分野における情報技術の活用事例調査1－3	
	事前学習（内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第9回	各分野における情報技術の活用事例調査1－4	
	事前学習（内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第10回	各分野における情報技術の活用事例調査1－5	
	事前学習（内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第11回	各分野における情報技術の活用事例発表1－6	
	事前学習（内容・時間）	調査内容を10分程度の分量にまとめ、事前に発表練習を行う。2時間
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について500字程度にまとめる。2時間
第12回	各分野における情報技術の活用事例調査2ー1	
	事前学習（内容・時間）	調査内容を、10分程度の発表資料としてまとめる。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第13回	各分野における情報技術の活用事例調査2－2	
	事前学習（内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第14回	各分野における情報技術の活用事例調査2－3	
	事前学習（内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第15回	各分野における情報技術の活用事例調査2－4	
	事前学習（内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第16回	各分野における情報技術の活用事例調査2－5	
	事前学習（内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習（内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間

第17回	各分野における情報技術の活用事例発表2－6	
	事前学習 （内容・時間）	調査内容を10分程度の分量にまとめ、事前に発表練習を行う。2時間
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について500字程度にまとめる。2時間
第18回	各分野における情報技術の活用事例調査3－1	
	事前学習 （内容・時間）	調査内容を、10分程度の発表資料としてまとめる。2時間
	事後学習 （内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第19回	各分野における情報技術の活用事例調査3－2	
	事前学習 （内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習 （内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第20回	各分野における情報技術の活用事例調査3－3	
	事前学習 （内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習 （内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第21回	各分野における情報技術の活用事例調査3－4	
	事前学習 （内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習 （内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第22回	各分野における情報技術の活用事例調査3－5	
	事前学習 （内容・時間）	前回の内容を踏まえ、発表資料をアップデートする。2時間
	事後学習 （内容・時間）	コメントや改善点などを中心再調査を行い、発表資料の内容をアップデートする。2時間
第23回	各分野における情報技術の活用事例発表3－6	
	事前学習 （内容・時間）	調査内容を10分程度の分量にまとめ、事前に発表練習を行う。2時間
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について500字程度にまとめる。2時間
第24回	深層調査：働きたい分野を決め、そこに必要な知識、技能などについて調べ、習得する。	
	事前学習 （内容・時間）	必要な知識、技能について調べる。2時間
	事後学習 （内容・時間）	調べた内容をゼミ生と共有し、その内容を500字程度にまとめる。2時間
第25回	深層調査：働きたい分野を決め、そこに必要な知識、技能などについて調べ、習得する。	
	事前学習 （内容・時間）	必要な知識、技能について調べる。2時間
	事後学習 （内容・時間）	調べた内容をゼミ生と共有し、その内容を500字程度にまとめる。2時間
第26回	深層調査：働きたい分野を決め、そこに必要な知識、技能などについて調べ、習得する。	
	事前学習 （内容・時間）	必要な知識、技能について調べる。2時間
	事後学習 （内容・時間）	調べた内容をゼミ生と共有し、その内容を500字程度にまとめる。2時間
第27回	深層調査：働きたい分野を決め、そこに必要な知識、技能などについて調べ、習得する。	
	事前学習 （内容・時間）	必要な知識、技能について調べる。2時間
	事後学習 （内容・時間）	調べた内容をゼミ生と共有し、その内容を500字程度にまとめる。2時間
第28回	深層調査：働きたい分野を決め、そこに必要な知識、技能などについて調べ、習得する。	
	事前学習 （内容・時間）	必要な知識、技能について調べる。2時間
	事後学習 （内容・時間）	調べた内容をゼミ生と共有し、その内容を500字程度にまとめる。2時間
第29回	深層調査した内容を20分程度で発表する。	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料を作成し、発表練習を行う。2時間
	事後学習 （内容・時間）	発表でのコメントや指摘事項の改善及び他のゼミ生の発表内容を、800字程度にまとめる。2時間
第30回	前回の発表内容をもとに、内容を10分程度に圧縮し、発表する。	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料を修正及び、発表練習を行う。2時間
	事後学習 （内容・時間）	発表でのコメントや指摘事項の改善及び他のゼミ生の発表内容を、800字程度にまとめる。2時間
第31回 （定期試験）	試験（レポート可）	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅰ（簿記学習や演習を通して5年後の自身を発見する）	～224	3年生・通年	4単位	必修	長友陛富

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記会計の学習や演習で資格を取得する行動と、真摯に誠実にチャレンジすることで人間力を高める行動をとおして、学び方と未来を考える力を育成し、自分を創造し、何を目指し目標とするのか、自身で回答できる姿勢の醸成を図り、大学で学ぶ意義を自身の手で掴み取る。 学びはあくまで自主的・積極的な行動が必要です。自ら進んで知識の習得と人間関係構築を目指して、簿記検定3級取得意志を含め真摯に何事にもチャレンジする意志・意欲を持つ学生を求めます。

授業概要　Course Outline

簿記会計の学習や演習による資格取得と、人間力を高める（至心である何事にも真摯に誠実に取り組む）行動をとおして、必ず直面する困難に立ち向かう姿勢と、考える力、理解力、問題解決力を身に付けます。資格取得と様々な調査のデータと各自が選択しようとしている研究と進路について、自分の意見をまとめ、プレゼンテーションします。今後の生き方を自身で考え、創造し、あらゆる未来像を模索し、未来像を積極的に選択しようとする意志を持つ学生の成長を支援します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

簿記3級の資格取得を目指す学習意欲の向上と、未来レポートが作成できる。何事にも真摯に取り組みチャレンジする活動から、自身の生き方を見つけ、未来を描きそのことに向かって積極的に活動でき、自身が進む道・目指すものを見つける。
日本にある簿記の活用等を含む職種を調査、従事者人口を調査、仕事が果たしている役割を調査から、未来において就きたい職業と社会に対する貢献度を推測し、自身の進むべき方向性と研究したいと考える方向性を見つける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

社会における簿記の役割等、学生の能動的な発言を導く現代の職業をテーマに、調査・研究をを行い発表・意見交換を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問合せ、相談等は研究室（556）にて随時受け付けます。連絡先はnagatomoy@kiis.ac.jpです。
なお、出勤日は火曜日、水曜日、木曜日です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

外部試験は、日本商工会議所主催の簿記検定3級取得必須です。（検定は、6・11・2月です）
学習の確認：ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大原で合格る日商簿記3級 ￥1,210	資格の大原	中央経済社	978-4502392719
1からの会計	谷　武幸 桜井久勝 北川教央	中央経済グループリッシング	978-4502371516

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日商簿記ステップアップ問題集	資格の大原	大原出版	978-4864869218
アルバイトから学ぶ仕事入門	佐藤薫 江利川良枝 高木直人		978-4502430817

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表及び資格取得25%・情報収集内容25%・プレゼンテーション25%・レポート・積極的な態度等25%により判断します。

学習成果に対するフィードバック（指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験結果と今後の学習の取組みについて、メールで問い合わせてください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	自己紹介のプレゼンテーション実施計画及び2年後の自分を活かすための基礎ゼミで学ぶことの意味を伝え、今後の計画について説明する。	
	事前学習（内容・時間）	自分とは何者？　3年後のための進路の紹介と働くことの意義を考える。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	自分を解き明かしながら、ここまでの過程を振り返る。(2時間)
第2回	自己紹介プレゼンテーション作成への過程を考える。	
	事前学習（内容・時間）	どのようなプレゼンテーションを行うか考える。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	これまでの自分の資料収集を行う。(2時間)
第3回	自己紹介プレゼンテーション作成への過程を考える。	
	事前学習（内容・時間）	プレゼンテーション用のスライドを作成する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	これまでの自分の資料収集に不足はないか整理する。(2時間)
第4回	自己紹介プレゼンテーション作成への過程を考える。	
	事前学習（内容・時間）	プレゼンテーション用のスライドを作成する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	これまでの自分の資料収集に不足はないか整理する。(2時間)
第5回	各自作成した自己紹介のプレゼンテーションの発表会を実施する。	
	事前学習（内容・時間）	各自15分間の発表を有効に行う手立てを考える。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	発表者の作成した自己紹介内容の意図をくみ取り、発表者の自身を理解する。(2時間)
第6回	簿記学習を基本から振り返る。	
	事前学習（内容・時間）	1年次の教科書の復習及び振り返りを行う。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	振り返りの確認を行う。(2時間)
第7回	簿記学習を基本から振り返る。	
	事前学習（内容・時間）	1年次の教科書の復習及び振り返り(取引・仕訳・転記・試算表・精算表)を行う。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	振り返りの確認を行う。(2時間)
第8回	精算表の作成をプリント・問題集を利用して決算整理事項を含めて、作成の理解を深める。 ステップアップ問題集	
	事前学習（内容・時間）	決算整理事項に関係する、貸倒、減価償却、売上原価、現金過不足、前受金、税金関係、費用・収益の見越し繰り延べ、貯蔵品等を含めた精算表作成の理解を深めておくこと。ステップアップ問題集(2時間)
	事後学習（内容・時間）	精算表の作成手順をプリント・問題集を活用して明確に理解を深めること。ステップアップ問題集(2時間)
第9回	帳簿の締め切り及び財務諸表の作成までの一連の手続きについて、プリントと教科書で説明します。損益勘定の締め切り、資産・負債・資本金の締め切りを行い、損益計算書と貸借対照表の作成を深める。ステップアップ問題集	
	事前学習（内容・時間）	決算整理事項を終了した後、各勘定を締め切る流れについて理解を深めること。また、一連の流れの中から損益計算書及び貸借対照表の作成について理解しておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	第5回講義内容、損益計算書と貸借対照表の作成の手順と受取手形や売掛金に対する貸倒引当金及び減価償却累計額の表示の方法について明確に理解すること。ステップアップ問題集(2時間)
第10回	帳簿の締め切り及び財務諸表の作成までの一連の手続きについて、プリントと教科書で説明します。損益勘定の締め切り、資産・負債・資本金の締め切りを行い、損益計算書と貸借対照表の作成を深める。ステップアップ問題集	
	事前学習（内容・時間）	決算整理事項を終了した後、各勘定を締め切る流れについて理解を深めること。また、一連の流れの中から損益計算書及び貸借対照表の作成について理解しておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	第6回講義内容、損益計算書と貸借対照表の作成の手順と受取手形や売掛金に対する貸倒引当金及び減価償却累計額の表示の方法について明確に理解すること。ステップアップ問題集(2時間)
第11回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。1、過去に出題された仕訳問題をプリントを活用して解く。 ステップアップ問題集	
	事前学習（内容・時間）	取引から仕訳に関係する、今までに配布したプリントや問題集を振り返り、理解を深めておくこと。 ステップアップ問題集(2時間)
	事後学習（内容・時間）	取引と判断できる場合の仕訳をあらゆるジャンルで出来るように繰り返し行い、理解を深めること。 ステップアップ問題集(2時間)
第12回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。1、過去に出題された仕訳問題をプリントを活用して解く。 ステップアップ問題集	
	事前学習（内容・時間）	取引から仕訳に関係する、今までに配布したプリントや問題集を振り返り、理解を深めておくこと。 ステップアップ問題集(2時間)
	事後学習（内容・時間）	取引と判断できる場合の仕訳をあらゆるジャンルで出来るように繰り返し行い、理解を深めること。 ステップアップ問題集(2時間)
第13回	日商簿記検定3級の総合問題を学習する。2、過去に出題された試算表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。 教科書ステップアップ問題集	
	事前学習（内容・時間）	試算表の作成を行うためには、日々の取引の簡単な仕訳と転記が必要です。地道なことの繰り返し根気強く取り組んでください。 ステップアップ問題集(2時間)
	事後学習（内容・時間）	試算表の作成は多くの時間を要します。根気よく問題に向かって解くこと以外に方法はありません。繰り返し解くことで理解を深めてください。ステップアップ問題集(2時間)
第14回	日商簿記検定3級の総合問題を学習する。2、過去に出題された試算表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。 教科書ステップアップ問題集	
	事前学習（内容・時間）	試算表の作成を行うためには、日々の取引の簡単な仕訳と転記が必要です。地道なことの繰り返しですので根気強く取り組んでください。教科書ステップアップ問題集(2時間)
	事後学習（内容・時間）	試算表の作成は多くの時間を要します。根気よく問題に向かって解くこと以外に方法はありません。繰り返し解くことで理解を深めてください。ステップアップ問題集(2時間)
第15回	研究論文作成のための、九州各県にある簿記の活用を含める職種について調査、従事者数、社会に対する貢献度等を調査研究する	
	事前学習（内容・時間）	各県の人口を年齢別に調査する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	各県の年齢別人口のデータ収集する。(2時間)
第16回	九州各県の人口について年齢別に調査する。	
	事前学習（内容・時間）	各県の人口を年齢別に調査する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	各県の年齢別人口のデータ収集する。(2時間)

第17回	九州各県の人口について年齢別に調査する。	
	事前学習 （内容・時間）	各県の人口を年齢別に調査する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	各県の年齢別人口のデータ収集する。（2時間）
第18回	九州各県の職種及び従事者の調査する。	
	事前学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集しまとめる。（2時間）
第19回	九州各県の職種及び従事者の調査する。	
	事前学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集しまとめる。（2時間）
第20回	九州各県にある職種及び従事者数について調査研究する。	
	事前学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集しまとめる。（2時間）
第21回	九州各県にある職種及び従事者数について調査研究する。	
	事前学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集しまとめる。（2時間）
第22回	九州各県にある職種及び従事者数について調査研究する。	
	事前学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	各県の職種及び従事者調査しデーターを収集しまとめる。（2時間）
第23回	九州各県にある職種について調査研究する。	
	事前学習 （内容・時間）	各県の職種を調査する。
	事後学習 （内容・時間）	各県の職種を調査しデータに基づきスライドを作成する。
第24回	九州各県にある職種別社会貢献度を調査研究する。	
	事前学習 （内容・時間）	職種別貢献度を調査する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	職種別貢献度を調査する。（2時間）

第25回	九州各県にある職種別社会貢献度を調査研究する。	
	事前学習 （内容・時間）	職種別貢献度を調査する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	職種別貢献度を調査する。（2時間）
第26回	これまで調査研究した資料でプレゼンテーションを行う。	
	事前学習 （内容・時間）	調査しデータに基づきスライドを作成する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	調査したデータに基づきスライドを作成する。（2時間）
第27回	これまで調査研究した資料でプレゼンテーションを行う。	
	事前学習 （内容・時間）	調査しデータに基づきスライドを作成する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	調査したデータに基づきスライドを作成する。（2時間）
第28回	これまで調査研究した資料でプレゼンテーションを実施する。	
	事前学習 （内容・時間）	調査しデータに基づきスライドを作成する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表したデータに基づきスライドを修正する。（2時間）
第29回	これまで調査研究した資料でプレゼンテーションを実施する。	
	事前学習 （内容・時間）	調査しデータに基づきスライドを作成する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表したデータに基づきスライドを修正する。（2時間）
第30回	これまで調査研究した資料でプレゼンテーションを実施する。	
	事前学習 （内容・時間）	調査しデータに基づきスライドを作成する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表したデータに基づきスライドを修正する。（2時間）
第31回 （定期試験）	簿記検定3級取得と論文作成のための研究レポート提出及び発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅰ（スポーツ×経営学）	～224	3年生・通年	4単位	必修	野中　渓人

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	スポーツに興味があり、授業中のディスカッションに積極的に参加できることが望ましい。

授業概要　Course Outline

4年次の卒業論文執筆を見据え、興味のある分野における研究方法等を学ぶ。
まず、興味を持っている研究分野を設定する。次に、研究分野における先行文献の収集を行い知見を整理する。その中で自身の研究テーマに適した実験や調査の手法を検討し、卒業論文の研究計画を立てる。その後、計画に基づいて実験や調査等を行い、得られたデータを分析して整理する。
さらに、講義内の経営学を活かして、スポーツイベントの管理運営を行う。
研究過程において、本学の建学の精神である「至心」を実践し、社会人として重要な論理的思考能力やプレゼンテーション能力の養成を目指します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

1）自ら関心のあるテーマをもとに研究計画を立てることができる。
2）得られた結果をもとに論理的思考で考察をすることができる。
3）研究成果を、分かりやすく他者に伝えることができる。
4）研究活動において、建学の精神「至心」を進んで実践し、豊かな人間性を備えたビジネスパーソンになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

1）専門書およびインターネット等を使用し、必要な資料を準備し、パワーポイント等にまとめてもらいます。
2）まとめた資料は、授業内で発表し、質疑応答等を行います。
3）講義内で学習した経営学を用いて、イベント運営を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室、オフィスアワー内に随時受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回指定した課題を解くこと、講義内でフィードバックを行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
適宜プリントを配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
体育・スポーツ分野における実践研究の考え方と論文の書き方	福永哲夫・山本正嘉 編著	市村出版	978-4-902109-49-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

レポート（60%）、発表会（30%）、平常点（10%）をもとに総合的に評価する。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方については、メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション	
	事前学習（内容・時間）	ゼミで学びたいこと研究したいことをレポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	さらに学びたいこと研究したいことを調べ直す。（2.0h）
第2回	研究倫理について	
	事前学習（内容・時間）	研究倫理について、インターネットを使用し調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	研究倫理について、レポートにまとめる。（2.0h）
第3回	先行文献の収集	
	事前学習（内容・時間）	興味のある論文を2本以上調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	興味のある論文を2本以上調べる。（2.0h）
第4回	先行文献の収集	
	事前学習（内容・時間）	興味のある論文を2本以上調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	興味のある論文を2本以上調べる。（2.0h）
第5回	文献発表資料の方法・作成	
	事前学習（内容・時間）	文献発表の仕方について調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	調べた論文について、発表資料を作成する。（2.0h）
第6回	文献発表資料の作成	
	事前学習（内容・時間）	調べた論文について、発表資料を作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第7回	文献発表	
	事前学習（内容・時間）	発表練習を20回以上行う。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第8回	文献発表	
	事前学習（内容・時間）	発表練習を20回以上行う。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第9回	先行文献の収集	
	事前学習（内容・時間）	興味のある論文を2本以上調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	興味のある論文を2本以上調べる。（2.0h）
第10回	先行文献の収集	
	事前学習（内容・時間）	興味のある論文を2本以上調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	興味のある論文を2本以上調べる。（2.0h）
第11回	文献発表資料の作成	
	事前学習（内容・時間）	調べた論文について、発表資料を作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第12回	文献発表資料の作成	
	事前学習（内容・時間）	調べた論文について、発表資料を作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第13回	文献発表	
	事前学習（内容・時間）	発表練習を20回以上行う。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第14回	文献発表	
	事前学習（内容・時間）	発表練習を20回以上行う。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第15回	研究テーマの設定（グループディスカッション）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある研究テーマを3つ以上考える。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ディスカッションを経て、研究テーマを推敲する。（2.0h）
第16回	研究テーマの設定（グループディスカッション）	
	事前学習（内容・時間）	研究テーマの先行文献をレポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	指摘された部分を調べて、研究テーマに反映させる。（2.0h）

第17回	研究計画書の作成	
	事前学習 （内容・時間）	研究計画書の作成方法を調べる。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	研究計画書を作成する。（2.0h）
第18回	研究計画発表資料作成	
	事前学習 （内容・時間）	研究計画書の発表資料を作成する。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第19回	研究計画発表	
	事前学習 （内容・時間）	研究計画の発表練習を5回以上行う。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分を調べて、発表資料に反映させる。（2.0h）
第20回	研究計画発表	
	事前学習 （内容・時間）	研究計画の発表練習を20回以上行う。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分を調べて、研究計画書、発表資料に反映させる。（2.0h）
第21回	予備実験の計画	
	事前学習 （内容・時間）	実験方法について調べる。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験計画書を作成する。（2.0h）
第22回	予備実験の実施	
	事前学習 （内容・時間）	実験日時などを計画する。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分について調べ、実験に反映させる。（2.0h）
第23回	予備実験の実施	
	事前学習 （内容・時間）	実験日時などを計画する。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分について調べ、実験に反映させる。（2.0h）
第24回	予備実験の実施	
	事前学習 （内容・時間）	実験日時などを計画する。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	さらに必要な追加実験を調べる。（2.0h）

第25回	予備実験の実施	
	事前学習 （内容・時間）	実験日時などを計画する。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験結果などをまとめる。（2.0h）
第26回	実験結果の解析	
	事前学習 （内容・時間）	解析方法を調べ、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分について調べ、解析に反映させる。（2.0h）
第27回	実験結果の解析	
	事前学習 （内容・時間）	解析方法を調べ、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分について調べ、解析に反映させる。（2.0h）
第28回	イベント開催計画の立案	
	事前学習 （内容・時間）	イベントの目的、集客方法、計画を考えてくる（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	フィードバックを踏まえ、イベントの目的、集客方法、計画を改善する。（2時間）
第29回	イベントの開催	
	事前学習 （内容・時間）	イベントの計画を再確認する。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	開催結果について、反省をノートにまとめる。（2時間）
第30回	レポート作成	
	事前学習 （内容・時間）	興味のあるテーマを決め、レポートにまとめる。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された部分について調べ、レポートに反映させる。（2.0h）
第31回 （定期試験）	レポートの提出を定期試験とする。	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習 I	～224	3年生前・後期	4単位	必修	藤内響子

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	無		有	

履修の前提条件 Course Prerequisites	英語や英文法、及び歴史や文化に関心のある学生を求めます。

授業概要　Course Outline

激動のヨーロッパの中で歴史を刻んできたイギリスという国、そして国民の有り様が、英語という言語にどれほど深く結びつき、大きな変化を引き起こして現在に至ったのかを辿っていく。現代英語をより深く理解するための、一つの試みである。特に、文化や歴史、宗教等言語の変化に外側から影響を与える、外面史的要因を中心に、英語が受けた変容および歴史的な発達を考察する。
配布した資料を使って予習・調査の上、ゼミの場において内容の確認説明、及び、必要な場合は発表も行う。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

言語の外面史・内面史の区別や認識がきちんとできること。また、それらが一つの言語にどのような影響を与え、変容させていくかを知り、英語のみならず自分の母国語や他の外国語への深い理解と知識の獲得につなげること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学習はあくまでも能動的でなければなりません。教えてもらうのではなく自ら知識を獲得しようと努力する態度を常に忘れないでください。そのような努力なくしてアカデミックな知識は身につきません。そのためにも事前学習および授業後の復習が必須です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

希望者はメールで連絡して下さい。Email:fujiuchi@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

英語検定試験;　TOEICなど。
ポートフォリオの作成やGoogle Classroomによる課題確認を通して学習を確認します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ベーシック英語史	家入葉子	ひつじ書房	978-4-89476-349-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語 Evergreen	川崎芳人 他	いいずな書店	978-4-86460-721-6 C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学修の取組みについて、メールまたはGoogleclassroomでお問い合わせください。折り返して連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction　インド・ヨーロッパ語としての英語	
	事前学習（内容・時間）	教科書のはしがきを読んで、教科書を確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の把握と課題（2時間）
第2回	ゲルマン語としての英語	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第3回	英語の外面史と借入語①	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第4回	英語の外面史と借入語②	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第5回	語彙の形成①	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第6回	語彙の形成②	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第7回	文字・綴り字と発音①	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第8回	文字・綴り字と発音②	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第9回	名詞の発達①	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第10回	名詞の発達②	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第11回	人称代名詞の発達①	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第12回	人称代名詞の発達②	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第13回	指示代名詞と関係代名詞①	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第14回	指示代名詞と関係代名詞②	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第15回	語形変化の衰退がもたらしたもの①	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第16回	語形変化の衰退がもたらしたもの②	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）

第17回	主節と従属節①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第18回	主節と従属節②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第19回	動詞の発達①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第20回	動詞の発達②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第21回	非人称動詞と過去現在動詞①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第22回	非人称動詞と過去現在動詞②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第23回	be と have および分詞①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第24回	be と have および分詞②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第25回	不定詞と動名詞①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第26回	不定詞と動名詞②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第27回	否定構文と助動詞 do の発達①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第28回	否定構文と助動詞 do の発達①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第29回	言語の揺れ①	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第30回	言語の揺れ②	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（2時間）
第31回 （定期試験）	確認テスト	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（マーケティング実践）	～224	3年生・通年	4単位	必修	秋吉浩志

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①指導教員と「いっしょに仕事や研究ができると思った学生」 ②2年前期までの通算GPAが2.0以上 ③2年終了時、マーケティング論、消費者行動論の両方をの単位取得済もしくは履修している学生 上記の3つの条件全て満たすこと。さらに、 ④留学生はN1（日本語能力試験N1）以上の日本語能力資格取得必須 ※ただし、2年次秋吉の基礎ゼミを履修していた学生は上記全対象を免除する。

授業概要　Course Outline

①実践的インターンシップ（学外企業、組織、団体などと一緒に仕事を行う）
②社会科学の総合的学力の向上のための研究＆学習を進める
③学外コンペティションに積極的に参加する
※ゼミ時間以外の打ち合わせや会議が多いため参加できない学生は遠慮していただく。
※本年度は特に各種エンターティメント関係の業界について検討する
※ディプロマポリシー＆カリキュラムポリシーの方針に基づいて、ゼミは進行していく。特にカリキュラムポリシーの条件を念頭にゼミを進めていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

①大手一部上場企業またはグローバル企業などで3年以上働ける社会人基礎力のスキル習得
②大学院進学程度の学力習得（商業、流通、マーケティングなど）など
③国家公務員Ⅱ種、地方上級公務員の社会科学系受験合格程度の総合的学力レベル習得
※企画力などを特に向上させたい。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

アクティブラーニングの内容としては、事前学習型授業、反転授業、調査学習、フィールドワーク、双方向アンケート、グループワーク、対話・議論型授業、ロールプレイ、プレゼンテーション、模擬授業、PBLなど、現在多く利用されている方法を組み合わせて、ゼミ活動を行っていく。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究は質問からはじまります。教員に直接聞いてください
メール：akiyoshi@g.kiis.ac.jp
アポイントをとって、必ず「１人で」面接に来てください。
その面接において、面接態度、教員に対する聞く力、話す力、考える力、社会的常識などの有無などを考慮して、総合的に判断します。成績とGPAは参考程度とします。それ以降の募集期間中の面接は不可です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ゼミ活動への積極的参加度、学習到達目標への到達度、社会人的基礎力の到達度などを総合的に判断して、評価します。主にゼミの課題、アクティブラーニング等（60%）、試験や出席、ゼミへの総合的な取り組み等（40%）として判定します。ポートフォリオ・ルーブリックに関してはGoogleフォームで毎回確認をとります。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ネットビジネス進化論　何が「成功」をもたらすのか （絶版になっているため古本で購入してください）	尾原和啓	NHK出版	978-4140818213

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
推しエコノミー「仮想一等地」が変えるエンタメの未来	中山 淳雄	日経BP	978-4296000357
エンタメビジネス全史 「IP先進国ニッポン」の誕生と構造	中山 淳雄	日経BP	978-4296001439

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

ゼミ活動への積極的参加度、学習到達目標への到達度、社会人的基礎力の到達度などを総合的に判断して、評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

課題の提出がありますが、それは主にGoogle Formで行います。課題の内容について、質問に合わせた論述内容を読んでその内容が質問に正当に答えられているか、論述内容などにコメントをつけて返します。
さらにはアクティブラーニング実施後のレポート提出を求め、その内容についても提出内容を読み、学生に質問で回答を求めたりしてより、理解度を上げる作業を学生と行います。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス及び研究の進行について	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの進行について質問をまとめておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	内容をしっかりと復習すること（2h）
第2回	テキストを選ぶ（卒論研究）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	内容をしっかりと復習すること（2h）
第3回	文章力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）とレジュメの作成方法を学ぶ	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	内容をしっかりと復習すること（2h）
第4回	文章力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	自分で理解したことを、フォームに残しておく（2h）
第5回	文章力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	自分で理解したことを、フォームに残しておく（2h）
第6回	インターンへの参加について	
	事前学習（内容・時間）	インターンシップに参加するための準備を行うこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第7回	文章力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第8回	文章力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第9回	卒業研究中間発表1回目①	
	事前学習（内容・時間）	発表する内容を整理すること（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理しておくこと（2h）
第10回	文章力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	レポートを提出してもらう（2h）
第11回	卒業研究に関する調査や資料収集	
	事前学習（内容・時間）	効率よく資料を集めたり、、調査できるよう準備をする（2h）
	事後学習（内容・時間）	指示されたり、訂正部分などを再検討する（2h）
第12回	卒業研究に関する調査や資料収集	
	事前学習（内容・時間）	効率よく資料を集めたり、、調査できるよう準備をする（2h）
	事後学習（内容・時間）	指示されたり、訂正部分などを再検討する（2h）
第13回	卒業研究に関する調査や資料収集	
	事前学習（内容・時間）	効率よく資料を集めたり、、調査できるよう準備をする（2h）
	事後学習（内容・時間）	指示されたり、訂正部分などを再検討する（2h）
第14回	文章力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理しておくこと（2h）
第15回	文章力を磨く（読む・書く・ロジックを磨く）	
	事前学習（内容・時間）	事前・事後の学習方法はゼミや学外の現場で習得できる。教員などのアドバイスに常にメモをとったり、吸収するアンテナを張っておくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理しておくこと（2h）
第16回	卒業研究中間発表2回目②	
	事前学習（内容・時間）	発表する内容を整理すること（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理しておくこと（2h）

第17回	卒業研究指導	
	事前学習（内容・時間）	発表する内容を整理すること（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第18回	インターンシップ指導	
	事前学習（内容・時間）	企業研究、業界研究をしておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第19回	インターンシップ指導	
	事前学習（内容・時間）	企業研究、業界研究をしておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第20回	インターンシップ指導	
	事前学習（内容・時間）	企業研究、業界研究をしておくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第21回	学外コンペ参加に関する諸研究①	
	事前学習（内容・時間）	コンペに向けての準備を行う（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第22回	学外コンペ参加に関する諸研究①	
	事前学習（内容・時間）	コンペに向けての準備を行う（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第23回	卒業研究指導（専門ゼミ生Ⅱと合同）	
	事前学習（内容・時間）	発表する内容を整理すること（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理しておくこと（2h）
第24回	卒業研究指導（専門ゼミ生Ⅱと合同）	
	事前学習（内容・時間）	発表する内容を整理すること（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理しておくこと（2h）

第25回	学外コンペ参加に関する諸研究②（専門ゼミ生Ⅱと合同）	
	事前学習（内容・時間）	コンペに向けての準備を行う（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第26回	学外コンペ参加に関する諸研究②（専門ゼミ生Ⅱと合同）	
	事前学習（内容・時間）	コンペに向けての準備を行う（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第27回	学外コンペ参加に関する諸研究②（専門ゼミ生Ⅱと合同）	
	事前学習（内容・時間）	コンペに向けての準備を行う（2h）
	事後学習（内容・時間）	問題点をフィードバックさせる（2h）
第28回	卒業研究最終発表（専門ゼミ生Ⅱと合同）	
	事前学習（内容・時間）	発表する内容を整理すること（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理しておくこと（2h）
第29回	卒業研究中間発表③	
	事前学習（内容・時間）	発表する内容を整理すること（2h）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理しておくこと（2h）
第30回	専門ゼミ生の研究評価（指導教員による）	
	事前学習（内容・時間）	発表する内容を整理すること（2h）
	事後学習（内容・時間）	最終的な指摘に加筆・修正を加える（2h）
第31回（定期試験）	定期試験は、ｾﾞﾐⅠ期間中の研究成果の受理をもって試験を受けて合格したものとする。1年間経験したことなどを記録に残しているかどうかが試される。	

ナンバリング (Numbering)
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門ゼミI (ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用研究)	～224	3年生・通年	4単位	必修	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎ゼミ・演習を修得していること. (編入学生はこの限りではない.)

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき, 医療をはじめ, 様々な自然科学分野における問題・課題を解決するために, 実験的研究やシミュレーション研究を進めていく. 具体的には, 細胞培養実験や, 材料作製実験, 人体の数値シミュレーション, 人工知能技術開発, ロボット工学, ゲーム, 音楽, データベース開発, 教育教材開発まで幅広く実施する.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

自身の研究に対する学術的背景を理解した上で, 現状の問題を把握し, それを解決するために考え, 行動する力を身につける. 具体的には,
① 自身の研究に関する過去の論文や報告を探し出し, 要点を整理し, 比較・応用することができる.
② 研究の進捗に関して資料を作成し, 報告することができる.
③ 自身の研究に関するデータ収集をし, データを適切に分析・解釈することができる.
④ 他者の研究内容について, 興味・関心を持ち, 疑問点等を積極的に質問することができる.
⑤ 自身の研究について, 実験ノートを適切に記述し, 管理することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型ではなく, 実習を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは研究室(653)にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.
また, クラスルームを開設するので, 連絡はクラスルームで行う.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:実験ノートに実施した実験内容や調査した内容を記載方法を遵守してまとめること(毎時間).

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
各自の研究内容・分野に応じて資料・文献等を準備する.			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
理工系のためのよい文章の書き方	福地健太郎, 園山隆輔	翔泳社	978-4-7981-5889-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

報告会での発表(50%)と実験ノートおよび成果物(50%)で評価する.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

定期的な報告会を実施するので, 進捗に応じてコメントやアドバイスを行う.

授業計画 Course Schedule		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートにタイトル・基本情報を記入し，研究を開始する準備をする．(2.0h)
第2回	先行研究・文献調査方法および実習	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究内容について概要を確認する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	先行研究に関する文献をインターネットで探し，PDFファイルで最低1編取得し，通読する．(2.0h)
第3回	自身の研究分野に関する先行研究調査（1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究内容について概要を確認する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	先行研究に関する文献をインターネットで探し，PDFファイルで最低1編取得し，通読する．(2.0h)
第4回	自身の研究分野に関する先行研究調査（2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究内容について概要を確認する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	先行研究に関する文献をインターネットで探し，PDFファイルで最低1編取得し，通読する．(2.0h)
第5回	自身の研究分野に関する先行研究調査（3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究内容について概要を確認する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	先行研究に関する文献をインターネットで探し，PDFファイルで最低1編取得し，通読する．(2.0h)
第6回	自身の研究分野に関する先行研究調査（4）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究内容について概要を確認する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	先行研究に関する文献をインターネットで探し，PDFファイルで最低1編取得し，通読する．(2.0h)
第7回	自身の研究分野に関する先行研究のまとめ（発表）（1）	
	事前学習 （内容・時間）	自身の研究内容の先行研究について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第8回	自身の研究分野に関する先行研究のまとめ（発表）（2）	
	事前学習 （内容・時間）	自身の研究内容の先行研究について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第9回	自身の研究内容のための準備（1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究方法について概要を確認する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	自身の研究方法に関する文献をインターネットで探し，最低1編取得し，通読する．(2.0h)
第10回	自身の研究内容のための準備（2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究方法について概要を確認する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	自身の研究方法に関する文献をインターネットで探し，最低1編取得し，通読する．(2.0h)
第11回	自身の研究内容のための準備（3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究方法について概要を確認する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	自身の研究方法に関する文献をインターネットで探し，最低1編取得し，通読する．(2.0h)
第12回	自身の研究に関する研究方法のまとめ（発表）（1）	
	事前学習 （内容・時間）	自身の研究内容を達成するための研究方法について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第13回	自身の研究に関する研究方法のまとめ（発表）（2）	
	事前学習 （内容・時間）	自身の研究内容を達成するための研究方法について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第14回	自身の研究に関する研究方法のまとめ（発表）（3）	
	事前学習 （内容・時間）	自身の研究内容を達成するための研究方法について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第15回	実験ノートの整理，研究内容・方法の整理	
	事前学習 （内容・時間）	自身の研究内容・方法について再度整理をする．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	研究方法を達成するために必要な資源を調査・準備する．(2.0h)
第16回	研究の実施（1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．(2.0h)

第17回	研究の実施（2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第18回	進捗報告（発表）（1）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．（2.0h）
第19回	研究の実施（3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第20回	研究の実施（4）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第21回	進捗報告（発表）（2）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．（2.0h）
第22回	研究の実施（5）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第23回	研究の実施（6）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第24回	進捗報告（発表）（3）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．（2.0h）

第25回	研究の実施（7）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第26回	研究の実施（8）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第27回	進捗報告（発表）（4）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．（2.0h）
第28回	研究の実施（9）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第29回	研究の実施（10）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．（2.0h）
第30回	進捗報告（発表）（5）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．（2.0h）
第31回 （定期試験）	実験ノートおよび成果物を提出後，評価する．	

ナンバリング (Numbering)
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（企業ファイナンス論）	～224	3年生・通年	4単位	必修	鵜崎　清貴

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営学，会計に属する科目そして統計学を履修していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

このゼミでは，企業ファイナンスの基礎を学びます。その基礎とは「評価」を意味します。「評価」とは，経営者あるプロジェクトを実行するのか，買収するのかを，いかに決定するか，ということです。この決定を行うために，「資本予算」，「投資」，そして「資本構成」の主要な3つの問題を考察します。資本予算（Capital Budgeting）とは，あるプロジェクトを実行する際，そのプロジェクトがどのような価値があるのかを検討することです。投資（Investment）とは，投資家がどのようなプロジェクトに投資するのか。また，いかに投資ポートフォリオを選択するかということです。資本構成（Capital Structure）とは，経営者がプロジェクトに対する資金調達をいかに行い，その資本構成が良いのか否かを考察するものです。 これらの基礎を用いて，社会や企業で生じている諸問題を考察します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	金融機関　非常勤監査役 （会計・税務担当 5年）	会計及び税務に対する戦略

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに従い，企業ファイナンスの専門用語を理解することができる。
企業ファイナンスの基礎を習得し，社会で生じている経済諸問題を理解できる。
企業に関わる諸問題を解決する方法を習得でき，資格取得に役立つ。
企業の社会的責任の重要性を理解できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・講義中、基本的な質問を行うので、積極的に回答してもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員と連絡を取りたい場合は、オフィスアワーか，メールでアポイントを取った上，研究室を訪ねること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオ・ルーブリックを作成し最終講義時に提出して下さい。 本学ではGoogleフォームのシートを利用しています。利用方法等は追って説明します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ハンドアウトを配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
財務管理論	市村昭三編	創成社	978-4794420589

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

講義中の発言(40%)と期末試験(60%)による総合評価

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

毎回の授業の振り返りはポートフォリオで確認します。必要に応じてコメントします。試験結果や今後の学習の取り組みについては、メールやGoogleｸﾗｽﾙｰﾑを通じてアドバイスしますので、お問い合わせください。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	イントロダクション	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第2回	貨幣の時間的価値	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第3回	資本予算1	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第4回	資本予算2	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第5回	債券の利回り1	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第6回	債券の利回り2	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第7回	資金調達方法	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第8回	不確実性とリスク	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第9回	リスク回避と収益性	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第10回	期待収益率とリスク	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第11回	ポートフォリオ理論1	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第12回	ポートフォリオ理論2	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第13回	資本資産評価モデル（CAPM）	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第14回	資本コストと企業評価	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第15回	M&A	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第16回	M&A2	
	事前学習（内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)

第17回	配当政策と投資	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第18回	配当政策と投資	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第19回	Rの導入と実践	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第20回	Rの導入と実践2	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第21回	Financial Mathの導入と実践	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第22回	RIによる資本予算の計算	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第23回	RIによるの資本予算の計算2	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第24回	RIによる期待収益率と標準偏差の計算	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)

第25回	RIによるポートフォリオの計算とグラフ化	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第26回	RIによるポートフォリオの計算とグラフ化	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第27回	RIによる資本コスト(WACC)の計算	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第28回	RIによる資本コスト(WACC)の計算2	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第29回	RIによる企業評価	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第30回	企業倫理とSDGs	
	事前学習 （内容・時間）	日経新聞などで，時事経済・経営の問題について事前に学習する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	講義中の問題または課題を解答する(2時間)
第31回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（実践経営学）	～224	3年生・通年	4単位	必修	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・企業に雇われてサラリーマンになることを当然とせず，広く社会の仕組みや社会人としての常識を理解しつつ，自らの事業を創造していくなど，社会で活躍できるビジネスマンになるための気概が望まれます。企業経営に興味があり，将来，起業したいと思っている熱意のある学生を歓迎します。基礎ゼミ（遠藤ゼミ）を履修している事が望ましい。 ・新聞・雑誌やWebニュース等を読む習慣を身に付けるなど，社会のあらゆる事象に興味を持ち，自身の人生を成り行きに任せるのではなく，自分の理想とする社会，仕事，働く意義ややり甲斐とは何かを考え，前向きに生きようとする事が前提です。

授業概要　Course Outline

テーマ：実践経営学
・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。
・企業の経営戦略やベンチャー・流通マーケティング分野など「企業経営」に係わる知識だけでなく，社会人として必要な基礎知識や思考能力など，幅広い分野を学びます。（業界，業種，職種等々の研究や働き方についての考察含む）。
・ビジネスプランの作成とコンテスト等への応募および発表会等への参加，商業施設見学，ビジネス関連展示会や地域イベント等への参加，人脈（ネットワーク）の作り方，会社の設立（起業）の仕方，お金の儲け方（マーケティング・事業運営），お金の集め方（資金調達），事業計画の作り方，売上見込みの作り方，一流企業への就職・独立開業して成功する・幸せな人生をおくる方法など。
・毎回，自分の考えを述べてもらうなどのディスカッション形式で進めます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・専門ゼミを含む3年次以降の専門科目を理解するために必要な基礎知識（読み，書き，話す能力等）のブラシュアップおよび経営情報学関連科目について理解している。
・社会で活躍できるビジネスマンとして知っておくべき，社会の仕組みや「企業経営」関する各種理論等について理解し，主体的に「ビジネス」について考えられるようになる。
・最終的には，IT人材（高度情報化人材）として，自分のビジネスアイディアを事業計画書にまとめあげる能力を養い，その内容を発表するなど，プレゼンテーション能力を培っていきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型・演習型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応するとともに，自身の考えを積極的に発表してもらいます。
・また土日や放課後等を使った集中講義（特別講義）やビデオ演習，学外の企業・店舗の視察や損益分析などのビジネスシミュレーション等々を行います。視察やビデオに基づきディスカッションを行うなど，情報収集能力（聞き取り力，メモ力等）や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得や就職対策等々を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・グループLINEにより，教員だけでなくゼミ生全員の情報交換とコミュニケーションを図ります。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
事業創造入門	井上・黒澤・田中	中央経済社	978-4-502-51331-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
企業経営入門	井上・遠藤・山本	中央経済社	978-4-502-42681-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：提出された課題・レポート・成果物等の内容（60%），平常点（出席率やディスカッションへの参加状況，各種レポートの作成・提出状況，資格試験等への取り組み，ポートフォリオの活用や教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（40%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：広く社会の仕組みや企業経営およびビジネスや仕事の意義等について理解している。自分自身でビジネスアイディアを考案・検討することができる。また各種の資格にも挑むくらい，経営学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

基本的には，Googleクラスルームを使って，適宜，学習状況について質問等を受け付け，フィードバックおよび助言・指導をします。また試験結果を踏まえたフィードバックも，必要に応じてGoogleクラスルームを通じて行います。その他，連絡事項等もGoogleクラスルームを活用するため，連絡メッセージ等はよく確認するようにして下さい。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習（内容・時間）	シラバス，テキストの確認と興味あるビジネスに関する検討，自己紹介の準備（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容およびテキスト・配布資料等の再確認と演習・課題（自己紹介ワークシート）の実施（2時間）
第2回	キャリアプランとスケジュール管理（資格取得計画含む）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：スケジュール管理法の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第3回	①商業施設（ラーメン店）の調査見学の検討	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：見学候補の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第4回	②商業施設（ラーメン店）の調査見学実施（情報収集）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：見学レポートの作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第5回	③商業施設（ラーメン店）の調査見学とビジネスシミュレーション（売上・利益予測）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：レポートの作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第6回	商圏調査レポート（演習：売上見込みの作成）①	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：レポート①）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第7回	商圏調査レポート（演習：設備資金，運転資金の見積もり）②	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：レポート②）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第8回	商圏調査レポート（演習：収支計画，返済計画作成）③	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：レポート③）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第9回	商圏調査レポート（演習：見積損益計算書作成）④	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：レポー④）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第10回	商業施設見学の検討	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：見学候補の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第11回	商業施設見学（SC，アウトレットその他）の実施・総括	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：見学レポートの作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第12回	時事問題（演習：思考力訓練）①	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：時事問題①）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第13回	地域イベント・施設産業等の視察とマーケティングの考察（山笠，みずほpaypayドーム等）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：見学レポート作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第14回	大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト応募への検討①	
	事前学習（内容・時間）	学びたい事など，自分自身で企業経営や社会的事象等に関する情報収集を行う（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第15回	夏休みの行動計画（宿題：ビジネスアイディアの検討含む）と前期の総括	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：夏休み計画の作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第16回	夏休みの結果報告（宿題：ビジネスアイディアの検討含む）と後期の講義計画	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：結果報告書の作成）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）

第17回	大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト応募への検討②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：VBPの検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第18回	大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト応募への検討③	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：VBPの検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第19回	就職活動の検討	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：就活計画の作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第20回	展示会（ギフトショー，モノづくり展，食品産業創造展等）視察の総括	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：視察レポートの作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第21回	販促チラシの検討・作成（ドメインの検討）①	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：資料確認，情報収集）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第22回	販促チラシの検討・作成（ビジネスモデルとプロモーションの検討）②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：資料確認，情報収集）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第23回	販促チラシの検討・作成（販促チラシの作成と評価）③	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：資料確認，情報収集）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第24回	時事問題（演習：思考力訓練）②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：演習問題②）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）

第25回	時事問題（演習：思考力訓練）③	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：演習問題③）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第26回	冬休みの行動計画（宿題：4年次の計画含む）と前期の総括	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：計画の作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第27回	冬休みの結果報告（宿題：4年次の計画含む）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：結果報告書の作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第28回	レポート・論文の作成（レポートとは，論文とは，作成方法）①	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：事前情報の収集）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第29回	レポート・論文の作成（卒論テーマの検討と準備）②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：卒論テーマの検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第30回	春休みの行動計画（宿題：ビジネスアイディアの検討含む）と後期の総括	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第31回 （定期試験）	期末試験：課題・レポート・成果物等の提出と発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（企業DXとシステム戦略）	～224	3年生・通年	4単位	必修	桑原　重雄

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	
	将来「企業のDX推進」「システム企画・開発」などの分野で活躍したい学生を歓迎します。実務家教員として、現場で求められる考え方・進め方を伝えるとともに、自らの探究を形にする力を育てます。 失敗を恐れず、挑戦する姿勢で積極的に参加する学生を求めます。

授業概要　Course Outline

企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を実現するための戦略的視点とシステム設計思考を学ぶ。企業研究・業界分析・IT戦略策定などを通じて、ビジネスと情報技術を統合的に捉える力を養います。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	これまで担当してきた基幹系システムやDX関連プロジェクトの経験を踏まえ、企業が直面する課題設定の方法、業務分析の進め方、システム導入における計画立案などを、実際の現場で行われるプロセスを踏まえて指導する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・DXやシステム戦略の概念を理解し、企業事例をもとに分析・提案できる。
・課題設定から調査・分析・提案までの一連のプロセスを自律的に遂行できる。
・論理的・実践的にプレゼンテーションを行える。
・ICT・経営双方の知識を統合し、企業価値創造に資する提案ができる。
・研究として、実務・理論の両面から学術的な考察をまとめられる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

本ゼミでは、学生自身が企業研究・業界分析を行い、課題設定から仮説構築、調査、DX戦略提案までを主体的に取り組む。発表・討論・ワークショップを通じて多角的な視点を養い、ICTと経営を統合した実践的分析力・提案力・研究能力を育成する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

相談などは研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
必ず、研究室への来室は事前にメールで予約してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」の提出を平常点として加味する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
作成資料を適宜配布する。 また、研究・分析課題毎に指示する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営戦略入門　第2版	井上善海・大杉奉代・森宗一	中央経済社	978-4502421310

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

評価項目	割合	評価基準
企業研究・課題分析レポート	30%	調査の深さ、分析の論理性、資料の質
発表・討論への貢献	30%	発表内容の質、説明力、議論への積極的参加
最終プレゼン	20%	提案の根拠、実現可能性、資料作成力
平常点	30%	主体性、協働性、取り組み姿勢
合計	100%	成績は、知識の理解度だけでなく主体的な学び・思考の深さ・実践的応用力を総合的に評価する

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

本ゼミでは、発表・レポート・研究内容に対して、教員が論理構成・分析の深さ・資料の質・提案の妥当性などを実務的観点から具体的に助言する。学生が希望すれば、個別面談を通じて課題設定や調査方法を的確に指導し、改善点を明確化する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション／企業選定	
	事前学習（内容・時間）	企業候補3社を調査する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	企業決定理由を100字にまとめて記述する（2時間）
第2回	企業概要（経営理念、事業ドメイン、業績等）①	
	事前学習（内容・時間）	企業HP・IR調査（2時間）
	事後学習（内容・時間）	企業概要の取りまとめ（2時間）
第3回	企業概要（経営理念、事業ドメイン、業績等）②	
	事前学習（内容・時間）	企業HP・IR調査（2時間）
	事後学習（内容・時間）	企業概要の取りまとめ（2時間）
第4回	業界分析①	
	事前学習（内容・時間）	業界構造分析（2時間）
	事後学習（内容・時間）	業界構造分析の取りまとめ（2時間）
第5回	業界分析②	
	事前学習（内容・時間）	業界構造分析（2時間）
	事後学習（内容・時間）	業界構造分析の取りまとめ（2時間）
第6回	ビジネスモデル①	
	事前学習（内容・時間）	ビジネスモデルキャンパス（BMC）の作成（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ビジネスモデルキャンパス（BMC）のまとめ（2時間）
第7回	ビジネスモデル②	
	事前学習（内容・時間）	ビジネスモデルキャンパス（BMC）の作成（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ビジネスモデルキャンパス（BMC）のまとめ（2時間）
第8回	主要業務分析①	
	事前学習（内容・時間）	業務フロー調査（2時間）
	事後学習（内容・時間）	業務フロー整理（2時間）
第9回	主要業務分析②	
	事前学習（内容・時間）	業務フロー調査（2時間）
	事後学習（内容・時間）	業務フロー整理（2時間）
第10回	企業課題抽出①	
	事前学習（内容・時間）	IR（有価証券報告書、アニュアルレポート）から中期計画・課題を調査（2時間）
	事後学習（内容・時間）	企業課題のまとめ（2時間）
第11回	企業課題抽出②	
	事前学習（内容・時間）	IR（有価証券報告書、アニュアルレポート）から中期計画・課題を調査（2時間）
	事後学習（内容・時間）	企業課題のまとめ（2時間）
第12回	企業課題の深掘り①	
	事前学習（内容・時間）	企業課題をもとに5Why分析（2時間）
	事後学習（内容・時間）	企業課題原因図策定（2時間）
第13回	企業課題の深掘り②	
	事前学習（内容・時間）	企業課題をもとに5Why分析（2時間）
	事後学習（内容・時間）	企業課題原因図策定（2時間）
第14回	発表	
	事前学習（内容・時間）	発表資料の取りまとめ、発表練習等（2時間）
	事後学習（内容・時間）	発表資料改善（2時間）
第15回	振り返り	
	事前学習（内容・時間）	発表資料の改善、振り返り（2時間）
	事後学習（内容・時間）	後期計画書作成（2時間）
第16回	後期ガイダンス／DX概論と成功要因	
	事前学習（内容・時間）	前期企業課題に対する「DXアイデア」抽出（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「DXアイデア」を整理（2時間）

第17回	DX方向性案①	
	事前学習 （内容・時間）	DXアイデア作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	DXアイデア改訂（2時間）
第18回	DX方向性案②	
	事前学習 （内容・時間）	DXアイデア作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	DXアイデア改訂（2時間）
第19回	ToBe業務フロー①	
	事前学習 （内容・時間）	ToBe業務フローの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ToBe業務フローの改訂（2時間）
第20回	ToBe業務フロー②	
	事前学習 （内容・時間）	ToBe業務フローの作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ToBe業務フローの改訂（2時間）
第21回	必要システム要件①	
	事前学習 （内容・時間）	要件リスト案作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	要件リスト案改訂（2時間）
第22回	必要システム要件②	
	事前学習 （内容・時間）	要件リスト案作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	要件リスト案改訂（2時間）
第23回	DX施策案（短期）①	
	事前学習 （内容・時間）	DX施策案（短期）作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	DX施策案（短期）改訂（2時間）
第24回	DX施策案（短期）②	
	事前学習 （内容・時間）	DX施策案（短期）作成（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	DX施策案（短期）改訂（2時間）
第25回	DX施策案（中長期）①	
	事前学習 （内容・時間）	DX施策案（中長期）作成（ロードマップ案）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	DX施策案（中長期）改訂（2時間）
第26回	DX施策案（中長期）②	
	事前学習 （内容・時間）	DX施策案（中長期）作成（ロードマップ案）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	DX施策案（中長期）改訂（2時間）
第27回	発表	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の取りまとめ、発表練習等（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表資料改善（2時間）
第28回	提案書の作成①	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料をもとに提案資料策定（参考文献、資料整理）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	提案資料改訂（2時間）
第29回	提案書の作成、報告②	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料をもとに提案資料策定（参考文献、資料整理）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	提案資料改訂（2時間）
第30回	学びの振り返り・専門ゼミIIへの接続	
	事前学習 （内容・時間）	1年間の学修を振り返る準備（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	1年間の学習成果と次年度目標をレポート化（2時間）
第31回 （定期試験）	課題・レポート・成果物等の提出と発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ｾﾞﾐⅠ（プログラミング）	～224	3年生・通年	4単位	必修	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎ゼミまたは基礎演習に合格していること。 2年生までの必修科目すべてに合格していることが望ましい。 コンピュータ特にプログラミングに強い興味があることが望ましい。 ITパスポート試験に合格済であること、基本情報技術者試験の合格を目指すことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野、特にソフトウェア開発・プログラミングについての知識・技能を習得することを目標とする。
ITパスポート試験レベルの知識を前提として、基本情報技術者試験の午前問題を中心とした演習、卒業研究に向けての資料収集や調査、集団研究のテーマ探索、研究目的を明確化し、実現性を考慮した研究計画を考える。就職、進学、起業など進路についても考える。
なお、各自のテーマの方向性や調査・プレゼンテーションなどの進捗に応じて順序や内容を変更する場合がある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

基本情報技術者試験のA科目（旧午前問題）レベルを理解し、卒業研究のテーマ探しに関して、テーマの範囲、卒業までの研究時間、研究の最終目標と卒業までの目標、卒業研究論文の書き方、3年次でできることなどについて理解を深め、卒業研究に備える。
各人の状況によっては研究を開始する場合もある。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本情報技術者試験レベルの知識に不安がある場合は、過去問題を中心に知識の確認、補強をしてください。まずは各自で、公開問題や問題集を学習してください。
ハードウェア、回路の構成は手間がかかりますが、実際に配置・配線することでしかわからないこともあります。ですから、オンラインでの仮想回路の利用は、動作確認など最小限にして授業時間外に実際に実機を使って手を動かして復習してください。また学習したことを授業時間外に振り返るとともに、再構成・まとめ直しするように心がけてください。
不明点・疑問は先送りせずに質問してください。振り返りなどの課題は必ず提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けるほか、所属学生にはLINE他の連絡方法でも受け付けます。なお、所属学生についてはオフィスアワー以外でもできるだけ優先的に対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認としてポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出してください（提出時期については指示します）。
※学内のiパスコンテスト参加者、60%以上の高得点者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。以前の資料の一部を公開します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
令和08年 イメージ＆クレバー方式で よくわかる かやのき先生の 基本情報技術者教室	栢木 厚	技術評論社	978-4297152451

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題・発表資料等）が約40%、
2) 小テスト・前期・後期の学期末レポート・後期冒頭のプロジェクト発表、授業態度等が約60%であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が35%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で35%未満があれば、不合格になる場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

履修者に定期試験（本試験・追再試験）、および最終評価についての総評、
今後の取り組み方について説明します。説明の日時・場所等は別途お知らせします。
※個別にメール等で呼び出しをすることがあります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス・卒業研究のテーマ探しに向けて	
	事前学習（内容・時間）	2年生までの自分について知識・技能・体力など研究を始める時点での状況を確認する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第2回	卒業研究のテーマに関して、卒業生のテーマや調査方法について	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第3回	卒業研究のテーマ探しに向けた調査とプレゼンテーションについて	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第4回	プレゼンテーション（1）	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第5回	プレゼンテーション（2）	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第6回	プレゼンテーション（3）	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第7回	これまでのプレゼンテーションを受けての再調査やより深い調査へ向けて（1）	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第8回	模擬試験： 基本情報技術者試験午前問題の過去問題から	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第9回	基本情報技術者試験について、模擬試験の講評	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第10回	情報学・情報科学と研究テーマ	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第11回	プレゼンテーション（4）	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第12回	コンピュータサイエンス、特にソフトウェア分野と研究テーマ	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第13回	ハードウェア、IoT、ITエンジニアに関する分野と研究テーマ	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第14回	プレゼンテーション（5）	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第15回	前期のまとめと前期期末レポートの出題、夏休みの課題の出題	
	事前学習（内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進め、まとめの準備をする。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	前期のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努め、前期期末レポートにまとめる。[4.0h]
第16回	後期ガイダンス、夏休みの課題の振り返り	
	事前学習（内容・時間）	前期までの知識・技能・体力など研究を継続する時点での今の状況を確認する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]

第17回	個人研究のテーマに向けての調査方法、候補の検討の仕方	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第18回	ITパスポート試験の座学と研究テーマ探しへの適用	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第19回	基本情報技術者試験の出題分野と研究テーマ探しへの展開	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第20回	情報教育・プログラミング教育と研究テーマ	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第21回	データサイエンスとプログラミングと研究テーマ	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第22回	プレゼンテーション（6）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第23回	プレゼンテーション（7）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第24回	これまでのプレゼンテーションを受けての再調査やより深い調査へ向けて（2）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]

第25回	知識・技能の洗い出しと改善に向けた対応に向けて	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第26回	テーマとして研究したいこととできそうなことについて環境とともに検討する（1）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第27回	テーマとして研究したいこととできそうなことについて環境とともに検討する（2）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第28回	今の社会の課題と研究テーマ、社会に貢献するとは？その程度は？（1）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第29回	今の社会の課題と研究テーマ、社会に貢献するとは？その程度は？（1）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進める。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	その回のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努める。[2.0h]
第30回	後期・年度のまとめと学年末（後期期末）レポートの出題、春休みの課題の出題	
	事前学習 （内容・時間）	前回の振り返り・進捗に基づいて、調査・準備などを進め、まとめの準備をする。[2.0h]
	事後学習 （内容・時間）	1年間のゼミを振り返り、知識・技能の向上に努め、レポートに仕上げる。[4.0h]
第31回 （定期試験）	定期試験は、学年末レポートで実施	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（経営を変えるデジタル戦略を学ぶ）	～224	3年生・通年	4単位	必修	澤井　雅明

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	昨今のデジタルビジネスの理解を深め、将来はビジネスパーソンとして活躍したいと考えている人が望ましい。 プレゼンテーション資料の準備・発表があります。 自身の発表以外の授業の際も、ディスカッションに積極的に参加し、発言してもらうことを求めます。

授業概要　Course Outline

本ゼミでは本学の建学の精神、3つのポリシーを踏まえ、デジタル技術が経営戦略をどのように進化させ、企業の競争力を高めるかについて調査・分析し、デジタル化が顧客との関係、サプライチェーン、意思決定プロセスなどに与える影響を学びます。企業が成長を果たすためのデジタル戦略を実践的に学ぶことで、皆さん自身が経営戦略を立案し、提言ができるようになることが本ゼミの目標となります。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

研究対象とする業界・企業とその商品・サービスの設定を行う。
研究対象についての調査を進め、企業のデジタル戦略を理解し、その立案・提言ができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
②企業事例を紹介する教材を準備し、実際のビジネスシーンを体感できるような講義を行います。
③プレゼンテーション資料の作成や発表を行ってもらい、その内容について全員でディスカッションを進めて行きます。
④毎回の授業の終わりに授業内容をまとめた課題とレポート提出があります。またコメントカードの作成・提出もお願いしますので、感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『経営戦略入門（第2版）』	井上善海・大杉奉代・森宗一	中央経済社	978-4-502-42131-0
『経営情報学』	木嶋恭一・岸眞理子	有斐閣	978-4-641-22208-3

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

ゼミに対する日頃の取り組み（50%）と、与えられた課題や報告のレベル（50%）を基に評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	本授業のテーマについてネット検索等で調べ、疑問点を整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	受講のためのネットワーク環境や資料を整備する（2.0h）。
第2回	キャリアプランとスケジュール管理	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題等の実施（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第3回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（1）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第4回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（2）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第5回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（3）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第6回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（4）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第7回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（5）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第8回	興味のある業界・企業の調査・ディスカッション（6）	
	事前学習（内容・時間）	興味のある業界・企業について調査を行い、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第9回	業界動向・企業事例についてのディスカッション（1）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第10回	業界動向・企業事例についてのディスカッション（2）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第11回	業界動向・企業事例についてのディスカッション（3）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第12回	業界動向・企業事例についてのディスカッション（4）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第13回	業界動向・企業事例についてのディスカッション（5）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第14回	業界動向・企業事例についてのディスカッション（6）	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて教科書等を用い、疑問点について整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする（2.0h）。
第15回	秋学期のガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	ここまでの学修成果を整理する（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	今後の調査内容とスケジュールの確認・整理を行う（2.0h）。
第16回	就職活動の検討（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の確認、就活計画の作成等の実施（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	授業内容の整理を行い、活用できるよう準備しておく（2.0h）。

第17回	就職活動の検討（2）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の確認、就活計画の作成等の実施（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業内容の整理を行い、活用できるよう準備しておく（2.0h）。
第18回	就職活動の検討（3）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の確認、就活計画の作成等の実施（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第19回	レポート・論文の作成方法（1）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の確認および課題等の実施（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第20回	レポート・論文の作成方法（2）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の確認および課題等の実施（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第21回	レポート・論文の作成方法（3）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の確認および課題等の実施（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第22回	レポート・論文のテーマ検討・準備（1）	
	事前学習 （内容・時間）	資料作成、発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第23回	レポート・論文のテーマ検討・準備（2）	
	事前学習 （内容・時間）	資料作成、発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第24回	レポート・論文のテーマ検討・準備（3）	
	事前学習 （内容・時間）	資料作成、発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第25回	レポート・論文のテーマ検討・準備（4）	
	事前学習 （内容・時間）	資料作成、発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第26回	レポート・論文のテーマ検討・準備（5）	
	事前学習 （内容・時間）	資料作成、発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第27回	レポート・論文のテーマ検討・準備（6）	
	事前学習 （内容・時間）	資料作成、発表の準備を行う（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	ディスカッション内容や気づいた点の整理を行う（2.0h）。
第28回	今後の課題の明確化（1）	
	事前学習 （内容・時間）	1年の学修成果を振り返り、自分なりに成果と課題を整理し、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業で得た知見などを整理する（2.0h）。
第29回	今後の課題の明確化（2）	
	事前学習 （内容・時間）	1年の学修成果を振り返り、自分なりに成果と課題を整理し、レジュメを作成する（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	授業で得た知見などを整理する（2.0h）。
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	1年間のゼミ活動、学修成果をまとめる（2.0h）。
	事後学習 （内容・時間）	これまでの成果をまとめ説明できるようにする（2.0h）。
第31回 （定期試験）	期末試験：課題・レポート・成果物等の提出と発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（経営史／労働政策）	～224	3年生・通年	4単位	必修	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・経営学総論Ⅰ、マーケティング論、経営組織論、経営戦略論、経営史、コマース論 労務管理論などの関連科目を履修し、単位を取得していること。 ・留学生は日本語能力試験（JLPT）N2、またはN1に合格していること。

授業概要　Course Outline

この授業は、経営史、および労務管理の専門書を用いて、文献の読み方と整理の仕方、さらには、学術論文を執筆する際の基本的なプロトコルやなどを身に付けることを主な目的とする。本学の必修である「卒業研究」を円滑に進め、最終成果物としての「卒業論文」を執筆するための専門的知識を身に付けることで、創造的な思考力や論理的な思考力を高め、社会の様々な事象、とりわけ企業の成り立ちや成長企業・衰退企業の特徴、さらには、人的資源の活用や雇用に関する問題などに触れることで、本学ディプロマポリシーⅤに示すような、広範囲に対応できる複眼的な知識や理解、汎用的な技能を獲得し、それらを総合的に活用することで、自ら立てた新たな課題に適用させることにより、その課題を解決することができる主体的でかつ実践的な思考力などを身に付けることが可能になる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

（1）学術論文を読んで考える力、議論する力が身に付いた。
（2）学術論文を執筆できる基礎的な力が身に付いた。
（3）専門分野の応用的な知識が身に付いた。
（4）教員と学生、学生どおしの交流を深めることにより、人間的な成長をはかることができた。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容と関連させて、個人発表やグループ・ディスカッションを導入する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認については、kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営史入門シリーズ 経営史＜第2版＞	安部悦生	日本経済新聞社	978-4-532-11218-9
ゼロからわかる大学生のための レポート・論文の書き方	石井一成	ナツメ社	978-4-8163-5057-3
人事労務管理入門	今野浩一郎	日本経済新聞社	978-4-532-11190-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マインドマップ練習帳 即効 だれでも・やさしくまなべる	片岡俊行	秀和システム	4-7980-1229-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

グループワーク・討論への取り組み（15%）とレポート（15%）、定期試験（70%）に基づき判断し、評価をする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション 本ゼミナールで学ぶこと，到達目標，ゼミナールの進行方法		
	事前学習 （内容・時間）	2024年度 専門ゼミ・演習ガイドブックを通読しておく	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理	（2.0）
第2回	テキストの輪読「経営史はなぜ必要か」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「経営史はなぜ必要か」について通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理	（2.0）
第3回	テキストの輪読「Ⅰ戦略商品と経済覇権の変遷①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅰ戦略商品と経済覇権の変遷」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第4回	テキストの輪読「Ⅰ戦略商品と経済覇権の変遷②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅰ戦略商品と経済覇権の変遷」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第5回	テキストの輪読「Ⅰ戦略商品と経済覇権の変遷③」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅰ戦略商品と経済覇権の変遷」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第6回	テキストの輪読「Ⅱ会社の誕生－イギリスの産業革命①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅱ会社の誕生－イギリスの産業革命」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第7回	テキストの輪読「Ⅱ会社の誕生－イギリスの産業革命②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅱ会社の誕生－イギリスの産業革命」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第8回	テキストの輪読「Ⅱ会社の誕生－イギリスの産業革命③」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅱ会社の誕生－イギリスの産業革命」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第9回	テキストの輪読「Ⅲビッグ・ビジネスの誕生－アメリカの第二次産業革命①」、テキストに基づく報告，議論 フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅲビッグ・ビジネスの誕生－アメリカの第二次産業革命」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第10回	テキストの輪読「Ⅲビッグ・ビジネスの誕生－アメリカの第二次産業革命②」、テキストに基づく報告，議論 フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅲビッグ・ビジネスの誕生－アメリカの第二次産業革命」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第11回	テキストの輪読「Ⅲビッグ・ビジネスの誕生－アメリカの第二次産業革命③」、テキストに基づく報告，議論 フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅲビッグ・ビジネスの誕生－アメリカの第二次産業革命」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第12回	テキストの輪読「Ⅳ大競争時代－多様化する競争のかたち①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキストの輪読「Ⅳ大競争時代－多様化する競争のかたち」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第13回	テキストの輪読「Ⅳ大競争時代－多様化する競争のかたち②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキストの輪読「Ⅳ大競争時代－多様化する競争のかたち」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第14回	テキストの輪読「Ⅳ大競争時代－多様化する競争のかたち③」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキストの輪読「Ⅳ大競争時代－多様化する競争のかたち」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第15回	テキストの輪読「終章 ものづくりとファイナンス―大企業、ベンチャーネットワーク、マネー」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「終章 ものづくりとファイナンス―大企業、ベンチャーネットワーク、マネー」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第16回	テキストの輪読「序章 人事管理の視点」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「序章 人事管理の視点」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）

第17回	テキストの輪読「Ⅰ社員区分制度と社員格付け制度①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅰ社員区分制度と社員格付け制度」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第18回	テキストの輪読「Ⅰ社員区分制度と社員格付け制度②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅰ社員区分制度と社員格付け制度」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第19回	テキストの輪読「Ⅱ採　用①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅱ採　用」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第20回	テキストの輪読「Ⅱ採　用②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅱ採　用」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第21回	テキストの輪読「Ⅲ配置と異動①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅲ配置と異動」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第22回	テキストの輪読「Ⅲ配置と異動②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅲ配置と異動」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第23回	テキストの輪読「Ⅳ人事評価と昇進管理①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅳ人事評価と昇進管理」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第24回	テキストの輪読「Ⅳ人事評価と昇進管理②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅳ人事評価と昇進管理」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第25回	テキストの輪読「Ⅴ給与と福利厚生①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅴ給与と福利厚生」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第26回	テキストの輪読「Ⅴ給与と福利厚生②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅴ給与と福利厚生」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第27回	テキストの輪読「Ⅵ教育訓練①」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅵ教育訓練」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第28回	テキストの輪読「Ⅵ教育訓練②」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅵ教育訓練」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第29回	テキストの輪読「Ⅶ労働時間と勤務形態」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅶ労働時間と勤務形態」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第30回	テキストの輪読「Ⅷ労働組合と労使関係管理」、テキストに基づく報告，議論，フィードバック		
	事前学習 （内容・時間）	テキスト「Ⅷ労働組合と労使関係管理」を通読しておく。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	ミニットペーパーの解答、本時の内容の整理。	（2.0）
第31回 （定期試験）	レポートの提出、定期試験の実施		

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（脳科学・人工知能）	～224	3年生・通年	4単位	必修	中島直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎ゼミ・基礎演習の単位を取得していること

授業概要　Course Outline

本ゼミではディプロマポリシーに基づき、脳科学と人工知能を中心とした知識の構築と活用について考えていきます。ゼミ内では、学生に調べてもらったことを発表してもらい、他の学生と情報共有をする形で互いの知識をアップデートしていくことを目指します。また、これらの知識を活用して、社会問題を解決するような研究を行ってもらいます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

社会が抱えている問題に対して、自身の専門分野の知識を使い、問題解決を行う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

様々な最新の技術を自身で調べ、活用する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

定期的なプレゼンによる進捗状況の確認とそれに対するフィードバックを行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
カラー図解　脳の教科書　はじめての「脳科学」入門	三上　章允	講談社	978-4-06-529724-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

講義内のプレゼン(50%)と研究への取り組み(50%)で評価をします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

Google Classroomへの成果物の提出により各学生の取り組み度合を教員が把握し、ゼミ内の時間で各学生に応じてフィードバック（具体的な取り組み方法など）を実施する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	前期ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	脳科学や人工知能について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	今後の予定を立てる(2h)
第2回	脳科学の基礎 1：脳の構造と機能	
	事前学習（内容・時間）	大脳、海馬、視覚野など主要な部位の役割について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第3回	脳科学の基礎 2：神経伝達と情報処理	
	事前学習（内容・時間）	神経伝達物質とその役割について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第4回	人工知能の基礎 1：機械学習の基礎	
	事前学習（内容・時間）	AIの歴史と種類について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第5回	脳とAIの接点 1：ニューラルネットワーク入門	
	事前学習（内容・時間）	パーセプトロンとバックプロパゲーションについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	人間の脳と人工ニューラルネットの違いについて考える(2h)
第6回	脳科学の応用 1：脳の可塑性と学習	
	事前学習（内容・時間）	脳の可塑性の仕組みについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第7回	人工知能の基礎 2：ディープラーニング入門	
	事前学習（内容・時間）	畳み込みニューラルネットワーク（CNN）の構造と応用について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	自然言語処理への応用について調べる(2h)
第8回	脳とAIの接点 2：注意と記憶	
	事前学習（内容・時間）	人間の注意メカニズムとAIへの応用について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第9回	脳科学の応用 2：脳波とBMI（Brain-Machine Interface）	
	事前学習（内容・時間）	EEGとニューロフィードバックについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	BMIの最新技術と可能性について調べる(2h)
第10回	AIの応用 1：脳波データ解析	
	事前学習（内容・時間）	脳波データの収集・処理について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第11回	脳とAIの接点 3：視覚と画像認識	
	事前学習（内容・時間）	視覚野の仕組みとCNNの類似性について調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	画像認識技術の課題と展望について考える(2h)
第12回	脳科学の基礎 3：感情と意思決定	
	事前学習（内容・時間）	感情の脳内メカニズムについて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	意思決定とAIアルゴリズムの関係について考える(2h)
第13回	人工知能の基礎 3：生成AIと創造性	
	事前学習（内容・時間）	GAN（Generative Adversarial Networks）の原理のついて調べる(2h)
	事後学習（内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第14回	テーマ選定と初期計画	
	事前学習（内容・時間）	脳科学またはAIに関連するテーマの選定をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第15回	前期まとめ	
	事前学習（内容・時間）	前期を振り返る(2h)
	事後学習（内容・時間）	今後の予定を立てる(2h)

第16回	後期ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	前期を振り返る(2h)
	事後学習 （内容・時間）	今後の予定を立てる(2h)
第17回	脳科学の応用 3：脳疾患とAI診断	
	事前学習 （内容・時間）	AIを用いた診断と治療の可能性について調べる(2h)
	事後学習 （内容・時間）	AIを用いた診断と治療の可能性について考える(2h)
第18回	AIの応用 2：自然言語処理と脳の言語処理	
	事前学習 （内容・時間）	GPTの仕組みと活用例について調べる(2h)
	事後学習 （内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第19回	脳とAIの接点 4：社会的行動と倫理	
	事前学習 （内容・時間）	AIの倫理的な問題と課題について調べる(2h)
	事後学習 （内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第20回	脳科学の応用 4：睡眠と記憶の統合	
	事前学習 （内容・時間）	睡眠中の脳活動について調べる(2h)
	事後学習 （内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第21回	AIの応用 3：強化学習と意思決定	
	事前学習 （内容・時間）	強化学習のアルゴリズムについて調べる(2h)
	事後学習 （内容・時間）	実生活への応用例について調べる(2h)
第22回	脳科学の基礎 4：知覚と意識	
	事前学習 （内容・時間）	意識の脳内メカニズムについて調べる(2h)
	事後学習 （内容・時間）	AIにおける「意識」について考える(2h)
第23回	脳とAIの未来 1：BMIと人間拡張	
	事前学習 （内容・時間）	脳とコンピュータの直接接続の可能性について調べる(2h)
	事後学習 （内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)

第24回	脳とAIの未来 2：人間の創造性とAIの限界	
	事前学習 （内容・時間）	創造性と直感の脳内メカニズムについて調べる(2h)
	事後学習 （内容・時間）	AIが「創造性」に到達する可能性について考える(2h)
第25回	データ分析と結果の解釈	
	事前学習 （内容・時間）	データの取得と前処理を行う(2h)
	事後学習 （内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第26回	プレゼン準備①	
	事前学習 （内容・時間）	データの整理を行う(2h)
	事後学習 （内容・時間）	パワポの確認と修正(2h)
第27回	プレゼン準備②	
	事前学習 （内容・時間）	データの整理を行う(2h)
	事後学習 （内容・時間）	パワポの確認と修正(2h)
第28回	発表	
	事前学習 （内容・時間）	発表の最終確認を行う(2h)
	事後学習 （内容・時間）	フィードバックの確認を行う(2h)
第29回	脳科学とAIの学びを活かしたキャリア設計	
	事前学習 （内容・時間）	自分のキャリアと向き合う(2h)
	事後学習 （内容・時間）	内容の整理と応用について考える(2h)
第30回	後期まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	後期について振り返る(2h)
	事後学習 （内容・時間）	学んだ知識の応用を考える(2h)
第31回 （定期試験）	成果物の提出	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（TOEIC）	～224	3年生・通年	4単位	必修	クリス　フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること ③英検準2級程度の英語能力は基準 ④留学生の場合JLPT　N1も本格的に目指す

授業概要　Course Outline

本専門セミは、基礎ゼミに引き続き、英語力の向上を目的とした1年間の集中講座です。TOEICテストに焦点を当て、新聞記事、オンライン記事、Audio Visual Media、Podcastなど幅広いテキスト教材を使用し、英語の理解力だけでなく、一般常識や時事問題など視野を広げていきます。より高いレベルの英語力が身につけば、コミュニケーションや情報収集・発信の効果的なツールとして活用できる。また、教師はプロの翻訳者・通訳者としての資格を生かし、生徒の英語と日本語との関連についての知識を高めます。生徒は、教師が企画する課外活動に参加するよう奨励される。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

The objective of this seminar is for students to reach the level of a score of at least 700 in the TOEIC test. This will be done through a year of dedicated work concentrating on the 7 parts of the TOEIC L&R test. The first semester will focus on the listening questions and the second semester on the reading questions. Through a number of texts and projects the students will aim to raise their English ability to a level where it can be used in the workplace after graduation.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

The students will be actively involved in giving presentations during class on designated topics.
Oral presentations will be a main part of weekly classes. Also, students will be required to create their own TOEIC questions to submit to the class in collaborative tasks promoting active learning.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

Students can contact the teacher through office hour, Google Classrooms or directly by email flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　1月、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに　フリン　までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
TOEIC TEST 単語特急新形式対策	森田　哲也	朝日新聞出版	978-4-02-331536-5
TOEIC L&R TEST パート5特急	神崎　正哉	朝日新聞出版	978-4-02-331872-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
公式TOEIC Reading and Listening 1		ETS	978-4-906033-49-2
公式TOEIC Reading and Listening 2		ETS	978-4-906033-50-8
公式TOEIC Reading and Listening 3		ETS	978-4-906033-53-9
公式TOEIC Reading and Listening 4		ETS	978-4-906033-54-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、レポート・提出物など60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルーム（クラスコードz3wlu4d)にてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題をクラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction to the Seminar. Students will introduce themselves in English	
	事前学習（内容・時間）	Prepare oral introductions with powerpoint slides. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise introduction on advice from teacher and viewing other students. 2hr
第2回	Introduction to the TOEIC test listening parts 1, 2, 3, 4	
	事前学習（内容・時間）	Look up the listening questions in the library and online. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise classwork exercises of listening questions. 2hr
第3回	Introduction to the TOEIC Test reading parts 5, 6, 7	
	事前学習（内容・時間）	Examine the different types of writing exercises in text books in library and online. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise classwork and reading exercises from class. 2hr
第4回	TOEIC test Part 1　Picture questions	
	事前学習（内容・時間）	Students research part 1 question and bring a picture to make question. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Study all the part 1 questions created by students in class. 2hr
第5回	TOEIC Part 2　Short answers	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 1 short answer questions from past tests in library and online. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 1 short answer questions. 2hr
第6回	TOEIC Part 2　Short answers (continued)	
	事前学習（内容・時間）	Create Part 2 short answer questions for class. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the Part 2 short answer questions created by students. 2hr
第7回	TOEIC Part 3 Conversation questions	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 3 conversation questions from past tests in library and online. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 3 conversation questions. 2hr
第8回	TOEIC Part 3 Conversation questions （continued）	
	事前学習（内容・時間）	Create　Part 3 conversation questions for class. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the　Part 3 conversation questions created by students. 2hr
第9回	TOEIC Part 4 Single speaker questions	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 4 single speaker questions from past tests in library and online. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 4 single speaker questions. 2hr
第10回	TOEIC Part 4 Single speaker questions （continued）	
	事前学習（内容・時間）	Create Part 4 single speaker questions for class. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the Part 4 single speaker questions created by students. 2hr
第11回	Other English tests, Eiken	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test books in the library find out what your Eiken level is. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Download an Eiken test from the official site and do the test. 2hr
第12回	Eiken writing test	
	事前学習（内容・時間）	Revise the writing requirements for your Eiken level. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete a writing test question. 2hr
第13回	Other Test　TOEFL　IBT	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test books in the library examine the 4 parts to the TOEFL test. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete TOEFL tasks designated by teacher. 2hr
第14回	Other Test IELTS	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test books in the library examine the 4 parts to the IELTS test. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete IELTS tasks designated by teacher. 2hr
第15回	Semester Test　Mini TOEIC Test in class	
	事前学習（内容・時間）	Revision of previous TOEIC listening questions.　2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise your test answers.　2hr
第16回	Introduction to Second Semester	
	事前学習（内容・時間）	Revision of previous TOEIC listening. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Prepare designated materials. 2hr

第17回	TOEIC Part 5　short sentences	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in Part 5 past tests in the library. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework tasks Part 5 and revision. 2hr
第18回	TOEIC Part 5　short sentences (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in part 5. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 5 homework tasks designated by teacher. 2hr
第19回	TOEIC Part 5　short sentences (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Create Part 5 questions. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise all Part 5 questions created by students. 2hr
第20回	TOEIC Part 6　Text Completion	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in Part 6 past tests in the library. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework Part 6 tasks and revision. 2hr
第21回	TOEIC Part 6　Text Completion (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in part 6. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 6 homework tasks designated by teacher. 2hr
第22回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in past Part 6 tests in the library. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homewor Part 6 tasks and revision. 2hr
第23回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued）	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in Part 7. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 7 homework tasks designated by teacher. 2hr
第24回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued）　strategies	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare question answering strategies Part 7. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework task – designate Part 7 strategies. 2hr
第25回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued）　Tests	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare vocabulary lists for Part 7 test. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise Part 7 tests done in class. 2hr
第26回	Mini TOEIC test	
	事前学習 （内容・時間）	Study vocabulary and grammar lists provided by teacher prior to test.　2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise corrected test and any mistakes from mini test.　2hr
第27回	Eiken Step up level. Students will advance to the next level up for writing exercise in Eiken	
	事前学習 （内容・時間）	Study prior tests and answers to the 2 writing tasks provided by teacher. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Review the 2 writing tasks in your designated level. 2hr
第28回	Eiken in-class test. Abbreviated Eiken test in each students' level	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare vocabulary and grammar, writing and listening. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Review the results and mistakes in your test. 2hr
第29回	Study TOEIC via news media （provided by teacher in class）	
	事前学習 （内容・時間）	Watch news videos and short documentaries designated by teacher. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Search for similar news reports to present in class. 2hr
第30回	Final report preparation: Creating your own test.	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare questions for aprts 1-7 of the TOEIC test including photos and audio script. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete final report and sumit it to teacher online. 5hr
第31回 （定期試験）	レポートを課す。自分でTOEIC Testの問題を作成し、提出。	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ ホームロボット向けのシミュレーションシステム開発におけるAI搭載のソフトウェアおよびハードウェア	～224	3年生・通年	4単位	必須	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	本学の教務課による選考結果に基づき,本ゼミの受講が決定した学生のみを対象とする.

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき, この専門ゼミ1では,学術的な研究スキルを学ぶ機会を提供し,研究プロポーザルの作成と発表を結論とする.前期には,研究メソッドや文献検索の技法に始まり,研究調査の設計,データ分析技法,進捗報告書の作成方法まで学び,進捗報告の発表を行うこと.後期には,研究イベントに参加することで,発表経験や意識を高める機会も提供し,結果的な研究プロポーザルを生成し,自信を持って発表できる能力を身につけることを目指する.4年生の卒業論文発表会を聴講し,質問を行い,レポートを作成する.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本ゼミのテーマに関連する研究背景を明確に説明できるようになる.

解析ソフトウェアを活用し,直感的で使いやすいハードウェアを操作できるスキルを習得する.

研究イベントでのポスター発表を通じて,研究提案（プロポーザル）の経験を積み,それを説明できるようになり,卒業論文執筆に必要な基盤を構築する.

4年生の卒業論文発表会において,作成したレポートを通じて研究計画の重要性を理解できるようになる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

普通の授業と異なり,毎回,各学生に2～3分間の連絡事項を話してもらい（資料なしでも可）,自分のPCを持参してください.授業時間外では,少なくとも月に1回,事前に予約をして1対1のディスカッションを行うことをお勧めする.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので, 毎回PCを持参することが望ましい.
毎の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
一生使える見やすい資料のデザイン入門	森重湧太	インプレス	978-4295018513

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Python3年生 ディープラーニングのしくみ	森巧尚	翔泳社	9784-798174983

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

研究イベントの参加へとポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況（20%）,進捗報告書・研究ポスター（30%）,プロポーザル発表 (30%),レポート (20%).

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,ポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに,本ゼミのシラバスを読んでおくこと.自分のPCでVisual Studioをインストールすること.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	Local-PC Visual StudioのPython環境を完成させること.(2時間)
第2回	研究とは何か,研究プロセスの概要	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	Canvaのプレゼンテーションの形式を使用して,「研究とは何か」,「研究プロセスの概要」を2枚スライド作成すること.(2時間)
第3回	Visual Studio : プログラミングの環境設定 (Local-PC)	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	Local-PC Visual StudioのPython環境を完成させ,Pythonの「Hello world」をテストすること.(2時間)
第4回	Visual Studio : Pythonコードのテスト (Local-PC)	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第5回	EV3-Robot：操作	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第6回	EV3-Robot：プログラミングと分析	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第7回	OverleafとCanva： 進捗報告書の作り方	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.(2時間)
第8回	EV3-Robot：進捗報告書の作成	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.(2時間)
第9回	YOLO:自分のウェブカメラで動かし方□	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第10回	YOLO:COCOデータセットについて	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第11回	YOLO：進捗報告書の作成	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.(2時間)
第12回	なぜ？：ホームロボットが必要であり,物体検出が重要	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	Canvaのプレゼンテーションの形式を使用して,「ホームロボットが必要」,「物体検出が重要」を2枚スライド作成すること.(2時間)
第13回	物体検出：YOLO を用いた Local-PC と EV3-Robot	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第14回	物体検出：進捗報告書の作成□	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.(2時間)
第15回	進捗報告：発表□	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	ゼミで自分と他の方の発表した内容を復習すること.(2時間)
第16回	研究テーマの選定：興味と課題の発見,テーマの絞り込み方法	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□

第17回	決定テーマ：研究背景・歴史から今までの社会現状について□	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第18回	研究ポスターの作成	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップ（Canva）や動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第19回	研究ポスターの改善	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップ（Canva）や動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第20回	ポスター発表の練習	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップ（Canva）や動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第21回	ポスター発表会	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.（2時間）
第22回	マイクロコントローラー：Arduino IDEのインストール	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第23回	マイクロコントローラー：Arduino Nano 33 BLE Sense Rev2	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第24回	マイクロコントローラー：機械学習のプロジェクト	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□

第25回	マイクロコントローラー：プログラミング	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第26回	マイクロコントローラー：進捗報告書の作成	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.（2時間）
第27回	研究プロポーザル発表資料の作成：研究背景と関連研究などの作成	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.（2時間）
第28回	研究プロポーザル発表資料の作成：提案手法/研究方法などの作成	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.（2時間）
第29回	研究プロポーザル発表資料の作成：研究予定の作成	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,次回のゼミ開始前までに提出すること.（2時間）
第30回	研究プロポーザル発表	
	事前学習（内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミで自分と他の方の発表した内容を復習すること.(2時間）
第31回（定期試験）	レポートを実施する.	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ（情報セキュリティと疑似乱数系列生成）	～224	3年生・通年	4単位	必修	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	専門ゼミ・演習選択において宮﨑の専門ゼミを志望し、事前面談を経て志望理由書を提出し専門ゼミ参加を認められたものに限る。ただし、編入生は編入時に志望し事前面談と志望理由書の提出があればこれに代替することができる。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この講義は3年生の専門ゼミ生として4年生進級時に必要な卒論テーマを探し、どのような内容の研究を行うかについてプレゼン資料を作成、他のメンバーに説明することを目標とする。また、主に前期は基礎的な学習や、プログラミングの基礎、iパス・基本情報技術者試験の問題を解く事、情報セキュリティに関する文献を読みどのような表現が用いられているのかを調べ、後半の各自のテーマ探しに役立てる。後半では、主に各自が考えた研究テーマを広げ、掘り下げてより知識を広げることで4年次に挑戦すべき研究テーマを絞り込んでいく。なお、専門ゼミⅠに参加する人数や学生各個人の知識・興味分野に合わせて授業の進行速度は適宜変更する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

情報セキュリティや擬似乱数生成などの技術について解説した文献を読み解く能力を積み上げ、その先にある各自が調査を進めたい研究テーマについて絞り込んでいき、これを他のメンバーに分かるように伝達する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ゼミの時間以外でも研究テーマについての調査を行い、それらについて各自がまとめて必要に応じて発表資料を作成する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

卒業論文のテーマとそれに関連する調査内容をまとめた発表資料を作成し、提出してもらいます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
研究テーマや興味のある分野に合わせて文献や論文を示す			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
セはセキュリティのセ 情報セキュリティ入門	桑田喜隆・石坂徹	学術図書出版社	978-4-7806-1127-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成果物の提出：　以下の2つをどちらも必ず提出すること
①　4年次の卒業研究に必要な各自のテーマ決め、他者に伝えるための説明用プレゼン資料(70%)
②　①で行う研究に必要な文献調査票、プログラムなどの各種資料・データ(30%)

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

専門ゼミの時間内・外無関係に随時卒論テーマ決めについて必要な指導を行う。また夏季休業中など長期休暇の間は、文献調査など課題を出し提出された結果を全員で共有しながら必要に合わせて助言や訂正などを行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	前期ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	行いたい研究についての考えをまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	他の履修予定の講義と併せてゼミスケジュールの調節を行う（2.0h）
第2回	自己紹介①	
	事前学習（内容・時間）	自己紹介の発表用スライドを作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	他の参加者の発表で指摘された点を自分の発表の修正として取り込む（2.0h）
第3回	自己紹介②	
	事前学習（内容・時間）	自己紹介の発表用スライドを作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	他の参加者の発表で指摘された点を自分の発表の修正として取り込む（2.0h）
第4回	文献調査①	
	事前学習（内容・時間）	割り当てられた文献を読んで要点を抽出する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	文献調査の方法を復習する（2.0h）
第5回	文献調査②	
	事前学習（内容・時間）	割り当てられた文献を読んで要点を抽出する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	文献調査の方法を復習する（2.0h）
第6回	文献調査③	
	事前学習（内容・時間）	割り当てられた文献を読んで要点を抽出する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	文献調査の方法を復習する（2.0h）
第7回	論理的な文章の理解①	
	事前学習（内容・時間）	割り当てられた文献を音読しておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	論理的な文章について理解を深める（2.0h）
第8回	論理的な文章の理解②	
	事前学習（内容・時間）	割り当てられた文献を音読しておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	論理的な文章について理解を深める（2.0h）
第9回	論理的な文章の理解③	
	事前学習（内容・時間）	割り当てられた文献を音読しておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	論理的な文章について理解を深める（2.0h）
第10回	iパス・基本情報技術者試験の問題研究①	
	事前学習（内容・時間）	基本情報技術者試験の過去問題を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	演習問題や知らなかった知識を再度確認する（2.0h）
第11回	iパス・基本情報技術者試験の問題研究②	
	事前学習（内容・時間）	基本情報技術者試験の過去問題を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	演習問題や知らなかった知識を再度確認する（2.0h）
第12回	iパス・基本情報技術者試験の問題研究③	
	事前学習（内容・時間）	基本情報技術者試験の過去問題を読んでおく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	演習問題や知らなかった知識を再度確認する（2.0h）
第13回	卒論に向けて①	
	事前学習（内容・時間）	各自の研究テーマに繋がる文献などを調査する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	後半に向けて研究テーマに関する知識を深める（2.0h）
第14回	卒論に向けて②	
	事前学習（内容・時間）	各自の研究テーマに繋がる文献などを調査する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	後半に向けて研究テーマに関する知識を深める（2.0h）
第15回	卒論に向けて③・後期への準備	
	事前学習（内容・時間）	各自の研究テーマに繋がる文献などを調査する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	夏季休業中に調査する内容を整理する（2.0h）
第16回	後期ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	調査した内容について要約する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	研究を進める方向を見極める（2.0h）

第17回	卒論テーマ探し①	
	事前学習 （内容・時間）	興味あるものや卒論テーマに繋がるものを広く調べる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた指摘や類似する内容などについて整理する（2.0h）
第18回	卒論テーマ探し②	
	事前学習 （内容・時間）	興味あるものや卒論テーマに繋がるものを広く調べる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた指摘や類似する内容などについて整理する（2.0h）
第19回	卒論テーマ探し③	
	事前学習 （内容・時間）	興味あるものや卒論テーマに繋がるものを広く調べる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた指摘や類似する内容などについて整理する（2.0h）
第20回	卒論テーマ探し④	
	事前学習 （内容・時間）	興味あるものや卒論テーマに繋がるものを広く調べる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた指摘や類似する内容などについて整理する（2.0h）
第21回	卒論テーマ探し⑤	
	事前学習 （内容・時間）	興味あるものや卒論テーマに繋がるものを広く調べる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた指摘や類似する内容などについて整理する（2.0h）
第22回	卒論テーマ探し⑥	
	事前学習 （内容・時間）	興味あるものや卒論テーマに繋がるものを広く調べる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた指摘や類似する内容などについて整理する（2.0h）
第23回	中間報告	
	事前学習 （内容・時間）	自分の卒論研究テーマについてまとめる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた指摘をまとめ次に何を調べるのかを考える（2.0h）
第24回	卒論テーマまとめ①	
	事前学習 （内容・時間）	卒論として調べていく研究内容を絞り込む（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	調査した内容を整理し、追加が必要な内容を調べる（2.0h）

第25回	卒論テーマまとめ②	
	事前学習 （内容・時間）	卒論として調べていく研究内容を絞り込む（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	調査した内容を整理し、追加が必要な内容を調べる（2.0h）
第26回	卒論テーマまとめ③	
	事前学習 （内容・時間）	卒論として調べていく研究内容を絞り込む（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	調査した内容を整理し、追加が必要な内容を調べる（2.0h）
第27回	卒論テーマまとめ④	
	事前学習 （内容・時間）	卒論として調べていく研究内容を絞り込む（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	調査した内容を整理し、追加が必要な内容を調べる（2.0h）
第28回	卒論テーマまとめ⑤	
	事前学習 （内容・時間）	卒論として調べていく研究内容を絞り込む（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	調査した内容を整理し、追加が必要な内容を調べる（2.0h）
第29回	卒論テーマまとめ⑥	
	事前学習 （内容・時間）	卒論として調べていく研究内容を絞り込む（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	調査した内容を整理し、追加が必要な内容を調べる（2.0h）
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	卒論テーマと特に注目したい内容をまとめる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	卒論テーマ選択として得られた結果を提出する（2.0h）
第31回 （定期試験）	試験（成果物の提出）	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門演習 Ⅱ 数理・AI・データサイエンス （リテラシーレベル）	～223	4年生・通年	4単位	必修	荒平 高章・中島 直樹 ・宮﨑 武

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	データサイエンスを含む情報系の基礎的な知識・技術の習得に興味があり、データ利活用に関する演習やDAC・eスポーツ部の活動にも積極的に参加できること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、本演習では情報系の基礎的な知識・技術の習得を目指す。具体的には、KIIS数理・AI・データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）の修得を目指すことや、DAC・eスポーツ部といった情報に関連する部活動の様々な活動に参加することなどを行うことなどによって様々な知見を得る。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学の建学の精神に則り、自分自身で設定したそれぞれの目標について学習計画や活動計画を立案し、実践することができる力を得る。また、様々な課外活動を通して、チームワークの重要性や自己管理能力の大切さなどを再確認する。また、専門演習Ⅰで得た知見をもとに自身の関心のある事項について卒業論文としてまとめる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

専門演習の時間以外でも、各担当教員の専門ゼミや具体的な研究についても興味を広げ、自ら調査・学習する力を育てる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などはそれぞれの教員の研究室（653, 273, 274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

卒業論文のテーマとそれに関連する調査内容をまとめた発表資料を作成し、提出してもらいます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
興味のある分野に合わせ 文献や課外活動案などを示す			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
各自のテーマに沿った文献等を教員が準備し、提示する。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

KIIS数理・AI・データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）の修得に関する報告書（20%）
DACやeスポーツ部と合同で活動した際の活動記録（レポート）（20%）
卒業論文（40%）と発表（20%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

個人で定めた目標に対する達成度について各教員から助言を演習の時間内で行う。また。学生の問い合わせについては随時答えられる体制を整えておく。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	前期ガイダンス・履修計画	
	事前学習（内容・時間）	自分の自己管理能力についてまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	KIIS数理・AI・データサイエンス教育プログラム修得のための計画を立案し、履修登録を行う（2.0h）
第2回	専門演習Iのふりかえり	
	事前学習（内容・時間）	専門演習Iのふりかえりに関するスライド作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教員や他の参加者から得られたコメントなどを反映させる（2.0h）
第3回	調査活動①	
	事前学習（内容・時間）	自身の関心のある事項について複数調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第4回	調査活動②	
	事前学習（内容・時間）	自身の関心のある事項について複数調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第5回	調査活動③	
	事前学習（内容・時間）	自身の関心のある事項について複数調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第6回	調査活動の中間報告書作成①	
	事前学習（内容・時間）	調査内容を簡単にワードファイルにまとめておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教員からの指摘事項を再度確認する（2.0h）
第7回	調査活動の中間報告書作成②	
	事前学習（内容・時間）	調査内容を簡単にワードファイルにまとめておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教員からの指摘事項を再度確認する（2.0h）
第8回	調査活動の中間報告	
	事前学習（内容・時間）	調査内容を簡単にワードファイルにまとめておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教員からの指摘事項を再度確認する（2.0h）
第9回	eスポーツ部の活動参加①	
	事前学習（内容・時間）	参加するeスポーツ部の活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	eスポーツ部の活動について記録を残す（2.0h）
第10回	eスポーツ部の活動参加②	
	事前学習（内容・時間）	参加するeスポーツ部の活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	活動に参加してみてどのような感想を得たかレポートにまとめる（2.0h）
第11回	eスポーツ部の活動参加③	
	事前学習（内容・時間）	参加するeスポーツ部の活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	活動に参加してみてどのような感想を得たかレポートにまとめる（2.0h）
第12回	DACの活動参加①	
	事前学習（内容・時間）	参加するDACの活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	DACの活動について記録を残す（2.0h）
第13回	DACの活動参加②	
	事前学習（内容・時間）	参加するDACの活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	DACの活動について記録を残す（2.0h）
第14回	DACの活動参加③	
	事前学習（内容・時間）	参加するDACの活動について調べておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	活動に参加してみてどのような感想を得たかレポートにまとめる（2.0h）
第15回	前期まとめと後期への準備	
	事前学習（内容・時間）	前期の専門演習で行った内容について記録を集める（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	調査活動を通して卒業論文としてまとめるための計画を立てる（2.0h）
第16回	後期ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	夏季休業中に行った内容について要約する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	発表に対する意見や、他の参加者の発表について考えをまとめる（2.0h）

第17回	卒業論文の書き方①	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の書き方について調査しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第18回	卒業論文の書き方②	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の書き方について調査しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第19回	卒業論文の書き方③	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の書き方について調査しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第20回	調査活動④	
	事前学習 （内容・時間）	自身の関心のある事項について複数調べておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第21回	調査活動⑤	
	事前学習 （内容・時間）	自身の関心のある事項について複数調べておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の学習内容について復習する（2.0h）
第22回	卒業論文作成①	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に書く事項について整理しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の作成内容について整理する（2.0h）
第23回	卒業論文作成②	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に書く事項について整理しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の作成内容について整理する（2.0h）
第24回	中間報告	
	事前学習 （内容・時間）	これまでの活動についてまとめて報告する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	得られた内容から自己管理力や今後の活動方針について考える（2.0h）

第25回	卒業論文作成③	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に書く事項について整理しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の作成内容について整理する（2.0h）
第26回	卒業論文作成④	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に書く事項について整理しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の作成内容について整理する（2.0h）
第27回	卒業論文作成⑤	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に書く事項について整理しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の作成内容について整理する（2.0h）
第28回	卒業論文作成⑥	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に書く事項について整理しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の作成内容について整理する（2.0h）
第29回	卒業論文の発表資料作成	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の内容について整理しておく（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	本日の作成内容について整理する（2.0h）
第30回	まとめ（卒業論文発表）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の内容をまとめたPowerPointファイルを用いて発表練習をする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員からのフィードバックを参考に卒業論文や発表資料を再考する（2.0h）
第31回 （定期試験）	KIIS数理・AI・データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）の修得に関する報告書（20%） DACやeスポーツ部と合同で活動した際の活動記録（レポート）（20%） 卒業論文（40%）と発表（20%）	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6783-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅱ（簿記検定対策と社会人基礎力）	～223	4年生・通年	4単位	必修	岩下　昌美

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記Ⅰ・Ⅱの単位を取得していること 中級簿記演習Ⅰ・Ⅱを履修していること 原価計算を履修していること

授業概要　Course Outline

本演習では，「中級簿記演習」・「原価計算」及び「コンピュータ会計」の補完的学習や問題集をとおして対策を行い，日本商工会議所主催の簿記検定2級，電子会計検定2級の取得を目指し，会計学の分野で活躍できる人材を養成することを目的とします。また，卒業研究のテーマを決めて論文作成を行います。さらに，社会人としての素養や礼儀・マナーにもふれ「至心」を備えた人格形成を目指します。
また，卒業論文の作成を行いつつ，社会人としての素養や礼儀やマナーも学んでいきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催の簿記検定2級の取得と社会人としての基礎的なマナー習得，卒業論文の完成を目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業時，簿記検定の問題を解き，割り当てられた問題の解法を他の受講生へ説明する
卒業論文作成にあたり，資料収集，口頭発表を行い，学生間においても各々助言をすること

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
ただし，研究室への来室は事前にメール（masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格テキスト 日商簿記2級（商業簿記，工業簿記）	TAC簿記検定講座	TAC出版	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格トレーニング 日商簿記2級（商業簿記，工業簿記）	TAC簿記検定講座	TAC出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：検定試験成績（70点），平常点（30点）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の課題取り組み状況で判断する。
成績評価の基準：①2級の取引の仕訳ができるか。②決算整理事項から精算表および財務諸表（貸借対照表，損益計算書，株主資本等変動計算書）が作成できるか。
卒業論文の完成。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学習の取り組み方について，メールまたはGoogle
クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（年間予定の確認） 簿記2級　商業簿記の総合問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ01（財務諸表），テーマ16（決算手続）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	簿記2級　商業簿記の総合問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキストのテーマ01（財務諸表），テーマ16（決算手続）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	卒業論文のテーマおよび目次，報告会	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論の文献収集，はじめの執筆をしてください。（2時間）
第4回	簿記2級の工業簿記，部門別個別原価計算問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ10（部門別個別原価計算Ⅰ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	簿記2級の工業簿記，部門別個別原価計算問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ11（部門別個別原価計算Ⅱ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	簿記2級の工業簿記，総合原価計算問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ12（総合原価計算Ⅰ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	簿記2級の工業簿記，総合原価計算問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ13（総合原価計算Ⅱ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	簿記2級の工業簿記，総合原価計算問題③に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ14（総合原価計算Ⅲ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第9回	簿記2級の工業簿記，総合原価計算問題④に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ15（総合原価計算Ⅳ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	簿記2級の工業簿記，総合原価計算問題⑤に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ16（総合原価計算Ⅴ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	簿記2級の工業簿記，財務諸表に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ17（標準原価計算Ⅰ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	簿記2級の工業簿記，標準原価計算問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ18（標準原価計算Ⅰ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	簿記2級の工業簿記，標準原価計算問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ19（標準原価計算Ⅱ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	簿記2級の工業簿記，直接原価計算問題①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ20（直接原価計算Ⅰ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第15回	簿記2級の工業簿記，直接原価計算問題②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ21（直接原価計算Ⅱ）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第16回	卒業論文　中間報告会①	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）

第17回	簿記2級の工業簿記，本社工場会計に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（工業簿記）のテーマ22（本社工場会計）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第18回	簿記2級の工業簿記，総合問題（仕訳，補助簿，財務諸表，工業簿記）①に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（商業簿記）のテーマ16（決算手続）とテキスト（工業簿記）のテーマ17（財務諸表）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第19回	簿記2級の工業簿記，総合問題（仕訳，補助簿，財務諸表，工業簿記）②に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（商業簿記）のテーマ16（決算手続）とテキスト（工業簿記）のテーマ17（財務諸表）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第20回	卒業論文　中間報告会②	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）
第21回	簿記2級の工業簿記，総合問題（仕訳，補助簿，財務諸表，工業簿記）③に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（商業簿記）のテーマ16（決算手続）とテキスト（工業簿記）のテーマ17（財務諸表）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第22回	簿記2級の工業簿記，総合問題（仕訳，補助簿，財務諸表，工業簿記）④に取り組む	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト（商業簿記）のテーマ16（決算手続）とテキスト（工業簿記）のテーマ17（財務諸表）を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第23回	卒業論文　中間報告会③	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）
第24回	卒業論文の執筆，質疑応答	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）
第25回	卒業論文の執筆，質疑応答	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）
第26回	卒業論文の執筆，質疑応答	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）
第27回	卒業論文の執筆，質疑応答	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）
第28回	卒業論文の執筆，質疑応答	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）
第29回	卒業論文の執筆，質疑応答	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論を書いてください。（2時間）
第30回	卒業論文　最終報告会②	
	事前学習 （内容・時間）	「卒論の書き方」を一読してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	卒論の訂正作業をしてください。（2時間）
第31回 （定期試験）	提出物（卒論）	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6783-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅱ	～223	4年生・通年	4単位	必修	桑野裕文

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	スポーツクラブ（学校での部活動、地域社会でのクラブ、民間でのクラブ、他）経験者が望ましい。部活動（本学陸上競技部）に積極的に取り組んでいる学生。ボランティア活動に関心の高い学生。原則、専門演習Ⅰを履修・単位取得した学生。

授業概要 Course Outline

スポーツ・芸術分野及び教育学分野の学習を通じて、建学の精神「至心」を進んで実践する豊かな人間性を備えた人材を養成する。前期・後期ともに、卒業研究及び就職指導を行う。後期は、卒業研究発表会を行う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

基礎演習ゼミ、専門演習ゼミ、3年時の就職活動を基に、先行研究（卒業生の卒業研究）読み、卒業研究を完成させる。また、社会人としての自覚し、建学の精神「至心」に満ちた行動をとれる国際人の一員樽を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

スポーツイベントの参加（選手として、競技役員・補助員として）及びボランティア活動及びインターンシップ。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室（359研究室）、オフィススアワー時間内、部活動中等、随時受け付けます。

健康関連有資格は評価の対象とする。

スポーツイベントの参加・スポーツ・健康関連の講座・研修への参加

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
教員作成資料を随時配布			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「スポーツマーケティング」 「スポーツビジネスの戦略と知恵」	[原田宗彦編著] [間宮聴夫]	[体修館書店] [ベースボール・マガジン社]	【4-469-26546-2】 【4-583-03215-3】

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（レポート・卒業研究成果物、60%）、発表の仕方（20%）、事前学習・事後学習（20%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言) Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の取組みについて、オフィスアワー時間内に研究室にて説明します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	基礎演習ゼミ、専門演習ゼミⅠを振り返る。	
	事前学習（内容・時間）	専門演習ゼミⅠで学びたいことについて800字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第2回	3年時の卒業研究の進捗状況の報告会。その①	
	事前学習（内容・時間）	卒業研究において創意・工夫した点について400字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第3回	3年時の卒業研究の進捗状況の報告会。その②	
	事前学習（内容・時間）	卒業研究において創意・工夫した点について400字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第4回	3年時の卒業研究の進捗状況の報告会。その③	
	事前学習（内容・時間）	卒業研究の創意・工夫している点について400字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第5回	3年時の就職活動の報告会その①	
	事前学習（内容・時間）	就職活動での成功談・失敗談について800字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第6回	3年時の就職活動の報告会その②	
	事前学習（内容・時間）	就職活動での成功談・失敗談について800字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自分の就職活動を振り返り400字程度にまとめる。（2時間）
第7回	3年時の就職活動の報告会。その③	
	事前学習（内容・時間）	就職活動での成功談・失敗談について800字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第8回	就職活動への指導（模擬面接、小論文指導、他）。その①	
	事前学習（内容・時間）	就職志望文を作成（会社指定に準じた文字数）する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第9回	就職活動への指導（模擬面接、小論文指導、他）。その②	
	事前学習（内容・時間）	就職志望文を作成（会社指定に準じた文字数）する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第10回	就職活動への指導（模擬面接、小論文指導、他）。そのその③	
	事前学習（内容・時間）	就職志望文を作成（会社指定に準じた文字数）する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第11回	卒業研究指導（テーマ、構成、他）その①	
	事前学習（内容・時間）	テーマ、構成、についてまとめる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第12回	卒業研究指導（テーマ、構成、他）その②	
	事前学習（内容・時間）	テーマ、構成、についてまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第13回	卒業研究（中間発表）その①	
	事前学習（内容・時間）	中間発表用に仕上げる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第14回	卒業研究（中間発表）その②	
	事前学習（内容・時間）	中間発表用に仕上げる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第15回	卒業研究（中間発表）その③	
	事前学習（内容・時間）	中間発表用に仕上げる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第16回	卒業研究指導（要約、他）そのその①	
	事前学習（内容・時間）	要約を書く。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）

第17回	卒業研究指導（要約、他）その②	
	事前学習 （内容・時間）	要約を書く。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第18回	卒業研究指導（要約、他）その③	
	事前学習 （内容・時間）	要約を完成しておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第19回	卒業研究発表会（ゼミ内）その①	
	事前学習 （内容・時間）	発表会の準備（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の卒業研究テーマについて400字程度にまとめる。（2時間）
第20回	卒業研究発表会（ゼミ内）その②	
	事前学習 （内容・時間）	発表会の準備（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第21回	卒業研究発表会（他のゼミとの合同）その①	
	事前学習 （内容・時間）	発表会の準備（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第22回	卒業研究発表会（他のゼミとの合同）その①	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ生の卒業研究一覧を作成する（2時間）
		ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第23回	卒業研究発表会（卒業生、外部）その①	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ生の卒業研究一覧を作成する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の卒業研究テーマについて400字程度にまとめる。（2時間）
第24回	進路について（就職先の報告・説明会）その①	
	事前学習 （内容・時間）	就職活動についてまとめておく。800字程度（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第25回	進路について（就職先の報告・説明会）その②	
	事前学習 （内容・時間）	企業団体（中小企業同友会）等について調べておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容について400字程度にまとめる。（2時間）
第26回	時事問題その①	
	事前学習 （内容・時間）	関心の高い時事問題について、800字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表を聞いての感想を指定の原稿用紙（20文字×20行）にまとめる（2時間）
第27回	時事問題その②	
	事前学習 （内容・時間）	関心の高い時事問題について、800字程度にまとめておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第28回	専門演習ゼミⅡの１年間を振り返る。	
	事前学習 （内容・時間）	専門演習ゼミⅡの感想（800字程度）としてまとめておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第29回	大学生活を振り返る	
	事前学習 （内容・時間）	大学生活を振り返り800字程度にまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第30回	将来を語る	
	事前学習 （内容・時間）	10年後の自分について800字にまとめておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ゼミ生の発表内容から学んだ点について400字程度にまとめる。（2時間）
第31回 （定期試験）	定期試験（レポート、卒業研究成果物）	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6783-44C□

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅱ（卒業研究）	～223	4年生・通年	4単位	必修	山内 進 坂上 宏

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	無断欠席はしないでください。課題に対して積極的に取り組む姿勢が重要です。

授業概要　Course Outline

卒業論文の作成ための授業を行います。これは、本学のディプロマ・ポリシー「Ⅱ 学習の成果を卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができること。」に基づくものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

上記の通り、本学のディプロマ・ポリシー「Ⅱ 学習の成果を卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができること。」を到達目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、卒業論文の進捗状況についての発表を課し、それについての担当教員とのディスカッションを行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

363研究室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、授業内で指定された期日までに提出してください。　・学習状況について学生に対するフィードバック：学習成果に関する担当教員の所見をお伝えする予定です。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
卒業論文のﾃｰﾏに応じて決定します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
卒業論文のﾃｰﾏに応じて決定します			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：卒業論文の評価（90%）、平常点（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸの提出状況、授業における発表など）（10%）
・成績評価の基準 ：本学のディプロマ・ポリシー「Ⅱ 学習の成果を卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができること。」によるものとします。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験（卒論）の評価について説明します。日時・場所は追ってお知らせします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス ／テーマの設定(1)	
	事前学習 （内容・時間）	テーマを考えて書き出す。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容を踏まえてテーマを検討する。(2h)
第2回	テーマの設定(2)	
	事前学習 （内容・時間）	テーマを検討する。参考資料を探す。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容を踏まえてテーマを検討する。参考資料を探す。(2h)
第3回	テーマの設定(3)、参考資料の設定(1)	
	事前学習 （内容・時間）	テーマを検討する。参考資料を探す。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	授業の内容を踏まえてテーマを検討する。参考資料を探す。(2h)
第4回	参考資料の設定(2)	
	事前学習 （内容・時間）	テーマを検討する。参考資料を探す。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	参考資料を検討する。(2h)
第5回	論文の構成(1)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の構成を検討する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の構成を検討する。(2h)
第6回	論文の構成(2)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の構成を検討する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の構成を検討する。(2h)
第7回	論文の構成(3)、注釈について	
	事前学習 （内容・時間）	論文の構成を検討する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の構成を検討する。(2h)
第8回	論文の導入部の作成(1)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の導入部の内容を検討する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の導入部の内容を検討する。(2h)
第9回	論文の導入部の作成(2)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の導入部を作成する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の導入部を作成する。(2h)
第10回	論文の導入部の作成(3)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の導入部を作成する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の導入部を作成する。(2h)
第11回	論文の導入部の作成(4)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の導入部を作成する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の導入部を作成する。(2h)
第12回	論文の導入部の作成(5)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の導入部を作成する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の導入部を作成する。(2h)
第13回	論文の本論について検討(1)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の本論の内容を検討する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の本論の内容を検討する。(2h)
第14回	論文の本論について検討(2)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の本論の内容を検討する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の本論の内容を検討する。(2h)
第15回	論文の本論の作成(1)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の本論を作成する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の本論を作成する。(2h)
第16回	論文の本論の作成(2)	
	事前学習 （内容・時間）	論文の本論を作成する。(2h)
	事後学習 （内容・時間）	論文の本論を作成する。(2h)

第17回	論文の本論の作成(3)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の本論を作成する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の本論を作成する。(2h)
第18回	論文の本論の作成(4)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の本論を作成する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の本論を作成する。(2h)
第19回	論文の本論の作成(5)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の本論を作成する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の本論を作成する。(2h)
第20回	論文の本論の作成(6)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の本論を作成する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の本論を作成する。(2h)
第21回	論文の結論について検討(1)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の本論の内容を検討する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の本論の内容を検討する。(2h)
第22回	論文の結論について検討(2)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の本論の内容を検討する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の本論の内容を検討する。(2h)
第23回	論文の結論の作成(1)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の結論を作成する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の結論を作成する。(2h)
第24回	論文の結論の作成(2)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の結論を作成する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の結論を作成する。(2h)

第25回	論文の結論の作成(3)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の結論を作成する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の結論を作成する。(2h)
第26回	論文の結論の作成(4)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の結論を作成する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の結論を作成する。(2h)
第27回	論文の修正(1)	
	事前学習 (内容・時間)	修正箇所を検討、修正する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	修正箇所を検討、修正する。(2h)
第28回	論文の修正(2)	
	事前学習 (内容・時間)	修正箇所を検討、修正する。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	修正箇所を検討、修正する。(2h)
第29回	発表(1)	
	事前学習 (内容・時間)	発表資料を作成する。論文の最終確認をする。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	発表資料を作成する。論文の最終確認をする。(2h)
第30回	発表(2)	
	事前学習 (内容・時間)	論文の最終確認をする。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	論文の最終確認をする。(2h)
第31回 (定期試験)	定期試験:卒業論文の評価 ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6783-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅱ	～223	4年生・通年	4単位	必修	全　彰煥

オンライン授業 online class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	
履修の前提条件 Course Prerequisites	原則的に、「専門演習Ⅰ」の履修者を対象とする。			

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」ー「四恩」の⑴親・祖先の御恩　⑵教師・先生の御恩　⑶社会・国家の御恩　⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。
授業内容は、次のとおりである。
① 留学生の日本語力改善のため、漢字の読み書きと作文能力の向上を目指す。
② 時事英語の学習を通してマルチリンガルの国際人としての実力と才能を兼備する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　（Competency Goals）

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解　Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解　Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル　Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル　Mathematics	
	情報リテラシー　Information Literacy	
	論理的思考力　Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力　Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy	○
	自己管理力　Self-management	○
	チームワーク　Teamwork	
	リーダーシップ　Leadership	
	倫理観　Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任　Social Responsibility	○
	生涯学習力　Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験　Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力　Creative Thinking Skills	◯

到達目標　（Objectives）

① 日本語能力試験N1と漢字検定5級以上取得と日本語の文章作成能力の向上を目指す。
② 日本語・英語・母国語の比較、対照を通して言語能力の向上を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容　（Active Learning）

① テキストの「漢字検定問題集（3, 4級）」の課題を自主学習する。
② Google Classroomに提供される「CNN Engkish Express(PDF)」を自主学習する。

教員との連絡方法・オフィスアワー　（Office Hour）

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室（453）にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜火＞5限目以後
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：日本語能力試験、漢検、英検、TOEIC等
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書　（Textbooks）

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1.「漢検3、4級、書き込み式、問題集」 2.「CNN English Express」	1. 資格試験対策研究会 2. 竹内祐介	1. 高橋書店 2. 朝日出版社	1. 978-4-471-27570-9 978-4-471-27566-2 2. 4910016330359

参考文献　（Reference Books）

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「総合英語 be」	鈴木希明	IIZUNA SHOTEN	

課題の発表 ⇒ 30%、授業参加度 ⇒ 30%、平常点（出席等） ⇒ 40%

学習成果に対するフィードバック(指導と助言）Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

① CNN EEのWorkbook課題を Google Classroom を通じて個別に添削・指導する。
② 毎週与えられる「漢検ミニテスト」課題の確認を通じて日本語の語彙や漢字の読み書きを指導する。
※ 試験の結果や今後の学習の取り組みについて指導と助言をします。メールまたはGoogle Classroomでお問合せください。折り返して連絡します。

授業計画 （Course Schedule）		
テーマ Theme		
第1回	1．漢検問題集4級 － ① 2． CNN English Express ＜3月号 － ①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ① ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ① ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ①＞ ： 2時間
第2回	1．漢検問題集4級 － ② 2．General English 4 － ②/ CNN English Express ＜3月号 － ②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ② ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ② ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ②＞ ： 2時間
第3回	1．漢検問題集4級 － ③ 2．General English 4 － ③/ CNN English Express ＜3月号 － ③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ③ ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ③ ： 2時間 2．General English 4 － ③ / CNN English Express ＜3月号 － ③＞ ： 2時間
第4回	1．漢検問題集4級 － ④ 2．CNN English Express ＜3月号 － ④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ④ ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ④ ： 2時間 2．CNN English Express ＜3月号 － ④＞ ： 2時間
第5回	1．漢検問題集4級 － ⑤ 2．CNN English Express ＜4月号 － ①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑤ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑤ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ①＞ ： 2時間
第6回	1．漢検問題集4級 － ⑥ 2．CNN English Express ＜4月号 － ②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑥ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑥ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ②＞ ： 2時間
第7回	1．漢検問題集4級 － ⑦ 2．General English 5 － ②/ CNN English Express ＜4月号 － ③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑦ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑥ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ③＞ ： 2時間
第8回	1．漢検問題集4級 － ⑧ 2．CNN English Express ＜4月号 － ④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑧ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑧ ： 2時間 2．CNN English Express ＜4月号 － ④＞ ： 2時間
第9回	1．漢検問題集4級 － ⑨ 2．CNN English Express ＜5月号 － ①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑨ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑨ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ①＞ ： 2時間
第10回	1．漢検問題集4級 － ⑩ 2．CNN English Express ＜5月号 － ②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑩ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑩ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ②＞ ： 2時間
第11回	1．漢検問題集4級 － ⑪ 2．CNN English Express ＜5月号 － ③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑪ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑪ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ③＞ ： 2時間
第12回	1．漢検問題集4級 － ⑫ 2．CNN English Express ＜5月号 － ④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑫ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑫ ： 2時間 2．CNN English Express ＜5月号 － ④＞ ： 2時間
第13回	1．漢検問題集4級 － ⑬ 2．CNN English Express ＜6月号 － ①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑬ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑬ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ①＞ ： 2時間
第14回	1．漢検問題集4級 － ⑭ 2．CNN English Express ＜6月号 － ②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑭ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑭ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ②＞ ： 2時間
第15回	1．漢検問題集4級 － ⑮ 2．General English 6 － ⑤ / CNN English Express ＜6月号 － ③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑮ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑮ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ③＞ ： 2時間
第16回	1．漢検問題集4級 － ⑯ 2．General English 7 － ① / CNN English Express ＜6月号 － ④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑯ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集4級 － ⑯ ： 2時間 2．CNN English Express ＜6月号 － ④＞ ： 2時間

第17回	1．漢検問題集3級－① 2．CNN English Express ＜7月号－①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－① ： 2時間 2．CNN English Express ＜7月号－①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－① ： 2時間 2．CNN English Express ＜7月号－①＞ ： 2時間
第18回	1．漢検問題集3級－② 2．CNN English Express ＜7月号－②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－② ： 2時間 2．CNN English Express ＜7月号－②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－② ： 2時間 2．CNN English Express ＜7月号－②＞ ： 2時間
第19回	1．漢検問題集3級－③ 2．CNN English Express ＜7月号－③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－③ ： 2時間 2．CNN English Express ＜7月号－③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－③ ： 2時間 2．CNN English Express ＜7月号－③＞ ： 2時間
第20回	1．漢検問題集3級－④ 2．CNN English Express ＜7月号－④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－④ ： 2時間 2．CNN English Express ＜7月号－④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－④ ： 2時間 2．CNN English Express ＜7月号－④＞ ： 2時間
第21回	1．漢検問題集3級－⑤ 2．CNN English Express ＜8月号－①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑤ ： 2時間 2．CNN English Express ＜8月号－①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑤ ： 2時間 2．CNN English Express ＜8月号－①＞ ： 2時間
第22回	1．漢検問題集3級－⑥ 2．CNN English Express ＜8月号－②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑥ ： 2時間 2．CNN English Express ＜8月号－②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑥ ： 2時間 2．CNN English Express ＜8月号－②＞ ： 2時間
第23回	1．漢検問題集3級－⑦ 2．CNN English Express ＜8月号－③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑦ ： 2時間 2．CNN English Express ＜8月号－③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑦ ： 2時間 2．CNN English Express ＜8月号－③＞ ： 2時間
第24回	1．漢検問題集3級－⑧ 2．CNN English Express ＜8月号－④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑧ ： 2時間 2．CNN English Express ＜8月号－④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑧ ： 2時間 2．CNN English Express ＜8月号－④＞ ： 2時間

第25回	1．漢検問題集3級－⑨ 2．CNN English Express ＜9月号－①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑨ ： 2時間 2．CNN English Express ＜9月号－①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑧ ： 2時間 2．CNN English Express ＜9月号－①＞ ： 2時間
第26回	1．漢検問題集3級－⑩ 2．CNN English Express ＜9月号－②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑩ ： 2時間 2．CNN English Express ＜9月号－②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑩ ： 2時間 2．CNN English Express ＜9月号－②＞ ： 2時間
第27回	1．漢検問題集3級－⑪ 2．CNN English Express ＜9月号－③＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑪ ： 2時間 2．CNN English Express ＜9月号－③＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑪ ： 2時間 2．CNN English Express ＜9月号－③＞ ： 2時間
第28回	1．漢検問題集3級－⑫ 2．CNN English Express ＜9月号－④＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑫ ： 2時間 2．CNN English Express ＜9月号－④＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑫ ： 2時間 2．CNN English Express ＜9月号－④＞ ： 2時間
第29回	1．漢検問題集3級－⑬ 2．CNN English Express ＜10月号－①＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑬ ： 2時間 2．CNN English Express ＜10月号－①＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑬ ： 2時間 2．CNN English Express ＜10月号－①＞ ： 2時間
第30回	1．漢検問題集3級－⑭ 2．CNN English Express ＜10月号－②＞	
	事前学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑭ ： 2時間 2．CNN English Express ＜10月号－②＞ ： 2時間
	事後学習 （内容・時間）	1．漢検問題集3級－⑭ ： 2時間 2．CNN English Express ＜10月号－②＞ ： 2時間
第31回 定期試験	卒論と発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6783-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅱ	～223	4年生・通年	4単位	必修	竹石 洋介

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	相撲に興味がある学生。イベントの運営に参加し協力できる学生。論文のデータ協力。履修している授業には必ず参加する。卒後に向けて努力する学生。必ず連絡が取れる学生。

授業概要　Course Outline

竹石演習Ⅱは相撲の文化的考察をテーマにしています。「伝統的な行動」とは何か、伝統を如何に教えればよいのか。歴史的な相撲研究の成果を踏まえながら、相撲を学ぶ。イベントの運営。論文データの協力。基礎演習、演習Ⅰを踏まえて演習Ⅱでは卒業レポートの作成に向けて指導していきます。

建学の精神「至心」を進んで実践する豊かな人間性を備えた人材を養成する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

相撲の理解を深める。イベントの概要を理解する。自分の履修している授業に出席する。卒業レポートを作成する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切 磋琢磨し、学生が主体的に問題を発見し答えを見つける。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（502）にて随時受け付けます。yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
見る・学ぶ・教えるイラスト相撲	日本体育大学武道学研究室 塔尾 武夫・小川 光哉・松本 茂	五月書房	ISBN4-7727-0387-X

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表・レポート提出（20%）、小テスト（20%）、卒業レポート（60%）

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogleクラスルームにてお問い合わせください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス 演習Ⅱの説明	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第2回	相撲指導の手引き 文部省 塔尾 武夫	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第3回	①相撲の特性とねらい「挌技」から「武道」へ・相撲の特性・相撲指導のねらい	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第4回	②相撲の特性とねらい「挌技」から「武道」へ・相撲の特性・相撲指導のねらい	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第5回	③相撲の特性とねらい「挌技」から「武道」へ・相撲の特性・相撲指導のねらい	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第6回	①相撲の学習内容 中学校・高等学校	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第7回	②相撲の学習内容 中学校・高等学校	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第8回	③相撲の学習内容 中学校・高等学校	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第9回	①指導計画と学習指導 留意点・特性に基づく指導・単年計画	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第10回	②指導計画と学習指導 留意点・特性に基づく指導・単年計画	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第11回	③指導計画と学習指導 留意点・特性に基づく指導・単年計画	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第12回	①技術指導の要点 基本動作・対人的技能	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第13回	②技術指導の要点 基本動作・対人的技能	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第14回	①練習方法と試合 練習方法・試合	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第15回	②練習方法と試合 練習方法・試合	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第16回	まとめ・考察	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）

第17回	中学校体育 相撲指導の手引き ～武道必修化に対応した授業づくりのために～ 日本相撲連盟	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第18回	①概説 相撲の特性と指導上の考え方・留意事項・技能の指導	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第19回	②概説 相撲の特性と指導上の考え方・留意事項・技能の指導	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第20回	まとめ・考察	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第21回	①学習指導案 単元計画・評価	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第22回	②学習指導案 単元計画・評価	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第23回	①卒業レポート 題名を考える	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第24回	①卒業レポート 題名を考える	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）

第25回	①卒業レポート作成	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第26回	②卒業レポート作成	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第27回	③卒業レポート作成	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第28回	①卒業研修計画 予算・場所	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第29回	②卒業研修計画 予算・場所	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第30回	卒業レポート発表	
	事前学習 （内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	配布プリントを復習すること。（2時間）
第31回 （定期試験）	卒業レポート提出	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6783-44C□

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅱ	～223	4年生・通年	4単位	必修	長友陛富

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	人間力（至心を持って何事にも真摯に誠実にチャレンジする）を高める行動をとおして、学び方と未来を考える中で、何を目指し何を目標とするのか、社会に貢献する一員として自身の手で掴み取る。 学びはあくまで自主的・積極的な行動が必要です。自ら進んで知識の習得と人間関係構築を目指して、何事にも誠実に、また真摯に積極的にチャレンジする意志・意欲を持つ学生を求めます。

授業概要　Course Outline

人間力（至心を持って積極的に何事にも真摯に誠実にチャレンジする）を高める行動をとおして、1年後に直面することに対して、考える力、データ収集力、理解力、問題解決能力を身に付け、様々な調査研究に基づくデータと各自が選んだ進路等を含むテーマに向かい、自分の意見をまとめ、卒業論文を作成します。今後の生き方を自身で考え、創造し、あらゆる未来像を模索し、未来への行動が積極的に決断できる学生の成長を支援します。
なお、論文作成のためのフィールドワークを行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

キャリアプランを作成する中で、自身が進むべき方向性を見出し、そのことを判断する資料収集とデータ分析から卒業論文を作成する。
その過程において、自身の生き方、未来像を描きそのことに向かって積極的に活動し、自身が進む道・目指すものを掴み取る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの能動的な発言を導くため、現代の経済社会と人、生きる、貢献するをキーワードとして、各自が決定したテーマに向かい、積極的に調査・研究を行いプレゼン発表・意見交換を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問合せ、相談等は研究室（556）にて随時受け付けます。連絡先はnagatomoy@kiis.ac.jpです。
なお、出勤日は火曜日、水曜日、木曜日です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

外部試験は、資格取得として日本商工会議所主催の簿記検定3級取得必須です。（検定は、6・11・2月です）
学習の確認：ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
多様な人材のマネジメント	佐藤博樹 武石恵美子		978-4502409813

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
職業の経済学	阿部正浩 菅万理 勇上和史		978-4502238215

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

卒業論文作成60%・情報収集内容・発表状況20%・プレゼンテーション・積極的な態度等を20%により判断します。

学習成果に対するフィードバック（指導と助言）　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験結果と今後の学習の取組みについて、メールで問い合わせてください。折り返し連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	収集したデータを基に、自身の希望する職種と地域、社会貢献度を自身で判断した上で、未来プラン及びキャリアプランを発表する。	
	事前学習（内容・時間）	発表後のデータに基づく自身のキャリアプランを作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の未来プラン及びキャリアプランの検証を行う。（2時間）
第2回	これまでの学習取り組みを基に、未来プラン及びキャリアプラン等を考え論文テーマの選定	
	事前学習（内容・時間）	テーマの選定を2つ考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テーマの選定について考える。（2時間）
第3回	これまでの学習取り組みを基に、未来プラン及びキャリアプラン等を考え、論文テーマの選定を行う。	
	事前学習（内容・時間）	選定した3項目のテーマについて、自身の生き方等と合うテーマを1つ考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	調査研究を行うテーマとして、しっかりとした調査研究ができるかテーマの選定を考える。（2時間）
第4回	論文テーマ選定に関する調査・研究項目を企画し、計画する。	
	事前学習（内容・時間）	選定したテーマについて具体的な調査項目を計画する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	具体的な調査項目について自身が取り組む範囲として妥当か考える。（2時間）
第5回	論文テーマ選定に関する意見交換会を行う。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて、具体的調査項目等の意見を計画に組み込む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	具体的な調査項目について、自身が取り組む内容として妥当か考える。（2時間）
第6回	①論文テーマの調査項目に従ってデーターの収集を行い、論文を作成する。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、データ化する。（2時間）
第7回	②論文テーマの調査項目に従ってデーターの収集を行い、論文を作成する。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、データ化する。（2時間）
第8回	③論文テーマの調査項目に従ってデーターの収集を行い、論文の作成する。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、データ化する。（2時間）
第9回	①ゼミ学習における人間力、社会人基礎力、学士力がどの程度向上したか振り返る。	
	事前学習（内容・時間）	自身が選んだ調査内容をとおして、その内容の効果が自身に現れることを感じる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身が選んだ調査内容をとおして、その内容の効果が自身に現れたか検証する。（2時間）
第10回	④論文テーマの調査項目に従って収集したデーターの収集を行い、論文を作成する。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、データ化する。（2時間）
第11回	⑤論文テーマの調査項目に従って収集したデーターの収集を行い、論文を作成する。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、スライドを作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、データ化する。（2時間）
第12回	⑥論文テーマの調査項目に従って収集したデーターの収集を行い、論文を作成する。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、スライドを作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、データ化する。（2時間）
第13回	⑦論文テーマの調査項目に従って収集したデーターの収集を行い、論文を作成する。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、スライドを作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、データ化する。（2時間）
第14回	⑧論文テーマの調査項目に従って収集したデーターの収集を行い、論文を作成する。	
	事前学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、スライドを作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	選定した論文テーマについて調査項目に準拠する形で資料収集し、データ化する。（2時間）
第15回	⑨各自選定した論文テーマの調査研究の進行状況把握を含め中間発表会を行う。	
	事前学習（内容・時間）	調査項目に準拠して収集したデーターが調査収集され、研究されまとめられているか考察する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	様々な意見や確認事項を、自身の発表する収集発表データに反映させる。（2時間）
第16回	⑩各自選定した論文テーマの調査研究に対する、様々な意見や確認事項を、自身の発表する収集した発表データに反映させたことを確認する。	
	事前学習（内容・時間）	調査項目に準拠して収集したデーターが調査収集されているか。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	様々な意見や確認事項を、自身の発表する収集発表データに反映させる。（2時間）

第17回	⑪各自選定した論文テーマの調査研究に対する、様々な意見や確認事項を、自身の発表する収集した発表　データに組み込む。	
	事前学習 （内容・時間）	調査項目に準拠した収集したデーターが調査収集されているか確認する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	様々な意見や確認事項を、自身の発表する収集発表データに反映させる。(2時間)
第18回	⑫自分が選定した論文テーマに従い、中間発表時の修正・加筆を加えた修正論文を全体発表に備え、 作成し、目標とする論文テーマに向かって完成させる。	
	事前学習 （内容・時間）	修正後の論文に対して、テーマに沿った論文の形に整える。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	自身が選定した論文テーマにおけるその主旨を再度確認し論文作成を行う。(2時間)
第19回	⑬発表用の論文の作成を中間発表の意見や指摘を加味し、最終のゼミの発表に向かい論文を作成する。	
	事前学習 （内容・時間）	修正後の論文に対して、テーマに沿った論文の形に整える。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	自身が選定した論文テーマにおけるその主旨を再度確認し論文作成を行う。(2時間)
第20回	⑭発表用の論文の作成を中間発表の意見や指摘を加味し、最終のゼミの発表に向かい論文を作成する。	
	事前学習 （内容・時間）	修正後の論文に対して、テーマに沿った論文の形に整える。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	自身が選定した論文テーマにおけるその主旨を再度確認し論文作成を行う。(2時間)
第21回	⑮提出用の論文の作成	
	事前学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録した文書を考える。(2時間)
第22回	⑯提出用の論文の作成	
	事前学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録した文書を考える。(2時間)
第23回	⑰提出用の論文の作成	
	事前学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録した文書を考える。(2時間)
第24回	⑱提出用の論文の作成	
	事前学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録した文書を考える。(2時間)

第25回	⑱提出用の論文の作成	
	事前学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録した文書を考える。(2時間)
第26回	⑱提出用の論文の作成	
	事前学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録した文書を考える。(2時間)
第27回	⑱提出用の論文の作成	
	事前学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文テーマについて、収集した資料を基に、自身の意見を記録した文書を考える。(2時間)
第28回	⑱提出用の論文の作成	
	事前学習 （内容・時間）	論文は収集した資料を基に、自身の意見を記録し、誤字脱字等を確認する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文は収集した資料を基に、自身の意見を記録し、誤字脱字等を再度確認する。(2時間)
第29回	⑱提出論文の確認	
	事前学習 （内容・時間）	論文は収集した資料を基に、自身の意見を記録し、誤字脱字等を確認する。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	論文は収集した資料を基に、自身の意見を記録し、誤字脱字等を再度確認する。(2時間)
第30回	論文作成に関係したデーター収集力、学士力、人間力、社会人基礎力、未来への挑戦することが身についたか。	
	事前学習 （内容・時間）	どの程度データー収集力、度学士力、人間力、社会人基礎力、未来への挑戦が身についたか 振り返る。(2時間)
	事後学習 （内容・時間）	どの程度データー収集力、学士力、人間力、社会人基礎力、未来への挑戦が身についたか 振り返る。(2時間)
第31回 （定期試験）	卒業論文提出	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6783-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門演習Ⅱ	～223	4年生 前・後期	4単位	必修	藤内響子

オンライン授業 Online Class	無	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	有	

履修の前提条件 Course Prerequisites	英語や英文法、及び歴史や文化に関心のある学生を求めます。

授業概要　Course Outline

専門演習Ⅰで学習した内容を基に、卒業論文作成を行う。各自で定めたテーマに基づいて、調査・発表を行いながら、論文を作成する。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

言語の外面史・内面史の区別や認識がきちんとできること。また、それらが一つの言語にどのような影響を与え、変容させていくかを知り、英語のみならず自分の母国語や他の外国語への深い理解と知識の獲得につなげること。大学での4年間の学びのまとめとなる卒業論文を作成し、提出すること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学習はあくまでも能動的でなければなりません。教えてもらうのではなく自ら知識を獲得しようと努力する態度を常に忘れないでください。そのような努力なくしてアカデミックな知識は身につきません。そのためにも毎回の調査と発表および授業後の復習と精査が必須です。また、他学生の研究や発表も参考にして、自分の論文がより良いものとなるように努力してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

希望者は、メールで連絡して下さい。Email:fujiuchi@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

英語検定試験;　TOEICなど。
ポートフォリオの作成やGoogle Classroomによる課題確認、毎週の発表を通して学習を確認します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
英語論文の書き方入門	迫　桂　・　徳永聡子　著	慶応義塾大学出版会	978-4-7664-1921-4 C0082

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語 Evergreen	川崎芳人 他	いいずな書店	978-4-86460-721-6 C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業への積極的参加の程度2割、与えられた課題・発表の達成度3割、卒業論作成・発表およびその内容5割によって評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

試験の結果と今後の学修の取組みについて、メールまたはGoogleclassroomでお問い合わせください。折り返して連絡いたします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction　アカデミック・ライティングの特色	
	事前学習（内容・時間）	教科書の目次と最初の章を読んで、教科書を確認しておく（1h程度）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の把握と課題（1.5h程度）
第2回	剽窃	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第3回	アカデミック・スタイル	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第4回	書式の一貫性	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第5回	エッセイ作成のスケジュール	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第6回	ブレインストーミングのサンプル	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、ブレインストーミングを行い、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第7回	アウトライン	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマに基づいたアウトラインを作成し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第8回	パラグラフとMain Idea	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、パラグラフを作成。次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第9回	パラグラフの構造	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、パラグラフを見直す。次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第10回	パラグラフのUnity とCoherence	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、パラグラフのUnity とCoherenceを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第11回	エッセイの構造	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のパラグラフの内容を確認し、エッセイに変えるための構造分析を行う。次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第12回	エッセイの3 大要素	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のテーマを確認し、パラグラフを確認し、エッセイの要素を満たしているかを確認。次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第13回	パラグラフとエッセイの関係	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のパラグラフの内容を確認し、エッセイに変えるための構造分析を再度行う。次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第14回	エッセイのUnity とCoherence	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のエッセイの構造分析を行って、Unity とCoherenceの確認をする。次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第15回	モデル・エッセイを読もう	
	事前学習（内容・時間）	教教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のエッセイの構造分析を行って、内容の確認をする。次週の発表に備えておく(3.0h程度)
第16回	エッセイの構想を練る	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のエッセイの構造分析を行って、内容の確認をする。次週の発表に備えておく(3.0h以上)

第17回	エッセイ作成と調べるプロセス	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のエッセイの構造分析を行って、内容の確認をする。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第18回	エッセイの枠組みを構想する	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のエッセイの構造分析を行って、内容の確認をする。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第19回	問いを立てる	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のエッセイの根本的な問いの内容を確認する。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第20回	なぜ「調べる」ことが必要なのか	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のエッセイの根本的な問いの内容を確認する。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第21回	エッセイの骨組みを作成する	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分のエッセイの根本的な問いに基づいた調査内容を加えたアウトラインを作成する。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第22回	文献資料について	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。調査を行った際の文献資料を確認。参考文献としてデータを整える。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第23回	文献資料を集める	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。調査を行った際の文献資料を確認。参考文献としてデータを整える。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第24回	文献資料の情報管理	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。調査を行った際の文献資料を確認。参考文献としてデータを整える。次週の発表に備えておく(3.0h以上)

第25回	引用	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく(3.0h程度)
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分の論文の根本的な問いに答えるために行った調査内容が、きちんと引用の形式を守って引用されているか、剽窃は無いか確認する。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第26回	出典の示し方	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分の論文の根本的な問いに答えるために行った調査内容が、きちんと引用の形式を守って引用されているか、剽窃は無いか確認する。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第27回	完成に向けて	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分の論文の全体を見直し、目次を作成する。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第28回	書式確認	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。自分の論文の全体的な書式を確認する。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第29回	推敲（ピアレヴュー）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や新しく学んだことを中心に見直しを行い、理解を深めてください。ピアレヴューの結果を確認し、自分の論文に活かせるところを確認する。必要な個所は書き直してより良い形に作り変える。次週の発表に備えておく(3.0h以上)
第30回	最終チェック	
	事前学習 （内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。自分のテーマを確認し、次週の発表に備えておく（5.0h程度）
	事後学習 （内容・時間）	提出に向けての最終チェック（出来上がるまで何時間でも）
第31回 （定期試験）	論文の提出・発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミII	～223	4年生・通年	4単位	必修	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	専門ゼミIを修得していること.

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき，医療をはじめ，様々な自然科学分野における問題・課題を解決するために，実験的研究やシミュレーション研究を進めていく．具体的には，細胞培養実験や，材料作製実験，人体の数値シミュレーション，人工知能技術開発，ロボット工学，ゲーム，音楽，データベース開発，教育教材開発まで幅広く実施する．卒業研究として，卒業論文に成果をまとめ，成果発表として学会発表や他のゼミとの合同発表に参加する．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

自身の研究に対する学術的背景を理解した上で，現状の問題を把握し，それを解決するために考え，行動する力を身につける．具体的には，
① 自身の研究に関する過去の論文や報告を探し出し，要点を整理し，比較・応用することができる．
② 研究の進捗に関して資料を作成し，報告することができる．
③ 自身の研究に関するデータ収集をし，データを適切に分析・解釈することができる．
④ 他者の研究内容について，興味・関心を持ち，疑問点等を積極的に質問することができる．
⑤ 自身の研究について，実験ノートを適切に記述し，管理することができる．
⑥ 卒業論文にまとめ，卒業論文発表会で発表することができる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型ではなく，実習を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室（653）にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：実験ノートに実施した実験内容や調査した内容を記載方法を遵守してまとめること（毎時間）．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
各自の研究内容・分野に応じて資料・文献等を準備する．			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
理工系のためのよい文章の書き方	福地健太郎，園山隆輔	翔泳社	978-4-7981-5889-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

報告会での発表（20%）と実験ノートおよび卒業論文・発表（80%）で評価する．

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

定期的な報告会を実施するので，進捗に応じてコメントやアドバイスを行う．

授業計画 Course Schedule		
第1回	ガイダンスおよび専門ゼミIでの実施内容の振返り	
	事前学習 （内容・時間）	専門ゼミIでの実施内容を整理する．(2.0h)
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理，研究実施のための準備をする．(2.0h)
第2回	卒業論文の書き方（1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究内容の整理をする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理，研究実施のための準備をする．(2.0h)
第3回	卒業論文の書き方（2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究内容の整理をする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理，研究実施のための準備をする．(2.0h)
第4回	卒業論文の書き方（3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートの準備および，自身の研究内容の整理をする（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実験ノートの整理，研究実施のための準備をする．(2.0h)
第5回	研究の実施（1）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．(2.0h)
第6回	研究の実施（2）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．(2.0h)
第7回	進捗報告（発表）（1）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第8回	進捗報告（発表）（2）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第9回	研究の実施（3）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．(2.0h)
第10回	研究の実施（4）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．(2.0h)
第11回	研究の実施（5）	
	事前学習 （内容・時間）	実験ノートに本時で実施する事項をリスト化する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	実施した内容，方法，結果について実験ノートに整理する．(2.0h)
第12回	中間発表の準備（1）	
	事前学習 （内容・時間）	これまでの研究内容を整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	自身の研究内容を達成するための研究方法について発表資料を作成する（2.0h）
第13回	中間発表（1）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第14回	中間発表（2）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第15回	中間発表（3）	
	事前学習 （内容・時間）	研究の実施内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，研究ノートおよび発表資料に反映させる．(2.0h)
第16回	卒業論文作成（1）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	目標設定した部分まで作成する．(2.0h)

第17回	卒業論文作成（2）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	目標設定した部分まで作成する．(2.0h)
第18回	卒業論文作成（3）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	目標設定した部分まで作成する．(2.0h)
第19回	卒業論文作成（4）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	目標設定した部分まで作成する．(2.0h)
第20回	卒業論文添削（全体）（1）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員から受けた指摘事項などを整理し，卒業論文に反映させる．(2.0h)
第21回	卒業論文作成（5）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	目標設定した部分まで作成する．(2.0h)
第22回	卒業論文作成（6）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	目標設定した部分まで作成する．(2.0h)
第23回	卒業論文作成（7）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	目標設定した部分まで作成する．(2.0h)
第24回	卒業論文作成（8）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	目標設定した部分まで作成する．(2.0h)

第25回	卒業論文添削（全体）（2）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文に必要な研究データを整理する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員から受けた指摘事項などを整理し，卒業論文に反映させる．(2.0h)
第26回	卒業論文発表準備（1）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の内容を確認する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員から受けたアドバイスなどを整理し，発表資料に反映させる．(2.0h)
第27回	卒業論文発表準備（2）	
	事前学習 （内容・時間）	前回の発表資料の内容を確認する．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員から受けたアドバイスなどを整理し，発表資料に反映させる．(2.0h)
第28回	卒業論文発表（1）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習を行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，自己分析に反映させる．(2.0h)
第29回	卒業論文発表（2）	
	事前学習 （内容・時間）	発表資料の準備，発表練習を行う．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	教員，学生から受けた質問などを整理し，自己分析に反映させる．(2.0h)
第30回	卒業研究　総括	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文発表の自己分析をする．（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	卒業論文を完成させ，提出する．(2.0h)
第31回 （定期試験）	実験ノートおよび卒業論文を提出後，評価する．	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅡ	～223	4年生・通年	4単位	必修	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・企業に雇われてサラリーマンになることを当然とせず，広く社会の仕組みや社会人としての常識を理解しつつ，自らの事業を創造していくなど，社会で活躍できるビジネスマンになるための気概が望まれます。企業経営に興味があり，将来，起業したいと思っている熱意のある学生を歓迎します。専門ゼミⅠ（遠藤ゼミ）を履修している事が前提です。 ・新聞・雑誌やWebニュース等を読む習慣を身に付けるなど，社会のあらゆる事象に興味を持ち，自身の人生を成り行きに任せるのではなく，自分の理想とする社会，仕事，働く意義ややり甲斐とは何かを考え，前向きに生きようとする事が前提です。

授業概要　Course Outline

テーマ：実践経営学
・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。
・企業の経営戦略やベンチャー・流通マーケティング分野など「企業経営」に係わる知識だけでなく，社会人として必要な基礎知識や思考能力など，幅広い分野を学びます。（業界，業種，職種等々の研究や働き方についての考察含む）。
・ビジネスプランの作成とコンテスト等への応募および発表会等への参加，商業施設見学，ビジネス関連展示会や地域イベント等への参加，人脈（ネットワーク）の作り方，会社の設立（起業）の仕方，お金の儲け方（マーケティング・事業運営），お金の集め方（資金調達），事業計画の作り方，売上見込みの作り方，一流企業への就職・独立開業して成功する・幸せな人生をおくる方法など。
・毎回，自分の考えを述べてもらうなどのディスカッション形式で進め，最終的にはそれらを卒業論文としてまとめます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・社会に出て必要となる経営情報関連科目について理解している。
・社会で活躍できるビジネスマンとして知っておくべき，社会の仕組みや「企業経営」関する各種理論等について理解し，主体的に「ビジネス」について考えられるようになる。
・最終的には，IT人材（高度情報化人材）として，ビジネス等に関する考えや自分の意見・主張を，具体的，論理的にまとめあげ，卒業論文という形に仕上げる能力を養い，その内容を発表するなど，プレゼンテーション能力も培っていきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型・演習型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応するとともに，自身の考えを積極的に発表してもらいます。
・また土日や放課後等を使った集中講義（特別講義）やビデオ演習，学外の企業・店舗の視察や損益分析などのビジネスシミュレーション等々を行います。視察やビデオに基づくディスカッションや卒業論文作成に必要なアンケート調査等，情報収集能力（聞き取り力，メモカ等）や関連情報の考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得や就職対策等々を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・グループLINEにより，教員だけでなくゼミ生全員の情報交換とコミュニケーションを図ります。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新版　大学生のためのレポート・論文術	小笠原喜康	講談社（現代新書）	978-4-06-288021-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
企業経営入門	井上・遠藤・山本	中央経済社	978-4-502-42681-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：提出された課題・レポート・卒業論文の内容（60%），平常点（出席率やディスカッションへの参加状況，各種レポートの作成・提出状況，資格試験等への取り組み，ポートフォリオの活用や教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（40%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：広く社会の仕組みや企業経営およびビジネスや仕事の意義等について理解している。他人の意見や収集した情報を客観的に評価し，考察できる。また自分の意見や主張を論理的にまとめる事ができる。
各種の資格にも挑むくらい，経営情報学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

基本的には，Googleクラスルームを使って，適宜，学習状況について質問等を受け付け，フィードバックおよび助言・指導をします。また試験結果を踏まえたフィードバックも，必要に応じてGoogleクラスルームを通じて行います。その他，連絡事項等もGoogleクラスルームを活用するため，連絡メッセージ等はよく確認するようにして下さい。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習（内容・時間）	シラバス，テキストの確認と興味あるビジネス（卒論テーマ）に関する検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第2回	レポート・論文の作成（卒論テーマの検討と準備①）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：卒論テーマの検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第3回	レポート・論文の作成（卒論テーマの検討と準備②）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：卒論テーマの検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第4回	レポート・論文の作成（卒論テーマとアウトラインの検討①）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：アウトラインの検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第5回	レポート・論文の作成（卒論テーマとアウトラインの検討②）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：アウトラインの検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第6回	レポート・論文の作成（卒論テーマの発表）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：発表準備）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第7回	レポート・論文の作成（資料収集と内容整理①）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：資料収集の準備）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第8回	レポート・論文の作成（資料収集と内容整理②）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：資料収集の準備）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第9回	レポート・論文の作成（仮説と仮結論の検討①）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：仮説設定）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第10回	レポート・論文の作成（仮説と仮結論の検討②）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：仮説設定）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第11回	レポート・論文の作成（目次と論文構成の検討①）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：目次の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第12回	レポート・論文の作成（目次と論文構成の検討②）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：目次の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第13回	レポート・論文の作成（目次と論文構成の検討③）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：目次の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第14回	レポート・論文の作成（論文要旨と本文の作成①）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文要旨の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第15回	レポート・論文の作成（論文要旨と本文の作成②），夏休みの計画作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文要旨の検討）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第16回	レポート・論文の作成（中間報告＋質疑応答①）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：中間報告の準備）等の実施（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）

第17回	レポート・論文の作成（中間報告＋質疑応答②）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：中間報告の準備）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第18回	レポート・論文の作成（本文の作成：内容の検討と考察①）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文内容の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第19回	レポート・論文の作成（本文の作成：内容の検討と考察②）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文内容の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第20回	レポート・論文の作成（本文の作成：内容の検討と考察③）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文内容の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第21回	レポート・論文の作成（本文の作成：内容の検討と考察④）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文内容の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第22回	レポート・論文の作成（本文の作成：内容の検討と考察⑤）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文内容の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第23回	レポート・論文の作成（本文の作成：内容の検討と考察⑥）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文内容の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第24回	レポート・論文の作成（本文の作成：様式・体裁の確認）	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：論文内容の検討）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）

第25回	卒業論文の作成・提出と内容確認	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：卒論の提出準備）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第26回	卒業論文の発表資料の作成（プレゼンテーションの準備）①	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：発表資料の作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第27回	卒業論文の発表資料の作成（プレゼンテーションの準備）②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：発表資料の作成）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第28回	卒業論文の発表（プレゼンテーション＋質疑応答）①	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：発表準備）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第29回	卒業論文の発表（プレゼンテーション＋質疑応答）②	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：発表準備）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第30回	修正卒業論文の提出，大学生活の総括	
	事前学習 （内容・時間）	テキスト・配布資料等の事前確認および課題（宿題：卒論の修正）等の実施（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	学んだ事の再確認とそれが実際の世の中でどのように展開されているかの検討（2時間）
第31回 （定期試験）	期末試験：課題・レポート・卒業論文の提出と発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅡ（経営を変えるデジタル戦略を学ぶ）	～223	4年生・通年	4単位	必修	澤井　雅明

オンライン授業 Online Class		Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom		
	なし		あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	昨今のデジタルビジネスの理解を深め、将来はビジネスパーソンとして活躍したいと考えている人が望ましい。 プレゼンテーション資料の準備・発表があります。 自身の発表以外の授業の際も、ディスカッションに積極的に参加し、発言してもらうことを求めます。

授業概要　Course Outline

本ゼミでは本学の建学の精神、3つのポリシーを踏まえ、デジタル技術が経営戦略をどのように進化させ、企業の競争力を高めるかについて調査・分析し、デジタル化が顧客との関係、サプライチェーン、意思決定プロセスなどに与える影響を研究します。その研究結果として、本学の必修である卒業論文の執筆を円滑に進め、最終成果物としての卒業論文を完成させることが目的である。これまでに身に付けた専門的知識をもとに、創造的で論理的な思考力を高め、社会の様々な事業、とりわけデジタル技術を利用した経営戦略に関する問題に触れることで、本学ディプロマシーⅤに示すような、広範囲に対応できる複眼的な知識や理解、汎用的な技能を獲得したうえで、それらを総合的に活用することによって、自ら立てた目標や課題を達成することにつなげていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

研究対象とする業界・企業とその商品・サービスの設定を行う。
研究対象についての調査を進め、企業のデジタル戦略を理解し、その立案・提言ができるようになる。
学術論文を執筆できる基礎的な力を身に付ける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で講義を展開し、対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
②企業事例を紹介する教材を準備し、実際のビジネスシーンを体感できるような講義を行います。
③プレゼンテーション資料の作成や発表を行ってもらい、その内容について全員でディスカッションを進めて行きます。
④毎回の授業の終わりに授業内容をまとめた課題とレポート提出があります。またコメントカードの作成・提出もお願いしますので、感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『事業創造入門』	井上善海・黒澤佳子・田中克昌	中央経済社	978-4-502-51331-2
『現代経営情報論』	遠山暁・村田潔・古賀広志	有斐閣	978-4-641-22178-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

ゼミに対する日頃の取り組み（50%）と、与えられた課題や報告のレベル（50%）を基に評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

それぞれの授業ごとに学習の振り返りをポートフォリオで提出してもらいます。その内容を確認し、必要に応じてアドバイスを実施します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	授業計画の確認、目標設定の準備（2.0h）。
	事後学習（内容・時間）	受講のためのネットワーク環境や資料を整備する（2.0h）。
第2回	卒業論文作成のためのガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	卒業論文執筆方法の確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2時間）。
第3回	卒業論文のテーマの選択（1）	
	事前学習（内容・時間）	卒業論文のテーマと研究目的、研究方法の確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第4回	卒業論文のテーマの選択（2）	
	事前学習（内容・時間）	卒業論文のテーマと研究目的、研究方法の確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第5回	卒業論文のテーマの選択（3）	
	事前学習（内容・時間）	卒業論文のテーマと研究目的、研究方法の確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2時間）。
第6回	卒業論文のテーマの決定	
	事前学習（内容・時間）	卒業論文のテーマ決定の準備、章構成の設定（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第7回	文献レビューの準備	
	事前学習（内容・時間）	参考文献検索の方法確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第8回	文献レビューの実施（1）	
	事前学習（内容・時間）	参考文献の検索と文献レビューの作成（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第9回	文献レビューの実施（2）	
	事前学習（内容・時間）	参考文献の検索と文献レビューの作成（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第10回	文献レビューの実施（3）	
	事前学習（内容・時間）	参考文献の検索と文献レビューの作成（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第11回	文献レビューの実施（4）	
	事前学習（内容・時間）	参考文献の検索と文献レビューの作成（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第12回	卒業論文のアウトラインを作成（1）	
	事前学習（内容・時間）	卒業論文のアブストラクトの作成（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第13回	卒業論文のアウトラインを作成（2）	
	事前学習（内容・時間）	卒業論文のアブストラクトの作成（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第14回	卒業論文の文献レビューパートの発表（1）	
	事前学習（内容・時間）	参考文献レビューの発表準備
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第15回	卒業論文の文献レビューパートの発表（2）	
	事前学習（内容・時間）	参考文献レビューの発表準備
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第16回	卒業論文の文献レビューパートの発表（3）	
	事前学習（内容・時間）	参考文献レビューの発表準備
	事後学習（内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。

第17回	卒業論文の文献レビューパートの発表（4）	
	事前学習 （内容・時間）	参考文献レビューの発表準備
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第18回	卒業論文の執筆（1）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆準備、体裁の確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第19回	卒業論文の執筆（2）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆準備、体裁の確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第20回	卒業論文の執筆（3）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆準備、体裁の確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第21回	卒業論文の執筆（4）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆準備、体裁の確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第22回	卒業論文の執筆（5）	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆準備、体裁の確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第23回	卒業論文の中間提出	
	事前学習 （内容・時間）	執筆論文の校正・確認、提出の準備（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第24回	卒業論文の修正（1）	
	事前学習 （内容・時間）	執筆論文の修正・校正（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第25回	卒業論文の修正（2）	
	事前学習 （内容・時間）	執筆論文の修正・校正（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第26回	卒業論文の修正（3）	
	事前学習 （内容・時間）	執筆論文の修正・校正（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第27回	卒業論文の修正（4）	
	事前学習 （内容・時間）	執筆論文の修正・校正（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第28回	卒業論文の修正（5）	
	事前学習 （内容・時間）	執筆論文の修正・校正（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第29回	卒業論文の完成	
	事前学習 （内容・時間）	論文提出の準備、製本（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	授業でのディスカッション内容やポイントをまとめる（2.0h）。
第30回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の内容のまとめと振り返り
	事後学習 （内容・時間）	これまでの成果をまとめ説明できるようにする（2時間）。
第31回 （定期試験）	期末試験：卒業論文の提出と発表	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅡ（経営史／労働政策）	～223	4年生・通年	4単位	必修	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・経営学総論Ⅰ、マーケティング論、経営組織論、経営戦略論、経営史、コマース論 労務管理論などの関連科目を履修し、単位を取得していること。 ・留学生は日本語能力試験（JLPT）N2、またはN1に合格していること。

授業概要　Course Outline

この授業は、本学の必修である「卒業研究」の作業を円滑に進め、最終成果物としての「卒業論文」を執筆し完成させることが目的である。これまでに身に付けた専門的知識をもとに、創造的な思考力や論理的な思考力を高め、社会の様々な事象、とりわけ企業の成り立ちや成長企業・衰退企業の特徴、さらには、人的資源の活用や雇用に関する様々な問題に触れることで、本学ディプロマポリシーⅤに示すような、広範囲に対応できる複眼的な知識や理解、汎用的な技能を獲得したうえで、それらを総合的に活用することによって、自ら立てた新たな目標や課題を達成させることにつなげていく。そのためには、課題や目標をを解決することができる主体的でかつ実践的な思考力などが必要である。これらについても併せて身に付けていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

（1）学術論文を読んで考える力、議論する力が身に付いた。
（2）学術論文を執筆できる基礎的な力が身に付いた。
（3）専門分野の応用的な知識が身に付いた。
（4）教員と学生、学生どおしの交流を深めることにより、人間的な成長をはかることができた。
（5）学術論文としての体裁、内容などが整った「卒業論文」を完成させることができた。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容と関連させて、個人発表やグループ・ディスカッションを導入する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認については、kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営史入門シリーズ 経営史＜第2版＞	安部悦生	日本経済新聞社	978-4-532-11218-9
ゼロからわかる大学生のための レポート・論文の書き方	石井一成	ナツメ社	978-4-8163-5057-3
人事労務管理入門	今野浩一郎	日本経済新聞社	978-4-532-11190-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マインドマップ練習帳 即効 だれでも・やさしくまなべる	片岡俊行	秀和システム	4-7980-1229-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

グループワーク・討論への取り組み（20%）と成果物（卒業論文）の提出（80%）に基づき判断し、評価をする。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

各自の試験の結果と今後の学習の取り組み方についてはメールまたはGoogle クラスルームにてお問合せください。折り返して連絡し回答します。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	ガイダンス，目標の設定 ゼミナールの進め方，各自の目標を決める		
	事前学習 （内容・時間）	授業計画の確認、目標設定の準備。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第2回	卒業論文作成のためのガイダンス 卒業論文を執筆するための流れ，執筆方法を理解する		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文執筆方法の確認。体裁の確認と設。	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第3回	卒業論文のテーマの選択（1）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文のテーマと研究目的、研究方法の確認	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第4回	卒業論文のテーマの選択（2）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文のテーマと研究目的、研究方法の確認	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第5回	卒業論文のテーマの選択（3）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文のテーマと研究目的、研究方法の確認	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第6回	卒業論文のテーマの決定		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文のテーマ決定の準備、章構成の設定	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第7回	文献レビューの準備		
	事前学習 （内容・時間）	参考文献検索の方法確認	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第8回	文献レビューの実施（1）		
	事前学習 （内容・時間）	Google scalarなどによる参考文献の検索と文献レビューの作成	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第9回	文献レビューの実施（2）		
	事前学習 （内容・時間）	Google scalarなどによる参考文献の検索と文献レビューの作成	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第10回	文献レビューの実施（3）		
	事前学習 （内容・時間）	Google scalarなどによる参考文献の検索と文献レビューの作成	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第11回	文献レビューの実施（4）		
	事前学習 （内容・時間）	Google scalarなどによる参考文献の検索と文献レビューの作成	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第12回	卒業論文のアウトラインを作成（1）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文のアブストラクトの作成と添削の準備	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第13回	卒業論文のアウトラインを作成（2）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文のアブストラクトの作成と添削の準備	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第14回	卒業論文の文献レビューパートの発表（1）		
	事前学習 （内容・時間）	参考文献レビューの発表準備	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第15回	卒業論文の文献レビューパートの発表（2）		
	事前学習 （内容・時間）	参考文献レビューの発表準備	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第16回	卒業論文の文献レビューパートの発表（3）		
	事前学習 （内容・時間）	参考文献レビューの発表準備	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）

第17回	卒業論文の文献レビューパートの発表（4）		
	事前学習 （内容・時間）	参考文献レビューの発表準備	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第18回	卒業論文の執筆（1）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆準備、体裁の確認	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第19回	卒業論文の執筆（2）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆、添削箇所の修正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第20回	卒業論文の執筆（3）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆、添削箇所の修正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第21回	卒業論文の執筆（4）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆、添削箇所の修正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第22回	卒業論文の執筆（5）		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の執筆、添削箇所の修正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第23回	卒業論文の中間提出		
	事前学習 （内容・時間）	執筆論文の校正・確認、提出の準備	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第24回	卒業論文の修正（1）		
	事前学習 （内容・時間）	添削箇所の修正と執筆論文の校正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第25回	卒業論文の修正（2）		
	事前学習 （内容・時間）	添削箇所の修正と執筆論文の校正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第26回	卒業論文の修正（3）		
	事前学習 （内容・時間）	添削箇所の修正と執筆論文の校正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第27回	卒業論文の修正（4）		
	事前学習 （内容・時間）	添削箇所の修正と執筆論文の校正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第28回	卒業論文の修正（5）		
	事前学習 （内容・時間）	添削箇所の修正と執筆論文の校正	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第29回	卒業論文の完成		
	事前学習 （内容・時間）	論文提出の準備、製本	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第30回	卒業論文の総括		
	事前学習 （内容・時間）	卒業論文の内容のまとめと振り返り	（2.0）
	事後学習 （内容・時間）	活動報告書の作成、本時の内容の整理。	（2.0）
第31回 （定期試験）	成果物(卒業論文)の提出		

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ｾﾞﾐⅡ	～223	4年生・通年	4単位	必修	平山　誠一郎

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	民事法及び会計学の基礎的な知識を有していること。 簿記3級以上を取得していること。

授業概要　Course Outline

租税法の基礎理論、租税実体法、租税手続法及び租税争訟法を概観する。その上で判例の見方を学び、主要な租税争訟事例を研究する。
なお、この科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当する	国税組織において、税法の解釈・適用に関する審理事務や課税処分に対する不服審査事務などを含む税務の実務経験（35年）を有する。	実務経験に基づき、税法理論と税法を執行する税務行政の両面から「税」をとらえ講義を行う。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえ、経営情報学の応用領域にある租税法に関して専門的な知識を修得することを目標とします。
①租税とは何かを理解する。
②租税の仕組みを理解する。
③税法条文を読解できるようになる。
④裁判例や学説を基に自らの意見を展開できるようになる。
⑤上記①～④を踏まえ自らの主張を論文にまとめ上げる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

疑問点、問題意識を積極的に発言してください。また、教員からの質問に対しては自分の考えを率直に述べてください。質疑応答や議論を重ね、自ら学び取ろうとする姿勢を重要視します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は、研究室（456）にて随時受け付けます。連絡先はhirayama@kiis.ac.jpです。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

授業改善アンケートの結果及びそれを踏まえた今後の方針などを学生に伝えます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
税法入門〔第7版〕	金子宏ほか	有斐閣	978-4-641-09159-7
リーガルマインドで読み解く重要税務判例20選	木山泰嗣	大蔵財務協会	978-4-754-73256-1

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
租税法〔第24版〕	金子宏	弘文堂	978-4-335-31555-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

討議への取り組み50%、レポート50%で評価します。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メール又はGoogleクラスルーム（クラスコードは別途周知）にてお問い合わせください。折り返して連絡します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	ゼミの進め方の確認をしておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ内容を復習し理解を深める。（2時間）
第2回	研究を進めるに当たって（研究倫理）	
	事前学習（内容・時間）	配付資料等を事前に確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ内容を復習し理解を深める。（2時間）
第3回	論文執筆上の全体的注意点	
	事前学習（内容・時間）	配付資料等を事前に確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゼミ内容を復習し理解を深める。（2時間）
第4回	研究テーマに関する問題意識の検討	
	事前学習（内容・時間）	先行研究等を踏まえた上で問題意識を明らかにしておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだこと、指導を受けたことを再確認する。（2時間）
第5回	研究テーマに関する問題意識の整理	
	事前学習（内容・時間）	前回のゼミでの指摘部分等を整理しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだこと、指導を受けたことを再確認する。（2時間）
第6回	論文の構成の検討①	
	事前学習（内容・時間）	問題意識を基に論文構成を整理しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだこと、指導を受けたことを再確認する。（2時間）
第7回	論文の構成の検討②	
	事前学習（内容・時間）	前回のゼミを踏まえた再検討をしておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだこと、指導を受けたことを再確認する。（2時間）
第8回	研究テーマの発表資料作成	
	事前学習（内容・時間）	発表資料（案）を作成しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学んだこと、指導を受けたことを再確認する。（2時間）
第9回	研究テーマ発表	
	事前学習（内容・時間）	発表内容の整理・発表の準備をする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	発表後の問題点を整理する。（2時間）
第10回	論文執筆（序論）	
	事前学習（内容・時間）	序論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第11回	論文執筆（序論）	
	事前学習（内容・時間）	序論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第12回	論文執筆（本論）	
	事前学習（内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第13回	論文執筆（本論）	
	事前学習（内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第14回	論文執筆（本論）	
	事前学習（内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第15回	第1回中間報告	
	事前学習（内容・時間）	発表内容の整理・発表の準備をする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第16回	論文執筆（本論）	
	事前学習（内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）

第17回	論文執筆（本論）	
	事前学習 （内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第18回	論文執筆（本論）	
	事前学習 （内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第19回	論文執筆（本論）	
	事前学習 （内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第20回	論文執筆（本論）	
	事前学習 （内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第21回	論文執筆（本論）	
	事前学習 （内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第22回	論文執筆（本論）	
	事前学習 （内容・時間）	本論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第23回	論文執筆（結論）	
	事前学習 （内容・時間）	結論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第24回	第2回中間報告	
	事前学習 （内容・時間）	発表内容の整理・発表の準備をする。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	発表後の問題点の整理・検討（2時間）

第25回	論文執筆（結論）	
	事前学習 （内容・時間）	結論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第26回	論文執筆（結論）	
	事前学習 （内容・時間）	結論部分の執筆・検討（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第27回	全体の仕上げ①	
	事前学習 （内容・時間）	論文の加筆・修正（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第28回	全体の仕上げ②	
	事前学習 （内容・時間）	論文の加筆・修正（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第29回	最終チェック	
	事前学習 （内容・時間）	添削箇所等の最終チェック（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	指導を受けた部分の確認・検討をする。（2時間）
第30回	最終発表	
	事前学習 （内容・時間）	最終発表の準備をする。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	最終的な指摘部分を修正する。（2時間）
第31回 （定期試験）	定期試験（卒業論文の提出）	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ｾﾞﾐⅡ	～223	4年生・通年	4単位	必修	クリス　フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること ③英検準2級程度の英語能力は基準 ④留学生の場合JLPT　N1も本格的に目指す

授業概要　Course Outline

このゼミは、英語力の向上を目的とした専門ゼミⅠの続編であり、最終的な課題研究を目的としたものである。TOEICテストに焦点を当て、新聞記事、オンライン記事、Audio Visual Media、Podcastなど幅広い教材を使用し、英語の理解力だけでなく、一般常識や時事問題など視野を広げることを目指します。より高いレベルの英語力が身につけば、コミュニケーションや情報収集・発信の効果的なツールとして活用できる。教師はまた、プロの翻訳者・通訳者としての資格を生かし、生徒の英語と日本語との関連についての知識を高めます。また、最終評価のための卒業研究にも取り組みます。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

The objective of this seminar is for students to reach the level of a score of 800 in the TOEIC test. This will be done through a year of dedicated work concentrating on the 7 parts of the TOEIC L&R test. The first semester will focus on the listening questions and the second semester on the reading questions. Through a number of texts and projects the students will aim to raise their English ability to a level where it can be used in the workplace after graduation. Students will also be expected to be able to complete a research project. Foreign students are expected to aim to pass the JLPT at N1 level also.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

The students will be actively involved in giving presentations during class on designated topics.
Oral presentations will be a main part of weekly classes. Also, students will be required to create their own TOEIC questions to submit to the class in collaborative tasks promoting active learning.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

Students can contact the teacher through office hour, Google Classrooms or directly by email flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　1月、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに　フリン　までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
TOEIC TEST 単語特急新形式対策	森田　哲也	朝日新聞出版	978-4-02-331536-5

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
公式TOEIC Reading and Listening 1		ETS	978-4-906033-49-2
公式TOEIC Reading and Listening 2		ETS	978-4-906033-50-8
公式TOEIC Reading and Listening 3		ETS	978-4-906033-53-9
公式TOEIC Reading and Listening 4		ETS	978-4-906033-54-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：レポート・提出物・プレゼンテーションなど50%、卒業研究　50%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検/TOEIC。②卒業研究

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

メールまたはGoogle クラスルーム（クラスコードmkerxzu）にてお問合せください。折り返して連絡します。 毎週の宿題をクラスルームで設定、宿題についてコメントします

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Final year introductions. Students will introduce their fourth year goals in English	
	事前学習（内容・時間）	Prepare oral introductions with powerpoint slides. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise introduction on advice from teacher and viewing other students. 2hr
第2回	Fourth year research project. Defining topics, outline and research methods.	
	事前学習（内容・時間）	Study the research projects of former students. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Draft and submit a research topic and methodology. 2hr
第3回	Oral Presentations relating to research project	
	事前学習（内容・時間）	Prepare a 5 minute presentation with slides explaining your research topic. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Draft and submit a research topic outline. 2hr
第4回	TOEIC test Part 1 Picture questions	
	事前学習（内容・時間）	Students research part 1 question and bring a picture to make question. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Study all the part 1 questions created by students in class. 2hr
第5回	TOEIC Part 2 Short answers	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 1 short answer questions from past tests in library and online. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 1 short answer questions. 2hr
第6回	TOEIC Part 2 Short answers (continued)	
	事前学習（内容・時間）	Create Part 2 short answer questions for class. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the Part 2 short answer questions created by students. 2hr
第7回	TOEIC Part 3 Conversation questions	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 3 conversation questions from past tests in library and online. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 3 conversation questions. 2hr
第8回	TOEIC Part 3 Conversation questions （continued）	
	事前学習（内容・時間）	Create Part 3 conversation questions for class. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the Part 3 conversation questions created by students. 2hr
第9回	TOEIC Part 4 Single speaker questions	
	事前学習（内容・時間）	Research Part 4 single speaker questions from past tests in library and online. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise categories of Part 4 single speaker questions. 2hr
第10回	TOEIC Part 4 Single speaker questions （continued）	
	事前学習（内容・時間）	Create Part 4 single speaker questions for class. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Revise the Part 4 single speaker questions created by students. 2hr
第11回	Other English tests, Eiken	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test results set your Eiken level goal and research format. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Download an Eiken test from the official site and do the test. 2hr
第12回	Eiken writing test	
	事前学習（内容・時間）	Revise the writing requirements for your Eiken level. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete a writing test question. 2hr
第13回	Other Test TOEFL IBT	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test books in the library examine the 4 parts to the TOEFL test. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete TOEFL tasks designated by teacher. 2hr
第14回	Other Test IELTS	
	事前学習（内容・時間）	By using the past test books in the library examine the 4 parts to the IELTS test. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Complete IELTS tasks designated by teacher. 2hr
第15回	Research project update presentations	
	事前学習（内容・時間）	Prepare a 10 minute presentation on your research topic. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Draft and submit progress made on research topic. 2hr
第16回	Introduction to Second Semester. Research topic and TOEIC progress reports	
	事前学習（内容・時間）	Prepare update of research progress. 2hr
	事後学習（内容・時間）	Continue research into topic. Prepare short sentence TOEIC questions for next class. 2hr

第17回	TOEIC Part 5　short sentences	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in Part 5 past tests in the library. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework tasks Part 5 and revision. 2hr
第18回	TOEIC Part 5　short sentences (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in part 5. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 5 homework tasks designated by teacher. 2hr
第19回	TOEIC Part 5　short sentences (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Create Part 5 questions. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise all Part 5 questions created by students. 2hr
第20回	TOEIC Part 6　Text Completion	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in Part 6 past tests in the library. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework Part 6 tasks and revision. 2hr
第21回	TOEIC Part 6　Text Completion (continued)	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in part 6. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 6 homework tasks designated by teacher. 2hr
第22回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages	
	事前学習 （内容・時間）	Familiarize yourself with the type of questions in past Part 6 tests in the library. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homewor Part 6 tasks and revision. 2hr
第23回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued）	
	事前学習 （内容・時間）	Revise patterns found in Part 7. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Complete Part 7 homework tasks designated by teacher. 2hr
第24回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued）　strategies	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare question answering strategies Part 7. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Homework task – designate Part 7 strategies. 2hr

第25回	TOEIC Part 7 Single/Multiple Passages （continued） Tests	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare vocabulary lists for Part 7 test. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise Part 7 tests done in class. 2hr
第26回	Mini TOEIC test	
	事前学習 （内容・時間）	Study vocabulary and grammar lists provided by teacher prior to test.　2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise corrected test and any mistakes from mini test.　2hr
第27回	Research topic and TOEIC progress reports	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare update of research progress.　2hr
	事後学習 （内容・時間）	Continue research into topic. Prepare Eiken test for next class. 2hr
第28回	Eiken in-class test. Abbreviated Eiken test in each students' level	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare vocabulary and grammar, writing and listening. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Review the results and mistakes in your test. 2hr
第29回	Research Topic final in-class presentation Part 1. (teacher feedback)	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare a final presentation for your research topic. 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise final paper in accordance with teacher's guidance.　2hr
第30回	Research Topic final in-class presentation Part 2 （student feedback）	
	事前学習 （内容・時間）	Prepare a final presentation for your research topic 2hr
	事後学習 （内容・時間）	Revise final paper in accordance with teacher's guidance.　2hr
第31回 （定期試験）	卒業研究提出。	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅡ Computer Vision AIシステムの開発とその応用	～223	4年生・通年	4単位	必須	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	専門ゼミ1を修得したこと（履修中や「不可」は不可）.

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき,この専門ゼミ2では,研究プロポーザルの発表したのものを卒業論文の作成と発表を目標とする.前期には第1章の研究背景,第2章の関連研究,第3章の研究方法について,集中し,中間発表を行う.後期には,第4章の実験やシミュレーション,第5章のまとめ,集中し,卒論論文の発表資料を作成し,発表会に自信を持って発表できる能力を身につけることを目指す.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本ゼミで自分の卒業論文に関連する研究背景を明確に説明できるようになる.
解析ソフトウェアを活用し,直感的で使いやすいハードウェアを操作できるスキルを習得する.
卒業論文の発表練習の経験を積み,たくさん方々に自分の卒業論文に関連するを説明できるようになる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

普通の授業と異なり,毎回,各学生に2～3分間の連絡事項を話してもらい（資料なしでも可）,自分のPCを持参してください.授業時間外では,少なくとも月に1回,事前に予約をして1対1のディスカッションを行うことをお勧めする.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談等は551研究室にて受け付ける.
金曜日は他大学で講義・合同会議があるため,1限目～3限目は不在の場合がある.
学内外からの連絡方法：pramanta@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので，毎回PCを持参することが望ましい.
毎の講義時間後，Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し，提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
一生使える見やすい資料のデザイン入門	森重湧太	インプレス	978-4295018513

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Python3年生 ディープラーニングのしくみ	森巧尚	翔泳社	9784-798174983

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

研究イベントの参加へとポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況（20%）,中間発表（40%）,卒業論文発表（40%）.

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

授業に取り組む姿勢について,良かった点・改善が必要な点を,ポートフォリオシート「KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリック」の提出状況に基づき,Google クラスルームの1対1メッセージにて送信する.
なお,説明の日時については別途お知らせする.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,本ゼミのシラバスを読んでおくこと.プロポーザル発表内容に復習すること.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第2回	研究テーマの再確認とプロポーザルの見直し	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第3回	卒業論文の作り方：OverleafとWord形式	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第4回	研究背景の書き方と文献調査の手法	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第5回	第1章:ドラフトの作成	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第6回	第1章：書き始め	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,第1章のドラフトを完成させ,報告の準備をすること.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第7回	関連研究の構造化と具体例の分析	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第8回	第2章:ドラフトの作成	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第9回	第2章：書き始め	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,第2章のドラフトを完成させ,報告の準備をすること.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,提出すること.（2時間）□
第10回	研究方法の設計とモデリング手法の導入	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第11回	第3章:ドラフトの作成	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第12回	第3章：書き始め	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,第3章のドラフトを完成させ,報告の準備をすること.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,提出すること.（2時間）□
第13回	中間発表スライド作成	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,第1章～第3章の作成したを復習すること.（2時間）□
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□
第14回	中間発表練習	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,第13回の作成したスライドを改善すること.（2時間）□
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,提出すること.（2時間）□
第15回	中間発表□	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させ,提出すること.（2時間）□
第16回	実験計画の具体化とシミュレーションの準備	
	事前学習 （内容・時間）	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	残りの課題・宿題を完成させること.（2時間）□

第17回	第4章:ドラフトの作成	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第18回	第4章:書き始め,実験データの収集と解析手法の検討	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第19回	第4章:実験やシミュレーションの改良	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第20回	第4章:再確認と見直し	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,第4章を完成させ,報告の準備をすること.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させ,提出すること.(2時間)□
第21回	結論とまとめの書き方	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第22回	第5章:ドラフトの作成	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第23回	第5章:書き始め	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,第5章のドラフトを完成させ,報告の準備をすること.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させ,提出すること.(2時間)□
第24回	卒業論文の第1回目のチェック	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,第1章～第5章を完成させ,報告の準備をすること.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させ,提出すること.(2時間)□

第25回	論文レビューとコメント対応	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,Webの該当箇所を通読しておくこと.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第26回	発表スライドの作成と構成確認	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第27回	卒業論文の完成版のチェック	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに,第1章～第5章を完成版の準備をすること.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させ,提出すること.(2時間)□
第28回	卒業論文の提出方法とスライド作成準備	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第29回	発表練習1(指導教員と同級生からのフィードバック)	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	残りの課題・宿題を完成させること.(2時間)□
第30回	発表練習2 (卒業論文発表会リハーサル)	
	事前学習 (内容・時間)	ゼミ開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	卒業論文発表会の向け,ゼミで自分と他の方の発表した内容を復習すること.(2時間)
第31回 (定期試験)	卒業論文発表会	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅡ	～223	4年生・通年	4単位	必修	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり	

履修の前提条件 Course Prerequisites	専門ゼミ・演習選択において宮﨑の専門ゼミを志望し、原則宮﨑の専門ゼミⅠを履修・単位を取得済であること。なお、他の専門ゼミ・演習Ⅰを履修したものでも、事前に面談などを行って、他の宮﨑の専門ゼミⅠ修得済の学生と同等以上の能力があると認められるものが履修を希望することを妨げない。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この講義は4年生の専門ゼミ生として3年生の専門ゼミⅠにおいて行った卒論のテーマ探しに従って、具体的な卒業研究を行って卒業論文を仕上げることを目標とする。なお、主に前期は卒業研究に必要な資料を集め卒論への道筋を立てる。また、それぞれの研究成果に併せて、他大学の合同ゼミにおける研究成果報告や夏季から冬期にかけて行われる学内の学会・研究会や国内外で開かれる国際会議にて研究成果を発表することを併せて目指す。そして、後期は主に卒業研究を進め、卒論完成を目指す。なお、専門ゼミⅡに参加する人数や学生各個人の知識・興味分野に合わせて授業の進行速度は適宜変更する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

各自がそれぞれ目標とした研究を進め、それを他大学との合同ゼミにおける研究成果発表、学会や国際会議での発表、及び、卒業研究の論文製作を通じて外部に示す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ゼミの時間以外でも研究テーマについて個別に研究を進め、それらについて卒論としてまとめる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

卒業論文および卒論までの研究課程で得られた成果物をまとめて提出してもらいます。また、研究の進捗状況に併せて、学外でのゼミ・研究会や学会、国際会議などで研究成果の報告を行うこともあります。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
研究テーマや興味のある分野に合わせて文献や論文を示す			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
図解まるわかり セキュリティのしくみ	増井敏克	翔泳社	978-4-7981-5720-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成果物の提出：　以下の①～③までを卒論発表会までに全て提出すること
① 卒業論文(60%)
② 卒業研究の発表会資料(20%)
③ 研究に必要なプログラムとその結果などをまとめた研究資料(20%)
なお、学会や研究会、国際会議での発表を行った場合には①～③の評価に加点する場合がある。

学習成果に対するフィードバック(指導と助言)　Guidance and Advice on Student Learning Outcomes

専門ゼミⅠで決めた卒論テーマについて各自で研究を進め、専門ゼミⅡの時間帯以外であっても必要に応じて卒論作成と卒論発表のための指導を行う。また夏季休業中など長期休暇の間は、卒論作成に必要な資料作りや対外発表などの課題を出し提出された結果を全員で共有しながら必要に合わせて助言や訂正などを行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	前期ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	研究テーマとして取り上げた内容を整理する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	卒業に必要な単位数の確認と、履修予定の講義と併せてゼミスケジュールの調節を行う（2.0h）
第2回	卒論テーマに対する研究対象選定①	
	事前学習（内容・時間）	各自のこれから研究に取り組む対象についての説明スライドを作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	他の参加者の発表で指摘された点を自分の発表の修正として取り込む（2.0h）
第3回	卒論テーマに対する研究対象選定②	
	事前学習（内容・時間）	各自のこれから研究に取り組む対象についての説明スライドを作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	他の参加者の発表で指摘された点を自分の発表の修正として取り込む（2.0h）
第4回	文献調査／プログラム作成／理論的解析①	
	事前学習（内容・時間）	各研究に合わせて文献調査・プログラム作成・理論的な解析を行い説明資料を作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	説明した内容に対するコメントについて考察する（2.0h）
第5回	文献調査／プログラム作成／理論的解析②	
	事前学習（内容・時間）	各研究に合わせて文献調査・プログラム作成・理論的な解析を行い説明資料を作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	説明した内容に対するコメントについて考察する（2.0h）
第6回	文献調査／プログラム作成／理論的解析③	
	事前学習（内容・時間）	各研究に合わせて文献調査・プログラム作成・理論的な解析を行い説明資料を作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	説明した内容に対するコメントについて考察する（2.0h）
第7回	文献調査／プログラム作成／理論的解析④	
	事前学習（内容・時間）	各研究に合わせて文献調査・プログラム作成・理論的な解析を行い説明資料を作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	説明した内容に対するコメントについて考察する（2.0h）
第8回	文献調査／プログラム作成／理論的解析⑤	
	事前学習（内容・時間）	各研究に合わせて文献調査・プログラム作成・理論的な解析を行い説明資料を作成する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	説明した内容に対するコメントについて考察する（2.0h）
第9回	対外発表の企画①	
	事前学習（内容・時間）	これまでの研究成果をまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	目標とする対外発表場所について調査する（2.0h）
第10回	対外発表の企画②	
	事前学習（内容・時間）	対外発表に必要な予稿集論文や発表内容をまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	必要な研究やプログラムの作成、データの取得を行う（2.0h）
第11回	対外発表の企画③	
	事前学習（内容・時間）	対外発表に必要な予稿集論文や発表内容をまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	必要な研究やプログラムの作成、データの取得を行う（2.0h）
第12回	対外発表の企画③	
	事前学習（内容・時間）	対外発表に必要な予稿集論文や発表内容をまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	必要な研究やプログラムの作成、データの取得を行う（2.0h）
第13回	対外発表の企画④	
	事前学習（内容・時間）	対外発表に必要な予稿集論文や発表内容をまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	必要な研究やプログラムの作成、データの取得を行う（2.0h）
第14回	対外発表の企画⑤	
	事前学習（内容・時間）	対外発表に必要な予稿集論文や発表内容をまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	必要な研究やプログラムの作成、データの取得を行う（2.0h）
第15回	前期終了と夏季の対外発表準備	
	事前学習（内容・時間）	それぞれの研究における進捗状況をまとめる（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	夏季休業中に行う研究・対外発表への準備を行う（2.0h）
第16回	後期ガイダンス・対外発表成果報告	
	事前学習（内容・時間）	夏季に進めた研究内容や対外発表で得られた情報を要約する（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	次の研究に繋がる方向について考察する（2.0h）

第17回	卒業研究①	
	事前学習 （内容・時間）	卒論に向けて必要な文献や研究成果・データを集める（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された内容について次に進める研究内容を精査する（2.0h）
第18回	卒業研究②	
	事前学習 （内容・時間）	卒論に向けて必要な文献や研究成果・データを集める（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された内容について次に進める研究内容を精査する（2.0h）
第19回	卒業研究③	
	事前学習 （内容・時間）	卒論に向けて必要な文献や研究成果・データを集める（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された内容について次に進める研究内容を精査する（2.0h）
第20回	卒業研究④	
	事前学習 （内容・時間）	卒論に向けて必要な文献や研究成果・データを集める（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された内容について次に進める研究内容を精査する（2.0h）
第21回	卒論中間報告①	
	事前学習 （内容・時間）	現状の研究成果・内容をまとめ発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	卒論完成に向けて不足している部分についてまとめる（2.0h）
第22回	卒論中間報告②	
	事前学習 （内容・時間）	現状の研究成果・内容をまとめ発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	卒論完成に向けて不足している部分についてまとめる（2.0h）
第23回	卒論まとめ①	
	事前学習 （内容・時間）	中間報告で得られた不足している内容について調査する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された点を含めて卒業研究を進める（2.0h）
第24回	卒論まとめ②	
	事前学習 （内容・時間）	卒業研究を進めていき、不足している内容について調査する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された点を含めて卒業研究を進める（2.0h）

第25回	卒論まとめ③	
	事前学習 （内容・時間）	卒業研究を進めていき、不足している内容について調査する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された点を含めて卒業研究を進める（2.0h）
第26回	卒論まとめ④	
	事前学習 （内容・時間）	卒業研究を進めていき、不足している内容について調査する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された点を含めて卒業研究を進める（2.0h）
第27回	卒論まとめ⑤	
	事前学習 （内容・時間）	卒業研究を進めていき、不足している内容について調査する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	指摘された点を含めて卒業研究を進める（2.0h）
第28回	卒論提出	
	事前学習 （内容・時間）	卒論を取りまとめ最終原稿を仕上げる（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	細かな点も併せて仕上げる（2.0h）
第29回	卒論発表会資料作成と発表練習①	
	事前学習 （内容・時間）	提出した卒論の内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	発表練習時に指摘された内容を修正する（2.0h）
第30回	卒論発表会資料作成と発表練習②	
	事前学習 （内容・時間）	提出した卒論の内容について発表資料を作成する（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	発表練習時に指摘された内容を修正する（2.0h）
第31回 （定期試験）	試験（成果物提出）	

□専任教員

職名	氏名	担当科目	研究室（内線）
学長 教授	麻生 隆史	建学の精神と人生，計測・制御論	1号館1階(103) 学長室
副学長 教授	桑野 裕文	建学の精神と人生，教師入門，専門演習Ⅱ	1号館1階(102) 副学長室 2号館3階(359)
副学長	麻生 尚寛		1号館1階(108) 副学長室
研究科長 教授	小川 雄平	国際経営論	2号館1階(182)
学部長 教授	井上 善海	建学の精神と人生，中小企業論，経営学総論Ⅰ・Ⅱ，経営組織論	2号館3階(357)
経営情報学科長 准教授	岩下 昌美	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計，簿記Ⅰ・Ⅱ，中級簿記（中級簿記演習Ⅰ），中級簿記演習Ⅱ，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館2階(270)
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科長 准教授	宮崎 武	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ，情報ｾｷｭﾘﾃｨ，eｽﾎﾟｰﾂ概論(特別実習・講義(情報)eｽﾎﾟｰﾂ概論)， ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論，ﾃﾞｰﾀ解析，情報数学Ⅱ，情報処理技術演習Ⅲ・Ⅳ，AI・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用実践，中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習， 特別実習・講義(情報)ｱﾌﾟﾘ共同開発実践，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館2階(274)
教務部長 教授	坂上 宏	建学の精神と人生，日本文化論，倫理学，政治学，ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ，大学基礎総合Ⅰ， 国際政治学，経営思想，教育哲学，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館3階(363)
学生部長 教授	長友 陛富	建学の精神と人生，簿記Ⅰ・Ⅱ，専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館5階(556)
学術・教育研究所長 准教授	秋吉 浩志	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論，SNS活用と問題解決，消費者行動論，ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論(Webｻｰﾋﾞｽ論)， eｽﾎﾟｰﾂ概論(特別実習・講義(情報)eｽﾎﾟｰﾂ概論)，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ	2号館5階(555)
附属図書館長 教授	車 炳圻	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術，ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術，WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ・Ⅱ・Ⅲ，ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術， 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門演習Ⅰ	2号館6階(656)
教授	荒平 高章	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ，ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ，多変量解析，教育方法学(ICT活用を含む)，ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ， AI・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用実践，情報科教育法Ⅰ・Ⅱ，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館6階(653)
教授	鵜崎 清貴	財務管理，税法学，専門ｾﾞﾐⅠ	2号館6階(651)
教授	遠藤 真紀	経営戦略論，経営学総論Ⅰ，ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ，ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論，ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館6階(655)
教授	片山 准一	企業金融	2号館4階(454)
教授	クリス フリン	英会話BasicⅠ・Ⅱ，英会話AdvancedⅠ・Ⅱ，英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ(TOEICⅠ)， 英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ(TOEICⅡ)，国際情報分析，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館3階(362)
教授	桑原 重雄	情報ｼｽﾃﾑの開発と管理，ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門，ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ，DX(ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ)概論，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ， 計算機ｼｽﾃﾑ論，初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ，情報倫理，専門ｾﾞﾐⅠ	2号館2階(268)
教授	澤井 雅明	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ，ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ実習，ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ・Ⅱ，経営情報学Ⅰ・Ⅱ(経営情報論Ⅰ・Ⅱ)，ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学， AI・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用実践，ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館4階(455)
教授	全彰煥	日本語Ⅰ・Ⅱ，初級韓国語，中級韓国語，専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館4階(453)
教授	末永 英男	基礎演習	2号館1階(179)
教授	平山 誠一郎	専門ｾﾞﾐⅡ	2号館4階(456)
教授	山内 進	専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館5階(552)
教授	山下 壽文	財務会計論，経営分析，原価計算論(原価計算論Ⅰ)，会計学入門	2号館4階(451)
教授	吉野 正	会社法，日本国憲法	2号館3階(358)
准教授	合田 和正	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論，ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ・Ⅱ，情報処理技術演習Ⅲ・Ⅳ，ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論，ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築， 初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習，特別実習・講義(情報)ｱﾌﾟﾘ共同開発実践，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門ｾﾞﾐⅠ	2号館2階(269)
准教授	鈴木 和也	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)，経営史(日本経営史)，労務管理論，教育心理学， ｺﾏｰｽ論(ｺﾏｰｽ論Ⅰ)，ｺﾏｰｽ論Ⅱ，ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務，特別支援教育，教職実践演習(高)，教育実習(事前事後指導)， ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館5階(553)
准教授	竹石 洋介	ｳｪﾙﾈｽ，ｽﾎﾟｰﾂ，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	体育館2階(502)
准教授	藤内 響子	総合英語，ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語(ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ)，ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ，英検中級・TOEIC基礎，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館2階(272)
講師	ディンダ プラマンタ	情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ，ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ，情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ，情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ，情報処理技術演習Ⅰ， ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ，人工知能，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館5階(551)
講師	中島 直樹	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ，基礎数学，情報学入門，統計学入門，機械学習，AI・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用実践， 統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ，ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ，統計学，eｽﾎﾟｰﾂ概論(特別実習・講義(情報)eｽﾎﾟｰﾂ概論)， ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ，専門ｾﾞﾐⅠ	2号館2階(273)
講師	古川 幸子	日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2号館4階(452)
助教	齊藤 綾子	日本事情，大学基礎総合Ⅰ・Ⅱ	2号館2階(271)
助教	野中 渓人	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ，ｳｪﾙﾈｽ理論，ｽﾎﾟｰﾂ理論，基礎演習，専門演習Ⅰ	2号館3階(361)

□非常勤講師

職名	氏名	担当科目	研究室
九州情報大学名誉教授	岸川 洋	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	２号館１階 講師控室
九州情報大学名誉教授	丹羽 崇之	民事法，知的財産権(知的所有権)	
九州情報大学名誉教授	平田 毅	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)，社会学，教育社会学	
九州産業大学教授	朝廣 雄一	ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	
元帝京大学教授	安達 義弘	宗教学	
久留米工業高等専門学校助教	上田 拓実	情報数学Ⅰ，中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	
九州大学大学院人文科学府言語・文学(英語学・英文学)専攻修士（文学）	内田 水生	総合英語	
人材育成トレーナー	大多 正人	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ・Ⅳ(ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ・Ⅱ)，ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ・Ⅵ(ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ・Ⅱ)	
九州国際大学教授	男澤 智治	国際物流論（国際経済論）	
九州産業大学名誉教授	春日 克則	税務会計論，監査論，原価計算論Ⅱ，会計学	
筑波大学大学院国際学修士	喬 秦寧	初級中国語，中級中国語	
久留米工業高等専門学校准教授	古賀 裕章	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	
日本経済大学講師	坂本 洸朔	心理学，教育課程論（特別活動を含む）	
福岡女学院大学教授	相良 誠司	生徒指導(進路指導を含む)，総合的な探究の時間の指導法	
国文学研究資料館学術資料係 地域資料専門委員	進藤 康子	文学	
九州大学名誉教授	鶴野 玲治	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	
東海大学准教授	中原 康征	経済学	
ビジネス・ブレークスルー大学大学院（専門職大学院）経営学研究科経営管理専攻 経営管理修士（MBA） 全国経理教育協会 経理事務	平川 淳一	特別実習・講義(会計)ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ(情報ﾘﾃﾗｼｰ演習)， ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ・Ⅱ，ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習，簿記Ⅰ(初級簿記)，簿記Ⅱ(簿記演習)， AI・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ応用実践，情報処理技術演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ，情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ	
株式会社ブラテックWeb事業部長 博士（工学）	平塚 智一	Webｼｽﾃﾑ(Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ)，Webﾃﾞｻﾞｲﾝ(Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ)	
福岡大学大学院人文科学研究科教育・臨床心理研究科教育専攻修士	益田 潤子	教育方法学(ICT活用を含む)	
九州大学大学院法学府法政理論専攻博士後期課程	松瀬 萌々香	法学	
教育カウンセラー	米光 真由美	教育相談	

大 学 院

2026(令和8)年度　学 年 暦　【大 学 院】

期	行　事	期　日	備　考
前期	入学式	４月　１日(水)	入学式終了後、オリエンテーション
	履修登録期間	４月　１日(水) ～ ３日(金)	
	授業開始	９日(木)	【補講日】 ①5/16(土),②6/20(土),③7/25(土)
	開学記念日	５月　２７日(水)	通常授業
	月曜日の授業	７月　２３日(木)	※月曜日の時間割
	水曜日の授業	２４日(金)	※水曜日の時間割
	前期授業終了	２９日(水)	
	試験等期間	３０日(木) ～ ８月　７日(金)	8/6(木),7(金) 予備日
	夏季休業	８月　８日(土) ～ ９月２４日(木)	
	合同ゼミ研修	９月　２日(水)、 ４日(金)	9/9(水) 予備日
後期	授業開始	９月　２５日(金)	
	学園祭	１０月３１日(土) ～ １１月１日(日)	【補講日】 ①11/7(土),②12/12(土),③1/21(木)
	月曜日の授業	１２月２３日(水)	※月曜日の時間割
	冬季休業	２５日(金) ～ １月５日(火)	
	授業開始(月曜日の授業)	１月　６日(水)	※月曜日の時間割
	休講日	１５日(金)	
	修士論文締切	２０日(水)	１月２０日固定（土日の場合直後の平日とする）
	後期授業終了	２７日(水)	
	試験等期間	２８日(木) ～ ２月５日(金)	2/4(木),5(金) 予備日
	修士論文発表会	２月　１５日(月)	２月１５日固定（土日の場合直後の平日とする）
	修士論文最終提出日	２５日(木)	２月２５日固定（土日の場合直後の平日とする）
	学位記授与式	３月　１８日(木)	
	春季休業	２５日(木) ～ ３１日(水)	

【前期】

	4月				5月					6月					7月					8月
月		13	20	27			11	18	25	1	8	15	22	29		6	13		27	3
火		14	21	28			12	19	26	2	9	16	23	30		7	14	21	28	4
水		15	22				13	20	27	3	10	17	24		1	8	15	22	29	5
木	9	16	23	30		7	14	21	28	4	11	18	25		2	9	16	※23	30	6
金	10	17	24		1	8	15	22	29	5	12	19	26		3	10	17	※24	31	7
土							補講					補講						補講		

※前期 試験等期間＝7月30日(木)～8月7日(金) （予備日を含む）

授業コマ数
各週15
＋
試験等

※ 7月23日(木)は、月曜日の授業を実施
※ 7月24日(金)は、水曜日の授業を実施

【後期】

	9月		10月				11月				12月				1月				2月
月		28		5		19	26	2	9	16		30		7	14	21			18	25	1
火		29		6	13	20	27		10	17	24		1	8	15	22		12	19	26	2
水		30		7	14	21	28	4	11	18	25		2	9	16	※23	※6	13	20	27	3
木			1	8	15	22	29	5	12	19	26		3	10	17	24	7	14	補講	28	4
金	25		2	9	16	23	30	6	13	20	27		4	11	18		8		22	29	5
土								補講						補講							

※後期 試験等期間＝1月28日(木)～2月5日(金) （予備日を含む）

授業コマ数
各週15
＋
試験等

※12月23日(水)は、月曜日の授業を実施
※ 1月 6日(水)は、月曜日の授業を実施

大 学 院

（博士前期課程）

２０２６(令和8)年度　博士前期課程　開講授業科目及び担当者

授業科目の概要	授業科目の名称			職　名	担当教員	授業を行う年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
授業科目の概要	経営情報学科目群	経営・マネジメント部門	経営学特論	教　授	片山准一	1・2		2	
			日本経営史特論	非常勤講師	加来祥男	1・2		2	
			経営組織特論	非常勤講師	黄　在南	1・2		2	
			経営管理特論	教　授	井上善海	1・2		2	
			財務管理特論	教　授	鵜崎清貴	1・2		2	
			経営戦略特論	教　授	遠藤真紀	1・2		2	
			ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業特論	教　授	遠藤真紀	1・2		2	
			中小企業特論	教　授	井上善海	1・2		2	
			国際経営特論	教　授	小川雄平	1・2		2	
			ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ特論	非常勤講師	男澤智治	1・2		2	
			経営科学特論	非常勤講師	福山博文	1・2		2	
		税法・会計部門	会計情報学特論	教　授	山下壽文	1・2		2	
			会計監査特論	非常勤講師	伊藤龍峰	1・2		2	
			税務会計特論	教　授	山内　進	1・2		2	
			税法学特論Ⅰ(租税法総論)	教　授	平山誠一郎	1・2		2	
			税法学特論Ⅱ(所得税法)	教　授	平山誠一郎	1・2		2	
			税法学特論Ⅲ(法人税法)	教　授	末永英男	1・2		2	
			税法学特論Ⅳ(相続税法)	教　授	山内　進	1・2		2	
			税法学特論Ⅴ(消費税法・手続法・争訟法)	教　授	鵜崎清貴	1・2		2	
			民法特論	非常勤講師	丹羽崇之	1・2		2	
			会社法特論	教　授	吉野　正	1・2		2	
			民事・行政訴訟特論	教　授	吉野　正	1・2		2	
		情報・データサイエンス部門	情報科学特論	教　授	荒平高章	1・2		2	
			情報ﾒﾃﾞｨｱ特論	教　授	麻生隆史	1・2		2	
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ特論	教　授	車　炳圻	1・2		2	
			情報ｾｷｭﾘﾃｨ特論	准教授	宮崎　武	1・2		2	
			経営情報ｼｽﾃﾑ設計特論	非常勤講師	岸川　洋	1・2		2	
			ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ特論	准教授	宮崎　武	1・2		2	
			ﾃﾞｰﾀ解析特論	教　授	荒平高章	1・2		2	
			離散ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ特論	教　授	車　炳圻	1・2		2	
			人工知能特論	講　師	中島直樹	1・2		2	
			ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ特論	講　師	ディンダ　プラマンタ	1・2		2	
		演習	演習Ⅰ　経営・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部門	井上善海　遠藤真紀 小川雄平　片山准一		1	4		
			税法・会計部門	鵜崎清貴　末永英男 福浦幾巳　平山誠一郎 山内　進　山下壽文					
			情報・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ部門	麻生隆史　荒平高章 車　炳圻　宮崎　武 ディンダ　プラマンタ					
			特別演習Ⅰ	演習Ⅰに同じ		1	4		
			演習Ⅱ	演習Ⅰに同じ		2	4		
			特別演習Ⅱ	演習Ⅱに同じ		2	4		

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営学特論	1・2年生	選択	2単位	片山准一

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、企業の経営行動とビジネス倫理を歴史的・論理的にとらえる。
企業行動を客観的に直視し、ビジネス倫理に関する基本的な考え方を習得することを到達目標とする。

授業の概要

企業は、ﾋﾄ､ﾓﾉ､ｶﾈ､情報等を駆使して熾烈な企業間競争を闘い抜いている。こうした競争に勝ち抜くために、企業は時として不正行為を行うことがある。近年では、例えば、某Ｔ芝社が長年にわたって不適切な会計処理を行ってきたり、某Ａ化成建材会社が短小のクイ打ちをしてクイの残る仕事をしたり、某Ｋ戸製鋼が製品強度データの改竄をしたり、某Ｎ産自動車が完成検査の不正を行ったり。こうした企業の不正行為は枚挙に暇ない。
本講義では企業のガバナンス問題や CSR（企業の社会的責任）等を視座にビジネス倫理を中心に論じていきたい。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　はじめに
第２回　資本概念と資本の循環・回転について
第３回　資本及び、資本家について
第４回　生産過程（協業・分業）について①
第５回　生産過程（機械制大工業）について②
第６回　生産管理（テイラー・システム）について①
第７回　生産管理（フォード・システム）について②
第８回　企業形態の展開について
第９回　株式会社について
第１０回　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて①
第１１回　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて②
第１２回　企業間競争と独（寡）占化について①
第１３回　企業間競争と独（寡）占化について②
第１４回　環境（公害）問題について
第１５回　経営学特論（ビジネス倫理）の総括

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前：最低限ネット検索で良いので、下調べをしておくこと（120 分）。
　　授業中、基本的な質問を行うので、回答できるように準備しておくこと。
事後：講義内容を、文献等で確認・復習すること（120 分）。

テキスト

使用しない。適宜、資料を配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

馬場克三著『経営経済学』（税務経理協会）
講義の進捗度に沿って適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準

口頭試験（50%）およびレポート(50%)により評価する。60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
日本経営史特論	1・2年生	選択	2単位	加来　祥男

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、形成期から今日に至る日本企業の発展とその特質を明らかにすることを目標とする。しかし、それにとどまらず、より一般的に企業とその発展全体像を把握する枠組みを構想できるようにしたい。

授業の概要

形成期から今日までを見通しながら、日本企業の発展とその特質について考察する。とくに第２次世界大戦後の高度成長期に重点がおかれる。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　講義のはじめに―構成と狙い
第２回　資本主義の発展と企業
第３回　企業システム把握の枠組み
第４回　日本における資本主義企業の形成
第５回　形成期日本企業の特質と類型（1）
第６回　形成期日本企業の特質と類型（2）
第７回　産業構造の高度化と巨大企業の生成
第８回　戦時経済
第９回　戦後改革
第１０回　高度成長の時代
第１１回　高度成長期の産業と企業（1）
第１２回　高度成長期の産業と企業（2）
第１３回　日本的生産システム
第１４回　日本的雇用システム
第１５回　法人資本主義

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

授業では第 2 次世界大戦後の日本経済の高度成長を担った企業のシステムを理解することに重点がおかれるが、他の国や他の時代についても理解できるような視野の広さを養って欲しい。そのために、基本的なことがらを正確に把握することが必要である。毎時限で扱われる内容を事後的に反芻すること（2ｈ）、次回の授業で扱われる内容を予想し、実際との異同を確認してみること（2ｈ）が望ましい。

テキスト

さしあたり、宮本又郎他『日本経営史』、新版、有斐閣、2007 年、をあげておく。
（変更する可能性あり）

参考書・参考文献・参考資料等

香西泰『高度成長の時代』、日経ビジネス人文庫、2001 年
田村正紀『消費者の歴史』、千倉書房、2011 年

成績評価の方法・基準

研究報告による。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経　営　組　織　特　論	1・2年生	選択	2単位	黄　在南

授業の到達目標及びテーマ
学則第３条を踏まえて、企業の競争優位をもたらす組織のインタンジブル（見えざる資産）をどう構築するかを考える。

授業の概要
　本授業では、組織でリーダーがインタンジブルをどのように構築すればいいかについて考える。なぜなら、昨今、企業の競争優位と組織のインタンジブルとの関連性が注目を浴びているからである。したがって、話はかなり実践的である。とはいえ、大学院の授業であることを考え、実践的な事例に対して、事例の紹介だけに終わらず、組織論の範疇（組織行動論、組織論など）の中で理論的な解釈を加える。
　各回では、インタンジブルの構造を構成する要素を提示し、それが今までどのように利用されてきたかという実例と、リーダーがインタンジブルを実現できるようにするためのツールを示す。すなわち、本授業では、インタンジブルを築き上げるためにリーダーにできること、またリーダーがすべきことを紹介することに注力する。なお、その過程の中で、学問的な研究の対象になりうる研究課題に対して、初期的な考察も行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第　１回　オリエンテーション：組織について学ぶこととは。
第　２回　形のないインタンジブル
第　３回　信用を築く
第　４回　成長のための戦略を立てる（１）
第　５回　成長のための戦略を立てる（２）
第　６回　コア・コンピテンシーを構築する（１）
第　７回　コア・コンピテンシーを構築する（２）
第　８回　人材を育成する（１）
第　９回　人材を育成する（２）
第１０回　シェアド・マインドを作り出す（１）
第１１回　シェアド・マインドを作り出す（２）
第１２回　学習力を高める（１）
第１３回　学習力を高める（２）
第１４回　リーダーシップ・ブランドを確立する（１）
第１５回　リーダーシップ・ブランドを確立する（２）

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
（事前）配布する資料および授業に関係する内容については、教科書などで必ず確認しておくこと。
　　講義中に質疑・討論をおこなう。
（事後）授業でおこなったことを、必ず復習して積み上げる事。
　　各回、少なくとも、１～２時間程度の事前・事後学習が必要である。

テキスト
デイブ・ウルリッチ　ノーム・スモールウッド（著）淡川桂子（訳）伊藤邦雄（監訳）『インタンジブル経営――競争優位をもたらす「見えざる資産」構築法』株式会社ランダムハウス講談社、2004年。
ISBN:4-270-00017-1

参考書・参考文献・参考資料等
適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準
レポートにより評価する

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営管理特論	1・2年生	選択	2単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ
【到達目標】
　学則第３条を踏まえて、以下の２点を到達目標とする。
　①　経営管理論の史的変遷を説明できる。
　②　経営管理論の体系を説明できる。
【テーマ】
　経営管理論の構成要素

授業の概要
　本授業では，アメリカにおける科学的管理に端を発し，その後，大規模化，高度化，複雑化，国際化が加速している企業活動を統括する総合管理論へと発展してきた経営管理（マネジメント）論について講義する。特に,経営管理論を構成する主要素である経営戦略，経営組織を中心に，経営計画や意思決定と経営情報システムなどの諸要素について外国語文献をもとに学ぶので,英文読解力が求められる。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第１回　　授業のねらいと進め方
第２回　　経営管理論を構成する諸要素
第３回　　経営戦略①（経営戦略の概念）
第４回　　経営戦略②（成長戦略）
第５回　　経営戦略③（競争戦略）
第６回　　経営戦略④（グローバル戦略）
第７回　　経営戦略⑤（イノベーション）
第８回　　経営計画とコントロール
第９回　　経営組織①（経営組織の概念）
第１０回　経営組織②（組織原則と組織の基本形態）
第１１回　経営組織③（組織の分権化と動態化）
第１２回　経営組織④（プロジェクト組織とマトリックス組織）
第１３回　経営組織⑤（ネットワーク組織）
第１４回　意思決定
第１５回　経営情報システム

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト
　テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

参考書・参考文献・参考資料等
　上野・馬場（2016）『経営管理論』中央経済社（2,400円）
　その他、各回の授業テーマごとに適宜指示する。

成績評価の方法・基準
　本授業の２つの到達目標に対する達成度を評価基準に、課題レポートにより成績評価を行う。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
財務管理特論	1・2年生	選択	2単位	鵜崎　清貴

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、企業の財務管理の諸問題を投資と資本調達論の観点から論ずる。
講義全体を通じて、最新の理論とデータ分析の習得を到達目標とする。

授業の概要

財務管理の諸問題を投資と資本調達論の観点から、商法（会社法）と関連付けて論じる。
財務管理に関する最新の理論を検討し，その関連データの分析を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第1回	イントロダクション	企業ファイナンスの意義
第2回	貨幣の時間的価値	貨幣の時間的価値の概念
第3回	株式と債券の評価	資金調達方法
第4回	資本予算	NPV法とIRR法の計算¥¥
第5回	時変収益率とイールドカーブ	インフレーションとイールドカーブ
第6回	不確実性，債務不履行そしてリスク	平均，分散
第7回	ポートフォリオ理論 1	ポートフォリオの計算
第8回	ポートフォリオ理論 2	ポートフォリオの計算
第9回	資本資産評価モデル 1	CAPMの概念
第10回	資本資産評価モデル 2	CAPMの計算¥¥
第11回	資金調達方法と資本コスト	資本コストの計算
第12回	配当政策と企業価値	MM理論と配当政策¥¥
第13回	市場の不完全性	情報の非対称性とIPO
第14回	コーポレートガバナンス	コーポレートガバナンスの意義と現状
第15回	まとめ	

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前：最低限ネット検索で良いので、下調べをしておくこと。(120分)
　　授業中、基本的な質問を行うので、回答できるように準備しておくこと。
事後：講義内容を、文献等で確認・復習しておくこと。(120分)

テキスト

鵜崎清貴(2026)『Rによるコーポレートファイナンス入門』未刊。
適宜、資料を配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

ＦＫＫ（古川経営研究会）財務スタディ・グループ， 市村誠・太田三郎・宮本順二朗共編著(2011)『経営財務の情報分析』学友社.
坂本恒夫・鳥居洋介 編著(2014)『テキスト企業分析論』税務経理協会.
古川浩一・蜂谷豊彦他(2005)『基礎からのコーポレート・ファイナンス』中央経済社.
市村昭三編(2005)『財務管理論』創成社出版.
諸井勝之助(1981)『経営財務講義』東京大学出版会.
坂本恒夫・文堂弘之(2007)『成長戦略のための新ビジネス･ファイナンス』中央経済社.
Welch, Ivo(2011) Corporate finance 2nd Edition (Prentice Hall).
http://www.amazon.com/Ivo-Welch/e/B001JRTDFQ
Richard Brealey, Stewart Myers, Franklin Allen, Pitabas Mohanty(2010)"Principles of corporate finance"McGraw-Hill（藤井眞理子・国枝茂樹(監訳)（2004)『コーポレートファイナンス 第6版上・下』日経BP社).
McKinsey & Company Inc., M.K. and Koller, T. and Goedhart, M. and Wessels, D.(2010) "Valuation: Measuring and Managing the Value of Companies, University Edition"John Wiley & Sons（本田桂子（監訳）,天野洋成,井上雅史,近藤将士,戸塚隆将（訳）(2006)『企業価値評価-バリュエーション：価値創造の理論と実践』ダイヤモンド社).
講義の進捗度に沿って適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準

講義中の発言（50%）およびレポート（50%）による総合評価。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営戦略特論	1・2年生	選択	2単位	遠藤　真紀

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえ、現代企業の経営戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論（分析型・プロセス型経営戦略，ドメイン、製品・市場戦略、経営資源、競争戦略等）等について理解していること。具体的には、企業の経営戦略等が理解でき、自身の自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになること。また例えば、企業物とよばれる小説またはビジネス雑誌・書籍等の理解が促進されるようになること。

授業の概要

経営戦略に関するこれまでの理論を体系的に理解すると共に、その理論の背景や意義等について考察します。このため、経営戦略論の基本的テキストを基に、現代の戦略論がどのように形成されてきたのか、そのプロセスについても考察していきます。また現代企業の経営戦略が、情報システムやネットワークおよびwebビジネス等との関わりで進化していることから、この点についても検討していきます。なおフィールドワークや映像資料に基づくケーススタディを通じて、経営戦略の実態についても検討していきます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　経営戦略とは
第２回　経営戦略の基本　①ミッション
第３回　経営戦略の基本　②ドメイン
第４回　経営戦略の基本　③環境・資源分析
第５回　事例演習：ケーススタディ①
第６回　成長戦略　①成長ベクトル，②多角化
第７回　成長戦略　③ポートフォリオ・マネジメント
第８回　成長戦略　④成長戦略の展開
第９回　事例演習：ケーススタディ②
第１０回　競争戦略　業界の競争分析，競争戦略の展開
第１１回　競争戦略　競争の基本戦略，バリュー・チェーン
第１２回　事例演習：ケーススタディ③
第１３回　事例演習：ケーススタディ④
第１４回　経営戦略の実行と評価
第１５回　まとめと成果発表

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

学部等において，経営学関連科目（経営管理論，マーケティング論，会計学等）を履修しておくことが望ましい。授業の前にはテキスト等を読み情報収集をして，担当した課題を発表するための準備をしておくこと。授業の後は，実際の事例などの関連情報をあたり，理解を深める努力を行うこと（毎回4.0h)。

テキスト

岸川善光『経営戦略要論』同文舘または井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社など

参考書・参考文献・参考資料等

岸川善光ほか『ケースブック経営管理要論』同文舘
井上善海・佐久間信夫『よくわかる経営戦略論』ミネルヴァ書房

成績評価の方法・基準

提出したレポートおよび発表内容で評価する。なお60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
ベンチャー企業特論	1・2年生	選択	2単位	遠藤　真紀

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえ、ベンチャー企業の社会的意義や必要性およびベンチャー・ビジネスの発展段階について理解していること。具体的には、ベンチャー企業の経営全般について理解できており、自身が起業家として，あるいはビジネス・パースンとして，自律的・自発的な行動・判断基準が持てるようになること。

授業の概要

ベンチャー企業に関するこれまでの理論を体系的に理解すると共に、その理論の背景や意義等について考察します。このため、ベンチャー・ビジネスの基本的テキストを基に、現代のベンチャー企業がどのように形成・発展してきたのか、そのプロセスについても考察していきます。またフィールドワークや映像資料に基づくケーススタディを通じて，起業家およびベンチャー企業の実態についても検討していきます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　ベンチャー企業，ベンチャー・ビジネスの意義
第２回　ベンチャー企業，ベンチャー・ビジネスの生成と発展
第３回　ベンチャー・ビジネスの体系
第４回　事例演習：ケーススタディ①
第５回　ベンチャー・ビジネスの構想段階
第６回　ベンチャー・ビジネスの準備段階
第７回　ベンチャー・ビジネスの立ち上げ段階
第８回　ベンチャー・ビジネスの成長段階
第９回　ベンチャー・ビジネスの成熟段階
第１０回リスク・マネジメントとイノベーション
第１１回　ベンチャー・ビジネスの今日的課題
第１２回　事例演習：ケーススタディ②
第１３回　事例演習：ケーススタディ③
第１４回　事例演習：ケーススタディ④
第１５回　まとめと成果発表

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

学部等において，経営学関連科目（経営管理論，マーケティング論，会計学等）を履修しておくことが望ましい。授業の前にはテキスト等を読み情報収集をして，担当した課題を発表するための準備をしておくこと。授業の後は，実際の事例などの関連情報をあたり，理解を深める努力を行うこと（毎回 4.0h）。

テキスト

岸川善光『ベンチャービジネス要論』同文舘

参考書・参考文献・参考資料等

岸川善光『経営戦略要論』同文舘および岸川善光『経営管理要論』同文舘
井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社

成績評価の方法・基準

提出したレポートおよび発表内容で評価する。なお 60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
中小企業特論	1・2年生	選択	2単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

【到達目標】
学則第３条を踏まえて、以下の３点を到達目標とする。
① 日本経済における中小企業の地位や役割について説明できる。
② 大企業とは異なった中小企業の経営特性について説明できる。
③ 経営環境の変化に対応し、成長を続ける中小企業のマネジメントついて説明できる。
【テーマ】
地域経済やグローバル化に寄与する中小企業

授業の概要

本授業では、わが国産業の競争力を支えてきた中小企業の構造的問題について、課題別に考察することをねらいとする。そこで、まず日本の中小企業の歴史的な変遷および国際比較を行いながら、中小企業の存在意義について明らかにする。その後、大企業との格差問題および下請中小企業問題を中心としながら、中小企業が地域経済の担い手やグローバル化に寄与していることについて考察していく。中小企業のグローバル化については、外国語文献をもとに学ぶので、英文読解力が求められる。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　授業のねらいと進め方
第２回　中小企業の経営特性：単に大企業を縮小したような存在ではなく、大企業とは異なった経営特性を持つ中小企業が、その経営特性を生かす道としてどのような事業分野があるのか。
第３回　中小企業の歴史：産業革命から現代まで、世界における中小企業がどのように変化してきたのか。
第４回　海外の中小企業：海外では、中小企業がどのような地位を占めどのような役割を担っているのか。
第５回　中小企業問題と中小企業政策：中小企業問題の本質とは何か、その解決のために講じられる中小企業政策の役割や体系。
第６回　経営環境の変容と戦略：企業を取り巻く経営環境が変容しているなかで、中小企業が長期的な戦略にもとづく経営に取り組む必要性。
第７回　資金難と財務：資金調達をはじめとした中小企業の財務マネジメントのあり方。
第８回　分業構造の変容と下請：下請企業の構造的問題を解決するマネジメント。
第９回　企業間関係の変容とネットワーク：経営資源に制約の多い中小企業の事業展開で抱える問題。
第１０回　産業構造の変容と地域産業：産業集積の戦略的な連携や他地域への進出、地域資源の有効活用。
第１１回　世界市場の変容とグローバル化：中小企業がグローバル化を行うことによって起きる問題。
第１２回　人材難と組織：経営環境の多様な変化に適応していくための組織や人のマネジメントのあり方。
第１３回　後継者難と事業承継：中小企業に特有の事業承継リスクへの対応方法について。
第１４回　研究開発力不足と製品開発：イノベーションによる中小企業の製品開発マネジメントの重要性。
第１５回　既存事業の衰退と事業開発：中小企業の事業開発上の経営課題と対応策。

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト

テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

井上善海編著（2022）『中小企業経営入門』中央経済社（2,300 円）
井上善海編（2009）『中小企業の戦略』同友館　（2,800 円）
中小企業庁編『中小企業白書』（各年度版）
その他、授業テーマごとに適宜指示する。

成績評価の方法・基準

本授業の３つの到達目標に対する達成度を評価基準に、課題レポートにより成績評価を行う。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
国際経営特論	1・2年生	選択	2単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

「学則」第3条を踏まえて、著しくグローバル化した世界経済の実態について理解を深め、変化する経済環境に対応した企業の国際経営戦略上の課題を明らかにすることを目標とする。なお、授業を通して修士論文の作成にも役立てることを目指す。

授業の概要

日本企業の海外進出の進展とそれに伴う企業内貿易の展開や部品調達網の構築等の現状について解説し、為替レートの変動や急増する FTA 等国際経済環境に対応した企業経営の在り方を検討する。新聞報道から具体的な事例を取り上げてケーススタディを行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　日本的経営、日本企業の対外進出と空洞化
第３回　企業経営の国際化Ⅰ：対米貿易摩擦･円高と輸出企業による生産基地の移転、
第４回　企業経営の国際化Ⅱ：製造業企業による国際部品供給網の構築と国際分業の深化
第５回　企業経営の国際化Ⅲ：NIEs の対米貿易摩擦･生産コストの上昇と生産基地の再移転、
第６回　企業経営の国際化Ⅳ：中間層の増大=消費市場としてのアジア、企業の現地化と M&A
第７回　企業経営の国際化Ⅴ：国際物流の進展とサプライチェーンマネジメント
第８回　小括と討論
第９回　貿易取引・決済の実際と外国為替の原理
第１０回　企業内貿易の実態Ⅰ：企業の多国籍化と企業内取引の実際
第１１回　企業内貿易の実態Ⅱ：タックス･ヘイブン(租税回避地)と移転価格税制
第１２回　小括と討論
第１３回　FTA と企業経営Ⅰ：日本の関税と FTA･EPA 戦略
第１４回　FTA と企業経営Ⅱ：メガ FTA(CPTPP・EU 日・RCEP)と企業経営
第１５回　小括と討論

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前学習：テキストの該当箇所及びプリントに目を通して疑問点を明確にしておくこと。時間：２時間
事後学習：講義内容の復習と授業中に指示された課題に取組むこと。　時間：２時間

テキスト

小川雄平・猿渡剛編著『国際ビジネス論を学ぶ』中央経済社、2,500 円（ISBN978-4-502-35761-9）
吉原英樹著『国際経営』第４版、有斐閣、2,000 円（ISBN978-4-641-22064-5）
テキストの他にプリントも準備する。

参考書・参考文献・参考資料等

授業中に適宜指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、試験（50%）と研究報告（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
ロジスティクス特論	1・2年生	選択	2単位	男澤　智治

授業の到達目標及びテーマ

「学則」第3条を踏まえて、企業の原料調達から生産・製品販売に至るまでの物流・管理の現状について理解を深め、その課題を明らかにすることを目標とする。なお、授業を通じて修士論文の作成にも役立てることを目指す。

授業の概要

ロジスティクス（Logistics）とは、元来は軍隊の兵站を意味したが、企業の部品・原料調達から生産・製品販売までの物流過程とその管理を指すようになった。経済のグローバル化に伴い企業の部品調達網（サプライチェーン）は、アジアを巻き込んで重層化・複雑化している。本講義では、まず、国内・国際に関する物流やロジスティクス、サプライチェーンなどの定義や発展の過程についてみることにする。さらに、近年、研究を進めている中国の一帯一路を中心とした中欧班列の動きや新聞報道の事例等も取り上げて詳細に解説する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　貿易とグローバル・ロジスティクス
第３回　国際物流とグローバル・ロジスティクス
第４回　海上輸送、主要コンテナ航路の現状
第５回　航空輸送
第６回　フレイト・フォワーダーとグローバル・ロジスティクス
第７回　フレイト・フォワーダーと国際複合一貫輸送
第８回　各国・地域の物流事情
第９回　サードパーティ・ロジスティクス
第１０回　グローバルサプライチェーンの強靭化
第１１回　標準化のグローバル展開とデジタル化動向
第１２回　産業別グローバル化・ロジスティクス
第１３回　FTA・EPA とグローバル・ロジスティクス
第１４回　東アジア国際物流ネットワークの変容と展望～一帯一路の視点より～
第１５回　物流、ロジスティクスの将来に関する自由討論

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前学習：テキストの該当個所に目を通して疑問点を明らかにしておくこと。　時間：２時間
事後学習：講義内容の復習、特にキーワードは理解をしておくこと。　時間：２時限

テキスト

魚住和宏・石原伸志・合田浩之・石原祐介編著『グローバル・ロジスティクスの基礎』成山堂書店 3,200 円（ISBN978-4-425-93291-7）
テキストに加え、プリントも準備する。

参考書・参考文献・参考資料等

柴崎隆一編『グローバル・ロジスティクス・ネットワーク』成山堂書店、2,800 円（ISBN978-4-425-93161-3）

成績評価の方法・基準

成績は、試験（50%）と研究報告（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経　営　科　学　特　論	１・２年生	選択	２単位	福山　博文

授業の到達目標及びテーマ
学則第３条をふまえて、データ包絡分析法（Data Envelopment Analysis、DEA）を学び、それを実践的に適用する能力の習得を目指します。

授業の概要
本講義では、企業等の組織体の生産効率性を分析・解析するデータ包絡分析法(Data Envelopment Analysis: DEA と略）について学びます。DEA は，複数生産物での総合評価や改善策の定量的な把握と提案ができるといった特徴があります。講義では、DEA の基本的な考え方について，簡単な計算事例を用いて概説した後で、様々な分析事例を紹介します。
私は、エルゼビアが出版している OMEGA：International Journal of Management Science（インパクトファクター：7.2）という経営科学の英文専門誌の担当編集委員（Associate Editor）を務めているので、この分野の最近の研究動向などについても、お話したいと思います。私の研究に興味のある方は、次の URL などを参考にしてください。https://scholar.google.com/citations?user=BUHhDAwAAAAJ&hl=en

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第１回　　オリエンテーション（授業の概要を説明します。）
第２回　　線形計画法モデル１（数学的準備をします。）
第３回　　線形計画法モデル２（数学的準備をします。）
第４回　　データ包絡分析法 DEA の基本１
第５回　　データ包絡分析法 DEA の基本２
第６回　　データ包絡分析法 DEA の基本３
第７回　　分析事例：電気事業１
第８回　　分析事例：電気事業２
第９回　　分析事例：保健医療政策１
第１０回　分析事例：保健医療政策２
第１１回　分析事例：都道府県の生産活動の効率性評価１
第１２回　分析事例：都道府県の生産活動の効率性評価２
第１３回　分析事例：金融１
第１４回　分析事例：金融２
第１５回　レポート提出課題について

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
・Excel の基本的操作を習得していること（高度のレベルでなくてもよい）を前提に講義を進めます。
・報告担当者は、配布用レジュメを作成すること。
・次回の授業範囲を十分に予習し、講義に臨むこと。
・事前に配布された資料がある場合には、熟読して講義に臨むこと（2.0ｈ）。
・事後学習として受講ノートを作成すること（2.0ｈ）。
・数学は初歩的レベルから始めるので、高度な数学的知識は必要ではありませんが、受講者は数学が嫌いでないことが重要です。

テキスト
『経営効率性の測定の基礎～DEA 分析の事例で学ぶ生産性・効率性向上への挑戦』（編）刀根薫 ，（著）筒井美樹，丸山幸宏，濱口由子，福山博文，橋本敦夫，岩本大輝，大里怜、日本評論社、2022、ISBN978-4-535-55931-8。効率値の計測については、教育版のソフト DEA-Solver が利用可能です。

参考書・参考資料等
● 刀根薫『経営効率性の測定と改善―包絡分析法 DEA による』日科技連出版社、1993、ISBN978-4817150226
● Wade D. Cook and Joe Zhu（森田浩　訳）『データ包絡分析法 DEA』静岡学術出版 ISBN978-4-86474030-2

成績評価の方法・基準
方法：課題レポートで評価します。
基準：学んだ数理モデルを理解して、実証研究ができるようになる。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会　計　情　報　学　特　論	１・２年生	選択	２単位	山下　壽文

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：学則第３条を踏まえて、会計情報作成・開示に関する理論的・制度論的知識の習得
テ ー マ：現代会計基準に関する主要論点の研究

授業の概要
現代経済社会を生きる私たちにとって、会計知識の習得は必須の要件となっている。この講義では、会計制度の変化と会計情報の新しい特徴を正確に理解し、企業の会計政策の決定と会計情報の分析とを行う能力を養うための専門知識を身に付けることを目的として、会計基準および概念フレームワークの主要な論点について体系的に説明し、討論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第１回　　法人税法第 22 条第 4 号と会計基準
第２回　　シャウプ勧告の役割と『企業会計原則』の設定
第３回　　歴史的視点からみた簿記と会計の関係
第４回　　わが国の会計基準における国際会計基準の影響
第５回　　概念フレームワークと会計基準
第６回　　収益費用アプローチと資産負債アプローチ
第７回　　公正価値の測定～割引現在価値
第８回　　新収益認識基準と実現主義の原則
第９回　　リース（1）ファイナンス・リース取引とオペレーション・リース取引
第１０回　リース（2）セール・アンド・リースバック取引
第１１回　資産除去債務会計
第１２回　退職給付会計
第１３回　キャツシュ・フロー計算書（1）直接法と間接法による作成
第１４回　キャツシュ・フロー計算書（2）作成演習
第１５回　連結会計

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
(留 意 点)　簿記・会計に関する基本的な知識を有していること。
(事前学習)　受講者全員が次回の学習領域について事前にテキストまたは配布資料を読み、疑問点や質問事項等を整理した上で講義に参加すること。　(2 時間程度)
(事後学習)　講義中に理解したことをまとめ、疑問点や質問事項等が解決したかどうかを確認すること。その後、授業内容を再検討し、理解を深める必要がある。　(2 時間程度)

テキスト
山下壽文『財務会計論～テキスト＆問題～』（冊子）

参考書・参考文献・参考資料など
中央経済社編『新版会計法規集』中央経済社

成績評価の方法・基準
定期試験（60%）、レポート(40%)を総合的に判断して評価します。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会　計　監　査　特　論	1・2年生	選択	2単位	伊藤 龍峰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：学則第３条を踏まえて、財務諸表監査の社会的役割の理解と理論的・制度的な専門知識の習得
テ ー マ：財務諸表監査における枠組みと主要論点の研究

授業の概要

私たちは社会生活を営むかぎり、各種の組織や団体等と無関係ではありえません。このような組織や団体等では、必ず誰かが会計報告を作成し、また誰かがその会計報告を監査しているのです。これまで一部の人達を除いて、監査に対しては比較的無関心であったと言えるでしょう。ただ、監査は身近なところにあり、直接・間接に私たちと深い関わりを持って存在しています。とりわけ、企業と利害関係を持つ場合、財務諸表は、私たちと当該企業とを結ぶ重要な連結環であるため、財務諸表が信頼できるものであるという保証があってこそ、私たちは安心して財務諸表を用いて、当該企業に関する各種の意思決定を行うことができるのです。監査は、このような財務諸表の信頼性の保証に大きな役割を果たしています。
会計監査特論では、公認会計士や監査法人による財務諸表監査の意義と役割を意識しながら講義を展開していきます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　　オリエンテーション
第２回　　監査の必要性と法定監査制度
第３回　　監査全体の流れ
第４回　　監査基準
第５回　　リスク・アプローチ監査
第６回　　内部統制
第７回　　監査計画
第８回　　監査の実施
第９回　　監査結果の報告
第１０回　監査の品質管理
第１１回　監査をめぐる国際的な動向
第１２回　内部統制監査
第１３回　公監査
第１４回　財務諸表監査の周辺業務
第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

(留 意 点)簿記や会計学に関する学部レベルの知識を有していること。
(事前学習)毎回、次回の報告予定者を指名しますが、報告予定者ばかりではなく、受講者全員が次回の学習領域について事前にテキストを読み、疑問点や質問事項等を整理した上で授業に参加してください。(2時間程度)
(事後学習)講義中に理解したことを纏め、疑問点や質問事項等が解決したかどうかを確認してください。その後に、授業内容に関する深掘りを行い、自分のものにしてください。(2時間程度)

テキスト

『監査論入門 第６版』 長吉眞一、伊藤龍峰、北山久恵 井上善弘、岸牧人、異島須賀子 著　中央経済社

参考書・参考文献・参考資料等

適宜、資料配布を行うとともに、参考書についても具体的に指示します。

成績評価の方法・基準

定期試験の結果(40%)と課題研究レポートの内容(60%)を総合的に判断して評価します。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税務会計特論	1・2年生	選択	2単位	山内　　進

授業の到達目標及びテーマ

税務会計とは法人税法上の課税所得を計算するための会計であり、制度会計の一つを構成している。しかも、この税務会計は、企業会計並びに商法・会社法と関連している。本講義は、学則第３条を踏まえ事例を研究することで、税務会計の基礎となる各種概念、税務会計の課税所得計算の仕組み、重要なそこから派生している各種課税上の問題点及び解決策を判例研究を通じて検証する。

授業の概要

まず課税所得の計算構造の研究、続いて益金の税務、損金の税務、課税所得計算と税額計算、組織再編税制、国際課税と順次学習する。最後に会計基準の変容と税務の関連性について検証する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　授業の進め方
第２回　課税所得の計算構造
第３回　受取配当金の税務(事例研究「受取配当金の判例(東京地裁)」)
第４回　交際費課税(萬有製薬事件・ドライブイン事件)
第５回　寄付金課税(清水葱事件・売上値引売買損失事件)
第６回　貸倒損失・貸倒引当金(興銀事件)
第７回　役員給与課税(縫製加工業事件・役員退職金の相当額の判例・分掌変更に伴う役員退職金の判例)
第８回　減価償却(電話回線事件)・繰延資産の償却
第９回　リース取引(リース取引に係わる判例)
第10回　国際課税Ⅰ外国税額控除事件(最高裁)」)
第11回　国際課税Ⅱ　移転価格税制(今治造船事件・アドビ事件)
第12回　国際課税Ⅲ　外国子会社合算課税(香港木材卸業事件)
第13回　組織再編税制(ヤフー事件)
第14回　圧縮記帳
第15回　会計基準の変容と課税所得計算研究(大竹貿易事件・ビックカメラ事件・オリックス事件・プリペードカード事件・中部電力事件)

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）税務会計を学ぶには、簿記論や会計学の知識が必要となる。
(準備学習)
事前：毎回の課題を予習してくること（毎回２時間)。
判例については、地裁、高裁、最高裁と各判決を判読し、比較するとさらに理解力が高まる(毎回２時間)

テキスト

山内ススム『法人税法要説』税務経理協会

参考書・参考文献・参考資料等

・末永英男『税務会計論の基本問題』中央経済社
・中里実他編『租税判例百選[第６版]』有斐閣
・金子宏『租税法』弘文堂
・金子宏他『ケースブック租税法』弘文堂
・酒井克彦『プログレッシブ税務会計論Ⅲ-公正処理基準』中央経済社

成績評価の方法・基準

授業の発表レポート(50%)と授業への積極的参加（50%）により評価する。60%を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅰ（租税法総論）	1・2年生	選択	2単位	平山　誠一郎

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、租税法総論について学ぶ。説明、討議及びレポート作成等により、租税法の知識、考え方を身に付ける。

授業の概要
　授業の該当テーマについて、金子宏『租税法〔第24版〕』を精読し、法令、判例、学説等の理解を深める。
　各税法に共通する基本的かつ重要な事項であり、１回当たりのボリュームもかなりあるため、相当の準備が不可欠である。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　　租税の意義
　第２回　　租税法の意義と特質
　第３回　　わが国における租税制度の発達
　第４回　　租税法の法源と効力
　第５回　　租税法の基本原則(1)　　租税法律主義
　第６回　　租税法の基本原則(2)　　租税公平主義、自主財政主義
　第７回　　租税法の解釈と適用
　第８回　　課税要件総論(1)　　納税義務者
　第９回　　課税要件総論(2)　　課税物件、課税標準、税率
　第１０回　納税義務の成立・承継及び消滅
　第１１回　附帯税、納税者の債権
　第１２回　租税手続法序説、租税確定手続(1)　　確定の方式
　第１３回　租税確定手続(2)　　申告納税方式、更正の請求、更正・決定
　第１４回　租税確定手続(3)　　推計課税、賦課課税方式、確定権の除斥期間、質問検査権
　第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　憲法、行政法、民法等の知識が必要である。
　各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。

テキスト
金子宏『租税法〔第24版〕』（弘文堂）
中里実他編『租税判例百選〔第７版〕』（有斐閣）

参考書・参考文献・参考資料等
税務大学校講本『税法入門』『国税通則法（基礎編）』
伊藤義一『税法の読み方　判例の見方〔改訂第３版〕』（ＴＫＣ出版）
佐伯仁志ほか編『ポケット六法』（有斐閣）
法令用語研究会『法律用語辞典』（有斐閣）

成績評価の方法・基準
　試験（50%）及びレポート（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅱ（所得税法）	1・2年生	選択	2単位	平山　誠一郎

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、所得税法の法令の条文を読解でき、具体的事例に適用できる能力を身に付ける。
　所得税法の体系的知識を習得する。

授業の概要
　授業の該当テーマについて、金子宏『租税法〔第24版〕』及び佐藤英明『スタンダード所得税法〔第４版〕』を精読し、法令、判例、学説等の理解を深める。
　講義範囲のテキストを事前に熟読し理解しておくことが不可欠である。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　　総説（所得税の意義、所得の意義・概念、所得税の類型、課税単位）
　第２回　　所得税制度の基本的仕組（納税義務者、課税標準）
　第３回　　各種所得の意義と範囲（不動産所得、事業所得）
　第４回　　各種所得の意義と範囲（給与所得、退職所得）
　第５回　　各種所得の意義と範囲（山林所得、譲渡所得①）
　第６回　　各種所得の意義と範囲（譲渡所得②）
　第７回　　各種所得の意義と範囲（利子所得、配当所得、一時所得、雑所得）
　第８回　　所得計算の通則（収入金額）
　第９回　　所得計算の通則（必要経費①（総説～売上原価））
　第１０回　所得金額の通則（必要経費②（販管費～所得金額の計算の特例））
　第１１回　課税標準の計算（所得金額の総合、損益通算、損失の繰越控除）
　第１２回　所得控除、税額の計算
　第１３回　源泉徴収制度、非居住者及び法人の納税義務
　第１４回　申告、納付及び還付
　第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　簿記・会計の知識が不可欠である。
　授業範囲の税法・テキストを読解しておくこと。
　各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。
　特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト
金子宏『租税法〔第24版〕』（弘文堂）
『実務 税法六法』（新日本法規出版）又は『税務六法』（ぎょうせい）
佐藤英明『スタンダード所得税法〔第４版〕』（弘文堂）
中里実他編『租税判例百選〔第７版〕』（有斐閣）

参考書・参考文献・参考資料等
税務大学校講本『所得税法（基礎編）』
伊藤義一『税法の読み方　判例の見方〔改訂第３版〕』（ＴＫＣ出版）
佐伯仁志ほか編『ポケット六法』（有斐閣）
注解所得税法研究会『注解 所得税法』（大蔵財務協会）

成績評価の方法・基準
　試験（50%）及びレポート（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅲ （法人税法）	1・2 年生	選択	2単位	末永英男

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、法人税法の法令の条文を読解でき、具体的事例に適用できる能力を身に付ける。 法人税法の体系的知識を習得する。

授業の概要

授業の進め方は、テキストと講義用レジメ（毎回配布）を教材として行う。そのため、講義範囲のテキスト・講義用レジメを事前に熟読し理解しておくことが不可欠である。講義の内容や理解度に応じて、教員が質問・解説を行う。そのうえで、全員参加型の討議を毎回行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回 総説
第２回 法人所得の意義と計算（総説）①益金
第３回 法人所得の意義と計算（総説）②損金
第４回 資本等取引
第５回 企業会計と租税会計との関係①
第６回 企業会計と租税会計との関係②
第７回 益金の額の計算
第８回 損金の額の計算①（売上原価～資産の評価損）
第９回 損金の額の計算②（役員給与等）
第１０回 損金の額の計算③（寄附金、交際費）
第１１回 損金の額の計算④（損失、繰越欠損金）
第１２回 組織再編税制・グループ法人税制・グループ通算制度
第１３回 同族会社と所得課税
第１４回 国際課税（移転価格税制・CFC 税制）
第１５回 法人税額の計算および法人税の申告等

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

簿記・会計の知識が不可欠である。
税法の読み方の基本を、伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』（ＴＫＣ出版）」によりマスターしておくこと。
授業範囲の税法・テキストと事前に配布する講義用レジメを読解しておくこと。
各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。
特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト

末永英男編『法人税法会計論〔第 9 版〕』（中央経済社）、末永英男『税務会計論の基本問題』（中央経済社）、金子宏『租税法〔第 24 版〕』（弘文堂）、渡辺徹也『スタンダード法人税法〔第 3 版〕』（弘文堂）、『法人税法（基礎編）〔令和 7 年度版〕』（税務大学校）、別冊ジュリスト『租税判例百選〔第 7 版〕』（有斐閣）、『租税判例六法〔第 7 版〕』（有斐閣）

参考書・参考文献・参考資料等

末永英男編著『税務会計と租税判例』（中央経済社）、『実務 税法六法（法令編・通達編）〔最新版〕』（新日本法規出版）、渕圭吾『租税法講義』（有斐閣）、山本守之『体系法人税法』（税務経理協会）、『税法用語辞典』（大蔵財務協会）、『ケースブック租税法』（弘文堂）

成績評価の方法・基準

研究報告（50%）、レポート（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅳ (相続税法)	１・２年生	選択	2単位	山内　　進

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、まず相続税法の体系(財産評価から相続税額の計算まで)について学習し、同時に判例研究をすることで相続税法の課税要件、そこに潜む課税の問題点等について検証することを学習目的とする。授業中の報告内容、報告の仕方、討論への参加により、相続税法の独自の知識、考え方を身に付ける。

授業の概要

各回の授業テーマについて、まず山内ススム『相続税法要説〔第六訂版〕』により、相続税法の体系(財産評価から相続税額の計算まで)の理解、そして判例等の研究により課税上の問題点、相続税法の理解を深める。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回 授業の進め方
第２回 相続税及び贈与税の申告までの手続きと計算体系(代償分割・換価分割と譲渡所得に対する所得税の帰属の判例)
第３回 財産評価(土地・家屋)(土地の時価の判例)
第４回 有価証券と預金の評価等(名義預金の判例)
第５回 配偶者居住権と小規模宅地等(小規模宅地特例の判例)
第６回 相続人と相続分
第７回 相続税の課税価格の計算(武富士事件・中央出版事件)
第８回 未分割と相続税の計算と納付(配偶者の税額軽減手続きの判例)
第９回 贈与税の計算(公正証書による贈与契約・配偶者控除の判例)
第１０回 贈与税の優遇措置(結婚子育て資金贈与・教育資金贈与・住宅取得資金贈与等)
第１１回 相続時精算課税
第１２回 非上場株式の相続税と贈与税の一般措置
第１３回 非上場株式の相続税と贈与税の特例措置
第１４回 相続税と納付(物納と延納)・滞納・訴訟・罰則等
第１５回 相続税の申告(総括)

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

憲法、民法、民事訴訟法等の知識が必要である。
各回 3 時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト

山内ススム『相続税法要説〔第六訂版〕』
中里実他編『租税判例百選〔第 7 版〕』別冊ジュリスト（有斐閣）
黒坂昭一他『国税通則法』大蔵財務協会

参考書・参考文献・参考資料等

金子宏『租税法〔第 24 版〕』（弘文堂）
中尾巧他『新・税務訴訟入門』（商事法務）
伊藤義一『税法の読み方　判例の見方〔改訂第 3 版〕』（TKC 出版）
佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法　令和 6 年版』（有斐閣）

成績評価の方法・基準

授業の発表レポート(50%)と授業への積極的参加（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅴ （消費税法・手続法・争訟法）	１・２年生	選択	２単位	鵜崎　清貴

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、税法学特論では、租税理論の基本的な枠組みと、現代の租税制度・租税政策の特徴・課題を理解することを目的とする。租税政策は、財政政策の重要な手段であり、経済・社会の発展に大きな影響を与える。租税政策の分析には、経済学的な知識だけでなく、法律・政治・社会・歴史などの多角的な視点が必要である。本授業では、租税政策の理論的な基礎と、日本や他国の租税制度・租税政策の事例を学び、租税政策の評価や提言について考える。

授業の概要

講義では以下のトピックについて講義する。

・租税政策の基本概念と目的
・租税原則と租税効果
・所得課税の理論と実際
・消費課税の理論と実際
・資産課税の理論と実際
・租税制度の国際比較と調整
・租税改革の方向性と課題

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

1.　租税政策論の導入：租税政策の意義と目的
2.　租税原則論の発展と現状：公平性・効率性・簡素性
3.　租税効果の分析：所得効果・代替効果・余剰負担
4.　所得課税の理論：所得の定義・測定・分配
5.　所得課税の実際：所得税・法人税・相続税
6.　消費課税の理論：消費の定義・測定・分配
7.　消費課税の実際：消費税・付加価値税・間接税
8.　資産課税の理論：資産の定義・測定・分配
9.　資産課税の実際：固定資産税・資本利得税・贈与税
10.　租税制度の国際比較：所得課税・消費課税・資産課税の比較
11.　租税制度の国際調整：国際課税・移転価格・税制協調
12.　租税改革の方向性：所得課税・消費課税・資産課税の改革
13.　租税改革の課題：財政赤字・社会保障・環境・地方分権
14.　租税政策の評価と提言：租税政策の効果・効率・公平の評価
15.　租税政策論のまとめ：租税政策の理解と応用

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

憲法、行政法、民法、刑法、民事訴訟法等の知識が必要である。
各回３時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト

経済財政諮問会議（2020）『租税制度改革の方向性に関する提言』
財務省（2020）『租税制度の国際比較 2020』

参考書・参考文献・参考資料等

金子宏『租税法〔第 24 版〕』（弘文堂）
松本和彦編（2019）『租税政策論』有斐閣
小林節（2018）『租税政策の経済学』日本経済新聞出版社。
岡田光弘（2017）『租税政策の理論と実際』中央経済社。
石川寛(2019)『租税の経済分析』ミネルヴァ書房。

成績評価の方法・基準

講義中の発言(50%)と発表レポート(50%)による総合評価。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
民法特論	１・２年生	選択	２単位	丹羽　崇之

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、民法および関連する法令を熟読し、どのような状況をどのように規律しようとしているのか、なぜそのように規定されているのか、各条文の関係はどのようになっているのか等を考える。さらに重要判例を検討することにより、私法の解釈適用力を涵養する。

授業の概要

上記の目標到達のため、民法全体にわたり、重要判例を検討する。それぞれの判例に関して、事実の概要、争点、判旨、判決の意義等について討論していく。授業１回当たりのボリュームも多いため、相当の準備が不可欠である。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　民法序論
第２回　総則（1）　人、法人
第３回　総則（2）　法律行為、意思表示
第４回　総則（3）　代理、無効と取り消し
第５回　総則（4）　条件・期限・期間、時効
第６回　債権（1）　総論
第７回　債権（2）　契約総論
第８回　債権（3）　契約各論
第９回　債権（4）　事務管理、不当利得、不法行為
第１０回　物権（1）　物権総論
第１１回　物権（2）　占有権、所有権、用益物権
第１２回　物権（3）　担保物権
第１３回　親族
第１４回　相続（1）　総則、相続人、相続の効力
第１５回　相続（2）　相続の放棄・承認、遺言、遺留分

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

未習者を対象としているが、民法は範囲が広いため、学習量が多いことを覚悟しておいてほしい。
各回４～８時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト

潮見佳男『民法（全）〔第 3 版補訂版〕』（有斐閣）
遠藤浩・川井健他編『民法基本判例集〔第５版〕』（勁草書房）
森田宏樹・小泉直樹編『ポケット六法　令和８年版』（有斐閣）

参考書・参考文献・参考資料等

潮見・道垣内編『民法判例百選Ⅰ　総則・物権〔第９版〕』別冊ジュリスト（有斐閣）
窪田・森田編『民法判例百選Ⅱ　債権〔第９版〕』別冊ジュリスト（有斐閣）
水野・大村編『民法判例百選Ⅲ　親族・相続〔第３版〕』別冊ジュリスト（有斐閣）

成績評価の方法・基準

提出レポートにより評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会社法特論	１・２年生	選択	２単位	吉野　正

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、会社法及び関連法について、基本的知識を学ぶ。

授業の概要
　基本教科書を事前に読んでもらい、適宜講義ノートを議論しながら学ぶ。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　株式会社の設立１
　第２回　株式会社の設立２　募集設立と発起人の権限と責任
　第３回　株式についてⅠ
　第４回　株式についてⅡ　種類株式、株式譲渡の方法
　第５回　株式についてⅢ　株式の担保化、株式の保有形態及び株式の投資単位の調整
　第６回　株式会社の機関Ⅰ　株主総会
　第７回　株式会社の機関Ⅱ　取締役会設置会社
　第８回　株式会社の機関Ⅲ　（監査役、監査役会、会計監査人、会計参与）
　第９回　株式会社の機関Ⅳ　指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社
　第１０回　役員等の株式会社に対する義務　委任関係、善管注意義務、忠実義務
　第１１回　役員等（取締役、会計参与、監査役、執行役、会計監査人）の責任
　第１２回　会社の解散と清算
　第１３回　会社の会計と資金調達
　第１４回　株式取得による会社の買収
　第１５回　組織再編（合併、会社分割、株式交換、株式移転および株式交付）及び事業譲渡等

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
教科書を事前に読んでおく、事後は講義ノートと会社法該当条文をよく読む。

テキスト
　会社法　（株）有斐閣　伊藤靖史、大杉謙一、田中亘、松井秀征　著者

参考書・参考文献・参考資料等
　会社法判例百選　（株）有斐閣　神作　裕之、藤田　友敬、加藤　貴仁/編

成績評価の方法・基準
　成績評価方法：定期試験９５％　レポートの提出5%。　成績評価の基準：①会社の特徴について理解をしているか。②株式会社、合名会社、合資会社、合同会社のそれぞれの性質の違いを理解しているか。③株式会社のうち取締役会を設置会社、指名委員会等設置会社、監査等員会設置会社を理解しているか。④取締役にどのような責任が課せられているか説明できること⑤会社の計算について十分理解していること⑥株式の譲渡及び金融商品取引について理解していること。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
民事・行政訴訟特論	１・２年生	選択	２単位	吉野　正

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて民事訴訟、行政訴訟の裁判手続全般について基本的知識を学ぶ。
　民事訴訟、行政訴訟の裁判手続の基本を理解する。

授業の概要
　民事訴訟、行政訴訟の裁判手続を学ぶため、基本教科書を事前に読んでもらい、また適宜、教材を議論をしながら学ぶ。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　　訴訟の当事者と訴の類型
　第２回　　訴訟の客体（訴訟物）１
　第３回　　訴訟の客体（訴訟物）２
　第４回　　請求の客観的併合
　第５回　　多数当事者訴訟１
　第６回　　多数当事者訴訟２
　第７回　　処分権主義と弁論主義
　第８回　　訴訟審理の原則
　第９回　　証拠
　第１０回　判決の効力１
　第１１回　判決の効力２
　第１２回　行政不服審査
　第１３回　行政訴訟１
　第１４回　行政訴訟２
　第１５回　上訴

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
講義のテーマについて、事前に該当箇所を読んでおく、事後は講義ノートを復習する。

テキスト

適宜、資料を配布します。

参考書・参考文献・参考資料等
「民事訴訟法（法学ライブラリー）」小林　秀之著
「民事訴訟法」伊藤　眞著
「行政法」櫻井　敬子，橋本　博之著
「租税判例百選」
「民事訴訟判例百選」

成績評価の方法・基準
３分の２の出席日数を満たした者について、レポート（１００％）により評価。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
情　報　科　学　特　論	1・2年生	選択	2単位	荒平 高章

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、情報の収集、加工、蓄積、伝達という観点から情報科学システムを分析し、経営情報学の研究において必要となる基礎的な知識の習得を目的とする。

授業の概要

計算機の基本構成や動作原理、アルゴリズムとデータ表現、応用ソフトウェア、プログラミング言語、インターネットの仕組みおよび特徴、ウェブ検索、セキュリティ、プレゼンテーション資料の作成法などについて修得する。また、授業内容に関連するレポート作成やプレゼンテーションを実施する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　情報科学と計算機の基本構成、OS
第２回　ウェブサーフィン、情報検索
第３回　情報の表現とアルゴリズム
第４回　プログラミング言語、ファイルシステム
第５回　データベース
第６回　ウェブサーバ、HTML、PHP
第７回　インターネットの仕組み、特徴
第８回　情報セキュリティ（ファイアウォール、プロキシ）
第９回　情報セキュリティ（マルウェア、暗号技術）
第１０回　ウェブ検索
第１１回　LAN、WAN、プロトコル
第１２回　アプリケーションソフトの紹介Ⅰ（Word、Excel、Power Point、LaTeX、TeraPad）
第１３回　アプリケーションソフトの紹介Ⅱ（Word、Excel、Power Point、LaTeX、TeraPad）
第１４回　公開鍵暗号、デジタル署名
第１５回　プレゼンテーション、著作権、個人情報保護法

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

授業計画に従ってテキストの該当箇所を熟読しておくこと。
用語の整理や参考書等を利用して授業内容の理解を深めておくこと。
各回、少なくとも、１～２時間程度の事前・事後学習が必要である。

テキスト

書　名：コンピュータ概論（ソフトウェア・通信ネットワーク）
著　者：橋本洋志
発行所：オーム社

参考書・参考資料等

コンピュータネットワーク第５版、アンドリュー.Sタネンバウム、日経BP

成績評価の方法・基準

口頭試験：５０％、レポート：５０％

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
情 報 メ デ ィ ア 特 論	1・2年生	選択	2単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、現代の情報メディア、及びインターネット、ネットワークについて理解し、議論する。

授業の概要

情報メディア即ち、マルティメディアとは、複数の異なる媒介によって表現される、総合的な情報である。ディジタル技術などのコンピュータ技術の急速な発展によって、現在、マルティメディアの重要性は非常に高くなってきている。本講義ではまず、マルティメディアの種類及び、特徴を述べる。さらに、インターネット、及び現代のネットワークについて述べ、その将来性について議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　マルティメディア・システム
第２回　ハードウエア
第３回　ソフトウエア
第４回　メディアのディジタル化
第５回　音声メディア
第６回　画像メディア
第７回　映像メディア
第８回　インターネット
第９回　音声処理
第１０回　画像処理
第１１回　コンピュータ・グラフィックス
第１２回　コンテンツ・デザイン
第１３回　Ｅコマース
第１４回　セキュリティー
第１５回　知的財産権

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

情報リテラシーの技能を持っていることが望ましい。
毎回授業計画に示すテーマについて事前に調べ（2時間）、知見を得ておくこと。さらに授業後にその復習をすること（2時間）。

テキスト

書　名：マルティメディア入門
著　者：赤間世紀
発行所：工学社

参考書・参考資料等

香取淳子著『情報メディア論(メディアの系譜と開発原理)』北樹出版

成績評価の方法・基準

第15回授業終了後に指示する課題レポートにより評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
情報ネットワーク特論	1・2年生	選択	2単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

本特論では，学則第３条を踏まえて、情報サービスの基礎となる要素技術や適用事例について学ぶことを目的とする。中でもマッシュアップなどと称されるネットワークサービス統合化技術は極めて重要性が高く，本特論においても詳しく調査し，学ぶことを目指す。

授業の概要

本特論では受講生自らがインターネット環境における多種多様の情報サービスを自発的に調査し，議論を通じてその本質的な重要性を理解することを目指す。また，新しい情報サービスを発想できるよう思索を深めることを期待する。調査・学習の過程で生じた疑問点をさらに追究するなど，受講生の要望や状況などを反映させ臨機応変に対応する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　授業全体の概要説明
第２回　情報ネットワーク社会とは
第３回　情報ネットワーク社会における情報サービス
第４回　情報サービスの基盤技術（Internet・Web）
第５回　情報サービスの基盤技術（Ubiquitous）
第６回　情報サービスの基盤技術（Data Mining）
第７回　情報サービスの統合化技術（Multi Agent System）
第８回　情報サービスの統合化技術（Agent Communication Language）
第９回　情報サービスの統合化技術（Mashup）
第１０回　情報サービスの応用事例（Net Shopping）
第１１回　情報サービスの応用事例（SNS）
第１２回　情報サービスの応用事例（Mobile）
第１３回　図書館における情報サービス事例（図書館システム）
第１４回　図書館における情報サービス事例（次世代 OPAC）
第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）情報ネットワーク、情報サービスについて概略を記した参考書を読んで予備知識を得ておくことが望ましい。
（準備学習）
事前：前回の授業で指示したテキストの部分を読んで準備をしておくこと。疑問点があれば要点をまとめておく。（1～2 時間程度）
事後：講義内容の要点、議論した点および新たな疑問を数ページにまとめる。それを基に次の授業でフォローする。（2～3 時間程度）

テキスト

Web 教材（シスコネットワーキングアカデミー）
その他、必要に応じて資料を提示する。

参考書・参考文献・参考資料等

Web 文書など必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

レポート：５０％、試験：５０％

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
情報セキュリティ特論	1・2年生	選択	2単位	宮　﨑　　武

授業の到達目標及びテーマ

学則第 3 条を踏まえて、個人として知っておくべき情報セキュリティの基礎知識について事例を中心に学び、情報システムのセキュリティ確保に関する情報や技術の習得を目標とする。

授業の概要

IT インフラの整備およびインターネットの普及・発展により、個人情報や機密情報の漏えい、マルウェア感染など様々なセキュリティリスクに対して安全な情報セキュリティ対策を立てるのが重要な課題となっている。本授業では、事例を中心にセキュリティリスクの種類やその対策について修得した上で、セキュリティ技術について修得する。

授業計画

第　１回　オリエンテーション
第　２回　インターネットにおけるセキュリティの現状
第　３回　脆弱性と攻撃
第　４回　マルウェアの種類とその対策
第　５回　被害事例：フィッシング詐欺、ワンクリック請求
第　６回　スマートフォン、無線 LAN における脅威と対策
第　７回　組織におけるセキュリティ対策
第　８回　セキュリティ技術（アカウント、ID、パスワード、ファイアウォール、IDS）
第　９回　暗号技術（古典的な暗号と共通鍵暗号）
第１０回　暗号技術（公開鍵暗号）
第１１回　暗号技術（ディジタル署名）
第１２回　OS のアクセス制御とセキュリティ
第１３回　ユーザ認証技術とアクセスコントロール
第１４回　電子商取引
第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

テキストのみでなく，各自 Web や文献などを調査し必要に応じてプログラムを作成する。
（準備学習）
事前：授業内容に該当するテキストの部分を読んで準備をしておくこと。必要に応じてプログラムを作成する．また疑問点があれば要点をまとめておく。（1～2 時間程度）
事後：講義内容の要点、議論した点および新たな疑問を数ページにまとめる。また各章毎に課す章末課題を解いて提出する（2～3 時間程度）。

テキスト

独立行政法人　情報処理推進機構（IPA）「情報セキュリティ読本　六訂版」実教出版，2022

参考書・参考資料等

中村 行宏「図解即戦力 情報セキュリティの技術と対策がこれ 1 冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021
光成 滋生「図解即戦力 暗号と認証のしくみと理論がこれ 1 冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021
結城 浩「暗号技術入門　第 3 版　秘密の国のアリス」SB クリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

発表・課題：６０％，レポート：４０％

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営情報システム設計特論	1・2年生	選択	2単位	岸川　洋

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、経営情報システムにおけるシステム開発工程全般と特にその中でも設計工程における方法論・技法を理解し、利用できるようにする。さらに、プロジェクト管理の立場から設計工程で留意すべきことについて理解し、利用できるようにする。

授業の概要

構築するシステムの特性に応じた設計法を適用することは重要である。まず、単純なシステム設計例により各種方法論・技法を理解する。さらに、プロジェクト管理の立場から設計工程で発生する失敗について理解する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　ガイダンス、システム開発工程全般と設計工程
第２回　共通フレーム、各種設計技法
第３回　帰納的アプローチと演繹的アプローチ
第４回　プロセス中心アプローチ
第５回　データ中心アプローチ
第６回　オブジェクト指向アプローチ
第７回　ウォータフォールモデル
第８回　プロトタイプモデル
第９回　スパイラルモデル
第１０回　単純なシステムの設計例（マスタファイル、イベントファイル）
第１１回　単純なシステムの設計例（DFD）
第１２回　プロジェクト管理
第１３回　PMBOK、WBS、ガントチャート
第１４回　失敗例（設計者に起因、プロジェクトに起因、ステークホルダーに起因）
第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前学習：次回の授業内容について調べ、疑問点について整理する（授業計画の欄を参照）（1～2時間程度）
事後学習：毎回の課題であるキーワードについて、説明できるようにする（1～2時間程度）。

テキスト

布広 永示他,「システム設計論（改訂版）」,コロナ社,2017年9月

参考書・参考文献・参考資料等

木暮 仁,「利用部門のための情報システム設計論」,日科技連,2007年10月
PMI日本支部,「PMBOKガイド第6版」,プロジェクトマネジメント協会,2018年1月

成績評価の方法・基準

成績評価の方法：授業への取組み状況及び提出した課題、レポートにより総合的に評価する。

成績評価の基準：システム開発工程全般に関する知識があり、設計工程において各種設計法を活用できる。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
データベース特論	1・2年生	選択	2単位	宮　崎　　武

授業の到達目標及びテーマ

目標　：学則第3条を踏まえデータサイエンスに用いるためのデータベースの基礎知識を習得すること
テーマ：リレーショナルデータベースを用いたデータサイエンスでの利用を意識した分析と可視化

授業の概要

データサイエンスの分野では欠かすことができないデータの取り扱いについて，データベースを構築して利用するための基礎的な知識を習得する。すなわち、データベースの目的や概念を理解し、データサイエンスで用いるデータからデータベースを構成し，分析，可視化を行う手法を学ぶ。

授業計画

第　１回　オリエンテーション
第　２回　データサイエンスのためのデータベース
第　３回　データベースの歴史
第　４回　関係データベースの基本（１）　データの関係モデル（１）
第　５回　関係データベースの基本（２）　データの関係モデル（２）
第　６回　関係データベースの基本（３）　データの関係モデル（３）
第　７回　関係データベースの基本（４）　整合性制約
第　８回　関係データベースの基本（５）　関係代数
第　９回　SQLと正規化（１）　ＳＱＬ
第１０回　SQLと正規化（２）　正規化
第１１回　データの可視化と分析（１）　データベースの可視化
第１２回　データの可視化と分析（２）　ＯＬＡＰ
第１３回　ＮｏＳＱＬ
第１４回　実践的データ分析事例（１）　Wikipediaダンプデータ分析
第１５回　実践的データ分析事例（２）　それぞれの研究データの分析・可視化

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）各回担当を決め、担当の内容を解説してもらいます。
（準備学習）
事前：担当者：講義用パワーポイント資料を作成する（3～4時間程度）、担当者以外：予習（1時間）。
事後：講義担当者以外：レポートを課しますので、翌週の授業時に提出してください（1～2時間程度）。

テキスト

吉岡真治，村井 哲也 著，水田 正弘 編「データサイエンスのためのデータベース（データサイエンス入門シリーズ）」講談社、2020年

参考書・参考文献・参考資料等

永田武 著「データベースの基礎（改訂版）- MariaDB / MySQL対応 -」コロナ社、2021年

成績評価の方法・基準

１．講義の準備と講義中の質疑の状況（60%）　　２．課題の提出状況（40%）

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
データ解析特論	1・2年生	選択	2単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

データ解析は、社会調査や企業や人間の様々な活動によって生じたデータから有用な知見やルールを見つけだし、予測や判断に利用しようとするものです。本講義では、学則第３条を踏まえて、代表的なデータ解析手法の修得、問題解決に必要なモデル化、有用かつ多様なデータ取得などを通して、データ活用の素養を身につけることを目標とします。「実践的なデータ解析」がテーマです。

授業の概要

基本統計量や視覚化によるデータの現状や関連性の把握、問題解決のための統計的手法を用いたデータの統合や縮約、構造分析を中心に行います。さらに、１次データ（アンケートデータ）や２次データ（公開データ）の取得や活用などを通した演習も行います。演習にはフリー統計ソフトであるRを利用します。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　データ解析とは
第２回　データの現状把握と基本統計量
第３回　データの視覚化
第４回　データの関連性と予測　（相関と回帰分析）
第５回　データの種類と分析手法　（多変量解析）
第６回　データの統合１　（主成分分析）
第７回　データの統合２　（主成分分析によるデータ解析）
第８回　データの縮約１　（因子分析）
第９回　データの縮約２　（因子分析によるデータ解析）
第１０回　データの構造分析　（共分散構造分析）
第１１回　データマイニングとテキストマイニング
第１２回　データの取得１　（独自データの取得と精査）
第１３回　データの取得２　（公開データの入手と利用方法）
第１４回　データの分析と解釈１
第１５回　データの分析と解釈２

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）入門程度の統計知識があると望ましい。
（準備学習）
事前：授業計画に沿ってテキストを通読し、必要ならば参考書で補完しておくこと。また、疑問点などを整理して、講義中に確認すること（1～2時間程度）。
事後：テキストの例題を参考にデータ解析の手法とRの利用法を修得すること。また、実際にポータルサイトなどからデータを取得し、Rを用いてデータ分析を行ってみること（2～3時間程度）。

テキスト

書　名：Rによるデータサイエンス　第2版
著　者：金　明哲
発行所：森北出版

参考書・参考文献・参考資料等

・中川　慶一郎他「データサイエンティストの基礎知識　挑戦するITエンジニアのために」リックテレコム
・本多正久・島田一明『経営のための多変量解析法』産能大学出版部
・青木繁伸『Rによる統計解析』オーム社
・佐藤博樹 他『社会調査の公開データ　２次分析への招待』東京大学出版会

成績評価の方法・基準

試験50%とレポート50%の結果による総合評価で、60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
離散アルゴリズム（数値解析）特論	1・2年生	選択	2単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、離散アルゴリズムの基礎内容を習得し、アルゴリズムの設計及び解析能力を身に着けるのを目標とする。

授業の概要

計算機科学や情報工学分野で多く現れている離散システムの構造や特徴及びその数学的背景について講義を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　順列・組合せ１
第２回　順列・組合せ２
第３回　母関数
第４回　包含と排除の原理
第５回　スターリング数
第６回　ポリアの数え上げ理論１
第７回　ポリアの数え上げ理論２
第８回　ポリアの数え上げ理論３
第９回　ラムゼイの定理
第１０回　マッチング（安定結婚）
第１１回　最大マッチング
第１２回　ネットワーク・フロー
第１３回　ハミルトン路
第１４回　オイラー路
第１５回　平面性と４色定理

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）線形対数、行列理論に関係する内容を理解していることが望ましい
（準備学習）
事前：授業内容に沿ってテキストを通読し、疑問点などを整理して、講義中に質問すること（2時間程度）。
事後：CまたはC＋＋で各アルゴリズムを実装すること（2時間程度）。

テキスト

G.ポリア、組合せ論入門、近代科学社、1986年

参考書・参考文献・参考資料等

大谷紀子、アルゴリズム入門、コロナ社、2013年

成績評価の方法・基準

試験（70%）とレポート（30%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
人工知能特論	1・2年生	選択	2単位	中島　直樹

授業の到達目標及びテーマ

現在、人工知能技術は私たちの生活のあらゆる領域で使用されている。学則第３条を踏まえ、本授業ではLLM(Large Language Model: 大規模言語モデル)を中心に取り上げる。さらに、アルゴリズムや数式について学び、オンプレミス環境でも最新のLLMの実行できるようになることを目指す。

授業の概要

本授業では、近年注目を浴びているAIやLLMについて講義および討論を行う。それ以外は、プリントを配布し関連する論文レビューと発表会も行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　人工知能の歴史、研究分野
第２回　パーセプトロン
第３回　論理回路問題
第４回　活性化関数
第５回　AIの基礎整理：探索・推論・学習（古典AI→統計的AI→深層学習）
第６回　Transformer入門：Attentionが何を解決したか
第７回　事前学習と言語モデル：次トークン予測から何が生まれるか
第８回　指示追従モデルの作り方：Instruction tuning / Preference学習（RLHFなど）
第９回　LLMの評価：自動評価と人手評価、ベンチマークの落とし穴
第１０回　RAG（検索拡張生成）：幻覚対策と知識注入
第１１回　微調整の実務：Fine-tuning / LoRA、データ設計
第１２回　マルチモーダルAI：画像・音声・動画と言語の統合
第１３回　安全性・倫理・法務：生成AIのリスクとガバナンス
第１４回　運用とシステム：推論最適化、コスト、オンプレ／オンデバイス
第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）数学（微分）とPythonの知識があることが望ましい
（準備学習）
事前：授業計画に従ってテキストを読み、必要であれば参考書等で知識を整理すること（2 時間程度)。
事後：テキストのプログラムを実行するだけでなく、パラメータなどを変更し知識を深めること（2時間程度)。

テキスト

山田育矢，大規模言語モデル入門，技術評論社，2023年

参考書・参考文献・参考資料等

斎藤 康毅，ゼロから作るDeep Learning ❺ ―生成モデル編，オライリー・ジャパン，2024年

成績評価の方法・基準

発表と講義中の質疑の状況：６０％，レポート：４０％

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ特論	1・2	選択	2単位	ディンダ　プラマンタ

授業の到達目標及びテーマ

現在,人工知能技術は私たちの生活のあらゆる領域で使用されている。学則第３条を踏まえ,本授業では深層学習の畳み込みニューラルネットワークと深層強化学習を中心に取り上げる。さらに,アルゴリズム表現や数式を用いて具体的な処理過程を説明し,Python を利用した AI プログラミングの応用例に触れ,これらの技術が実生活にどのように密着しているかを垣間見ることを目指す。

授業の概要

本授業では,深層学習の畳み込みニューラルネットワーク（CNN）や深層強化学習について講義および討論を行う。それ以外は,プリントを配布し関連する論文レビューと発表会も行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し,それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していこ。

授業計画

第１回　人工知能の歴史,研究分野
第２回　機械学習振り返り
第３回　パーセプトロと活性化関数
第４回　マシンビジョン
第５回　畳み込みニューラルネットワーク：単純なネットワークモデル
第６回　畳み込みニューラルネットワーク：畳み込み層
第７回　畳み込みニューラルネットワーク：プーリング層
第８回　畳み込みニューラルネットワーク：Alex と VGG ネットワークモデル
第９回　Keras プログラミング:数字の画像(MNIST)
第10回　Keras プログラミング: 畳み込みニューラルネットワーク
第11回　論文レビュー
第12回　深層強化学習
第13回　実験：OpenAI Gym の Cart-Pole
第14回　第11回～第13回の復習：テスト
第15回　発表会

履修上の留意点,準備学習等（事前・事後学習）

事前学習に関しては,各授業回の見出しはテキストの各章に対応しているので,テキストの該当箇所を通読しておくこと（各回ごとに2.0h)。
事後学習に関しては,授業で学んだことを整理し,各自の研究生活へ役立てていくこと.
第11回～第14回の学んだ内容を基づき,スライドの作成は完成させること（各回ごとに2.0h)。

テキスト

J. Krohn（著），鈴木 賢治（監修），清水 美樹（翻訳）「Python,TensorFlow で実践する深層学習入門: しくみの理解と応用」東京化学同人,2022年

参考書・参考文献・参考資料等

小林一郎著「人工知能の基礎」サイエンス社,2008年
小高 知宏「基礎から学ぶ人工知能の教科書」オーム社,2019年

成績評価の方法・基準

テスト（40%）,提出物（30%）,発表（30%）により評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

・演習Ⅰでは、自身の研究テーマに関する先行研究の概要を説明でき、かつ修士論文の先行研究パートの完成を到達目標とする。
・演習Ⅱでは、自らの研究の方法（データ収集・分析方法）について説明でき、かつ修士論文の研究方法パートの完成を到達目標とする。

授業の概要

・演習Ⅰでは、研究計画を明確化したうえで、修士論文に関連した文献のレビューを行い，その内容にもとづく討議を行う。
・演習Ⅱでは、自身の研究テーマに合ったデータ収集・分析方法について討議を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

・演習Ⅰでは、研究の進め方、修士論文の構成の検討、問題意識に関する議論、先行研究レビューの報告と議論を行う。
・演習Ⅱでは、分析方法に関する報告と議論、データ収集方法に関する報告と議論を行う。

事前・事後学習

・事前学習では、研究計画に従って事前に論文等を読み、報告できるように準備する（90分/回程度)。
・事後学習では、授業の中で指摘を受けた内容をもとに研究内容を進める（90分/回程度)。

テキスト・参考書等

・授業中に適宜示す。

成績評価の方法・基準

・各回の報告内容（30%)、論文レビュー・研究レポート（20%)、研究進捗状況（50%）により評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	遠藤 真紀

授業の到達目標及びテーマ

現代企業に関わる経営学理論を具体的な事例について分析・評価し、自身が認識した問題を設定すると共に、その問題について論理的に検討していく。論文作成に必要な知識の修得と論理展開が行えること。

授業の概要

コロナ禍後の物価上昇等への対応など企業の経営環境は激変しており，市場環境の認識と経営戦略の重要性が増している。演習Ⅰ・Ⅱでは，様々な企業の具体的な事例（社会人においては自社の経営戦略等）について考察し，基本的な戦略理論について概観・理解するとともに，修士論文のテーマ設定に必要な研究を行う。机上での学習・研究だけでなく，必要に応じてフィールドワーク等を行う事がある。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

イントロダクション
経営学関連科目の概観
事例研究（製造業）
事例研究（流通業）
事例研究（サービス業）
関心領域の発表・討議
関心領域の動向調査
関心領域のまとめ
研究課題/フレームワークのまとめ

事前・事後学習

テキスト・文献資料等を事前に確認し，発表等の準備を行う事。また講義でのディスカッションや検討事項等の再確認を行う事。

テキスト・参考書等

テキスト：岸川善光『経営戦略要論』同文舘，岸川善光『経営診断要論』同文館
参考図書：井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社，岸川善光ほか『ケースブック経営管理要論』同文舘

成績評価の方法・基準

出席態度を含む授業での貢献（30%）および研究報告・レポート（70%）を総合的に評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２年次	各４単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

　演習Ⅰは、各自の問題意識を理論化して研究課題として設定することを、演習Ⅱは、論文の骨組みに従って書かれてきた草稿を添削し、修士論文として完成させることを到達目標とする。

授業の概要

　演習Ⅰでは、前半は、企業を取り巻く国際経済環境と対応する企業の国際経営戦略を理論的・実証的に検証する。後半は、各自の問題意識の掘り下げと研究課題の設定に充てる。

　演習Ⅱでは、演習Ⅰ・特別演習Ⅰで設定・明確化した各自の個別研究課題を深く掘り下げて論文のスケルトンを作成し、先行研究を検証した上で、修士論文の完成を目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ

　毎回の討論を通じて受講生の問題意識の明確化を図って研究課題として設定、修士論文のテーマの設定とそのスケルトンを描けるように指導する。

　毎回の授業：研究報告と討論

演習Ⅱ

　論文の書き方を指導し、毎回書かれてきた論文の草稿の添削を行って修士論文を完成に導く。

　毎回の授業：研究報告と討論、必要に応じ修士論文草稿の検討

事前・事後学習

　指示された研究課題に取組む。

テキスト・参考書等

　研究課題毎に指示する。

成績評価の方法・基準

　成績は、口述試験（50%）及び研究課題報告（50%）によって評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	片山 准一

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ・Ⅱでは、各自の研究課題に取り組んでもらい、各自の研究計画に基づいて適宜、報告・発表を行いながら修士論文の完成を目指す。

授業の概要

現代の企業経営は周りの環境も含めて高度化・専門化・複雑化してきている。こうした状況を踏まえて、具体的な事例を挙げながら研究指導に当たりたい。各自の研究テーマに沿った形で研究指導していきたい。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰでは基礎理論＝唯物弁証法的論理の習得。

演習Ⅱでは修士論文作成に向けた指導を行う。

事前・事後学習

最低でも２時間以上の予習・復習が必要。

テキスト・参考書等

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

研究レポート＆発表（50%）、試験（50%）により評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	鵜崎　清貴

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、本演習では，資産流動化法に基づく特定目的会社（TMK）が，二重課税を回避し実質的なパススルー（ペイスルー）課税を実現するための「導管性要件」を中心に，現行税制の論点と実務上の課題を法的・計量的側面から検討する。

授業の概要

TMK は「資産の流動化に関する法律」に基づき，投資家への収益還元を最大化するためのものとして設計されている。しかし，法人税法上の二重課税を回避するためには，租税特別措置法に規定される厳格なルールを充足し続けなければならない。本研究では，この要件が損なわれるリスクの本質を解明し，会計上の利益と税務上の所得の乖離がスキームに与える影響について，判例および最新の改正動向を踏まえた検討を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

1.　租税政策論の導入
2.　租税原則論の発展と現状
3.　租税効果の分析
4.　所得課税の理論
5.　所得課税の実際
6.　消費課税の理論
7.　消費課税の実際
8.　資産課税の理論
9.　資産課税の実際
10.　租税制度の国際比較
11.　租税制度の国際調整
12.　租税改革の方向性
13.　租税改革の課題
14.　租税政策の評価と提言
15.　租税政策論のまとめ

事前・事後学習

憲法、行政法、民法、刑法、民事訴訟法等の知識が必要である。
各回 3 時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト・参考書等

経済財政諮問会議（2020）『租税制度改革の方向性に関する提言』
財務省（2020）『租税制度の国際比較 2020』
金子宏『租税法〔第 24 版〕』（弘文堂）
松本和彦編（2019）『租税政策論』有斐閣
小林節（2018）『租税政策の経済学』日本経済新聞出版社
岡田光弘（2017）『租税政策の理論と実際』中央経済社
石川寛(2019)『租税の経済分析』ミネルヴァ書房

成績評価の方法・基準

講義中の発言(50%)と発表レポート(50%)による総合評価。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ・Ⅱでは、実際に自分の研究課題（修士論文）について取り組んでもらい、自己の研究課題と研究計画のアップデートを計画的に行っていく。自己の論文だけでなく、他者の論文内容にコメントすることで自己の論文の質的向上を図ることを目的とする。

授業の概要

毎回、各人の研究課題（修士論文）について、報告してもらい、その報告内容について、参加者全員で議論する。その際、資料収集の方法等の指導も行う。研究とは、基本的には一人で行うものであるが、議論により発展するものでもある。院生同士、あるいは教員との自由闊達な議論を行うことで、院生自身の知識の定着と、知識の論理への発展を期待する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（1）　1年次の前期は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など。
（2）　1年次の後期は、論文のテーマ設定を行う。論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成など。
（3）　2年次の前期は、4月から8月までの期間（5ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。この期間に特に重要なことは、院生同士および指導教員と頻繁に議論して、最上のものを目指すことである。
（4）　2年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』(TKC 出版)」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

研究報告（50 点）およびレポート（各学期 2 回程度）（50 点）により評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	福浦　幾巳

授業の到達目標及びテーマ

　演習Ⅰ・Ⅱでは、実際に自分の研究課題（修士論文）について取り組んでもらい、自己の研究課題と研究計画のアップデートを計画的に行っていく。自己の論文だけでなく、他者の論文内容にコメントすることで自己の論文の質的向上を図ることを目的とする。

授業の概要

　毎回、各人の研究課題（修士論文）について、報告してもらい、その報告内容について、参加者全員で議論する。その際、資料収集の方法等の指導も行う。研究とは、基本的には一人で行うものであるが、議論により発展するものでもある。院生同士、あるいは教員との自由闊達な議論を行うことで、院生自身の知識の定着と、知識の論理への発展を期待する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（1）　1年次の前期は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など。
（2）　1年次の後期は、論文のテーマ設定を行う。論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成など。
（3）　2年次の前期は、4月から8月までの期間（5ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。この期間に特に重要なことは、院生同士および指導教員と頻繁に議論して、最上のもとを目指すことである。
（4）　2年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。

事前・事後学習

　事前に指示された文献・資料により、各自においては、各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習を必要とする。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

　その都度、指定する。

成績評価の方法・基準

　研究報告（50点）およびレポート（各学期2回程度）（50点）により評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	平山　誠一郎

授業の到達目標及びテーマ

　演習Ⅰ・Ⅱでは、実際に自分の研究課題（修士論文）について取り組んでもらい、自己の研究課題と研究計画のアップデートを計画的に行っていく。自己の論文だけでなく、他者の論文内容にコメントすることで自己の論文の質的向上を図ることを目的とする。

授業の概要

　毎回、各人の研究課題（修士論文）について、報告してもらい、その報告内容について、参加者全員で議論する。その際、資料収集の方法等の指導も行う。研究とは、基本的には一人で行うものであるが、議論により発展するものでもある。院生同士、あるいは教員との自由闊達な議論を行うことで、院生自身の知識の定着と、知識の論理への発展を期待する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（1）　1年次の前期は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など。
（2）　1年次の後期は、論文のテーマ設定を行う。論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成など。
（3）　2年次の前期は、4月から8月までの期間（5ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。この期間に特に重要なことは、院生同士および指導教員と頻繁に議論して、最上のものを目指すことである。
（4）　2年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。

事前・事後学習

　伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』(TKC 出版)」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

　その都度、指定する。

成績評価の方法・基準

　研究報告（50%）およびレポート（各期2回程度）（50%）により評価する。

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	山内　　進

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ・Ⅱでは、各自の研究課題(修士論文)の作成に取り組んでもらう。各自の研究課題と研究計画に沿って研究を進めていく。他者の論文を読んだり、他者に意見を言うことで、自らの研究論文の質の向上を図ることを目的とする。

授業の概要

授業では、各人に研究課題(修士論文)について発表してもらう。その発表に即して、院生同士が議論を行う。院生同士の意見交換により、発表者には気が付かない新たな発想が生まれことがある。さらに指導教員の指導により論文の質の向上を図る。まずは、資料収集により知識を増やし、先行研究をまとめる。次は自分なりの視点から論文の作成ができることを期待する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

(1) 1 年次前期は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料収集の仕方と読み方について学ぶ
(2) 1 年次後期は、論文のテーマを設定する。論文のテーマ、問題意識、論証絵の過程を表した目次の作成、序章と終章の作成を各自にしてもらう。
(3) 2 年次前期は、4 月から 8 月までの期間で論文の一応の完成を目指す。この期間は、院生同士支えあい、情報交換するなど頻繁に意見交換をし、質の高い論文作成を目指す。
(4) 2 年次後期は、論文の最終仕上げとなる。修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。できた論文の院生同士でのチェック、プレゼン練習等も大切である。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方』で条文の理解の仕方を学習する。また細川健『租税法修士論文の書き方』白桃書房で論文の作成について学ぶ。事前事後合計 4 時間が必要。

テキスト・参考書等

各自の論文テーマに即した文献等があれば、紹介する。

成績評価の方法・基準

研究発表(50%)、レポート(50%)で評価する。

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	山下壽文

授業の到達目標及びテーマ

修士論文の作成方法、関連文献の収集と内容の検証についての指導

授業の概要

修士論文のテーマの選定，論文の意義・目的および論文構成について指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

1 年生では，論文のテーマを設定し，その意義・目的および関連文献の収集について指導を行う。毎回、受講者の報告をもとに内容の吟味および議論を行う。

2 年生では、論文の構成について指導を行う。論文の内容について受講者の報告をもとに、吟味および議論を行う。

事前・事後学習

演習時に指示する。

テキスト・参考書等

桜井久勝『財務会計講義』中央経済社

成績評価の方法・基準

報告内容（100 点）

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

大学院における情報技術を学ぶ。

テーマはソフトコンピューティングを中心とする。

授業の概要

近年、情報技術が様々な分野で普及している中、その基礎理論をアナログとディジタルを比較する事により学ぶ。その際、ディジタル信号処理の基本的な概念を中心に、具体例を挙げて説明し、さらに情報機器を使用して実践的にシミュレーションを行う。また、研究を進めるにあたっての必要な文献調査の方法や論文の読み方を指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

近年の情報技術の進歩は早く、様々な分野で普及し活用されている。
本演習ではその基礎理論であるアナログとディジタルの長所・短所等を比較して学び、ディジタル信号処理の基本的な概念を具体的に説明する。さらに情報技術を体感するために情報機器やアプリケーションソフトウェアを用いて実践的なシミュレーションを行う。

また、研究を進めるにあたって必要な文献調査や論文の読み方を解説し指導する。

事前・事後学習

事前に指定された論文を読んでおくこと。

事後においては、演習において課題と考える部分をとりまとめ、その解決をはかる。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

演習の理解度を個別に見た上で、テストやレポートの課題を考え、指定期日まで提出されたものを評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：「自然科学の諸問題に対して情報学・工学的アプローチで解決する」
到達目標：①　自身の研究分野に関連する文献を収集・分析し，現状・課題等について整理できる。
②　①の整理した結果を受け，課題解決のための実験方法等を立案・実施することができる。
③　修士論文および学術誌に投稿可能な文章表現・データ分析ができる。

授業の概要

工学的手法や情報学的手法は，様々な分野で使用され，新たな技術が次々と創出している。そこで，これらの手法を用いて生体医工学・生体情報学に関連する諸問題にアプローチする研究を実施する。具体的には，組織工学に基づく材料設計，in vitro 実験，生体工学に基づく数値解析などである。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰは修士課程1年次，演習Ⅱは修士課程2年次に開講される．これらの科目を通し，到達目標を達成するために下記について実施する。

[1] 自身の研究分野に関連する文献（演習Ⅰ：和文誌，演習Ⅱ：英文誌）を収集し，自身の担当回で当該文献に関する発表を履修生に対して行う．担当回以外では，担当院生の発表に対して，質疑を行う。
[2] 自身の研究内容について，その独創性や重要性について明確化する。
[3] 適切な実験計画を立て，それを適切かつ計画通りに実施する。
[4] 自身の研究に対して進捗報告を行う．他の院生は報告内容に対して質疑を行う。
[5] 得られた実験データを可視化し，院生全員で結果について議論し，その妥当性や課題等を明確にする。
[6] 演習Ⅰでは，自身のテーマに関連する学会等で発表するための原稿・発表資料の作成を行い，演習Ⅱでは，修士論文の執筆，推敲，および発表会の資料作成を実施する。

事前・事後学習

事前学習：報告資料の作成・発表準備，文献調査，実験の実施等を実施する（2時間以上）。
事後学習：教員・院生の指摘事項に関して整理し，必要に応じて研究内容の推敲を実施する（2時間以上）。

テキスト・参考書等

自身の研究テーマに関する文献を調査・収集し，それらを使用する。
専門書については，研究内容を踏まえて必要に応じて教員が提示する。

成績評価の方法・基準

演習Ⅰでは，報告内容（40%）、文献紹介（40%）と学会発表の実績等（20%）で評価する。
演習Ⅱでは，演習Ⅰと同様の内容（30%）と修士論文および修士論文発表（70%）で評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

　演習Ⅰは、研究の目的や研究方法の検討を重ね、専門性の高い研究テーマを設定することを、演習Ⅱは、研究成果の発表及び修士論文の作成をとおして、研究者としての能力を身につけることを到達目標とする。

授業の概要

　演習Ⅰでは、前半は、最新の研究の動向を把握する。後半は、研究目的や研究方法を明らかにし、研究テーマの設定に充てる。

　演習Ⅱでは、演習Ⅰ・特別演習Ⅰで設定・明確化した各自の研究課題を実践的に取り組み、得られた研究成果を関連学会に発表、フィードバックの過程を経て、修士論文を作成する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ

　毎回の発表・討論を通じて受講生の問題意識の明確化を図って研究課題として設定、修士論文のテーマの設定とその研究方法を描けるように指導する。

　毎回の授業：文献調査、関連研究の発表と討論

演習Ⅱ

　毎回の研究の進捗報告をとおして、研究方法の明確化をはかるとともに、得られた研究成果を学内外で発表する。修士論文を完成に導く。

　毎回の授業：研究報告と討論

事前・事後学習

　　指示された研究課題に取り組む。

テキスト・参考書等

　　研究課題ごとに指示する。

成績評価の方法・基準

　　口述試験（３０％）及び研究課題報告（７０％）によって評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	宮﨑　武

授業の到達目標及びテーマ

　情報セキュリティに関連する暗号や、デジタル署名、認証などの技術について、古典的な手法から現在使用されているものまで幅広く取り上げ基本的な知識を得る。また、具体的な動作アルゴリズムを理解する。

授業の概要

　情報セキュリティに関連する技術は多岐にわたるが、その歴史は紀元前にまで遡る。多くは軍事・諜報・機密保持のために利用されてきた暗号などの技術は、現代ではネットワーク通信における安全性を担保するための必要不可欠な基礎要素となっている。演習Ⅰでは、暗号やデジタル署名といった情報セキュリティの主要な技術について学習する。また演習Ⅱでは、演習Ⅰで学んだ技術を応用した諸技術について理解を深める。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習では、情報セキュリティ技術に焦点を当て、理論的な解析とこれを実際に計算機上で実行するためのプログラミング手法を学習する。これらを通して各自の研究テーマで必要な知識とプログラミングのノウハウを会得する。

演習Ⅰ：

　古典的暗号・共通鍵暗号・公開鍵暗号・楕円曲線暗号とデジタル署名について基礎から理解に必要な数学的な知識とプログラミングによる実装を行う。また安全性の検討と実際に暗号解読など攻撃手法を試行する。

演習Ⅱ：

　演習Ⅰで取り上げた各種技術を応用した、本人認証と識別、安全な Web 接続技術などを学習する。また、修士論文として取り扱うテーマについて深掘りし、耐量子計算機暗号や擬似乱数生成器など修論完成に必要な諸技術について学習する。

事前・事後学習

事前：　演習内容の文献や Web での検索を行って情報を収集・整理すること（1～2 時間程度）。
事後：　演習内容をまとめ、課題に対する資料やプログラムの作成などを行うこと（1～2 時間程度）。

テキスト・参考書等

　中村 行宏「図解即戦力 情報セキュリティの技術と対策がこれ 1 冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021
　結城 浩「暗号技術入門　第 3 版　秘密の国のアリス」SB クリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

　演習Ⅰ：　情報セキュリティ技術の発表＆ディスカッション：６０%，プログラミング課題：４０％
　演習Ⅱ：　演習Ⅰの内容（40%）に加え、修士論文の取りまとめと発表（60%）

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	ディンダ　プラマンタ

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：深層学習（DL）におけるソフトウェア（SW）のシミュレーション間のギャップを埋める。現在,生成系 AI の様々な日常活動への統合が進むにつれ,その必要性が浮き彫りになっている。機械学習(ML)のサブセットであり,生成系 AI の重要な構成要素である DL は,膨大な量のデータからの学習に依存している。DL の依存性は,リアルタイムのアプリケーションに課題をもたらす.本演習は,SW シミュレーションをどのように活用できるかを理解することを目的とする。

授業の概要

本演習では,AI の応用の中で高速処理と高度な精度を目指し,人間情報学や情報工学に関連するさまざまな問題にアプローチする研究を行う。具体的には,DL モデルの設計やシミュレーションを行う。演習Ⅰを修了した後,自身の研究内容を国内および国際的に明確に位置づけ,研究を継続して行う。提案手法の有効性は処理時間,精度,および消費電力を検証し,その結果をもとに考察を進める。得られた結果をもとに,国内および国際の学会で積極的に発表させ,論文を投稿させる予定。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

- ☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し,それに関連した専門知識を備えていること。
- ☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
- ☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
- ☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

前期（1回～15回）
第1回　オリエンテーション
第2回　深層学習の基礎
第3回　ハードウェアの基礎
第4回　ソフトウェアの基礎
第5回　SW ツール
第6回　シミュレーションツールの紹介
第7回　シミュレーションの実践Ⅰ(簡単な DL モデルのシミュレーション)
第8回　シミュレーションの実践Ⅱ(モデルの最適化)
第9回　リアルタイムアプリケーションの課題
第10回　研究テーマの設定
第11回　フィードバックの適用
第12回　実験とデータ分析Ⅰ(実験の実施・データ収集と分析)
第13回　実験とデータ分析Ⅱ(続きの実験と分析・進捗の確認)
第14回　中間発表準備
第15回　中間発表

後期（16回～30回）
第16回　実験とデータ分析Ⅲ(最終実験の実施・データの整理と解析)
第17回　結果の考察
第18回　研究のまとめ
第19回　論文執筆Ⅰ(論文のドラフト作成・執筆のポイント)
第20回　論文執筆Ⅱ(論文の推敲・同僚レビュー)
第21回　学会発表準備
第22回　学会発表
第23回　国際学会準備
第24回　国際学会発表
第25回　研究の深化Ⅰ
第26回　レビューとフィードバック
第27回　研究の深化Ⅱ(改良)
第28回　最終発表準備Ⅰ(最終発表の資料作成・発表内容の確認)
第29回　最終発表準備Ⅱ(発表リハーサル・質疑応答の準備)
第30回　最終発表

事前・事後学習

- 学んだ内容を復習し,関連する課題を実施する。
- 必要に応じて追加の文献を調査し,授業内容を補完する。
- 実習やシミュレーションを再度行い,理解を深める。
- 中間および最終発表に向けた準備を進める。

テキスト・参考書等

J. Krohn（著）, 鈴木 賢治（監修）, 清水 美樹（翻訳）「Python,TensorFlow で実践する深層学習入門: しくみの理解と応用」東京化学同人,2022 年

成績評価の方法・基準

シミュレーションや実験（50%),中間発表（15%),最終発表（20%),論文執筆（15%）

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

・特別演習Ⅰでは、自らの研究の結果について説明でき、かつ修士論文（第1次ドラフト）の完成を到達目標とする。
・特別演習Ⅱでは、自らの研究全体のプレゼンテーションを行うことができ、かつ修士論文の完成を到達目標とする。

授業の概要

・特別演習Ⅰでは、修士論文（第1次ドラフト）の完成を目指した研究指導を行う。
・特別演習Ⅱでは、修士論文の完成を目指した研究指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

- ☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
- ☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
- ☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
- ☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

・特別演習Ⅰでは、調査と分析の報告と議論、分析結果の考察に関する報告と議論、修士論文（第1次ドラフト）の執筆に関する議論を行う。
・特別演習Ⅱでは、修士論文（第2次ドラフト）の執筆と改善、修士論文（最終版）の執筆と校正、研究プレゼンテーションと質疑応答に関する議論を行う。

事前・事後学習

・事前学習では、研究計画に従って事前に論文等を読み、報告できるように準備する（90分/回程度)。
・事後学習では、授業の中で指摘を受けた内容をもとに研究内容を進める（90分/回程度)。

テキスト・参考書等

・授業中に適宜示す。

成績評価の方法・基準

・各回の報告内容（30%)、論文レビュー・研究レポート（20%)、研究進捗状況（50%）により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	遠藤　真紀

授業の到達目標及びテーマ

　現代企業の経営に関する問題意識を明確にし、必要な資料を分析・評価しつつ、問題意識に対する論理的な結論を導き出す。論理的思考を身につけ、社会人として自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになること。また自身の考えを論文としてまとめあげる。

授業の概要

　特別演習Ⅰ・Ⅱでは，自身の研究テーマに必要な文献・資料の収集・考察等を通して，問題意識（仮説・視座等）の設定・明確化と修士論文の骨子について検討する。論理的思考を繰り返し、結論を導き、最終的に論文としてまとめあげる。机上での学習・研究だけでなく，必要に応じてフィールドワーク等を行う事がある。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

イントロダクション
関心領域のまとめ
関心領域の先行研究レビュー
関心領域の先行研究のまとめ
研究課題/フレームワークの検討
研究課題/フレームワークの発表
研究課題に関する調査・情報収集
研究課題に関する総合分析
研究課題に関するまとめの検討
研究内容の発表・討議
研究内容のまとめ

事前・事後学習

　テキスト・文献資料等を事前に確認し，発表等の準備を行う事。また講義でのディスカッションや検討事項等の再確認を行う事。

テキスト・参考書等

　テキスト：岸川善光『経営戦略要論』同文舘，岸川善光『経営診断要論』同文館
　参考図書：井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社，岸川善光ほか『ケースブック経営管理要論』同文舘

成績評価の方法・基準

　出席態度を含む授業での貢献（30%）および研究報告・レポート（70%）を総合的に評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２年次	各４単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

　各自の問題意識を掘り下げて理論化・文章化し、修士論文として完成させることを到達目標とする。

授業の概要

　特別演習Ⅰでは、問題意識を掘り下げて各自の研究課題の設定・明確化を図り、修士論文のスケルトンの作成を目指す。
　特別演習Ⅱでは、先行研究を検証するとともに各章の内容を検討して修士論文の完成を目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰ
　演習Ⅰと同様に、問題意識を掘り下げて各自の研究課題が設定できるようにアドバイスし、それを基に修士論文のテーマとスケルトンが描けるように指導する。
毎回の授業：研究報告と討論
特別演習Ⅱ
　演習Ⅰ・特別演習Ⅰで設定したテーマとスケルトンにしたがって研究指導を行い、各章毎に書かれた草稿の添削を行って修士論文の完成を目指す。
毎回の授業：研究報告と討論、必要に応じて修士論文草稿の検討

事前・事後学習

　指示された研究課題と草稿の執筆に取組む。

テキスト・参考書等

　演習Ⅰ・演習Ⅱと同じく、授業中に指示する。

成績評価の方法・基準

　成績は、口述試験（50%）及び課題報告（50%）により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	片山准一

授業の到達目標及びテーマ

特別演習Ⅰ・Ⅱでは、演習Ⅰ・Ⅱの補強として、修士論文作成に特化したきめ細かい指導を目指す。

授業の概要

修士論文作成にあたっての詳細な研究指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰでは演習Ⅰの基礎理論＝唯物弁証法の徹底した習得に努める。
特別演習Ⅱでは修士論文の作成及び発表・質疑応答を想定した指導を行う。

事前・事後学習

最低、2時間以上の予習・復習を必要とする。

テキスト・参考書等

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

研究報告＆レポート（５０％）試験（５０％）により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	鵜崎　清貴

授業の到達目標及びテーマ

本研究では，資産流動化法に基づく特定目的会社（TMK）が，二重課税を回避し実質的なパススルー（ペイスルー）課税を実現するための「導管性要件」を中心に，現行税制の論点と実務上の課題を法的・計量的側面から検討する。

授業の概要

TMK は「資産の流動化に関する法律」に基づき，投資家への収益還元を最大化するためのものとして設計されている。しかし，法人税法上の二重課税を回避するためには，租税特別措置法に規定される厳格なルールを充足し続けなければならない。本研究では，この要件が損なわれるリスクの本質を解明し，会計上の利益と税務上の所得の乖離がスキームに与える影響について，判例および最新の改正動向を踏まえた検討を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し，それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

文献講読と分析: 財務省の税制改正解説，国税庁の質疑応答事例，判例タイムズ等の専門文献を精読する。
ケーススタディ: 実際に組成されている TMK の資産流動化計画書（要約版）等を参照し，理論と実務の結節点を確認する。
ディスカッション: 特定の論点（例：減価償却費の不一致，評価損の取扱い等）について，指導教員との対話を通じて考察を深める。

事前・事後学習

法人税法の基礎知識（益金・損金の概念，申告調整等）を有していることが望ましい。
資産流動化法および関係法令の基本構造を事前に把握しておくこと。
毎週の進捗報告では，単なる事象の紹介に留まらず，「なぜその規定が必要なのか」「どのような不都合が生じ得るか」という立法的背景や解釈論に踏み込んだ考察が求められる。

テキスト・参考書等

PwC 税理士法人（2023）『不動産証券化の税務（第 6 版）』中央経済社。
財務省主税局（2024）『令和 6 年度 税制改正の解説』大蔵財務協会。
田井良夫（2019）『不動産証券化ハンドブック（2019）』不動産証券化協会。

成績評価の方法・基準

1. 問題意識の明確性，2. 先行研究の網羅性，3. 論理の整合性，4. 独自性と有用性，5. 研究態度・進捗の観点から講義中の発言(50%)と期末試験(60%)の総合評価を行います。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ

特別演習Ⅰ・Ⅱでは、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成に取り組んでもらう。修士論文の作成に必要な事項や留意すべき点について講義中に指導をし、また、論文を実際に作成しながらそれらを習熟してもらうことで、 修士の学位に相応しいのみならず、社会一般に寄与するような研究を目指してもらう。

授業の概要

基本的には、論文作成の個別指導の時間だと理解して欲しい。具体的には、前もって提出された論文の一部分（章であったり、節であったりする）に赤ペンを入れてくるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）　１年次の前期は、論文作成の基本を指導するので、租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方などを各自に事前に課題として与え、その点について指導する。
（２）　１年次の後期は、論文のテーマ設定を行うので、論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成などを各自行ってもらう。その上での指導となる。
（３）　２年次の前期は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。毎回の赤ペン指導となる。
（４）　２年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。この時点での注意点は、広い視野からの再検討を各自行うことである。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』（TKC 出版）」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心（30%）と研究報告（70%）により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	福浦　幾巳

授業の到達目標及びテーマ

特別演習Ⅰ・Ⅱでは、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成に取り組んでもらう。修士論文の作成に必要な事項や留意すべき点について講義中に指導をし、また、論文を実際に作成しながらそれらを習熟してもらうことで、 修士の学位に相応しいのみならず、社会一般に寄与するような研究を目指してもらう。

授業の概要

基本的には、論文作成の個別指導の時間だと理解して欲しい。具体的には、前もって提出された論文の一部分（章であったり、節であったりする）に赤ペンを入れてくるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）　１年次の前期は、論文作成の基本を指導するので、租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など各自に事前に課題としてので、その点について、指導する。
（２）　１年次の後期は、論文のテーマ設定を行うので、論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成などを各自行ってもらう。その上での指導となる。
（３）　２年次の前期は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。毎回の赤ペン指導となる。
（４）　２年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。この時点での注意点は、広い視野からの再検討を各自行うことである。

事前・事後学習

事前に指示された文献・資料により、各自においては、各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習を必要とする。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心（50%）と研究報告（50%）により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	平山　誠一郎

授業の到達目標及びテーマ

　特別演習Ⅰ・Ⅱでは、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成に取り組んでもらう。修士論文の作成に必要な事項や留意すべき点について講義中に指導をし、また、論文を実際に作成しながらそれらを習熟してもらうことで、 修士の学位に相応しいのみならず、社会一般に寄与するような研究を目指してもらう。

授業の概要

　基本的には、論文作成の個別指導の時間だと理解して欲しい。具体的には、前もって提出された論文の一部分（章であったり、節であったりする）に赤ペンを入れてくるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）　１年次の前期は、論文作成の基本を指導するので、租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など各自に事前に課題としてので、その点について、指導する。
（２）　１年次の後期は、論文のテーマ設定を行うので、論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成などを各自行ってもらう。その上での指導となる。
（３）　２年次の前期は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。毎回の赤ペン指導となる。
（４）　２年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。この時点での注意点は、広い視野からの再検討を各自行うことである。

事前・事後学習

　伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』（TKC 出版）」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

　各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

　論文への取組みに対する探究心（50%）と研究報告（50%）により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	山内　進

授業の到達目標及びテーマ

　特別演習Ⅰ・Ⅱでは、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成をしてもらう。修士論文の作成に必要な事項や留意すべき点については講義中に指導する。論文の作成をしながら、それらに習熟してもらい修士の学位に相応しいのみならず、社会一般に貢献するような研究をしてもらう。

授業の概要

提出された論文により、添削し指導していく。論文作成のための個別指導である。添削された指導内容については、議論しあい修士論文の価値を高めていく。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

(1) 1 年次前期は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料収集の仕方と読み方など各自に事前の課題として与え、指導する。
(2) 1 年次後期は、論文のテーマを設定する。論文のテーマ、問題意識、論証絵の過程を表した目次の作成、序章と終章の作成を各自にしてもらう。そのうえで指導する。
(3) 2 年次前期は、4 月から 8 月までの期間で論文の一応の完成を目指す。この期間は、院生同士支えあい、情報交換するなど頻繁に意見交換をし、質の高い論文作成を目指す。
(4) 2 年次後期は、論文の最終仕上げとなる。修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。できた論文の院生同士でのチェック、プレゼン練習等も大切である。このように意見を交換し合い、指導教員の指導を受け、広い視野から各自論文の再検討を行う。

事前・事後学習

　伊藤義一『税法の読み方』で条文の理解の仕方を学習する。また細川健『租税法修士論文の書き方』白桃書房で論文の作成について学ぶ。事前事後合計 4 時間が必要。

テキスト・参考書等

　できれば、その都度指導する。

成績評価の方法・基準

研究発表(50%)、レポート(50%)で評価する。

博士前期課程：特別演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	山下壽文

授業の到達目標及びテーマ

修士論文作成のための会計の基礎概念の修得を目的とする。

授業の概要

会計の基本文献の購読を行い、内容について議論を行う。報告者による報告による演習形式で講義を行う。報告者はレジュメを毎回作成して配布する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰは、会計の基本文献（論文など）を指定し毎回報告者がその内容を報告して、議論により理解を深める。

特別演習Ⅱは、修士論文に関係する文献について、報告者が報告して議論することにより、その内容を深める。

事前・事後学習

演習時に指示する。

テキスト・参考書等

桜井久勝『財務会計講義』中央経済社

成績評価の方法・基準

報告内容（100点）

博士前期課程：特別演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

大学院における高度な情報技術を学ぶ。
テーマはソフトコンピューティングを中心とする。

授業の概要

情報技術を駆使して実際に利用されているソフトウェア・ハードウェアを調査し、プログラミング技術やハードウェアの開発プロセスを学び、それをどのような手法を用いて応用するかを指導する。特にソフトコンピューティングの基礎については詳細に説明する。同時に文献調査や英文論文読解も行う。また、情報科学の分野における論文作成手法を指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

個々の大学院の研究テーマを提示させ、研究を進めるにあたって必要な内容を指導する。その際情報技術の理解度を高めるために、関連する文献調査と英文論文の読解も行う。

研究に必要なソフトウェア・ハードウェアについては、研究内容により精査した上で個別に指示する。
また、基礎学力が不足する場合は個別に不足部分を指導する。

事前・事後学習

事前に自分の研究テーマを決めておくこと。
事後に研究を進める時の課題を文章化すること。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

研究発表20%・テスト50%・レポート30%により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：「自然科学の諸問題に対して情報学・工学的アプローチで解決する」

到達目標：①　自身の研究分野に関連する文献を収集・分析し，現状・課題等について整理できる。

②　①の整理した結果を受け，課題解決のための実験方法等を立案・実施することができる。

③　修士論文および学術誌に投稿可能な文章表現・データ分析ができる。

授業の概要

工学的手法や情報学的手法は，様々な分野で使用され，新たな技術が次々と創出している。そこで，これらの手法を用いて生体医工学・生体情報学に関連する諸問題にアプローチする研究を実施する。具体的には，組織工学に基づく材料設計，in vitro 実験，生体工学に基づく数値解析などである。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰは修士課程１年次，特別演習Ⅱは修士課程２年次に開講される．これらの科目を通し，到達目標を達成するために下記について実施する。

[1] 自身の研究分野に関連する文献（演習Ⅰ：和文誌，演習Ⅱ：英文誌）を収集し，自身の担当回で当該文献に関する発表を履修生に対して行う．担当回以外では，担当院生の発表に対して，質疑を行う。

[2] 自身の研究内容について，その独創性や重要性について明確化する。

[3] 適切な実験計画を立て，それを適切かつ計画通りに実施する。

[4] 自身の研究に対して進捗報告を行う．他の院生は報告内容に対して質疑を行う。

[5] 得られた実験データを可視化し，院生全員で結果について議論し，その妥当性や課題等を明確にする

[6] 演習Ⅰでは，自身のテーマに関連する学会等で発表するための原稿・発表資料の作成を行い，演習Ⅱでは，修士論文の執筆，推敲，および発表会の資料作成を実施する。

事前・事後学習

事前学習：報告資料の作成・発表準備，文献調査，実験の実施等を実施する（２時間以上）。

事後学習：教員・院生の指摘事項に関して整理し，必要に応じて研究内容の推敲を実施する（２時間以上）。

テキスト・参考書等

自身の研究テーマに関する文献を調査・収集し，それらを使用する。

専門書については，研究内容を踏まえて必要に応じて教員が提示する。

成績評価の方法・基準

特別演習Ⅰでは，報告内容（40%）、文献紹介（40%）と学会発表の実績等（20%）で評価する。

特別演習Ⅱでは，特別演習Ⅰと同様の内容（30%）と修士論文および修士論文発表（70%）で評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

関連研究や技術の調査、輪読、文献調査報告を行う。その内容や研究方法について他の大学院生と質疑応答を行うことにより、専門領域研究の遂行に必要な知識及び技術を身につけることを目標とする。

授業の概要

演習Ⅰでは、関連研究や技術の調査、最新の研究動向の把握、発表方法を習得する。

演習Ⅱでは、各自の研究課題と関連する論文の輪講や研究進捗状況の報告を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰ

毎回の発表・討論を通じて最新の研究動向を把握する。また、資料の収集法、検討課題の整理、発表方法などを習得する。

毎回の授業：文献調査、関連研究の発表と討論

特別演習Ⅱ

実験結果の解析、関連研究の輪講及び研究の進捗状況報告をとおして、研究の目的や研究方法の明確化をはかる。

毎回の授業：輪講、研究報告と討論

事前・事後学習

指示された研究課題に取り組む。

テキスト・参考書等

研究課題ごとに指示する。

成績評価の方法・基準

口述試験（３０％）及び研究課題報告（７０％）によって評価する。

博士前期課程：特別演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	宮﨑　武

授業の到達目標及びテーマ

情報セキュリティには様々な基礎知識や基盤技術である有限体理論や符号、系列といった数学的な知識や、剰余演算および擬似乱数生成器について重点的に学習する。また、これらを計算機上で実装するための、各種アルゴリズムについても併せて理解を深める。

授業の概要

現在の情報セキュリティ技術は、数論や符号理論といった数学的要素や、剰余演算や擬似乱数生成器など計算機上の様々なアルゴリズムを基礎的な技術として利用して構成されている。本特別演習は、それらの基礎技術を中心とし、計算機上でのプログラム作成を通してこれらについて学習するとともに、利用者や攻撃者など様々な視点からの情報セキュリティ技術における安全性について検証を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

基礎的な数論や有限体理論、更にそれらを計算機上で実装する手法は研究の主題とはなりにくく目立たない存在であるが、その知識や技法は修士論文をまとめるのに必要な実験を行うために必要不可欠である。これらの諸技術について実例を挙げて学習する。

特別演習Ⅰ：

数論や有限体理論、符号や系列といった数学的な概念を計算機上で表現する術を学習する。そのため、基礎的な数学（数論、集合、剰余など）とそのプログラミング、累乗剰余算演算など情報セキュリティ技術に欠かせない演算方法などを実際にプログラミングして学習する。

特別演習Ⅱ：

擬似乱数生成器について、古典的な手法から現代の生成器、研究対象となる擬似乱数について学習する。また修士論文完成のために必要な実験とそのプログラミングに関する指導も行う。

事前・事後学習

事前：　演習内容の文献やWebでの検索を行って情報を収集・整理すること（1～2時間程度）。
事後：　演習内容をまとめ、課題に対する資料やプログラムの作成などを行うこと（1～2時間程度）。

テキスト・参考書等

光成 滋生「図解即戦力 暗号と認証のしくみと理論がこれ1冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021
結城 浩「暗号技術入門　第3版　秘密の国のアリス」SBクリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

特別演習Ⅰ：　基礎的な学習とそれらのプログラミング実装：７０％，ディスカッション：３０％
特別演習Ⅱ：　擬似乱数または各自研究テーマに併せたプログラミング：７０％、ディスカッション：３０％

博士前期課程：特別演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	ディンダ プラマンタ

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：深層学習(DL)におけるハードウェア(HW)とソフトウェア(SW)のシミュレーションのギャップを埋める。現在,生成系 AI の様々な日常活動への統合が進むにつれ,その必要性が浮き彫りになっている。機械学習(ML)のサブセットであり,生成系 AI の重要な構成要素である DL は,膨大な量のデータからの学習に依存している。DL の依存性は,リアルタイムのアプリケーションに課題をもたらす。本特別演習は,DL のプロセスを加速するために SW と HW のシミュレーションを活用し,両者の関係を理解することを目的とする。

授業の概要

本特別演習では,AI の応用の中で高速処理と高度な精度を目指し,人間情報学や情報工学に関連するさまざまな問題にアプローチする研究を行う。具体的には,DL モデルの設計やシミュレーションを行う.特別演習Ⅰを修了した後,自身の研究内容を国内および国際的に明確に位置づけ,研究を継続して行う。提案手法の有効性は処理時間,精度,および消費電力を検証し,その結果をもとに考察を進める。得られた結果をもとに,国内および国際の学会で積極的に発表させ,論文を投稿させる予定。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し,それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

前期（1回～15回）

第1回　オリエンテーション
第2回　深層学習の基礎
第3回　ハードウェアの基礎
第4回　ソフトウェアの基礎
第5回　HW と SW の相互関係
第6回　シミュレーションツールの紹介
第7回　シミュレーションの実践Ⅰ(簡単な DL モデルのシミュレーション)
第8回　シミュレーションの実践Ⅱ(モデルの最適化)
第9回　リアルタイムアプリケーションの課題
第10回　研究テーマの設定
第11回　フィードバックの適用
第12回　実験とデータ分析Ⅰ(実験の実施・データ収集と分析)
第13回　実験とデータ分析Ⅱ(続きの実験と分析・進捗の確認)
第14回　中間発表準備
第15回　中間発表

後期（16回～30回）

第16回　実験とデータ分析Ⅲ(最終実験の実施･データの整理と解析)
第17回　結果の考察
第18回　研究のまとめ
第19回　論文執筆Ⅰ(論文のドラフト作成・執筆のポイント)
第20回　論文執筆Ⅱ(論文の推敲・同僚レビュー)
第21回　学会発表準備
第22回　学会発表
第23回　国際学会準備
第24回　国際学会発表
第25回　研究の深化Ⅰ
第26回　レビューとフィードバック
第27回　研究の深化Ⅱ(改良)
第28回　最終発表準備Ⅰ(最終発表の資料作成・発表内容の確認)
第29回　最終発表準備Ⅱ(発表リハーサル・質疑応答の準備)
第30回　最終発表

事前・事後学習

- 学んだ内容を復習し,関連する課題を実施する。
- 必要に応じて追加の文献を調査し,授業内容を補完する。
- 実習やシミュレーションを再度行い,理解を深める。

中間および最終発表に向けた準備を進める。

テキスト・参考書等

J. Krohn（著），鈴木 賢治（監修），清水 美樹（翻訳）「Python,TensorFlow で実践する深層学習入門: しくみの理解と応用」東京化学同人,2022 年

成績評価の方法・基準

シミュレーションや実験（50%),中間発表（15%),最終発表（20%),論文執筆（15%）

大 学 院

（博士後期課程）

２０２６(令和8)年度　博士後期課程　開講授業科目及び担当者

	授業科目の名称		職名	担当教員	授業を行う年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
授業科目の概要	経営情報学科目群	経営学特別研究	教　授	片　山　准　一	１・２・３		２	
		日本経営史特別研究	非常勤講師	加　来　祥　男	１・２・３		２	
		経営管理特別研究	教　授	井　上　善　海	１・２・３		２	
		財務管理特別研究	教　授	鵜　崎　清　貴	１・２・３		２	
		経営戦略特別研究	教　授	遠　藤　真　紀	１・２・３		２	
		中小企業特別研究	教　授	井　上　善　海	１・２・３		２	
		国際経営特別研究	教　授	小　川　雄　平	１・２・３		２	
		会計情報学特別研究	教　授	山　下　壽　文	１・２・３		２	
		会計監査論特別研究	非常勤講師	伊　藤　龍　峰	１・２・３		２	
		税務会計特別研究	教　授	山　内　　進	１・２・３		２	
		税法学特別研究	教　授	末　永　英　男	１・２・３		２	
		税法学特別研究	教　授	福　浦　幾　巳	１・２・３		２	
		税法学特別研究	教　授	山　内　　進	１・２・３		２	
		税法学特別研究	教　授	鵜　崎　清　貴	１・２・３		２	
		民法特別研究	非常勤講師	丹　羽　崇　之	１・２・３		２	
		情報科学特別研究	教　授	荒　平　高　章	１・２・３		２	
		情報ﾒﾃﾞｨｱ特別研究	教　授	麻　生　隆　史	１・２・３		２	
		情報ｾｷｭﾘﾃｨ特別研究	准教授	宮　崎　　武	１・２・３		２	
		情報・信号処理特別研究	教　授	麻　生　隆　史	１・２・３		２	
		応用ﾃﾞｰﾀ解析特別研究	教　授	荒　平　高　章	１・２・３		２	
		離散ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ特別研究	教　授	車　　炳　玘	１・２・３		２	
		情報ﾈｯﾄﾜｰｸ特別研究	教　授	車　　炳　玘	１・２・３		２	
		ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ特別研究	准教授	宮　崎　　武	１・２・３		２	
		ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ特別研究	講　師	ディンダ　プラマンタ	１・２・３		２	
	演習	演習Ⅰ　経営・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部門	○井上善海 ○遠藤真紀 ○小川雄平 ○片山准一		１	４		
		税法・会計部門	○鵜崎清貴 ○末永英男 ○福浦幾巳 ○山内進 ○山下壽文					
		情報・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ部門	○麻生隆史 ○荒平高章 ○車炳玘 宮崎武					
		演習Ⅱ	演習Ⅰに同じ		２	４		
		演習Ⅲ	演習Ⅰに同じ		３	４		

注：○印は「研究指導教員」

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
経営学特別研究	1・2・3 年生	2 単位	片山 准一

授業の到達目標及びテーマ

学則第 3 条を踏まえて、企業の経営行動とビジネス倫理を歴史的・論理的にとらえる。

企業行動を客観的に直視し、ビジネス倫理に関する基本的な考え方を習得することを到達目標とする。

授業の概要

本講義では企業のガバナンス問題や CSR（企業の社会的責任）等を視座にビジネス倫理を中心に論じていく。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　はじめに　講義全般の概説
第 2 回　資本概念と資本の循環・回転
第 3 回　資本家概念
第 4 回　資本主義的企業組織形態
第 5 回　資本主義的経営形態
第 6 回　単純協業→分業に基づく協業
第 7 回　機械制大工業
第 8 回　テイラーシステム
第 9 回　フォードシステム
第 10 回　大量生産体制
第 11 回　競争と独占①
第 12 回　競争と独占②
第 13 回　コーポレートガバナンス①
第 14 回　コーポレートガバナンス②
第 15 回　経営学特別研究の総括

事前・事後学習

事前：最低限ネット検索で下調べをしておくこと（１２０分）
事後：講義内容を文献等で確認・復習しておくこと。（１２０分）

テキスト・参考書等

テキストは使用しない。参考文献：馬場克三『経営経済学』（税務経理協会）

成績評価の方法・基準

研究報告・レポート（５０％）試験（５０％）によって評価する。60%以上を合格とする。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
日本経営史特別研究	1・2・3	2 単位	加来　祥男

授業の到達目標及びテーマ

第 2 次世界大戦後の日本企業、とくに巨大企業の構造と展開とを明らかにし、その成長や停滞の要因を検討する。それによって、日本企業、あるいはその他の国の企業が抱える問題点とそれを克服する方途が見つかるはずである。

授業の概要

第 2 次世界大戦後の日本企業の構造と展開とを、巨大企業を中心に国際比較を交えて明らかにする。事例研究などのレポートを課す場合がある。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　本講義の狙いと概要
第 2 回　戦後改革①－財閥解体
第 3 回　戦後改革②―労働改革
第 4 回　朝鮮戦争と日本経済の再出発
第 5 回　高度成長の開始と国際環境－資本主義の黄金時代
第 6 回　重化学工業化の進展－産業構造の変化
第 7 回　企業集団の形成と構造
第 8 回　日本型雇用システム
第 9 回　石油危機から安定成長へ―成長の減速
第 10 回　バブル崩壊と日本企業
第 11 回　グローバル化とデジタル化
第 12 回　転換期の日本企業
第 13 回　「構造改革」の失敗
第 14 回　日本企業が抱える問題
第 15 回　まとめ―本講義によって明らかになること

事前・事後学習

15 回の講義で取り上げられる問題と内容は限られている。テキストを読んで予習するとともに、毎回の授業で取り上げられたことをさらに各自で調べてほしい。事前、事後にそれぞれ 2 時間をとること。

テキスト・参考書等

宮本又郎他『日本経営史』＜新版＞、有斐閣、2007 年；石見徹『日本経済衰退の構図』、東京大学出版会、2021 年

成績評価の方法・基準

試験（50%）、レポート（50%）

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
経営管理特別研究	1・2・3	2 単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

① 経営管理論の史的変遷を説明できる。

② 経営管理論の体系を説明できる。

授業の概要

本授業では，アメリカにおける科学的管理に端を発し，その後，大規模化，高度化，複雑化，国際化が加速している企業活動を統括する総合管理論へと発展してきた経営管理（マネジメント）論について講義する。特に,経営管理論を構成する主要素である経営戦略，経営組織を中心に，経営計画や意思決定と経営情報システムなどの諸要素について学ぶ。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　授業のねらいと進め方

第 2 回　経営管理論を構成する諸要素

第 3 回　経営戦略①：経営戦略の概念

第 4 回　経営戦略②：成長戦略

第 5 回　経営戦略③：競争戦略

第 6 回　経営戦略④：グローバル戦略

第 7 回　経営戦略⑤：イノベーション

第 8 回　経営計画とコントロール

第 9 回　経営組織①：経営組織の概念

第 10 回　経営組織②：組織原則と組織の基本形態

第 11 回　経営組織③：組織の分権化と動態化

第 12 回　経営組織④：プロジェクト組織とマトリックス組織

第 13 回　経営組織⑤：ネットワーク組織

第 14 回　意思決定

第 15 回　経営情報システム

事前・事後学習

準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト・参考書等

テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

成績評価の方法・基準

本授業の２つの到達目標に対する達成度を評価基準に、授業内での発言・貢献度（４０%）、授業内で課す課題レポート（６０%）により成績評価を行う。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
財務管理特別研究	1・2 年生	2 単位	鵜崎　清貴

授業の到達目標及びテーマ

本講義では，学則第 3 条を踏まえて，伝統的な投資・資本調達論を基軸としつつ，さまざまな観点から現代的な財務的課題を多角的に分析・解明する能力を養う。
具体的には，数理モデルと R を用いたデータ解析手法を習得した上で，既存理論の限界を批判的に考察し，博士論文の核となる独自の理論的・実証的視点を構築することを到達目標とする。企業の財務管理の諸問題を投資と資本調達論の観点から論ずる。講義全体を通じて，最新の理論とデータ分析の習得を到達目標とする。

授業の概要

講義は全 15 回で構成され，基礎から現代的なトピックまで段階的に学びます 。
基礎フェーズ：貨幣の時間的価値，株式・債券の評価，資本予算。
理論フェーズ：ポートフォリオ理論，資本資産評価モデル（CAPM），資本コストの分析。
応用・現代フェーズ：配当政策，企業価値，市場の不完全性，そしてコーポレートガバナンスや SDGs といった最新のトピックス。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

回	テーマ	学際的・先端的な視点
1	イントロダクション	財務管理論のパラダイムシフト：伝統的財務理論から学際的研究へ
2	貨幣の時間的価値と資本予算	リアルオプションと不確実性下での意思決定
3	証券評価と市場の効率性	行動ファイナンス：市場の効率性とアノマリー
4	ポートフォリオ理論の再構築	R を用いた最適化アルゴリズムと堅牢性分析
5	資産価格評価モデル（CAPM）の批判的検討	多因子モデル（Fama-French 等）と推論の限界
6	債務不履行とリスク管理	倒産法制と信用の法学的側面
7	資本構成とエージェンシー理論	契約理論に基づく企業統治のインセンティブ設計
8	資金調達と情報の非対称性	シグナリング理論と市場との対話
9	配当政策と企業価値	配当パズルと投資家の選好
10	コーポレートガバナンスの国際比較	法系（コモンローvs 大陸法）が財務行動に与える影響
11	デジタル変革とファイナンス	FinTech，ブロックチェーン，および AI による財務予測
12	市場の不完全性と制度設計	証券取引法と不完全競争市場での価格形成
13	ESG・SDGs と財務戦略	非財務情報の定量化と資本コストへの影響
14	現代的論点の総合討論	特定テーマ（例：スタートアップ財務，IPO，M&A）の学際的分析
15	まとめ：博士論文への応用	自身の研究テーマと財務管理論の接合

事前・事後学習

事前：最低限ネット検索で良いので，下調べをしておくこと（120 分）。
　　授業中，基本的な質問を行うので，回答できるように準備しておくこと。
事後：講義内容を，文献等で確認・復習しておくこと（120 分）。

テキスト

鵜崎清貴(2026)『R によるコーポレートファイナンス入門』未刊。
適宜，資料を配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

ＦＫＫ（古川経営研究会）財務スタディ・グループ，市村誠・太田三郎・宮本順二朗共編著(2011)『経営財務の情報分析』学友社.
坂本恒夫・鳥居洋介 編著(2014)『テキスト企業分析論』税務経理協会.
古川浩一・蜂谷豊彦他(2005)『基礎からのコーポレート・ファイナンス』中央経済社.
市村昭三編(2005)『財務管理論』創成社出版.
諸井勝之助(1981)『経営財務講義』東京大学出版会.
坂本恒夫・文堂弘之(2007)『成長戦略のための新ビジネス･ファイナンス』中央経済社.
Welch, Ivo(2011) Corporate finance 2nd Edition (Prentice Hall).
http://www.amazon.com/Ivo-Welch/e/B001JRTDFQ
Richard Brealey, Stewart Myers, Franklin Allen, Pitabas Mohanty(2010)"Principles of corporate finance"McGraw-Hill (藤井眞理子・国枝茂樹(監訳) (2004)『コーポレートファイナンス 第 6 版上・下』日経 BP 社).
McKinsey & Company Inc., M.K. and Koller, T. and Goedhart, M. and Wessels, D.(2010) "Valuation: Measuring and Managing the Value of Companies, University Edition"John Wiley & Sons（本田桂子（監訳），天野洋成,井上雅史,近藤将士,戸塚隆将（訳）(2006)『企業価値評価-バリュエーション：価値創造の理論と実践』ダイヤモンド社).
講義の進捗度に沿って適宜，紹介する。

成績評価の方法・基準

講義中の発言（50%）およびレポート（50%）による総合評価。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
経営戦略特別研究	１～３年	2	遠藤 真紀

授業の到達目標及びテーマ

現代企業の経営戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論を踏まえ、具体的な事例について分析・評価していく。今日的な企業の経営戦略等を理解し、自身の自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになること。また論文作成等に必要な知識を十分に身につけること。

授業の概要

企業の経営環境は激変しており，市場環境の認識と経営戦略の重要性が増している。基本的な戦略理論を踏まえ、様々な企業の具体的な事例（社会人においては自社の戦略等）について，ディスカッションを行い、論理的・実証的な考察を進めます。またフィールドワークや映像資料に基づくケーススタディを行い、実践的な経営戦略について検討していきます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　イントロダクション
第２回　経営戦略理論の概観１
第３回　経営戦略理論の概観２
第４回　事例研究１（製造業）
第５回　事例研究２（製造業）
第６回　事例研究３（製造業）
第７回　事例研究４（流通業）
第８回　事例研究５（流通業）
第９回　事例研究６（流通業）
第 10 回　事例研究７（サービス業）
第 11 回　事例研究８（サービス業）
第 12 回　事例研究９（サービス業）
第 13 回　今日的な経営戦略の研究１
第 14 回　今日的な経営戦略の研究２
第 15 回　まとめと成果発表

事前・事後学習

テキスト・資料等を事前に確認し，発表の準備を行い，ディスカッションや検討事項等の再確認を行う事。

テキスト・参考書等

テキスト：岸川善光『経営戦略要論』同文舘，岸川善光『経営診断要論』同文館ほか

成績評価の方法・基準

出席態度を含む授業での貢献（30%）および研究報告・レポート（70%）を総合的に評価します。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
中小企業特別研究	1・2・3	２単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

①日本経済における中小企業の地位や役割について説明できる。
②大企業とは異なった中小企業の経営特性について説明できる。
③経営環境の変化に対応し、成長を続ける中小企業のマネジメントついて説明できる。

授業の概要

本授業では、日本の産業競争力を支えてきた中小企業の構造的問題について、課題別に考察することをねらいとする。そこで、まず日本の中小企業の歴史的な変遷および国際比較を行いながら、中小企業の存在意義について明らかにする。その後、大企業との格差問題および下請中小企業問題を中心としながら、中小企業が地域経済の担い手やグローバル化に寄与していることについて考察していく。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　授業のねらいと進め方
第２回　中小企業の経営特性：中小企業が、その経営特性を生かす道としてどのような事業分野があるのか。
第３回　中小企業の歴史：産業革命から現代まで、世界における中小企業がどのように変化してきたのか。
第４回　海外の中小企業：海外では、中小企業がどのような地位を占めどのような役割を担っているのか。
第５回　中小企業問題と中小企業政策：中小企業問題解決のために講じられる中小企業政策の役割や体系。
第６回　経営環境の変容と戦略：中小企業が長期的な戦略にもとづく経営に取り組む必要性。
第７回　資金難と財務：資金調達をはじめとした中小企業の財務マネジメントのあり方。
第８回　分業構造の変容と下請：下請企業の構造的問題を解決するマネジメント。
第９回　企業間関係の変容とネットワーク：経営資源に制約の多い中小企業の事業展開で抱える問題。
第 10 回　産業構造の変容と地域産業：産業集積の戦略的な連携や他地域への進出、地域資源の有効活用。
第 11 回　世界市場の変容とグローバル化：中小企業がグローバル化を行うことによって起きる問題。
第 12 回　人材難と組織：経営環境の多様な変化に適応していくための組織や人のマネジメントのあり方。
第 13 回　後継者難と事業承継：中小企業に特有の事業承継リスクへの対応方法について。
第 14 回　研究開発力不足と製品開発：イノベーションによる中小企業の製品開発マネジメントの重要性。
第 15 回　既存事業の衰退と事業開発：中小企業の事業開発上の経営課題と対応策。

事前・事後学習

準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト・参考書等

テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

成績評価の方法・基準

本授業の３つの到達目標に対する達成度を評価基準に、授業内での発言・貢献度（４０%）、授業内で課す課題レポート（６０%）により成績評価を行う。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
国際経営特別研究	１・２・３年次	２単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

　世界経済のグローバル化の実態について理解を深め、経済環境に対応した企業の国際経営戦略上の課題を明らかにすることを目標とする。また、授業を通じて博士論文の作成にも役立てることを目指す。

授業の概要

　日系企業の進出が多い東アジア地域を対象に、日系企業の企業内貿易の展開や部品調達網の構築等の現状分析と、米中貿易摩擦や急増するＦＴＡ等国際経済環境に対応した企業経営の在り方を検討する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　日本的経営
第３回　国際経営戦略
第４回　国際経済環境と企業の対応Ⅰ
第５回　国際経済環境と企業の対応Ⅱ
第６回　国際経済環境と企業の対応Ⅲ
第７回　国際経済環境と企業の対応Ⅳ
第８回　小括
第９回　多国籍化の実相―製造業Ⅰ
第 10 回　多国籍化の実相―製造業Ⅱ
第 11 回　多国籍化の実相―商業・小売業
第 12 回　小括
第 13 回　企業内取引とグローバルサプライチェーン
第 14 回　国際経営と物流
第 15 回　総括

事前・事後学習

　指示された研究課題に取り組む。

テキスト・参考書等

　研究課題毎に授業中に指示する。

成績評価の方法・基準

　成績は、口述試験（50%）と研究課題の報告（50%）により評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
会計情報学特別研究	1・2・3	2	山下壽文

授業の到達目標及びテーマ

現代における会計学の現状と課題について、諸説を検証し、現状の分析それにともなう課題について明らかにする。

授業の概要

わが国の会計学の形成過程、国際会計基準の影響下によるわが国の会計基準の変遷とその概要を検証する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　簿記から会計学への展開(1)～アメリカ会計学の形成過程～
第２回　簿記から会計学への展開(2)～わが国会計学の形成過程～
第３回　SHM 会計原則と「企業会計原則」
第４回　シャウプ勧告と「企業会計原則」
第５回　法人税法第 22 項「公正処理基準」と会計基準
第６回　わが国皆生基準への国際会計基準の影響
第７回　概念フレームワーク
第８回　収益費用アプローチから資産負債アプローチへの展開とその論理
第９回　IAS37 とわが国の引当金会計
第 10 回　公正価値・現在割引価値
第 11 回　減損会計
第 12 回　リース会計
第 13 回　キャッシュ・フロー会計
第 14 回　資産除去債務会計
第 15 回　まとめ

事前・事後学習

講義に際して、事前・爾後学習について指示を行う。

テキスト・参考書等

藤井秀樹『入門財務会計』（第 4 版）中央経済社
伊藤邦雄『新・現代会計入門』日本経済新聞出版社

成績評価の方法・基準

講義中の報告内容（50 点）およびレポート（50 点）

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
会計監査論特別研究	1・2・3	2 単位	伊藤　龍峰

授業の到達目標及びテーマ

授業では、博士後期課程における学習の基礎として、会計監査論に関する最新の動向を踏まえた上で、必要な研究方法に関する知識・技能を学ぶとともに、専門的知識を修得することを到達目標とします。また、授業を通して、研究者として不可欠な要素である研究倫理に関する理解を深めることも主たるテーマとします。

授業の概要

日英米における会計監査論の先行研究を整理しながら、企業の財務諸表に対する公認会計士・監査法人による監査を中心に、問題点を検討・解明します。授業は、受講者に授業計画に沿って事前にテーマを課しますので、レジュメに纏めて授業で報告する方法で進めます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　会計監査論研究の目的と意義
第 2 回　会計監査論研究における基礎概念の整理と応用
第 3 回　会計監査論研究と周辺領域
第 4 回　会計監査論研究の史的展開
第 5 回　わが国における会計監査論研究の動向
第 6 回　英米における会計監査論研究の動向
第 7 回　会計監査論における主要テーマの研究Ⅰ：財務諸表の適正性と準拠性
第 8 回　会計監査論における主要テーマの研究Ⅱ：監査基準の意義と一般基準
第 9 回　会計監査論における主要テーマの研究Ⅲ：不正リスクとリスク・アプローチ監査
第 10 回 会計監査論における主要テーマの研究Ⅳ：財務諸表監査と内部統制
第 11 回 会計監査論における主要テーマの研究Ⅴ：監査意見の表明と情報提供機能
第 12 回 会計監査論における主要テーマの研究Ⅵ：監査上の主要な検討事項(Key Audit Matters, KAM)
第 13 回 会計監査論における最新事例の研究と批判的検討
第 14 回 会計監査論研究における研究者の役割と倫理
第 15 回 会計監査論研究の将来像と課題

事前・事後学習

事前学習：資料を熟読し、内容を理解したうえで受講してください(2 時間)。
事後学習：授業で理解したことを整理し、疑問点や問題点等が解消したかどうかを確認し、当日の授業テーマに対する理解を深めてください（2 時間)。

テキスト・参考書等

長吉眞一 他著『監査論入門第 6 版』中央経済社 2024 年 3 月
弥永真生著『監査業務の法的考察』日本公認会計士協会出版局　2021 年 6 月

成績評価の方法・基準

・口頭試験（50%)、レポート（50%）

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
税務会計特別研究	1・2・3	2	山内　　進

授業の到達目標及びテーマ

法人税法上の課税所得計算と企業会計との関連性について研究することを目的としている。近年、会計も税務も複雑化し、確定決算主義が我が国に導入された時代とは、大きく背景が異なっている。また会計には IFRS の拡大により余計乖離が進行した。

このような背景から、現在、会計と税務はかなり乖離し、両者を切り離すべきとの論が主張されている。

そこで、授業では現代会計の特質と税務との関係を考察しながら、その接点と乖離について検討する。

授業の概要

税務上の所得計算と企業会計の関連性を把握するために、判例研究を行う。授業には教材として小林裕昭『課税所得計算と企業会計の接点と乖離』を使用し、課税所得計算と企業会計の関連性を明らかにすることを目的とする。両者の差異、特質についても分析する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　授業の進め方について述べる。
第 2 回　公正処理基準の成立
第 3 回　公正処理基準に関わる判決 1(大竹貿易事件)
第 4 回　公正処理基準に関わる判決 2(ビックカメラ事件とオリックス事件)
第 5 回　公正処理基準該当性・会計基準と公正処理基準との関係性
第 6 回　益金の範囲と年度帰属 1(オープン社事件)
第 7 回　益金の範囲と年度帰属 2(損害賠償請求権事件)
第 8 回　損金の範囲と年度帰属 2(原価の見積もり計上の事件)
第 9 回　貸倒損失の損金計上(興銀事件)
第 10 回 減価償却に対する会計と税務の乖離(NTT ドコモ事件)
第 11 回 役員退縮給与(比較法人の最大値を用いた事例等)
第 12 回 過大役員給与課税
第 13 回 交際費課税(萬有製薬事件・オリエンタルランド事件・ドライブイン事件)
第 14 回 リース取引(航空機リース事件とフイルムリース事件)
第 15 回 税法と会計の接点と乖離

事前・事後学習

講義前は事前に課題内容を検討し（50%)、講義後は各課題に対する議論を踏まえた考察（50%）が求められる。

テキスト・参考書等

小林裕明著[2023]『課税所得計算と企業会計の接点と乖離』同文舘出版。

成績評価の方法・基準

口頭試験（50%）と、毎回の討論への積極的参加（50%）に基づいて評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
税法学特別研究	1～3	2	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ

実体法や手続法その他関連する法分野について総合的に学び、視野の広い 博士論文を完成させるための基礎づくりを本講義のテーマとする。新しい課題に積極的に取り組みながら、租税法原理を理解することを到達目標とする。

授業の概要

講義内容は、わが国法人税制全般について、歴史、租税法、判例、租税理論、会計理論に基づいたアプローチで検討を行う。授業の中で租税法の思考方法が学べるように、またそれが論文に活かせるように考える力を養いたい。租税法は法であり税であるので、民法・会社法や租税理論（財政学）の基本的知識を必要とする。したがって、幅広い勉強を期待したい。判例や通達等 については、必要に応じ適宜対応する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　現代国家と租税
第２回　租税国家における租税法の位置づけ
第３回　わが国租税制度の発達
第４回　租税法律主義と租税平等主義（１）
第５回　租税法律主義と租税平等主義（２）
第６回　租税法の解釈と適用
第７回　所得概念と課税所得
第８回　所得税法における所得の計算 ― 譲渡所得と事業所得
第９回　法人税法における所得計算（１） ― 公正処理基準の究明
第 10 回　法人税法における所得計算（２）― 法 22 条と寄附金
第 11 回　財産の評価基準 ― 相続と譲渡をめぐる評価
第 12 回　消費税における仕入税額控除の本質 ― 特典か権利か
第 13 回　更正の請求 ― 絶対的排他性の批判
第 14 回　第二次納税義務制度の拡張
第 15 回　講義を終えての各人の関心事項に対する全体ディスカッション

事前・事後学習

各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

末永英男『税務会計研究の基礎』（九州大学出版会）、同『税務会計論の基本問題』、同編著『税務会計と租税判例』（中央経済社）

成績評価の方法・基準

課題への取組み（50 点）と研究報告（30 点）、それにレポート（2 回）（20 点）により評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
税法学特別研究	1・2・3	2	福浦　幾巳

授業の到達目標及びテーマ

博士課程では、高度な専門知識及び研究活動はもとより、独創的な知見が求められる。そのためには、租税を取り巻く実体法や手続法その他関連する法分野について総合的に学び、視野の広い論文を完成させるための基礎づくりが必要である。したがって、本研究では新規の課題に積極的に取り組みながら、租税法原理を理解することを到達目標とする。

授業の概要

講義内容は、租税法全般の歴史、法的枠組み、判例を前提に、理論・制度・政策に基づいたアプローチで検討を行う。講義では租税法の思考方法が学べるように、またそれが論文に活かせるように考える力を養っていただく。なお、租税法は、民法・会社法や租税理論（財政学）の基本的知識も必要とするので幅広い研究を期待する。判例や通達等については、必要に応じ適宜対応する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回：ガイダンス
第２回：近時の租税判例における検討(1)
第３回：近時の租税判例における検討 2)
第４回：近時の租税判例における検討(3)
第５回：近時の租税判例における検討(4)
第６回：近時の租税判例における検討(5)
第７回：近時の租税判例における検討(6)
第８回：小括(第１回から第７回までのまとめ)
第９回：近時の租税判例における検討(7)
第 10 回：近時の租税判例における検討(8)
第 11 回：近時の租税判例における検討(9)
第 12 回：近時の租税判例における検討(10)
第 13 回：近時の租税判例における検討(11)
第 14 回：近時の租税判例における検討(12)
第 15 回：総括(第９回から第 14 回までのまとめ)

事前・事後学習

本講義は、テキストはもとより、事前にテーマに即した参考文献を示しますので、図書館等で充分な事前学習(プレゼンテーション資料も含む)をしておいてください。

テキスト・参考書等

各自の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心（50%）と研究報告（50%）により評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
税法学特別研究	1・2・3	2単位	山内　進

授業の到達目標及びテーマ

相続税法の各項目に対する制度趣旨を理解し、相続税法に関する訴訟が発生した場合、納税者や租税訴訟担当者は、どのような事実を立証しなければならないのか?その核となる要件事実まで検討する。

授業の概要

相続税法に関する要件事実を探るため、判例研究が中心となる。相続税・贈与税訴訟における要件事実、税務訴訟における要件事実をまず学習し,多くの判例を検討することで、相続税・贈与税の課税要件に対する理解を深める。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第1回　授業の進め方と租税訴訟における要件事実
第2回　相続税・贈与税訴訟における要件事実
第3回　相続税の納税義務者に対する要件事実
第4回　贈与税の納税義務者に対する要件事実
第5回　課税物件に対する要件事実1　みなし相続財産(保険金・退職手当金等)
第6回　課税物件に対する要件事実2　相続税の非課税財産
第7回　財産の所在に対する要件事実
第8回　財産の帰属に対する要件事実
第9回　相続時精算課税に対する要件事実
第10回 財産評価に対する要件事実
第11回 小規模宅地等の特例に対する要件事実
第12回 租税手続に対する要件事実(申告書の提出期限)
第13回 未分割資産に対する課税の要件事実
第14回 延納・物納に対する要件事実
第15回 総括

事前・事後学習

講義前には必ず、課題に対する予習をし、講義後も各課題に対する議論を参考に考察することを求める。事前・事後合計5時間

テキスト・参考書等

岩崎政明他『要件事実で構成する相続税法』中央経済社

成績評価の方法・基準

授業の発表レポート(50%)と授業への積極的参加（50%）により評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
税法学特別研究	1・2年生	2単位	鵜崎　清貴

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、税法学特別研究では、租税理論の基本的な枠組みと、現代の租税制度・租税政策の特徴・課題を理解することを目的とする。租税政策は、財政政策の重要な手段であり、経済・社会の発展に大きな影響を与える。租税政策の分析には、経済学的な知識だけでなく、法律・政治・社会・歴史などの多角的な視点が必要である。本授業では、租税政策の理論的な基礎と、日本や他国の租税制度・租税政策の事例を学び、租税政策の評価や提言について考える。

授業の概要

講義では以下のトピックについて講義する。
・租税政策の基本概念と目的
・租税原則と租税効果
・所得課税の理論と実際
・消費課税の理論と実際
・資産課税の理論と実際
・租税制度の国際比較と調整
・租税改革の方向性と課題

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

1.　租税政策論の導入：租税政策の意義と目的
2.　租税原則論の発展と現状：公平性・効率性・簡素性
3.　租税効果の分析：所得効果・代替効果・余剰負担
4.　所得課税の理論：所得の定義・測定・分配
5.　所得課税の実際：所得税・法人税・相続税
6.　消費課税の理論：消費の定義・測定・分配
7.　消費課税の実際：消費税・付加価値税・間接税
8.　資産課税の理論：資産の定義・測定・分配
9.　資産課税の実際：固定資産税・資本利得税・贈与税
10.　租税制度の国際比較：所得課税・消費課税・資産課税の比較
11.　租税制度の国際調整：国際課税・移転価格・税制協調
12.　租税改革の方向性：所得課税・消費課税・資産課税の改革
13.　租税改革の課題：財政赤字・社会保障・環境・地方分権
14.　租税政策の評価と提言：租税政策の効果・効率・公平の評価
15.　租税政策論のまとめ：租税政策の理解と応用

事前・事後学習

憲法、行政法、民法、刑法、民事訴訟法等の知識が必要である。
各回3時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト・参考書等

経済財政諮問会議（2020）『租税制度改革の方向性に関する提言』
財務省（2020）『租税制度の国際比較2020』
金子宏『租税法〔第24版〕』（弘文堂）
松本和彦編（2019）『租税政策論』有斐閣
小林節（2018）『租税政策の経済学』日本経済新聞出版社。
岡田光弘（2017）『租税政策の理論と実際』中央経済社。
石川寛(2019)『租税の経済分析』ミネルヴァ書房。

成績評価の方法・基準

講義中の発言(50%)と発表レポート(50%)による総合評価。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
民法特別研究	1・2・3	2	丹羽　崇之

授業の到達目標及びテーマ

　世界的な準拠法である英米民事法の判例を読み、わが民法との関連を理解することにより、実務能力を高める。

授業の概要

　英米契約法・不法行為法・財産権法の重要判例を講読し、その歴史的意義、実体法理の形成、さらにわが国の判例法理、学説の発展に与える影響を考察する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　判例の調べ方
第２回　契約法（1）契約の成立
第３回　契約法（2）約因の法理
第４回　契約法（3）禁反言の法理
第５回　契約法（4）履行利益・信頼利益・現状回復利益
第６回　契約法（5）損害賠償の範囲
第７回　契約法（6）損害の軽減・回避しうる損害
第８回　不法行為法（1）過失の判定
第９回　不法行為法（2）事実的因果関係
第 10 回　不法行為法（3）注意義務の範囲
第 11 回　不法行為法（4）インフォームド・コンセント
第 12 回　不法行為法（5）製造業者の過失責任
第 13 回　不法行為法（6）製造物責任
第 14 回　財産権法（1）動産の善意取得
第 15 回　財産権法（2）不動産売買における危険負担

事前・事後学習

《事前学習》各回の判例について、丁寧に読んで、疑問点を示しておくこと。
《事後学習》事実の概要、判旨、判決の意義、関連判例を確認する。

テキスト・参考書等

《テキスト》樋口範雄他編『アメリカ法判例百選』（有斐閣）
《参考文献》樋口範雄『アメリカ契約法〔第３版〕』（弘文堂）、同『アメリカ不法行為法〔第２版〕』（弘文堂）、藤倉皓一郎他編『英米判例百選〔第３版〕』（有斐閣）、田中英夫編『BASIC 英米法辞典』（東京大学出版会）

成績評価の方法・基準

　期末レポートにより評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報科学特別研究	1～3	2 単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

　情報科学分野における研究の遂行に必要な専門知識や実践技術などを習得させ、博士論文作成のための研究指導に役立てる。

授業の概要

　本講義は、現在の主流となっているデータサイエンスに主眼を置き、データの取得、分析、応用のサイクルを体験することで、大学，大学院博士前期課程で学んだ知識・技術を深化させる。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　社会におけるデータ・AI 活用
第２回　データの取得・観測
第３回　誤差とばらつき（１）
第４回　誤差とばらつき（２）
第５回　データに含まれるバイアス（１）
第６回　データに含まれるバイアス（２）
第７回　交絡因子と因果関係（１）
第８回　交絡因子と因果関係（２）
第９回　データサンプリング
第 10 回　データ分析（多変量解析）
第 11 回　データ解釈
第 12 回　データ活用
第 13 回　自身の研究データを用いたデータ分析（１）
第 14 回　自身の研究データを用いたデータ分析（２）
第 15 回　自身の研究データを用いたデータ分析の発表

事前・事後学習

　配布資料や授業内容の予習・復習を行う。

テキスト・参考書等

　授業計画に従い、関連資料を案内する。

成績評価の方法・基準

　レポート（５０％）、発表（５０％）によって評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報メディア特別研究	1・2・3 年次	2 単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

各分野において高度情報化社会に対応できることを目標とし、テーマは情報技術関連分野とする。

授業の概要

ディジタル画像処理に関する様々な研究をまとめ、演習・シミュレーションで得られた成果を基に、論文作成のための研究のまとめ方、研究の細部に関する検証、情報科学の分野での直近の研究成果の調査をする。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　マルチメディアとは
第 2 回　アナログとディジタル
第 3 回　音声処理
第 4 回　信号処理
第 5 回　短的画像処理
第 6 回　画像の拡大
第 7 回　画像の縮小
第 8 回　画像の圧縮
第 9 回　動画処理
第 10 回　動画の圧縮
第 11 回　画像のフィルタリング
第 12 回　画像のモーフィング
第 13 回　パケット通信
第 14 回　通信アルゴリズム
第 15 回　電波を用いた通信

事前・事後学習

マルチメディアとは何かを調べておくこと。
各回の課題をまとめておく。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

受講態度 30%とテストもしくはレポート 70%。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報セキュリティ特別研究	1・2・3 年生	2 単位	宮崎　武

授業の到達目標及びテーマ

本学のディプロマポリシーに基づき、幅広い情報セキュリティに関連する様々な技術を学び、また実際にプログラミングを通じて様々な暗号やデジタル署名などのプロトコルの実装を通じて、情報セキュリティ技術に対する多種多様な知識を習得する。

授業の概要

現代の情報セキュリティ技術に関連する、暗号、デジタル署名、識別と認証、鍵共有や秘密共有について知識を得る。また、具体的な事例として安全なネットワーク接続方式やブロックチェーン、著作権保護や擬似乱数生成についても実例を交えて解説する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第　1 回　情報セキュリティの基礎
第　2 回　古典的な暗号と共有鍵暗号
第　3 回　公開鍵暗号と暗号学で用いる数論
第　4 回　現代の公開鍵暗号方式：RSA 暗号と ElGamal 暗号
第　5 回　楕円曲線暗号
第　6 回　ハッシュ関数とデジタル署名
第　7 回　本人識別
第　8 回　認証
第　9 回　鍵交換と鍵共有
第 10 回　秘密共有
第 11 回　事例研究①：　Web の安全な接続
第 12 回　事例研究②：　Web 認証
第 13 回　事例研究③：　ブロックチェーン
第 14 回　事例研究④：　著作権保護
第 15 回　事例研究⑤：　擬似乱数

事前・事後学習

事前：　各回のテーマに沿って内容を調査し発表資料をまとめる。
事後：　各回における課題を解いて次回までに提出する。最終回のみ、レポート課題とする。

テキスト・参考書等

光成 滋生「図解即戦力 暗号と認証のしくみと理論がこれ 1 冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021
結城 浩「暗号技術入門　第 3 版　秘密の国のアリス」SB クリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

講義中の発表・課題：８０%、レポート：　２０%

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報・信号処理特別研究	1・2・3 年次	2 単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

ソフトコンピューティングの手法により情報・信号処理を学ぶ。

テーマはアナログ・ディジタル信号処理とする。

授業の概要

多くの実験データには様々なノイズが乗る為、フィルタを通すなどそれぞれ適切な処理を実施することでノイズを除去し、その後何らかの知見を得る為のデータ処理を行っている。各自の研究テーマの関連研究においてどのような情報処理もしくは信号処理を利用しているかについて議論し、情報処理および信号処理についての理解を深める。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　制御システム
第 2 回　センサ
第 3 回　定位置センサ
第 4 回　光・温度センサ
第 5 回　超音波センサ
第 6 回　アクチュエータ
第 7 回　直流と交流
第 8 回　ステッピングモータ
第 9 回　サーボモータ
第 10 回　圧電素子
第 11 回　アナログとディジタル
第 12 回　フィードバック制御
第 13 回　ステップ応答
第 14 回　アルゴリズム
第 15 回　通信システム

事前・事後学習

各回の講義内容を調べておくこと。

事後の課題を解決する。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

受講態度 30%とテストもしくはレポート 70%。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
応用ﾃﾞｰﾀ解析（数値解析）特別研究	1 ・ 2 ・ 3 年	選択	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

微分方程式を用いて様々な自然現象のモデル化をし，その振る舞いについて議論できるようになる。

授業の概要

社会科学や自然科学における様々な現象を数式で記述するために重要な概念である力学系（Dynamical Systems）に関する概説を行う。また，関連する文献調査を実施し、その内容について発表してもらう。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　力学系とは
第２回　１階微分方程式（１）解軌道と安定性
第３回　１階微分方程式（２）分岐現象
第４回　２次元線形系（１）不動点
第５回　２次元線形系（２）２次元の系
第６回　２次元線形系（３）線形代数の復習
第７回　２次元線形系（４）固有値と固有ベクトル
第８回　２次元線形系（５）線形微分方程式の解
第９回　２次元線形微分方程式の相図（１）異なる２つの実固有値と解軌道
第１０回　２次元線形微分方程式の相図（２）複素固有値と解軌道
第１１回　２次元線形微分方程式の相図（３）重複した固有値と解軌道
第１２回　２次元線形微分方程式の分類
第１３回　個体群動態の数理モデリング
第１４回　競争系ダイナミクス
第１５回　餌-捕食者系ダイナミクス
文献紹介に関する発表は講義の進行度合いに応じて実施する。

事前・事後学習

事前：授業内容に沿ってテキストの数式を書き写しながら通読し、疑問点などを整理して、講義中に質問すること（2 時間程度）。
事後：自身で数式を作成したり、そのグラフや相線を描いたりして理解を深めること（2 時間程度）。

テキスト・参考書等

Morris W. Hiesch ら著「力学系入門―微分方程式からカオスまで」共立出版、2007 年

成績評価の方法・基準

小テストやレポート（50%）、文献紹介に関する発表（50%）を総合的に評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
離散アルゴリズム(応用数値解析) 特別研究	1～3	2単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

研究の遂行に必要な専門知識や実践技術などを習得させ、博士論文作成のための研究指導に役立てる。

授業の概要

膨大なデータを処理する際に必要なアルゴリズムの紹介及びその理論的背景を言及し、アルゴリズム設計の重要性について指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第1回　Markov 不等式
第2回　Chebyshev 不等式
第3回　確率的選択アルゴリズム
第4回　Splay 木アルゴリズム
第5回　k-dimensional tree
第6回　NN 探索
第7回　四分木
第8回　R 木
第9回　高次元データ類似検索
第10回　ハッシュ関数
第11回　最近傍探索
第12回　Min Hash
第13回　文字列の類似度
第14回　Skyline 探索
第15回　ストリームデータ探索

事前・事後学習

配布資料や授業内容の予習・復習を行う。

テキスト・参考書等

授業計画に従い、関連資料を案内する。

成績評価の方法・基準

レポート（３０%)、講義中の貢献度（３０%)、発表（４０%）によって評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報ネットワーク（人工知能） 特別研究	1・2・3年	選択	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

情報通信ネットワークの理論及び基本技術、装置などについて学び、シミュレーター上での LAN の設計及び構築能力を身に着けるのを目標とする。

授業の概要

本授業では、テキストの内容について講義および討論を行う。その結果にもとづいて、レポートの作成を行う。また、LAN の設計や構築、運用に関連する文献調査を行い、論文紹介を実施する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第1回　情報ネットワークの基本
第2回　OSI 参照モデル・TCP/IP 階層モデル
第3回　物理層の規格
第4回　スイッチングと VLAN
第5回　IP アドレス・サブネットマスク
第6回　通信プロトコル
第7回　ルーティングプロトコル1
第8回　ルーティングプロトコル2
第9回　ルーティングプロトコル3
第１０回　encapsulation
第１１回　TCP/UDP
第１２回　ネットワーク設計1
第１３回　ネットワーク設計2
第１４回　ネットワーク構築1
第１５回　ネットワーク構築2

事前・事後学習

事前学習：各授業回の見出しはテキストの各章に対応しているので、テキストの該当箇所を通読しておくこと（2時間程度)。
事後学習：授業で学んだことを整理し、各自の研究生活へ役立てていくこと（2時間程度)。

テキスト・参考書等

みやたひろし、ネットワーク技術入門、SB クリエイティブ、2024 年

成績評価の方法・基準

レポート：５０%、試験：５０%

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
データベース特別研究	1・2・3 年生	2 単位	宮崎　武

授業の到達目標及びテーマ

目標　：クラウドコンピューティングにおける大規模なデータベースの設計および構築・運用を学ぶ

テーマ：ビックデータを取り扱うための分散型データベースシステムの実証実験

授業の概要

ディプロマポリシーに基づき、データサイエンスを取り扱う際に必要なビックデータへの対応と、それに合わせた分散型データベースシステムについて調査し、実際にデータベースを構築・運用することでこのような大規模なデータベースにおける様々な技術や問題点などを調査する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　関係データベース①
第 3 回　関係データベース②
第 4 回　分散型データベースの基礎①
第 5 回　分散型データベースの基礎②
第 6 回　分散型データベースの基礎③
第 7 回　分散型データベースの基礎④
第 8 回　ビックデータとデータベース①
第 9 回　ビックデータとデータベース②
第 10 回　実証実験：　分散型データベースの構築①
第 11 回　実証実験：　分散型データベースの構築②
第 12 回　実証実験：　分散型データベースの構築③
第 13 回　実証実験：　分散型データベースによるビックデータの取り扱い①
第 14 回　実証実験：　分散型データベースによるビックデータの取り扱い②
第 15 回　まとめ

事前・事後学習

各回で事前に資料をまとめ、事後に課題やレポートを完成させること。

テキスト・参考書等

増永良文著「リレーショナルデータベース入門　第 3 版」サイエンス社、2017 年

吉岡真治，村井 哲也 著，水田 正弘 編「データサイエンスのためのデータベース（データサイエンス入門シリーズ）」講談社、2020 年

成績評価の方法・基準

授業での発表・課題の作成 60%、実証実験とレポート 40%

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ特別研究	1・2・3	2 単位	ディンダ　プラマンタ

授業の到達目標及びテーマ

本授業は博士後期課程における特別研究として,エッジ AI システムを対象としたﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ研究を中心に,高度な理論理解と実装・評価能力を統合的に育成することを目的とする.
特に,計算資源制約下での深層学習モデル設計,最適化手法,エッジ AI システム向けツール活用する.

授業の概要

本授業は,講義,論文レビュー及び,研究発表を組み合わせて実施する.受講者は,エッジ AI システムに適したﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ手法について調査,実装および評価を行う.実践的なツールおよび開発環境を用い,理論と実装を往復的に検討することで,研究内容の高度化を図る.

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し,それに関連した分野でも高度な学識を備えていること.
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること.
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること.
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること.
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること.

授業計画

第 1 回　ガイダンス・エッジ AI システム
第 2 回　ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞおよび CNN の数理的基礎
第 3 回　エッジ AI システムの構成と特徴
第 4 回　エッジ AI 向けデータ収集・前処理
第 5 回　CNN モデル設計と学習手法
第 6 回　モデル軽量化および量子化技術
第 7 回　エッジ AI 向け推論最適化手法
第 8 回　エッジ AI システムへの実装手法
第 9 回　性能評価
第 10 回　実験結果の分析
第 11 回　改良
第 12 回　ディスカッション
第 13 回　論文レビュー
第 14 回　発表会
第 15 回　第 11 回～第 14 回の復習：テスト

事前・事後学習

事前学習に関しては,各授業回の見出しはテキストの各章に対応しているので,テキストの該当箇所を通読しておくこと.（各回ごとに 2.0h）
事後学習に関しては,授業で学んだことを整理し,各自の研究生活へ役立てていくこと.
第 11 回～第 14 回の学んだ内容を基づき,スライドの作成は完成させること.（各回ごとに 2.0h）

テキスト・参考書等

Elmer Wright（著）「TensorFlow Lite と Edge Impulse による IoT 向け AI：軽量 AI モデルによるインテリジェントエッジデバイスの構築」2025 年
J. Krohn (著)，鈴木 賢治（監修），清水 美樹（翻訳)「Python,TensorFlow で実践する深層学習入門: しくみの理解と応用」東京化学同人,2022 年

成績評価の方法・基準

テスト（40%）,提出物（30%）,発表（30%）により評価する.

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

・演習Ⅰでは、問題意識と研究目的の明確化、既存研究レビューとリサーチギャップの特定、リサーチクエスチョンと仮説導出を到達目標とする。
・演習Ⅱでは、リサーチデザイン、仮説検証プロセスと仮説検証結果をもとにした学会報告と査読論文投稿・掲載を到達目標とする。
・演習Ⅲでは、博士論文の執筆と完成を到達目標とする。

授業の概要

・演習Ⅰでは、企業経営に関連する様々な理論に係る知識を深め、自身の研究を進めるため、各人が自身の研究に関連した文献のレビューを行い、その内容にもとづく報告・討議を行っていく。
・演習Ⅱでは、リサーチデザインと実施に関した研究進捗報告を行うとともに、学会報告と査読論文投稿に関する研究指導を行う。
・演習Ⅲでは、博士論文の執筆と完成のための研究指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

・演習Ⅰでは、研究計画書にもとづく研究テーマと研究全体像に関する議論、問題意識に関する議論、研究の目的と意義に関する議論、既存研究レビューとリサーチギャップに関する議論、リサーチクエスチョンと仮説導出に関する議論を行う。
・演習Ⅱでは、研究方法・リサーチデザインに関する議論、仮説探索・検証プロセスに関する議論、仮説探索・検証の結果に関する議論を行う。また、学会報告と査読論文投稿に関する議論を行う。
・演習Ⅲでは、研究の貢献・独自性に関する議論を行う。また、博士論文の執筆と完成に関する議論を行う。

事前・事後学習

・事前学習では、研究計画に従って事前に論文等を読み、報告できるように準備する（90分/回程度）。
・事後学習では、授業の中で指摘を受けた内容をもとに研究内容を進める（90分/回程度）。

テキスト・参考書等

・授業中に適宜示す。

成績評価の方法・基準

・各回の報告内容（30%）、論文レビュー・研究レポート（20%）、研究進捗状況（50%）により評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	遠藤　真紀

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：「企業経営に関する各課題を戦略視点またはマーケティング視点等で考察し，解決する」
演習Ⅰ：問題意識の確認，研究テーマの検討，参考資料・関連論文等を探索し，研究テーマを明確にする。
演習Ⅱ：研究内容および骨子について検討し，明確にする。論文作成と学会等での研究報告や投稿を行う。
演習Ⅲ：学位論文を執筆し，完成させる。

授業の概要

毎回，研究テーマに関する報告と考察を進め，新たな知見を模索する。
論文構成や内容について討議し，研究テーマを掘り下げ，学位論文の完成のための指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ
・自身の経験等に基づく興味ポイントに関連する資料を探索・収集し，興味のポイントを明確にする。
・興味ポイントを掘り下げ，研究テーマとして絞り込み，明らかにしたい内容について考察し，明確にする。
演習Ⅱ
・研究内容について考察し，検討項目を明確にするとともに，仮説を設定する。
・新たな知見を求め，集めた情報を分析・評価しつつ，仮説の検証を図り，論文の骨子を明確にしていく。
・部分的に作成した論文を学会等で発表していく。
演習Ⅲ
・論文構成を再検討しつつ，内容の考察を進める。学会報告や中間報告等を踏まえ，論文の完成度を高める。
・学位論文をまとめ上げ，論文審査のため最終報告を行う。

事前・事後学習

研究テーマに沿った情報収集と考察を独自に進め，報告や論文としてまとめの準備を進める。
毎回の報告に対する指示・コメント等を受け止め，研究内容を考察・検討する。

テキスト・参考書等

それぞれの研究テーマに対して個別に指示する。

成績評価の方法・基準

論文作成への取り組み状況や毎回の報告および学会報告等の実績を総合的に評価する。
最終的には，まとめ上げた論文についての口述試験および審査会等で内容について評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３年次	各４単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ：研究テーマの具体化・明確化と修士論文のリライトを目指す。

演習Ⅱ：関連学会での研究報告と研究論文の学術誌への掲載を目指す。

演習Ⅲ：研究論文の執筆と学位論文の執筆・完成を目指す。

授業の概要

各自の問題意識を掘り下げることでその研究テーマ化を図り、学位論文となるように論文のスケルトンを構築するとともに、関係学会での報告、掲載論文の執筆についても指導し、学位論文の完成を目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ

研究テーマの具体化・明確化を図り、修士論文に手を入れてリライトし、関連の学会誌への掲載に堪える論文に仕上げるように指導する。

演習Ⅱ

演習Ⅰに引き続いて研究の進め方について指導を行い、関係学会で報告させるとともに、学会報告の内容を基にした学術論文をもう１編完成させることに目標を置いて指導する。

演習Ⅲ

引き続き研究の進め方について指導を行い、３本目の論文を完成させ、これら３編の学術論文を核に学位論文のスケルトンを検討・確立し、関係学会での報告を経て学位論文にまとめ上げるように指導する。

事前・事後学習

指示された研究課題に取り組み、論文の草稿を準備する。

テキスト・参考書等

執筆論文の進捗状況に合わせて指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、口述試験（50%）と研究課題の報告（50%）によって評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３	各４単位	片山 准一

授業の到達目標及びテーマ

博士学位論文作成を目標とする。

授業の概要

各自の研究報告をベースに質疑応答を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰでは、資料収集と先行研究の検討を行いながら、博士学位論文のテーマを決定していく。

演習Ⅱでは、最新の学術論文を自身の論文作成の参考にしていく。

演習Ⅲでは、学位論文完成を目指す。発表と質疑応答を行っていく。

事前・事後学習

最低、２時間以上の予習・復習を必要とする。

テキスト・参考書等

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

報告・質疑応答（５０%）試験（５０%）により評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	鵜崎　清貴

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、博士後期課程演習では、租税理論の最新の考え方と、租税制度・租税政策の特徴・課題を理解し、博士論文を作成することを目的とする。演習の中で行われる租税政策の分析には、経済学的な知識だけでなく、法律・政治・社会・歴史などの多角的な視点が必要である。本授業では、租税政策の理論的な基礎と、日本や他国の租税制度・租税政策の事例を学び、租税政策の評価や提言について考える。

授業の概要

講義では以下のトピックについて講義する。

・租税政策の基本概念と目的
・租税原則と租税効果
・租税制度の国際比較と調整
・租税改革の方向性と課題

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

I.　租税政策の基礎的理論と分析方法の習得と主要論文の熟読
II.　博士論文の各章の執筆と学会発表
III.　博士論文の完成

事前・事後学習

憲法、行政法、民法、刑法、民事訴訟法等の知識が必要である。
各回3時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト・参考書等

金子宏『租税法〔第24版〕』(弘文堂)
松本和彦編（2019)『租税政策論』有斐閣
小林節（2018)『租税政策の経済学』日本経済新聞出版社。
岡田光弘（2017)『租税政策の理論と実際』中央経済社。
石川寛(2019)『租税の経済分析』ミネルヴァ書房。
その他関連論文

成績評価の方法・基準

講義中の発言(50%)と発表レポート(50%)による総合評価。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ

高度に学術的で、かつ知見に富み学会に貢献できるような下記の研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）に沿った博士論文を作成することを目標とする。

授業の概要

毎回の各自の報告とそれに対する参加者全員での議論を中心に行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

（1）演習Ⅰでは、資料収集と先行研究の検討を行いながら、博士号論文のテーマの決定を行い、定期的に研究内容について報告を行い討論していく。その上で、論文の全体構成を完成させる。義務としては、査読論文1本の完成と学会報告1回を目指す。
（2）演習Ⅱでは、引き続き博士論文の作成に取り組む。また、適宜、最新判例や、学術論文、税制改正等について議論することで、博士論文作成に必要な租税制度に関する体系的知見を習得する。さらに、年1のペースで査読論文の作成、学会報告を目指し、計画的に研究を進捗させていく。
（3）演習Ⅲでは、論文の作成方法や研究方法について、各自の特性に応じた個別指導を行い、質的に高いレベルの学位論文の完成を目指す。授業では、問題意識をもって発表とディスカッションを毎回行いながら論文の構成や質を高めていく。

事前・事後学習

各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組み（50%）と研究報告（50%）により評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	福浦　幾巳

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅲでは、論文の作成方法や研究方法について、受講生の特性に応じた個別指導を行い、質の高いレベルの学位論文の完成を目指す。講義では、問題意識をもって発表とディスカッションを毎回行いながら論文の構成や質を高めていく。

授業の概要

基本的には、論文作成の個別指導の時間だと理解して欲しい。具体的には、前もって提出された論文の一部分（章であったり、節であったりする）に赤ペンを入れるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

（1） 1年次は、論文作成の基本を指導するので、租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など各自に事前に課題としてので、その点について、指導する。
（2） 2年次は、論文のテーマ設定を行うので、論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成などを各自行ってもらう。その上での指導となる。
（3） 3年次は、4月から8月までの期間（5ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。毎回の赤ペン指導となる。論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。この時点での注意点は、広い視野からの再検討を各自行うことである。

事前・事後学習

各人の論文テーマに沿った文献等を事前に渉猟し報告することになるが、報告後においては、テーマに即した論証の成果を確認しておくこと。

テキスト・参考書等

各自の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心と研究報告により評価するが、最終的には成果物である論文評価により決定する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	山内　進

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、博士学位の取得を目標とする。論文の作成方法や研究方法について、受講生の特性に合わせた個別指導を行い、質の高い博士学位論文の完成を目指す。講義では、問題意識を持ち、発表、議論を毎回行いながら論文の質を高めていく。

授業の概要

基本は、博士学位の取得を目指した論文の個別指導である。前もって提出された論文の一部には、赤ペンを入れるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

(1) 1 年次は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料収集の仕方と読み方など各自に事前の課題として与え、指導する。
(2) 2 年次は、論文のテーマを設定する。論文のテーマ、問題意識、論証絵の過程を表した目次の作成、序章と終章の作成を各自にしてもらう。そのうえで指導する。
(3) 3 年次前期は、4 月から 8 月までの期間で論文の一応の完成を目指す。毎回、赤ペンにより添削され指導となる。博士論文の最終仕上げとなる。修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。プレゼン、学会発表等により、意見を交換し合い、指導教員の指導を受け、広い視野から各自論文の再検討を行うことは重要となる。

事前・事後学習

各人が博士学位論文のテーマに沿った文献等を事前に収集、把握し報告をする。報告後には、発表した論文の成果を確認すること。

テキスト・参考書等

論文のテーマに沿った文献等を紹介する。

成績評価の方法・基準

論文の日頃の取り組み方と研究論文により評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	山下　壽文

授業の到達目標及びテーマ

博士論文の作成。テーマ設定、論文の構成。

授業の概要

博士論文のテーマ、構成について指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰは、論文のテーマの設定と研究方法について指導を行う。
演習Ⅱは、博士論文に係る文献の収集および整理について指導を行う。
演習Ⅲは、博士論文の執筆について、参考文献および引用など論文作成指導を行う。

事前・事後学習

演習時に指示する。

テキスト・参考書等

演習時に適宜指示する。

成績評価の方法・基準

論文の作成内容

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

情報科学の分野でも近年特に注目を浴びている、ディジタル画像処理技術を詳細に解説する。特にフィルタリング処理や領域分割等を学び、それをディジタル画像処理へ応用しシミュレーションする。その際必要である様々なプログラミング技術（MATLAB 等を含む）もあわせて学ぶ。さらに論文作成に必要な様々なアイデアを討論し、研究の進め方を指導する。

授業の概要

高度なディジタル画像処理技術を詳細に解説する。特にニューラルネットワーク、ファジィ理論、カオス理論等のソフトコンピューティング技術を学び、それをディジタル画像処理へ応用しシミュレーションする。FPGA 等を用いたハードウエア技術もあわせて学ぶ。さらに論文作成に必要な様々なアイデアをさらに討論し、高度な研究の進め方を指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

ディジタル画像処理に関する様々な研究をまとめ、演習・シミュレーションで得られた成果を基に、論文作成のための研究のまとめ方、研究の細部に関する検証、情報科学の分野での直近の研究成果の調査をする。さらに論文作成に必要な様々なアイデアを再検討し、より高度な研究の進め方・まとめ方を指導する。具体的には、研究の新規性・学術的なレベル・社会への貢献等を検証する。

事前・事後学習

事前に自分の研究テーマを決めておくこと。
事後に研究を進める時の課題を文章化すること。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

研究発表・テスト・レポートにより評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：「自然科学の諸問題に対して情報学・工学的アプローチで解決する」

到達目標：①　自身の研究分野に関連する文献を収集・分析し，現状・課題等について整理できる。

②　①の整理した結果を受け，課題解決のための新たな実験方法等を立案・実施することができる。

③　得られた結果について，第三者が理解できるような可視化データの提示および説明ができる。

④　自身の研究について，対外的にその成果を公開できる（国内・国際学会，国内・国際誌等）。

⑤　博士論文および学術誌に投稿可能な文章表現・データ分析ができ，多角的な視点で論旨を展開できる。

授業の概要

工学的手法や情報学的手法は，様々な分野で使用され，新たな技術が次々と創出している．そこで，これらの手法を用いて生体医工学・生体情報学に関連する諸問題にアプローチする研究を実施する．具体的には，組織工学に基づく材料設計，in vitro 実験，生体工学に基づく数値解析などである．また，様々な実験手法などを主体的に提案・実施し，修士論文よりもさらに多角的な評価，分析を実施する．

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習 I は博士課程 1 年次，演習 II は博士課程 2 年次，演習 III は博士課程 3 年次に開講される．これらの科目を通し，到達目標を達成するために下記について実施する。

[1] 自身の研究分野に関連する文献（和文誌，英文誌）を収集し，自身の担当回で当該文献に関する発表を履修生に対して行う．担当回以外では，担当院生の発表に対して，質疑を行う。

[2] 自身の研究内容について，その独創性や重要性について明確化する。

[3] 適切な実験計画を立て，それを適切かつ計画通りに実施する。

[4] 自身の研究に対して進捗報告を行う．他の院生は報告内容に対して質疑を行う。

[5] 得られた実験データを可視化し，院生全員で結果について議論し，その妥当性や課題等を明確にする。

[6] 自身のテーマに関連する学会等で発表するための原稿・発表資料の作成を行い，発表する。

[7] 自身のテーマに関連する分野の国内誌・国際誌に投稿する。

[8] 博士論文の執筆，推敲，および予備審査・公聴会へ向けた資料作成を実施する。

事前・事後学習

事前学習：報告資料の作成・発表準備，文献調査，実験の実施等を実施する（2時間以上）。

事後学習：教員・院生の指摘事項に関して整理し，必要に応じて研究内容の推敲を実施する（2時間以上）。

テキスト・参考書等

自身の研究テーマに関する文献を調査・収集し，それらを使用する。

専門書については，研究内容を踏まえて必要に応じて教員が提示する。

成績評価の方法・基準

演習 I・II では，報告内容，文献紹介等と学会発表・学術誌投稿の実績等で評価する。

演習 III では，演習 I・II と同様の内容と博士論文および予備審査，公聴会で評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ：研究テーマの具体化・明確化と修士論文のリライトを目指す。

演習Ⅱ：関連学会での研究報告と研究論文の学術誌への掲載を目指す。

演習Ⅲ：研究論文の執筆と学位論文の執筆・完成を目指す。

授業の概要

各自の問題意識を掘り下げることでその研究テーマ化を図り、学位論文となるように論文のスケルトンを構築するとともに、関連学会での報告、掲載論文の執筆についても指導し、学位論文の完成を目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ

研究テーマの具体化・明確化を図り、修士論文に手を入れてリライトし、関連の学会誌への掲載に堪える論文に仕上げるように指導する。

演習Ⅱ

演習Ⅰに引き続いて研究の進め方について指導を行い、関連学会で報告させるとともに、学会報告の内容を基にした学術論文をもう1編完成させることに目標を置いて指導する。

演習Ⅲ

引き続き研究の進め方について指導を行い、学位論文のスケルトンを検討・確立し、関連学会での報告を経て学位論文にまとめ上げるように指導する。

事前・事後学習

指示された研究課題に取り組み、論文の草稿を準備する。

テキスト・参考書等

執筆論文の進捗状況に合わせて指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、口述試験（３０％）と研究課題（７０％）の報告によって評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	宮﨑　武

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：「情報工学・自然科学分野の諸課題に対する課題を解決する」

到達目標：

それぞれの研究テーマについて調査し、得られた課題について実験や理論的な考察によって解決を試みる。

その結果を国際会議発表・学会誌に投稿できるように整理し、それらを博士論文にまとめる。

授業の概要

博士後期課程では自ら研究を進め、論文をまとめる力が求められる。本演習では、博士前期課程や修士論文をまとめる過程を元に自ら研究しそれを後続に伝達する力を積み上げられるよう必要な指導と行う。それらの過程を通して、複数の学会発表や論文投稿を経て博士論文を完成させることを目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ：

修士論文やこれをまとめるのに用いた研究をベースに博士後期課程で取り組むテーマを模索し、これに対する研究を進める。その成果を学会発表や論文誌掲載が行えるように共に研究を進める。

演習Ⅱ：

博士後期課程として進めるべき研究テーマを確立し、現状の研究成果と目標とする研究到達点までの過程を把握し以降博士論文をまとめるまでに必要な研究課題やそれに対する取り組み、解決方法の模索を行う。

演習Ⅲ：

博士後期課程の最終学年として博士論文にまとめることを前提に必要となる研究をすすめその成果を学会発表や論文誌掲載できるように目指す。そして演習Ⅰ・Ⅱの内容と併せて博士論文の完成と学位取得を目指す。

事前・事後学習

事前：　演習内容の文献やWebでの検索を行って情報を収集・整理すること（1～2時間程度）。

事後：　演習内容をまとめ、課題に対する資料やプログラムの作成などを行うこと（1～2時間程度）。

テキスト・参考書等

中村 行宏「図解即戦力 情報セキュリティの技術と対策がこれ1冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021

光成 滋生「図解即戦力 暗号と認証のしくみと理論がこれ1冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021

結城 浩「暗号技術入門　第3版　秘密の国のアリス」SBクリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

演習Ⅰ・Ⅱでは論文や学会発表を行う事（60%）、共同研究者と研究を進める事（40%）の2点を評価する。

演習Ⅲでは、演習Ⅰ・Ⅱの内容（40%）に加え、研究成果をまとめ博士論文を提出する事（60%）を評価する。

□ 専任教員

氏　名	担　当　科　目　【青字：博士後期課程科目】
麻 生　隆 史	情報ﾒﾃﾞｨｱ特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 情報ﾒﾃﾞｨｱ特別研究，情報・信号処理特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
小 川　雄 平	国際経営特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 国際経営特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
井 上　善 海	経営管理特論，中小企業特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 経営管理特別研究，中小企業特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
鵜 崎　清 貴	財務管理特論，税法学特論Ⅴ(消費税法・手続法・争訟法)，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 財務管理特別研究，税法学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
遠 藤　真 紀	経営戦略特論，ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 経営戦略特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
片 山　准 一	経営学特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 経営学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
末 永　英 男	税法学特論Ⅲ(法人税法)，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 税法学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
平 山　誠一郎	税法学特論Ⅰ(租税法総論)，税法学特論Ⅱ(所得税法)，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ
福 浦　幾 巳	演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 税法学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
山　内　進	税務会計特論，税法学特論Ⅳ(相続税法)，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 税務会計特別研究，税法学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
山 下　壽 文	会計情報学特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 会計情報学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
吉　野　正	会社法特論，民事・行政訴訟特論
荒 平　高 章	情報科学特論，ﾃﾞｰﾀ解析特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 情報科学特別研究，応用ﾃﾞｰﾀ解析特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
車　炳 圻	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ特論，離散ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ特別研究，離散ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
宮　﨑　武	情報ｾｷｭﾘﾃｨ特論，ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ特別研究，ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
ディンダ プラマンタ	ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ特別研究
中 島　直 樹	人工知能特論

□ 非常勤講師

氏　名	担　当　科　目　【青字：博士後期課程科目】
伊 藤　龍 峰	会計監査特論 会計監査論特別研究
男 澤　智 治	ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ特論
加 来　祥 男	日本経営史特論 日本経営史特別研究
岸　川　洋	経営情報ｼｽﾃﾑ設計特論
丹 羽　崇 之	民法特論 民法特別研究
黄　在 南	経営組織特論
福 山　博 文	経営科学特論

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表≪省令で定める単位数等の基準数相当分≫

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
秋吉 浩志	デジタルビジネス論	共通	2年生 後期	選択	2	デジタルビジネスに関わっている、例えば企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐にわたる実務経験を中心に講師が講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。 特に実務的なグループワークが重要である。	本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づいた授業を展開する。前半はデジタル社会におけるWebサービス・広告＆マーケティングの基礎を展開し、中盤は広告計画、実践、後半はWebサービスの変化をより具体的に説明を行う。さらにはWebサービスを通じた社会的な問題もとりあげる。
秋吉　浩志 中島　直樹 宮﨑　武	ｅスポーツ概論	共通	2年生 後期	選択	2	eスポーツ業界で企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐にわたる実務経験のある講師がオムニバスで講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。	欧米で小規模コミュニティのイベントとしてスタートし、プロ化、そしてグローバル＆拡大ビジネス化したｅスポーツの成立から発展の歴史を詳しく学び、海外の流れと、その動きに乗り遅れたにもかかわらず飛躍的な拡大路線 を取り始めた日本の状況を紹介する。ｅスポーツ主要競技の流れについても学び、ｅスポーツの特徴も理解す る。メディア、行政、法律、教育分野、既存のフィジカルスポーツ団体等を巻き込みながら日々益々拡大する。さらにはeスポーツを取り巻く情報システムやゲームプログラミングの世界についても紹介したい。そして、ｅスポ ーツの過去と現在の理解を深め今後についての考察を行えるようにすることを目的とする。 また、建学の精神や特にカリキュラムポリシーに沿って、IT業界で活躍できる広く多様性ある人材づくりを目指すものである。
井上　善海	経営学総論Ⅰ	共通	1年生 前期	必修	2	企業経営者１１年 経営コンサルタント９年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略や事業計画作成支援など，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・「経営学総論Ⅰ（経営学入門）」では，企業と社会についての基本的な視点から，企業経営に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについても考察していきます。 ・テキストを基に，伝統的な理論から現代の経営学まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化しています。理論だけでなく，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。 ・なお人数制限はありませんが，履修人数が多い場合は2つの教室を使い，片方が教室で対面授業，もう片方が教室でオンライン授業となる事があります（学籍番号で割り振りし，対面とオンラインは交互に入れ替えます）。
	経営組織論	共通	2年生 後期	選択	2	企業経営者１１年 経営コンサルタント９年	企業の経営戦略や経営組織等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	日常生活の中で、私たちは様々な「組織」に関わり生活をしています。しかし、日常的経験があるが故にかえって深く考えることをせず、その結果として、本質的な理解が妨げられることも多いのではないでしょうか。 この授業では、本学の建学の精神をふまえつつ、そのなかのカリキュラムポリシーに基づき、経営組織論の概念をもとに個人、集団、組織全体についての考察を進め、現代社会における「組織」の諸側面を深く理解すると同時に、組織における個人・集団の振る舞いや、経営組織の活動の背後にある意味を洞察する力を磨いていくことをめざします。さらには組織はすでに市場との密接な関係が深まり、消費者も組織の中に組み込まれています。そのような仕組みを「気づかせる」ことに目的を持っています。
鵜崎　清貴	専門ゼミⅠ （企業ファイナンス）	共通	3年生 通年	必修	4	金融機関　非常勤監査役 （会計・税務担当 5年）	会計及び税務に対する戦略	このゼミでは，企業ファイナンスの基礎を学びます。 その基礎とは「評価」を意味します。「評価」とは，経営者あるプロジェクトを実行するのか，買収するのかを，いかに決定するか，ということです。この決定を行うために，「資本予算」，「投資」，そして「資本構成」の主要な３つの問題を考察します。資本予算（Capital Budgeting）とは，あるプロジェクトを実行する際，そのプロジェクトがどのような価値があるのかを検討することです。投資（Investment）とは，投資家がどのようなプロジェクトに投資するのか。また，いかに投資ポートフォリオを選択するかということです。資本構成（Capital Structure）とは，経営者がプロジェクトに対する資金調達をいかに行い，その資本構成が良いのか否かを考察するものです。 これらの基礎を用いて，社会や企業で生じている諸問題を考察します。
遠藤　真紀	経営学総論Ⅰ	共通	1年生 前期	必修	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略や事業計画作成支援など，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・「経営学総論Ⅰ（再履修）」では，企業と社会についての基本的な視点から，企業経営に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについて学習します。 ・テキストを基に，伝統的な理論から現代の経営学まで，その形成過程や今日的課題について学習を進めます。 ・なお再履修クラスでは，毎回，小論文を作成する事により，日本語力・文章作成能力の向上を目指すとともに，時間内にテキストを読み込み，具体的な内容を自身で理解・考察し，まとめていく作業を行っていきます。
	基礎ゼミ （ベンチャー・流通マーケティング）	共通	2年生 通年	必修	4	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	テーマ：ベンチャー・流通マーケティング ・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。 ・ベンチャー・流通マーケティングなど「企業経営」に係わる分野だけでなく，社会人として必要な基礎知識や思考能力など，幅広い分野を基礎から学習します（読む・書く・話す・聞くなどコミュニケーション能力の訓練等）。 ・名刺・自己紹介ツール，イベント企画書，各種計画書等の作成，PDCAサイクルの実践等，商業施設見学，展示会やイベント等の参加，人脈（ネットワーク）の作り方，会社の設立（起業）の仕方，お金の儲け方（マーケティング・事業運営），お金の集め方（資金調達），事業計画の作り方，売上見込みの作り方，一流企業への就職・独立開業して成功する・幸せな人生をおくる方法など ・毎回，自分の考えを述べてもらうなどのディスカッション形式で進めます。
	専門ゼミⅠ （実践経営学）	共通	3年生 通年	必修	4	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	テーマ：実践経営学 ・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。 ・企業の経営戦略やベンチャー・流通マーケティング分野など「企業経営」に係わる知識だけでなく，社会人として必要な基礎知識や思考能力など，幅広い分野を学びます。（業界，業種，職種等々の研究や働き方についての考察含む）。 ・ビジネスプランの作成とコンテスト等への応募および発表会等への参加，商業施設見学，ビジネス関連展示会や地域イベント等への参加，人脈（ネットワーク）の作り方，会社の設立（起業）の仕方，お金の儲け方（マーケティング・事業運営），お金の集め方（資金調達），事業計画の作り方，売上見込みの作り方，一流企業への就職・独立開業して成功する・幸せな人生をおくる方法など。 ・毎回，自分の考えを述べてもらうなどのディスカッション形式で進めます。

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
遠藤　真紀	専門ゼミⅡ （実践経営学）	共通	4年生 通年	必修	4	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	テーマ：実践経営学 ・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。 ・企業の経営戦略やベンチャー・流通マーケティング分野など「企業経営」に係わる知識だけでなく，社会人として必要な基礎知識や思考能力など，幅広い分野を学びます。（業界，業種，職種等々の研究や働き方についての考察含む）。 ・ビジネスプランの作成とコンテスト等への応募および発表会等への参加，商業施設見学，ビジネス関連展示会や地域イベント等への参加，人脈（ネットワーク）の作り方，会社の設立（起業）の仕方，お金の儲け方（マーケティング・事業運営），お金の集め方（資金調達），事業計画の作り方，売上見込みの作り方，一流企業への就職・独立開業して成功する・幸せな人生をおくる方法など。 ・毎回，自分の考えを述べてもらうなどのディスカッション形式で進め，最終的にはそれらを卒業論文としてまとめます。
大多　正人	キャリアデザインⅢ	共通	2年生 前期	選択	2	担当講師は、大学でのキャリア教育や就業支援に長年携わるとともに、企業の人事採用コンサルタントとしても豊富な実務経験を有しています。その経験をもとに、学生には社会人として必要な基礎力やビジネス現場での実践的視点を伝えます。本授業では、学生が自らの将来をより充実させるための意識と関心を育むことを目的としています。第3回では外部講師を招き、オムニバス形式で専門家による講義を実施します。実務経験に基づく助言を通じて、学生が自分の強みを理解し、主体的にキャリアを形成する力を養うことを目指します。	担当講師は、人事採用コンサルタントとしての経験を生かし、学生が将来の進路に向けた効果的な準備を行えるよう指導します。授業では、自己分析や企業研究を通して履歴書・エントリーシート作成までの流れを体系的に学びます。これにより、学生は自身の強みを理解し、就職活動に自信を持って臨む力を身につけます。さらに第3回では外部講師によるオムニバス授業を実施し、実社会で役立つキャリアデザインの知識とスキルを学びます。こうした実践的な学習を通じて、理想のキャリア実現へ向けた確かな一歩を踏み出すことを目指します。	就職活動の成功の鍵は、ルールと流れを徹底的に理解し、自己整理と企業が求める人物像を把握することにあります。自身の能力（仕事におけるスキル）、興味（やりたい仕事）、価値観（譲れない条件）を考慮に入れ、キャリアの方向性を明確にし、雄気堂々とした態度で就職活動に臨む準備を整えます。希望する業界・企業を絞り込み、事前に研究を行います。同時に、自己分析を通じて履歴書やエントリーシートをしっかりと準備し、アピールポイントを明確に示します。これにより、自分の強みを最大限に引き出し、企業に対して自信をもってアプローチすることが可能となります。自己分析と企業研究の徹底的な実践を通じて、充実した就職活動を展開し、理想のキャリアを築く一歩を踏み出します。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーⅠ（建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと）とカリキュラムポリシーⅥ（キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること）にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。
	キャリアデザインⅣ	共通	2年生 後期	選択	2	担当講師は、大学でのキャリア教育・就業支援に長年携わるとともに、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を生かし、学生には社会人として必要な洞察力や基礎力を指導します。第3回には、新卒応援ハローワークでの実務経験を持つ外部講師が登壇し、就活マナー知識を共有します。後半では、SPI試験に対応した数理・論理能力問題を扱い、高等学校などでの指導経験を持つ講師が実践的なスキルを伝授します。これにより、学生は就職活動に必要な実践的能力を効果的に身につけます。	本授業では、就職活動で成果を上げるための実践的ステップを学びます。就職活動のルールや流れを理解し、自己整理や企業研究を通じて求められる人物像を把握します。グループディスカッションや模擬面接を通じて、人間力と自己表現力を高め、魅力的なアピール方法を磨きます。第6回～12回では、外部講師による専門的指導を実施し、SPI試験の数理・論理能力問題を中心に解説します。学生は苦手意識を克服し、具体的な問題解決を通じて自信と実践力を養い、就職活動の成功を目指します。	就職活動において成功するためには、まずルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が望む人物像を明確に把握することが不可欠です。自身の仕事におけるスキルややりたい仕事に対する興味、そして譲れない価値観を考慮に入れ、後半にはグループディスカッションと模擬面接を通じて人間力を向上させることを目指します。他者との意見交換を通して意見を発信し、相互理解を深めることで、コミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じては自己表現力を養い、面接において魅力をアピールする方法を習得します。さらに、SPI3の演習では、自己の基礎能力を視覚化し向上を目指します。自身の強みや改善が必要な点を見つけ出すことで、より効果的な学習とスキル向上の方法を理解し、着実な成長を遂げていきます。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーⅠ（建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと）とカリキュラムポリシーⅥ（キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること）にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。
	キャリアデザインⅤ	共通	3年生 前期	選択	2	担当講師は、大学でのキャリア教育・就業支援に長年携わるとともに、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。その豊富な実務経験を生かし、学生に社会人として必要な洞察力や基礎力を指導します。授業では全体を通じて、就職ナビサイトの企業担当者を招き、ナビサイトの利活用法、インターンシップなど就職活動の最新トレンドや傾向・対策を学ぶことで、学生がインターンシップの重要性を理解し、主体的にキャリア形成へ踏み出す契機とすることを目的としています。	担当講師は、大学でのキャリア教育と企業の人事採用支援の双方に携わるキャリアコンサルタントとして、実践的な就業支援を行っています。授業では、進路決定に役立つ最新情報を提供し、社会人として必要な基礎力や洞察力を養います。就職ナビサイト企業の担当者を招き、就職ナビサイトの効果的活用や企業研究を指導します。さらに第6回～第9回ではSPI試験対策を実施し、学生が就職活動に自信を持って臨めるよう支援します。これらを通じて実践的スキルと即戦力を育成します。	進路・就職活動の総仕上げに焦点を当てたこの講義では、模擬面接や自己PRの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨くことが重要とします。学生は自らが主体となり、進路や就職活動において必要なスキルや知識を獲得し、実践的な経験を積んでいきます。このプロセスを通じて、学生たちは自己成長を促進し、ひとりで自分の進路や就職活動を堂々と進める自信を身につけます。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーⅠおよびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。
	キャリアデザインⅥ	共通	3年生 後期	選択	2	担当講師は、大学でのキャリア教育・就業支援に長年携わるとともに、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を生かし、学生に社会人として必要な洞察力や基礎力を指導します。第3回～第5回では、企業の経営者や人事担当者など、多様な実務経験を持つ外部講師を招き、自己分析、企業・業界研究、採用試験対策など就職活動に必要なスキルを講義します。学生が上場・大手企業の内定獲得を目指し、実践的な知識と行動力を効果的に身につけることを目的としています。	担当講師は、大学でのキャリア教育と企業の人事採用支援の両面で豊富な経験を持つキャリアコンサルタントです。上場・大手企業の採用傾向を踏まえ、学生に進路選択の視点や社会人基礎力を指導します。第3回～第5回は外部講師によるオムニバス授業で、企業が求めるスキルや就職試験対策を学びます。さらに、第11回～第14回では集団・個人面接対策を実施します。これらを通じて学生は実践的スキルを高め、自信を持って就職試験に臨む力を養います。	この講義では、国内の上場・大手企業への就職を志し、更に上位の企業から内々定を勝ち取るスキルを身につけます。授業では、就職活動に不可欠な情報やスキルを習得しますが、その際には国内の上場・大手企業を志望・受験する条件があります。履歴書やエントリーシートの作成、面接対応など、実践的な就職活動の準備が行われ、求められるスキルや知識を上場・大手企業の人事担当者から学びます。自己分析を進め、自らの強みを明確に把握することも重要です。最終的な目標は、理想の企業から内々定を獲得することであり、学生たちはその目標に向かって決意を持ち、積極的に進展していきます。授業は定員制で、上場・大手企業への志望と受験が求められるため、限られた枠内で目指す企業への内定獲得に向けて効果的なスキルを養います。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーⅠおよびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。
桑原　重雄	情報倫理	共通	1年生 後期	必修	2	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	企業システム開発・運用に携わった経験を活かし、現場で実際に発生した情報漏洩トラブル、ハードウェア障害、アクセス権限管理、インシデント対応フローなどをわかりやすく紹介します。また、データ管理・セキュリティ・コンプライアンスに関する実務視点の注意点を解説する。	インターネット・SNS・AIが急速に進展する現代社会では、個人・企業ともに情報の扱い方を誤ると重大なトラブルにつながります。本授業では、改訂3版『情報倫理』（技術評論社）を教科書として、個人情報保護、著作権、情報セキュリティ、AI倫理などの基本概念を体系的に学びます。さらに、SNS炎上事例、企業の情報漏洩、サイバー犯罪など、身近で実際に発生したケースを取り上げ、「なぜ問題が起きるのか」「どうすれば防げるのか」を考えることで、大学生活のみならず将来のビジネス現場で求められる倫理的判断力を身につけることを目的とします。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われます。
	情報システムの開発と管理	共通	3年生 後期	選択	2	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	プロジェクトマネージャーとして多数のシステム開発プロジェクトに従事した経験を踏まえ、実務で不可欠となる要件整理の技法や、曖昧な表現の排除、外部設計における論理構造の作り方、試験工程での品質担保の視点など、現場でしか得られない知見を講義に反映する。	本講義では、要件定義から外部設計・内部設計・試験工程・移行計画・運用保守に至るまで、情報システム開発の一連の流れと関連する管理手法を体系的に学ぶ。特に、要件定義書、基本設計書、外部設計書、試験項目表など、実務で使用されるドキュメントの構造と作成方法に焦点を当て、企業で通用する文書作成能力と分析力を育成する。また、スケジュールや見積りの考え方、変更管理、障害管理、ナレッジマネジメントといったプロジェクトマネジメント領域についても取り扱い、開発の上流から下流までを総合的に理解できるよう構成している。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われる。

担当教員名	科目名	学科	履修学年 時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
桑原　重雄	計算機システム論	共通	1年生 後期	選択	2	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	企業システム開発に従事した経験をもとに、教科書の概念が実務でどのように活用されているかを補足する。特に「業務プロセス」「SCM」「クラウド活用」など、現場感覚を取り入れながら講義を展開する。抽象概念ではなく、実際にどのように企業が情報システムを使い、どのような課題に直面するかを理解できるようにする。	本講義では、計算機システムを「企業経営を支える情報システム」として捉え、経営活動においてどのように情報技術（IT）が活用されているかを体系的に学習する。特に、教科書『経営情報システム 第5版』の内容を基礎とし、企業経営に不可欠な情報システムの構造、クラウド・デジタル技術の活用、ビジネスモデルの変革、デジタルマーケティング、サプライチェーン管理、ナレッジマネジメント、メタバース・ブロックチェーン等の最新動向まで幅広く扱う。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われる。
	専門ゼミⅠ （企業DXとシステム戦略）	共通	3年生 通年	必修	4	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	これまで担当してきた基幹系システムやDX関連プロジェクトの経験を踏まえ、企業が直面する課題設定の方法、業務分析の進め方、システム導入における計画立案などを、実際の現場で行われるプロセスを踏まえて指導する。	企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を実現するための戦略的視点とシステム設計思考を学ぶ。企業研究・業界分析・IT戦略策定などを通じて、ビジネスと情報技術を統合的に捉える力を養います。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われます。
澤井　雅明	キャリアデザインⅠ	共通	1年生 前期	必修	2	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策 立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	本授業では、自己理解を深め、多様な社会に触れながら、自分の可能性を広げ、意思決定する力を育てます。これまで触れたことがない世界を知り、自分の興味に範囲を広げ、自らのキャリアをデザインする基礎を築きます。 この講座では、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシーⅠとⅥも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。
	キャリアデザインⅡ	共通	1年生 後期	必修	2	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策 立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	前期で学んだ多様な社会を踏まえ、自分を生かす場所を探し、その場所にアピールする準備を進めます。自分を知り、新たな場所を求めに行く体験に進む基礎を築きます。
	インターンシップ実習	共通	1･2年生 通年	選択	2	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策 立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	この授業では、夏季休業期間中（8/9～9/18）、冬季休業期間中（12/26～1/7）の5日以上、大学指定する企業・事業所、或いは学生自ら選び、担当講師から承認を得られた企業・事業所等で実践的なインターンシップを通じて、民間企業などの多様で積極的な就労体験や実務経験を積むことが求められます。この実践的な教育により、大学内の理論だけでは得られない実社会への興味や関心を高め、キャリア教育の重要性を理解します。学生たちは学習意欲や就業意欲を向上させつつ、今後の進路選択や就職活動に活かすことが期待されています。この期間を通じて得た経験は、単なる職場体験だけでなく、将来の職業選択やキャリア形成において有益な知見を提供し、学生たちの成長に寄与します。授業の目的は、単なる学問だけでなく、実際の職場環境での学びを通じて、学生たちがより充実した大学生活を送り、将来の社会で活躍するための基盤を築くことにあります。この1年間の授業はディプロマポリシーⅢに向け、カリキュラムポリシーⅠ及びⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を修得し、自己成長を遂げます。
	マネージメント科学	共通	2年生 前期	選択	2	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	ディプロマポリシーに基づき、ビジネスシーンにおいて求められるマネージメントの基本についての知識や汎用的技能を身に付けます。幅広いマネージメントの領域において、本講座では特に自身とチームのマネージメントに注目し、ケースを用いて身近な問題に応用して演習をすることで理解を深めていきます。
	経営情報学Ⅰ	共通	2年生 前期	必修	2	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	本学の建学の精神と３つのポリシーを基盤とした、経営情報学の全体像を把握するための重要な科目です。経営環境の変化や情報技術の進展により、さまざまな企業の活動の中で情報通信技術がどのように活用されているかを学び、企業の目標達成への貢献について理解を進めていきます。
	経営情報学Ⅱ	共通	2･3年生 後期	選択	2	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	本学の建学の精神と３つのポリシーを基盤とした、経営情報学の全体像を把握するための重要な科目です。経営環境の変化や情報テクノロジーの進展とともに、情報通信技術の活用における企業事例を解説することで、経営情報学を理解していく上での重要なポイントを学習します。
	基礎ゼミ （ビジネス×デジタルの最前線を学ぶⅠ）	共通	2年生 通年	必修	4	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策 立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	進化の激しいデジタル技術は、ビジネスに大きな影響を与えています。本ゼミでは、デジタル技術がどのようにビジネスの運営・管理・戦略に影響を与えているかについて分析し、企業がデジタルツールやデータを用いて目標を達成しようとする方法について学びます。 世の中の様々な商品・サービスに利用されているデジタル技術に焦点を当て、どのようにイノベーションを創出し、ビジネスを成功に導こうとしているのかについて、具体的な事例を通じて理解を進めることが本ゼミの目標となります。 この1年間の授業はディプロマポリシーⅢに向け、カリキュラムポリシーⅠ及びⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を修得し、自己成長を遂げます。
	専門ゼミⅠ （経営を変えるデジタル戦略を学ぶ）	共通	3年生 通年	必修	4	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策 立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	本ゼミでは本学の建学の精神、3つのポリシーを踏まえ、デジタル技術が経営戦略をどのように進化させ、企業の競争力を高めるかについて調査・分析し、デジタル化が顧客との関係、サプライチェーン、意思決定プロセスなどに与える影響を学びます。企業が成長を果たすためのデジタル戦略を実践的に学ぶことで、皆さん自身が経営戦略を立案し、提言ができるようになることが本ゼミの目標となります。
	専門ゼミⅡ （経営を考えるデジタル戦略を学ぶ）	共通	4年生 通年	必修	4	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策 立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	本ゼミでは本学の建学の精神、3つのポリシーを踏まえ、デジタル技術が経営戦略をどのように進化させ、企業の競争力を高めるかについて調査・分析し、デジタル化が顧客との関係、サプライチェーン、意思決定プロセスなどに与える影響を研究します。その研究結果として、本学の必修である卒業論文の執筆を円滑に進め、最終成果物としての卒業論文を完成させることが目的である。これまでに身に付けた専門的知識をもとに、創造的で論理的な思考力を高め、社会の様々な事業、とりわけデジタル技術を利用した経営戦略に関する問題に触れることで、本学ディプロマシーⅤに示すような、広範囲に対応できる複眼的な知識や理解、汎用的な技能を獲得したうえで、それらを総合的に活用することによって、自ら立てた目標や課題を達成することにつなげていく。
平山　誠一郎	専門ゼミⅡ （租税法の専門知識の習得）	共通	4年生 通年	必修	4	国税組織において、税法の解釈・適用に関する審理事務や課税処分に対する不服審査事務などを含む税務の実務経験（35年）を有する。	実務経験に基づき、税法理論と税法を執行する税務行政の両面から「税」をとらえ講義を行う。	租税法の基礎理論、租税実体法、租税手続法及び租税争訟法を概観する。その上で判例の見方を学び、主要な租税争訟事例を研究する。 なお、この科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行う。
吉野　正	日本国憲法	共通	1年生 後期	選択	2	弁護士実務５０年の経験の中で多くの憲法事案を取り扱ってきた。	実際に憲法が適用される事例をあげて、憲法の考え方を教示する。	めまぐるしく発展する現代社会の中で生じてきた憲法のさまざまな論点を理解することを通じて、憲法の基本的な知識としくみについて解説します。この講義では、特に日本国憲法において実際の社会で生じた具体的な事件に焦点を当てながら皆さん自身の立場や価値観を見つめなおす機会にしてもらいたいと思います。 教職課程を目指す受講者には、教育者として学生のもつ人権に配慮することの意味と役割について理解することができるようになることを求めます。 なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。
学科共通　計					**74**			

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
鵜崎　清貴	財務管理	経営情報	2年生 後期	選択	2	金融機関の非常勤監査役 (会計・税務担当，5年)	企業の税務・会計関連面からの企業戦略	財務管理の諸問題を資本調達論の観点から商法（会社法）を関連付けて論じる。財務管理を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・講義する。
	税法学	経営情報	3･4年生 後期	選択	2	金融機関の非常勤監査役 （会計・税務担当，5年）	コーポレートガバナンス，会計，税法，ファイナンス	「租税は、…およそ民主主義国家にあっては、国家の維持及び活動に必要な経費は、主権者たる国民が共同の費用として代表者を通じて定めるところにより自ら負担すべきものである」（大島判決（最判：昭和60年3月27日判決））とされている。税とは何か、税による国家の活動にはどのようなものがあるかを学ぶ。 また、身近な税である所得税・消費税を取り上げ、今後学生諸君が実生活に出てどのようにかかわっていくかなどを学ぶ。 なお、所得税の確定申告書を作成するなど実践的な学習を行う。 国税庁ホームページにアクセスして、所得税の申告書作成システムを利用した所得税確定申告書の作成模擬演習を行うなど、電子機器を取り入れた授業も予定している。
井上　善海	経営学総論Ⅱ	経営情報	1年生 後期	選択	2	企業経営者１１年 経営コンサルタント９年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 本授業は、経営戦略、イノベーションの知識の理解と習得を目的とします。企業経営の究極の目的は、競合する企業に勝つことではなく、将来にわたって企業を存続・成長させることにあります。企業の戦略は、軍事用語の戦略から派生したものですが、必ず勝てる方法などありません。だとすれば、負けないための知識を身につけ、負けない戦い方をすれば良いのです。しかし、未だ、勝ちに行く戦略を採っている企業がなんと多いことか。基本的に企業はつぶれるもの。だから英知を駆使して、長期的に存続・成長させる戦略を考え、実行しなければなりません。 負けない戦略は守りの戦略ではありません。負けない態勢をつくり、未来を創り出すイノベーションを起こす戦略です。本授業で紹介する事例は全社、負けない態勢をつくり、イノベーションを起こしている企業です。それも、成長している産業ではなく、成熟または衰退している産業においてイノベーションを起こし成長している企業なのです。
	中小企業論	経営情報	2･3年生 前期	選択	2	企業経営者１１年 経営コンサルタント９年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・中小企業は，わが国において企業数および雇用される従業員数とも圧倒的多数を占め，またわが国産業の競争力を下支えしています。IT人材（高度情報化人材）として必要な知識として，大企業との格差問題や下請問題のみならず，中小企業が社会や地域経済に寄与していることについて考察していきます。 ・テキストだけでなくビデオ教材等を活用し，また実務経験を踏まえた具体的な事例を交え，構造的・政策的・実践的な議論を展開していきます。
遠藤　真紀	ベンチャービジネス入門	経営情報	1年生 前期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・過去の実務経験を基に，ベンチャービジネスに限らず社会やビジネスそのもの，および企業の目的・意義について議論を展開していきます。 ・ビデオの資料等を活用し，身近な事例を題材に講義を進め，働く事の意義やベンチャー企業および社会そのものに関心を持ってもらい，IT人材（高度情報化人材）としての基本的な知識の修得や企業と自分との関係を知ろうとする積極性を養っていきます。卒業後，社会に出て「何をすべきか」、「自分ならどうするか」という自らの答えを導き出せる思考能力を培っていきます。
	経営戦略論	経営情報	1年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・IT人材（高度情報化人材）として必要な，経営戦略に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に，伝統的な理論から現代の戦略論まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。ビデオの聴講を含む演習等も行います。 ・現代企業の経営戦略が，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。
	ベンチャー企業論	経営情報	2･3年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・ベンチャーだけでなく，ビジネスや経営は，実際に行ってみないと本当の理解はできません。しかしテキストによる基本理論の理解やビデオ・資料等による演習を通じて疑似体験する事は可能です。 ・これまでの実務経験を踏まえ，企業経営が身近に感じられるような講義を行い，IT人材（高度情報化人材）として必要なベンチャー企業に関する基本的な知識および自身と社会や企業との関わりについて深く知ろうとする積極性を養っていきます。卒業後，社会に出て「何をすべきか」、「自分ならどうするか」という自らの答えを導き出せる思考能力を培っていきます。
	ビジネスプランニング	経営情報	3･4年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。 ・新しく企業やビジネスを興す時，製品・サービスの市場性の見きわめ（市場調査・需要予測などの外部環境分析）や自社（自分）の能力評価（内部環境分析）が必要です。過去の実務経験を踏まえ，アイディアの出し方やまとめ方および事業計画の作成方法をテキストやワークシート等を使って講義します。なお週一回の断片的な講義では，考えがまとまらなかったり，作業が進まなかったりするため，例年，土日を使った集中特別講義を行っています。 ・最終的には，IT人材（高度情報化人材）として，自分のビジネスアイディアを事業計画書にまとめあげる能力を養い，その内容を発表するなど，プレゼンテーション能力を培っていきます。
桑原　重雄	プログラミング入門	経営情報	2年生 前期	選択	2	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	システム開発に関する実務経験をもとに、実際のシステム開発で重視される「処理の流れ」や「条件判断」「繰り返し」といった考え方を紹介する。Scratchでの演習を通して、プログラミング言語が異なっても共通する論理構造や設計の発想を理解させ、将来のシステムエンジニア業務につながる基礎的思考力の育成を図る。	本授業では、Scratchを用いたビジュアルプログラミングを通して、プログラミングの基本的な考え方（アルゴリズム、処理の流れ、条件分岐、繰り返し、変数など）を体系的に学ぶ。 コード記述そのものよりも、「処理を順序立てて考える力」「仕様をもとに動作を設計する力」に重点を置き、システムエンジニアに不可欠な論理的思考力・問題分解力の基礎を養うことを目的とする。サンプルコードをもとに実際にプログラムを作成する。最終的には、応用演習課題をもとに、課題設定から設計・実装・改善までを一通り経験する。この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われる。
	初級プログラミング	経営情報	2年生 後期	選択	2	30年以上にわたりメーカーおよびSIerにて、業務システム構築や企業のDX推進プロジェクトに従事した実務経験を有する。	システムエンジニアとしての実務経験をもとに、実際の企業における業務システムの役割、要件定義からシステム化までの考え方、中小企業・組織DXにおけるkintone活用事例などを紹介する。	本授業では、kintoneを用いたノーコード（/ローコード）開発を通して、業務を支える情報システムの基本構造と開発プロセスを学ぶ。 実際の業務を想定した課題をもとに、要件整理、データ設計、アプリ作成、改善までを一連の流れとして経験し、システムエンジニアに求められる「業務理解力」「論理的設計力」「改善視点」を養うことを目的とする。 コード記述よりも、「どのような業務を、どのような仕組みで支えるか」に重点を置く。 この授業は、本学のディプロマポリシーに基づいて行われる。

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
澤井　雅明	マネージメントゲーム	経営情報	2･3年生後期	選択	2	情報システム営業職　16年 企画職（経営戦略・人材育成施策立案・推進等）　18年	企業における経営戦略・人材育成施策立案・推進等の経験から、実務経営を踏まえた実践的な議論を行います。	ディプロマポリシーに基づき、ビジネスシーンにおいて求められるマネージメントの実践に当たっての知識や汎用的技能を身に付けます。幅広いマネージメントの領域において、本講座では特にコミュニケーションとチームマネジメントに注目し、ケーススタディや体感ゲームなどを行うことで、「わかる」と「できる」のギャップを理解し、実際に行うことができるようになるための技能について、様々な演習を通して理解を深めていきます。
吉野　正	会社法	経営情報	2年生前期	選択	2	弁護士実務５０年、長年の監査役経験を有する。多くの会社法関連事件を処理してきた。	会社法関連事例を具体的にとりあげて、会社法の実務運用を教示する。	会社の法的な仕組みを学んで行きます。まず、会社の法的な性質を理解できるようになった上で、会社の種類ごとの法的な性質の違いを学びます。その後、株式会社の4つの類型を学んで、株式会社の各機関（株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、委員会等）の機能を理解できるよう授業を進めます。最後に取締役にどのような責任が課せらているかを学んで行きます。 なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。
経営情報学科　計					**24**			

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
岸川　洋	モバイルネットワーク	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ	3･4年生前期	選択	2	電気通信事業会社勤務（30年）、交換設備部門（11年）（研究開発（3年）、計画（2年）、設計（2年）、調達（2年）、保守（2年））、端末機器部門（3年）（開発）、社内システム開発部門（7年）（監視システム）、法人営業部門（6年）（公共（2年）、金融（1年）、SI（1年）、人材育成（2年））の実務経験を有する。	電気通信事業会社における実務経験（交換設備部門、端末機器部門、社内システム開発部門、法人営業部門）をもとに、モバイル通信の歴史、モバイル通信のしくみ、各分野における活用事例、電気通信事業者、電気通信事業法 等について具体的に説明する。	学習目標・目的（学則第3条）を踏まえて、ネットワーク関連の情報通信技術の知識とその活用能力を修得することを目的とする。 電気通信事業会社で、交換設備部門、端末機器部門、社内システム開発部門、法人営業部門の実務経験のある教員が、モバイル通信の歴史、モバイル通信のしくみ 等を解説することにより、第1世代から第6世代までの基礎知識を学修する。図表を作成し要点を整理することにより、理解を深める。 連絡事項はGoogleクラスルームにおいて確認できる。授業の資料はGoogleクラスルームにおいて入手できる。毎回の課題、レポート、ポートフォリオ、ルーブリックをGoogleクラスルームに提出する。授業の質問や感想も　Googleクラスルームに提出できる。
平塚　智一	Webデザイン	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ	1年生後期	選択	2	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務（15年）の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。	ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。 ビジネスとインターネット、各種サービスとインターネットを概観する。ユーザ・インターフェイスと提供したいサービスの機能・構造との関係をどのようにデザインするか考察する。基本的なHTMLおよびCSSについて学習する。
	Webシステム	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ	2年生前期	選択	2	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務（15年）の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。	ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。 科目「Webデザイン（Webコンテンツ制作Ⅰ）」での学習を踏まえて、各種Webサービスが提供する機能とそのための構造、それらを支える基盤技術やプログラミング技術について総合的に学習する。Web関連ファイルについて理解を深める。
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科　計					**6**			
経営情報学部　合計					**104**			